

040301一般貨物自動車運送業における死亡災害事例（1999-2022年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労 働 者 規 模
2022	1	8 ～ 10	被災者は大型トラック（13トンウイング車）を運転し、荷を輸送した後、工場へ向うべく高速道路を走行していたが、途中、サービスエリア駐車場に車を止め、高さ3.7メートルのトラック荷台屋根の上で、雪を取り除く作業を行い、トラック後部から降りようとして転落した。	221	1	50 ～ 99
2022	1	14 ～ 16	公道上において、労働者が、トラック（最大積載量14.3トン）に積んだ荷（建築資材）の固縛作業を行っていたところ、高さ176センチメートル、幅3センチメートルのトラック荷台のあおり上から地面に墜落した。被災者は被災から約4か月後に閉塞性黄疸により死亡した。	221	1	10 ～ 29
2022	1	10 ～ 12	木造住宅建築工事現場において、現場で使用する耐震用合板の束（長さ3m×幅1m×厚さ46cm、重量約950Kg）を積載型トラッククレーンで、建築中の建物2階に吊り込む作業をしていたところ、荷を吊っていたベルトスリングから荷の合板が落下し、積載型トラッククレーンに積まれた荷の上でクレーン操作を行っていた被災者が下敷きとなったもの。	372	4	10 ～ 29
2022	1	12 ～ 14	工場内の車両整備ピットにおいて、ミキサー車のキャビンを前傾させ、オイルエレメント交換作業を行っていた。被災者がミキサー車の下部に入り、エンジンオイルを抜き出す作業の際、他労働者に対し、エンジンをかけるよう指示したので、他労働者がエンジンをかけたところ、前進し始め、ミキサー車前輪がピットから1メートル下に落下し、被災者が下敷きとなり死亡したもの。	221	4	1～ 9

2022	1	8 ～ 10	事業場から用務先に徒歩で向かう途中で横断歩道を渡ろうとしたところトラックにはねられ死亡したもの。	221	17	1～ 9
2022	1	2 ～ 4	側乗指導のため被災者が助手席に乗り込み、別の労働者が運転中、運転者が運転を誤り、道路左側にあった標識にぶつけた後、ガードレールにぶつかった。この衝撃でトラックのキャビンが変形し、被災者の足がキャビン内のシートとグローブボックス間ではさまれた。その後、入院中であった被災者は肺塞栓症により死亡したもの。	221	17	10 ～ 29
2022	1	16 ～ 18	被災者は、事業場の敷地内において、9 t ダンプトラックの荷台を上げて、ダンプトラックに付属した荷台の降下を防止するためのストッパーを使用せずに車体と荷台の間に入り、荷台昇降用油圧ホースの付属部品を交換する作業をしていたところ、荷台が降下して挟まれた。	221	7	1～ 9
2022	1	10 ～ 12	被災者はキャリアカーへの車の積み込み作業を終了し、スロープを格納する作業を行っていたが、作業場所で倒れている状態で発見された。その後病院に搬送されたが急性心不全による死亡が確認された。	921	90	1～ 9
2022	2	4 ～ 6	被災者はトラックを運転して高速道路を走行中、前方を走行する車と激突することを防止するため、急ブレーキを踏みハンドルを右に切った際にトラックが横転した。被災者は後続を運転する人々に救出された後、緊急電話を使用するために、高速道路の路肩を徒歩により移動中、誤って側壁（高さ90 cm）を乗り越え、高さ約12 m下の地上に墜落した。	418	1	10 ～ 29
2022	2	6 ～ 8	被災者は同僚と2名でごみの収集作業を行っていた。ごみ置場前の傾斜地に停車しておいた塵芥収集車が後退し始めたため、被災者は車両後方から塵芥収集車を支えようとしたが支えきれず、左後輪に轢かれ死亡したもの。	229	7	30 ～ 49
2022	2	14 ～ 16	配送先において、2トントラックに積まれた荷（地盤の沈下防止に使用する樹脂製敷板、1枚当たり約21キログラム）が荷台内で複数枚倒れ、荷と荷台側面間にいた被災者が胸部を挟まれた状態で発見されたもの。	611	5	1～ 9
			フレキシブルコンテナを3～4段に積み重ねて保管している倉庫でフォー			

2022	2	16 ～ 18	クリフトを用いて製品の出荷作業を単独で行っていたが、最下段のフレキシブルコンテナが破れたため処置していた際、上段のフレキシブルコンテナが崩れて下敷きとなったものと推定される。	611	5	10 ～ 29
2022	2	22 ～ 24	積荷の運送のため、大型トラックで国道を走行中、カーブを曲がり切れず反対車線にはみ出し、対向の大型トラックと正面衝突した。	221	17	50 ～ 99
2022	2	4 ～ 6	被災者は、セメント運搬車の車体上においてセメントの積込作業を行っていた。墜落防止措置として、作業場所天井に設置された安全ブロックのフックを、着用していた胴ベルト型墜落制止用器具のD環に装着していた。積込作業終了後、安全ブロックのフックを装着したまま車両に乗り込み、発車したため、墜落制止用器具で腹部を強く引っ張られる状態となり、腹部周辺の内臓を負傷した。	221	7	30 ～ 49
2022	2	8 ～ 10	物流拠点から倉庫に向けて、午前8時20分頃、軽貨物自動車を運転し出発、市道を走行中、センターラインをはみ出し対向車と正面衝突し、外傷性ショックにより死亡した。	221	17	10 ～ 29
2022	2	10 ～ 12	被災者は、垂直搬送機の2階部分においてエラーが発生したと連絡を受けたため、原因を探るために垂直搬送機昇降路内部を事業場の2階フロアから目視にて確認していたところ、昇降路内部に墜落した（高さ約8m）。	214	1	500 ～ 999
2022	2	16 ～ 18	被災者が荷物の仕分け作業中に、サンドヴィッグのシューターに詰まった荷物を取り除こうとしてシューターを上り、荷物を動かしたところ、サンドヴィッグが詰まりの解消により動作を開始し、被災者が流れ始めた荷物を避けようとしてバランスを崩し、シューターから地面に墜落した。	224	1	100 ～ 299
2022	2	0 ～ 2	被災者は、トラックの荷台上でジョルダーと呼ばれる器具を使用して、トラック後方の荷台端までパレットを引っ張って移動させていた最中に、被災者が手に持っていた起こし棒がジョルダーから抜けてしまい、その勢いで高さ約1.4メートルの荷台上から地面に墜落し頭部を負傷した。被災者はくも膜下出血により意識不明の状態であったが、後日死亡した。	221	1	1 ～ 9

2022	2	8 ～ 10	工場の前の坂道にて、被災者がトラックを停車して、車両の後方で荷卸し準備をしていたところ、同車両が後退してきて、後方に停車していた別のトラックとの間に挟まれたもの。なお、ギアはニュートラルに入っておりサイドブレーキはかかっていた。	221	17	30 ～ 49
2022	3	2 ～ 4	長時間にわたる過重な労働により、小脳出血を発症し、死亡に至ったもの。被災者は、被災当日まで取引先と仕事の話をしてきたが、その後同日夜、頭痛を訴え職場で倒れ救急搬送された。被災者は、数年前に現在の部署に移動してから過度な残業を行っていた。被災者は、救急搬送後同年中に、小脳出血により死亡した。	921	90	100 ～ 299
2022	3	8 ～ 10	被災者及び事業場Aの作業員がトレーラーの荷台に積載していた鉄筋の束を天井クレーンを用いて荷下し作業していたところ、被災者が荷台から墜落した。地上から荷台にまでの高さは1.58m、墜落箇所には鉄筋の束が置かれていた。被災状況を現認した者はいない。被災者はクレーンのワイヤーに束を引っ掛ける箇所を確保するためバールを用いており、荷台にはバールが置かれていた。	221	1	50 ～ 99
2022	3	10 ～ 12	トレーラー運転手が事業場駐車場において、低床セミトレーラにグリスを注入するためジャッキで持ち上げた車体下で作業を行っていたところ、ジャッキが外れて、車体と地面との間に胸部を挟まれた。	221	4	30 ～ 49
2022	3	12 ～ 14	被災者は3tトラックを運転し国道を南進、相手方はトレーラーを運転し北進していた。当該道中において、被災者が運転していた3tトラックが中央線を越え対向車線にはみ出したため、対向車線を走行していたトレーラーと正面衝突した。	221	17	1～ 9
2022	3	16 ～ 18	被災者は、林業伐採現場にて発生した臨時残材を収集しバイオマス燃料として再利用するために、伐採・集材・搬出作業の終了した林業現場に1名で赴き、グラップルレーキの運転業務中、現場内の集材道（坂道）の路肩から転落し、運転席から投げ出されグラップルレーキの下敷きとなった。災害発生日翌日朝、被災者が帰社していないことを知った知人が現場内で被災者を発見。その場で死亡が確認された（死因：胸腹部圧迫による窒息）。	171	1	10 ～ 29

			息)			
2022	3	12 ～ 14	被災者は、最大積載量7 tのトラックで、所属事業場の車庫を出発し、配送先に向うため、高速道路を走行していたところ、前方車両が急制動したため、被災者も急制動してハンドルを左に切ったが間に合わず、当該車両に追突し、運転席に挟まれ両足を骨折したことから、病院に搬送された。後日、出血性ショックにより死亡した。	231	17	10 ～ 29
2022	3	18 ～ 20	鉄筋(24 t)を積載したトレーラー(最大積載量26 t)を運転中、橋の手前のカーブ走行中に路面凍結によりスリップし、橋の欄干に衝突した。その後、キャビン部分のみ欄干を超えて橋上より落下、炎上した。	221	17	1～ 9
2022	4	22 ～ 24	夜勤の始業後、物流センター3階の南東側プラットホーム上で、被災者は、リーチ式フォークリフトを運転して仮置きされているパレット積み番重を出荷場所へ移す作業を行っていた。フォークリフトを後進させた際、プラットホームから1メートル下の床に転落し、被災者はヘッドガードと床に頭を挟まれて死亡した。	222	1	50 ～ 99
2022	4	6 ～ 8	配送先であるスーパーマーケットの前にある道路を挟んだ向かいの駐車場にトラックを駐車し、被災者は信号及び横断歩道のない道路を横切り荷物を運んでいたところ、スーパーマーケット前の歩道と道路の境目付近で乗用車にはねられ死亡したもの。	231	17	50 ～ 99
2022	4	2 ～ 4	4 tトラックを運転して国道を走行中、道路左側の縁石に乗り上げ、その勢いで対向車線へはみ出し、対向車線を走行していた10 tトラックと正面衝突した。4 tトラックの運転手が死亡し、10 tトラックの運転手は頸椎骨折。	221	17	30 ～ 49
2022	4	2 ～ 4	被災者は6トンchild車のドライバーで、物流センターに深夜に到着し、child商品の入ったかご車を同child車に搬入する作業を一人で行っていた。5、6台目のかご車を搬入child車に搬入中、テールゲートリフトの昇降板の端部のストッパーを使用していなかったため、かご車の4つキャスターのうち一つが脱輪し、支えようとした被災者が下敷きとなり窒息死した。	362	6	50 ～ 99

2022	5	16 ～ 18	被災者は、事業場を出発し、配送先に建築資材を運ぶため大型トラック（ウイングボディ）を運転していた。道中、県道を走行していたところ、右車線に対向進出し、ガードロープを突き破って進行右側の約5m下の河川へ転落した。	221	17	10 ～ 29
2022	5	8 ～ 10	被災者は貨物自動車にて運送作業に従事している者。車庫にて対面点呼を受け出発。一般道を走行し、工場に到着。守衛にて受付後、荷受棟へ移動。荷受棟内にてサイロ投入準備中に倒れ、病院に搬送されたものの、虚血性心疾患により死亡が確認されたもの。	921	90	50 ～ 99
2022	5	12 ～ 14	被災者は、10tダンプトラックの運転手である。肥料（工場から出るライムケーキ）を積んだ後、農家へ向けて国道を走行中、何らかの原因により車両が横転して路外に逸脱、運転席から投げ出された被災者が車両の下敷きになり死亡したもの。	221	17	10 ～ 29
2022	5	10 ～ 12	荷主先において、最大積載量13.5トンのトラック（ウイング車）に積まれた木材のベルト掛け作業をしていたところ、地面に墜落したもの。被災者は墜落制止用器具及び保護帽を着用していなかった。災害から数日後に死亡が確認された。	221	1	30 ～ 49
2022	5	8 ～ 10	被災者は、ダンプトラックを運転し、配送先にて運搬した碎石を降ろす際に、貯蔵サイロの空きを確認するためサイロ上部のコンベヤーを覆う扉を開け、内部を覗き込んだときに、扉とコンベヤー上を動くトリッパーの間に挟まれ、外傷性窒息により死亡した。	224	7	10 ～ 29
2022	6	6 ～ 8	トレーラートラックのエンジンがかからなかったため、被災者（トラックドライバー）は他社所属で始業前のフォークリフト運転者へ、当該トラックのヘッド車をフォークリフトでけん引してトレーラーから離すよう頼んだ。フォークリフトのアクセルを何度も踏み込むも、ヘッド車は前へ進まなかったところ、何らかの理由でフォークリフトが後退し、フォークリフトの後ろに居た被災者がヘッド車との間に挟まれて死亡したもの。	222	7	30 ～ 49
2022	6	0 ～	国道で、信号待ちで停止していた10tトラックに、後ろから来た4トントラック（被災者が運転していたトラック）が追突し、4トントラックを	221	17	1～

		2	運転していた被災者が死亡したもの。			9
2022	7	14 ～ 16	被災者（トラック運転手）は、エアコン、冷蔵庫等の家電類を荷主指定の倉庫に運送し、当該倉庫において、荷下ろし作業を行っていた。被災者はトラックの荷台上で、ハンドフォークを用いて荷が積まれたパレットを荷台のハッチ側へ移動させていたところ、意識を失い、荷台上で倒れたもの。被災者は救急搬送されたが、2日後に死亡した。	921	90	30 ～ 49
2022	7	4 ～ 6	高速道路を走行中、トレーラーの右後輪タイヤがパンクしたため路肩に停車し、修理業者を手配中、車外へ出ていたところ後方から走行してきた大型トラックに追突され、自車両とガードレール（または側壁）に挟まれ死亡したもの。	221	17	30 ～ 49
2022	7	8 ～ 10	荷主先の敷地内における橋形クレーンを用いたトラック荷台への鉄骨の積み込み作業において、荷台上に運搬した鉄骨から玉掛用具（ハッカー）を取り外し、フックを巻き上げたところ、鉄骨に玉掛用具が引っ掛かって鉄骨が落下し、落下した鉄骨の下敷きとなり死亡したもの。	211	4	10 ～ 29
2022	7	22 ～ 24	被災当日19時台に事業場を車で出発。高速道路（下り坂）を走行中に追い越し車線で単独事故を起こして停車中の乗用車がきっかけとなり、後続の乗用車1台、大型トラック5台が次々に衝突した。被災者の大型トラックは乗用車か別の大型トラックに衝突後、更に別の大型トラックに衝突したものの。	221	17	30 ～ 49
2022	7	22 ～ 24	自社駐車場内において10tトラックのキャビンの屋根部分付近（高さ2.6m）とフォークリフトのヘッドガード部分（高さ2m）に足をかけて、トラック荷台のウイング根本付近の部分補修を行おうとしていたところ、誤って、地面に落下、頭部を打ち意識不明となり、通行人が倒れている被災者を発見し119番通報した。被災者は翌日に死亡が確認された。	221	1	10 ～ 29
2022	7	18 ～ 20	被災者はコンテナを運送するドライバー。フォークリフトにてコンテナを降ろす作業の際に、降ろした先に被災者がいることに気付かず、被災者がコンテナに挟まれ（圧死）したもの。	222	7	100 ～ 299

2022	7	10 ～ 12	被災者がトラックで県道を走行していたところ、対向車線を走行していた大型トラックがセンターラインを超え、被災者が運転するトラックと正面衝突したもの。被災者は災害発生日から19日後に死亡した。	221	17	～ 29
2022	8	2 ～ 4	被災者が、高速道路を10トントラックで走行中、左カーブで、路肩付近に駐車していた別の10トントラックに追突し、死亡したもの。	221	17	～ 99
2022	8	14 ～ 16	コンクリートミキサー車の回転ドラム内で、ドラムの内側に付着したコンクリート片のはつり作業に、被災者が単独で従事していた。はつり箇所的位置を調整するために、有線式リモートコントローラーをドラムに持ち込んで作業していたところ、何らかの理由でコントローラーのダイヤルが高速モードとなり、ドラム内のスクリーブ刃に巻き込まれ死亡したものと思われる。	221	7	1～ 9
2022	8	10 ～ 12	派遣先事業場において、被災者が野菜の洗浄作業を行っていたところ、熱中症とみられる体調不良により病院に搬送されたが、同日死亡したもの。災害当日は、8時から11時まで、屋外作業場で野菜の洗浄機械を使用し作業を行っていた。災害発生時の気温は29度から30度で、作業場は、野菜の洗浄機械で使用する水により、湿度も高い状況であった。作業場では、扇風機の稼働と水分・塩分の備え付けを行っていた。	715	11	～ 49
2022	8	6 ～ 8	冷凍車にて冷凍食品を運搬し、納品先で荷降し作業中、「難治性心室細動、急性心筋梗塞」を発症し、息苦しさを訴えてしばらく休んでいたところ、体調が急変して心肺停止状態となったため、病院に救急搬送されたが、同日、搬送先の病院にて死亡が確認された。	921	90	～ 49
2022	8	6 ～ 8	高速道路上、片側2車線の左車線をトラック（最大積載量9.1t）で走行中、左遮音壁に接触、反動で追い越し車線を走行中の普通乗用車に衝突し、制御不能となり横転したもの。運転者は、多発外傷により死亡。	221	17	～ 49
2022	8	0 ～	高速道路走行中トラックがクラッチの故障により走行不能になり走行車線にはみ出して停車し、車両の前方で待機していたところ、後方より走行してきたトラックが停車車両に追突し、そのはずみで停車車両が前方へ進	221	17	～ 50

		2	み、被災者をはねた。			99
2022	8	8 ～ 10	走行中のバルク車（飼料運搬車）が中央線を越え、対向してきた路線バスと衝突。バルク車を運転していた被災者が死亡、バス運転手（休業災害）が軽傷を負った。	221	17	10 ～ 29
2022	8	6 ～ 8	荷主の敷地内において、荷積みした木材を輸送するため、被災者が自社の所有する3トントラックの荷台上で積荷の固縛を行っていたところ、高さ0.9メートルの荷台上からコンクリート地面上に墜落した。	221	1	10 ～ 29
2022	9	6 ～ 8	被災者は出勤後、事業場の駐車場で同僚と雑談中に突然意識を失い、同僚にもたれかかる状態で倒れた。AEDなどの救急救命処置が実施され病院へ搬送されたが、特発性心室細動により死亡したものの。	921	90	1～ 9
2022	9	8 ～ 10	資材置場で、天井クレーンに玉掛用チェーンスリングを設置し、重量約760キログラムの敷鉄板の玉掛用にあけられていた穴にチェーンスリングのフックを通し、敷鉄板をつり上げ、ダンプトラックの荷台に積み込んでいたところ、敷鉄板が、チェーンスリングのフックから外れ、天井クレーンを操作していた作業員の上に落下した。	372	4	1～ 9
2022	9	8 ～ 10	高速道路を走行していた貨物自動車がスリップし、ガードレールに追突、車両が横転した。被災者は、助手席中央に座っていたが、貨物自動車横転時に車外へ投げ出され、道路に体を強く打ちつけられ、その後、死亡した。	231	17	10 ～ 29
2022	9	2 ～ 4	事業場から外部へ、空コンテナを24tトレーラーに乗せ移動中、高速道路で、台風の影響で雨が強い中、前を走るトラックを追い越した際に接触し、コントロールを失って壁に激突した。被災者は災害発生時は意識があったものの、病院に搬送された後、容態が悪化し死亡。	221	17	50 ～ 99
2022	9	16 ～ 18	トラックの運転席近くで被災者と脚立が倒れているのを同僚が発見した。被災者の右足と地面の間にはホースがあり、水が流れている状態であった。被災者の周囲には保護帽はなく、着用していたサンダルが落ちていた。	371	1	30 ～ 49

2022	9	12 ～ 14	トラック荷台に溜まった水を、出発（出庫）前に被災労働者となるトラック運転手が排水するため、荷台を傾斜させた（ダンプアップ）。その後、荷台を傾斜させたまま運行を開始し、いわゆる高架下（橋桁下部）で荷台が接触して、それを端緒に横転した。被災労働者は、その際の外傷により窒息した。	221	17	～ 29	10
2022	9	2 ～ 4	被災者の前方を走行していた10トントラックが工事用ダンプトラックに追突した後、道路上で停止していたところ、被災者が運転するトラックが追突したものである。	221	17	～ 99	50
2022	9	10 ～ 12	被災者は建設資材（スロープの鉄材）を会社から災害発生場所まで積載型トラッククレーンで運搬する業務に従事していた。被災者は災害発生場所で荷降ろしするため、積載型トラッククレーンの荷台と当該資材を結束していたバンドを取り外した後に荷台に昇って、無線操作で積載型トラッククレーンを操作したときにフックが当該資材に接触して倒れて被災者とともに地上に落下した。	212	4	～ 29	10
2022	10	20 ～ 22	自動車道において、普通乗用車1台と大型貨物自動車3台が絡む交通事故が発生し、大型貨物自動車の運転者が死亡したものの。	221	17	～ 29	10
2022	10	10 ～ 12	トラック運転手である被災者は、荷主構内で合板の積み込みを行っていたが、予定時刻を超えても車両が出発していなかったため、周囲の作業員が確認したところ、トラックのキャビン内で倒れている被災者が発見されたもの。被災者は救急搬送され治療を行っていたが、頭部外傷等により死亡した。	221	1	～ 29	10
2022	10	8 ～ 10	被災者は、事務所前の駐車スペースで社用車に商品を積み込む作業をしていたが、スロープを降りきったホーム下で仰向けで倒れていたところを発見されたもの。被災者の足元は骨盤付近まで、商品280kgを乗せた台車が覆いかぶさっていた。その後、病院へ搬送されるも意識が戻ることなく、急性硬膜下血腫により死亡した。	416	2	～ 299	100
			砂防工事の現場入口付近において、被災者が大型トラックの荷台からドラ				

2022	10	10 ～ 12	グ・ショベルを降ろそうとして大型トラックの荷台後方を地面に接地するまで傾斜させた後、自らドラグ・ショベルに搭乗し、ドラグ・ショベルを地面まで自走させようとして折り畳まれていたアームを上方に伸ばしたところ、ドラグ・ショベルが下方に滑り落ち、そのまま法面方向へ転落し、更に立木をなぎ倒しながら目測20メートル下の谷底まで転落したもの。	142	1	1～ 9
2022	10	14 ～ 16	定格荷重4.8トンの橋形クレーンにてトラックに長さ6.4m、重さ1.5トンの鋼材を積み込んだ。被災者Aと作業員Cが玉外しを終え、作業員Cの合図を受けて無線操作機でクレーンを操作していた作業員Dがクレーンの巻き上げを行ったところ吊り具が鋼材に引っ掛かり、荷台で傾いた鋼材が被災者Aとともに荷台から落下した。鋼材が、落ちる途中でアオリの内側で荷締めしていた被災者Bの背中に衝突した。	372	5	10 ～ 29
2022	10	14 ～ 16	被災者は、配送先の倉庫内で荷下ろし作業後、トラックの運転を開始したが、すぐに道路を外れて畑の中を走行するなど異常行動をとった。トラックは畑の窪みにはまって停車したが、被災者の意識はなく、アクセルを踏み続けた状態であった（被災者は、搬送先の病院で翌日死亡）。	221	1	30 ～ 49
2022	11	10 ～ 12	被災者はトレーラーを運転し配送先（飼料販売業者）到着後、同車左後方に立ち、配送先の者がコンテナから荷（輸入干し草）の一部を卸し終える（終えたら構内の次の荷卸し場所へ運転の予定）のを見守っていた。同車の次の荷卸し場所へのコースを空けるため3tトラック（所有・運転とも配送先）がトレーラー後方から後進で脇を通過の際、被災者が激突された。翌日に搬送先病院で外傷性出血死（骨盤骨折、肺挫傷、多発性肋骨骨折）。	221	6	1～ 9
2022	11	2 ～ 4	事業場から荷物を運搬中、高速道路（下り）で工事渋滞しているところ、2台後方の大型車両が後方車両に追突し後方車両が当方車両の下に入り込み炎上、焼死した。	221	17	10 ～ 29
2022	11	2 ～	高速道路のインターチェンジ付近において、路面工事に伴う車線規制のため渋滞していた。先頭のトレーラーが停車し、乗用車と中型トラックが減速していたところ、被災者が運転するトラックが追突し、被災者は死亡し	221	17	100 ～

		4	た。			299
2022	11	16 ～ 18	重機レンタル業者の敷地内で、被災者は自社のトレーラーの荷台にドラグショベルを2台積み込む作業を1人で行っていた。2台目のドラグショベルを荷台に乗せ、荷台からドラグショベルのバケットを地面につけて機体を浮かせ、何らかの作業を行っていたところ、ドラグショベルがバランスを崩し転倒、被災者は転倒したドラグショベルのバケットの下敷きとなり死亡したものの。	142	7	10 ～ 29
2022	11	8 ～ 10	貨物自動車（大型トレーラー）の荷台に積載された木材の束（栈木の束（長さ4m、高さ0.51m、幅0.68m）×24ブロック）の脇の地上において作業をしていた被災者が、崩れてきた木材の下敷きになったものの。なお、貨物自動車を基点に、被災者の反対側で別の労働者がフォークリフトを使用して荷下ろしの作業を行っていた。	222	5	10 ～ 29
2022	12	8 ～ 10	被災者は工業団地の事業場にて4tトラックに金属製品を積み、県外にある事業場へ運搬していた。被災者が、国道のほぼ直線の片側一車線道路を走行していたところ、対向車線を走行してきた軽四乗用車が、走行車線をはみ出してきて衝突したものの。	221	17	10 ～ 29
2022	12	18 ～ 20	車を駐車場に止め、国道を挟んで向かいにある事務所に行くため横断歩道を渡っていたところ、軽自動車に轢かれた。なお、ドライブレコーダーの記録では横断歩道側が青信号、車道側が赤信号であり、ブレーキ痕無し、とのこと。	231	17	30 ～ 49
2022	12	10 ～ 12	トンネルの東200m付近の見通しの良い片側2車線の直線道路上で、交通集中の影響で発生した渋滞の最後尾で停車中の大型トラックに被災者運転の2tトラック（平荷台）が追突した。そのはずみで大型トラックは前に停車中の高速バスに追突した。被災者は全身を強く打って救急搬送され、同日中に骨盤骨折による出血性ショックで死亡。	221	17	10 ～ 29
2022	12	12 ～	被災者が村道の拡幅区間において、木材を積んだ連結式の大型トレーラーの牽引車と被牽引車の連結具の間に挟まれている状態で発見された。被災	221	7	10 ～

		14	者は、進行方向に7度～8度の上り傾斜に停車した大型トレーラーの連結作業を一人で行っていた。			29
2022	12	20～22	高速道路にて、トラックの助手席に乗車している際に、路肩に停車中のトラックに衝突し全身が圧迫され、出血性ショックにより死亡した。	221	17	50～99
2022	12	14～16	ドラグショベルをトラック荷台に積み込んだ後、ドラグショベルの位置を微調整するために荷台上で単独で運転操作を行っていたところ、ドラグショベルもろとも荷台から転落した。被災者は車外に投げ出された後、転落してきたドラグショベルの下敷きになり死亡した。	141	1	10～29
2022	12	10～12	被災者はフォークリフトを使用し、本件事業場倉庫の一階から中二階にトラックの夏用タイヤの運搬作業を一人で行っていた。墜落直前の被災者の作業を現認した者はいないが、タイヤ（一本）積みのパレットは中二階まで荷上げされたままであったこと、被災者の墜落個所の上方中二階にタイヤ一本があったことから被災者は中二階から一階に墜落したものと思われる。	414	1	10～29
2021	1	14～16	被災者は事業場内にて気を失い、急性心筋梗塞の疑いにより死亡したものの。被災者は、心理的負荷の高い業務に従事していたことに加え、発症前1か月で約74時間、発症前2か月乃至6か月において最大約70時間の時間外労働に従事していた。	921	90	10～29
2021	1	8～10	被災者は、木製パレット（高さ2.0m）、を積載した4トントラック（ウイング車、トラック荷台から地上までの高さ1.05m）を運転し、運搬した後、トラックから、パレットを降ろす準備として、トラックのウイングを開け、当該パレット上に登り、置かれた緩衝材を地上に降ろし終え、パレットから降りる途中、コンクリート地面に墜落した。	221	1	10～29
2021	1	16～18	車庫にダンプトラックを停止させてドアを開け、運転席から降りようとしたところ、地面に墜落した。	221	1	10～29
			新型コロナウイルス感染症による。発熱し、PCR検査を受け、新型コロナ			

2021	1	20 ～ 22	ナウウイルスへの感染が判明した。事業場内において、被災者ほか3人の労働者に新型コロナウイルスの感染が確認された。その後、入院加療を続けていたが、死亡した。	911	90	10 ～ 29
2021	1	0 ～ 2	支店長として勤務、災害発生日は公休日であったが、同僚が業務の関係で被災者の携帯電話に数回連絡したが不通のため、夜に被災者の社宅アパートへ行ったところ、すでに死亡（心臓性突然死）していた。	921	90	50 ～ 99
2021	1	10 ～ 12	トレーラーの荷台に、建築用鉄骨2本の積込み作業を行っていた。鉄骨（円筒形、長さ約12.2m、重量15.4t）の上に別の鉄骨（円筒形、長さ約4.7m、重量3.9t）を重ね積みした。被災者が傷防止用のシートを挟む為、橋形クレーンのリモコンを操作し上に積んだ鉄骨の片端を地切りしたところ、鉄骨がずり落ち振れて、荷台上にいた被災者に接触し、玉掛用チェーンが外れ、鉄骨と被災者が地上に落下し、骨盤部を挟まれた。	211	6	10 ～ 29
2021	1	14 ～ 16	被災者は、事業場ヤード内で出荷パレット上の荷物の荷崩れ防止のため、フィルムでラッピングを行っていたところ足元のブロックにつまづき転倒し、左大腿骨を骨折した。その後、手術のため診療機関で入院加療していたが、合併症により亡くなったもの。	419	2	100 ～ 299
2021	1	4 ～ 6	市道交差点で被災者が運転する大型トレーラーが対向車線側の歩行者用信号柱に激突・横転したもの。被災者は胸等を強く打ち、搬送先の病院で死亡した。（単独事故）	221	17	1 ～ 9
2021	1	10 ～ 12	建設現場に建築資材を搬入中、移動式クレーン（2.6トン）で資材（木材約500kg）を移動していたところ、玉掛用繊維ロープから木材がはずれて、つり荷の近くで移動式クレーンを操作（無線式）していた被災者の上に落下し、下敷きとなり死亡した。	372	4	30 ～ 49
2021	1	8 ～	最大積載量3tのアルミバン車を使用し、ドライバーと被災者の2名で配達作業を行っていた。2軒目の配達終了後、被災者が荷台に乗り込み、積荷（化粧板を段ボールで包装した荷（185cm×93cm×3cm、重	611	5	100 ～

		10	量19.3kg)×20口(重量386kg)が倒れないよう、押さえながら次の配達先まで走行し、到着後にドライバーが荷台のシャッターを開けたところ、積荷と荷台の隙間に倒れている被災者を発見した。			299
2021	1	8 ～ 10	木造住宅新築工事現場において、被災者が単独で現場に搬入した建築資材(小屋束の束、重量:調査中)を積載型トラッククレーン(つり上げ荷重;2.93t、無線操作式)を用いて移動中、つり荷(小屋束の束)のバランスが崩れ、2m超の位置から落下し、その下敷きになった。	372	4	10 ～ 29
2021	1	18 ～ 20	4tトラックに乗車し、国道を走行していたところ、何らかの理由により、急ハンドルを切って、対向車線を超え、電柱に衝突したもの。相手はなく、単独の事故である。	221	17	10 ～ 29
2021	1	8 ～ 10	木造住宅新築工事現場において、ユニック車で建築資材を運搬してきた被災者が、荷台上で構造用の面材(約縦300×横90×厚1cm)35枚の束(ラップで結束。重さ約350kg)をナイロンスリング2本を使用して13tラフテレーンクレーンのフックに玉掛し、荷振れを抑えようとしていたところ、背部や頭部につり荷が激突して死亡した。	522	6	1～ 9
2021	2	0 ～ 2	被災者がタンクローリーを運転し、国道を走行していたところ、トンネルを通過した直後に対向車線を走行していたトラックと正面から衝突して被災した。	221	17	10 ～ 29
2021	2	12 ～ 14	事業場敷地内で、キャリアカーの上段に載せていた荷であるトラックを降ろすため荷台を傾斜(約15度)させた際、当該トラックに輪止めを行っていないことから、これが逸走し、キャリアカーの荷台上に居た被災者に激突、当該トラックの半開きになっていたドアとキャリアカーの支柱に挟まれた。昏睡状態が続いたが、後日死亡した。	221	6	10 ～ 29
2021	2	4 ～ 6	早朝、宅配便のセンターAからセンターBへ向かうため国道をトレーラーで走行中、国道と側道の間にある分離帯に衝突したもの。救急搬送され、当時は意識があったものの、数日後に症状が悪化し、外傷性大動脈解離により死亡した。	221	17	10 ～ 29
		0				10

2021	2	2	納品先の店舗敷地内において、納品終了後、被災者が運転してきた2 t トラックと壁の間に挟まれ、頭部を強く圧挫し死亡したもの。	221	7	29
2021	2	18	配送のためトラックを運転して国道を走行中、意識を失い、中央分離帯に乗り上げて停止したもの。	921	90	30
2021	2	6	物流センターでトラックへ荷の積込みを終え、テールゲート上を歩いて移動していたところ、テールゲートがプラットホームから外れて地上に墜落。その後、自らトラックを運転して約4 km走行したところで意識を失い、ハンドルに覆い被さっているところを通行人に発見されたもの。	221	1	1
2021	2	10	バルク車（飼料運搬車）のドライバーが、フレコンバックに入った飼料をバルク車に積み込むため、飼料倉庫に入ったところ、倉庫奥のコンクリート床に倒れている被災者を発見した。被災者は、救急搬送先の医療機関において治療中であったが、後頭部左側打撲による脳障害により同日の夕方に死亡した。	611	1	10
2021	2	10	荷主先において、被災者はトラックの荷台上で木材チップの均し作業中、上行大動脈解離を発症し、荷台から地面（コンクリート面）に墜落した。その後、トラックの横で意識なく倒れている被災者を、荷主先労働者が発見、病院へ搬送されるも同日中に死亡が確認されたもの。なお、被災者はヘルメットを着用しており頭部に目立った外傷はなかった。	921	90	50
2021	3	14	被災者は、軽トラックに単独乗車して、第二工場から第一工場へ戻る途中、本線道路から逸脱して用水路に転落し、搬送先の病院で死亡した。	221	17	100
2021	3	20	高速自動車道をトラックで走行中、車両を追越車線から走行車線に戻した際、左方に寄せすぎ壁側に衝突し、のり面に乗り上げ横転した。横転後シートベルトに首が引っ掛かり窒息し死亡した。	221	17	30
		10	重さ約1.2トンの精密機械を4トントラックの荷台から降ろす作業を行っていた。他の労働者が手動式ハンドリフトを操縦して精密機械をト			100

2021	3	～ 12	ラックパワーリフトの上に移動させていた。この時被災者は精密機械を支えて（補助）いた。精密機械がパワーリフトの上に乗ったとき、パワーリフトがしなるような状態となり、精密機械が地上に落下して被災者が精密機械の下敷きとなった。	391	4	～ 299
2021	3	20 ～ 22	被災者は、14 tの荷（1箱10 kg×1400箱）を最大積載量18.6 tのトラックに積み込み、走行していた。同日午後に県道を走行している際に、緩やかなカーブでトラックは横転し、そのまま路外に逸脱し、トラックを運転していた被災者が死亡した。	221	17	1～ 9
2021	3	4 ～ 6	被災者は配送先に荷を運搬するにあたり、出発地点である本件事業場の車庫に来て、同車庫の所定の位置に停めていた本件トラックを傾斜のある車庫出入口付近まで動かした。その後、被災者は、本件トラック運転席ドアと車体との間に挟まれた状態で発見された。	221	7	10 ～ 29
2021	3	14 ～ 16	被災者は、会社敷地内において、脚立を使用してトレーラーシャーシに積載されたコンテナ（L＝7.52 m、B＝2.45 m、H＝2.2 m）側面のコーキング作業を行っていたところ、脚立から転落し、頭部を地面に打ちつけたもの。搬送先の病院で即日手術が行われ、入院加療を継続していたところ、急性硬膜下血腫により死亡した。	371	1	10 ～ 29
2021	3	6 ～ 8	消費者向けにLPガスを供給するため、高速自動車道を西へ走行中、急ハンドルを切ったことにより、車両がバランスを崩し、ガードレール、防音壁に接触、車体左面を下に横転したもの。	221	17	10 ～ 29
2021	3	10 ～ 12	被災者が、営業活動としての得意先回りで、乗用車にて高速自動車道を南向きに走行中、渋滞の列の最後方に止まっている大型トラックに追突し、致命的頭部外傷、気道損傷により即死したもの。	231	17	30 ～ 49
2021	4	4 ～ 6	被災者は自動車運転手として、事業場からの待機指示を受け、災害発生地において車内待機していたが、その後の事業場配車指示に対し応答がなく、同僚が搜索し、発見される。虚血性心疾患で死亡と検案により推定されたもの。	921	90	50 ～ 99
			トラック（中型車）で工場まで荷物を運搬する途中、県道の下りで左カー			

2021	4	20 ～ 22	ブを曲がり切れずに反対車線のガードレールを突き破り、約5 mの林にトラックが転落し、トラックを運転していた被災者が脳挫傷で死亡したものの。	221	17	50 ～ 99
2021	4	20 ～ 22	被災者は、8 tトラックを自ら運転して、国道を北進していたところ、緩やかな左カーブに差し掛かった際に対向車線に大きくはみ出し、合流路の手前約50 m付近で対向車線を走行してきた24 tトラックと正面衝突し、出血性ショックにより死亡した。対向車の運転手（就労中）は、左手首を骨折する負傷を負ったもの。	221	17	30 ～ 49
2021	4	2 ～ 4	被災者が大型トラックを運転して走行中、前を走行していた大型トラックとその前方のレッカー車が衝突し、そこに最後方を走行していた被災者の大型トラックが追突したものの。	221	17	10 ～ 29
2021	4	14 ～ 16	被災者は一人でトラックの荷台に上がり、運送物をシートで覆い固定する作業を行っていた。災害発生時間、近くで作業していた作業員が「ドン」と大きな音がしたためそこへ行くと、地上で両耳から血を流して仰向けに倒れている被災者を発見した。なお、ヘルメットが脇に転がっていた。病院に救急搬送され、頭蓋骨多発骨折等で治療を受けていたが、法的脳死判定を受けた。	221	1	10 ～ 29
2021	4	22 ～ 24	国道において、被災者が3トントラックを運転し南進、相手方はトレーラーを運転し北進していた。交差点において被災者が右折したところ、直進してきた相手方のトレーラーと衝突した。衝突後、被災者が乗っていた3トントラックは中央分離帯を越えてスポーツジム駐車場に面した路面まで飛ばされ、トレーラーは交差点の北西に面したガソリンスタンドに突っ込んだ。	221	17	50 ～ 99
2021	5	10 ～ 12	被災者は車両積載型トラッククレーン（積載荷重7300キロ）の荷台に積んだユニットハウス（高さ：372cm）の固縛（こばく）作業を、脚立（高さ198cm）を使いながら、単独で行っていた。当該作業中に、脚立が転倒した音があり、周囲の労働者が確認したところ、被災者が地面	221	1	1 ～ 9

			に倒れた状態で発見された。現場の状況から、被災者はユニットハウスの上部から墜落または脚立から転落し、脚立に激突した。			
2021	5	2 ～ 4	配送時、ガソリンスタンドで給油し、洗車をしている途中倒れているのを店員が発見し、救急搬送されたものの死亡したもの。	921	90	30 ～ 49
2021	5	10 ～ 12	事業場内駐車場において、被災者が最大積載量3650キログラムのトラック荷台上に敷きつめてあったパレット上を荷台前方から最後部に向かって移動し、地上に降りるために最後部のあおりをつかんだところ、あおりが固定されておらず、外側に開いたため、前のめりの姿勢となって地面に転落し、頭部打撲により救急搬送され、同日、重症頭部外傷により死亡となったものである。	221	1	10 ～ 29
2021	5	6 ～ 8	中古車を船積みするにあたり、キャリアカー（トレーラー）から車を降ろしていた被災者が、トラックの横にうつぶせで倒れているところを同僚の作業員が発見された。被災者は意識不明のまま救急搬送されたが病院で死亡（脳挫傷）が確認された。	221	1	1～ 9
2021	5	8 ～ 10	国道で、直進中のトラックがダンプカーに追突し、トラックを運転していた労働者が死亡した。	221	17	10 ～ 29
2021	5	16 ～ 18	被災者が運転するトラックが昼過ぎごろ出発し、高速自動車道を走行中、夕方に事故現場で工事渋滞のため追い越し車線で停車中のトラックに気付くのが遅れ、左にハンドルを切ったが左後部に追突し、更に前方のトラックに玉突き衝突した。被災者の運転するトラックは走行車線側に飛び出しコントロールを失い、中央分離帯に激突して大破した。	221	17	30 ～ 49
2021	5	12 ～ 14	事業場に荷物を運送した後、帰社する為に4tトラックを運転して高速自動車道を走行していたところ、なんらかの原因で乗用車と衝突事故を発生させたことから、左側の路側帯に停車して被災者が車外で警察の到着を待っていたところ、後方から走行してきた大型トラックが突っ込んできたことにより、大型トラックに挟まれたもの。	221	17	10 ～ 29

2021	5	14 ～ 16	被災者は、同僚2名と雑木林内で杉・桧等の伐木・集材作業を行っていた。当時被災者はチェーンソーで杉（樹高16m、胸高直径26cm）を伐倒した際、倒れた木が約10m離れた場所で集材作業をしていた同僚の解体用つかみ機に接触し、その反動で木が跳ね上がり、被災者の方向へ倒れ、被災者の頭部に激突した。	712	6	10 ～ 29
2021	5	4 ～ 6	被災者は3tトラックを運転し、コンビニエンスストアへ商品を配達後、別のコンビニエンスストアへ向かうため、県道を走行中、対向車線の乗用車と正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2021	5	2 ～ 4	国道において、被災者がトレーラーを運転し南進、相手方はトラックを運転し北進していた。相手方のトラックが中央線を越え、両者正面衝突となったもの。	221	17	10 ～ 29
2021	5	2 ～ 4	国道のランプ付近（上り線 出口分岐から南方向に約300メートル地点）にて、下り車線を北上していた被災者が運転する4tトラックが対向車線に侵入し、上り車線を南下していた他社の労働者が運転する20tトレーラーと正面衝突したものの。	221	17	1 ～ 9
2021	6	0 ～ 2	被災者はトラックに乗務していたところ、内因性突然死を発症し、死亡した。被災者が長時間の過重業務に従事し、業務による明らかな過重負荷を受けたことにより、本件疾病を発症したものの。	921	90	10 ～ 29
2021	6	18 ～ 20	被災者は、事業場に向けてトラックにて帰社中、荷台の固定バンドが外れて、シートが荷台からはがれたため、橋上の路肩に停車し荷台にのぼりシートを固定していた時に風にあおられたためバランスを崩し墜落したものと推測される。	221	1	30 ～ 49
2021	6	10 ～ 12	荷物の配達のため国道をバンで走行中、アンダーパス出口付近において、左車線から右車線をまたぎガードレールに衝突する単独事故を起こしたものの。	231	17	1 ～ 9
2021	6	12 ～	物流センターで荷積作業中の自社トラック荷台の中で倒れているところを発見され救急搬送されたが、同日、搬送先の病院で死亡が確認されたもの。	921	90	30 ～

		14	の。			49
2021	6	22 ～ 24	被災者がトラックを運転して高速道路を走行中、追い越し車線に車線変更しようとしたところ、後ろから普通乗用車に追突され、トラックごと横転して死亡した（頭部損傷による）。被災者は荷を積み込んで、配送先に向かっていた。	231	17	30 ～ 49
2021	7	4 ～ 6	被災者が運転する8トントラックが片側1車線の道路を走行中、左カーブを曲がり切れず、対向してきた20トントラックと衝突した。衝突はお互いのトラックの右前方部分で、被災者のトラックは衝突した衝撃で道沿いの崖下に転落し、被災者が川に流されたもの。なお、対向車の20トントラック運転手は、被災者と同じ会社の者である。	221	17	100 ～ 299
2021	7	4 ～ 6	郵便局の到着ホームにおいて、4tトラックの荷室から約500キログラムのコールドロールボックス（以下「CRB」という）を卸す際、事業場の既設油圧リフトを上昇させずに作業を行ったため、CRBが被災者の上半身に被る形で地面に落下し、被災者が下敷きになったもの。	611	4	10 ～ 29
2021	7	8 ～ 10	事業者A所属の労働者が門型クレーンを操作し、コンテナハウスの部材（長辺5.7m、短辺2.3m、厚さ0.6m）をトラック荷台から荷降ろし作業中、部材を搬送してきたトラックの運転手であり、荷台上で玉掛作業をしていた被災者が、地切りした部材とトラックキャビンの間にはさまれ、搬送先の病院で死亡した。	211	7	10 ～ 29
2021	7	6 ～ 8	配送先において、被災者は、配送先事業場所有のフォークリフトを使用して荷物の搬入を終え、フォークリフトを敷地内の坂道の途中で止めて降り、トラックのあおりを閉じるためにトラックへと向かって歩いていたところ、フォークリフトが突然坂道を下りだし、それに気づいた被災者がフォークリフトを止めようとしたが止められず、トラックの側面とフォークリフトの間に挟まれて被災したもの。	222	7	50 ～ 99
2021	7	8 ～	被災者は、ドライバーとトラックに同乗し配送を行っていたが、ドライバーが発熱しPCR検査を受けたところ、新型コロナウイルスに感染していることが判明。被災者もPCR検査を実施したところ、陽性判定となっ	911	90	30 ～

		10	た。被災者はその後容体が悪化し、敗血症により死亡した。			49
2021	7	22 ～ 24	被災者が運転するトレーラーが県道を北上していたところ、右カーブを曲がる途中、進行方向の左側のガードレールに接触した。その後、トレーラー車体は左に傾けたまま橋の欄干に衝突し、欄干を倒して川に転落した。被災者は、転落したトレーラー内で心肺停止状態で発見され、病院に搬送されたが、死亡が確認された。	221	17	10 ～ 29
2021	7	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。当該事業場内で新型コロナウイルスのクラスターが発生し、被災者も発症した。PCR検査を受けた結果陽性判定となり、自宅待機後、その後入院し、約1ヶ月後死亡したものの。	911	90	30 ～ 49
2021	7	16 ～ 18	被災者は事務職兼運転手として従事していたが、心疾患により死亡。発症2か月前の平均時間外労働時間数は70時間を超えていたもの。	921	90	30 ～ 49
2021	8	10 ～ 12	選果場内の選果業務を請け負っている派遣先事業場にて、勤務していた被災者が、顔面蒼白、発汗を伴い、意識不明となり倒れ、呼びかけにも反応がなく、医療機関に搬送途中に心肺停止状態となり、死亡が確認されたものの。なお、被災者は当該派遣先で勤務し始めてから2日目の出来事であった。	715	11	1～ 9
2021	8	10 ～ 12	赤信号で停車していた大型トラックに被災者運転のトラックが追突し、被災者は胸を強く打ち間もなく死亡したものの。現場は国道の路上で、片側2車線の直線道路。追突の弾みでさらに前の一般車両2台も絡む玉突き事故となり、被災者以外に一般車両の3名が軽傷を負った。	221	17	1～ 9
2021	8	10 ～ 12	被災者は大型のダンプトラック（最大積載量8トン）を運転して砂利の運搬を行うため、県道（片側1車線）を走行していたところ、左側のガードレールに衝突し、約2メートルの道路脇に転落した。その後、病院に搬送されたが死亡が確認された。	221	17	1～ 9
		10	荷の積替えのため、被災者が待つ原木集荷現場に向かった同僚が、積載型トラッククレーン（トレーラー付）の横に倒れている被災者を発見した。			1～

2021	8	～	救急車により病院に搬送されたが、死亡が確認されたもの。発見時の被災者の近くには、丸太1本と荷締め機があり、荷台の丸太を固定するためのロープが外されていた。	522	4	9
2021	8	8 ～ 10	新型コロナウイルス感染症による。事業所内で新型コロナウイルスの感染者が発生し、濃厚接触者としてPCR検査を実施し陰性となったが、数日後に発熱し、検査で陽性となった。自宅療養後入院し、その後9月上旬に死亡したもの。	911	90	50 ～ 99
2021	8	6 ～ 8	被災者は、当該事業場の工場棟で、ミキサー車に搭載する給水タンクを単独で製作していた。別棟の事務所にいた当該事業場代表者は、突然大きな音が聞えたため、工場棟内を確認したところ、被災者が一部破損したタンクの下敷きとなっていた。被災者は頭部を負傷しており、その後死亡が確認された。代表者が確認したときは、空気圧縮機が稼働している状態であり、タンクから約8mの位置に、変形した鏡板1枚が落ちていた。	169	15	50 ～ 99
2021	8	14 ～ 16	被災者は物流センターの倉庫で荷積みが完了したコンテナを出荷待ちのコンテナ置き場へ移動させる作業をしていた。被災者はトレーラーヘッドを荷積完了のコンテナに近づけ、運転席から降りて、トレーラーヘッドとコンテナを接続した。そうしたところ、トレーラーヘッドとコンテナが前方へ動き出したため、被災者はトレーラーヘッドの前方へ回り込み手で押して止めようとしていたが、押し倒されてトレーラーヘッドに轢かれたもの。	221	7	50 ～ 99
2021	8	18 ～ 20	被災者はトラックを運転し、高速道路を荷積先へ向かっていた。途中、高速自動車道で、走行車線から追越車線へ車線変更を行ったところ、タイヤがスリップして中央分離帯へ衝突した。衝突のはずみでトラックは横転し、横転の勢いで被災者が車外に投げ出されたところに、横転したトラックが滑りながら被災者に接触して停車した。被災者は救急病院へ搬送されるも死亡した。	221	17	10 ～ 29
			被災者は運送業のトラックドライバー。雑貨を積んだ最大積載量13tトラックで配送先に向かって高速道路を走行中、停車中の先行トラックに追			

2021	8	2 ～ 4	突した。先行2台を含む計3台の玉突事故。追突の衝撃で被災者のトラックの運転席は大きく損傷し、救出され搬送されるも胸部を強く打ち死亡した。直接追突されたトラックの運転手も足を負傷し休業した。小雨で路面は濡れていた。被災者のトラックのブレーキ痕あり。	221	17	1～ 9
2021	8	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。発熱があり、後日新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に係るPCR検査を受検したところ、陽性と判定された。陽性判明翌日から自宅待機、その5日後から入院しており、約1か月後に死亡したものの。	911	90	100 ～ 299
2021	8	10 ～ 12	被災者は出張作業で印刷機を運搬していた。本仕事は印刷機をレールの上に乗せることになっていたため、仮設レールを敷き、その仮設レールの上に印刷機を乗せ、レールまで移動させる必要があった。被災者は、印刷機を仮設レールの上に乗せるため、ジャッキを使用し持ち上げ、印刷機の下に仮設レールを設置していたところ、持ち上げた印刷機が倒れ挟まれたものの。	612	7	1～ 9
2021	9	2 ～ 4	右前方から来たロールボックスパレットを左手でつかんで引っ張ろうとしたところ、つかみ損ね、勢い余って後方に転倒した。保護帽は着用していたが、あごひもの無い仕様であったため、転倒の途中で脱げ、後頭部を床面に直接打ち付けた。	361	2	500 ～ 999
2021	9	10 ～ 12	自社倉庫内鋼材置き場において、15トンクレーン（無線操作式）を用い鋼材の仕分け作業を単独で行っていた被災者が、ハッカーで玉掛けした鋼材（幅1,524ミリ、長さ6,096ミリ、厚さ22ミリ、1枚の重さ1,604キロ）4枚と壁に挟まれたもの。災害発生当日搬送先の病院で死亡が確認された。	211	7	30 ～ 49
2021	9	6 ～ 8	新型コロナウイルス感染症による。一度体調不良で早退し、その後の体調不良で欠勤していた。後日入院となり、治療を受けていたが、後日死亡したものの。	911	90	1～ 9
			醤油9tを積載したタンクローリー車で配送先に向かっていった被災者は、			

2021	9	10 ～ 12	高速自動車道で側壁に衝突し、その際、被災者は頭部等を強く打ち約1時間45分後に死亡が確認された。同乗者はいない。事故の際、運転席及び車体下部は高架（道路）にとどまり、タンク部分は高架から下方の県道と市道の交差点近くに落下した。落下による人的被害はなし。	221	17	1 ～ 9
2021	10	4 ～ 6	サイロの下に11tトラックを着け、木材チップを積み込む作業中、荷台前方への積み込みが終わる直前に、荷台上の木材チップを足場にして、出口からサイロの内部に棒を差し込み木材チップを掻き出していたところ、突然サイロから多量の木材チップがなだれ落ち、被災者は、荷台（アオリ上部までの高さ3.58m）から押し出されて地面に墜落し、搬送先の病院にて死亡が確認された。	221	1	10 ～ 29
2021	10	10 ～ 12	集荷のため、荷積場所付近で時間調整のためトラック内で待機していた時に蜂に刺されたもの。荷積後、コンビニエンスストアの駐車場入口付近で車内で意識を失っているところを発見され、5日後に死亡したもの。	719	90	30 ～ 49
2021	10	4 ～ 6	国道を走行していた被災者の運転する5トントラックが、カーブで横転、ガードレールに激突し死亡した。	221	17	10 ～ 29
2021	10	2 ～ 4	2トン車でスーパーのルート配送を行っていた被災者が信号待ちをしていたトレーラーに追突し死亡したもの。	221	17	10 ～ 29
2021	10	10 ～ 12	山中の建設現場に向け、コンクリートプラントからミキサー車を運転し出発した被災者の車両が、到着予定時刻を過ぎても建設現場に到着しないため、コンクリートプラントの職員が山中を捜索したところ、作業道から転落している車両を発見し、消防により救助されたものの死亡したもの。	221	1	10 ～ 29
2021	11	0 ～ 2	被災者は、会社所有の2トントラックで、国道を走行しているとき、対向車の1トンワンボックスと正面衝突した。正面衝突後、当該トラックは、路肩の休耕田（4メートル位下）に転落した。当該災害により、被災者は、頭部損傷を負い死亡した。	221	17	1 ～ 9
			交差点手前にて、被災者の運転する2トントラックが信号待ちをする車列			

2021	11	8 ～ 10	に衝突し、多発外傷により被災者が死亡したものの。ドライブレコーダーの記録によれば、衝突時、被災者の運転するトラックは時速50kmに達しており、ブレーキが踏まれた記録はなかった。	221	17	～ 29	10
2021	11	0 ～ 2	被災者はトラックを運転し、国道を走行中、対向車線からはみ出してきたトラックと正面から激突したものの。	221	17	～ 299	100
2021	11	0 ～ 2	事業場から配送先に向かう途中、国道にて、被災者が前方の車両を追い越そうと対向車線にはみ出したところ、対向車線を走っていたトラックと正面から激突したものの。	221	17	～ 299	100
2021	11	22 ～ 24	被災者は、配送先にトラックで荷を運んでいた。本件災害の約30分前に別のトラックと接触事故を起こし、路肩にトラックを止め、相手方ドライバーと車外で話をしていたところ、後ろから走行してきた、また別のトラックが停車していたトラックに追突し、被災者はトラックとガードロープに体を挟まれたものの。	221	17	～ 29	10
2021	11	6 ～ 8	被災者は、工事現場へ向かう途中、自らの運転するダンプAを駐車場に駐車し、ダンプAの前方で工事用の幕の取付けまたは取外し作業していたところ、B社の運転手の運転するダンプBが、ダンプAの前方に駐車のために後進した時、ダンプAに接近しすぎたため、ダンプ間に挟まれたものの。	221	7	1～ 9	100
2021	11	12 ～ 14	被災者は、事業場内の荷の積卸を行うゲート内にて、貨物自動車へ荷積み作業を実施していた。同ゲートのプラットホームと貨物自動車の間で倒れているのを発見されたもの。災害発生当時、同車は高さ調整のために後輪を乗せていた木製スロープ台から落ちて後方に移動しており、ギヤはニュートラルで、サイドブレーキは十分にかかっていなかった。被災者の死体検案書には死亡の原因に胸背部打撲による胸部狭圧と診断されている。	221	7	～ 49	30
2021	12	12 ～	被災者は、私有林の林道上で木材グラップル機のアタッチメントを修理中、林道上を後退してきた貨物自動車（14トントラック）と激突した。	221	6	～	10

		14	なお、貨物自動車は、約500メートル離れた土場へ移動するため後退で走行していたもの。			29
2021	12	10 ～ 12	災害発生前日21時台に出社し、点呼後に大型貨物自動車に荷物を積み込んで車道を走行中、トンネルを出て80m先の本線上に停車していた大型トレーラーに追突したものの。	221	17	30 ～ 49
2021	12	4 ～ 6	4トントラックを運転して、荷の運送を行った被災者が、同トラックを車庫に戻す途中でガソリンスタンドに立ち寄り、同トラックの給油を行った後、同ガソリンスタンド内の洗車場に停車した同トラック付近で倒れているところを発見され、医療機関に搬送されたが、同日、急性硬膜下出血により死亡した。	417	2	10 ～ 29
2020	1	10 ～ 12	被災者が運転するダンプトラックが工事で発生した土砂を現場から搬出する際にタイヤに付着した泥等を落とすために設置されているタイヤ洗浄機上で停車させ、タイヤ洗浄機が異常停止したため、下車して操作盤のところへ行き再起動させたところ、ダンプトラックが動き出し、これを止めようとしたが前輪に巻き込まれて轢かれた。	221	7	1～ 9
2020	1	2 ～ 4	被災者は深夜に荷主先で荷卸し後、体調不良の訴えを同僚に電話連絡。翌日午前頃に戻り、かかりつけの病院を受診。救急車で移送され治療を受けたが、くも膜下出血で死亡したものの。	921	90	10 ～ 29
2020	1	18 ～ 20	被災者の自宅から被災者が帰宅していないと事業場に問い合わせがあり、前日の被災者の就業場所である倉庫を確認したところ、倉庫の奥で倒れたネスティングラックの下敷きになった被災者を見つけた。救急通報したが被災者はその場で死亡が確認された。	611	5	30 ～ 49
2020	1	8 ～ 10	被災者が、本社において洗車業務を行っていたところ、天板高さ2メートルの脚立から墜落した。	371	1	10 ～ 29
		8	トラック運転手である被災労働者は、H型鋼材を災害発生場所へ運搬し、納入先のクレーンオペレーターと橋形クレーン（2.8t）を用いて、トラック上の複数本に束ねられたH型鋼材の荷降ろし作業中、H型鋼材の1			10

2020	1	～ 10	つにクランプをかませ、東から引き抜こうとし、被災労働者が引き抜きの作業補助のため、当該H型鋼材を手で強く引っ張った際、トラックの側面から地上に転落し、その上にH型鋼材も落下してきたため、死亡した。	211	5	～ 29
2020	1	8 ～ 10	日用品配達のため、2トントラックを運転して国道を走行中、停車中の乗用車と接触し、そのまま数百メートル走行した地点で、運転席で気を失い停車しているところを付近の住民に発見された。後日搬送先の病院で脳出血（被殻出血）により死亡した。	921	90	～ 49
2020	1	10 ～ 12	配送先の敷地内で、トラックを停車し、フォークリフトによる足場材の荷下ろし作業を手伝っていたところ、配送先の労働者が運転するフォークリフトと接触し、トラックとフォークリフトの先端に右脇腹を挟まれ、死亡したものの。	222	7	1～ 9
2020	2	6 ～ 8	被災者はユニック車にLPガスボンベを積んで工場に入場していたが、午前、当該ユニック車の足元で血を流して倒れているところを別の出入りの業者によって発見された。その後病院へ搬送されるも、急性硬膜下血腫により死亡した。	212	1	1～ 9
2020	2	22 ～ 24	被災者は高速自動車道路上をトレーラーを運転し北に向かって走行中、センターラインをはみ出したことにより、反対車線を走行していたトラックと正面衝突した。	221	17	～ 29
2020	2	10 ～ 12	被災者は、工場内石膏サイロにおいて、バルク車（粉粒体運搬車）に荷積み作業を行うためバルク車のタンク上方（高さ約3メートル）に上がり、タンク投入口とサイロ排出口の連結作業を行っている最中に転落したものと判断される。被災者は病院に運ばれたものの脳挫傷等により死亡した。	221	1	30 ～ 49
2020	2	20 ～ 22	業務中に再発性心筋梗塞を発症したものの。	921	90	～ 29
2020	2	4 ～	県道路肩にトラックを停車させて運転席から降り、トラックの前方で立っていたところに後ろからタンクローリーがトラックに追突。トラックが前	221	17	1～

		6	方に押し出されたことから被災者はトラックタイヤの下敷きとなったもの。			9
2020	2	14 ～ 16	被災者は、事業所の倉庫において、白菜の入った段ボールをパレットの上に積み上げる作業をしていたところ、隣のパレット上に6段目の段ボール箱を積もうとした際、5段目のダンボール箱上から墜落し、死亡した。	611	1	10 ～ 29
2020	2	10 ～ 12	被災者が営業所車庫の駐車場で10tトラックのキャビンの雪下ろし作業を行っていたところ、作業中に足を滑らせ、高さ約2.7メートルの位置から墜落し、頭部を打ちつけ死亡したもの。	221	1	10 ～ 29
2020	2	14 ～ 16	トラックを運転し上記発生場所に入庫したドライバーが、上記発生場所の倉庫内で血を流し倒れているところを発見されたもの。災害発生状況から、被災者は積み込む荷を確認するため、荷の上に登り、転落した。	391	1	10 ～ 29
2020	2	6 ～ 8	被災者は、貨物自動車に積載していた丸太状の木材を荷降ろしするため、荷締め機で固縛したワイヤーロープを外したところ、荷台から木材2本が落下し、被災者の頭部を直撃したもの。	522	4	1～ 9
2020	2	14 ～ 16	トラックによる荷の配送業務中の配送先納品場において、高さ1.2mのプラットホームの端に設置された昇降用階段の下で、後頭部を強打して倒れていた被災者が発見された。病院に搬送され治療を受けていたが、後日死亡した。	413	1	50 ～ 99
2020	3	12 ～ 14	トレーラーでコンテナを輸送中、ブレーキに異常を感じたため道路の路肩に停車し、車外で復旧作業をしていた。その後、トレーラーの牽引台車右側後輪にうつ伏せの状態で見られているところを通行人に発見された。	221	7	100 ～ 299
2020	3	6 ～ 8	鋳型用の再生処理砂を運搬してきたトラック運転手が荷主事業場内を徒歩で移動中、他の運送事業者の労働者が運転するフォークリフトに轢かれた。なお、フォークリフト運転者は、廃棄物の入った鉄箱（縦1.2m・横1.5m・高さ1m）の運搬作業中であった。	222	6	30 ～ 49
2020	3	6 ～	被災者は、市道において、トラック（最大積載量約10t）を運転していたところ、路肩に停車していた乗用車の右側面に接触した後に市道の左側	221	17	1～ 9

		8	に流れ、電柱に衝突し、死亡した。			
2020	3	0 ～ 2	トラック運転手である被災者が、荷主先において意識不明となり、病院へ救急搬送されたが、後日入院加療先の病院で死亡したものの。	921	90	1～ 9
2020	3	12 ～ 14	被災者が運転するトラックが渋滞で停止していた別のトラック後方に衝突し、被災者が死亡したものの。	221	17	10 ～ 29
2020	3	8 ～ 10	農場内において、被災者はバルク車から高さ約6mのサイロ上部の投入口に飼料を入れる作業を行っていたが、サイロ脇の地面で頭部から血を流して倒れているところを発見されたもの。発見時、被災者は墜落制止用器具を装着しておらず、ヘルメットが外れていた。負傷後、入院加療を行っていたが、後日死亡した。	418	1	30 ～ 49
2020	4	14 ～ 16	会社作業場内で移動式クレーンのタイヤ交換のため、タイヤ（直径134cm）をホイールに組み込む作業中、タイヤの上に乗って空気を充填中の被災者がホイールリングと共に天井まで吹き飛ばされた。また、近くで作業を見ていた1人が腕打撲の軽傷を負った。	391	15	10 ～ 29
2020	4	0 ～ 2	被災者は、大型の冷凍車を運転し、国道を走行中のところ、交差点において信号待ちをしていた大型貨物自動車に追突し、そのまま道路左側の跨線橋フェンスや橋脚に激突した。	221	17	1～ 9
2020	4	10 ～ 12	新型コロナウイルス感染症により死亡したものの。	911	90	100 ～ 299
2020	4	22 ～ 24	被災者が販促物及び書類を配達先に届けるためワンボックスカーを運転し、自動車道下り車線を走行中、反対車線を走行していた4tトラックが中央分離帯を突き破り、横転し、被災者の車両に衝突した。その後、被災者の車両に後続の大型トラックが衝突した。二つの衝突のいずれか又は両方により、負傷、死亡に至ったものの。	221	17	10 ～ 29

2020	4	16 ～ 18	ダンプトラックを運転して採石現場内の構内道路を走行していた際、構内道路を逸脱して道路脇の溜池にダンプトラックごと転落し、溺死したものの。	221	18	100 ～ 299
2020	5	4 ～ 6	被災者が運転するバルク車（飼料運搬車）がライトが点灯したまま倉庫の出荷口で停車していたため、同僚が被災者を探したところ、バルク車運転席で右耳から血を流して横たわっている被災者を発見した。被災者は搬送先の病院で死亡が確認された。倉庫内では、フレコンバックが鉛直方向に4段積まれた上にフォークリフトのアタッチメント（フレコンバックを吊り上げるため制作されたもの）の先端が置かれた状態だった。	611	1	50 ～ 99
2020	5	8 ～ 10	冷凍車の内部で被災者が倒れているのを、別事業場の労働者が発見したものの。	514	12	10 ～ 29
2020	5	6 ～ 8	配送先での荷下ろし作業が終了し、被災者は大型トラックのウイングを格納するため、大型トラック荷台左後部のスイッチを押していた際、配送先の事業場のフォークリフトが後退し、被災者がフォークリフトと大型トラックとの間にはさまれた。	222	7	1～ 9
2020	5	8 ～ 10	市内にある工場（荷主）敷地内において、同社労働者がフォークリフトを運転し、被災者が運転してきた車両積載形トラッククレーンの荷台にコンクリート製品2枚1束（1枚700～900kg）を積み込んでいたところ、フォークに載った製品が荷台上で位置決め作業していた被災者の方向へ倒れ掛かり、製品と一緒に荷台上から地面に転落し、製品の下敷きとなって死亡したものの。	222	6	30 ～ 49
2020	6	6 ～ 8	小型移動式クレーンの荷台に鉄筋を積んで現場に向かい走行中、急勾配の坂道で荷台後方が地面と接触して走行不能となったため、被災者が地上に降りて移動式クレーンを運転操作して荷の積み替え作業を行い、アウトリガーを戻したところ、車両が後退して車輪の下敷きとなった。	221	7	10 ～ 29
		2	被災者は中型トラックを運転して配送先で荷下ろし後、次の荷下ろし先に向かうために国道を南下していたところ、左カーブでセンターラインを越			1～

2020	6	～ 4	え、対向してきた大型トラックと衝突した。結果、被災者は死亡し、相手方トラック運転手も足を負傷した。	221	17	9
2020	6	8 ～ 10	古紙等の卸売業者に廃段ボールを持ち込み、トラックから段ボールを降ろす際にトラックのあおりを固定する部品が破損したため、古紙等の卸売業者の労働者が運転するフォークリフトの作業装置を用いて補修した後、フォークリフトを後進させようとしたが、誤って前進させてしまい、フォークリフトの前方で作業していた被災者が、フォークリフトとトラックの間にはさまれた。	222	7	50 ～ 99
2020	6	～ 6	交差点において被災者が運転する4 tトラックが右折待ちの10 tトラックに追突した。10 tトラックは弾みで前の乗用車に衝突し、3台が絡む玉突き事故となった。被災者は搬送先の病院で死亡した。10 tトラックの運転者、乗用車の運転者は救急搬送はなく軽傷。被災者は配送先から営業所へ戻る途上であった。	221	17	10 ～ 29
2020	6	10 ～ 12	工場において、被災者がトラック荷台で鉄筋材の荷下ろし作業中に、トラック荷台から墜落して首骨を骨折した。災害発生後に緊急搬送され、後日死亡した。	221	1	50 ～ 99
2020	6	～ 16	荷主先にて、荷物（鋼製のスロープを4分割した物）を大型トラックへ積み込んでいた。同トラックの運転士と荷主所属の2名とで積み込み作業を行っていたところ、積み込んだ荷（縦約5 m、横約3 m、厚さ約40 cm、重量約500 kg）が倒れ、トラックからずり落ち、同運転士が下敷きとなったもの。	612	5	10 ～ 29
2020	6	8 ～ 10	港でコンテナ積みトラックに荷物を積んだ被災者が会社へ戻るため自動車専用道路を走行中、中央分離帯を越えて反対車線（被災者側車線）にはみ出してきたトラックと正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2020	6	～ 6	被災者は、片側1車線の自動車道トンネル内において大型トラックを運転していたところ、対向車線を走行していた大型トレーラがスリップしてハンドル操作不能状態となり、センターラインを越えて被災者が運転する車	221	17	10 ～

		8	線に突っ込んで来たため、被災者が運転する大型トラックと衝突し、大型トラックを運転していた被災者が死亡したものの。			29
2020	7	14 ～ 16	災害発生場所に事業所の水源地内において、次亜塩素酸ソーダの運搬及び圧送業務を請け負った運送会社の労働者が、11.9度の傾斜にタンクローリーを停車し、コンプレッサーを用いた次亜塩素酸ソーダの圧送作業を終えた後、圧送部分のホースを取り外すため車両を降りたところ、何らかの原因で車両が動き出し、車両と門扉との間に身体を挟まれ、死亡した。	221	7	10 ～ 29
2020	7	10 ～ 12	被災者がトラックを運転し、高速道路のトンネルを走行中、ハンドル操作を誤りトンネル内の側壁にぶつかり、被災者が車外へ投げ出されて、トンネルの壁に頭を打って死亡した。	221	17	30 ～ 49
2020	7	2 ～ 4	大型トラックに、後方より牛乳輸送営業所の運転手が追突した。当該運転手は全身を強く打ち死亡した。	221	17	100 ～ 299
2020	7	10 ～ 12	被災者がトラックの助手席に乗っていたところ、当該トラックが別のトラックに追突し、死亡したものの。	221	17	10 ～ 29
2020	7	22 ～ 24	所属営業所における配車事務等と市場における構内運搬等を兼務している労働者が、市場内でターレットトラックで右折したときに角に置いてあったパレットに車両が乗り上げ、運転席から転落して左側頭部を強打し、救急搬送されたが同年8月14日に病院で死亡した。	229	1	10 ～ 29
2020	8	6 ～ 8	被災者は貨物自動車（粉粒体運搬車）のタンクに牛の飼料を投入するため、高さ283cmのタンク上部に上がり作業を行っていたところ、タンク上部より墜落、コンクリート地面に頭部を激突して死亡したものの。	221	1	1 ～ 9
2020	8	10 ～ 12	魚市場で大型トラック（ウイング車、積載量10トン）に鮮魚10トンを積み込み水産会社に向け自動車道を走行中、インターチェンジの出口の左カーブで右側ガードレールに衝突して横転した。被災者は運転席に挟まれ約1時間30分後に救出され、病院に搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。	221	17	30 ～ 49

			が確認された。			
2020	8	10 ～ 12	工場において鉄骨の積み込み作業後、荷台で水分補給をし、少し休憩した後、荷台から下りようとした際、立ちくらみでバランスを崩し、荷台から落ち左肋骨部骨折、頭部を強打した。その後、病院に搬送され治療を受けていたが後日死亡した。	221	1	10 ～ 29
2020	9	14 ～ 16	被災者は配送先の在宅確認を終え、配送する荷物を取りにトラックに向かう途中、走行してきた軽トラックにはねられ、約1時間後に死亡が確認されたもの。	221	17	30 ～ 49
2020	9	2 ～ 4	被災者が運転する3トントラックが直進し、交差点に進入したところ、対向車線から右折してきた軽自動車と衝突した。被災者のトラックはその衝撃で道路脇にある街路樹に衝突し全身打撲により死亡した。	221	17	10 ～ 29
2020	9	10 ～ 12	トラック等駐車場で、各トラックにドライブレコーダーを取り付ける作業を行っていたところ、被災者がトラックの近くで仰向けに倒れていた状態で発見された。災害発生後、治療中であったが、後日死亡したもの。	221	1	10 ～ 29
2020	9	14 ～ 16	高所作業車にて塗装作業中、高所作業車と鉄骨の間に頭部を挟まれたもの。	146	7	10 ～ 29
2020	9	16 ～ 18	被災者は荷主に書類を届けた後、帰社するため自車の駐車場所に戻ろうと、道路を徒歩で横断していた。その際、横断経路左側の路肩に停車していたトラクターヘッドが後進して被災者を轢過したため、外傷性ショックにより死亡したもの。	221	17	10 ～ 29
2020	9	14 ～ 16	運搬先事業場前の道路上にて駐車中の自車トラックの後方で荷物の積み込み作業を行っていたところ、後方より別のトラックに追突され、自車、相手車に挟まれ死亡した。	221	17	10 ～ 29
2020	10	10 ～	配送センターにおいて、10tトラック用バス（プラットホーム高さ：1.3m）にて、4tトラック（種類：アルミバン、荷台高さ：1.0m）に荷の積み込みを終え、荷台後方でテールゲートを閉める作業中に、	221	7	30 ～

		12	荷台とプラットホームの高さ調整のために後輪下に設置していた台木（高さ：15cm）から後輪が落下したためトラックが後進し、トラックとプラットホームとの間に挟まれたもの。			49
2020	10	20 ～ 22	10トン車より冷蔵商品を配送していた被災者が、災害発生場所において、その配送車からフォークリフトを用いて荷下ろし作業をする際に、その積み荷を被災者が手前に引き出したところ、勢いあまり積み荷が被災者側に傾き、被災者の頭上から激突し被災したもの。	611	6	50 ～ 99
2020	10	8 ～ 10	原木をトレーラーより積み下ろす際、荷を積み下ろす側で何らかの作業をしていた運転手が荷台から落下した原木に巻き込まれたもの。荷締め用ワイヤーロープを解除後に、可倒式スタンションのピンを外すために荷の落下位置に立ち入ったものと推定される。	522	4	30 ～ 49
2020	11	18 ～ 20	被災者が運転していた4トントラックが、別事業場の労働者が運転していた10トントラックに追突された。	221	17	10 ～ 29
2020	11	18 ～ 20	被災者は、当該事業場の駐車場において、トラックを駐車させ下車したが、トラックが後方に動き出したため、トラックの後方に回り止めようとしたが、止まらず、フェンスとトラックに挟まれた。	221	6	100 ～ 299
2020	11	2 ～ 4	トラックで配送作業中、座席に置いていた書類が助手席側の窓から飛ばされたために、トラックを道路上に停車させて、降りて書類を探していたところ、高架橋の柵を乗り越えて墜落したもの。	418	1	50 ～ 99
2020	11	8 ～ 10	被災者は、配送先事業場の搬入口付近に4トントラックを停車させ、トラックの荷台に積んであったロールボックスパレットをテールゲートリフターで地上に下ろし、地上部から搬入口に敷いた合板上を移動させていたところ、地面と合板の間に生じた段差に当該パレットの車輪が引っ掛かったため倒れ、被災者が下敷きとなったもの。パレット上には、箱に入った飲料水（重量約300kg）が載せられていた。	362	6	30 ～ 49
		10	災害発生当日の午前中、被災者は事務所前に停めた自家用車を所定の駐車位置まで移動させようとした。運転席から身乗り出して自車を後退させ			30

2020	11	～ 12	ていたが、運転席から誤って転落し自車の車輪に轢かれた。被災者は被災直後意識があり、搬送先の病院で処置を受けたが翌日午前中頃に死亡したものの。	231	7	～ 49
2020	11	～ 16	被災者は、天井クレーンを使用してトレーラーの荷台から長さの異なる鋼材を荷下ろしする作業において、鋼材両端を玉掛けした際、鋼材を適切に玉掛けせず荷上げをし、本来荷下ろしする方向と反対方向に横移動させた結果、荷台上にいた被災者が押し出される形で地面に落下し、荷が振れ、鋼材が被災者頭部に落下し、死亡したものの。	211	4	1～ 9
2020	12	10 ～ 12	構内において、トラック後部の扉を開けようと、トラックに乗り込み前進しようとしたところ、車止めの取り忘れに気づき、エンジンを切らずにシフトをニュートラルにした状態で降車し、左前輪部の車止めを外したところ、輪部の路上が傾斜していたため動き出した。被災者は、トラックの前方にいたため、逸走したトラックに押され、前方に停車していた他車との間に挟まれて被災したものの。	221	7	100 ～ 299
2020	12	8 ～ 10	被災者は、ダンプトラックにて、建設現場で出た土砂を積んで走行中、道路左側の空き家に衝突し死亡したものの。	221	17	1～ 9
2020	12	～ 2	被災者はトラックで走行中、トンネル内において、工事のため1車線規制による渋滞中のところ、トンネル入口付近で最後尾の大型貨物自動車に追突したものの。	221	17	1～ 9
2020	12	～ 4	大型トレーラー同士が正面衝突し、片方のトレーラーを運転していた被災者が腹部を強く打ち死亡したものの。	221	17	10 ～ 29
2020	12	～ 14	冷蔵倉庫に横付けしたトラックからフォークリフトで荷下ろし中、後進していたフォークリフト後方を歩行していた被災者が後輪に巻き込まれ、死亡したものの。なお、フォークリフト運転者は無資格であった。	222	7	10 ～ 29
		6	被災者は、タンクローリーを運転し、緩やかなカーブを登坂していたとこ			50

2020	12	8	ろ、対向車線を走行していた大型トレーラーの運転手が、凍結した路面にて滑り急ハンドルを切ったことで、被災者が運転していた車両の正面に衝突したものの。	221	17	99
2020	12	14 ～ 16	被災者がフォークリフトを使用してトラックに荷の積み込み作業を行っていたところ、荷がトラックの荷台内部に接触し積荷が歪んだ。被災者は、エンジンをかけたまま運転席から離れ、ヘッドガードとマストとの間から荷の歪みを修正しようとしたところ、身体の一部がチルトレバーに接触したことにより、マストが後傾し、ヘッドガードとマストとの間ではさまれたものの。	222	7	29
2020	12	8 ～ 10	工場敷地内の軽炭受け入れサイロ前において、被災者が単独で粉粒体運搬車にて石灰の荷降ろし作業中、車載タンク上部の作業台上（約3.3m）に設置されているマンホールの状態を確認していたところ、石灰が噴出してマンホールの蓋（直径約55cm）が吹き飛び、被災者が地上まで墜落し死亡したものの。	221	6	29
2020	12	0 ～ 2	定期便の運行業務において、セミトレーラーで高速道路を運行途中、高速道路を降り一般道を約1時間走行後、行き止まりの車両とほぼ同じ幅の道に入り込んだ後、その場所から脱出しようと車両を後退させたところ右後方をガードレールに接触、接触した場所を確認するため車両から降りた後、脇を流れる川に転落。車両停車位置の下流で発見。その場で死亡が確認されたものの。	221	1	99
2020	12	4 ～ 6	被災者は、トラックで降雪の高速道路を走行中、多重衝突による交通事故により死亡した。当該災害は、ガードレールに衝突し停車していたトラックに、後続車が追突したものである。事故発生時は冬用タイヤ装着規制が敷かれ、路面が凍結していた。	715	17	99
2019	1	14 ～ 16	搬送先で積み荷を降ろし、次の搬送先に向かう途中、過重労働によりくも膜下出血を発症し、倉庫壁面に接触しながら停車していた乗用車に追突した。病院に搬送されたが、翌日死亡した。	911	90	29
		0	被災者は2トントラックを運転中、国道において、前方で信号待ちをして			50

2019	1	1	いたタンクローリー（L P ガスを積載）に追突し、運転席に挟まれた結果、救助されたが意識不明の重体で、翌日の午前死亡が確認された。	221	17	17	99
2019	1	0	片側1車線の道路を走行中、誤って対向車線にはみ出し、対向車と正面衝突したもの。対向車の運転手も重傷を負った。	221	17	17	9
2019	1	16	被災者はドライバーである。当日の業務が完了し会社の駐車場に車を止めた後、日報等記載後、当該駐車場から約300m程の場所に位置する事務所へ向かい歩いていたら第三者が運転する乗用車に轢かれたもの。	231	17	17	9
2019	1	12	国道にて、工事現場に鉄板を搬送中であつたトレーラーが横転し、運転手が死亡したもの。	221	17	17	29
2019	1	4	4トントラックを運転して県道を走行中、反対車線にはみ出したため、対向車の10トントラックに正面衝突した。	221	17	17	49
2019	1	14	事業場の敷地内で、解体用つかみ機を使用しFRP製タンクの破碎作業中、つかみ具でタンク内部の鋼管（円形、直径5cm、約20kg）3本を楕円形状につぶしていたところ、2本の鋼管をつかんだときに1本の鋼管（長さ約2.8m）が横方向に飛び、付近にいた被災者の腹部に激突した。	145	4	4	29
2019	1	12	被災者は、配送先である介護施設にて、利用者の食事の空容器等が入った配膳カート（重さ約140kg）をテールゲートリフターで3tトラックに載せる作業中、配膳カート1台を積み終え、2台目を積もうとしていたところ、何らかの要因で倒れ、当該カートの下敷きになった。	362	6	6	299
2019	2	10	ダンプトラックで土砂を運搬中、道路左側の標識に衝突して横転。さらに横転したまま20メートル先の電柱に衝突して停車した。	221	17	17	9
		0	トラックを運転して荷物を輸送中、高速道路のパーキングに停車したところ				30

2019	2	2	ろ、急に胸に痛みを感じ、運転席のそばで倒れた。その後、救急車で病院に搬送されたが、急性心筋梗塞により死亡した。	921	90	～ 49
2019	2	8 ～ 10	被災者が、自らが保守管理する冷凍冷蔵車のオイル交換等のために自動車整備工場に同車両を持ち込み、自動車整備事業者によりオイル交換等が行われていた際、同車両後部側にうつぶせの状態で見られている被災者が発見されたものである。同車両の荷台床面の高さは1.43mであるが、発見時はジャッキアップされて、工場床面からの高さは1.93mであった。現認者はいない。	221	1	10 ～ 29
2019	2	12 ～ 14	被災者は配送先の工場への納品のため、4tトラックを搬入口につけ、トラックの荷台にあるロールボックスパレットを下ろそうとしたところ、テールゲートリフター上でロールボックスパレットが倒れ、倒れてきたロールボックスパレットに被災者がはさまれたもの。	362	7	10 ～ 29
2019	2	0 ～ 2	被災者は、車輛運搬トレーラを運転し、自動車の輸送業務を行っていた。被災者は自動車販売店近くの公道にトレーラを停止し、積んできた車両を全て降ろし、降ろした車両の内1台をトレーラの荷台の二階部分（高さ約3m）に積み込んだ。同僚がトレーラの荷台の横で頭部から血を流して倒れている被災者を発見した。午前11時9分通報。通報から1時間半後に死亡が確認された。	221	1	10 ～ 29
2019	2	4 ～ 6	被災者は、配送先から事業場に帰社途中、休憩のため立ち寄ったサービスエリア内の駐車場において、トイレ等の建物がある方から自社のトラックに向かって歩行中、普通乗用車に撥ねられたもの。	231	17	30 ～ 49
2019	2	6 ～ 8	公道を走行していたトラックが交差点付近の凍結した路面でスリップし、そのままコンビニエンスストアの駐車場に侵入し、駐車場でトラックにタイヤチェーンの装着作業を行っていた被災者に激突した。	221	17	50 ～ 99
2019	2	8 ～ 10	中型トラックを運転して国道を走行していたところ、国道を反対方面に向かって走行中の大型トラックと正面衝突した。	221	17	1～ 9
		8				100

2019	2	～ 10	配送途中、道路上にて、休憩のため側道で停車していた際、虚血性心疾患により死亡したもの。	921	90	～ 299
2019	3	～ 6	4 交差点において被災者の運転するトラックが走行する乗用車の側面に衝突した。トラックはその弾みで電柱に衝突し横転、被災者は後頭部の脳挫傷により死亡した。	221	17	1～ 9
2019	3	～ 14	12 被災者は、携帯電話基地局に使用されていた電柱（長さ15m、重量約2.2トン）を車両積載形トラッククレーン（つり上げ荷重：2.93トン）に積み込む作業中、荷台前方の鳥居部の助手席側に電柱の先端を一旦載せ、鳥居部の運転席側に電柱先端部をずらそうと荷台上でリモコンを操作し、ジブを伸ばして荷台後方に電柱を引いたところ、鳥居部から電柱の先端が落ち、過荷重でジブが折れ、電柱が落下して被災者に当たった。	212	4	10 ～ 29
2019	3	～ 10	8 毎月開催される会議に出席するため、軽自動車を運転して自動車道を走行中、トンネル出口付近で、対向してきた乗用車がセンターラインを超えて進入し、正面衝突したもの。	231	17	50 ～ 99
2019	4	～ 10	8 自動車道のインターチェンジから入った高架の車道の直下の約9メートル下の草地に墜落している被災者が発見されたもの。被災者は、取引先に石膏ボードを納入し、残りの石膏ボードを別の取引先に納入する予定であり、インターチェンジの入口近くの路側帯上（被災者が墜落した直上の道路路上）に貨物自動車を止めていたもの。	221	1	30 ～ 49
2019	4	～ 20	18 被災者は、営業所からトラックを運転中、高速道路上において、体調が悪くなり、路肩にトラックを停車させていたところ、高速道路管理会社のパトロール隊に発見され、救急車により福島県ふたば医療センター附属病院に搬送されたものの、広範急性心筋梗塞のため死亡した。	921	90	50 ～ 99
2019	4	～ 8	6 事業場事務所棟において、被災者が内部階段2階踊り場から1階までの清掃作業を行っていた際、足を踏み外したため、1階階段下まで転落、頭部を強打し、脳挫傷により後日死亡したもの。	413	1	50 ～ 99
			水産仲卸売場棟1階で、ターレット式構内運搬自動車（以下「ターレ」と			

2019	4	0 ～ 2	いう。)を使って同棟4階へ集荷に行こうとした自動車運転者がエレベーターに乗り込む時、上から降りてきた扉に頭部が激突した。接触したことにより安全装置が作動し、扉は停止したが、加速したターレが前進したため扉に頭部がひっかかり、バックガードと扉の間に頸部を挟まれ、死亡したものの。	229	3	30 ～ 49
2019	4	4 ～ 6	県道の路肩に停車した大型トラック（ウイングボディ）のわきで、被災者があおりとガードレールに首を挟まれた状態で発見され、病院へ搬送されたが、搬送先の病院で死亡が確認されたもの。	221	7	30 ～ 49
2019	4	4 ～ 6	被災者は、牛を積み込むために家畜車（最大積載量12.6t）を運転して、国道を走行していたところ、交差点で信号待ちをしていたトレーラーに追突したものの。	221	17	10 ～ 29
2019	4	4 ～ 6	被災者は、プラットフォーム上に仮置きしていた荷（パレット2段積み）のうち、2段目の荷を所定の位置へ運搬するため、フォークリフトを運転し、フォークを2段目パレットの高さまで上昇させた後前進させたところ、急加速し、プラットフォーム端部から1.3m下の地面までフォークリフトごと転落した。運転席から投げ出された被災者は、フォークリフトの下敷きとなり死亡した。	222	1	30 ～ 49
2019	4	8 ～ 10	被災者は大型トラックの運転手として勤務。事業場を出発し、7時間後に道の駅の駐車所にて、車内で意識を失っているのを発見され、その後病院に搬送されたが、くも膜下出血で死亡したものの。	921	90	1～ 9
2019	5	0 ～ 2	長期にわたり不規則な長時間労働を継続していたところ、被災者自宅で心肺停止となり死亡したものの。	921	90	30 ～ 49
2019	5	16 ～ 18	トラック運転手が、駐車場でトラックの積み荷の荷崩れ確認を行っていたところ、トラック荷台のステップに掛けていた足が、荷台ウイングの開閉ボタンに当たり、荷台のウイングが閉まり、頸椎を挟まれた。	221	7	10 ～ 29
2019	5	0 ～	出張中のホテルでくも膜下出血により死亡。	921	90	100 ～

		2				299
2019	5	6 ～ 8	被災者は、会社から塩ビパイプを配送するため走行中に、トンネル南交差点の前で赤信号待ちのため停車していたトラックに衝突し、意識不明で病院に搬送された。後日搬送先の病院にて死亡した。	221	17	10 ～ 29
2019	5	12 ～ 14	荷積先の事業場において、荷積先の作業者が10トントラックの荷台にアルミニウムの切り粉をフォークリフトで積込み、ドラグ・ショベルでならす作業を行っていたところ、トラックの運転者がトラックの荷台上で切り粉に埋もれた状態で発見された。	221	1	10 ～ 29
2019	6	12 ～ 14	被災者がトラックの荷台に土砂を載せて公道を走行中に路肩から転落した。	221	17	1～ 9
2019	6	18 ～ 20	被災者は納品のため、トラック荷室からテールゲートリフター（以下、「リフター」という。）を使用し、飲料水等の商品が入ったロールボックスパレット（以下、「かご車」という。）を荷卸ししていた。被災者は、かご車2台を荷室からリフターの昇降板で、地上に卸していたところ、昇降板が接地する直前に、かご車が転倒し、その下敷きとなったもの。	611	6	100 ～ 299
2019	6	0 ～ 2	自動車道上にて被災者の運転していたトラックが前方で横転していたトラックに衝突したもの。	221	17	30 ～ 49
2019	6	12 ～ 14	4tトラックを運転し集荷のため走行中、道路補修工事現場に止められていた工事用車両に追突し、搬送先の病院で死亡した。また、トラックが追突して押し出された工事用車両により、工事現場の作業員2名が負傷した。	221	17	1～ 9
2019	6	0 ～ 2	労働者1名がトラック（最大積載量14トン）を運転し、荷を搬送中、自動車道トンネル手前で、中央分離帯に接触し、反動でトンネル入口付近のコンクリート壁に激突し、死亡したものである。なお、トラックは同乗者が1名おり、負傷したが、労働者ではなかった。	221	17	10 ～ 29

2019	6	4 ～ 6	タンクローリーにて液糖を運搬中、高速道路側壁に激突・横転した。	221	17	10 ～ 29
2019	6	20 ～ 22	出張先においてトラック（最大積載荷重2.1トン）の荷台後方から墜落して頭部を強打し、救急搬送され入院したが、16日後に死亡した。なお、保護帽は着用していなかった。	221	1	1～ 9
2019	6	8 ～ 10	フォークリフトを運転してパレットの運搬作業中、敷鉄板上を後進していたところ、左後輪が敷鉄板から脱輪した。フォークリフトが左側に傾いたため、被災者は運転席から飛び降りたが、転倒したフォークリフトと地面との間に挟まれ、搬送先の病院にて死亡した。	222	2	10 ～ 29
2019	6	14 ～ 16	自社倉庫敷地内において、トラック（最大積載量7.5トン）に荷（石膏ボード）を積んだ後、シート掛けのために、被災者ともう1名で荷の上にて作業していたが、荷台前部へ移動中、荷の間隙（約20センチメートル）に足を取られた結果、バランスを崩して2.67メートル下の地面に墜落し、頭部挫傷により約8時間後に死亡した。作業時、被災者とその同僚も保護帽を着用していなかったもの。	221	1	10 ～ 29
2019	7	2 ～ 4	被災者が運転する大型トラックほか複数台の車両が衝突、接触する交通事故が高速道路で発生したもの。上記事故現場で倒れていた被災者の死亡が確認された。	221	17	50 ～ 99
2019	7	6 ～ 8	貨物運送業務のため支店を出発し翌日に、高速道路上で本人から体調不良のため救急車を呼びたいと連絡があった。その後、意識不明の状態に救急搬送され、一時心臓の動きが回復したものの死亡した。病名はくも膜下出血。	921	90	50 ～ 99
2019	7	6 ～ 8	貨物自動車です道を走行中、走行車線の左側縁石に接触し、右側に弾んで対向車線の貨物自動車と正面衝突し、左側に弾んで走行車線の左側縁石に再び接触し、右側に弾んで対向車線の貨物自動車（最初に衝突した貨物自動車の後ろを走っていた）の右側に衝突し、運転者が死亡した。	221	17	10 ～ 29
			工場内において、オペレーターが、移動式クレーン（リフティングマグ			

2019	7	10 ～ 12	ネット装着)を運転して、被災者の乗っていたトレーラーの荷台のスク ラップを持ち上げた。被災者が持っていた竹ぼうきも吸い付いてきたた め、ドラグショベルを降り、トレーラー荷台を見に行ったところ、被災者 が倒れていた。	212	6	～ 29	10
2019	7	6 ～ 8	荷配送のため4 tトラック(平ボディータイプ)を運転し、配送先付近の コンビニエンスストアに駐車し、買い物をした後に、あおりを下げた荷台 の積み荷を確認した際、約1.1 m下のアスファルト舗装面に、頭部より 墜落したもの。災害発生後、入院治療を受けていたが、2か月半後に死亡 したもの。	221	1	～ 29	10
2019	7	16 ～ 18	事業場に最大積載量13トンのトラックで鋼製の型枠材を運送する途中、 駐車場に停車した際に、あおりを開いて積荷の再荷締または増締を行って いたところ、高さ約1.5メートルの荷台から転落し頭部および全身を強 打した。その後、病院に搬送されたが、3日後に死亡した。転落時、被災 者は保護帽を着用していなかった。	221	1	～ 29	10
2019	7	10 ～ 12	朝からトラックの荷物の積み下ろし作業を行っていたところ、体の不調を 訴え休養するも回復しないため病院で治療を受けたが、翌日死亡した。	921	90	～ 99	50
2019	7	2 ～ 4	夜間作業の道路舗装工事に使用する合材をダンプトラック(10 t)で建 設工事現場まで3回ほど運搬し、運搬作業終了後、自社に帰るため、災害 発生現場の県道を走行中、進行方向左側の花壇に接触した後、右側の民家 のブロック塀に衝突した。(推定)ダンプトラックを運転していた被災者 は、外傷性ショック等により死亡した。	221	17	～ 29	10
2019	7	10 ～ 12	工場において、トラック荷台に積まれた鉄材のスクラップをマグネットの アタッチメントを取り付けたドラグ・ショベルで荷降ろしする作業を行っ ていた。トラック荷台の床面付近をドラグ・ショベル先端のマグネットで 複数回往復させたところで同僚がトラック内に被災者が倒れていることを 発見したもの。マグネットがトラック荷台にいた被災者の頭部に激突した ものと推定される。	212	6	1～ 9	10

2019	7	14 ～ 16	荷主先においてトラックの荷台で積み荷作業を行っていた被災者が、救急搬送後、同日22時28分に死亡し、直接死因の原因が熱中症とされたもの。	715	11	50 ～ 99
2019	7	8 ～ 10	客先の牧場において、被災者と同僚の合計2名で、トレーラーのコンテナから牧草の荷卸し作業を行っていた。直方体（88cm×125cm×130cm、重さ500kg）で2段積みされていた下段の牧草にワイヤロープが付いたフックを打ち込み、フォークリフトでワイヤロープを引っ張って引き出していたところ、崩れそうになった上段の牧草を被災者が支えようと近づいた際、うつ伏せに転倒し、その上に牧草が落下したもの。	611	5	50 ～ 99
2019	8	0 ～ 2	会社で点呼後、10tトラックを運転し、荷（空ドラム缶）配送先に向けて出発したが、災害発生場所のバイパス出口において、分岐部のクッションドラムや標識柱に接触、横転し、胸部等を強打して死亡した。	221	17	1～ 9
2019	8	10 ～ 12	被災者は工場内で木材チップを大型トラックに積み込み、発電所でショベルローダーを使用し、単独で積み降ろし作業をした。積み下ろし作業を終えた被災者本人から会社に体調がすぐれない旨の連絡あった。同所に荷物を運んでいた別のトラック運転手が様子を確認したところ、意識を失い座席に座ったままの被災者を発見した。	715	11	30 ～ 49
2019	8	16 ～ 18	被災者（トラック運転手）は、自社倉庫内で荷役作業員ら2名と荷卸し作業を行っていた。荷卸し後、荷台に翌日使用するパレットを積み終え、荷役作業員らがフォークリフトを片付け戻ってくると、被災者が荷台後方の地上で仰向けに倒れていた。荷台の高さは約1m。被災者が直前まで着用していたヘルメットは脱いで助手席に置かれており、荷台にはラッシングベルトが一部付けられた状態であった。災害から約1か月後に死亡した。	221	1	1～ 9
2019	8	4 ～ 6	支店構内のトラックドックにおいて貨物自動車（最大積載量3,100kg）の運転手が荷下ろし作業の準備のため、荷台左側のウイング及びあおりを開いた際、ロールボックスパレット（荷の重量425kg）1台が荷台から飛び出し、被災者に当たって被災者が転倒し、後頭部をコンクリートの床に打ち付け受傷した。なお、被災者は1人作業であり、保護帽は着	362	4	1～ 9

			用しておらず、前頭部も負傷していた。			
2019	8	10 ～ 12	被災者は、駐車場にてセミコンテナトレーラーのボディをコンテナを積載しているシャーシーに接続した後、接地しているシャーシーを切り離すハンドルを操作した。操作後、サイドブレーキが引かれていなかったセミコンテナトレーラーは自走を始めた。運転席に乗りこもうとしたところ、隣のコンテナとセミコンテナトレーラーとの間に挟まれたもの。	221	7	10 ～ 29
2019	8	6 ～ 8	トラックを運転中、赤信号で止まっていたトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2019	8	10 ～ 12	被災者が7トン冷蔵用トラックを運転中、中央分離帯を乗り越え、横転して対向車線の軽ワゴン車と軽自動車を巻き込み、ガードレールに衝突したものの。	221	17	10 ～ 29
2019	9	0 ～ 2	道路（片側2車線道路の左側）をトラックで走行中、左ガードレールに接触し側道にそれ、道路沿いにある店舗入り口付近に衝突し、外傷性出血性ショックにより死亡したものの。	221	17	10 ～ 29
2019	9	8 ～ 10	市道を走行中にトラック前輪のバーストにより、運転が制御できなくなり、乗用車5台と歩行者に接触した。接触した結果、道路沿いの石屋川にガードレールを突き破って転落した。	221	17	10 ～ 29
2019	9	10 ～ 12	10トントラックにて商品を搬送中、トラックが左端によって行き、1本目の街路樹（歩道側）に接触し、2本目の街路樹（歩道側）に衝突した災害。被災者は病院に入院し治療していたが、災害発生から9日後に死亡した。	921	90	10 ～ 29
2019	9	0 ～ 2	被災者は、荷下ろし後に車庫に戻るため、市道を運転していたが、鉄道高架下の道路に入った際に被災者の運転する4tトラックが水没した。災害発生日の正午頃、被災者より所属事業場に4tトラックが水没し動けなくなった旨の連絡があったが、以降、連絡が取れなくなった。その後、同日夜に被災者が発見され、死亡が確認された。	713	10	30 ～ 49

2019	9	10 ～ 12	線路（上り線側）沿いの一方通行の市道を走行してきた大型トラック（13.2 t）が、市道から踏切を右折しようとして切り返し、踏切内で立ち往生している際、列車がトラック側面に衝突し、トラックは大破炎上、列車は先頭車両等が脱線した。この衝突で、トラックを運転していた労働者が車外に放出され死亡、列車の運転士及び車掌が負傷した。また、当該列車の乗客30名が負傷した。	221	17	1～ 9
2019	9	20 ～ 22	被災者が構内で、低速で走行してきたトラックの前輪にひかれ、2～3mひきずられたもの。病院に搬送されたが翌日に死亡したものの。	221	7	100 ～ 299
2019	9	12 ～ 14	国道をトラックで走行中、渋滞中の最後尾のトレーラーに追突し、その勢いで3台の玉突き事故となり、被災者は胸部を圧迫され、同日死亡したものの。	221	17	30 ～ 49
2019	9	16 ～ 18	駐車場に営業トラックを止め、事業場へバイクで向かっていたところ、一般道入り方で自損事故を起こした。	231	17	10 ～ 29
2019	9	0 ～ 2	被災者がタンクローリーにて道路を運転中、カーブを曲がり切れずに道路左側のコンクリートの擁壁に衝突したものの。	221	17	10 ～ 29
2019	9	10 ～ 12	ダンプに玉砂利を積載、運搬してきた運転手が誤って砂のストックヤードに砂利を投下したため、4名の作業員と2名の運転手が砂の山の上で砂に混入した玉砂利を取り除く作業を手作業で行っていたところ、閉じていた砂山の底のホッパーが開き、砂がベルトコンベアーに流れたことで擂鉢状の穴が生じ、運転手1名が引き込まれるように生き埋めとなった。	391	5	1～ 9
2019	9	2 ～ 4	店舗の駐車場において、当日の荷降ろしの時間まで待機しようとして就寝していた被災者が、息苦しさを感じたため、救急搬送されたが、急性心筋梗塞により死亡したものの。	921	90	1～ 9
		2	自動車道上り線で、A社のトラックがパンクのため停車していたところ、B社のトラックが追突し、さらに、そこへ被災者が運転するC社のトラックが			10

2019	9	～ 4	追突したものの。被災者は頭を強く打って死亡した。他2台の運転手のうち、A社の運転手に怪我はなく、B社の運転手は軽傷を負った。	221	17	～ 29
2019	10	～ 10	8 木材加工会社の保管庫に木材チップを受け取りに行き、その保管庫から チップをトラックに移す作業中に、チップに埋没しているところを発見され、病院に救急搬送されるも、窒息により死亡したものの。	418	1	～ 29
2019	10	～ 4	2 中型トラックで高速道路を走行中、パーキングエリアに入るため流入路に 進入したところで流入路の右側に停車していた大型トラックに追突し、追 突された大型トラックがさらに前方に停車していたセミトレーラーに追突 した。	221	17	～ 99
2019	10	～ 16	14 被災者はトレーラーを運転し片側1車線の道路を走行していたところ、左 カーブを曲がり切れず対向車線にはみ出して横転し、対向してきた大型ト ラックと正面衝突した。被災者は頭を強く打ち死亡し、大型トラックの運 転手は右足骨折の重傷を負った。	221	17	～ 29
2019	10	～ 16	14 クレー射撃場新設工事において、現場の地盤改良等のために埋設してあっ た土留めシートパイル（幅450mm、長さ6100mm、390kg） を引き抜き10枚重ねたものを25トンラフターを用い、トラックに荷積 みしていたところ、荷積み位置を調整していた被災者が荷台より飛び降 り、直後に落下してきたシートパイルの下敷きとなったもの。	611	5	～ 49
2019	10	～ 12	10 被災者は運輸先にて荷卸しのため待機中、胸が苦しくなって手足に力が入 らなくなり、救急車で病院へ搬送され「急性大動脈解離」により入院加療 していたが、後日「脳梗塞」より死亡したものの。	921	90	～ 299
2019	10	～ 6	4 被災者は、最大積載量13.8tの貨物自動車を用い、貨物を運送してい たところ、自動車道下り線において、前方で横転したトレーラーに衝突 し、死亡した。玉突き事故にはならなかったが、被災者の隣からトレー ラーに衝突した中型トラックの運転手も死亡し、トレーラーの運転手は軽 傷を負った。	221	17	～ 99
			貨物自動車で自動車道下り線の追い越し車線を走行中、前方で横転・停止			

2019	10	4 ～ 6	していたトレーラーに衝突し、右側に弾んで追い越し車線の右側に接触した後、今度は左側に弾んで走行車線の左側に衝突して停止し、貨物自動車の運転者が死亡した。（なお、被災者の1台前を走行していた別の貨物自動車についても、同様にトレーラーに衝突して、運転者が死亡した。）	221	17	～ 99	50
2019	10	10 ～ 12	災害発生地である事業場に所属する労働者がフォークリフトを用いて荷の積み替え作業を行っていたところ、荷の一つがバランスを崩し倒れそうになった。被災者はその荷を支えようとしたが支えきれず、荷の下敷きになり死亡したものの。	611	4	～ 49	30
2019	10	16 ～ 18	配送先の倉庫にて、従業員が帰宅するためトラックヤードの近くを通りかかったところ、停車しているトラックの後ろに人の腕だけが見えた。不審に思い事務所に戻り、その旨を報告し、建物側から確認したところ、トラックの荷台とバース端のクッション材に挟まれている被災者を発見したものの。	221	7	～ 299	100
2019	10	8 ～ 10	配送先において、最大積載量28.4tのトレーラーの荷台上で荷に掛けられたシートを畳む等の荷下ろし準備作業を行っていたところ、高さ148cmの荷台上から墜落したものの。	221	1	～ 29	10
2019	10	10 ～ 12	配送先から事業場へ帰る途中、高速道路下り線の追い越し車線に停車していた大型トラックと衝突した。	221	17	～ 99	50
2019	11	2 ～ 4	被災者が、トラック（最大積載量3トン）を運転して商品を配送するため高速道路を走行中、故障により路肩に停車していた大型トラックの後部右脇に衝突し、トラックが横転した。	221	17	～ 49	30
2019	11	6 ～ 8	配送先の事業場構内において、トラックの荷台内部で積荷である大理石の机の天板（重さ約80kg）2枚の下敷きになっている被災者が発見されたものの。	611	5	～ 29	10
2019	11	2 ～	被災者が、配送先にて、駐車場にトラックを停車させ、店内へ荷物を配送するためトラックの荷台から降りようとしたところ、車両ステップを踏み外し、墜落したものである。なお、保護帽は着用していなかった。被災者	221	1	1～ 9	

		4	は災害発生8日後に死亡した。			
2019	11	10 ～ 12	被災者がトラックに乗り、高速道路を運転していたところ、渋滞していた最後尾の車両に追突し、被災者が死亡したもの。	221	17	30 ～ 49
2019	11	8 ～ 10	倉庫にて、1人で飼料運搬車に飼料を積み込む作業を行っていた被災者が同運搬車付近で倒れているところを発見されたもの。フォークリフトで、同運搬車の飼料タンク上まで吊り上げられた飼料用バッグは下部の投下口が開いていて空だった。また、同タンクは満杯で上部の蓋は開いていた。被災者は、保護帽、安全带ともに未着用であった。	221	1	10 ～ 29
2019	12	14 ～ 16	整備が終了したトレーラにトラクタを連結するにあたり、整備工場の運転手がトラクタに乗り込み、後進させトレーラに近づいた際、トラクタ左後方にいた整備員である被災者に接触した。接触したことにより被災者は転倒したが、転倒したことに気付かなかった運転手がさらにトラクタを後進させたため、被災者がトラクタの左後方車輪に轢かれたもの。被災者は骨盤骨折による出血性ショックで死亡した。	221	6	30 ～ 49
2019	12	22 ～ 24	4トントラックを運転し、客先に向かうため県道走行中、何らかの理由により中央分離帯に接触後対向車線を通り抜け、店舗の看板のポールに激突し、出血性ショックにより死亡した。	221	17	50 ～ 99
2019	12	10 ～ 12	会社の敷地において、被災者が積載荷重30480kgのトレーラーにチップを積み込みシート掛けを行っていたところ、トレーラーの荷台から363cm下の地面に墜落したものと推定される。なお被災者は一人で作業を行っており当該作業を現認した者はいない。	221	1	1～ 9
2018	1	20 ～ 21	運輸支店敷地内において、荷主事業場より集荷した荷物の搬入を行うため、大型トラック（最大積載量9.6t（以下、「トラック」という。））を、荷卸し場（以下、「プラットホーム」という。）に着けようと後退させたところ、プラットホームの下にいた被災者が、トラック荷台後部とプラットホームの間に胸部を挟まれた。	221	7	50 ～ 99

2018	1	0 ～ 1	被災者は、事業場へ荷物を運ぶため、所属事業場の車庫を出発したが、高速道路で前方を走行していた大型トラックの後方に追突した。なお、追突されたトラックの運転手に負傷なし。	221	17	～ 29	10
2018	1	12 ～ 13	トラックの荷台（高さ約1m）から荷卸し作業中に、トラック荷台内にあったラッシングベルトに足を引っ掛け、地面に頭から転落したものと推測される。保護帽は着用していなかった。	221	1	～ 29	10
2018	1	18 ～ 19	荷積みに来た運送業者が構内のプラットホーム下に倒れている被災者を発見、救急搬送するも、翌日午前中死亡（死因：頭蓋骨骨折、急性硬膜下血腫）した。被災時の目撃者はおらず、被災者が出張から戻った以降の行動が不明であるが、次の出荷に向けプラットホーム上で人力による仕分け作業をしていたところ、プラットホーム端部から1.3m下に墜落したものと推定される。	416	1	～ 29	10
2018	2	22 ～ 23	事務所で事務作業に従事していたところ、激しい頭痛を訴え、顔色が白くなったため、救急車を呼んだ。入院加療中であったが、後日くも膜下出血により死亡した。	921	90	～ 49	30
2018	2	8 ～ 9	被災者は、鉄骨柱、鉄骨梁約9トンを積み込んだトラックを運転し建設現場に搬入。当該鉄骨の荷下ろしは現場職員が行い、被災者はトラック付近で当該荷下ろし作業を見ていたところ、積荷の鉄骨梁が荷台から落ちて被災者に当たった。	611	4	～ 99	50
2018	2	8 ～ 9	荷主場所から荷を積み込み出発し、翌々日に精米工場に米を配送した。工場到着後、30kgの袋をトラック荷台から床に荷卸しする作業を行っていた被災者が、トラック右後方で倒れていたのを現地担当者が発見した。救急搬送されたが、意識がもどらず死亡した。	999	90	～ 49	30
2018	2	0 ～ 1	駐車場において、15tトラック（低床ウイング車）キャビン側のコンクリートの地面に倒れていた被災者が、出勤した別労働者に発見された。発見時に意識・呼吸等なしであった。被災者は、配送業務を終えて事務所に帰庫の報告を済ませた後、第5駐車場に移動し、トラックキャビンの清掃作業を行っていたところ、トラックキャビンの屋根上から地面に墜落	221	1	～ 299	100

			し、頭部打撲して死亡したものと推定される。			
2018	2	8 ～ 9	出社した被災者が、朝方、事業場内で倒れているのが発見され、救急搬送後に死亡確認されたもの。	921	90	50 ～ 99
2018	2	14 ～ 15	マンション新築工事現場において、移動式クレーンを用いて鉄筋の（総重量約360キログラム）6個の束を、輸送してきた運送会社の労働者（運転手）が玉掛け作業を行い、9階につり上げていたところ、6個のうち1個の束が外れ地上に落下し、運送会社の労働者の頭部に当たり死亡。	372	4	10 ～ 29
2018	2	0 ～ 1	被災者が、1人で運転していた車両総重量24970kgの貨物自動車の異常を感じたため、国道上で、交差点付近の道路右側に停車した後、当該自動車左側前から2輪目のタイヤ付近から出火し、毛布で出火場所を覆うことで消火活動を行っていたところ、当該タイヤが破裂し、重症頭部外傷により死亡したもの。	221	17	10 ～ 29
2018	3	4 ～ 5	林道で雪のため車が動けなくなったとの救助要請により、被災者と同僚2名はレスキュー車で現場に向かったが、レスキュー車も雪のため動けなくなった。被災者は救助要請者の車又はレスキュー車を救助に来た除雪車に向けて徒歩で移動していたところ連絡が取れなくなった。警察、消防及び自衛隊で捜索したところ、林道に倒れている被災者を発見したもの。	715	11	1～ 9
2018	3	12 ～ 13	国道を南下していたトレーラーが、交差点の手前50メートル付近において、右折車線から対向車線の追越車線にはみ出たため、当該追越車線を北上していた被災者の運転するトラックに正面衝突した。当該トラックはオフセット衝突により運転席が大破し、被災者は頭部等を強く打ち死亡した。事故当時は雨が降っており、トレーラーは速いスピードで走行していた。	221	17	10 ～ 29
2018	3	12 ～	被災者が、納品先のドラッグストアで納品を終えた後、運転席に乗り込みドアを閉めたところ、広告用の幟をドアに挟んでしまった。ドアを挟んだことに気づかずに被災者がトラックを発進させたところ、幟が動き出したため、トラックを停車し、運転席のドアを開けながらトラックを後退さ	221	6	10 ～

		13	せたところ、被災者が運転席から墜落し、そのまま後退をしているトラックと金属製の車止めにはさまり死亡した。			29
2018	3	0 ～ 1	工場内において被災者は車輦内で待機中、気分が悪くなり、車輦を降りて、構内の事務所にいる職員へその旨を伝えに事務所に向かった。その途中、事務所の出入り口付近で被災者は倒れた。すぐに職員が消防へ連絡をし救急車にて搬送。	921	90	30 ～ 49
2018	3	0 ～ 1	別の追突事故により高速道路上に停車していた2台のトラックに、約20分後に別のトラックが追突し、当該の運転手が死亡したもの。	221	17	10 ～ 29
2018	3	4 ～ 5	オークション会場に車を納車後、徒歩で駅に向かっていたところ、後方から来たタクシーに被災者が持っていたキャリーバッグが接触、車側に引きずられると同時に被災者本人も引きずられ頭部を強打した。	231	17	10 ～ 29
2018	3	10 ～ 11	被災者は、一般国道入口付近をダンプトラック運転中、くも膜下出血により意識を失い、対向車線側の道路横へ転落した。後日右中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血を原因とした脳梗塞により死亡したものの。	921	90	1～ 9
2018	3	14 ～ 15	トラックの荷の積み込み作業を終えて運転席に戻ろうとしたときに、別会社の労働者が運転するトラッククレーンにはねられて死亡したものである。	212	6	10 ～ 29
2018	3	12 ～ 13	3トントラックで食品の配達中に、県道を走行中虫をはらうために脇見をしたところ、走行車線右側の電柱に激突し、全身負傷、足を切断した。	221	17	30 ～ 49
2018	3	16 ～ 17	高速道路において、走行していた大型トラックが、渋滞により減速した大型観光バスに後方から激突したものの。大型トラックの運転手が死亡し、大型観光バスの乗員乗客38名が負傷したものの。また、大型観光バスが事故の衝撃により、前方に停車していた別の大型トラック（以下、「大型トラックB」という。）に激突し、大型トラックBの運転手も負傷したものの。	221	17	50 ～ 99

2018	3	16 ～ 17	被災者は事業場所有の乗用車を運転し、事業場の郵便物を近くの郵便ポストまで出しに行き、その後事業場へ戻る途中に運転操作を誤って、道路脇の電柱及びガードレールに衝突し頸椎損傷を負った。その後、被災者は入院して治療が行われていたが、後日死亡した。	231	17	30 ～ 49
2018	3	4 ～ 5	荷物を運搬途中、車両トラブルが発生し、高速道路の2車線のうち、左側の走行車線に停車した。車両トラブル解消のために車外で作業を行っていたところ、後ろから大型トラックに追突されて死亡した。	221	17	1～ 9
2018	4	8 ～ 9	被災者は集荷先の構内において、コンテナ（幅1.7m、奥行き1.1m、高さ1m）入り馬鈴薯の積み込み準備作業のため徒歩で移動していたところ、荷主従業員が運転する前進してきたフォークリフトの荷（コンテナ2個をロングフォークで水平に保持）に接触、転倒し、轢かれて死亡したものの。	222	7	10 ～ 29
2018	4	4 ～ 5	冷蔵庫で商品を積み込んでから、納品先へ向け走行中、高速道路上り線で前方大型車へ追突したものの。	221	17	100 ～ 299
2018	4	0 ～ 1	被災者が運転するトラックは、交差点を直進するため進入したところ、対向車線から右折しようとしたトラックに衝突したものの。	221	17	10 ～ 29
2018	4	16 ～ 17	被災者はコンクリート製品製造工場の製品置き場において、吊り上げ荷重2.93トンの車両積載型トラッククレーンをリモコンで操作し、コンクリート製品の荷台への荷積み作業を行っていたが、作業中、当該クレーンのジブが積み込む対象とは別のコンクリート製品（いわゆるU字溝）に衝突したのか、4段に積まれた製品の最上段の製品が落下し、下でクレーンを操作していた被災者に激突したものと推定される。	611	4	10 ～ 29
2018	4	0 ～ 1	国道を時速約70kmで走行中、カーブを曲がりきれずにトラックが横転し、道路脇の鉄柱に衝突したものの。	221	17	10 ～ 29
			被災者は、コンテナを運搬するため、トレーラーを運転して国道を走行			

2018	4	4	中、何等かの原因により車体のコントロールを失い、跨線橋左側のガードレールを乗り越え、約10m下の側道に転落した。被災者は、車外に投げ出され、全身を打つなどして死亡した。なお、現場は片側3車線の直線道路であり、事故当時は雨が降っていた。	221	17	10 ～ 29
2018	4	8	荷主事業場の構内において、トラックからの荷卸作業（飼料の原料を荷台からホッパーに投入する作業）中、トラックの降下途中の可動式荷台と車体との間に胸部を挟まれたもの。	221	7	10 ～ 29
2018	5	10	移動式クレーンを使用して、建物の3階の医療検査機器（キャスター付）を1階に降ろすため、被災者は後ろ向きに引っ張るように3階踊り場に移動させたところ、踊り場より鋼製搬器に積み込むために開放していた手すりの無い状態の踊り場端部より足を踏み外して、9.98m下のアスファルト地面に墜落した。	416	1	50 ～ 99
2018	5	10	被災者は、同僚ら2名と共に、コンクリートミキサー車2台のドラム内部に付着したコンクリートを研る作業をそれぞれ行っていた。被災者の担当するコンクリートミキサー車のドラムが、逆回転していることに同僚が気付く、ミキサー車の廻りを確認したところ、被災者の眼鏡が落ちていたためドラムを緊急停止させた後、ドラム内部をのぞいたところ被災者がドラム内部の奥の方で丸くなって倒れているのを発見したものの。	221	7	50 ～ 99
2018	5	10	ユニック（移動式クレーン）で現場に資材を搬入してきた被災者が資材（約1.4トン）をユニックのクレーンで吊っていたところ、ユニックが傾き、その車体と現場の仮囲いのポールとの間にはさまれたもの。	212	6	50 ～ 99
2018	5	16	被災者はトラックを岸壁から約1.5メートル離れたところに停車させ冷凍機能の不具合の点検中に突然姿がなくなった。付近をバイクで通行していた他社の労働者よりサイドミラーに人が海の方に飛ぶような様子が映ったと申し立てがあり捜索したが見つからず通報に至り、その後海から被災者を発見したが死亡が確認されたもの。なお、被災者の姿がなくなった当時、トラックの助手席側の扉が開き、被災者の靴が片方地面に落ちていた。	221	1	10 ～ 29

2018	5	14 ～ 15	10 tトラックを運転し、荷卸し作業を終え、空車にて帰庫途中、高速道路下り線IC付近トンネル内で停車中の故障車（トラック）に、後方から追突し、追突した10 tトラックの運転者が死亡したもの。	221	17	50 ～ 99
2018	5	10 ～ 11	トラックを運転して有料道路を東進中、雨でスリップして側壁に3回衝突した。単独事故である。	221	17	10 ～ 29
2018	5	12 ～ 13	自動車道を走行中、工事渋滞で低速走行していた大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2018	5	12 ～ 13	プラントで製造された生コンを被災者が運転するミキサー車で運搬していたところ、橋の欄干を突き破って川に転落し、死亡したもの。被災者はマンション新築現場へ向かう途中であり、当日4回目の運搬中での事故であった。	221	17	10 ～ 29
2018	6	2 ～ 3	被災者が大型トラック（14 t）を運転し、国道を走行中、対向してきた大型トラック（13 t）がセンターラインを越えて飛び出したため、被災者の運転するトラックと正面衝突して胸などを強打し、搬送先の病院で死亡が確認されたもの。	221	17	10 ～ 29
2018	6	6 ～ 7	事業場の駐車場で、駐車してあるトラックの隣に自家用車を駐車しようと運転席のドアを開け、身を乗り出してバックしていたところ、自家用車の右後部を当該トラックにぶつけてしまい、動揺した際にアクセルを踏み込み、当該トラックと運転していた自家乗用車に首を挟まれ死亡したものの。	231	3	30 ～ 49
2018	6	10 ～ 11	被災者はタンクローリーを運転し、自動車道上り線トンネルを通過して次のトンネル連続区間手前を走行中、渋滞のため停車してたトラック1に追突、胸を強く打ち死亡した。なお追突されたトラック1はその前に停車していたトラック2に、トラック2は同じく前に停車していたトラック3に追突（玉突き）した。またトラック12の運転手も軽傷（休業の有無等不	221	17	50 ～ 99

			明) を負った (トラック 3 の運転手は無傷) 。			
2018	6	0 ～ 1	被災者は国道で中型トラックを運転していた。交差点で信号待ちをしていた大型トラックに被災者が運転する中型トラックが衝突し死亡した。	221	17	10 ～ 29
2018	6	14 ～ 15	自社の車両を整備工場から引き取るため、代車 (軽自動車) を運転し国道を走行中、センターラインをオーバーし、対向してきたダンプカーと正面衝突し死亡した。	231	17	30 ～ 49
2018	7	10 ～ 11	被災者が取引先の事務所 (3 階) で打ち合わせ後に事務所を退室した。その直後、ドスンという大きな音がしたので事務所から出てみると、2 階から 1 階の途中で被災者が倒れており、搬送先で死亡が確認された。	999	99	1～ 9
2018	7	0 ～ 1	配送員 2 名が災害発生現場に停車していた他者が所有する 4 t トラックの荷台の中で、当該事業場のトラック運転手が仰向でユニットバスのパネル等に押し倒される形で挟まれているのを発見した。緊急搬送されたものの、担当医より「急性心不全」により死亡が確認されたもの。	611	7	1～ 9
2018	7	12 ～ 13	被災者がフォークリフトを運転して、トラック荷台からロールボックスパレットを下ろそうとした際、隣に置かれていた別のロールボックスパレットが当該ロールボックスパレットに引っかかっていたためトラックの荷台から落ちそうになり、被災者がフォークリフトから降りてロールボックスパレットをトラック内へ押し戻そうとしたがかなわず、ロールボックスパレット上部の角が側頭部に当たった。	222	5	10 ～ 29
2018	7	20 ～ 21	事業場を出発し、2 日後に荷下ろしをし、サービスエリアで休憩を始めた。車から降りる様子がドライブレコーダーに記録された後、その後運転席に戻ることがなかった。翌日、運転席下の地面に倒れているところを第三者に発見された。	221	1	1～ 9
2018	7	12 ～ 13	トラック運転者である被災者がトレーラーの後部座席で死亡しているのが確認され、死体検案書によると急性虚血性心疾患と診断されたものである。後日過重労働による業務上災害と認定された。	921	90	30 ～ 49

2018	7	8 ～ 9	<p>自社所有の10tセルフローダートラックが置いてある営業所に出社し、当該トラックにクローラクレーン(4.9t)を積み込み、配送先である建設工事現場に出発した。荷卸し指定時刻が9時であったため途中時間を調整し、現場で重機を降ろした。帰路において現場から車で5分ほどの山道(幅約6m)で緩い左カーブを直進し、山の法面に衝突した。</p>	221	17	～ 29	10
2018	7	2 ～ 3	<p>最大積載量29tの大型トレーラーに鉄骨約25tを積載し、県道(現場は走行方向に向かって、緩やかな下りの左カーブ)を南進中、対向車線を横切り、工場の社員寮に突っ込み、同車両が横転、運転手が死亡したものの。</p>	221	17	～ 99	50
2018	7	16 ～ 17	<p>被災者はダンプトラックの車体と荷台の間にはさまれているところを発見され、その場で死亡が確認されたもの。荷台下の車体にはモンキーレンチ2本があり、荷台上昇用油圧シリンダのホース接続部分は外れており、ダンプトラック周辺には作動油が飛散していた。なお、荷台フレームの安全棒が当たる面付近には、こすれた跡が残っていた。</p>	221	7	～ 29	10
2018	7	16 ～ 17	<p>事業場の敷地内に停車していたタンクローリー(粉末状のセメントの運搬車)のタンク上部の蓋が空いていることに不審に思った社長がタンク内部を確認したところ、被災者が倒れているところを発見され、搬送されたが熱中症による死亡が確認された。被災者は当日の朝、夜勤業務終了後に同敷地内に停めていた自家用車の中で寝ていたところを目撃されていたが、その後は姿が確認されていなかった。</p>	715	11	1～ 9	9
2018	8	14 ～ 15	<p>被災者は同僚と2人で荷崩れを起こしたみかんの乾皮入りの袋(1袋の重さ15kg、60個「12段」)の復旧を工場内で始め、約15分間作業した。その後、2名は約15分間の休憩を取り作業を再開したが、その後被災者は「暑い」と同僚に申告して再び現場を離れた。休憩を取るため休憩所を訪れた同僚が、意識なく倒れている被災者を見つけた。なお、休憩所は冷房されていた。</p>	715	11	～ 99	50
			<p>被災者は、ダンプトラックを運転し建設現場に向って走行中、差し掛かった橋の高欄に激突し車外へ投げ出され、約15メートル下方の川の中で倒</p>				

2018	8	6 ～ 7	れているところ発見された。災害発生現場の手前は片側1車線の緩い右カーブであり、カーブを曲がった先で対向車線にはみ出し高欄に激突した後、走行車線に戻った位置で車体が停車していた。シートベルト使用の有無は調査中だが、バックル等に損傷なし。	221	17	1～ 9
2018	8	22 ～ 23	高速道路のサービスエリアで急性心不全を発症。3か月間平均80時間以上の時間外労働が認められ、業務上として労災認定されたもの。	921	90	10 ～ 29
2018	8	16 ～ 17	被災者は軽貨物車両による配送作業時において、客先への納品のために当該車両を路肩に停車し、道路を横断して客先へ歩いて移動していたところ、対向車線から走行してきた一般車両に衝突されたもの。	231	17	10 ～ 29
2018	8	16 ～ 17	倉庫1階天井の蛍光灯を交換するため、パレット上に被災者を乗せ高さ約5mの位置までフォークリフトで上昇させた。被災者は蛍光灯の交換後、周辺の蜘蛛の巣を取り除く為、フォークリフト運転者が濡れ雑巾を持ってくるまでの間、上昇したパレット上で待機していたところ墜落した。	222	1	1～ 9
2018	9	20 ～ 21	被災者は、1人で中型トラックの荷の整理を行っていた。当該トラックの荷台は、スイッチ操作で荷台左右の壁（以下、ウイング）が上下に開閉するもので、被災者は、当該ウイングをわずかに開き、ウイングと荷台あおりの隙間に上半身を入れて作業をしていたが、何らかの拍子にウイングが下がり、ウイングとあおりに胸腹部を挟まれて窒息死した。	221	7	30 ～ 49
2018	9	0 ～ 1	国道を走行中、上記発生場所付近の右曲がりカーブの路肩に止まっていた大型トラックに追突、全焼したもの。	221	17	30 ～ 49
2018	9	2 ～ 3	自動車道下り線において、走行車線を走っていた大型トレーラーが、2時間前に発生した車両4台が絡む玉突き事故により最後尾で停車していた大型トラックに追突した。追突した大型トレーラーの運転席は大きく破損変形し、当該トレーラーを運転していた男性が死亡した。	221	17	10 ～ 29
		12	被災者は貨物自動車（トラッククレーン）で片側2車線の高速道路を走行			30

2018	9	13	中、前方を走行していた貨物自動車に追突した後に横転し、同乗者の労働者が負傷し、運転していた被災者が死亡した。	221	17	～ 49
2018	9	4 5	自動車販売店前で、停車していたキャリアカーの荷台上において、被災者が荷扱いをしていたところ、同車の後方から居眠り運転の軽自動車が荷台上に乗り上げて被災者をひいたもの。	231	17	～ 49
2018	9	21 ～ 22	大型トラック（冷蔵冷凍車、最大総重量25トン）に鮮魚等を積込み、市内にある卸市場に向け、自動車道を走行中、トンネル内（310.3キロポスト付近）の右側壁に衝突し横転した。被災者は、車外で倒れており死亡（即死）が確認された。	221	17	～ 49
2018	9	6 ～ 7	荷積みのため、高速道路を走行中に、不整脈を発症して意識を失い、走行車線左側ガードレールに衝突。その後、反動で追い越し車線右側ガードレールに衝突して停車した。	921	90	～ 99
2018	10	18 ～ 19	トラックの荷台に積んだ木材をワイヤーロープとチェンブロックを用いて荷締めする作業を、地面からの高さが2.1メートルある荷の上で行っていた際に、荷の上から地面に墜落したものの。	221	1	～ 29
2018	10	4 ～ 5	被災者は貨物自動車による運送業務中、配送先である宅急便センター内において、荷卸しのために貨物自動車の荷台からロールボックスパレット（約300kg）をテールゲートリフターに移動させたところ、ロールボックスパレットがその端部で停止せず、テールゲートリフターから地上に飛び降りた被災者の上に落下し、下敷きとなった。	361	4	～ 49
2018	10	2 ～ 3	国道をトラックにて走行中、赤信号のため、減速を始めた大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9
2018	10	4 ～ 5	被災者は3tトラックを運転し、国道を西から東方向に走行していたところ、2車線から1車線に変わる箇所に停車していた大型貨物自動車（トレーラー）の被けん引車後部に追突したものの。	221	17	～ 29
		12	荷卸し後、国道トンネル出口付近で対向の大型トラックと正面衝突したも			1～

2018	10	～ 13	の。	221	17	9
2018	10	～ 13	12 国道のトンネルを走行中、対向車の大型トラックがセンターラインをはみ出し、被災者の大型トラックと正面衝突し、死亡したものの。	221	17	1～ 9
2018	10	～ 5	4 中型トラックにて、国道を走行中、反対車線を走行してきた大型トラックと衝突し、双方の自動車運転者が死亡したものの。	221	17	1～ 9
2018	10	～ 11	10 被災者はトラック（最大積載量8トン）を運転し、所属事業場へ向けて国道を走行中、片側交互通行規制された道路上で前方より走行してきたダンプトラック（最大積載量10トン）と衝突したものの。工事現場の誘導員はダンプトラックに対し停止合図を行っていたものの、当該ダンプがこれを振り切り走行したものの。被災者はドクターヘリで医療機関に搬送され治療を受けていたが、翌日死亡した。	221	17	10 ～ 29
2018	10	～ 9	8 廃プラスチックの収集運搬作業中、集積所へ向かう途中、坂道でつまづき近くの電柱に体を支えようとしたが支えきれず前向きに転倒し顔を強打したものの。後日、死亡が確認されたものの。	417	2	30 ～ 49
2018	10	～ 11	10 被災者がライトバンで交差点を東進し、相手のトラック（8トン車）が同交差点を南進したところ、衝突事故を起こし、ライトバンを運転していた被災者が出血性ショックにより死亡したものの。道路はそれぞれ片側一車線で、交差点には信号機があったが、被災者が信号を見落として交差点に侵入したものと推察される。	231	17	1～ 9
2018	10	～ 23	22 被災者は、県道において、樹脂約16トンをトレーラーで運搬中、センターラインをはみ出し、対向車線脇の電柱等に衝突して死亡したものの。	221	17	10 ～ 29
2018	11	～ 4	4 トラックを運転していた被災者が、高速道路下り線を走行していたところ、渋滞で減速した高速バスの左後部に追突した。被災者が死亡し、追突された高速バスを運転していた運転手1名と高速バスの中で仮眠中の運転	221	17	1～ 9

		5	手1名が負傷したものの。			
2018	11	10 ～ 11	取引先の工場内において、取引先の労働者と被災者の2名で、トラック（最大積載量10トン）に製品（円柱形のロール紙、径80cm、重さ166kg）を積み込み作業中、トラック荷台の荷の上（高さ約2.5m）で作業を行っていた被災者がバランスを崩して、地面に墜落したものの。災害発生時、被災者は保護帽を着用していなかった。取引先の労働者は、フォークリフトで製品を荷台まで運ぶ作業を行っていた。	221	1	50 ～ 99
2018	11	2 ～ 3	国道のスノーシェッド内の緩いカーブにおいて、被災者が運転する大型トラックと対向車の大型トレーラが正面衝突した。	221	17	1～ 9
2018	11	6 ～ 7	荷主の営業所が営業を開始する直前に、同営業所前の路上で、トラック（積載荷重11.6t）の荷台に積まれたフォークリフトを降ろすため、被災者が同僚と荷台後方の荷降ろし用スロープをセットしていたところ、荷台に縦列に積まれていたフォークリフト3台のうち、最も後方にあったフォークリフト（最大積載荷重3.5t）1台が逸走し、荷台後方のスロープ上で、フォークリフトに腰から下を挟まれて死亡したものである。	222	7	1～ 9
2018	11	10 ～ 11	顧客の商品自動車を引き取るため、顧客の店舗付近の車両を保管してある駐車場へ当該店舗の担当者の案内で移動中、道路を横断するため歩行者用信号が青になったことに従い横断歩道を渡っていたところ、被災者の左側から走行してきた軽貨物自動車にはねられ死亡したものの。	221	17	50 ～ 99
2018	11	21 ～ 22	被災者を含む2名の作業者が、トラックへの荷の積み込み作業を行っていたところ、カゴ台車が倒れ、カゴ台車の上の荷物（重さ約80kg×6個、長さ約3m）が被災者に激突した。カゴ台車の中には荷物は無く、上記の荷物をカゴ台車のわくの上に乗せているのみであった。	362	5	50 ～ 99
2018	11	12 ～ 13	トラックで高速道路を走行中、乗用車に後方から追突され、トラックが横転し、運転者が死亡した。	221	17	30 ～ 49

2018	12	21 ～ 22	被災者は配送先に到着後、構内ホームに後進で5 tトラック（箱型冷蔵冷凍車）を停車し、荷卸しのために下車してトラックの後ろ扉を開けたところ、トラックが動き出してトラックとホームの間に挟まれ死亡したもの。	221	7	～ 29
2018	12	8 ～ 9	搬入した建築資材の荷卸しをするため、被災者及び他の労働者1名が玉掛作業をするためにトラックの荷台に乗っていたところ、別会社に所属する労働者が運転する移動式クレーンでつり荷を地切りした際に、つり荷が水平方向に横ずれしたため、つり荷が被災者と接触し、荷台から墜落して負傷（頸髄損傷）し、病院で治療を受けていたが、後日死亡した。	221	1	～ 49
2018	12	18 ～ 19	自動車専用道路（制限速度70 km/hの対面通行）の直線部分で、被災者が運転する2トントラックがセンターラインを越えて右側反対車線へはみ出し対向車と接触。その後、自車線左側のガードレールに車体を擦りながら逸走した後、道路左側のガードレールを突き破って約5メートル下の山林に転落し、胸などを強く打って死亡した。	221	17	1～ 9
2018	12	6 ～ 7	10 tトラックが片側1車線の国道から事業場構内に入る際、切り返しを行っていた。荷役作業をアシストするために屋外に出てきた被災者は任意で国道まで出てトラックを誘導していたところ、道路を走行してきた軽自動車にはねられたもの。なお、加害車両はブレーキ痕がなかった。	231	17	～ 29
2018	12	10 ～ 11	土捨て場において、ドラグショベルを運転していた被災者が、ドラグショベルと一緒に路肩から約15 m（勾配35度）転落し、背面をドラグショベルで圧迫された状態で頭部が残土に埋もれ、窒息により死亡した。	142	1	1～ 9
2017	1	4 ～ 5	港からタンクローリー車で生乳を運搬中、道路をはみ出し、災害発生場所で横転した。	221	17	～ 29
2017	1	4 ～ 5	出勤のため午前4時30分頃自宅を出発、自家用車にて勤務地へ運転していたところ、ゆるやかな左カーブで反対車線に進入し、そのまま反対車線側の商業店舗に激突し死亡した。その後の調査で、発症前4ヶ月間の時間外労働時間が平均で88時間55分として認められ、特に過重な業務に従事していたと認められた。	921	90	～ 99

2017	1	14 ～ 15	被災者は、コンビニエンスストアへ品物を配送し、納品を終え、運転して来た車両へ戻ったところで急性大動脈解離を発症して倒れた。当該店舗の来訪者が倒れている被災者を発見し、病院へ救急搬送されたが、同日死亡が確認された。	921	90	100 ～ 299
2017	1	0 ～ 1	被災者は、トラックを運転して、道路を走行していたところ、前方に、道路の片側規制のため、停車していた車両があり、当該車両の発見が遅れ、ブレーキを踏みハンドルを切って回避しようとしたが、車両に追突した。	221	17	100 ～ 299
2017	1	2 ～ 3	被災者は、コンテナを載せたトレーラーにて国道を走行中、高速道路高架下の交差点にて、反対車線を走行し右折中の7人乗り乗用車と接触、その衝撃でトレーラーは高速道路の支柱に正面から衝突した。被災者は、搬送先の病院にて死亡した。	231	17	1～ 9
2017	1	10 ～ 11	被災者は、トレーラー（ダンプ形状：18トン車）の積み荷を下ろした後、国道を空荷で走行していた時、路面が凍結していたためスリップし、対向車線（片側1車線）にはみ出し、対向車線を走行していたトレーラー（シャーシ（平積み形状）29トン車、空荷）に正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2017	1	14 ～ 15	軽四貨物トラックを運転していた被災者が、センターラインオーバーの大型トラックと正面衝突した。	221	17	1～ 9
2017	1	4 ～ 5	夜勤乗務中、無線での連絡が取れなくなったため、同僚運転手が所在を探したところ、配送先の舗装工事現場近くの道路左側に停まっていた車両の運転席にて、被災者が、心肺停止の状態で見倒れているのが発見され、搬送先の病院で死亡が確認された。死因は、虚血性心不全であった。その後の調査で、発症前2ヶ月の平均で月90時間33分の時間外労働時間が認められ、過重な業務に従事していたものと認められた。	921	90	10 ～ 29
2017	1	6 ～ 7	ダンプの運転手である被災者は、当日の作業開始前、駐車場でダンプの暖気のためエンジンをかけ、暖まるまで連絡車で待機しようとした時に倒れた。発見した時には意識がなく搬送先の病院で急性心筋梗塞による死亡が確認された。発症前1か月間の時間外労働時間数が147時間5	921	90	10 ～ 29

			2分であり、100時間を超える時間外労働が認められた。			
2017	1	8 ～ 9	被災者は、午前6時頃、出勤のため自家用車を運転して事業場の駐車場に 入ろうとしたところ、手にしびれが出たためクラクションを鳴らし、運転 席から倒れ込むように出てきた。病院に救急搬送されたが、翌日の午前8 時に脳幹出血のため死亡した。発症前6か月の時間外労働時間は平均12 0時間57分であった。	921	90	30 ～ 49
2017	1	14 ～ 15	倉庫内において、フォークリフトを運転し作業を行っていた運転者がネス ラックとパレット8枚(約170kg)に胸部を挟まれているところを出 入り業者が発見した。	379	6	30 ～ 49
2017	1	20 ～ 21	同僚がトラック事故を起こしたため、被災者は事故現場へ駆けつけた。被 災者は乗用車を路肩に止め、外に出ていたところ、後方から来た大型ト ラックが同僚のトラックに追突した。押し出された当該トラックが被災者 をはねたため、右肺破裂で死亡した。	221	17	10 ～ 29
2017	1	10 ～ 11	配送先で、運搬してきた積荷のロール紙(約600kg×2本)をトラッ ク荷台から降ろしていたが、2本目を降ろそうと回転台に載せ90度回転 させていたところ、ロール紙が転がり落ちかけていたため、被災者が自ら 支えようとしてロール紙の下敷きになった。	611	4	30 ～ 49
2017	1	14 ～ 15	1階左官砂置場に2tダンプ車にて砂降ろし中、車を少し前方に移動する ため運転席の外側からエンジンをかけたところ車が動き出し、工事用エレ ベータ1階乗場の単管足場と車のドアが接触、車のドアと運転席の間に肩 から頭部にかけて挟まれた。	221	7	10 ～ 29
2017	2	8 ～ 9	被災者は4tトラックに荷物の積み込みを行い、道中、仮眠・休憩をと り、翌々日に荷卸し先へ到着した。その後、被災者は荷卸しをしていたと ころ体調が悪くなり、救急車にて病院へ搬送されたものの、同日死亡し た。	921	90	30 ～ 49
2017	2	20 ～	被災者は4トン車で支店に荷を搬送し、荷台後部をプラットホームに付け て荷降ろしを済ませたが、自社車両が逸走したため、前方に横付けしてい	221	7	50 ～

		21	た他社の大型トラックの側面と自社車両のフロント部の間に挟まれ、搬送先の病院で死亡が確認された。			99
2017	2	2 ～ 3	食品の配送のため4トントラックを運転し自動車道を走行していた。走行車線を運転していたところ、追越車線を走る別のトラックが中央分離帯に激突しその弾みで被災者のトラックの前に進入してきたため衝突した。	221	17	10 ～ 29
2017	2	4 ～ 5	配送先スーパーマーケットにおいて、被災者は荷受け口付近にトラックを停車し、荷台に乗って一人でパンの荷卸し作業を行っていたところ、勾配（1～2度）のためトラックが後方に動き出したため、荷台から飛び降りてトラックの後方から制止しようとしたが押し倒され、トラック左後輪に背部をひかれて死亡した。	221	7	30 ～ 49
2017	2	2 ～ 3	国道のバイパスにおいて、トラックを運転していた被災者が停車中のトラックに追突した。現場は片側1車線の直線路で事故当時、近くで交通規制があり、片側交互通行のため下り線に止まっていた車に追突した。	221	17	1～ 9
2017	2	4 ～ 5	鑄造工場内において、同会社の労働者が床に落ちたショット玉の回収作業中に、ベルトコンベアの回転軸とベルトの間に右半身を巻き込まれ、死亡した。	221	7	10 ～ 29
2017	2	12 ～ 13	コンバインドローラー（2.5t）をトラックの荷台上に乗せるため、当該ローラーを運転し移動させたところ、荷台上の左側に寄りすぎ、はみ出したため、バランスが保てず荷台左前方からローラーごと転落し、その下敷きとなって死亡した。	144	1	1～ 9
2017	2	14 ～ 15	被災者は木材チップを積載したトレーラーを運転していたところ、カーブを曲がり切れず、道路右側のガードレールを突き破り、約15メートル下へ転落した。	221	17	30 ～ 49
2017	2	10 ～ 11	バッテリーの上だった10tトラックの脇に別の10tトラックを並列に停車し車両と車両の間に入ってケーブルを繋ぎ、バッテリーの上だったトラックのエンジンを始動、その後ケーブルを外そうとして再び車両と車両の間に入ったところ、エンジンを始動したトラックが前方へ動き出して車両と車両の間に胸を挟まれた。トラックの停車位置は前方が低い勾配と	221	7	10 ～ 29

			なっていた。意識不明で救出されたが、死亡した。			
2017	2	4 ～ 5	大型トラックを運転し、県道を走行中、路面凍結のためスリップし、センターラインを越え、対向車線を走行してきた高所作業車と正面衝突した。被災者及び高所作業車の運転者2名が死亡。高所作業車の後方を走行していたワンボックスカーに乗車していた4名が負傷した。	221	17	50 ～ 99
2017	2	8 ～ 9	高速道路を走行中、くも膜化出血を発症し走行不能になり壁に衝突し停車、後続車の通報により病院に緊急搬送された。	921	90	30 ～ 49
2017	2	12 ～ 13	被災者が、事業場にて午前3時半点呼後、配達を終え、高速道路で帰ってくる途中、横転事故による渋滞の最後尾にいたトラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2017	2	8 ～ 9	駅構内において、被災者が道路を横断していたところ、他労働者が運転するトラックに衝突された後、約20メートル引きずられた。搬送先病院にて、死亡確認された。	221	6	50 ～ 99
2017	3	16 ～ 17	客先にて、トラックに載せた積荷にシートをかける作業を行っていた際、脚立の上に乗って作業を行っていたところ、脚立から墜落した。	371	1	10 ～ 29
2017	3	6 ～ 7	被災者は農家へ飼料を配送するため、トレーラーで走行中、センターライン寄りに走行してきた対向車を避けようと左側に寄って減速したところ、シャーシ（荷台）が路外へ逸脱し、トレーラー全体が反転したことにより、運転席がつぶれ、被災した。災害発生時、現場の路面は凍結し、霧による視界不良の状況だった。	221	17	30 ～ 49
2017	3	8 ～ 9	被災者は、古紙等の運搬業務に従事するトラック運転手であり、災害発生場所に古紙を運搬し、トラックから荷下ろしをする際に、トラック荷台には作業するスペースがなかったことから、パレットをフォークリフトのツメに差し込み、当該パレット上を作業床として荷下ろし作業を行っていたところ、何らかの原因でパレット上から墜落し、コンクリート地面に頭部	222	1	10 ～ 29

			を強打した。			
2017	3	6 ～ 7	国道で、大型トラックがガードレールを突き破り、崖下約70mのダムに転落して沈んでいるのを除雪していた作業員が発見した。	221	17	1～ 9
2017	3	8 ～ 9	被災者は、ガソリンスタンドでトラックに給油後、運転席で痙攣しているところを発見され、救急搬送されたが、意識不明の状態が続き、急性心筋梗塞により死亡した。	921	90	10 ～ 29
2017	3	2 ～ 3	被災労働者は、当該事業場において大型貨物自動車の運転手として勤務していた。13時30分頃運行開始し、翌日午前11時頃にコンビニエンスストア駐車場にて亡くなっているのが発見された。	921	90	10 ～ 29
2017	3	6 ～ 7	中型トラック（最大積載重量2.15t）を運転中、高速道路上り走行車線の渋滞で停車していた前方の軽自動車に接触し、その後、軽自動車を含めて4台前の大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2017	3	16 ～ 17	自動車道ICに向かってトラックで走行中、交差点付近にて意識朦朧となり、道路左側歩道を走行し、道路標識を破損させて停車。救急搬送にて病院を受診したところ「急性心筋梗塞」と診断され、同日に死亡した。	921	90	10 ～ 29
2017	3	4 ～ 5	被災者は自社の2tトラックを運転していたが、信号待ちをしていた車列の最後尾の4t車にノーブレーキで追突した。	221	17	10 ～ 29
2017	3	4 ～ 5	搬入のために上りスロープでロールボックスパレットを押していたところ、スロープを上りきる前にロールボックスパレットが倒れ、被災者はその下敷きになり死亡した。	362	6	300 ～ 499
2017	4	16 ～ 17	被災者は、廃材ヤードにおいて、10トンダンプトラックの荷台に積んでいた残材（アスファルト合成材）を取り除くため、荷台を上げエンジンを掛けた状態で歯止めをしないまま運転位置から離れたところ、無人のダンプトラックが同ヤードから下り勾配方向（勾配約5～10度）に動きだし、逸走した同トラックに轢かれた。	221	7	1～ 9

2017	4	8 ～ 9	工事現場事務所兼資材置場において、トラッククレーン（つり上げ荷重2.9t）による鉄骨材積み込み作業を被災者が単独で行っていたところ、2点吊りしていた玉掛け用の繊維ロープから吊荷（長さ4.1m重量約250kgと長さ3.4m重量約250kgの2束）が外れ、被災者にあたり、被災者が吊荷と共に墜落し、鉄骨材と地面に挟まれた。クレーン操作と玉掛けは被災者自身が実施していた。	372	4	1～ 9
2017	4	6 ～ 7	反対車線の乗用車が中央分離帯を越えてきて、被災者の運転する車両に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2017	4	8 ～ 9	積み込み先の運送事業場構内において、2段積みのフレキシブルコンテナをパレットに1段ずつ乗せかえるため、被災者が高さ1.7mの作業台の上に立ち、フォークリフトのフォークにフレキシブルコンテナの紐をかける作業を行っていたところ、作業台の上から転落した。被災者は作業台の上でふらついた後、転落した。搬送先の病院において、死亡した。	371	1	10 ～ 29
2017	4	22 ～ 23	トラック（3t箱車）で取引先の印刷工場から翌日の朝刊を配送するため、国道を走行していたところ、交差点を直進で進入中に反対車線から右折してきた乗用車に衝突され、トラックが横転した。搬送先病院で頭部外傷によるびまん性脳損傷により死亡が確認された。	231	17	30 ～ 49
2017	4	8 ～ 9	被災者は、最大積載量10トンの車両積載形トラッククレーンに住宅用資材を積載し、新築住宅工事現場に向かったが、現場の作業場所が狭隘であったため、近くにある駐車場において、同僚1名と最大積載量3.75トンの車両積載形トラッククレーンに当該資材を積み替える作業を行っていた。作業を開始してまもなく、近くを通った女性がうつ伏せで倒れていた被災者を発見し、救急搬送されたが、翌日死亡した。	212	1	10 ～ 29
2017	4	16 ～	被災者は、トラックを運転し荷物の配送を終え午後4時17分から午後5時34分まで休憩取得後、帰社途中の午後5時40分にコンビニエンスストアに立ち寄り、2～3時間経過後に店舗内のトイレで嘔吐し倒れているところを発見され、午後10時52分に搬送先の医療機関でくも膜下出血	921	90	10 ～

		17	により死亡した。発症前2か月平均で90時間8分の時間外労働を行っていた。			29
2017	4	22 ～ 23	被災者は、恒常的な長時間労働により自宅において心停止となった。	921	90	10 ～ 29
2017	4	2 ～ 3	荷物を運搬するため、自動車道下り線を走行していた被災者（死亡者）の運転する大型トラックが、対向車線にはみ出し、除染作業で生じた汚染土壌を積み込むため走行中のダンプトラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2017	4	2 ～ 3	被災者は青果を積んで一旦事業場に戻った後、すぐに荷卸しのため市場に出発した。被災者は卸売市場で荷卸し作業中に倒れていたところを通行人に発見され病院に搬送されたが、急性大動脈解離による死亡が確認された。	921	90	1～ 9
2017	5	8 ～ 9	被災者が、建設現場に仮設足場材の納品に赴き、移動式クレーンの荷台上で、移動式クレーンの操作を行いながら、荷下ろし作業を行っていた。移動式クレーン操作中に、吊り荷に背を向ける形で現場労働者と話しをしていたところ、荷振れを起こした吊り荷が被災者の背中に当たり、被災者が地面に墜落した。被災者はその後、入院中に病院で容態が急変し2ヶ月後に死亡した。	212	1	10 ～ 29
2017	5	4 ～ 5	被災者は4tトラックを運転し、配送終了後、自動車道を利用し荷主側の配送センターに戻る途中、上りのパーキングエリアに進入した際、入口付近の路側帯に駐車していた大型トラックに追突し、被災した。	221	17	50 ～ 99
2017	5	14 ～ 15	玉切りした木材を単独でフォワーダに積み込む作業中、積み込んだ木材の上又はフォワーダの荷台から墜落した（目撃者がおらず、フォワーダの脇で倒れているところを第三者に発見されたため、推測である）。	221	1	1～ 9
2017	5	14 ～	荷主先にて、被災者と代表取締役の2名により、構内に設置された天井クレーン（定格過重4.8t）を使用して、鉄骨をトラック（最大積載量19.8t）に積載したのち、被災者は荷台の鉄骨の上から地面に降りよう	221	1	1～

		15	としたところ、姿勢を崩したため約2メートル下の地面に墜落したのち、積荷の鉄骨が落下した。被災者は、保護帽（飛来落下物用）と保護靴を着用。トラックの荷台に墜落防止設備、安全带取付設備はなかった。			9
2017	6	0 ～ 1	下り車線の走行において、インターの降り口のカーブに差し掛かったところ、曲がりきれず横転した。	221	17	50 ～ 99
2017	6	0 ～ 1	最大積載量13.9トンの貨物自動車で行中、事故のため停車していた別事業場の貨物自動車に追突し、被災した。被災者が運転する貨物自動車は、約5トンの雑貨等を積載して配送中であり、ブレーキをかける様子もなく、追突した。	221	17	30 ～ 49
2017	6	4 ～ 5	被災者は当日午前3時50分に点呼を受け、コイルを運搬するためトレーラーで事業場を出発した。午前5時頃、走行中、交差する市道を走っていたワゴン車と出会い頭に衝突し、トレーラーは横転した。この事故でトレーラーを運転していた被災者は全身を強く打ち死亡した。	221	17	10 ～ 29
2017	6	14 ～ 15	被災者が大型トラックにて国道を走行中、センターラインを超えた対向車が走行車線に復するべくハンドルを切ったところ、勢い余って対向車線側の側壁に接触し、その弾みで再び車両がセンターラインを超えて大型トラックに衝突した。衝突された大型トラックはセンターラインを超えて対向車線側の側壁に激突した。	231	17	100 ～ 299
2017	6	8 ～ 9	トラックに荷物を積み込み、国道下り線を走行中、被災者の運転するトラックがガードレールに激突した後、7メートル下の山林に転落した。災害発生現場は緩やかなカーブの下り坂が続く場所であった。	221	17	10 ～ 29
2017	6	10 ～ 11	荷の搬送先において、トラックから荷卸し作業を行っていたところ、胸の痛みを訴えたため、病院に救急搬送されたが、心タンポナーデにより死亡した。発症前5か月間の時間外労働時間は、平均84時間28分であった。	921	90	50 ～ 99
		4	乗務前の点呼後に、車内の煙草の吸い殻を捨てようと貨物自動車の運転席から降り、事務所前の吸い殻入れに向かって歩いていたところ、サイドブ			1～

2017	6	5	レーキを降ろしたままの状態であったため当該車両が動き出し、これを止めようとして車両の前に回り込んだところを当該車両に轢かれた。	221	7	9
2017	6	2 3	被災者は12トントラックにて運行中、乗用車との接触事故を発生させ、その後、トラックを下り高速道路上にて、事故の相手方の怪我の有無の確認、二次災害防止措置を行っていたところ、後続より走行してきた14tトラックにはねられ死亡した。	221	17	10 ~ 29
2017	6	6 7	被災者が、木材木製品製造業を営む学校内の、製材時に発生するおがくずを集塵するサイロ（内容積は45立米）の下で、サイロ内のおがくずを転売目的で10tトラックの荷台へ回収する作業を行っていたところ、おがくずの中に生き埋めとなり窒息しているところを発見された。	522	5	10 ~ 29
2017	6	2 3	被災者は取引先へ鋼材を輸送するため、深夜1時頃に所属事業場の倉庫を出発し、国道上り線を走行している際に、運転中のトラックが中央分離帯のガードレールに接触し、横転しながら対向車線に飛び出し仰向けの状態で停車した。被災者は病院に搬送されたが、まもなく死亡が確認された。	221	17	10 ~ 29
2017	7	12 13	市場において、貨物自動車の荷台右側に被災者が仰向けになって倒れているのを市場職員が発見した。倒れている被災者の近くには直径30cm、長さ312.5cmの丸太があり、貨物自動車の荷台には積載された丸太に荷締器が取り付けられたワイヤロープが掛かっていた。丸太の落下を防ぐため、荷台の両側には、垂直に鋼管が固定されていたが、一部の丸太の位置が鋼管の高さよりも高く積まれていた。	379	5	10 ~ 29
2017	7	18 19	被災者は、荷主先から自社に向けて3.7トン積みのトラックにより走行中、後続のトラックから追突された。その際、被災者の運転していたトラックは運転席側を下に横転し、全身打撲により死亡した。	221	17	30 ~ 49
2017	7	0 1	パーキングエリア内において、交通事故相手会社の労働者が運転するトラックが停車（駐車スペースではなく、通路部分）していたところ、被災者が運転するトラックが追突し、被災者が死亡した。	221	17	10 ~ 29
		16	被災者は、会社所有の軽ワゴン車に乗り、宅配の配達のため、16:00			

2017	7	7 ~ 17	に会社を出発したが帰社しないので、警察署へ捜索願を出していたところ、翌日午前6時頃、町道から約4m下の川に軽ワゴン車が転落し、車内で死亡しているのが発見された。	231	17	1~ 9
2017	7	22 ~ 23	構内において、被災者が休憩を終え休憩所から荷降ろしのためにトラックが発着するエリアを横断し、作業場である食料品倉庫に向かう途中、同倉庫前で立ち止まっていたところ、運送会社の運転手が運転するバック走行中のトラックに轢かれた。	221	7	50 ~ 99
2017	8	4 ~ 5	トラックで食料品を輸送し、当該トラックに備え付けられたリフトを用いてスーパーマーケットに荷を搬入するという作業を被災者が単独で行っていたところ、当該リフトのストッパを使用していなかったために、荷（約200kg）とともにリフトから地面に落下し、そのまま荷の下敷きとなっていた被災者が発見された。	221	1	50 ~ 99
2017	8	0 ~ 1	3トントラックを運転し、コンビニエンスストアへ商品を納入し、空バットを回収していたところ駐車場で倒れ、客に発見されて病院へ搬送されたが、死亡した。	921	90	100 ~ 299
2017	8	22 ~ 23	大型トラックで高速道路を走行中、走行車線の路肩にはみ出した後、追越車線と走行車線との間を蛇行し、安定性を失って車両が横転した。その際、運転者及び同乗者が車外に投げ出された。	221	17	100 ~ 299
2017	8	22 ~ 23	大型トラックで高速道路を走行中、走行車線の路肩にはみ出した後、追越車線と走行車線との間を蛇行し、安定性を失って車両が横転した。その際、運転者及び同乗者が車外に投げ出された。	221	17	100 ~ 299
2017	8	6 ~ 7	トラックに貨物を積み納品先へ向かい配送がすべて終了しトラックターミナルへ向かい到着した。その後、乗務点呼を行ったあと休憩をせず、遠方へ向かっていたところ高速道路で渋滞中の車列の3台に追突し、搬送先の病院で死亡した。	221	17	30 ~ 49
2017	8	2 ~	業務が終了し、事業場駐車場にトラック（4t箱車、マニュアル車）を駐車する際、目視でトラック周囲を確認するため、トラックから下車した。直後、トラックが前進し、それを止めようとした運転者が、トラックにひ	221	7	30 ~

		3	かれた。			49
2017	8	14 ～ 15	自社敷地内に鉄骨造平屋建ての倉庫を、事業主と社員1名で建てていた。作業の区切りを機に休憩に入り、事業主はその場から離れ、同じ敷地内にある事務所へ行った。30分後、作業場に戻ったところ、一緒に作業していた社員が地面に倒れているのを発見した。	415	1	10 ～ 29
2017	8	12 ～ 13	工場の敷地内で、建設工事の基礎に使用されるコンクリートパイル（直径0.5m×長さ13m、重量約3.5トン）をトラックの荷台に載せる作業をしていた。5本目のパイルを荷台に載せ、パイルに掛けられたワイヤロープをパイルから外し、クレーンのオペレータに合図をし、クレーンの巻き上げ及び走行が行われたが、ワイヤロープがパイルの先端の金具に引っ掛かり、落下したためパイルと地面の間に挟まれた。	611	4	1～ 9
2017	8	4 ～ 5	被災者が荷の配送のため大型トラックを運転して県道を走行中、交差点で、国道を西から走行してきた大型トレーラーと接触して重体となり、死亡した。	221	17	30 ～ 49
2017	8	6 ～ 7	事業場に車で向かっていた際、被災者が運転していた13トントラックが別の交通事故によって渋滞、停車中の他社のトラックに追突し、被災者が首の骨を折り死亡した。	221	17	1～ 9
2017	8	2 ～ 3	被災者がトラックを運転中に何らかの理由により、道路の左側の側壁へ衝突し、その反動で中央分離帯に乗り上げて横転し、死亡した。	221	17	50 ～ 99
2017	8	8 ～ 9	建物屋上（高さ約12m）より飛び降り、自殺した。	921	90	10 ～ 29
2017	8	16 ～ 17	高さ約11メートルの天井に取り付けられている水銀灯の電球の交換を行うため、パレット37枚（1枚の高さ15センチメートル）の上に被災者を乗せ、別の作業者がフォークリフトでパレットを上昇させたが、電球を交換できなかったため、フォークを下ろしていたところ、右前方にパレッ	222	1	1～ 9

			トが崩れ、被災者がパレットから飛び降りて墜落し、地面に頭を打ちつけた。			
2017	9	4 ～ 5	高速道路を、トラックを運転中、中央分離帯に衝突後、側壁や中央分離帯に衝突しながら蛇行を繰り返し、料金所の手前左側にあるクッションドラムに乗り上げて停止した。被災者はシートベルトを装着していなかった。	221	17	100 ～ 299
2017	9	12 ～ 13	最大荷重4.5トンのフォークリフトを作業員Aが運転し、荷（重さ2.75トンの射出成型機）をコンテナより工場の外に仮置きするため、コンテナから引き出した。その際、荷の側面で作業員B、Cが誘導を行っていたが、急に荷がバランスを崩したため、作業員Aは退避を促した。作業員Bは退避したものの、作業員Cは荷を手で抑えようとしたが、荷の下敷きとなった。	222	5	30 ～ 49
2017	9	8 ～ 9	2トントラック（冷蔵冷凍車）が走行中、トンネル内監査廊縁石にトラックの左側（前後不明）のタイヤが接触し、対向車線にはみ出し、対向車線を走行していた路線バスと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2017	9	6 ～ 7	被災者は大型貨物自動車を運転し、走行車線を西向きに走行中、側溝へ左フロントタイヤが脱輪し、約170m走行し、合流車線左側のモノレールの橋脚に正面から衝突した。	221	17	10 ～ 29
2017	9	6 ～ 7	被災者は大型ダンプトレーラーを運転して荷の集荷作業を行うため、荷主の事業場構内で、ダンプトラックを後進させて所定の位置に停車した直後、被災者は運転席から地面に転落して頸椎骨折により死亡した。	221	1	50 ～ 99
2017	9	4 ～ 5	被災者が荷の積卸しのため14番バースにトラックを停車させて車両の後方に回ったところ、何らかの理由により車両が後ろに下がり、車両とホームとの間に挟まれ死亡した。	221	7	30 ～ 49
2017	10	14 ～ 15	顧客先工場のレイアウト変更にかかる設備運搬業務において、被災者と同僚の2名は、金メッキ装置（高さ2m、幅5m、奥行1m、重量1t）を台車及びハンドリフトを用いて設置位置に移動させようとした。各人が装置後方の左右に分かれ、装置を手で押したが動かず、一旦状態を見ようとしたところ、設備が被災者側に横転し、その下敷きとなった。	391	5	10 ～ 29

2017	10	12 ～ 13	<p>自社倉庫内において、大型トレーラーにバラ積みされた粉殻を下ろし、ホイール式トラクター・ショベルを使用して当該粉殻を倉庫奥に押し込む作業が行われていた。被災者は別の大型トレーラーの運転手であり、倉庫の外で順番待ちをしていたが、何らかの理由により倉庫内に歩いて進入したところ、後進してきたホイール式トラクター・ショベルの後輪に轢かれた。</p>	141	7	10 ～ 29
2017	10	22 ～ 23	<p>自動車運転者の運転する大型トラックが配送先から帰社する途中、運転操作を誤り、センターラインをオーバーし、反対車線を走行してきたトラックと正面衝突、双方の自動車運転者が死亡した。</p>	221	17	10 ～ 29
2017	10	8 ～ 9	<p>被災者は、20トントレーラーを運転し会社を出発、フェリーターミナルで荷積みをした後、配送先の事業場で荷卸し作業中、荷台の上で倒れているところを他社の運転手に発見された。その後、病院で入院加療中のところ、心室細動により死亡した。発症前2ヶ月平均の時間外労働は月80時間超が認められている。</p>	921	90	1～ 9
2017	10	14 ～ 15	<p>被災者は、配送先で4tトラック（平ボディ）荷台から積荷のプラスチックボードを荷降ろし後、配送先のフォークリフトを運転するため、一旦トラックを数メートル前進させて停車し、運転席を離れて車両の横を歩行していたが、無人のトラックが前進して公道に出たため、咄嗟に車両前方に回り込んで制止を試みたが、トラックと公道脇のコンクリート壁の間にはさまれ、死亡した。</p>	221	7	50 ～ 99
2017	10	8 ～ 9	<p>被災者は、収穫された甜菜を輸送するダンプトラックの運転手である。積み込み先農家の畑内において、他事業場の労働者が運転する専用バケットを装着したホイール式トラクター・ショベルでダンプトラックに甜菜を積み込む作業中、当該ショベルの前方にいた被災者が地面にこぼれ落ちた甜菜を拾おうとしたところ、バケットを下げながら前進してきた当該ショベルのバケットの下敷きとなった。</p>	141	6	10 ～ 29
		2	<p>災害発生場所において、被災者Aが運転するトラックは、東進していた。下り車線を西進していた相手方Bが運転するトレーラーが中央分離帯を乗</p>			100

2017	10	3	り越え、被災者のトラックと衝突、炎上した。これにより、被災者Aは死亡。相手方のBも負傷した。当時の天候は雨。	221	17	299
2017	10	6 7	トラック運転者である被災者は深夜に港に到着し目的地へ走行後に荷卸しを行ったが、その後会社からの電話に応答なくなり、停車中の車内で倒れていたところを発見され、搬送先の病院でくも膜下出血による死亡が確認された。	921	90	299
2017	10	10 11	トラック運転手の被災者は、荷主先構内で荷降ろし準備作業のため、トラック後方の観音扉左側を開け、続いて観音扉右側を開けた。待機していた荷先事業場のフォークリフト運転手が、トラック内の荷を取り後退しようとして振り返ったところ、アスファルト舗装の路面に仰向けに倒れている被災者を見つけた。救急車で病院に運ばれたが、頭部打撲による頭蓋骨骨折、急性硬膜下血腫により死亡した。	999	99	49
2017	10	8 9	公道において同僚社員が運転する2 t コンテナ車の後進を誘導していたところトラックと電柱との間にはさまれて死亡。	221	17	29
2017	11	2 3	災害発生現場付近で自損事故を起こし、中央分離帯を乗り越え、反対車線上に停車していた大型トラックに、走行中の被災労働者が運転する中型貨物自動車（積載荷重4 t）が激突し、被災労働者が死亡した。	221	17	49
2017	11	6 7	キャリアカー（2段積み8台積載）に車両を乗せ、降ろしヤードに到着した。キャリアカーをダンプさせ下段より順に車両を降ろした。被災者は2段積み上部奥の最後の1台である軽トラックを降ろし中、軽トラックが突然動き出しその下敷きになった。	221	7	99
2017	11	6 7	インターチェンジ付近において、被災者の運転していたトラックが、ガードレールや案内板に衝突、横転し死亡した。	221	17	29
2017	11	16	荷主先である工場内において、トラックに荷（住宅鉄骨部材）の積み込みを終え、被災者がトラック荷台側面にあるウイング部を閉じるときに、荷	379	4	1

		17	台外側に積まれていた鉄製のパレット（重さ134kg）にウイング部が接触したため、鉄製パレットが落下、被災者がその下敷きとなった。			9
2017	11	16 ～ 17	トラックに鑄鉄管11本（1本約150kg）をフォークリフトを用いて荷積み作業中、フォークリフトの爪を引き抜こうとした際、鑄鉄管がその反動で動き出し、横で見ていたトラックの運転手（被災者）が落下を食い止めるため、手で荷台上に鑄鉄管を戻し、被災者がリフトマンにOKの合図を出し、リフトマンがフォークリフトの爪を引き抜き後進させていたところ、鑄鉄管が被災者の上に落下した。	611	5	10 ～ 29
2017	11	6 ～ 7	被災者が西向きに走行中、何らかの理由により走行していた右車線から左向きを変え、トラックの左前方が左側壁に衝突し、跳ね返されて右側壁に衝突し、死亡した。	221	17	30 ～ 49
2017	11	2 ～ 3	被災者は、4トントラックを運転し荷主先で積荷を降ろした後、空荷で国道を通過して自社へ帰る途中、国道が右へカーブし、直進すると県道へ入ってしまう道路で、道を間違えそのまま直進、300m程先で突き当たりとなり県道が左へカーブしているが曲がり切れず、被災者が運転するトラックごと岸壁から海中へ転落し溺死した。	221	17	30 ～ 49
2017	12	6 ～ 7	商店から100m（片側1車線のゆるやかな左カーブ）において、大型トラックが道路右側の法面に乗り上げて横転した。	221	17	1～ 9
2017	12	2 ～ 3	大型トラックで前を走行していた大型トレーラーに追突し死亡した。	221	17	10 ～ 29
2017	12	18 ～ 19	路面の凍結により運転していたトラックがスリップし、温度計、ガードレール等道路工作物に激突した。	221	17	50 ～ 99
2017	12	4 ～ 5	大型トラックを運転し、片側一車線の国道を走行していた被災者に、ブームを固定しないまま対向車線を走行してきた積載型トラッククレーンのブームが激突した。	212	17	30 ～ 49

2017	12	8 ～ 9	荷物を搬送した後、帰社のため走行中、交差点に差し掛かったところで、信号待ちで停車していた大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2017	12	12 ～ 13	タンクローリー（積載荷重10トン）を用いて魚油運搬作業に従事していた被災者が、停車していたタンクローリー車内で休憩を行っていたところ、タンクローリーが車体前方方向に動き出した。車は敷地内を出て、敷地に面していた幅9.3メートルの公道を横断し、その端部の岸壁より海中へと転落した。	221	1	1～ 9
2017	12	14 ～ 15	トラックにて配送先への配送を終え、配送センターに戻る途中の事故。時速およそ80kmで第一走行車線を走行中、逆走する乗用車と衝突した。事故直前まで被災者の前方を別の車両が走行していたが、逆走車を避けるため路側帯へ回避。直後、被災者の目前に逆走車が飛び込む形となり、左へハンドルを切るが避けきれず逆走車と正面衝突となった。	231	17	30 ～ 49
2017	12	16 ～ 17	現場から持ち帰った資材をユニックの荷台から荷降ろしをしていた。荷台には角材の上に単管パイプの束を載せて全体を2か所で番線固定してあった。被災者が2か所目の番線を切断したところ上部にあった単管パイプの束（20本約270キログラム）が荷崩れを起こした。被災者は頭部外傷により死亡した。	611	5	1～ 9
2017	12	20 ～ 21	営業所駐車場の近くにある階段下において仰向けで倒れているところを出庫点呼待ちの乗務員に発見された。	413	1	50 ～ 99
2017	12	22 ～ 23	道路工事による車線規制が行われ渋滞していたところ、左車線最後尾の大型トレーラーに被災者が運転するトラックが追突し、被災者が死亡した。	221	17	10 ～ 29
2017	12	22 ～	冷蔵倉庫のプラットホーム（高さ1m）上で、10tトラックの荷台後部から食品用空コンテナをプラットホームに降ろし、次にプラットホームから冷蔵庫内へ運ぶ作業を単独で行っていた被災者が、プラットホームの下	418	1	100 ～

		23	で頭部左側を下に横向きで倒れているところを発見された。なお、安全帽は着用していなかった。高さ1mのプラットフォームから転落したものと推定。			299
2017	12	12 ～ 13	荷主先でトラック（ウイング車）に荷を積み込む作業を被災者一人で行っていたところ、すでに積んでいた荷（700kg弱）が、何らかの原因によりロールボックスパレットごとトラックの荷台から落下し、落下した荷の下敷きになったものと推定される。	611	4	30 ～ 49
2017	12	0 ～ 1	被災者は、取引先事業場（発荷主）において、ワゴン車に荷（内装材）を積み込み運転していた。途中、運転していたワゴン車のエンジンが故障し、車外に出て待機していたところ、ワゴン車に大型トラックが追突し、そのまま数十メートル引きずられ、ワゴン車の前方にいた被災者は、轢かれ、多発性外傷により死亡した。	221	17	10 ～ 29
2017	12	2 ～ 3	走行中、対向車線にはみ出し、対向してきた大型トラックと正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2017	12	20 ～ 21	構内において、被災者がコンクリートミキサー車の洗車のため通行していたところ、他の構内下請事業者の労働者が運転するトラクター・ショベルにはねられた。	141	7	10 ～ 29
2017	12	6 ～ 7	高速道路において、走行車線を走っていた大型トラックが、バス停付近に停車していた大型トラックに追突。追突した大型トラックの運転席は大きく破損し、運転していたドライバーが死亡した。	221	17	10 ～ 29
2017	12	8 ～ 9	事業主と被災者2名でごみの収集を行い、環境センターでのごみの搬出を終え、センター内の洗車場において、被災者が高圧洗浄機を用いてパッカー車を洗車していた。事業主が電話のために一時的にその場を離れ、戻ってきたところ、パッカー車内部に巻き込まれている被災者が発見された。発見時、高圧洗浄機から水が出ている状態であった。	221	7	10 ～ 29
2016	1	0 ～	被災者は、トンネル内を、大型トラック（最大積載量14トン）にて走行中、同トンネルの非常口の点検作業による車線規制のため発生していた渋	221	17	1～

		1	滞車列の最後尾の乗用車に追突、全身を強打し死亡した。			9
2016	1	6 ～ 7	4トントラックを走行中、下りS字カーブでトンネル入口付近の側壁に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2016	1	20 ～ 21	荷主先に荷を降ろしたあと、事業場に戻る途中、停車していたトレーラーに衝突した。	221	17	1～ 9
2016	1	5 ～ 6	トラック運転手の被災者がトラックの荷台のウイングを約30cm開いてステップに足を掛けて荷物を確認していたところ、被災者の足がウイングの閉ボタンに触れてウイングが閉まりアオリの間に頸部を挟まれて圧迫され窒息死した。	221	7	1～ 9
2016	1	14 ～ 15	作業場内でトラックの荷台に毛布を積むため、フォークリフトを使用していた。フォークリフトのマストを階段代わりに使用して昇降していた際に足を踏み外して操作レバーに接触、マストと運転席との間に身体を挟まれた。	222	7	1～ 9
2016	1	5 ～ 6	被災者は、高速道路をトラックにて走行中、前を走るトラックに追突し、被災者運転のトラックは追突されたトラックに押し出されるように高速道路左側側壁で停止したが、当該接触によりトラックの運転席側のドアが開かなくなったため、被災者は助手席側のドアから外に出たところ、高架下約20mの中州に転落し死亡した。	221	17	1～ 9
2016	1	7 ～ 8	トラックに積載していた荷物を下ろすため左側ウイング扉を開け、更前方あおりを開けようとした際、荷台上のロールボックス1個（内容量約600kg）が落下し、被災者の頭部等に直撃した。	611	4	100 ～ 299
2016	2	6 ～ 7	大型トラック運転中、対向車線にはみ出し、道路脇の標識の支柱に衝突し、外傷性出血性ショックにより死亡した。	221	17	10 ～ 29
			午前4時15分に出発し、午前5時39分に現地に到着。その後、午前7			

2016	2	7 ～ 8	時23分に荷卸しの為、ダンプアップした。荷降ろし終了後もダンプアップしたままだったので、荷降ろし先の運転席を確認したところ、倒れている被災者を発見した(午前7時36分)。その後、病院に運ばれた。	921	90	1～ 9
2016	2	7 ～ 8	雪の排雪作業を行うため、荷台を空の状態にして、ダンプトラック3台で片側1車線の国道を走行中、先頭を走行していた被災者のダンプトラックが右カーブに差し掛かった時、直進し路肩に立っていた電柱に激突。電柱に衝突したこと等によりダンプトラックが横転した。	221	17	1～ 9
2016	2	17 ～ 18	被災者は宅配便配達業務に従事しており、被災当日17時頃に一旦事業場にもどり、再び配達に出たところ、被災場所にて反対車線側の民家及びガードレールに接触後、路肩に逸走して停車した。	921	90	30 ～ 49
2016	2	8 ～ 9	午前8時20分頃、本件被災者が倉庫内で死亡しているのを、被災者よりも遅れて倉庫に到着した同僚労働者が発見した。発見時の被災者の状況は、エレベーターに載せられたパレットの端に、衣服が引っかかり、頭部を下にしてぶら下がっている状態であったもの。	214	7	30 ～ 49
2016	2	4 ～ 5	積載量7tの箱形貨物自動車にて、高速道路を走行中、衝突事故により停止した車列に衝突し、全身打撲により死亡した。	221	17	50 ～ 99
2016	2	13 ～ 14	13トントラック下部のリブにグリス(潤滑剤)注入作業を、被災者1名でトラック下部に潜り込んで行っていたところ、運転手が気付かずトラックを前進させ、被災者がタイヤに轢かれ死亡した。	221	7	30 ～ 49
2016	2	2 ～ 3	トラック運転者である被災者は、運転途上に休息をとる目的で午後10時30分からガソリンスタンドで停車をしていた。翌日の午前9時にガソリンスタンド店員がトラックの状況を見に行ったところ、トラック後部扉の左側が開いており、トラック荷台内部に立てかけられた荷と仕切り板が斜めに傾き、被災者がそれらの間に挟まれ、死亡した状態で発見された。	611	5	50 ～ 99
2016	3	15 ～	被災者は、工業団地に向かってトラックで荷を運送中に、道路のセンターラインをオーバーし、対向車線を走行中のトラックと正面衝突した。	221	17	50 ～

		16				99
2016	3	23 ～ 24	運輸業事業場の運行管理者が、事業場内の浴室で入浴中に、くも膜下出血を発症した。直近3か月の超過勤務時間は、いずれも100時間超となっていた。	921	90	～ 99
2016	3	6 ～ 7	長距離ルート運送に従事し、専ら車中泊を行っていた被災者はPA上り駐車場内に駐車したトラックの車内ベッドで死亡している状態で発見された。	921	90	～ 49
2016	3	10 ～ 11	交通安全旗の金属製ポール（高さ約9.59m）が古くなり錆びていたの で撤去するため、トラクターショベルのバケットに乗り、高さ約6mの位置に繊維ベルトを掛け、地上に降りた後に被災者が繊維ベルトを引っ張ったところ、ポールが被災者の方に倒れて来たため、振り返って逃げようとした被災者の頭部にポールが当たった。	419	6	～ 49
2016	4	6 ～ 7	午前6時過ぎ、被災者の運転する最大積載量3.7トンの貨物自動車が、住宅に突っ込んだ。被災者は心停止の状態 で救急搬送されたが、後に死亡が確認された。	921	17	1～ 9
2016	4	12 ～ 13	荷おろし作業をしていた際、カゴ車につかまりながら「力がは いらな い」と言 ってしゃがみこんだため救急搬送され、脳出血、クモ膜下出血により死亡が確認された。	921	90	～ 29
2016	4	7 ～ 8	被災者は、午後11時50分頃、事務所に荷物を運搬して向かう途中、運転中に脳梗塞を 発症した。近くのコンビニエンスストアの駐車場にトラックを駐車し、救急車で脳神経外科に搬送されたものの、脳梗塞により死亡した。	921	90	～ 29
2016	4	10 ～ 11	被災者が大型トラック（A）を運転し高速道路を走行中、車線規制による渋滞最後尾で停止していた大型トラック（B）に追突し死亡した（追突された（B）の運転者は軽傷）。	221	17	～ 49
2016	4	5 ～	被災者が運転する4t貨物自動車が、走行中、緩やかな上り勾配の左カーブでセンターラインをはみ出し、上り車線を走行してきた14t貨物自動	221	17	～ 10

		6	車の運転席側に接触した後、後続の14t貨物自動車と正面衝突した。被災者運転の貨物自動車に同乗していた同僚労働者は足を負傷するも軽傷。			29
2016	4	1 ～ 2	被災者はトラックで配達へ向かい、仕事を終え事業場へ戻っていたところ、片側1車線を走行中に対向車線を走行する乗用車と正面衝突し、被災者と乗用車を運転する両名が死亡した。	221	17	1～ 9
2016	4	3 ～ 4	被災者は、4tトラックを運転し、自動車道を走行中、道路左側に駐車中のトレーラーの荷台後部に追突し、死亡した。	221	17	30 ～ 49
2016	4	17 ～ 18	被災者が荷積みを行うため、トラック（バンボディ）の荷台の扉を開けていたところ、近くでフォークリフトを運転していた労働者が、フォークリフトをバックさせたところ、被災者がフォークリフトとトラックに挟まれた。	222	7	10 ～ 29
2016	4	15 ～ 16	被災者は貨物自動車に荷積み後、運行途中、道の駅駐車場において停車中の車内で死亡しているところを発見された。	921	90	50 ～ 99
2016	4	11 ～ 12	国道において、被災者は大型トラック（最大積載量14t、平ボディ、8tの鉄製トンネル用部材を積載）で片側1車線を走行中、高架のガードレールを突き破り約10m下の河川敷にトラックごと墜落した。その後、被災者は救出されたが外傷性心停止により死亡した。	221	17	50 ～ 99
2016	4	0 ～ 1	被災者Aは、運行途中に燃料切れとなり、第一通行帯の路肩に停車した自社の別事業場所属の中型トラック（4t）に燃料を届け、運転手の被災者Bと給油及びエア抜きを終えて、中型トラックの前方に移動した際、同通行帯を走行してきた大型トラック（12t）の左前部が中型トラックの右後部に追突し、両車両が横向きになり道路を塞ぐ形となった。その反動で道路上に居て中型トラックと接触したAが死亡し、Bが重症を負った。	221	17	1～ 9
2016	5	10 ～ 11	被災労働者が運転する6tトラックが走行中に緩やかな左カーブを曲がる際にセンターラインを越え、対向車（6t）のウイングボディと運転席部分が衝突し死亡した。	239	17	10 ～ 29

2016	5	8 9	倉庫内において、フレコンバック（1.0 t）をフォークリフトの爪を利用してつり上げ、トラックに荷積みしていた。トラック運転手は、爪が外れたことを確認せずにトラックを前進させたが、フォークリフトの爪がトラックの荷台上の荷物にかかった状態であったため、荷積み中のフォークリフトが転倒し、フォークリフトの運転手がヘッドレストに挟まれた。	222	2	10 ～ 29
2016	5	6 7	被災者は、県外の荷の配送先である敷地内にて、ウイングボディのウイングが開いた状態でトラック荷台側面から崩れた荷（梱包された住宅用資材で棒状及び板状のもの。重量は計約630[kg]。）の下敷きになっているところを発見された。	611	5	10 ～ 29
2016	5	5 6	被災者は大型トラック（積載荷重13.6 t）に荷（12.3 t）を積み、配送先に向かって会社を午前3時30分頃出発した。午前5時頃、国道を走行中、ゆるやかな左カーブを曲がりきれず、対向車線を横切り、ガードレールを越え約3 m下の田んぼに運転席側から落下した。	221	17	1～ 9
2016	5	12 13	物流センターの副センター長兼ドライバーである被災者が、慢性的な長時間労働及び深夜における長距離運転等に起因するくも膜下出血で死亡した。	921	90	30 ～ 49
2016	5	4 5	被災者がトラックを運転して国道を走行中、被災者のトラックが中央線を越えて対向車線にはみ出し、対向車線を走行していたトラックと正面衝突した（被災後入院加療中であったが死亡した）。	221	17	30 ～ 49
2016	5	11 12	被災者は、回送する最大積載量2トンのトラックを運転して、回送先に向かっていたときに、交差点で赤信号のため停車しようとして減速していたトレーラーに追突した。	221	17	1～ 9
2016	5	14 15	新築工事現場において、被災者がトラックで運搬した野地板（91×1820×12ミリメートル×30枚×2、総重量約600キログラム）を同現場敷地内に仮置きするため、代表者が移動式クレーン（つり上げ荷重10トン）で荷下ろし作業を行った際、荷が落下し被災者に激突した。	372	4	30 ～ 49
		9	製品積み込み作業をバルク車上で行っていた際、積み込み作業が完了し、			10

2016	5	～ 10	バルク車の槽の中を平らにするため、スコップを取りに、安全帯を外し運転席の方向へ移動したところ、途中にあるパラスクリュコンベアに頭をぶつけ、バランスを崩し、バルク車から転落した。	221	1	～ 29
2016	5	～ 4	被災者は、午前3時10分頃、荷主の配送センターへ配達を終えて、荷台には空かごを積み、帰社途中、県道を北上していたところ、県道が左へカーブしているところで、直進し、道路脇の電柱に衝突した。	221	17	～ 29
2016	5	11 ～ 12	事業場構内で、2.8t橋形クレーンを用いて、トレーラーで運搬してきた鋼板15枚を3枚ずつ（1.5m×6.0m×22mm：重さ約1.6t×3枚）荷下ろしする作業中、被災者は荷台中央部の右端部でクレーンを運転、玉掛け用ワイヤーロープとハッカーとの組合せにより鋼板中央部で2本掛けで玉掛けをし、巻き上げたところ、ハッカーが外れ、被災者に激突、その後、被災者は荷台から1.8m墜落した。	211	6	10 ～ 29
2016	5	15 ～ 16	被災者が荷（ボード480枚；1.23×2.16×0.015m）を1山60枚（重量約1.5トン）ずつに束ね、1列を4山の上下2段積みで荷台に積み、県外の配送先に10tトラックで配送した際、荷を下ろすため、トラック左後方部で左側ウイングの開放操作をしていたところ、積み重ねていた荷が荷崩れを起こしていたため、その荷重で突然あおりが外れ、そのあおりが被災者に激突した。	611	5	10 ～ 29
2016	6	4 ～ 5	被災者は、前日21時30分に出社後、中型トラックにより荷主先に向かい、荷物の積込みを行った。その後、配送先のスーパー店舗に向かい、荷卸を終え、再び荷主先に戻るため、国道を走行していたところ、中央分離帯を超え、対向車線を走行中の大型トラック右側面に衝突した。衝突により、トラックは横転し、被災者は路上に投げ出され、頭部を強く打ったことにより死亡した。	221	17	50 ～ 99
2016	6	3 ～ 4	被災者はトラックで走行中、追突注意の表示板を立ててあるコンクリートブロックに衝突した。	221	17	10 ～ 29
			被災者は、大型バスの窓枠を修繕するため、フォークリフトでパレットを			

2016	6	13 ～ 14	高さ2m20cmまで上げ、その上に乗って作業を行っていた。作業終了後、他の労働者に命じてフォークリフトを後退させたところ、パレットから墜落した。	222	1	1～ 9
2016	6	14 ～ 15	トラックを運転中、心筋梗塞の発作を起こし、中央分離帯を越え反対車線を走行中の車両に接触した。	921	90	10 ～ 29
2016	6	9 ～ 10	貨物を運送するため、被災者がトラックを運転し、到着した現地において、時間になっても車両が動かず、窓がカーテンで覆われて運転席の中の様子がわからないことを不審に思った後続の運転手が警察に通報。警察や現地スタッフが呼びかけるも反応がないことから、業者を呼んで車両のドアを解錠したところ、運転席後部の仮眠スペースにて仰向けで倒れている被災者を発見（意識呼吸なし）。救急搬送先の病院で死亡が確認された。	921	90	1～ 9
2016	6	6 ～ 7	被災者は、建設現場の盛り土用の土砂を運搬するため10tダンプトラックにて、採石場の構内の下り勾配の道を走行していたところ、突然被災者のダンプトラックの制動が不能になり、前方を走行していた同僚が運転するダンプに追突した。	221	3	1～ 9
2016	7	3 ～ 4	国道下り線において、大型トラック2台が衝突し、うち1台が高架橋上から約35メートル下の山林に墜落した後に、当該トラックが炎上し、運転席から死亡した労働者が発見された。	221	17	10 ～ 29
2016	7	17 ～ 18	物流倉庫内でリーチ式フォークリフトを運転して、荷の搬送・整理作業を行っていたところ、同フォークリフトの運転位置から後方に仰向けになって倒れ、頭部打撲による脳挫傷により死亡した。	921	2	50 ～ 99
2016	7	8 ～ 9	被災者は当該事業場の倉庫の横に4tトラック（ウイング車）を止め、荷物の積み替え作業の段取りを行っているものと思われていたが、同僚が付近を通りかかった時に、トラックの後ろで仰向けに倒れて頭部と耳から血を流している被災者が発見された。	999	99	30 ～ 49
			液状の物質（重量17トン）を積載した大型トレーラー（最大積載量20			

2016	7	12 ～ 13	トン) を被災者が運転し、国道を走行中、緩やかな右カーブに突入した際、道路に平行してトレーラーの進行方向左側を流れる河川内(約8.5メートル下)に転落し、転落の際、キャビンの天地が逆さまになり、河床の巨石にキャビンが激突し、運転席にいた被災者が押しつぶされた。	221	17	～ 99	50
2016	7	17 ～ 18	国道のトンネル内を大型トラックにて南に向かって走行中、対向車の大型トレーラーと正面衝突した。	221	17	～ 29	10
2016	7	1 ～ 2	被災者は鮮魚を積み込み、国道(片側1車線)を走行中に、対向車線を走行していたタンクローリーと正面衝突し、被災者とタンクローリーの運転手の2名が死亡した。	221	17	9	1～
2016	7	1 ～ 2	被災者は塩酸をタンクローリーに積み込み、客先に向かって国道を走行中、対向車線を走っていた大型トラックがセンターラインをはみだして被災者の運転するタンクローリーと正面衝突し、被災者と大型トラック運転手の2名が死亡した。	221	17	～ 29	10
2016	8	11 ～ 12	自動車道道上路1車線を時速70キロメートルで走行していたところ、前方の渋滞に気づくのが遅れ、追突寸前にブレーキを踏んだが、間に合わず前方の大型トラックに時速60キロメートルで追突した。	221	17	～ 99	50
2016	8	19 ～ 20	2トントラックで食材の配送に従事する労働者が、当該車両の後部と、金属製ポールとの間に頭部を挟まれ死亡した。被災労働者が配送先の駐車場で荷降ろし作業をしていたところ、当該車両が建物に向かって後退を始めたため、咄嗟にこれを制止しようとして車両の後部に入り込んだ結果、建物の車両衝突防止用のポールとの間に挟まれた。	221	7	～ 49	30
2016	8	22 ～ 23	10tトラックで荷物を運搬した後、積荷を行い、高速道路下り線の走行車線を走行していた時、意識を失い中央分離帯に接触しガードレールに乗り上げた状態で停止した。病院に心停止の状態でも搬送され心肺蘇生を受けたが、翌日死亡が確認された。	921	90	～ 299	100
		10	工場ヤードにおいて3人で2.8t門型クレーンを用いてH鋼(重さ約2.5t、長さ約9m)をトレーラーの荷台に積み込み作業中、最後の8				30

2016	9	～ 11	本目を積み終え、被災者はH鋼の上に乗って玉掛クランプを外し、クレーンの運転手に巻き上げを指示したところ、玉掛クランプがH鋼に引っかかり、H鋼もろとも地上に落下し、死亡した。	372	5	～ 49
2016	9	11 ～ 12	荷卸し先事業場の付近の道路上において、積荷である麦藁の上で、麦藁を覆っていたビニールシートを引き上げて畳む作業中、足を引っ掛けて約4m下のアスファルト路面に墜落、脳挫傷等により療養中であったが、様態が悪化し死亡した。	221	1	10 ～ 29
2016	9	13 ～ 14	被災者は2トン平ボディトラックで高速道路を走行中、後ろから来た4トントラックに追突され、前を走っていた大型トラックに衝突して横転し、被災者は救出後病院へ運ばれたが死亡が確認された。	221	17	50 ～ 99
2016	9	23 ～ 24	トラックを運転中、心筋梗塞を発症し、トラックを降りて近くの工事現場の警備員に救急車の手配を依頼したのち倒れ、病院に緊急搬送されたが2日後に死亡した。	921	90	10 ～ 29
2016	9	18 ～ 19	荷積みを行い、配送先への輸送作業中、県道にて、左カーブを曲がりきれず対向車線にはみ出し対向車と衝突し横転した。その際、運転席に閉じ込められ2時間半後に救出され、病院へ搬送されたものの死亡が確認された。	221	17	10 ～ 29
2016	9	4 ～ 5	被災者は、4トントラックを運転し、積荷を輸送していた。高速道路を走行中、本線前方を走行中のトレーラー（鋼材積載）が急ブレーキを掛け停車したところへ被災者の運転するトラックが追突し、心破裂により死亡した。	221	17	10 ～ 29
2016	10	7 ～ 8	被災者は、個人農場で大根をトレーラーに積み込み、トラックを運転中、右カーブを曲がりきれずにガードロープを超えて約10メートル下の沢に転落した。	221	17	10 ～ 29
2016	10	3 ～ 4	自動車道を走行中、センターラインを超えて反対車線にはみ出し、トラックと正面衝突し、本事業場の運転手1名及び他の事業場所属の労働者2名が死亡した。	221	17	1～ 9

2016	10	3 ～ 4	自動車道を走行中、所属のトラックが、センターラインを超えて反対車線にはみ出し、本事業場のトラックと正面衝突し、本事業場の運転手2名及び他の事業場所所属の労働者1名が死亡した。	221	17	～ 29	10
2016	10	3 ～ 4	自動車道を走行中、所属のトラックが、センターラインを超えて反対車線にはみ出し、本事業場のトラックと正面衝突し、本事業場の運転手2名及び他の事業場所所属の労働者1名が死亡した。	221	17	～ 29	10
2016	10	22 ～ 23	高速道路上り線において、7人が乗るワゴン車が走行車線から右へ車線変更する際にハンドル操作を誤り、道路左側ののり面に乗り上げ柵に衝突した。（単独事故）後部座席（3列シートの2列目）に乗車していた労働者が車外に投げ出され頭を強く打ち搬送先の病院で死亡した。	231	17	1～ 9	
2016	10	12 ～ 13	渋滞で停車中だった被災者が運転する中型トラックに大型トレーラーが追突し、その弾みで中型トラックが前方の大型トラックに衝突したため中型トラックを運転していた被災者が死亡した。	221	17	～ 49	30
2016	10	4 ～ 5	アイスクリームを積み込み配送先へ向かう途中、コンビニで買い物をしようとして車両を止め、反対側の店舗へ行く為道路を横断中に、走行してきたトラックにはねられた。	221	17	～ 99	50
2016	10	4 ～ 5	被災者は大型トラックで自動車道下り車線（登坂、走行、追越の3車線構造）を走行中、乗用車が事故を起こし走行車線を塞いでいるのを発見した。被災者は事故車の先にある非常駐車帯に自車を止め、救護活動を行う旨会社に連絡し、事故車の所で発煙筒を炊くなど救護活動を行っていたところ、そこに後続の大型トラックが突っ込んできて被災した。	221	17	～ 49	30
2016	10	9 ～ 10	大型トラックで荷を運搬し、帰社する途中のトンネル内（片側1車線の上り線）において、前方を走行中のトラクターに追突、反動で反対車線のトンネル側壁に衝突し、頭部、胸部等を受傷し死亡した。	221	17	～ 49	30
2016	11	8 ～ 9	被災者の運転する生コン車（10t車）は、生コンクリートを運搬するため、生コン工場（荷主）を出発して建設工事現場（配送先）へ向かって直線道路を走行していたところ、アイスバーンの路面でスリップして対向車線にはみ出し、路外逸脱した（単独の交通事故）。	221	17	～ 29	10

2016	11	6 ～ 7	国道バイパスにおいて、被災者は、4 tトラックで走行中、先の信号で停止していたトラックに追突し死亡した。	221	17	～ 29	10
2016	11	8 ～ 9	被災者は、ビル建築工事で使用する鉄骨を、トレーラー（15 t）にて運搬し、同建築現場内でトレーラーの横の地上にて、現場所属のとび工による荷卸し作業の補助を行っていたところ、荷崩れによって、荷台上の鉄骨1本（約250 kg）が落下し、頭部を直撃し死亡した。	521	4	～ 29	10
2016	11	4 ～ 5	被災労働者が大型トラックを運転し、自動車道を利用し走行中、インターチェンジにつながるランプ線で、道路右側のガードレールに衝突した。	221	17	～ 99	50
2016	11	14 ～ 15	納品終了後、駐車場出口から左折して公道に出る際、放置自転車が邪魔になるので移動させようと被災者が下車したところ、車両が動き出した。被災者はこれを止めようとして車の下敷きとなり、胸部圧迫で窒息死した。	221	17	～ 99	50
2016	11	23 ～ 24	被災者は、大型トラックを運転し国道上り線を走行中、融雪装置配管工事に係る車線規制により発生していた渋滞の最後尾にいた大型トレーラーに追突し死亡した。	221	17	～ 49	30
2016	11	7 ～ 8	本社事務所からトラックにて現地へ向かう途中、街道にて路肩停車中のトラック右後部に追突し、助手席に乗っていた被災者が全身を強打した。	221	17	～ 29	10
2016	11	14 ～ 15	被災者がフォークローダーを運転し、一人でチップの集積作業を行っていたところ、フォークローダーもろとも岸壁より海に転落した。	225	1	～ 99	50
2016	12	6 ～ 7	被災者は、トラックを運転し、配送先に向け、国道を走行していたところ、右カーブで対向車のトラックが中央車線をはみ出してきて、左側に避けようとしたが避けきれずに衝突し被災した。	221	17	～ 49	30
2016	12	6 ～	被災者は、事業場より家畜運搬車を運転し、荷主先に向かって国道を走行していたところ、凍結路面の左カーブで対向車線にはみ出し、対向してき	221	17	～	10

		7	たトラックと衝突し被災した。			29
2016	12	0 ～ 1	10 tトラックを運転し、営業所から荷卸先へ向かって、高速道路を走行中、橋梁工事に伴う渋滞により減速した前車に追突し、運転席にはさまれた。運転席から救出され、入院加療中であったが、災害当日に容体が急変し、死亡した。	221	17	30 ～ 49
2016	12	8 ～ 9	きび輸送用移動式クレーン（つり上げ荷重3 t未満、積載重量8.2 t）を、死亡労働者が運転中（県道を走行）、県道下約8メートルに転落した。	212	17	1～ 9
2016	12	4 ～ 5	自動車道下り線を走行していた被災者運転の大型トラックA（最大積載量8. t）が、走行車線を減速運転中の大型トラックB（最大積載量13.2 t）の後部に追突した。この事故で、トラックAの運転者が死亡、トラックBの運転者が休業した。	221	17	10 ～ 29
2016	12	0 ～ 1	被災者は20時頃、トレーラーにH鋼27トンを積み、運送を開始した。午前0時頃、緩やかな右カーブでトレーラーが横転し側壁に運転席が激突した。	221	17	30 ～ 49
2016	12	15 ～ 16	第2倉庫1階入庫検品場のレイアウトを変更したのに伴い、配線を新たに設けるため、倉庫天井の配線工事をしようと、フォークリフトのフォークにパレットを8段積み、パレット上で作業をしていたところ誤って墜落（約5 m）し、頭部を強打し死亡した。	222	1	100 ～ 299
2016	12	11 ～ 12	被災者は、会社敷地内の除雪作業を単独で行っていた同僚に合流し、排雪作業を手伝うことにした。1回目の排雪作業で漁港内をトラックで走行中、誤って海にトラックごと転落した。被災者は、漁港内を浮いているところを発見されたが、溺死した。	221	17	10 ～ 29
2016	12	5 ～ 6	中型トラックに乗って商品の積み込み先へ向かっている際、かなりのスピードを出して赤信号を無視して通過し、緩やかな左カーブを曲がりきれず、反対車線をはみ出し対向車（大型トラック）と正面衝突した。	221	17	50 ～ 99
		2	国道において、キャリアカーを駐車して商品車の積み下ろし作業を行って			50

2016	12	～ 3	いたところ、後方から走行してきたワンボックスカーがキャリアカーに追突、キャリアカーで商品車の緊締作業を行っていた被災者がワンボックスカーと自動車あるいはキャリアカーとの間にはさまれた。	231	17	～ 99
2015	8	19 ～ 20	港から内陸の食品工場に大豆等の穀物を運送するため、国道を大型トレーラーで走行中、右カーブにさしかかったところで当該車両が横転し運転手が運転室内に挟まれて死亡。車両が横転した現場は、下り勾配7%が約6.5km続く長い下り坂途中の右カーブであった。	221	17	1～ 9
2015	4	6 ～ 7	被災者は、平成27年4月27日1時頃、出発し、高速道路を運転中、インターチェンジ出口付近において、トラックが横転し、死亡したもの。死体検案書の結果、直接死因は外傷性くも膜下出血であった。	221	17	50 ～ 99
2015	6	2 ～ 3	大型トレーラーを運転中に、下り坂カーブを曲がりきれずにガードレールを突き破り、約40m下の県道に転落し炎上したもの。6月28日午後2時に事業場を出発し、近畿地方の港で荷を積載して、翌日午前9時までに関東地方に所在する事業場に荷を届けることとなっていた。高速道路の使用が認められないことから、一般道で目的地に向かっていただけと推定される。	221	17	10 ～ 29
2015	7	23 ～ 24	被災労働者が卸売市場で荷卸し等の作業を終え、道路の向かい側の魚市へ伝票を渡した後、再度卸売市場へ戻るため横断歩道を歩行した際に、左側から時速約40kmで走行してきた軽ワゴン車に激突され、3時間半後に死亡に至った。	231	17	30 ～ 49
2015	6	0 ～ 1	製紙工場内において、1人（運転手）でトレーラの荷台に設けられたスライドデッキ装置を用いて同荷台に積載したバーク（樹木の皮）を自動で地面に下ろす作業を行っていたところ、地面上にてバークに埋もれていた被災者を発見した。その後、病院にて死亡が確認された。	529	5	10 ～ 29
2015	10	～ 14	トラックの荷台に金属製の製品の車体フレームを4段に積み込が終了したので固縛するために被災者が荷台に上がっていた。天井クレーンの操作者が床上で操作し、クレーンを走行させた。最上段の車体フレーム1つが落下し、被災者も床まで落ちた。治療していたが10月8日に死亡したも	211	3	10 ～ 29

			の。			
2015	1	10 ～ 11	被災者の運転する4トントラックが、高速道路上り線の走行車線を走行中（追い越し車線は工事のため通行規制されていた）、工事渋滞中の最後尾の車に衝突。当該衝突により、最後尾から数えて合計3台の車両が玉突き事故に巻き込まれた。被災者が運転する車両は衝突後炎上し、同人は全身火傷のため死亡。上記3台の運転者の負傷程度は軽度の打撲	221	17	10 ～ 29
2015	10	5 ～ 6	卸売市場内において、牛乳等を積み込んだロールボックスパレットをトラック荷台から保冷コンテナに人力で移す作業中、被災者がトラック後部のパワーゲートの端と保冷コンテナの入口との間の隙間に鋼製の道板を敷いてロールボックスパレットを引いていたところ、掛け渡していた道板が外れ、当該隙間に落ち、倒れたため被災者がその下敷きとなったもの。	362	6	30 ～ 49
2015	9	11 ～ 12	引越作業において、ビル4階の窓から、高所作業車を使って荷の段ボール箱（中身は書類など）を地上に搬出していた。バケットの中央部に乗っていた被災者は、19個の段ボール箱と共に、地上へ下りる操作を始めた。ビル3階窓付近の高さ6メートル10センチあたりまでバケットを下ろしたところ、荷崩れを起こし、被災者は荷と共にバケットから地上へ墜落したものの。	146	1	10 ～ 29
2015	9	9 ～ 10	被災者は、15トントラック（平台車）で荷物積み込みに到着し、荷物の積み込みを完了して出発したが、通常走行経路であれば右折する交差点を直進し、突き当りの工場の門扉を突き破って建物外壁に衝突したものの。	221	17	10 ～ 29
2015	6	10 ～ 11	荷（冷凍食品）の入庫後、時間が経過しても出発しないトラック（4t冷凍車）を不審に思った荷受け担当者が、トラック後部とプラットホームに挟まれている被災者を発見した。発見時、トラックの後部扉（観音開き）は開いたままの状態。入庫時のトラック停車場はプラットホーム側が下がる3度の傾斜がついている。	221	7	30 ～ 49
2015	11	22 ～ 23	荷物を積み込み、高速自動車道を走行中、低速車を追い越し、走行車線に戻ったところ、路肩から走行車線にはみ出して停車していた故障車の右後方に追突し、ハンドルと車の間に挟まれた。	221	17	100 ～ 299

2015	4	0 ～ 1	道路貨物運送事業に勤務し、貨物用自動車運転業務に従事していた被災者が、運行先で苦しみだし、意識消失、全身けいれんが出現し病院へ搬送されたが死亡が確認された。死亡診断は、急性大動脈解離Stanford A 心配停止である。	921	90	10 ～ 29
2015	7	4 ～ 5	湖岸道路（県道）を走行していた被災者運転のタンクローリーと、逆方向へ走行していた軽自動車が、川に架かる大橋の中央付近で衝突したものの結果、タンクローリーは、反対車線を越えて歩道に乗り上げ、更に橋の欄干を突き破り約15メートル下の川に転落した。タンクローリーは、先頭部が押しつぶされ、車内に取り残された被災者は溺死した。	221	17	10 ～ 29
2015	9	5 ～ 6	被災者は自動車道下り線で大型トラック（積載荷重20トン）で走行中、前方のトレーラーに追突、トラックは停車し、被災者はキャビン内に閉じこめられた状態となった。その後、被災者は高速道路会社の担当者と携帯電話で会話をしていたが、突然応答が切れた。その後警察が被災者のトラックが2台の大型車両に追突され、被災者が車外に放出されているのを発見。	221	17	30 ～ 49
2015	12	0 ～ 1	被災者は、トラックを運転中、交差点で横転し、中央分離帯に衝突し死亡した。	221	17	10 ～ 29
2015	11	11 ～ 12	水産加工会社の冷凍倉庫脇において、トラック（11t、箱荷台）に被災者と水産加工会社の労働者2名で冷凍サバの荷積み中、被災者が荷である冷凍サバのブロックで足を滑らせトラック荷台後部（高さ約1.6m）から墜落し、頸椎骨折により死亡したものの。	611	1	1～ 9
2015	10	4 ～ 5	配送先の敷地内において、荷の下敷きになっている被災者が発見され、同日死亡したもの。災害時、被災者は積み荷をトラックから降ろす作業中であつた。	221	1	30 ～ 49
2015	11	1 ～	積荷を運んでいる途中、高速自動車道IC下り線を走行していたとき、高速道路本線上でトレーラーが停止（後退していた可能性有、調査中）して	221	17	100 ～

		2	おり、発煙筒及び三角表示板は出されてなく、気付くのが遅れ追突した。 多発性外傷、外傷性出血性ショックにより死亡した。			299
2015	12	8 ～ 9	荷主先の構内において、トレーラーへのスチールコンテナ（馬鈴薯入り） 積み込み作業終了後、出発準備中にトラクターヘッドとトレーラーの接続部 付近の地上に倒れていた被災者を同僚（別のトラック運転手）が発見し た。なお、被災者のヘルメットは脱落し近くに落ちていた。	221	1	10 ～ 29
2015	6	19 ～ 20	17時15分に他事業場の運転手が付近を通った際に被災者が倒れている のを発見し救急要請し病院に搬送されたが、20時53分に急性心筋梗塞 により死亡確認。（27.12.16業務上決定）	921	90	10 ～ 29
2015	5	2 ～ 3	国道をトラックで走行中、対向車線を走行してきたトラックがセンターラ インをはみ出してきて衝突し、双方の運転手が死亡した。	221	17	30 ～ 49
2015	1	5 ～ 6	トラック運転手の被災者は、目的地に到着後、同社従業員Aの協力を得 て、荷下ろし作業を開始した。トラック荷台には、銅板の束（長さ5m、 幅26cm、厚み10cm、重量0.5t）がタテ4段（高さ60cm） に積まれていた。Aがフォークリフトを使って銅板の束を運搬していた際 に、荷台上の銅板の束が荷崩れを起こし、地上へ落下。銅板2束（約1ト ン）が荷台そばに立っていた被災者に激突したもの。	611	4	10 ～ 29
2015	10	14 ～ 15	つり上げ荷重200トンのクローラクレーン（タワー仕様）の解体作業に おいて、解体したジブの接続部である『タワーキャップ（重量：約1.7 トン）』をトラックの荷台上に積み込んだ状態でラッシング作業中、タ ワーキャップが転がり、転がったタワーキャップとあおりとの間に挟ま れ、搬送先の病院にて死亡が確認されたもの。	612	6	30 ～ 49
2015	11	4 ～ 5	被災労働者が運転する中型貨物車が、北陸自動車道下り線を上越から柿崎 に向かって走行中、片側2車線の見通しのよい直線で、別の追突事故によ り2車線をまたいで横向きで停止している普通貨物車（ライトバン）に接 触後、同じく普通貨物車（ライトバン）に接触し路肩に停止していた別の 中型貨物車に追突したもの。ブレーキ痕なし。	221	17	1～ 9

2015	7	0 ～ 1	高速道路上、タイヤの破裂で右側車線に停車していた大型トラックに後ろから来た中型トラックが激突し、中型トラックの運転者が運転席に挟まれ、出血性ショックにより死亡した。	221	17	～ 29	10
2015	10	18 ～ 19	青果市場で積み荷を13トントラック（ウイング車）に積載し終え、荷台上部の隙間に緩衝剤を入れるため、フォークリフトのパレットを足場にして約2.4メートルの高さで作業を行っていた。作業を始めて2～3分後に被災者がパレット上から地面に墜落した。	222	1	～ 29	10
2015	6	22 ～ 23	高速道路下り線パーキングエリアから本線に進入してきた被災者運転の中型トラックと下り本線上を走行してきた大型トラックが衝突し、中型トラックのドライバーが車外に投げ出され多発性外傷により死亡したもの。中型トラックは車道左側の盛土に乗り上げ横転。大型トラックは中央分離帯に車体右側面を接触したまま数十メートル走行して停止した。	221	17	～ 49	30
2015	12	7 ～ 8	上記現場において、被災者が運転するトラックが、中央分離帯にある高架道路の支柱に衝突し、全身を強く打ち搬送先の病院で死亡したもの。	221	17	～ 29	10
2015	11	15 ～ 16	被災者は、古紙を積込んだトラックを運転し、高速道路を走行していたところ、高速線の上り線と環状線との合流地点にある左カーブを曲がりきれずに、進行方向の右側壁に衝突した後、車線合流後の右側壁に再び衝突し、被災したもの。同乗者はおらず、他車との接触はない。（単独事故）	221	17	～ 29	10
2015	7	19 ～ 20	被災者が、営業所内1階の破材置場内に設置された段ボール圧縮機に押しつぶされた状態で発見されたもの。営業所内3階においてベルトコンベヤーを使用して廃棄段ボールを搬出中、ベルトコンベヤー端部より約11m下にある段ボール圧縮機内に墜落し、段ボール圧縮機に押しつぶされたものと推定される。	414	1	～ 299	100
2015	2	22 ～ 23	2月23日20時30分頃、会社車庫をトラックで出発し、道路を走行し丁字路を右折したとき、縁石に乗り上げブロック塀に衝突した。（事故発生21時30分）トラックを運転中に、くも膜下出血が発症し事故を起こして、2月27日に死亡した。事故の際、トラックの破損は少なく、荷崩	921	90	～ 29	10

			れは見られなかった。			
2015	10	0 ～ 1	被災者は、10月20日16時頃に東北地方を出発し、10月21日10時頃に中部地方に到着する予定で東京都内の圏央道内回りの第一通行帯を4tトラックで走行中、途中のICに進行していたところ、何らかの理由で前方注視をせず、事故渋滞のため停止中の10tトラックに追突して死亡したものの。	221	17	10 ～ 29
2015	10	10 ～ 11	被災者は酪農組合の農家に家畜用飼料を運搬する作業を行っていた。被災時、運送先の農家の飼料小屋に7tトラックを停車させて飼料を吐出する準備作業中にトラックが逸走し約20m後進した。トラックは隣接する土手に衝突し横転した。逸走経路上に被災者が倒れており、下半身を轢かれていた。トラック後輪に血痕があったことから、被災者は逸走トラックに轢かれたものの。	221	7	10 ～ 29
2015	2	3 ～ 4	国道を大型トラックで走行中、緩やかな右カーブでガードレール（154.2Kmポストと、154.3Kmポストの中間付近）に接触後、対向車線へはみ出し、一日市交差点東側（154.4Kmポスト付近）の右折車両用車線をまたぎ越して対向車と衝突した。なお、対向車の後続車両も事故を避けきれず軽く接触しているが、物損のみ。ブレーキ痕は見られなかった。	221	17	30 ～ 49
2015	12	11 ～ 12	高速自動車道上り線の路肩において、工具箱を後輪側に置いて停車していた大型トラックに、中型トラックが追突し、車外にいた大型トラックの運転手がはねられ死亡した。	221	17	10 ～ 29
2015	9	12 ～ 13	9月25日23時に所属事業場で点呼を受け、4tトラック乗務を開始、事業場近隣で積載した雑貨を高速道路経由で目的地に運んだ。帰路荷（プラスチックロール）を積みこみ、県道経由で戻る途中、下り坂で道路を逸脱し、橋梁の欄干を超え、約10m下の川原に転落し、受傷した。療養中のところ、約2時間後に死亡した。	221	17	10 ～ 29
			前日に引き抜かれ、公道の脇に横置きされたコンクリート製電柱（長さ1			

2015	5	10 ～ 11	4 m、外径30 cm、重量約1 t)を指定された場所へ運搬するため、労働者2人で、積載型トラッククレーン(つり上げ荷重2.9 t)の荷台へ積込む作業を行っていたところ、使用していた玉掛用ワイヤーロープが当該クレーンのフックから外れて落下し、直下にいた被災者が下敷きとなった。同僚は、当該クレーンを運転していたが、負傷はなかった。	212	4	30 ～ 49
2015	7	11 ～ 12	被災者は液化炭酸ガスボンベ(300 kg)の交換のため、単独かつ人力で当該ボンベを移動させていたところ、当該ボンベが倒れ、その下敷きとなったもの。(出張作業中に被災したものであり、災害調査は出張先管轄署にて実施済)	319	5	10 ～ 29
2015	4	2 ～ 3	国道をトラックで走行中、反対車線から中央分離帯を乗り越えて侵入してきた乗用車に激突され、死亡したものの。	231	17	1～ 9
2015	11	11 ～ 12	被災者は、中央分離帯のある片側2車線の国道をトラック(最大積載量2トン)を運転して荷の配送中に、信号の無い交差点で右折するために停車していたトラックに追突し、死亡したものの。追突されたトラックの運転者は、業務中で休業している。	221	17	50 ～ 99
2015	2	16 ～ 17	上下二段のキャリアカー上段に積載した自動車一台を、道路側方にて地上に降ろす作業を行っていた際に、斜めになったキャリアカー上段床面上を当該自動車がずり落ち、当該自動車とキャリアカー上段床面との間にはさまれるかたちとなり、外傷性窒息のため死亡したものの。	612	7	30 ～ 49
2015	10	11 ～ 12	木造建築の建設工事現場において、被災者が4トントラックの高さ2.5メートルのキャビン上に立ち、床材を別のクレーン車で下すために玉掛け作業を行った後、地上に墜落し死亡した。いずれの場所から墜落したかは目撃者もおらず、不明である。被災時、保護帽の着用は不明であり、安全帯の使用はなかった。	221	1	1～ 9
2015	3	7 ～	4 tトラックで荷物を運んだ後、営業所へ戻る途中、高速道上り線で、道路左側のガードレールにぶつかった後、中央分離帯に衝突し、はずみで再度左側ガードレールにぶつかって、突き破り、高速道から高さ約3メートル	221	17	1～

		8	ル下の町道に転落し、道路脇の電柱に衝突した。被災者は車外に投げ出され、頭の骨を折るなどの外傷性ショックにより約4時間後に死亡した。			9
2015	7	18 ～ 19	被災者は、荷物運送のため25トントラックを運転中、高速自動車道下り線サービスエリアに向かう片道一車線の流出路において、右カーブを曲がり切れずに横転しコンクリート側壁に衝突したものの。	221	17	30 ～ 49
2015	3	17 ～ 18	被災者は、高炉の燃料となる微粉末の石炭と窒素を封入していたジェットパック車（貨物自動車の後部に円筒形のタンクを搭載している）をペレット製造設備のサイロに運搬後、次の運搬をするためにジェットパック車のタンク上部のハッチを開け作業を行っていたところ、安全帯に吊られハッチ内部に上半身を入れた状態で同僚に発見された。発見時にタンク内の底部にはハッチに取り付けるパッキンと玉掛け用補助手工具が落ちていた。	714	12	50 ～ 99
2015	8	12 ～ 13	配達先近くの路上にて車内での待機中、同僚が納品作業中車両に部品を取りに戻ったところ道路上に倒れており、近所の方に介護を受けていたもの（当人より気分が悪いと申し出があったため、午前11時30頃（4件目の配送中）より車内で休憩させていた）。熱中症と診断される。	715	11	10 ～ 29
2015	9	14 ～ 15	被災者は荷主先でトラック（積載荷重3.55t）に荷積みしてもらった後、テントハウスで一人で荷締め作業を行っていた。トラックの荷（4段に積まれた角材、ビニール包装）を、荷締め機械を用いて荷締め作業を行っていたところ、何らかの原因によりトラック上部から地面（コンクリート）に墜落し頭部を強打したものの。ヘルメットは着用していた。	221	1	10 ～ 29
2015	10	17 ～ 18	整備に必要な部品の購入を終えて会社に自転車で戻る途中、乗用車と接触したものの。	231	17	1～ 9
2015	8	0 ～ 1	被災者がトラックを運転していたとき、解離性動脈瘤破裂による、くも膜下出血により交差点で右折する前に意識を失い、そのまま街灯に衝突して負傷し、約2週間後に死亡したものの。	921	90	100 ～ 299
		10	製材所において、サイロから大型のトラック（14t）の荷台におがくず			1～

2015	5	～	を1人で積載していた際、トラックの荷台上でおがくずに埋もれていた被災者を発見した。その後、病院で死亡が確認された。	529	5	9
2015	7	13 ～ 14	国道下り線の走行車線において、信号待ちしていた大型トレーラーに、被災者が運転する4 tトラックが追突したものの。	221	17	10 ～ 29
2015	3	23 ～ 24	国道でトラックを運転中、下りの左カーブで霧も出ていたため、運転ミスによりガードレールにぶつかり、横転事故を起こし、全身打撲により死亡した。	221	17	30 ～ 49
2015	6	11 ～ 12	被災者がフォークリフトを運転して、トレーラーから卸すにあたり、トレーラーに取り付けられた道板付近で脱輪し、フォークリフトが進行方向の左側に倒れ、共に転落した被災者の首付近がフォークリフトのヘッドガード付近の下敷きとなり被災したものである。	222	1	10 ～ 29
2015	3	7 ～ 8	被災者は、同僚の労働者1名と共に倉庫内において、飼料が入ったフレコンバッグ（直径約1 m、高さ約0.7 m、重量0.5トン）が5段3列に積み重ねられている（奥行き、高さともに約3.2 m）の横で空き袋の整理作業をしていたところ、同僚が整理作業に使用していたフォークリフトの爪が2段目中央のフレコンに当たって破損し、飼料が漏れ始め、その数分後、上部等にある9個のフレコンが崩壊して被災者が下敷きになったものの。	611	5	100 ～ 299
2015	7	3 ～ 4	高速道において、被災者は脳内出血を起こし路肩に停車したが、17日後に死亡した。	921	90	100 ～ 299
2015	9	18 ～ 19	被災者はダンプ（10トン）を運転し、国道線の緩い右カーブを走行中、中央分離帯の切れ目からはみ出した対向車のトラック（10トン）と衝突し、ダンプ運転手が胸部打撲により死亡した。なお、トラックは、Uターンを行うために中央分離帯をはみ出し対向車線に進入した。	221	17	1 ～ 9
		1	積み場に向かうために、被災者は大型貨物自動車を運転し、バイパス（下り方面）左車線を走行していたところ、前方を走行していた大型貨物自動			50

2015	11	～	2	車（以下、「大型トラック」という。）がパーキング入り口を過ぎた辺りで急停止し、その急停止した大型トラックを避けきれず、大型トラックの荷台に積んでいたH鋼に衝突し死亡した。	221	17	～	99	
2015	9	8	～	9	運送会社の労働者2名が各々運転するタンクローリー2台で出荷作業のため、工場内で尿素水を充填する作業を行っていた。別の労働者がタンクローリー（1台目）に充填を終え、計量測定を行っているときに、被災者がタンクローリー（2台目：最大積載荷重3270kg）の充填を行うため、尿素水タンクに繋がれたホースをタンクローリーに接続しようと荷台へ搭乗したところ、荷台（高さ97センチ）から墜落。（推定）	221	1	1～ 9	
2015	6	3	～	4	被災者が運転する中型トラックが、走行車線と高速バス停留所との分離帯に乗り上げて横転。後続の大型トラックと中型トラックの2台がよけきれずに追突し、全身を強く打って死亡したもの。後続のトラック運転手2人に怪我はなかった。被災者は、四国地方から中部地方まで荷物を運ぶ途中であった。事故当時、現場には強い雨が降っていた模様。	221	17	～	30 49
2015	4	0	～	1	荷主先にてトラックへ荷を積込作業中に、荷台（高さ1.2m）より地面に墜落し、頭部を強打し死亡した。なお、被災者のヘルメットは発見時に脱げていた。	221	1	～	10 29
2015	9	9	～	10	25tトレーラーにH鋼（計12本）を二段積みにし配送先へ運搬した。配送先で橋形クレーンでの荷卸しに備え荷を固定していた4か所のチェーンブロックを外し、荷台上で玉掛け作業の準備をしていたところ、H鋼（長さ12m×幅85cm×フランジ部30cm。重量2.878t）が倒れ、被災者は上半身を挟まれ死亡した。	521	5	～	100 299
2015	11	13	～	14	大規模修繕工事現場の東側にあるこう配5.1°の道路上において、車両積載形トラッククレーン（つり上げ荷重2.93t）の運転手である被災者が、同現場にて使用された足場材の積載を終えた後、トラッククレーンの脇にてアウトリガーの収納の操作を行っていたところ、アウトリガーが地面から離れた途端に同トラッククレーンが逸走し、アウトリガーと同現場の足場の建地との間に挟まれて被災したものの。	212	7	～	10 29

2015	9	9 10	被災者は、積載荷重2.7tのウイング車の荷台から、パレット積みの荷（重量約120kg）を卸すため、高さ約1mの荷台上で、手かぎ棒を使用して、荷台の奥にあったパレット積みの荷を手前に引き寄せようとしたところ、手かぎ棒がパレットから外れ、その勢いで荷台から墜落し、左側頭部を強打したもの。	221	1	50 ～ 99
2015	5	0 1	4tトラックのパワーゲートを使用して、折りたたみコンテナを積んだカゴ車（重量約30kg/個）を積みおろし中、何らかの原因で荷室のカゴ車がパワーゲート上のカゴ車に倒れこみ、さらにそのカゴ車が倒れてくるところを被災者が避けた際、バランスを崩し仰向けに倒れ地面に後頭部を打ちつけ、翌日脳挫傷により死亡した。	362	5	10 ～ 29
2015	11	3 4	被災労働者が運転する大型トレーラーが、国道を走行中、片側1車線の下り坂の緩やかな右カーブで、道路左側のガードレールと電柱に衝突して横転したもの。ブレーキ痕なし。	221	17	1～ 9
2015	2	19 20	被災者は、不整地運搬車の荷台を上昇させ、同車の左側面から荷台下の状況を目視していたものであるが、その直後、頭部と上半身が同車の荷台と車体の間に挟まれたもの。	227	7	1～ 9
2015	4	2 3	被災者運転のトラックが配送中に道路左側の縁石に接触し、反対車線を横断後、畑に転落、電柱に衝突した。病院へ救急搬送後、死亡が確認された。	221	17	30 ～ 49
2015	1	2 3	西方面に走行していた被災者の運転する大型トラックがセンターラインを越え、対向車線を走行していた大型トラックと衝突した。	221	17	10 ～ 29
2015	4	17 18	会社の駐車場の14t積みトラック荷台脇で、頭から血を流して倒れているところを同僚が発見したもの。	221	1	10 ～ 29
2015	5	3	被災者は、隣県まで精肉を配送した後、事業場に戻る途中、バイパスの帰路方向に向かって下り坂になっている右カーブで対向車線にはみ出し、対	221	17	30 ～

		4	向してきた自動車運搬用のトラックと正面衝突した。			49
2015	1	0 ～ 1	酒造工場から焼酎の原料となる芋20tを隣県の冷凍工場へ運搬するため、被災者運転のトレーラーが県道を走行中、片側1車線の右カーブで、曲がりきれず横転し、道路左脇の電柱に衝突。衝突の衝撃でキャビンは大破し、被災者は、シートとキャビン天井に身体が挟まれ、全身打撲、胸部圧迫、内臓破裂により死亡したもの。	221	17	～ 49
2015	11	2 ～ 3	被災者は、荷を積むために、目的地向かい国道をトラックで走行していたところ、対向してきた大型トラックと正面衝突した。被災者のトラックは道路をふさぐ形で停車し、大型トラックは路外へ転落した。大型トラックの運転者は業務中で、負傷により休業した。道路はほぼ直線で、路面は圧雪アイスバーンであった。	221	17	～ 29
2015	3	22 ～ 23	荷を運搬するため大型トラック（10tウイング車）を運転し道路を走行していたところ、反対車線を走行してきた大型トレーラーが中央分離帯を乗り越えて、被災者側の車線に進入してきた。大型トラックと大型トレーラーは正面衝突し、弾みで大型トラックは道路の左側にある石塀と金網フェンスに激突し炎上した。大型トラックの運転手は車外で死亡。トレーラーの運転手は重傷を負った。	221	17	～ 29
2015	12	13 ～ 14	荷待ちしていた被災者は、他車の荷台に積込中の巻取紙を固定するゴム製の歯止めが滑るのに気づき、同車の運転手とともに、荷台に背を向けて歯止めをコンクリート地面に擦り付けていた。このとき巻取紙は、別の歯止め1個と梃子棒で固定されていたが、何らかの理由で巻取紙が荷台から転がり落ち、被災者の背中から腰の辺りに当たったもの。巻取紙の重量は約800kg、荷台の高さは約1.4mであった。	611	4	～ 29
2015	1	7 ～ 8	仮設材輸送の為、車両積載型トラッククレーン（4t車）で午前5時に出庫し、近くのICから目的地方面に向けて高速道路走行中、途中ICの約2kmの地点から道路左側の路肩およびガードレールに衝突した後、IC出口のガードレールに衝突したもの。	221	17	～ 99
			食品工場構内において、10tトラックを出荷バースに接車後、トラック			

2015	9	19 ～ 20	へ積込作業を行っていたところ、練り製品積載パレットを2枚積み込んだ時に、トラックが前方に動き出したため、トラックを止めようと前方に回り込んだ際に転倒し、トラックの左前輪に轢かれたもの。	221	7	100 ～ 299
2015	8	1 ～ 2	被災者が運転するトラックが大型トレーラに追突し、腰を強打し死亡したもの。同乗していた者も両足の骨を折る重傷を負っている。	221	17	10 ～ 29
2015	10	4 ～ 5	配送を終えてターミナルに戻り、トラック後方の観音扉を開けて空のコンテナを置き場に戻した。観音扉を閉めるためトラックを移動させて停車したが、トラックが動き出し、近くに停車していたトレーラーの連結部分にぶつかった。そのときトラックのドアが閉まり、降車しようとしていたあるいは乗り込もうとしていた被災者が、トラックのドアと運転席の間にはさまれ胸部圧迫で死亡した。1人乗務で発生状況を現認した者はいない。	221	7	30 ～ 49
2015	10	10 ～ 11	荷積先の労働者が、フォークリフトを使用し積み荷（古紙、高さ97cm、幅200cm、奥行70cmの立方体、重量約400kg）を2段重ねにしてトレーラー（ウイング車）に積み込む作業中、積み荷を荷台上に降ろす際に荷が倒れ、荷台上にいたトレーラーの運転手が、倒れてきた荷と荷台の壁との間に胸部を挟まれた。病院にて入院治療中であったが、被災より2日後の10月24日に死亡したもの。	222	5	10 ～ 29
2015	3	0 ～ 1	被災者は長距離運転のトラックドライバーとして従事していたが、平成20年3月24日午後9時半頃勤務を終えて帰宅。翌25日朝、被災者が起床してこないため、家族が寝室を確認したところ、既に体が冷たくなった状態で発見され、搬送先の病院で死亡が確認された。診断名「特定不明の心臓死」。	921	90	30 ～ 49
2015	2	9 ～ 10	被災者は、ミキサー車を運転し、高速道路下りのJCTの減速車線（本線車道から離脱するための車線）を走行中、急に進路を変更しようと追越車線に出たところ、運転席のキャビンが追越車線を走行していた大型貨物自動車と衝突し、はずみで中央分離帯にぶつかり、そこに後続の普通乗用車	221	17	1～ 9

			と中型貨物自動車相次いでミキサー車に追突したものの。被災者は車外に放り出され、約1時間後に死亡したものの。			
2015	10	22 ～ 23	被災者他5名で港のふ頭において、船からカニの荷揚げ作業を終え、現地で解散となった後、被災者は乗って帰るトラックが停車してある方向とは反対側の岸壁の方に歩いて行き、同船と岸壁の間から転落し溺死した。なお、業務上外調査中であつたが、平成28年2月5日業務上と決定した。	713	10	1～ 9
2015	12	0 ～ 1	配送先で荷下ろし終了後、トラックの運転席で倒れている所を発見され、死亡が確認された。	921	90	10 ～ 29
2015	11	14 ～ 15	商品（旋盤）搬送のため、高速道路をトラックで走行中、事故渋滞により停車中の前方車両に追突し、被災者は、全身打撲を負って、当日死亡したもの。なお、当該前方の車両（トラック）は、追突された勢いで、さらに前方の車両（一般乗用車）に追突した。本件事故により、前方のトラックの運転手1名も軽傷を負った。	221	17	1～ 9
2015	10	15 ～ 16	平成27年10月2日、15時10分頃、自社工場内において産業用ロボットを使ってセメント袋を所定場所に積み重ねる作業を監視していた被災者が、破れたセメント袋がコンベアから送られてきたため、それを取り除こうとして稼働中の当該ロボットアームに首を挟まれ、搬送先の病院で死亡したもの。	167	7	10 ～ 29
2015	2	3 ～ 4	社有車で事業場から荷（箱4個）の搬送先に向かっている途中、高速道路下り線の地点（片側2車線の直線道路の左側の車線）で、前方の4t平ボディーカーに追突し、脳挫傷により死亡した。	231	17	10 ～ 29
2015	4	5 ～ 6	被災者は、車両運搬車（キャリアカー）を運転し国道4号線を走行中、信号待ちで停車していた大型トレーラーに追突し、その衝撃で身体が運転席に挟まれ死亡した。（追突された大型トレーラーの運転者は被災したが不 休）。	221	17	10 ～ 29
		4	大型車（12t）で高速道路を走行中、前方に横転した車両が走行車線上にあつたため、ブレーキをかけながらハンドルを切って避けようとした			1～

2015	10	5	が、横転した車両に接触後、中央分離帯の支柱に衝突し、車外に投げ出され死亡したと思われる。	221	17	9
2015	7	5	4 高規格幹線道路を運転中、パンクのために路肩に停車していたトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2015	12	12	11 ～ 12 一戸建新築工事現場において、トラックで搬入された資材等を移動式クレーン（ホイールクレーン、つり上げ荷重4.9 t）を用いて荷降ろしする作業中に約15 mの高さにつり上げたシステムキッチン（約350 kg）が落下し、その衝撃で破損した部材が付近で別の作業をしていた被災者に当たり、その勢いで被災者は後方に転倒、後頭部を地面に打ちつけ、意識不明となっていたが12月10日に死亡したもの。	372	4	10 ～ 29
2015	10	5	4 ～ 5 事業場から会社へトラックにて荷物を運送する途上、交差点を右折したところトラックが横転し、信号支柱に衝突して、運転していた被災者は頸髄損傷のため死亡した。	221	17	10 ～ 29
2015	9	13	12 ～ 13 事業場から2トントラックで荷（自転車）を運ぶため走行中、冠水した道路でトラックが水没した。そのため、被災者は事業場へ連絡し、迎えに来るよう依頼したが、無理と言われたため、トラックから降りて徒歩で歩いていたところ、事業場との電話連絡を最後に連絡が途絶えて13日に警察から死亡の連絡があった。	713	10	1～ 9
2015	3	4	3 ～ 4 国道をトラックで走行中、事故車を避けようとしてハンドルを切ったところ、前方を走っていたダンプに追突し、助手席に乗っていた被災者が死亡したものの。	221	17	100 ～ 299
2015	8	6	5 ～ 6 国道で信号の手前100メートル付近で、中型トラックが、前方で信号待ちで停車していた中型トラックの後部に衝突した。さらに衝突された中型トラックはその弾みで、前に停車していた大型トラックの後部に衝突した。計3台のトラックが関係する交通事故である。	221	17	10 ～ 29
			荷積み先工場内において、構内下請け事業場労働者の運転するフォークリ			

2015	6	14 15	フトにより、橋桁コンクリートブロック用型枠（重量約250kg、以下型枠という）を6枚重ねでトラックに荷積みしていた。積んだ型枠が荷台からはみ出していたため、位置を修正しようと再度型枠を持上げたところ、上部の1枚が荷台からフォークリフト反対側地面に滑落した。トラック運転者である被災者は滑落した型枠の側で胸部を強打した状態で発見された。	612	4	1 9
2015	11	6 7	配送先事業場の構内において、トラック運転手である被災者が頭部から血を流し、トラック荷台の横で倒れていたもの。災害発生時は、1人で作業を行い、ヘルメットは被っていなかった。トラック荷台に積んだ荷の上で、シートを外す作業を行っていたところ、アスファルト路面に墜落したと推定する。なお、墜落高さは推定3.4m～4mである。	221	1	30 49
2015	1	6 7	被災者が1名で荷積み後の4tトラックを運転して陸送する途中において、高速道のIC付近を走行中に、高速道路をふさぐように倒れてきた（いた？）木に接触して横転し、被災者は頭を強く打つなどして死亡したものの。	221	17	10 29
2015	4	11 12	配送先で商品を降ろし、トラックを移動させている途中で冷や汗が出て、車内で動けなくなった。会社に電話で動けなくなった旨を伝えたが、助けがくるまでに意識を失った。病院へ搬送されている間に心肺停止となり、蘇生処置を施されるも、病院にて死亡した。	921	90	10 29
2015	4	5 6	平成27年4月24日午前6時に当該労働者は、海上コンテナトラクタ（ヘッド・シャーシ）を運転して、仕事現場に来ることになっていたが、現れず、車両付属のGPS信号を探していたところ、同日午後5時頃当該車両を発見し、車内を確認したところ、キャブ内ベットで死亡していたものの。平成28年2月末業務上となった。	921	90	1 9
2015	12	11 12	伝票を受領するため、碎石工場敷地内にダンプカーを止め、当該敷地内事務所へ徒歩で向かっていたところ、後進して荷（山砂）を運んでいた、碎石工場のトラクター・ショベルに轢かれ死亡したものである。	141	7	10 29
			被災者はトラックによるパン類の配送業務を終え、午前8時半頃、食品会			

2015	10	10 ～ 11	社内にある事務所に戻り、運行日報を記載した後、事務所から西に約500m離れた駐車場にトラックを駐車した。被災者は、帰宅する前、駐車したトラックに通勤用の自家用車（軽自動車）を横付けし、自家用車の屋根に上がって、トラックのコンテナに付いた傷を自ら用意したコンパウンドで磨いていたところ、屋根から墜落した（推定）。	231	1	30 ～ 49
2015	1	7 ～ 8	国道のトンネルで、ワゴン車が中型トラックと正面衝突したものの。ワゴン車を運転していた運転手（52歳）は、出血性ショックにより死亡した。また、ワゴン車助手席の男性（29歳）と中型トラックの運転手（42歳）は、軽傷（不休）であった。なお、現場は片側1車線の直線道路である。	231	17	100 ～ 299
2015	2	14 ～ 15	平成27年2月6日、午後2時15分頃、被災者は、林業現場で伐採された間伐材を積載し、トラックで林道を走行していたが、当該林道を横断している側溝に設置してあったグレーチングが外れているのに気付いたため、同所の手前（下り方向）でエンジンをかけた状態でトラックを止め、運転席を降りて同グレーチングを直していたところ、逸走し始めた自分のトラックに轢かれ、「外傷性ショック」により死亡したものの。	221	17	10 ～ 29
2015	3	9 ～ 10	国道を2トントラックで食品運搬中、なんらかの原因により、センターラインを越えて対向車（10トントラック）と正面衝突した。被災者は、車両から投げ出されて死亡。衝突されたトラックの運転手は意識不明の重傷。衝突されたトラックの後部にいたトラックも10トントラックに追突したため、その運転手も負傷した。	221	17	50 ～ 99
2015	1	0 ～ 1	国道で、交差点を北に直進していたトラック（4トン：保冷車）と右折の普通乗用車が接触、トラックが横転し、ドライバーが全身を強く打ち死亡、普通乗用車の運転者も軽傷を負った。被災者は、1月20日の午後5時に会社を出て途中で配送を行い、同日の午後10時頃荷（とうふ）を積み目的地へ向かっている最中であった。	231	17	1 ～ 9
2015	2	0 ～	中型貨物自動車を運転し、目的地までの運行を行っていたところ、緩い左	221	17	30 ～

		1	カーブで対向車線に進入、対向してきた大型貨物自動車と衝突したもの。			49
2015	3	0 ～ 1	荷主構内において、バルク車の上でセメントの積込み作業中に墜落し、心肺停止で病院に搬送され、3月27日に死亡した。	221	1	30 ～ 49
2015	3	7 ～ 8	公道において、トラックで運搬してきたコールドロールボックスの荷卸し作業を行っていた際に、1台のコールドロールボックスをトラックの荷台からテールゲートの上に移動させ、リモコン操作でテールゲートを下降させたところ、コールドロールボックスのキャスターのうち1輪が荷台の上に乗ったままの状態であったため、コールドロールボックスが傾いて倒れ、被災者がその下敷きになった。	611	4	10 ～ 29
2015	4	16 ～ 17	高さ約3.4mのラックの上に乗って、パレットの上に乗せた荷をフォークリフトから作業員2人でラックの上の上に敷いた平板の上に引っ張りこんだ後、ラックの上移動していた際に、バランスを崩してラックから墜落したものの。	419	1	10 ～ 29
2014	1	5 ～ 6	被災者は、ガスボンベを積んで高速道路をトラックにて走行中、トレーラーに追突し、さらに後続のトラックが（被災者のトラックに）追突し、荷のガスボンベが散乱して計4台が絡む事故となった。この事故により、被災者と後続のトラックの運転手の2名が死亡した。	221	17	30 ～ 49
2014	1	5 ～ 6	被災者は、特殊鋼等の金属部材を運ぶため出発し、高速道路を走行中、大型トレーラーに先行するトラックが衝突し、更に被災者のトラックが（先行するトラックに）衝突し、大型トレーラーに衝突した（先行する）トラックの運転手と、被災者の2名が死亡した。	221	17	10 ～ 29
2014	1	8 ～ 9	最大積載量2トンの事業用貨物バンを運転し、宅配物の集荷場所に向かって下り坂の公道を走行していた際、キャビネット（運転台）後部が上がり前方に倒れたため、停車後、運転席から降りてキャビネットを戻し終えたところ、当該車両が前進し始めたため、キャビネットの前で止めようとしたが、当該車両とブロック塀との間に体を挟まれた。	221	7	10 ～ 29

2014	1	8 ～ 9	配送先工場内の荷下ろし場所にて、自身が運転してきたトラックの後方の 地面の上で、鼻から血を流して倒れている被災者が発見された（発見時、 トラックの荷台後方に取り付けられたテールゲートリフターは倒した状態 であり、そのゲートの床面には荷下ろし予定のドラム缶が置かれてい た）。	221	1	～ 29	10
2014	1	11 ～ 12	被災者はトラックの運転手である。荷降ろしのため、トレーラー上のコン テナから、横付けしたフォークリフトのパレットに荷であるドラム缶を移 し替える作業を行っていたところ、高さ136cmのコンテナから墜落し た後、同じく落下したドラム缶（210kg）が頭部を直撃し、頭蓋骨骨 折により死亡した。	221	4	～ 29	10
2014	1	18 ～ 19	運転業務を終えた被災者は、トラック置場で意識不明の状態で見倒れている ところを同僚に発見され、救急車搬送した医療機関でくも膜下出血と診断 され、死亡した。	921	90	～ 29	10
2014	1	19 ～ 20	荷物の配達作業中、道路にトラックを止め、運転席から降りたところ、ト ラックが不意に動き出し、轢かれた。	221	17	～ 29	10
2014	1	4 ～ 5	高速道路の緩やかな左カーブにて、前方のトラックに、被災者が運転する トラックが追突した。	221	17	～ 29	10
2014	1	14 ～ 15	荷主先にて、ウイング車に織物等の荷を積み込むため段取り作業（ウイン グの片側を開け、養生用のベニヤ板の移動等）を行っていたところ、立て 掛けていた養生用の9枚のベニヤ板が倒れ押し出され、荷台（高さ1.3 m）から墜落し頭部を強打した。	522	5	～ 299	100
2014	1	12 ～ 13	インターチェンジ上り線の進入のためのランプ橋にて、積載荷重20トン のトレーラーにオキアミを積んで搬送先へ向かっていたところ、当該ト レーラーがガードレールを乗り越え転落し、つぶれた運転席（キャビン） に運転手がはさまれ死亡した。	221	17	0	
		16	被災者は、引越の積荷を運ぶ業務中、市道で同僚の運転するトラックの後				10

2014	1	17	退を誘導していたところ、電柱とトラックの間に挟まれ、出血性ショックで死亡した。	221	7	～ 29
2014	1	9 10	被災者は、現場に到着後、前のダンプの荷卸しが終わるのを待つために待機していた。その際、被災者のダンプの前で待機していたダンプが無人のまま坂道で動き出し、約180m移動した後に被災者の車両に衝突した。被災者は、避難しようとダンプを降りたが間に合わず、両ダンプの間に挟まれた。	221	6	～ 29
2014	1	5 6	被災者は、顧客に荷物を配送するため会社を出発したところ、途中の道路にて停車し、荷台の下でパワーテイクオフシャフトに巻き込まれていた状態で発見された。	221	7	10 ～ 29
2014	1	23 24	国道にて、被災者は、運転していた大型トラックから大きな音がしたため、道路脇に停車（白線跨ぎ）し、ハザードランプ等を表示し車体の前輪と後輪の間から車体下部を覗き込んでいたところ、後方から来た中型トラックに追突され、車体後輪に頭部を強くぶつけた。	221	17	10 ～ 29
2014	2	14 15	被災者は、鋼製溶接式管継手用の「材料管」28本（合計約9.5t）を15tトラックに積み込む作業を、トラック運転手と共にしていた。その際、荷台上の鋼管を荷台に固縛するため、トラックの左側あおりを下しかけたが、あおりに内側から外に向かって力が加わっていることに気付き、両名であおりを支えていたが支えきれず、被災者のみ落下した荷（5本）の下敷きになり、胸部圧迫により死亡した。	221	5	10 ～ 29
2014	2	8 9	トラックの荷台に積んでいたほぼ六角形に束ねた荷（約520kg）を2つまとめて地面に仮置きしようとして、労働者Aがフォークリフトを操作し、被災者がトラックの荷台に乗ってフォークリフトのつめが荷にかかっているか確認していた。労働者Aがつめを数センチ上げたところ、荷が被災者に向かって動き出し、荷とともに被災者が高さ約1.4m下の地面に墜落した。	221	1	10 ～ 29
		2	被災者は、2tトラックで高速道路を走行中、渋滞のため停車していたところ、後方から走行してきた大型トラックに追突され、その反動で前方の			50

2014	2	2 ～ 3	4 tトラックに追突した（観光バス1台、トラック4台の玉突き事故であった）。	221	17	～ 99
2014	2	14 ～ 15	運送のため2 tトラックで会社を出発した被災者は、国道を走行中、ゆるやかな左カーブで対向車線にはみ出し、対向してきたローリー車に激突した。尚、走行していた道路に降雪による影響はなかった。	221	17	～ 99
2014	2	0 ～ 1	被災者は、所属事業場よりトラックを運転して荷の搬送先へ向かっていたところ、コンビニの駐車場に停めた車内で意識を失っているところを発見され、死亡が確認された。死因は心臓突然死の疑い。	921	90	～ 49
2014	2	3 ～ 4	被災者の乗るトラックが高速道路の走行車線を走行中、走行車線上に停車していたトラックに気づき、回避のため急ハンドルを切ったが間に合わず、助手席側が停車していたトラックに衝突。運転者は肋骨骨折を負い、助手席の同乗者が死亡した。	221	17	～ 99
2014	2	3 ～ 4	最大積載荷重6.3 tのトラックで走行中、赤信号のため減速していた最大積載荷重29 tトレーラに追突した。	221	17	～ 29
2014	2	9 ～ 10	被災者は、トラックにて荷物の輸送を行っていた。積雪のため、コンビニの駐車場でトラックのタイヤにチェーンを装着する作業を行っていたところ、脳出血を発症し倒れた。被災者は、脳出血を発症する1週間前に47時間、1か月前に100時間、さらに2、3、4か月平均で80時間を超える時間外労働を行っていた。	921	90	～ 49
2014	2	3 ～ 4	高速道路を走行中、被災者はトラックに接触したため路側帯に停車し、事故処理のため警察の到着を待っていた。その後、本線を走行してきた別のトラックが、停車中のトラックに追突し、車外に出て路側帯にいた被災者が追突事故の巻き添えとなり死亡した。	221	17	～ 299
2014	2	21 ～ 22	被災者は、高速道路を走行中、後方から走行してきた大型トラックに追突され、その弾みで（被災者が運転する）トラックが法面方向へ弾き飛ばされ、運転席を下に向けた状態で横転した。	221	17	～ 29

2014	2	3 ～ 4	高速道路の走行車線を低速で走行していたトラックAに、被災者の運転するトラックBが追突。トラックBは追越車線側にそれて停車した。数分後、追越車線を走行してきたトラックCが、停車していた被災者のトラックBに追突した。	221	17	10 ～ 29
2014	3	0 ～ 1	入社後の点呼実施後、乗務する車両の保管場所へ原動機付自転車で移動中、道路交差点で貨物自動車と衝突した。	231	17	10 ～ 29
2014	3	14 ～ 15	住宅用建材（外構用の化粧コンクリートブロック）の配送を、3 t積みトラッククレーンで行っていた。現場にて、荷下ろしのため玉掛けワイヤーを積荷に掛けていたところ、大雨のため足元が滑り、荷台（高さ約70 cm）から転落した。	212	1	30 ～ 49
2014	3	6 ～ 7	被災者は、木製の角材（長さ4 m×縦10.5 cm×横3 cm）の束を積んだトラックで、荷主の事業場を出発した。翌朝、配送先近くの県道脇で、ウイングの上がったトラックの荷台から崩れ落ちた角材の下敷きとなっている被災者が発見された。	611	5	10 ～ 29
2014	3	18 ～ 19	被災者は、荷物を配達するため、片側1車線の道路左側に配達車両を路上駐車させ、反対車線側に位置する配達先に向かうため、配達車両の前方付近から道路を横断したところ、当該配達車両の後方から来たトラックにセンターライン付近で激突され、約4 m先まで飛ばされ、地面に頭部を強打した。	221	17	50 ～ 99
2014	3	8 ～ 9	住宅新築工事に据付けるユニットバスの部材を2トントラックで搬入した被災者は、荷卸し作業中、高さ1.2メートルの荷台から地面に墜落した（保護帽、安全帯未着用）。	221	1	10 ～ 29
2014	3	8 ～ 9	被災者は、ロールボックスをトラックに乗せるため、同僚と二人で当該ボックスの両横を押す形で移動させていた。エプロンに設けられている傾斜路を下り方向に移動させていたため、スピードが出ないようにボックスの前側に移動して押さえていたが、ボックスの前側の車輪がトラックのテールゲートに載ったところでボックスが傾き、倒れてきたロールボックスの	362	5	10 ～ 29

			下敷きになり死亡した。			
2014	3	21 ～ 22	トラックで走行中、被災者の運転するトラックが対向車線にはみ出し、対向車両と正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2014	3	18 ～ 19	トラックで高速道路を走行中、中央分離帯のガードレールに衝突した。	221	17	10 ～ 29
2014	3	11 ～ 12	大型トラックで荷物を配送中、待機するため立ち寄ったコンビニ店の駐車場に車を止め、駐車場を歩いていたところ、駐車場から出て行こうとした大型トラックの後輪に轢かれた。	221	17	1～ 9
2014	3	14 ～ 15	トラックを運転中、ガードレールに接触し、反動で中央分離帯及び反対車線を越え、反対側ガードレールを破り、約5m下に転落した。	221	17	50 ～ 99
2014	3	13 ～ 14	バンニング場内にて、コンテナに荷札を取り付けようと、構内を歩行していた被災者は、後進してきたフォークリフトに激突され、死亡した。	222	6	30 ～ 49
2014	3	8 ～ 9	積荷の確認をしようと、荷台のウイング部を少し開け、頭を入れ、目視していた際、足でウイングの開閉スイッチを押したところ、アオリとウイングに首を挟まれた。	221	7	10 ～ 29
2014	3	10 ～ 11	緩やかなカーブの道路にて、被災者が運転する大型トラックが対向車線の歩道の縁石に乗り上げ、横転し、街路樹に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2014	3	23 ～ 24	トラックで自動車道を走行中、トンネル内で外壁にフロントを接触し、反動で縁石にフロントタイヤを接触した状態で走行し、トンネルを出たところで停止。内蔵破裂により死亡した。	221	17	10 ～ 29
2014	3	23 ～	トラック乗務中、港からフェリーに乗船し、仮眠をとっていたところ、意識を失っているところを発見され、死亡した。	911	90	1～ 9

		24				
2014	3	2 ～ 3	自動車道の走行車線を走行中、被災者運転の大型トラックが、前方でタイヤのバーストによりトンネル内の走行車線で停止していた大型トラックに追突した。	221	17 ～ 49	30
2014	3	4 ～ 5	大型トラックと大型トレーラーが正面衝突し、双方の運転手2名が全身を強く打ち、死亡した。	221	17 ～ 29	10
2014	3	7 ～ 8	段ボールの原紙となる筒状のロールを、トラック荷台床に据え付けられた手工具で、荷台の端まで移動させていたところ、ロールが被災者に向かって倒れ、下敷きとなった。	611	6 ～ 29	10
2014	3	7 ～ 8	駐車場にて、仮眠中、心筋梗塞で死亡した。	921	90 ～ 29	10
2014	4	0 ～ 1	自動車道にて、走行車線に停車していたトラック後部に被災者の運転するトラックが追突した。	221	17 ～ 49	30
2014	4	5 ～ 6	国道をトラックで走行中、センターラインを越え追い越ししたところ、自動車と正面衝突した。	221	17 ～ 499	300
2014	4	2 ～ 3	高速道路を走行中、大型トレーラーに、後続の大型トラックが追突し、大型トラックを運転していた被災者が死亡した。	221	17 ～ 99	50
2014	4	2 ～ 3	前方を走行していた大型トラックが、その前方を走行する大型トレーラーに追突し、停車していた際、被災者が運転する大型トラックが、停車していた前方の大型トラックに追突。先に追突した運転手及び被災者が死亡し、先頭の大型トレーラーの運転手も負傷した。	221	17 ～ 99	50
		3	リーチフォークリフトに乗り、トラックに荷の積み込み後、ハンドルを切			50

2014	4	4	りながら後進したところ、停めてあった別のトレーラーの架台にフォークリフトごと背中から滑り込み、フォークリフトの運転操作盤と架台に上半身を挟まれた。	222	7	～ 99
2014	4	4 ～ 5	トラックを走行中、交差点に停止中の大型車両に追突した。	221	17	～ 99
2014	5	7 ～ 8	鋼板コイル6本を積載したトレーラーを走行中、ブレーキが利かなくなり、前方のバイク及び軽トラックを避けようと急ハンドルを切ったところ、壁に激突し、トレーラーが横転した。	221	17	～ 29
2014	5	8 ～ 9	荷降ろしの為、トラック内で待機していたところ、脳梗塞により死亡した。	999	99	～ 49
2014	5	6 ～ 7	生コンクリート製造工場敷地内にて、傾斜面で砂利をホッパーに卸す作業中、ダンプにサイドブレーキが掛っていなかったため、ダンプが斜面を下り、車両外にいた被災者が、坂の途中にあった立木とダンプ前輪の間に頭を挟まれた。	221	3	～ 29
2014	5	1 ～ 2	交差点にて、赤信号のため停車していた大型トラックに、後続の中型トラックが追突。追突したトラックのドライバーが死亡した。	221	17	～ 99
2014	5	19 ～ 20	荷主側構内にて、クールボックスの積み込み作業中、フォークリフトオペレーターがクールボックスをフォークリフトでトラック荷台へ積み込んだ際、クールボックスが荷台上にいた被災者側に倒れ、被災者の頭部に当たった	222	6	～ 99
2014	5	10 ～ 11	高速道路を走行中、壁面に接触し、積み荷のバランスが崩れ、トラックが横転した。	221	17	～ 49
		13	トラックの運転中、信号で停止していた際、被災者が運転するトラックが			50

2014	5	～	14	発進しないため、後続にいた同僚の運転手が確認したところ、急性心筋梗塞により死亡した被災者を発見した。	921	90	～	99
2014	5	～	20	19 事故車を発見し停車した大型トラックに、後方より被災者が運転する冷蔵冷凍車が追突した。	221	17	～	99
2014	5	～	20	19 被災者は、大型トレーラで高速道路を走行中、道路本線とパーキングエリア分離帯に設けられた衝突緩衝用クッションドラム及び案内標識に激突した。	221	17	～	29
2014	6	～	24	23 荷物を配送中、ハザードランプを点滅させ、減速していたトラックに、被災者が運転するトラックが追突した。	221	17	～	29
2014	6	～	5	4 トラックで走行中、前方のトレーラーに追突した。	221	17	～	29
2014	6	～	8	7 トラックのウィングボディ天井部の補修を行おうとウィングボディの屋根に登り、作業を行っていたところ、地面に墜落した。	221	1	～	29
2014	6	～	11	10 スロープにトラックを止め、トラックから下車した際、サイドブレーキが甘かった為、車両が動き出し、被災者が車とフェンスの間に挟まれ、死亡した。	221	7	～	29
2014	6	～	16	15 自動車で行く中、急に胸が苦しくなり、その後搬送先の病院で死亡した。	921	90	～	99
2014	6	～	17	16 移動式クレーンをプレハブの脇に寄せ、プレハブを吊り上げ、後方回転させ、トラックの荷台に載せようとしたところ、移動式クレーンが転倒し、移動式クレーンを運転していた被災者がトラックとの間に挟まれた。尚、移動式クレーンの右側アウトリガーは張り出されていなかった。	212	2	～	29

2014	6	21 ～ 22	営業所にて、荷主ベースにて、ラックを降ろし、荷をラックへ積み込む作業中、心筋梗塞を起こし死亡した。	921	90	10 ～ 29
2014	6	6 ～ 7	側道に貨物自動車を停車させ、買い物をしていた被災者は、貨物自動車が動いていることに気づき、貨物自動車の前に回り込んだところ、電柱と貨物自動車を体に挟まれ、死亡した。	221	6	1～ 9
2014	7	1 ～ 2	荷物を配送中、荷台で配送する荷物の整理後、後ろ向きで荷台から降りようとした際、リアバンパーに足をかけたところ、足が滑り、約52cmの高さから墜落。後頭部をコンクリートの地面に強打し、死亡した。	221	1	100 ～ 299
2014	7	13 ～ 14	被災者は、建屋外階段2階踊り場付近の構築物上部に設けられたエアコン室外機を取り外す作業を行っていた際、2.8メートル落下した。	418	1	1～ 9
2014	7	6 ～ 7	トラックで荷を配送中、約20台が絡んだ事故に巻き込まれ、死亡した。	221	17	10 ～ 29
2014	7	2 ～ 3	被災者は、コンテナトレーラーで走行中、歩道に接触し、ハンドルを切ったところ、橋の欄干に乗り上げるように衝突。車が橋の欄干に宙吊りになり、被災者は橋下の国道上に墜落した。	221	17	1～ 9
2014	7	9 ～ 10	冷凍運搬車で食材を配送中、食材を抱え、階段を降りていたところ、つまづき、頭部から踊り場へ転落した。	413	1	10 ～ 29
2014	8	2 ～ 3	被災者が運転する冷蔵トラックが、前方を走る大型トレーラーに追突した。	221	17	1～ 9
2014	8	4 ～ 5	国道を走行中、土砂崩れ復旧工事の片側交互通行地点にて、交互通行用仮設信号機に衝突し、車線規制用の鉄パイプが被災者の体を貫通し、死亡した。	221	17	50 ～ 99

2014	8	11 ～ 12	保管庫内にて、木製の柱をクレーンで大型トラックに積み込む作業中、クレーンを操作し、木製の柱を地切りしたところ、バランスを崩し、並べて置いてあった隣の木製の柱に接触し、柱が落下。トラックの荷台付近で待機していた被災者がトラックの荷台と木製の柱に挟まれた。	211	4	10 ～ 29
2014	8	9 ～ 10	トラックの荷台に、L型鋼材計14本の束を天井クレーン2基により積み込む作業を行っていたところ、玉掛けに使用していたワイヤロープの1本が切れ、鋼材が落下し、被災者の頭部に当たり、死亡した。	372	4	30 ～ 49
2014	8	11 ～ 12	トラックに荷を積載し、国道を走行中、対向車線にはみ出し、トラックと正面衝突。衝撃で道路沿い住宅の車庫に突っ込んだ。	221	17	50 ～ 99
2014	8	3 ～ 4	配送先へ走行中、エンジントラブルで停車中の大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9
2014	8	11 ～ 12	配送先から事業場に戻るため、国道をトラックで走行中、対向車線からはみ出してきたタンクローリーと衝突した。	221	17	10 ～ 29
2014	8	2 ～ 3	国道にて、被災者が運転する大型トレーラーと走行中の大型トラックが正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2014	8	4 ～ 5	トラックからの荷降ろし作業中、トラックに近接した地面上に倒れている被災者が発見された。	221	1	50 ～ 99
2014	8	23 ～ 24	大型トラックで高速道路を走行中、ガードレールを突き破り、トラックごと約14メートル転落した。	221	17	10 ～ 29
2014	9	15 ～	セメント工場内にて、セメントタンクからタンクローリーのタンクにセメントを積載する作業中、ローリーのタンク上から墜落した。	221	1	10 ～

		16				29
2014	9	7 ～ 8	片側3車線の国道にて、被災者が運転するトラックが前を走るバイクと隣の車線を走る乗用車に相次いで追突。その後中央分離帯に衝突し、炎上し、トラックとバイクを運転していた被災者らが死亡した。	221	17	～ 99
2014	9	9 ～ 10	被災者が、ウイングボディのトラックの荷台側面のウイングを全開とし、荷台上で3段に積み重ねた荷の荷卸しを行おうと、荷を荷台に固定していた結束バンドを外したところ、最上段の荷が崩れ、梱包を破った木材に激突され、被災者が木材と共に荷台から墜落。頭部外傷により、死亡した。	611	5	～ 29
2014	9	11 ～ 12	空気充填済のタイヤの上にて、合板を置携帯用丸のこ盤で切断していたところ、回転中の歯がタイヤ側面に接触してタイヤが破裂し、衝撃で携帯用丸のこ盤が被災者の頭部を直撃し、頭部外傷により死亡した。	379	15	～ 49
2014	9	10 ～ 11	フォークリフト運転手が、トラックからアルミパレットの荷下ろし作業を行い、フォークリフトを後進させた際、フォークリフト後部に接近してきた被災者と接触。被災者は後方に転倒し、頭部を地面に強打し、死亡した。	222	6	～ 299
2014	9	14 ～ 15	粉末生石灰をジェットパッカーローリー（粉粒体運搬車）のタンクからサイロへ圧送（圧縮空気）作業中、圧送用配管内に詰まりが生じたため、タンク内圧を抜いて逆流させようと、内圧解放弁を開け、併せてタンク上部のマンホール蓋を開けようとしたところ、残圧により蓋が吹き飛び、被災者に激突。反動でタンク上部から約2.5m墜落した。内臓出血によるショックで死亡した。	221	6	～ 49
2014	9	9 ～ 10	旋盤機部品を仮置きするため、天井クレーンでつり上げたところ、フックから玉掛用ワイヤロープが外れ、つり荷が落下し、クレーン操作を行っていた被災者が下敷きになった。尚、フックの外れ止めは具備してあったが、災害発生時に破損していた。	211	4	～ 99
2014	9	9 ～	フォークリフトを運転し、高所作業車の荷台後部からフォークを差入れ、被災者が荷台上で高所作業車を運転し、フォークに乗せた際、高所作業車に被災者を搭乗させたままフォークリフトを移動させたところ、高所作業	222	1	～ 10

		10	車が転倒。地上高さ約1.8mの作業床上から投げ出された。			29
2014	9	6 ～ 7	配送先のフォークリフトを使用し、積み降ろしを行い、飲料物の空容器をトラックの空いたスペースに積み込みした際、マストとヘッドガード上部フレームに挟まれた。	222	7	30 ～ 49
2014	9	7 ～ 8	建設資材を積んだ大型トレーラーを運転していたところ、積荷の建設資材がトレーラー内で荷崩れを起こし、トレーラーのバランスが崩れ、カーブを曲がりきれず、ガードレールに衝突。ガードレールを突き破り、道路外の河川に車両ごと転落した。	221	17	30 ～ 49
2014	9	9 ～ 10	作業場にて、コンクリートミキサー車から生コンクリートをホッパーに移す作業をしていたところ、岩石が飛来し、被災者の身体にあたり、死亡した。	711	4	10 ～ 29
2014	10	7 ～ 8	ホーム前でトラックに荷を積もうと後ろの扉を開けていた際、トラックが動き出し、止めようと追いかけたところ、別のトラックとの間に挟まれた。	221	7	10 ～ 29
2014	10	4 ～ 5	大型トラックを運転し、自動車道を走行中、工事のため止まっていた工事車両に追突した。	221	17	30 ～ 49
2014	10	10 ～ 11	車に設置された荷揚げ用昇降機を利用し、2階へ荷物の搬入作業をしていたところ、荷揚げ用昇降機の荷台から5.9m下の駐車場に転落し、半身を強く打ち、死亡した。	229	1	50 ～ 99
2014	10	8 ～ 9	県道走行中、折り畳み式のこぎりで支障木を除去しようとダンプトラックの運転席の屋根に上ったところ、足を滑らせ、高さ2.9mの運転席の屋根からアスファルト舗装された路上に墜落した。	221	1	10 ～ 29
2014	10	7 ～ 8	国道のトンネル内にて、被災者が運転していた軽自動車とトラックが衝突。軽自動車を運転していた被災者が死亡し、トラックの運転手ら3名は負傷した。	231	17	10 ～ 29
		9				10

2014	10	～ 10	路上にて、トラック荷台の後部に仰向け状態で倒れている被災者が発見された。被災者は、くも膜下出血と、後頭部頭蓋骨陥没により死亡した。	221	1	～ 29
2014	10	5 ～ 6	国道をトラックで走行中、道路脇のガードレールに激突。バス停に停車中の大型トラック後部に追突した。	221	17	30 ～ 49
2014	10	23 ～ 24	国道にて、運転していたトラックが中央分離帯を越え、対向車線にはみ出し、対向車線を走行していた大型トラックと衝突した。	221	17	1～ 9
2014	10	9 ～ 10	倉庫にて、清掃中、荷卸しのためにバックしてきたトラックと倉庫のバーズに挟まれた。	221	6	30 ～ 49
2014	11	17 ～ 18	ホイールローダーをトラックの荷台に載せるため、トラックの荷台後部に道板を掛け、被災者がホイールローダーを運転し、道板上を後進で上っていたところ、前輪が脱輪したため、ホイールローダーが転倒。被災者は、転倒から逃れようと運転席から離れたが逃げ切れず、被災者はヘッドガード部分の下敷きとなった。	141	6	1～ 9
2014	11	21 ～ 22	トラックターミナル内のホーム上にて、同僚が、荷の積み込みをフォークリフトで行っていた際、荷台内でバックレストから爪が外れたため、被災者が爪を取り付けるのを手伝っていたところ、ホームと荷台の隙間にフォークリフトの前輪が落ち込んだため、同僚がアクセルを踏み込み、被災者がバックレストと荷台の内壁に頭部を挟まれた。	222	6	100 ～ 299
2014	11	13 ～ 14	えん堤設置工事現場内の傾斜地にて、トラックへの車両系建設機械（ドラグショベル）の積み込み作業中、荷台に建設機械を積載後、トラック運転手である被災者がアウトリガーを収縮させたところ、トラックが逸走し、被災者がトラック後輪部にひかれ、死亡した。	221	7	10 ～ 29
2014	11	6 ～	住宅建築現場にて、市道の路肩にトラックを止め、被災者ら2名で車外で会話をしていたところ、トラックに激突された。	221	17	10 ～

		7						29
2014	11	20 ～ 21	敷地内の駐車場を歩いていたところ、トラックに轢かれた。	221	18	～		30 ～ 49
2014	11	6 ～ 7	食料品をトラックに載せ、国道を運送中、カーブで対向車線にはみ出し、対向してきた大型トラックと正面衝突した。	221	17			1～ 9
2014	11	8 ～ 9	タンクローリーの車内の荷物を取り出し、降りようとしたところ、運転席から車外に仰向けに転落。額を車体に強打し、コンクリート床面に頭部を強打し、死亡した。	221	1	～		10 ～ 29
2014	11	1 ～ 2	トラックで県道を走行中、右折のため停車していた前方車両に接触し、崖下に転落した。	221	17	～		10 ～ 29
2014	11	8 ～ 9	トラック荷台で玉掛け作業中、荷台の反対側で物音が聞こえたため、見に行ったところ、荷台脇の地上で仰向けの状態で倒れている被災者が発見された。	221	1	～		10 ～ 29
2014	12	9 ～ 10	トレーラーで運搬した紙ロール9本を荷締めした際、左右のあおりの内側に止めたラッシングベルトの左側だけを外し、地上で車両左側のあおりの止め具を後部、前部の順で外したところ、ロール紙の1本が荷台から地上に転がり、2本目を手で支えようとして、ロール紙の下敷きとなった。	611	6	～		10 ～ 29
2014	12	1 ～ 2	大型トレーラーで高速道路を走行中、前方を走っていた大型トラックに追突した。	221	17	～		300 ～ 499
2014	12	16 ～ 17	給油設備にて、トラックが後退していた際、事務所から出てきた被災者に接触した。	221	6			1～ 9
		12	国道交差点にて、被災者の運転する中型トラックが、赤信号で停車中の大					10

2014	12	12 ~ 13	型トレーラーに追突し、死亡した。	221	17	17 ~ 29
2014	12	22 ~ 23	構内のプラットフォーム上にて、フォークリフトを使用し、パレットの整理中、フォークリフトとともにプラットフォーム下まで墜落。横倒しになったフォークリフトの下敷きとなった。	222	1	100 ~ 299
2014	12	22 ~ 23	トラックで走行中、緩やかなカーブを曲がりきれずに道路脇に設置された標識の支柱に激突した。	221	17	100 ~ 299
2014	12	4 ~ 5	被災者は、トラックで荷の運搬中、信号待ちをしていた際、後続の乗用車に追突され、被災者が、トラックの後部で接触状況を確認していたところ、後続のトラックが乗用車に追突し、玉突き状態となり、乗用車とトラックの間に挟まれた。	221	17	1~ 9
2014	12	8 ~ 9	配送先にて、荷降ろしを行っていた際、停車していたトラックが動き出したため、前方に回って止めようとしたところ、道路側面にある隣家の門柱とトラックの間で挟まれた。	221	7	1~ 9
2014	12	17 ~ 18	ワゴン車で自動車道を走行中、横転し、死亡した。	231	17	30 ~ 49
2013	3	7 ~ 8	国道で、被災者が運転するトラックが中央線をはみ出し、対向車線から来た大型バスと衝突し、被災者が死亡した。	221	17	10 ~ 29
2013	8	4 ~ 5	被災者の運転する大型トレーラーが、路側帯に停車していた他の大型トレーラーに追突した。	221	17	30 ~ 49
2013	11	3 ~ 4	国道で、被災者が運転する大型トレーラーが横転し、車外に投げ出され死亡した。	221	17	1~ 9

2013	8	0 ～ 1	高速道路において、故障のため停車中のトラックに後続のトラック2台が追突し、追突した2台目のトラック運転手が全身打撲で死亡した。	221	17	10 ～ 29
2013	9	22 ～ 23	荷主先のプラットホーム内において、4トントラックの荷台から台車に乗った荷物（ピザ生地ミキサー、約300kg）を被災者を含む2名で下していたところ、台車の前輪がプラットホームの溝（幅9.5cm、深さ1.3cm）にはまり、荷物がバランスを崩して転倒し、台車前方でしゃがんで荷物を移動させていた被災者に激突した。	611	6	10 ～ 29
2013	6	2 ～ 3	被災者は、事業場で対面点呼後、10トン大型トラックで目的地の倉庫に向かい、荷（堆肥袋）の積み込みを行った後、高速道路で配送先へ向かっていたところ、ジャンクション付近で渋滞して停車していた車両の列に追突した。	221	17	10 ～ 29
2013	10	10 ～ 11	駐車場で、セミトレーラの車体とトラクタの連結作業を行っている際、車体のサイドブレーキを掛けていなかったため車体が動き出し、トラクタの荷台部分から降りた被災者は、車体と隣のレーンにおいてあったコンテナ架台との間に挟まれ死亡した。尚、被災者は一人で作業をしており、災害を目撃したものはおらず、同僚が被災者を発見した。	221	7	30 ～ 49
2013	12	23 ～ 24	本社で4トントラックに冷凍食品およびチルド品を積み込み支店へ戻る途中、下り線で中央分離帯に衝突した後、防音壁にぶつかり横転した。運転していた被災者は、頭を強く打ち、死亡が確認された。	221	17	30 ～ 49
2013	10	3 ～ 4	片側1車線で路側帯の幅が狭い道路上にて、左前輪がパンクして路肩に停車していた中型トラックに大型トラックが追突。反動で中型トラックは、道路脇の側壁に衝突。中型トラックの運転者の被災者は、（中型）トラック左側と側壁の間に挟まれ、死亡したものの。	221	17	50 ～ 99
2013	2	8 ～ 9	被災者は、保育間伐作業現場より荷（重量約10トンの木材）をトラック（最大積載量11600キログラム）で土場まで運送した。到着後、荷を地上に降ろすためトラック荷台にあるスタクションのアームの安全ピンを外す作業を行っていたところ、突然荷が落下し、下敷きとなった。	611	4	1～ 9

2013	5	5 ～ 6	県外から市場に魚を運搬してきていた保冷車が、カーブを曲がりきれず、道路左側のガードレールや信号柱をなぎ倒しながら横転した。被災者は、つぶれた運転席に閉じ込められ、約2時間後に救出されたが、搬送先の病院で死亡した。	221	17	～ 29	10
2013	6	18 ～ 19	被災者は、積込みを終えてシート掛けをしようと、フォークリフトのつめに足をかけ作業していたところ、誤って足を踏み外し、路上に落下し頭部を強打した。	222	1	～ 49	30
2013	12	2 ～ 3	物流センターで荷を下ろすために被災者がトラックのあおりを開いたところ荷が崩れ、荷が当たり死亡した。尚、荷はキャビン側から左右2組、4列に並んで積まれていた。トラックの両ウィングを開け、運転席側のラッシングベルトを緩め、助手席側のあおりを開いたところ荷が崩れた。	611	5	～ 29	10
2013	11	11 ～ 12	スーパーの駐車場でトラック（3.5t荷台がアルミ製の箱型）から荷卸し作業をしていた被災者は、缶飲料44箱（約616kg）を載せたカートトラック（台車）をトラック後部のゲートに移動させていたところ、カートトラックと共に約1m下のアスファルト地面に転落し、パレットや缶飲料箱の下敷きになった。	221	1	～ 99	50
2013	3	18 ～ 19	最大積載荷重13.8tのトラックで運送中、被災者は荷台の積み荷（フープ鉄筋束、約79kg）が荷崩れしていることに気付いたため、高架下道路脇にトラックを止めて、会社に連絡し手助けを要請した。その後、手助けに向かったドライバーが、荷と荷の間に腹部を挟まれ意識を失っている状態の被災者を発見し、救急搬送したが死亡が確認された。	611	5	～ 29	10
2013	4	16 ～ 17	被災者は、高さ3mのセメントローリー車のタンク上から墜落し、外傷性硬膜化血腫により死亡した。発見時、タンク中央付近にあるマンホールの位置に近いところに倒れていたところから、このマンホール付近で何らかの作業していたのではないかと推測されるが、被災者の一人作業時に発生した災害であるため、作業内容及び発生状況は不明である。	221	1	～ 29	10
2013	7	13 ～	国道上り線において、信号待ちをしていた車列に大型トラックが追突し、計6台の車両が関係する交通事故となった。このうち、車列の最後尾で大	221	17	～	10

		14	型トラックに追突された3 t トラック運転手が死亡した。			29
2013	3	11 ～ 12	被災者は、所属事業場構内で荷主の製材会社の労働者との共同作業で、トラックに住宅用加工材を積込む作業を行っていた。フォークリフト運転の荷主の労働者が最後の材を積み終え、フォークリフトを所定位置に移動させた際、材が落ちる音がした為、積込場所に戻ると、積荷の一部の木材2束（約160kgと約30kg）が地面に落下、そばに被災者が倒れていた。被災者は、直前に積み荷上でロープ掛けしていたが、災害時の現認者なく詳細は不明。	221	1	30 ～ 49
2013	11	1 ～ 2	トラックでの配送作業で走行中、トンネル内照明工事のために停車していた大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9
2013	3	12 ～ 13	被災者は、前日の県外での運送業務を終え、会社へ報告してその日は終了した。翌日、予定先の事業場から「到着時刻を経過しているが被災者が到着していない」旨の連絡が会社に入り、被災者を捜したところ、高速道路のパーキングに停車したトラックの運転席後部のベッドで横たわっているところを発見された。	921	90	50 ～ 99
2013	3	2 ～ 3	国道でトラックを運転走行中、対向の大型トラックと正面衝突した。	221	17	1～ 9
2013	5	11 ～ 12	荷主先にてトラックの上に乗し、サイロからチップを積み込む作業をしていたところ、トラックの上から墜落（約4メートル）し、頭部を強打した。	221	1	50 ～ 99
2013	4	8 ～ 9	8トントラック車で走行中、中央分離帯のガードレールに激突し、その後、約200メートル走行して停止した。	221	17	30 ～ 49
2013	6	23 ～	被災者はトラックを運転し高速道路を走行中、工事渋滞により停車していたトラックに後方から追突した。	221	17	50 ～

		24			99	
2013	1	13 ～ 14	被災者は、採石場でトラックに積み込んだ砂をコンクリート製品製造工場へ運搬するため、一人でトラックを運転して県道を走行していたところ、緩やかな左カーブにおいて、対向車線を突っ切って、ブレーキをかけることなく反対車線の道路沿いにある高さ約5メートルの法面をトラックで駆け上がり、その反動で車体が2回転して車体が大破した。	221	17	1～ 9
2013	2	0 ～ 1	タンクローリーを運転中、インタ出口付近左側分離帯に接触し、右にハンドルを切ったことにより中央分離帯に激突した後、中央分離帯に乗り上げ横転した。	221	17	10 ～ 29
2013	8	5 ～ 6	被災者は、2トントラック（積荷はなし）にて荷主先へ行く途中、交差点手前で4トントラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2013	8	8 ～ 9	被災者は、自ら運転する最大積載量7.6tのトラックの荷台に積まれたH鋼を降ろすため、H鋼を固定していたワイヤーロープを解いたところ、トラック助手席側最上段に積まれたH鋼1本が何らかの原因で落下して被災者に激突した。	221	4	1～ 9
2013	7	5 ～ 6	生鮮食料品を配送のため国道を走行中、赤信号で停車していた大型貨物自動車（10トン）に追突し、後部下側に潜り込むような形で激突したため運転席が大破した。	221	17	10 ～ 29
2013	1	5 ～ 6	帰宅ののち、食事、仮眠後の早朝に自宅浴槽内で、眠るように反応のない状態で発見され、救急搬送されたが死亡が確認された。	921	90	10 ～ 29
2013	3	4 ～ 5	サービスエリア入り口付近の本線上で2台の車両が絡む追突事故が発生し（第1事故）、その事故を避けようとしてサービスエリアの進入路方向へ入ろうとした被災者が運転するトラックが、サービスエリア進入路入り口付近で立ち往生していた一般乗用車に追突した。その後、当該トラックはバスに追突し、バスが他のトラックに追突し、多重事故となった。	221	17	10 ～ 29

2013	5	3 ～ 4	配送のため国道を走行中、前に停車したカーキャリア車に追突し、運転席に挟まれ死亡した。	221	17	1～ 9
2013	4	23 ～ 24	被災者は、勤務終了後、客先近くのコンビニエンスストア付近の路上にて数時間休息した後、夜食を購入し車両に乗り込んだ直後に、虚血性心疾患により死亡した。	921	90	30 ～ 49
2013	5	14 ～ 15	家電リサイクル品の回収中、右膝に「擦り傷」を負った。その後、従業員が被災者のうめき声を聴き、様子がおかしい被災者を発見し、救急搬送したものの、「腸腰筋膿瘍、壊死性筋膜炎」により死亡した。	911	90	10 ～ 29
2013	2	13 ～ 14	事業場の敷地内において、使用されずに放置されていたアセチレンガス溶接で使用する酸素ボンベを廃棄するため、当該酸素ボンベをフォークリフトのフォークにレバブロックで固定し、レンチを用いて容器弁を回し酸素を抜いていたところ、当該ボンベが水平方向に飛び、付近で作業をおこなっていた被災者に激突したうえ、当該ボンベと被災者がともに激突地点から15メートル先のフェンスに激突した。	319	6	10 ～ 29
2013	10	14 ～ 15	走行中の大型トレーラーが、渋滞の最後尾にいたトレーラーに追突した。その弾みで、前にいたバイク1台と車3台が巻き込まれた。現場は片側1車線の道路で、事故当時は工事で片側通行になっており渋滞していた。	221	17	10 ～ 29
2013	8	3 ～ 4	被災者は、貝類を積んだトラック（冷蔵冷凍車）を運転し、事業場を出発。目的地の市場で荷を降ろした後、事業場に戻るため走行中、大型トレーラーに衝突した。衝突後、被災者の運転するトラックの左前方が大破し、隙間から車外へ放り出され、左後輪に腹部周辺を轢かれた。	221	17	30 ～ 49
2013	11	3 ～ 4	被災者が運転する大型トラックと、軽乗用車が接触事故を起こしたため、路肩に車を止め、大型トラックと軽乗用車の間の路肩にいたところ、後方から走行してきた中型トラックが大型トラックに追突した。その事故により路肩上の二人が死亡した。	221	17	10 ～ 29
		6	タンクローリーに液化石油ガスを積載して国道右カーブを走行中、左側ガードレールに衝突し、その先のガードレールを突き破って約15m下の			50

2013	10	7	～	谷底を流れる川へと転落した。尚、被災者はシートベルトを着用しておらず、車外に投げ出されて頭部を打ち、死亡した。	221	17	～	99	
2013	10	5	～	6	走行中の4トントラックと、反対方面に走行中の大型トラックが正面衝突。被災者は全身を強く打ち、搬送先病院で死亡した。	221	17	～	30 49
2013	12	4	～	5	高速道路において、1台目のトラックが故障により道路の左側に寄せた状態で停車し、後ろから2台目のトラックが接近し、急ハンドルにより右側に逸れ、中央分離帯に衝突。3台目のトラックが停車中の1台目の故障車に接触するも、回避し、4台目のトラックが接近し、回避できず故障車に正面から激突。5台目のトラックは右側にある中央分離帯に激突。この事故で、4台目の運転者が運転席に挟まれ死亡した。	221	17	1～	9
2013	1	3	～	4	アルミインゴットを積載したトレーラーを走行していたが、前日からの降雪により、橋上は凍結しており、スリップし左側の欄干に激突、操作不能となり、センターラインを超え、右側の欄干を突き破り、約17m下の谷に落下し、炎上した。	221	17	～	30 49
2013	7	23	～	24	単独事故により追い越し車線をふさぐように停車したトラックに、被災者が運転するトラックが気づくのが遅れて追突した。追突して停車したところへ後続のトラックが衝突し、被災者は死亡した。尚、現場は片側三車線の緩やかな右カーブ。	221	17	～	30 49
2013	5	2	～	3	運転手（被災者）が飼料運搬専用（タンク形状）のトラックを使用し、積込先の構内で飼料の積込作業中、同トラック横に倒れているところを発見された（目撃者なし）。尚、発見時、同トラックのタンク上部に設けられた飼料投入用の扉は開いていたが、飼料はタンクに投入される前の状態であった（同タンク上部の高さは約3m）。また、安全帯の取付設備はあったものの被災者は安全帯、保護帽は未着用であった。	221	1	～	10 29
2013	7	18	～		走行中ハンドル操作を誤り、道路右側ガードレールに接触し、進行方向が変わり、道路左側ガードレールを破壊し、さらに道路表示板を照らすため	221	17	～	30

		19	の投光器支柱に衝突した。			49
2013	2	10 ～ 11	商品配達のため、被災者は、トラックを客先の駐車場に停車し、エンジンを切って運転席から降りた。被災者が、荷台で荷降ろし作業を行っていたところ、トラックが前に動き出した。被災者は、荷台から降り、運転席に行こうとトラック右横に行ったところ、動いたトラックと敷地の門柱の間に挟まれた。トラックが門柱から通り過ぎた後、被災者は倒れ、病院に搬送されたが死亡した。	221	7	100 ～ 299
2013	7	1 ～ 2	トラック走行中、前方の大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2013	8	9 ～ 10	事務所向かうために道路を横断（歩行）していた被災者は、走行してきた自動車に激突され、十数メートル飛ばされ全身を強打した。	231	17	30 ～ 49
2013	3	5 ～ 6	自動車運搬用のトレーラー（乗用車6台積載）を運転していた被災者は、前を走行中の大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2013	1	5 ～ 6	トラックの荷台で作業中、意識を失い荷台から転落した。	921	90	10 ～ 29
2013	2	4 ～ 5	トラックで配送先へ向かっている途中、パーキングエリア内において停車していたトラックに後方から追突し、死亡した。パーキングエリア内の駐車場が満車のため、進入路まで車列が並んでおり、最後尾に停車していたトラックに追突した。	221	17	1～ 9
2013	1	15 ～ 16	翌日の運送に備えて自宅でトラックの整備を行っていたところ、リフトアップをしていたボトル型ジャッキがエンジンオイルの交換中に外れ、トラックの下敷きになった。	221	7	50 ～ 99
			被災者は生コンの運搬のため、コンクリートミキサー車を運転して建設工			

2013	2	12 ～ 13	事現場へ向かう途中、緩い下り坂に車を止め、エンジンを切らずに車を降り、道の状況を確認し、同車に戻ってくる途中、無人のまま動いていた同車に轢かれた。その後同車は、路肩のカーブミラーを倒し横転した。事故時の状況を目撃していた者はいなかった。付近の住民が被災者を発見し、救急車を手配したが、現場で死亡が確認された。	221	17	10 ～ 29
2013	6	10 ～ 11	部品等の配送のためトラックを運転し、ジャンクション付近を走行していた被災者は、脳出血により死亡し、車は道路左側の路肩に乗り上げ横転した。	911	90	10 ～ 29
2013	7	19 ～ 20	トラックを運転して走行中、熱中症により意識が朦朧とし、対向車線にはみ出し、対向車線を走行中の対向車に接触した後、空地に停車した。病院に搬送されたが、死亡した。	715	11	30 ～ 49
2013	10	5 ～ 6	被災者は2 tトラックを運転中、国道交差点において信号待ちをしていた大型ダンプに追突し、頭を強く打って死亡した。	221	17	1～ 9
2013	4	20 ～ 21	自動車道をトラック（積載荷重13 t車）で走行中、追い越し車線を走行していた後続のトラックの左前部が、被災者の運転するトラックの右後部に接触した反動で、側壁などに衝突した。	221	17	10 ～ 29
2013	6	3 ～ 4	被災者は、国道で荷物を運搬中、やや右カーブの下り坂でトンネル内の非常駐車場側壁に激突した。	221	17	30 ～ 49
2013	9	4 ～ 5	上り線（片側2車線）で2台のトラックが接触。双方の運転者がトラックを道路左脇に前後に停車させ、事故処理等話し合った後、前方のトラック運転者は運転席に移動、後方のトラック運転者は後方のトラックの前にとたところ、別のトラックが後方のトラックに追突し、車外にいた運転者が後方のトラックの下敷きになり死亡した。	221	17	10 ～ 29
2013	6	23 ～	トラックで走行中、落下物（タイヤ）に衝突したため、路肩に停車し、車両前方に降りて警察に通報していたところ、後続のトラックに追突された。被災者は、追突により押し出された自転車にはねられた上、間もなく両	221	17	100 ～

		24	トラックが炎上したため全身火傷を負った。			299
2013	11	14 ～ 15	工事のため片側交互通行となっている区間において、工事用信号により信号待ちを行っていた車列最後尾の大型トラックに、中型トラックが追突し、中型トラック運転手が死亡した。	221	17	30 ～ 49
2013	8	11 ～ 12	国道のトンネル内の緩やかなカーブにおいて、走行していた被災者のトラックの正面に、対向車線を走行していた大型トレーラーの荷台部分がスリップして中央線を大きくはみ出し、激突した。	221	17	1～ 9
2013	5	5 ～ 6	被災者は、10トントラックで夜間運行に従事し、高速道路を走行して事業場へ戻る途中、道路のラインを引く作業を行っていた低速作業車の車列（走行車線を縦列に5台、時速10キロで走行）の最後尾を走行していた散水車に追突し、被災者運転のトラックは大破した。	221	17	100 ～ 299
2013	10	14 ～ 15	ごみ収集車のブレーキランプを交換し、同僚作業者と車外で点灯状況を確認していたところ、ごみ収集車が路面の傾斜で後方に下がり、1.5m下の地面に転落した。その際、転落する車を寸前まで抑えていた被災者を同僚作業者が車から引き離れたが、被災者は足を踏み外して1.5m下の地面に墜落した。なお、車両には輪止めがなく、また、通常は敷地内の整備工場で当該作業を行うが、災害発生時は駐車場で行われていた。	417	1	50 ～ 99
2013	1	4 ～ 5	輸送業務において、納入先へ向かうためトラック車両で走行中、出口において、出口と本線の間で衝突し、被災者が車外に放り出された。	221	17	10 ～ 29
2013	10	14 ～ 15	納品先にて、納品のためトラックの荷室後方の扉（3枚扉のうち中央の1枚）を開け、荷物を運ぶための台車を取ろうとした際、開けた扉が強風にあおられ、被災者の頭部に激突した。	719	6	30 ～ 49
2013	12	12 ～ 13	物流倉庫構内において住宅外壁材を各現場用に仕分け、3トントラックで配達する業務を行う事業場の労働者2名が、2枚ずつ結束された外壁材63束を2列に積み上げた木製パレットをトラック荷台に積み込む作業中、同僚がフォークリフトを運転し被災者は積載位置の誘導を行っていたが、	222	5	30 ～ 49

			荷台にいったん乗せたパレットにフォークを浅く差し直してさらに奥へと移動させようとした際、外壁材が崩れて下敷きになった。			
2013	11	2 ～ 3	トラック運転者である被災者は、追突事故を起こしたために自走不能となり、警察がくるまでの間、トラックを路上に停車させて運転席で待機していたところ、後方からトラックに追突され、後頭部に強い衝撃を受けた影響で死亡した。	221	17	30 ～ 49
2013	10	13 ～ 14	事務所から出た被災者は、自分の運転するダンプに戻ろうとしたところ、前進してきたトラクターショベルに頭部をひかれ死亡した。	141	3	1～ 9
2013	1	9 ～ 10	被災者は、建売住宅（3棟）の新築工事現場において、当該現場の前面道路にトラッククレーンを止め、現場手前の仮置場に土台材料を荷降しする作業を行っていた。玉掛け作業及び荷降ろし作業は、被災者が一人で行っていた。材料の一部の荷降しを終え、再び荷台上で、玉掛け用の繊維ロープを材料にかけていたところ、何らかの原因で2.4m下の道路上に墜落した。	212	1	10 ～ 29
2013	8	6 ～ 7	被災者は、中型トラック（3.5t）を運転し交差点にて信号待ちで停車していたところ、後方から時速60kmで走行中の中型トラック（4.3t）が追突し、被災者のトラックは追突の反動で前方に停止していたトレーラーに追突した。	221	17	10 ～ 29
2013	11	23 ～ 24	被災者は、中古自動車オークション会場において、落札した自動車を引き取るため場内をキックボードを使用して移動中、駐車していた自動車の脇から通路に出たところ、場内の循環バスが巡回路以外の箇所をショートカットして走行してきてため、激突された。	231	6	10 ～ 29
2013	2	22 ～ 23	被災者は、帰宅後に心筋梗塞を発症し死亡した。	921	90	50 ～ 99
		21	被災者は、引越作業で回収したリサイクル家電を2tバン型トラックで3階まで運ぼうとスロープを上り始めた際、荷台に乗ってラッシングベルト			30

2013	2	22	～	を持ち荷台の冷蔵庫を支えていたところ、トラック後部の扉が開いていたため、冷蔵庫とともに荷台から墜落し、墜落した被災者の右側頭部に冷蔵庫が当たり死亡した。	221	1	～	49
2013	4	16	～	被災者は、2トントラック（ワンマン）にて配送を終えた後、翌日分の積荷を積むために荷主（木材加工）工場に向かう途中、4トンダンプトラックに追突した。	221	17	～	49
2013	6	12	～	国道路肩にトラック（4 t、チルド車）を停めて車内で作業中、後ろから来たパッカー車に追突された。トラックは50 m程前進し前方の車両に追突し、その衝撃で被災者は車内にて全身を打撲した。	221	17	～	99
2013	11	1	～	発見者は、停車した隣のトラックが駐車場から出る際に違和感を感じたので、トラックを停車し脇を見たところ、被災者が倒れていたのを発見した。しばらくして被災者が運転していたトラックが動き出したので発見者が慌ててサイドブレーキをかけた際、軽トラックが侵入してきて被災者をひいた。	221	17	～	99
2013	11	0	～	被災者は大型トラックを運転中、信号待ちしていた大型トラックに追突し、出血性ショックにより死亡した。	221	17	～	29
2013	3	8	～	被災者は、配送業務及び事務管理業務に従事していたが、自宅で就寝中に急性心筋梗塞を発症し死亡した。尚、発症前1か月間の時間外労働時間数は、約126時間であった。	921	90	～	49
2013	9	8	～	トラック荷台上で一人作業にて原材料（シート状の段ボール、箱状）をフォークリフト上（荷台と同じ高さのパレット上）に降ろしていた被災者は、トラックを降り、エンジン稼働状態にあったフォークリフトの運転席に乗り込むため、マストと車体間をくぐりフォークリフト前方より乗り移ろうとした。その際ティルトレバーに当たり、マストが後傾、マストと車体の間に頭の部分を挟まれた。	222	7	～	49
		2		被災者の運転する4トントラックが、対向車線に駐車していたトレーラー				10

2013	9	～ 3	(牽引車は着いておらず無人)に正面衝突し、頭を強く打って死亡した。	221	17	～ 29
2013	10	10 ～ 11	交通事故により渋滞が発生していたため、被災者の前方を走行していた大型トラックが減速の後に停車をした直後、被災者の運転する大型トラックが追突し、ハンドルで首を圧迫されて死亡した。	221	17	～ 29
2013	7	1 ～ 2	渋滞のために停止していた大型貨物車両(10t)に、被災者が運転する大型貨物車両(13t)が追突、玉突き状態となり、3台の大型貨物車両を巻き込んだ。追突した車両は損傷が激しく、運転者は搬送先の病院で死亡した。	221	17	～ 30 ～ 49
2013	7	13 ～ 14	被災者は、国道の上り線にトラックを停車させ、取引会社のライトバンと自社トラックとの間で荷の積み替え作業中、ライトバンが後方から走行してきたトラックに追突され、反動により前方に押し出されたことで、自社トラックとライトバンの間に挟まれた。	221	17	～ 30 ～ 49
2013	11	1 ～ 2	被災者は、3t普通貨物を運転して市内の店舗から最終配送先店舗に向かうため、国道の下り車線を走行中、交差点で進行方向が赤信号のため停車していた10t大型トラックの後部に追突した。被災者は、自車のキャビンに挟まれた。	221	17	～ 50 ～ 99
2013	6	6 ～ 7	自社所有2トントラックで走行中、信号待ちで停車していた10トンダンブに後方から追突した。	221	17	～ 10 ～ 29
2013	10	1 ～ 2	被災者は、トラック(最大積載荷重2.5トン)に荷を積み込んでいたところ、トラックが無人のまま前方に動き出したため、被災者がトラックの前から腕で押して止めようとしたが、トラックと金属製のラックの間に挟まれた。	221	7	～ 30 ～ 49
2013	4	0 ～ 1	荷を配送するため首都高速を20トントレーラーで走行していた際、右カーブを曲がりきれず横転し路上に投げ出され、自車の下敷きとなり即死した。	221	17	～ 10 ～ 29

2013	8	0 ～ 1	被災者が運転する3トントラックが、渋滞中の10トントラックに追突し、もう1台も絡む玉突き事故が発生した。	221	17	30 ～ 49
2013	12	5 ～ 6	被災者はトラックを運転していたところ、道路工事のため車線がS字になっている地点で、対向するトラックが反対車線に進入してきたため、正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2013	11	14 ～ 15	被災者の運転するトラックが、信号待ちのため停車していた大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9
2013	12	14 ～ 15	鉄骨約2トンを積んだ4トントラックを運転していた被災者が、取引先の入口付近の道路上にトラックを停車させて運転席を離れたところ、路面の傾斜（勾配10度）によりトラックの車体がゆっくりと後退し始め、道路から道路北側の田地に転落した。車体の後退を止めようとして運転席付近にいた被災者は、車体と転席側の扉との間に身体を挟まれ被災し、胸部圧迫により窒息死した。	221	7	50 ～ 99
2013	4	13 ～ 14	被災者は、荷積みホームで荷を被災者が運転する車両（4トントラック）に積んだ後、何らかの理由で当該車両と荷積みホームの間にいたところ、当該車両がホーム側に逸走し、車両と荷積みホームの間に挟まれた。災害発生後の状況から、災害発生時、車両はエンジンを切り、ギアはニュートラルの位置で、制動装置（サイドブレーキ）は引いてあった（かけてあった）状態であった。また、車止めは使用していなかった。	221	7	10 ～ 29
2013	7	18 ～ 19	被災者はダンプトラック（以下、「車両」という。）での骨材の配送業務を終え、車庫（屋外駐車場）にて自身が運転した車両の点検等（タイヤのナット増し締め）の作業中、同僚が被災者のナット増し締めの音が聞こえなくなったことを不審に思い、様子を見にいったところ、被災者が車両右後部のタイヤ脇で倒れていた。	999	99	10 ～ 29
2013	7	10 ～	市内の駐車場で、待機中のトラック車内で倒れてる被災者が発見され、そ	921	90	30 ～

		11	の後死亡が確認された。			49
2013	12	5 ～ 6	国道上（片側1車線の直線）において、自車大型トラックがセンターラインをはみ出し、反対車線の大型トラックに正面衝突した。双方の大型トラック運転手が死亡した。	221	17	30 ～ 49
2013	6	1 ～ 2	被災者は、帰宅途中、停車した車の外にうつぶせで倒れているところを発見された。搬送先で、くも膜下出血と診断された。	921	90	100 ～ 299
2013	3	1 ～ 2	トラックを運転して国道を走行中、対向車線のタンクローリーがセンターラインを越え、当該タンクローリーの後部が運転席に衝突した。	221	17	50 ～ 99
2013	2	21 ～ 22	被災者は、冷凍冷蔵車（6.5トン）に荷を積み、客先へ向けて片側1車線の高速道路を走行中、対向車線にはみ出し、対向してきたトラックと衝突した（道路状況 右カーブで圧雪アイスバーン）。	221	17	50 ～ 99
2013	1	19 ～ 20	トレーラーの運転手として、フェリーターミナルの駐車場とフェリー間のトレーラーシャシの積み下ろしを行っていた被災者が、フェリーターミナル前で倒れているところを発見され、病院に搬送されたが、急性心筋梗塞により死亡した。	921	90	30 ～ 49
2013	5	19 ～ 20	被災者は、配達で使用した資材を（積載量5.6tのトラック）荷台から下ろす作業を行い、車庫にトラックを入れた。被災者のトラックから「パーン」という破裂音がしたため、近くにいた同僚が被災者の元に駆けつけ、トラックの後輪と車体の間に挟まれている被災者を見つけた。消防隊員に救出されたが、搬送先で死亡が確認された。	221	7	10 ～ 29
2013	11	18 ～ 19	被災者は、ウイングトレーラーを運転し、荷主先にバンドで結束された板（一束は重さ1.5t程度）14束を運送した。荷主先の労働者が、トレーラー奥側の2段に重ねられた板の束をフォークリフトで手前に引きずっていた際、板の束の片側の台木が外れていたため、被災者が台木を入れ直そうとしたところ、被災者の上に上段の板の束（127枚）が落下し、下	222	4	50 ～ 99

			敷きになった。			
2013	5	16 ～ 17	最大積載荷量9900kgのダンプトラックを運転し、砂利を土場に運び終えた被災者が、事務所近くの路上でダンプトラックの荷台とシャシの間に挟まれた状態で発見された。尚、ダンプトラックには安全ブロックが備えられているが、使用されていなかった。	221	7	10 ～ 29
2013	1	11 ～ 12	被災者は、フォークリフト（最大荷重2.4t）でトレーラー（最大積載量18.5t）からフレコンバック（0.5t、飼料）を降ろす作業において、フォークを荷台上のフレコンバックの上部で停止させ降車後、意識障害により転倒し、頭部を地面に打ちつけた。	921	2	10 ～ 29
2013	12	11 ～ 12	被災者は、産業廃棄物処理場から金属スクラップの運送を委託された運送会社の労働者であった。被災者は、処理場内に停車していた被災者運転のトレーラーと同僚運転のトレーラーの間を徒歩で移動中、同人の移動経路に直交する経路で前進してきた油圧エクスカベーターと呼ばれる車両に頭部等を轢かれた。	219	6	30 ～ 49
2012	3	2 ～ 3	配送のため、高速道路を4t冷蔵車で走行していたところ、事故を発生させて路上に停止していた2台の車両のうちの1台に衝突して横転、滑った状態で進み、その前方の路肩に停車していた2台の一般車両に衝突した。	221	17	30 ～ 49
2012	12	20 ～ 21	被災者は積載荷重14tのトラックで足場資材を運搬する途中、片側1車線の緩やかな下り坂で対向車線にはみ出し、直進してきた積載荷重2tのトラックと正面衝突し、被災者並びに相手車の運転手が死亡した。	221	17	10 ～ 29
2012	10	14 ～ 15	資材置場で小型移動式クレーンの荷台からコンクリート製ブロック（重さ約2t、1.8m×0.8m×0.6mの直方体）を吊り下ろす作業を単独で行っていた被災者は、吊り荷（コンクリート製ブロック）と当該場所に集積されていた別のコンクリート製ブロックの角との間に頭部を挟まれ、脳挫傷により即死した。なお、被災者は、リモコン操作により当該小型移動式クレーンを運転していた。	212	7	1～ 9
			災害発生場所であるトンネル工事現場へ、L型擁壁（幅0.6m、高さ1m、長さ1.9m、重さ1.4t）を7.3t積みの積載型移動式クレーン（つり上げ荷重			

2012	6	7 ～ 8	2.9t) で運搬した。現場到着後、同僚が当該移動式クレーンを運転し、被災者が当該擁壁の玉掛けを行い、擁壁の積下ろしを行った。積み下ろしている最中に、鉄筋を加工した玉掛け用具が破断し、当該擁壁が被災者の腹部から下腿部にかけて落下した。	372	4	10 ～ 29
2012	12	21 ～ 22	高速道路のパーキングエリアで、運転していた大型トラックの荷台から転落して後頭部をアスファルトに強打し、頭蓋骨骨折、脳挫傷により死亡した。	999	99	30 ～ 49
2012	2	10 ～ 11	国道を走行中、雪のためトラックが滑り、車線中央を塞ぐように停止した。被災者はタイヤチェーンを装着する為に、降りてトラック横にいたところ、反対車線を走ってきたトラックが被災者のトラックに衝突し、被災者は、衝突された（自身の）トラックに轢かれ死亡した。	221	17	10 ～ 29
2012	4	11 ～ 12	被災者が運転するトラックは、信号待ちで停車していた大型トレーラーに追突した。	221	17	1～ 9
2012	12	4 ～ 5	国道にて、被災者が運転するトラックと反対車線を走行する大型トレーラーが正面衝突し、トラックの運転手が死亡した。なお、現場は中央分離帯のない片側1車線の対面通行箇所であった。	221	17	30 ～ 49
2012	5	0 ～ 1	被災者は、トラック（4t）にパイプ類（約1t）を積み込み、配送先に向かう途中の国道の交差点で信号停車中のトラックに追突し、救急搬送先の病院で肺出血により死亡した。	221	17	50 ～ 99
2012	3	21 ～ 22	荷積先敷地内において、被災者は自分が運転してきたのトラック（2.9tの保冷車）と乗用車との間に挟まれた状態で発見された。	221	7	10 ～ 29
2012	12	11 ～ 12	当日の作業を終えた被災者は、トレーラーにて荷主先から帰社する途中、片側2車線の道路を横道から右折するため、停止線を越えて道路に進入したところ、右方より道路を直進してきた大型トラックと衝突した。	221	17	50 ～ 99
		6				50

2012	9	7	被災者は配送先で荷卸後帰社するために県道を走行中、中央分離帯に乗り上げた後、道路左側のガードレールを突き破り、電柱に衝突した。	221	17	99
2012	9	8	高速道路において、タンクローリー（14 t）が路側帯に停止していた大型トラック（12 t）に追突した後、トンネル内で横転し、運転していた被災者は、頭を強く打ち死亡した。	221	17	1029
2012	9	21	被災者は雑貨を積載した10 tトラックを運転し、高速道路を配送先へ向かっている際、前方を走行中の車両（移動式クレーン）の後方に激突した。	221	17	1029
2012	5	11 ～ 12	被災者は、荷主先の資材置場内に設置されていた覆工板を立てかけた状態で保管する設備（型鋼を溶接加工した構造）上において、覆工板と設備の一部との間に身体を挟まれた状態で発見された。なお、設備南側には、小型移動式クレーン（つり上げ荷重2.93 t）がアイドリング状態のまま停車中で、ブーム先端が設備上に延び、玉掛け用具がフックに玉掛けされた状態であった。	521	7	19
2012	3	16 ～ 17	「超強力吸引車」のタンクに集めた粉を、タンクを傾斜させ、タンク後部のハッチを開けて、手作業で袋に投入する作業を行っていた。袋投入作業を終わり、傾斜させていたタンクを水平に戻し、ハッチを閉めたところ、閉塞部の清掃を行っていた被災者をはさんだ。なお、タンクの傾斜及びハッチの開閉は車両左側面前方にある操作レバーで油圧操作を行う。また、操作者は車両左後方に居る合図者の「タンクを水平に戻す」合図で操作した。	221	7	1029
2012	3	16 ～ 17	被災者はトレーラーの荷台からコイル状の鋼材の荷卸し作業中に、当該鋼材4巻（約2.8t、直径1.5m）が何らかの原因で倒れたため、その下敷きになった。	521	5	19
2012	11	10 ～ 11	けん引自動車で空のトレーラーをけん引して走行中、道路右側のガードレールを突き破り約20m下の川原に転落した。	221	17	19

2012	3	6 ～ 7	被災者は漁業協同組合にて鮮魚の積み込みを行うため、同組合に到着後、同組合敷地内の岸壁に自ら運転していた活魚車を駐車していた。同組合の担当者が、被災者の姿が見えないことに気づき搜索したところ、活魚車を駐車している岸壁の海底に沈んでいるのが発見された。	713	10	1～ 9
2012	4	4 ～ 5	高速道路にて、大型の故障車（A車）が路肩に停車していたところ、被災者が運転する大型車（B車）が中央車線を走行中突風にあおられ、左に斜行してA車に追突した。被災者は、降車し、A車の運転手と話し合いをしていたところ、後方から来た大型車（C車）がB車に玉突き衝突し、B車がA車に追突、A車が約1.5m前方に押し出された際、A車の前にいた両運転手に衝突、被災者は転倒し、死亡した。	221	17	10 ～ 29
2012	2	7 ～ 8	2台のトラック（バン）のリアを向え合わせ、荷物の入ったカゴ車の積替えを行っていたところ、被災者が移動させていたカゴ車が倒れる音がした。被災者はカゴ車の脇で倒れていたが、意識はあり、外傷は確認されなかった。その後、被災者は、自らトラックを約30分運転し事業場に戻ったが、事業場到着後、徐々に声かけに応じなくなり、救急搬送先の病院で死亡した。	221	2	30 ～ 49
2012	7	0 ～ 1	被災者は帰りの荷を大型トラックに積み、事業場に運送するため高速道路を走行中、前方を走行していた冷凍車に追突し、全身を強打し死亡した。	221	17	10 ～ 29
2012	3	4 ～ 5	被災者は荷を運搬するためトラック（トレーラー）を運転中、国道の交差点で信号待ちをしていたところ、停車中のトラックの後方に追突した。	221	17	10 ～ 29
2012	5	9 ～ 10	倉庫内に仮置きしている輸入合板2パレット（1パレット110枚、1パレットあたり高さ約1m、重さ1.3 t）を4 tのフォークリフトでトラックに積み込んでいた際、上段の合板が被災者側に荷崩れし、合板とあおりとの間に挟まれ胸部圧迫で死亡した。	522	5	100 ～ 299
		12	大型トレーラー（30 t）で撤去電柱15本（1本1 t）を積み、インターチェンジのアクセス道路の本線を降りて料金所に向かっていたところ、道路右			10

2012	7	～	側の縁石に衝突し、横転した。運転していた被災者は車内に閉じ込められ、その後レスキュー隊員に救出されたが、救急搬送先の病院で死亡が確認された。	221	17	～	29
2012	8	7 ～ 8	運搬先において、トレーラーから電柱を荷下ろしする作業を被災者単独で行っていた。荷下ろし方法は、人力作業であり、一端を固定したワイヤを電柱に巻きつけ、バールを使って少しずつ地面に下ろす方法で、被災者は、トレーラーの荷台に積んである電柱の上で作業をしていたところ、電柱2本とともに地面に落下し、その後落下してきた3本目の電柱と先に落下した電柱の間に身体が挟まれ、死亡した。	529	6	～	10 29
2012	2	19 ～ 20	中型トラック（4 t 車）を運転して高速道路を走行中、インター出口にある道路標識に衝突し、脳挫傷により死亡した。なお、この事故は、配送先に機械装置（重量2 t）を運搬中の自損事故であった。	221	17	～	10 29
2012	2	4 ～ 5	走行車線を走行中の1台目のトラックに2台目のトラックが追突し停車、約5分後に追越車線を走行中の3台目のトラックが2台目のサイド部分に追突し、4台目の4 t トラックが3台目のトラックに追突した。この事故により、4台目のトラック運転手が死亡、1、2、3台目のトラック運転手も負傷した。	221	17	～	1 9
2012	7	12 ～ 13	高速道路の追越車線の舗装工事による車線規制の影響で渋滞し、最後尾に停車していた乗用車に大型トラックが追突して乗り上げ、さらに前方の自動車運搬車に衝突し、この3台の車両が炎上した。大型トラックの運転手は窒息死、乗用車の運転手は外傷性ショックにより遺体で発見された。また、自動車運搬車の運転手は自力で脱出し、頸部に軽傷を負った。	221	17	～	50 99
2012	6	1 ～ 2	高速道路にて大型トラックを運転中、左側壁に衝突した乗用車が中央線をはみ出し、自車右前部に衝突してきたため運転操作が不能となり、対向車線側壁に衝突した。更に、被災者は車外に放り出され、道路高架より約10 m下方の崖に墜落した。	231	17	～	10 29
			被災者は、トラックで荷物を運んでいる途中、高速道路で接触事故が発生し相手車両が停車しなかったため、被災者は、同僚に連絡をとり、被災者				

2012	3	3 ～ 4	車両、同僚車両で相手車両を停止させた。その後、相手車両の前方で被災者、同僚、相手の3名で話し合いを行っていたところ、別の車両が相手車両の後方に追突しそのはずみで相手車両に被災者と同僚及び相手が接触した。	221	17	30 ～ 49
2012	4	10 ～ 11	整備工場内でダンプカー（10 t）の修理（クラッチブスターの交換）作業中、シャシーとダンプ（上げた）させた荷台の間に体を入れて作業していた被災者は、シャシーと下りてきた荷台に挟まれ死亡した。	221	7	30 ～ 49
2012	7	3 ～ 4	トラックから荷を降ろすため、プラットホームよりフォークリフトをトラック荷台に進入させたところ、フォークリフト前輪が荷台に乗った際にトラックが前方に動き出したためフォークリフトがバランスをくずして落下し、その際に飛び降りた運転手が落下してきたフォークリフトの下敷きとなった。	222	1	50 ～ 99
2012	11	7 ～ 8	車両積載型小型移動式クレーン（積載荷重3 t）で住宅新築工事現場へ木材を運送し、荷降ろしのためにトラック荷台へ上がり、小型移動式クレーンの玉掛け作業を行った後、荷台から降りようとして転落し、地面で頭部を強打した。	221	1	10 ～ 29
2012	6	1 ～ 2	4 tトラックに荷物の積込みを終え、倉庫を出発した。配送先に到着後、荷物納品トラックヤードの電動シャッターをリモコン操作で開け、建物内の防犯装置を解除した後、シャッターを閉め、一旦トラックに戻ったところ、リモコンを建物内に忘れたことに気付き、閉まりかかっているシャッターの隙間から建物内に入ろうとして、シャッターと床にはさまれた。	391	7	50 ～ 99
2012	7	19 ～ 20	雑誌等を運搬するために、被災者が単独で13 tトラックを運転し、高速道路から別の高速道路に合流する連絡路（ジャンクション）を走行中、キロポスト付近の急カーブを曲がりきれず、高架橋の壁（高さ約1m）を乗り越えて10数m下の地上に墜落した。	221	17	10 ～ 29
2012	8	4 ～	被災者は中型トラックで商品を配送中、高速道路サービスエリアの進入路において、トラックを駐車し仮眠をとっていたところ、後方より大型ト	221	17	50 ～

		5	トラックに追突された。			99
2012	9	14 ～ 15	被災者は荷物を届けるため、配送先の通用口前の駐車場に車両を停車させ降車し、通用口に向かったところ、車両が動き出し、通用口の底下に張られている風除シートと車両との間に挟まれた。	221	7	10 ～ 29
2012	10	23 ～ 24	国道において、4 tトラックで走行中对向車線に入り、走ってきた大型トラックと正面衝突した。	232	17	1～ 9
2012	2	4 ～ 5	被災者が運転する4 tトラックは、高速道路を走行中、前方走行中のトレーラーに追突し、弾みで中央分離帯とガードレールに接触、炎上した。鎮火後、車内から被災者が遺体で発見された。	221	17	1～ 9
2012	2	11 ～ 12	到着した貨物船からコンテナを陸揚げするにあたり、コンテナが載ったシャーシ（コンテナを載せた状態で着港したもの）をトレーラーで牽引し、貨物船と岸壁を往復する作業中、岸壁部分でコンテナ（間口2.4m×2.5m、奥行6m、約9t）がシャーシから右前方に飛び出すように崩れ、運転席に激突した。	221	6	30 ～ 49
2012	5	10 ～ 11	被災者は運送業の労働者であり、配送先において、テールゲートリフターを使用して荷（300～400kgのカーゴ）を降ろす作業中、地面近くで荷がリフターから滑り落ちそうになったため荷を支えようとしたところ荷が倒れ、その下敷きとなった。	611	5	30 ～ 49
2012	6	9 ～ 10	住宅建築現場において、トラックで搬送してきた住宅資材を移動式クレーンでつり上げ現場へ降ろしている際に、資材が玉掛け用具（ベルトスリング）から滑り落ち、玉掛け作業を指示していた被災者は、その下敷きとなり死亡した。	372	4	30 ～ 49
2012	7	21 ～ 22	路上に停車中の冷蔵冷凍車の荷台内で、被災者が倒れているところを発見され、搬送先の病院で死亡が確認された。なお、荷台の扉は完全には閉まっておらず、積み荷は、アイスクリーム約500箱と冷凍の魚で、アイスクリームの箱の中には、個々にドライアイスが入っていた。	714	12	30 ～ 49

2012	10	4 ～ 5	被災者が運転するトラックが、渋滞で停止していたワンボックス車に追突した。	221	17	30 ～ 49
2012	10	5 ～ 6	4 tトラックにより、国道を配送のため走行中、交差点手前で車道を歩いていた歩行者をはね、対向車線に進入して対向車に衝突し、被災者（運転手）が死亡した。	221	17	10 ～ 29
2012	1	13 ～ 14	保冷トラック（積載荷重3 t）で商品配送中、国道交差点の右折レーンにおいて、右折待ちトラック（積載荷重3 t）に追突した（バス、トラック等計4台が絡んだ多重事故）。	221	17	30 ～ 49
2012	10	14 ～ 15	高速道路にて、車両故障したため路肩に停車させ、車外にて待機していたところ、後方からタンクローリーが停止中の車両に追突した。そのはずみで車両が押し出され、被災者が側壁にはさまれて死亡した。	221	17	50 ～ 99
2012	11	16 ～ 17	建設現場で建築資材の積み下ろし業務を終え、高速道路を經由し帰庫するため、片側三車線の中央車線を積載量3 tトラック（空車）で走行していたところ、右側後方の追い越し車線から中央車線に進路変更してきたトラックが被災者のトラック右側後部に追突した。追突を受けた勢いで被災者のトラックが左前方へ回転しながら横転し、ガードレールに激突した。	221	17	30 ～ 49
2012	5	4 ～ 5	工業用薬品の納品のため出発した。高速道路（片側4車線）を走行中、トラック2台が接触し停車しており、被災者が運転していた10 tトラックがこれに追突した。	221	17	10 ～ 29
2012	5	15 ～ 16	被災者は単独でフォークリフトを使用し、4 tトラックに積んだフレコンの位置の調整をしていた。フォークにフレコンのベルトを通し持ち上げるため、トラック荷台に上がり通そうとしたがフォークの位置が高すぎた。そのためトラックの荷台から手を伸ばしフォークリフトのレバーを操作したところフォークが下がりすぎ、フォークとトラックのあおりの間に腹部を挟まれた。	222	7	30 ～ 49
		2	トラックでの配送を終えセンターに戻るため国道走行中、交差点で左折した直後、松並木の間から歩行者が出てきたため避けようと右に急ハンドル			50

2012	5	3	～	を切ったところ、歩行者が左ミラーにぶつかり、トラックは松並木に衝突した。当初被災直後は、意識があったもののふくらはぎの動脈を切断しており、救急搬送先の病院で失血死した。	221	17	～	99
2012	7	1	～	被災者はトレーラーを運転して配送先へ向かう国道を走行中に、対向車線を走行して来た4 tトラックがセンターラインを超え正面衝突してきた。この事故により、被災者は即死した。	221	17	1～	9
2012	7	1	～	被災者はトラックを運転し国道の走行車線を走行中、前方の普通車に追突して左前方の路肩に駐車した。普通車は衝撃で追い越し車線上に横向きに停車した。被災者は停車中の普通車のところに行き確認し、一旦自社のトラックの右後方部付近まで戻った。そこへ後続のトレーラーが追い越し車線を塞いでいた普通車の左側を通過して被災者及びトラックに追突し横転した。被災者は横転したトレーラーの下敷きとなり死亡した。	221	17	～	29
2012	7	8	～	小麦原料納入工程中、20フィートコンテナ（小麦19 t）の払出ハッチ（30 cm角）が開かなかったため、コンテナ後部の観音扉左右をスリング紐で結び、右扉のみ少し開き原料納入を行おうとしたところ、右扉を開けた瞬間にスリング紐が切れ、被災者は一気にホッパーに流れ落ちた小麦に埋まった。	611	5	～	49
2012	8	3	～	国道で被災者の運転する4tトラックと相手方の運転する4 tトラックが正面衝突し、被災者は、頭部及び胸部を強く打ち死亡した。なお、災害発生現場は片側一車線であり、被災者側からは緩やかな左カーブとなっていた。	221	17	1～	9
2012	8	14	～	被災者はトラックにコイル材（直径1.27m：重量約800Kg×4）を積載後、荷台上で荷の状態を確認しようとした際、積載したコイル材が倒れ、既に積載積みのコイル材との間に挟まれた。なお、コイル材は荷台のラックに立て、ストッパーを置き、当該ストッパーをレバブロックで引張固定されていたが、倒れた側はロックが解除されており、ニュートラルの状態となっていた。また、トラックは前方に2～2.5度傾斜していた。	611	5	～	29
2012	11	4	～	国道で発生した交通事故。事故の発生現場は、片側2車線の直線道路。赤信号で停止中のトラックに、被災者が運転する大型トラックが追突した。被	221	17	～	1

		5	被災者は腹部などを強打し死亡した。			9
2012	1	9 ～ 10	被災者は10 tトラックを運転して配送先事業場に到着した後、そのままトラックの運転席で仮眠し、朝方から荷卸しを行っていたところ、突然倒れ意識不明となった。救急搬送され一旦は意識が戻ったが、その後急性肺動脈血栓塞栓症により死亡した。	221	90	10 ～ 29
2012	2	11 ～ 12	被災者は荷主先にて、フォークリフトのヘッドガードの上に乗し、上方からフォークリフトの崩れた荷を直そうとしたところ、マストとヘッドガードの支柱の間に墜落した。その際、両下肢がフォークリフトのティルト操作レバーに当たり、結果的に動くマストとヘッドガードの支柱に押しつぶされる状態となった。被災者は救急搬送されたが、意識不明の状態となり、死亡した。	222	7	10 ～ 29
2012	3	5 ～ 6	朝礼の点呼のため、被災者を除く作業員はスタッフルームに集合していたが、被災者の姿が見えなかったため様子を見に行こうとスタッフルームのドアを開けて外に出たところ、階段下に倒れている被災者が発見された。救急搬送されたが、外傷性くも膜下出血のため意識不明の状態が続き、数日後に死亡した。なお、発見される5分程前に、屋外で何かがぶつかる大きな音が聞こえていた。	413	1	100 ～ 299
2012	3	5 ～ 6	国道で被災者が運転するトラックが緩いカーブの連続する下り坂で右側車線を走っていたところ、中央分離帯に衝突し、被災者は頭を強打して死亡した。	221	17	10 ～ 29
2012	6	2 ～ 3	高速道路を走行中、追越し車線上に停車していた故障車に衝突した。	221	17	50 ～ 99
2012	8	4 ～ 5	被災者はトラックで納品終了後、自社へ帰る途中、高速道路パーキングエリア出口合流付近のガードレールを突き破り、50m下の川へトラックごと転落し、全身打撲により死亡した。	221	17	10 ～ 29
		15	被災者は路側帯に停車させたトラックから降車していた時、反対方向から			10

2012	1	16	中央線を越えて走行してきた軽自動車に跳ねられた。	231	17	17 ～ 29
2012	4	5 ～ 6	被災者は本社で点呼を受けた後、11 tトラックに建築材料を積み込み、配送先へ向かうため国道を走行していたところセンターラインを越え、大型トラックに正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2012	11	12 ～ 13	トラック荷台から重量約1 tのフレキシブルコンテナ（フレコン）をフォークリフトで吊り、4段積まれているパレット上に載せたところ、フレコンが建物にもたれかかるように傾いた。これを直そうとフレコンの吊り具にロープを通しフォークリフトの左フォークに掛け、上げたところフォークリフトが左側に転倒し、作業を補助していた被災者（トラックの運転者）が下敷きになった。	222	2	10 ～ 29
2012	12	17 ～ 18	被災者が4 tトラックで荷を運搬中、下り坂のゆるやかな左カーブを曲がりきれずに右側壁に激突し、そのはずみで対向車線を走行してきた乗用車に衝突して横転し、ガードレールを突き破り停止した。	221	17	1 ～ 9
2012	9	0 ～ 1	国道で被災者の運転していた大型トレーラが左カーブでセンターラインをはみ出し、対向してきた中型トラックに衝突した。	221	17	10 ～ 29
2012	6	4 ～ 5	被災者は事業場構内において、貨物自動車をバックで荷受用プラットフォームに付けるにあたり、貨物自動車の後部がプラットフォームから約2 m離れた地点で運転者より荷崩れを防ぐため荷を支えるよう依頼され、プラットフォームから降りて荷台に乗り込もうとしたところ、貨物自動車が突然バックを開始し、貨物自動車とプラットフォームの間にはさまれた。	221	6	100 ～ 299
2012	7	12 ～ 13	被災者は単独で倉庫内においてフォークリフトを運転中、保管中の袋物のはい（肥料袋60袋/1パレット、重さ1.2 t/1パレット、パレット3段重ね）の最下段に接触したため、フォークリフトを降りて破れた袋をガムテープで補修するとともに、ほうきとちりとりでこぼれた中身の掃除をしていたところ、はいの中段と最上段が崩壊して下敷きとなった。	611	5	1 ～ 9

2012	3	10 ～ 11	配送先から帰社するため、高速道路のトンネル内をトラックで走行中トラックがスリップし、その際シートベルト未着用であった被災者は車外に放り出され、運転していたトラックの下敷きになり、死亡した。	221	17	1～ 9
2012	3	1 ～ 2	被災者の車が不自然な場所に停止していたため、不審に思った同僚の通報により、車内で意識不明となっていた被災者が発見された。直ちに救急搬送されたが、搬送先病院にて死亡が確認された。なお、発症前2ヶ月間に、被災者には80時間以上の過重労働が認められている。	921	90	30 ～ 49
2012	9	16 ～ 17	スクラップを積んだ20 t 積みトレーラーを運転して埠頭の荷捌き場に出向き、荷役を行う業者に荷降ろしを委ねたところ、荷台上にいてグラップルのアタッチメント部分に激突された。なお、荷台のあおりの高さは2mありグラップルの運転席から荷台上の被災者は見えない。	149	6	10 ～ 29
2012	10	17 ～ 18	団地内公道を歩行していた被災者は、道路に駐車をしようとバック走行してきた大型 t トラックにひかれ、死亡した。	221	17	1～ 9
2012	4	6 ～ 7	被災者は国道をトラックで走行中、過重労働により意識を失い、道路標識に衝突した。	921	90	1～ 9
2012	1	5 ～ 6	被災者は高速道路をトラックで走行していたところ、路面凍結のためスリップし対向車線に出てしまい、対向車線を走行していた車両を避けきれず、正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2012	2	8 ～ 9	トラック荷台から鋼材（半円筒形・重量約1 t）を天井クレーン（定格荷重5 t）で吊り下ろし、位置を調整しようとしたところ、玉掛けしていたクランプが外れ鋼材が落下し、トラック荷台の横にいた被災者を直撃した。なお、クレーンの操作を行ったのは荷主先の労働者であり、被災者は鋼材をトラックで運搬した労働者（運転手）だった。	372	4	1～ 9
2012	2	10	被災者が運転する社用車は、高速道路を走行中、中央分離帯の伐採作業を行うために片側2車線道路の中央側に停車していた貨物自動車に追突した。	221	17	50 ～

		11	なお、現場にブレーキ痕は認められなかった。			99
2012	3	3 ～ 4	トラック運転手複数名が、高速道路の片側3車線のうち中央分離帯側の追い越し車線と中央の走行車線に計3台のトラックを停車させ、路上で口論していたところ、別のトラックに追突され、2名が死亡した。	221	17	100 ～ 299
2012	9	10 ～ 11	倉庫内にて入荷の商品を仮置きする作業中、既に置かれている製品の上にフォークリフトを使用し製品1パレットを荷積みしようとした際、既に置かれている製品の一部の荷ずれに気づき、フォークリフト運転席より身を乗り出して修正しようとしたところ、誤って操作レバーに触れ、フォークリフトのマストとヘッドガードの間に挟まれた。	222	7	50 ～ 99
2012	12	21 ～ 22	荷物を配送後、事業場車庫に戻るため高速道路を走行中、清掃作業していた清掃作業車に追突して、死亡した。	221	17	1～ 9
2012	1	4 ～ 5	被災者は鋼材を運送するため搬送先に向けて出発し、高速道路を走行中、右カーブを曲がりきれず左車線側のガードレールに衝突し、トレーラーが横転し死亡した。	221	17	10 ～ 29
2012	1	17 ～ 18	社命で技能講習を受講した後、原付きバイクで帰宅する途中交差点を直進したところ、反対から来た右折車と衝突し、救急搬送先の病院で死亡した。	231	17	10 ～ 29
2012	4	20 ～ 21	交差点で右折しようとした乗用車が対向してきた被災者のトラックと衝突し、被災者のトラックは弾みで道路左側の信号柱に激突した。	221	17	10 ～ 29
2012	4	15 ～ 16	被災者は道路を曲がり損ねたため、車輛後方で後退の状況を確認していたところ、後退してきた車輛と電柱との間に挟まれた。	221	17	30 ～ 49
2012	5	3 ～ 4	国道にて、赤信号で交差点に停車していた10tトレーラーが青信号に変わり動き始めたところへ4tトラックの自車が追突し、重傷を負って救急搬送されたが死亡した。	221	17	30 ～ 49

2012	8	6 ～ 7	道路上でアルミ製のトラス状部材（長さ約5m）を積んだトラックを停車させ荷台のシート外し作業中、畳んだシートを積荷上から地面に投げ下ろそうとした際、バランスを崩し、シートと共に約4m下の歩道に墜落した。	221	1	1～ 9
2012	8	7 ～ 8	アスファルトの骨材を10 t ダンプトラックに積み込んで客先に運搬し、荷下ろし待ちしている際、ダンプトラックの荷台から墜落し、頭部をアスファルト道路に強打し、救急搬送先の病院で死亡した。	221	1	10 ～ 29
2012	9	7 ～ 8	被災者は新築工事現場に使用する窓ガラスを搬入するため、当該現場の地下2階搬入ヤードにトラックを停めた。その後、ガラス工がトラックの荷台からガラスの荷降ろしをする準備中、被災者はトラックの荷台の脇にいたため、荷崩れを起こしたガラス10枚（1枚約80 k g）の下敷きになった。	611	5	50 ～ 99
2012	2	11 ～ 12	被災者はトラックにて会社に戻る途中、信号で停車していたダンプに後方から激突、頭を強打し死亡した。	221	17	30 ～ 49
2012	3	5 ～ 6	事業場構内にて、帰宅するため駐車場に向かって歩行者用通路を歩いていた被災者は、同事業場所属の自動車運転者が運転するトラックに轢かれ、搬送先の病院で死亡した。	221	6	300 ～
2012	3	2 ～ 3	片側2車線の高速道路での交通事故。本災害の前に事故があり、乗用車は右側の追越し車線に、トラックは路側帯に停車していた。被災者の乗った高所作業車は左側の走行車線を走っていたが、追越し車線を走行していたトラックが追越し車線に停車していた事故車（乗用車）を避けようと走行車線に入ってきたために激突された。この衝撃で、被災者の乗った高所作業車は路側帯に停車していたトラックに激突し、運転していた被災者は死亡した。	221	17	10 ～ 29
2012	3	0 ～ 1	被災者の中型トラックは、渋滞で停車していた大型トラックに追突した。なお、被災者は頭等を強打し、搬送先の病院で死亡した。	221	17	30 ～ 49
		10	トラックの荷台に積んであった油圧ショベルが走行中道路上に落下した。そのため、トラックを運転していた被災者が油圧ショベルを荷台に積み込			1～

2012	10	～ 11	んだところ、荷台から道路わきに油圧ショベルとともに転落した。被災者は投げ出され、油圧ショベルとフェンスの間に挟まれ、死亡した。	145	7	9
2012	12	17 ～ 18	パワーゲート付きのトラックから、キャスター付きの台車に載せたコンピュター機器を梱包した荷を下ろすため、被災者が荷の前に、他の作業者が荷の後ろに分かれて、荷台からゲート部まで移動しようとしたところ、予想を超える速度で動き、トラックから荷が落ちそうな状態になり被災者が荷に押し出されるようになったため、被災者がゲート部から降り、荷を支えようとしたが支えきれず、荷の下敷きになった。	611	6	1～ 9
2012	1	19 ～ 20	事業場のストックヤード内で、パックヨーグルトをトラックから被災者1人で荷降ろし作業を行っていたところ、使用していたカゴ車が被災者側に倒れ、倒れてきた当該カゴ車のパイプにより頸部を圧迫され窒息死した。	362	5	50 ～ 99
2012	9	1 ～ 2	被災者が運転する大型トレーラーが対向車線にはみ出し、対向車の大型トラックと衝突し、全身打撲により死亡した。	221	17	10 ～ 29
2012	7	8 ～ 9	被災者はミキサー車に生コンを積み込み、住宅建築現場に向かって市道を走行中、道路外から進入した軽乗用車と衝突、ミキサー車は約50m先の反対車線で転覆（逆転）し、運転していた被災者が死亡した。	221	17	10 ～ 29
2012	8	11 ～ 12	資材置き場前の道路において、トラック荷台へフォークリフトでH鋼を積込む作業を行っていたところ、積込んでいたH鋼が崩れ、荷台でH鋼の下へ角材を敷く作業等を行っていた被災者の頭部に激突した。	611	6	1～ 9
2012	10	23 ～ 24	高速道路上り線において、追突事故により停車していた大型トラックに被災者が運転する大型タンクローリーが追突し、死亡した。	221	17	50 ～ 99
2012	12	3 ～ 4	被災者はダンプトラックで荷物の運搬業務を終え、会社へ戻る途中、交差点にて赤信号で停車していた別のダンプトラックに追突し、胸を強打し死亡した。	221	17	1～ 9
			護岸工事の資材積み込みヤードにおいて、被災者はダンプの積み卸しのた			

2012	1	7 ～ 8	め荷台上でシートを外していたところ、緩やかな坂に停止させていたダン プが動き出し、坂を下り岸側の急斜面に乗り上げて横転。荷台から落ちた 被災者の上に積んでいた岩石が落下した。	221	4	10 ～ 29
2012	2	7 ～ 8	トラックで走行中、道路脇に停車していた重機に後方から衝突し、全身を 強打し、外傷性ショックのため死亡した	221	17	10 ～ 29
2012	6	5 ～ 6	被災者は片側1車線の道路で緩やかな左カーブを走行中、反対車線からはみ 出してきたトラックと衝突し、全身を強く打って死亡した。	221	17	30 ～ 49
2012	7	16 ～ 17	被災者は、大型トラックの荷降ろし作業に取り掛かった際、後部扉を開 き、荷台上に上がって、荷を固定していたラッシングベルトを取り外し荷台 から降りた。そこへ左右2列に並んだ荷のうち、右列の荷が後方へ滑り出し 荷台から転落した。次いで、左列の荷も同様に滑り出して荷台から転落 し、その場にいた被災者が下敷きとなった。	611	5	30 ～ 49
2012	7	9 ～ 10	被災者は業務多忙に加え、他事務社員の退職により労働時間が増加してい たところ、自宅の風呂場で心肺停止状態で倒れているところを家族に発見 され、救急搬送されたものの、びまん性くも膜下出血により死亡した。	921	90	1～ 9
2012	7	3 ～ 4	被災者が運転するトラックが交差点に差し掛かったところ、左から来た乗 用車に激突された。なお、交差点は夜間も3色点灯する信号機で見通しはよ かった。	221	17	10 ～ 29
2012	9	20 ～ 21	被災者は工場内でトラックの荷台に積み込まれた木材の荷絞め作業を行っ ていた。荷台上の木材に上り、スリングベルトにより荷絞め器で固定して いたところ、約3m下の地面に墜落。頭部を強打し死亡した。なお、被災者 はヘルメットをかぶっていたが、あごひもをしていなかった。	221	1	10 ～ 29
2012	2	4 ～ 5	荷物を降ろした後、事業場へ戻るため高速道路をトラックで走行中、何ら かの原因で運転を誤り、左側のガードロープに衝突した。	221	17	1～ 9

2012	11	2 ～ 3	被災者は高速道路を走行中、追い越し車線に停車中の大型トラックを避けようとしたが避けきれず追突し、頭蓋骨骨折等で死亡した。	221	17	10 ～ 29
2012	4	7 ～ 8	トラック運転手である被災者は、積み込んだ荷物を目的地へ運送する途中、コンビニエンスストア駐車場でウイングを開けて積み荷の点検作業中、突然ウイングが下降し、トラックの荷台のウイングとあおりの間に頸部をはさまれ死亡した。	221	7	50 ～ 99
2012	9	8 ～ 9	コンクリート2次製品（L型擁壁）を車両積載型移動式クレーンで荷台に積み込む作業中、被災者は積み込みを終えたL型擁壁から玉掛用具（フック3か所）を外し、リモコン操作でクレーンを巻き上げたところ、1か所のフックが外れていない状況であったため、L型擁壁の底部が持ち上げられて被災者方向に倒れ、積まれていた他の擁壁との間に挟まれた。	372	7	30 ～ 49
2012	5	8 ～ 9	早朝、駐車場でトラックから降車し、歩いているところを目撃されていた被災者は、同日午後帰着した駐車場の当該トラック内で死亡しているところを発見された。	921	90	50 ～ 99
2012	4	3 ～ 4	荷物を積み事業場に戻るため、大型トラックを運転し高速道路を走行中、事故で横転していた大型トラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2012	4	2 ～ 3	配達先の入口付近において、トラックから積荷を降ろす作業中、清涼飲料水を積んだカートトラックを引っ張りながら後退していたところ、トラックの後部に装着されている昇降機から足を踏み外して墜落するとともにカートトラックも落下し、下敷きになった。	611	4	10 ～ 29
2012	4	11 ～ 12	発症前1ヶ月間の時間外労働時間数が100時間を超えていた被災者は、倉庫での積込作業終了後、くも膜下出血を発症し死亡した。	921	90	1～ 9
		8	被災者は、着岸したフェリーから牽引車とトレーラーを連結し、搬出する作業を行っていた。牽引車とトレーラー部のブレーキのうち、一部のブレーキのエアバルブの未開放に気づき、運転席から離れ、当該バルブを開			10

2012	1	9	放したところ、トレーラー側のブレーキが解除され、牽引車とトレーラーが動きだし、運転席に戻ろうとした際、牽引車とフェリーの内壁との間に体を挟まれ、骨盤骨折等により死亡した。なお、船内の勾配は、約3度であった。	221	7	29
2012	2	8	被災者は同僚と自社倉庫がある敷地内で地主所有の倉庫（D型ハウス）の除雪作業を行っていた。ハシゴを使用し、倉庫の屋根に上がり、約20cm積もった雪の除雪作業を行っていた時、屋根の一部に透明の塩化ビニル波板を張った天窓を踏み抜き、約5m下の倉庫内に墜落。頭等、全身を強く地面に打ちつけ、死亡した。なお、保護具は着用していなかった。	415	1	29
2012	4	6	被災者はトラックで雑貨を運搬すべく、国道を目的地に向かう途中、左カーブに差し掛かった際対向車線にはみ出し、対向車線を走行していたトラックに正面衝突した。被災者は、頭等を強く打ち死亡した。	221	17	49
2012	5	22 23	被災者は目的地までの荷の運搬業務のため、箱型トラックを運転し片側一車線の国道を走行中、緩やかな右カーブに差し掛かったところ、車体が横転した勢いで運転席から放り出され、道路脇の電柱を倒しながら路外に逸脱したトラックの荷箱と倒れた電柱の間に挟まれ、全身打撲により死亡した。なお、被災者は制限速度50kmの道路上を80kmで走行し、シートベルトを着用していなかった。	221	17	49
2012	6	0 1	被災者は荷を積み、出発地へ戻るため高速道路を走行中、追突事故に巻き込まれた。その際、トラックの損傷程度を確認するため車外へ出たところ、後続の別のトラックに追突され、その反動で自社トラックが押し出されて自社トラックの下敷きになり死亡した。	221	17	29
2012	7	0 1	被災者はトラックに建材のサッシを積み目的地まで運送するため、高速道路下り車線を走行していた。その際、運転を誤り、トンネルの入口にトラックを衝突させ、トンネルの壁面にトラックをこすりながら数十m進んだところでトラックは止まった。救急搬送されたが、失血性ショックにより死亡した。	221	17	29
		10	被災者は国道を社有の大型トレーラーを運転し商品を運搬中、左路肩下に			30

2012	8	～	転落、大破し、死亡した。なお、事故現場は直線道路で、路面は乾燥して	221	17	～
		11	いた。			49
2012	9	～	荷主のプラットフォームにおいて、被災者は単独で荷を乗せたカーゴコンテナをトラック荷台に積込作業中、プラットフォームとトラック荷台との段差（約10cm）によりカーゴコンテナが倒れ掛り、カーゴコンテナを引いて	362	7	～
		16	積込していたことから、カーゴコンテナが傾き、倒れてきたカーゴコンテナとトラックの床に挟まれ、搬送先の病院で死亡した。			10 29
2012	11	～	被災者は荷主の構内で積載型トラッククレーンで電線の荷積み作業を行っていた。その際、木製ドラムに巻いた電線を他の作業員がフォークリフト	372	6	～
		14	で当該トラックに乗せた後、被災者がクレーンのリモコンを操作して荷を荷台の中心部に移動させていたところ、玉掛に使用していた2本の繊維ベルトのうち1本が切断し、荷が倒れ、あおりとの間に挟まれた。			10 29
2011	10	～	幌つきトラック（積載荷重3.5t）のあおりを下ろした荷台の側方から、保冷キャビネット（高さ179cm×間口109cm×奥行109cm、重さ約380kg、キャスター付き）を荷卸しする作業において、荷台側方（高さ105cm）から落下した保冷キャビネットが被災者の後頭部に激突した。被災者は、地面に座り、前屈した状態で後頭部に保冷キャビネットが覆い被さった状態で発見された。	611	4	1～
		8 7				9
2011	4	～	資材置場において、建設現場に鋼材10本（1本当たり約26m、重量約2t）を運搬するため、23tトレーラーの前後に高さ約2.4mの鉄製の架台を仮置きし、当該架台の上に鋼材10本を載せて、資材置場の下り勾配箇所を走行していたところ、前方架台が倒壊し、架台の上に載っていた鋼材10本が運転席を押しつぶし、被災したものである。被災者は、同月24日午前10時20分死亡した。	611	5	1～
		12 13				9
2011	2	～	被災者は平成23年2月4日午前3時15分頃、高速自動車道を走行中、中央分離帯のガードレールに衝突し、その後約400メートルに亘りガードレールに接触しながら走行し、追い越し車線上に停止した。発見時は被災者は心肺停止状態で午前3時15分頃に交通管理隊員に発見され、午前	921	90	～
		3				30

		4	3時50分頃に病院へ搬送されたが、午前5時31分に死亡が確認された。			49
2011	7	17 ～ 18	災害発生当日、道路工事現場で土砂の運搬作業を終えて、事業場に帰着した被災者が、事務所から同一敷地内に止めていた会社所有の2トントラックに向かう途中で、突然コンクリート製の地面に倒れた。その後、医療機関に搬送され療養していたが、外傷性脳出血により7月21日に死亡した。	419	2	1～ 9
2011	1	23 ～ 0	被災者が運転していた大型トラックのライトが故障したため、高速自動車道下り線の路肩に停車し、トラックから降りて停止表示器材を置いていたところ、別の大型トラックが追突してきて、トラックとガードロープにはさまれて胸などを強く打ち即死した。	221	17	30 ～ 49
2011	4	8 ～ 7	下り路線にて大型トラクター（トレーラーヘッド）を運行中、交差点を左折時に雨で濡れた路面でスリップし、中央分離帯に接触、歩道脇のフェンスを突き破って約10メートル下に転落、左足切断術後、療養中であったが、翌日夕方に出血性ショックにより死亡した。	221	17	1～ 9
2011	5	3 ～ 4	被災者が、13トントラックを運転して、高速道路を走行していたところ、上り47.3kポスト付近で、前方の大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2011	6	10 ～ 11	カーセンター敷地内において、中古車を配送するため、被災者が、単独で中古車をキャリアカーへ積み込んでいた。その後、中古車を積んだ状態のキャリアカー横の地面に、被災者が仰向けで倒れていたのを、同センターに来店していた客が発見した。	221	1	10 ～ 29
2011	7	8 ～ 9	被災者は、積み荷を運ぶ準備のため、駐車場内において、トラクタ（牽引車）とコンテナセミトレーラ（被牽引車）を連結する作業を行っていたところ、車両が前方に動き出したため、トラクタ前面を両手で押さえ止めようとしたが、支えきれずに車体下に巻き込まれ、胸腹部圧迫による窒息により死亡した。	221	7	10 ～ 29

2011	7	3 ～ 4	被災者は、配送先のコンビニエンスストアに到着し、納品伝票を店員に手渡し、納入作業を開始するため店外に出た。しばらくたって、商品が納入されないことに気がついた店員は、様子を見るため店舗横の駐車場に向かったところ、トラック前方で吐血し座り込んでいる被災者を発見した。被災者は救急搬送されたものの、後頭部骨折に伴う脳梗塞により20日後に死亡したものの。	221	1	10 ～ 29
2011	7	9 ～ 10	10tトラックを運転して、荷を運搬途中、駐車場に車を止め、ウイング式の荷台の扉を操作中に荷台側面の扉に首を挟まれ死亡したものの。	221	7	10 ～ 29
2011	8	4 ～ 5	被災者が運転するトラックが走行中、前方を走行していた10tトレーラーに後方から追突し死亡したものの。	221	17	10 ～ 29
2011	11	4 ～ 5	被災労働者の運転する大型トラックは、信号待ちで停車していた大型トレーラーに追突した。追突された大型トレーラーは、更に前方に停車していた大型トラックに追突した。被災労働者は、1時間後に搬送先の病院で死亡が確認された。追突された大型トレーラーと大型トラックの運転者は、それぞれ軽傷を負った。	221	17	10 ～ 29
2011	12	14 ～ 15	被災者が軽トラックで走行中、前方の4tトラックに追突し、その後病院に搬送され、死亡したものの。	221	17	10 ～ 29
2011	3	18 ～ 19	工場において11トントラックに荷物を積み込みしたが、荷主より移動を命ぜられたので近くの道路に移動して荷物の確認を行った。その後、通行人が停車している11トントラック左側面のウイング扉に被災者がはさまれた状態での発見し、病院に搬送されたが死亡したものの。	221	7	10 ～ 29
2011	3	13 ～ 14	荷卸・積込作業を行っていたが、午後の連絡で手足がしびれると訴えがあり、救急車を手配して病院に搬送された。脳幹部出血を起こしており、翌日死去した。	911	90	50 ～ 99
		2	被災者が交差点で信号待ちのため停車していたところ、後ろから居眠運転			

2011	4	3	～	と思われる大型車両に追突されたもの。被災者はパイプを運送するため、4トントラックを運転していた。	221	17	1～9	
2011	1	16	～	17	荷をトラックで運送中、横転して10m程路面を滑り、ガードレールの支柱に激突し、頭蓋骨骨折により死亡した。	221	17	100～299
2011	4	23	～	0	空港にて荷降ろしが完了し、支店より帰庫指示後、連絡が取れなくなり、捜索したところ、高速自動車道パーキング（下り）内で、車内のベッドに横になった状態で死亡していたところを発見された。	921	90	10～29
2011	6	6	～	7	セミトレーラーの運転手が配送先工場内で荷ほどき中、頭部がセミトレーラーの荷台から落下した鋼管の下敷きとなり死亡したもの。	611	4	10～29
2011	6	8	～	7	踏切内で下り電車と衝突したもの。	221	17	100～299
2011	9	9	～	10	被災者は、現場入口確認のためトラック（積載荷重15t）を止めトラック前方を歩いていたところ、無人のトラックが動き出し被災者に激突、被災者は死亡したもの。	221	6	100～299
2011	12	14	～	15	市内の仕事を終え、次の現場に向かうため、インターから高速道路に入り、ジャンクション経由で下り線を走行中、突然、対向車線から軽自動車 が中央線をはみ出して正面衝突した。直後に車両から出火。運転者は助け出されたが、助手席に同乗していた被災者は、トラックに挟まってしまっ ていて助け出せなかった。軽乗用車に乗っていた2名も死亡。	231	17	10～29
2011	3	4	～	5	午前3時頃に3tトラックで会社を出発した被災者は、市内の片側一車線を走行中、何らかの原因で中央線を越え、対向車線を走行していた2tトラックと正面衝突し、両トラックの運転手が死亡した。現場は緩いカーブで、事故発生時は小雨が降っていた。	221	17	100～299
					大型トラックでA支店からB支店に向けて出発後、路肩に故障のため停車中			

2011	9	3 ～ 4	のトレーラーの右側後部に追突し、追突した車両の運転席後部で仮眠していた同乗者が車外に放り出され頭部及び胸部を強打した。同乗者は、2日後に多発外傷により死亡した。なお、運転手は、頸椎捻挫により2日間休業している。	221	17	～ 299
2011	9	11 ～ 12	工場の敷地内にある屋外コンクリート製品置き場において、積載型トラッククレーン（つり上げ荷重2.93トン）を使用してL字型の擁壁用ブロック（製品荷重約2.5トン）をリモコン操作により荷台に積み込む作業をしていたところ、当該クレーンの旋回ポストの取付ボルトが破断し、旋回ポストが荷台側に傾き、L字型の擁壁用ブロックが荷台に落下し、被災者が当該ブロックの下敷きになった。	212	4	10 ～ 29
2011	8	15 ～ 16	コンクリートミキサー車（以下ミキサー車という）を用いて工事現場に生コンを搬入するため現場進入路を走行中、設置された規制ゲート内のこう配約7度の道路上にミキサー車を一旦停止させ、運転席を降りてミキサー車の後方に回り規制ゲートを閉める作業を行っていた運転者が、逸走してきたミキサー車に轢かれたもの。	221	6	1～ 9
2011	5	13 ～ 14	配送後立ち寄ったガソリンスタンドで、自由に使用できる貸出し用の脚立を用いてトラックを洗車していたところ何らかの原因により脚立から転落し頭部を損傷死亡に至ったもの。	371	1	1～ 9
2011	6	13 ～ 14	出張先の山林の土場において、同僚がフォークリフトを運転し杉の原木をトラックの荷台に運び、被災者が荷台で均す作業を行っていたところ、原木をトラックの荷台に下ろす際に原木がフォークから転がり落ち、荷台の外に落ちたため、同僚が原木が落ちた箇所を確認したところ、被災者が原木のそばで倒れており、救急車で搬送され脳挫傷および頸髄損傷により意識不明の重体となったが、その後死亡したもの。	221	1	1～ 9
2011	4	23 ～ 0	被災者は荷物を積んだ4tトラックで山陽自動車道を東に向かって走行していた。その際に大型トラックに後方から追突され、4tトラックを運転していた被災者が死亡したもの。大型トラックの運転手は両足を骨折し、休業を伴う負傷を負った。	221	17	10 ～ 29

2011	9	11 ～ 12	被災者が貨物自動車で高速道路を走行中、5.7キロポスト付近で、渋滞のため前方を走行していた2台の貨物自動車が相次いで減速停止したところ、その後方から追突した。被災者は運転席内で挟まれて死亡した。	221	17	50 ～ 99
2011	12	11 ～ 12	被災者は国道の長い下り坂を9tトラックで運転中、下り坂の最後の右カーブにて曲がりきれずに左側ガードレールを突き破り電柱に接触、約1メートル下の畑へ転落横転して、頭を打つなどして被災した。	221	17	1～ 9
2011	3	3 ～ 4	被災者が運転するトラックが山陽自動車道から小谷サービスエリアにつづく道路へ入った際に、当該道路の右側に停車していたトラックの左後方に衝突し、被災した。搬送先の病院で死亡した。	221	17	50 ～ 99
2011	5	8 ～ 9	トラックの横乗り業務のために交差点から約10mのところまでトラックの到着を待っていたところ、国道を自転車が横切り、これを避けようとした乗用車がタンクローリーの進路を塞いだため、乗用車を避けようとしたタンクローリーが歩道に乗り上げ、タンクローリーの車体と民家の間に挟まれたもの。	239	17	300 ～
2011	6	4 ～ 5	平成23年6月10日午前4時40分頃、被災者は市内の自宅にて家族に胸の痛みを訴えるが出勤、6時34分頃仕事場へ到着するも体調すぐれないため、同僚や上司から病院へ行くよう勧められるがこれを断りパレットに腰を掛けていた。その後被災者が倒れていることに同僚が気づき病院へ搬送したが、同日8時19分に致死性不整脈で死亡した。労災申請により、平成23年12月21日業務上と認定した。	921	90	50 ～ 99
2011	6	8 ～ 7	被災者は、配送先にて待機中、12トンウイングトラックに積載した荷物を確認しようと側面のウイングを顔が入る程度に半開し、サイドバンパーに足を掛けて荷台内を覗こうとした。その際、サイドバンパー付近にあるウイング開閉スイッチに右足先が触れてしまったためにウイングが閉まり、ボディのアオリとウイングに首を挟まれ宙吊り状態となり窒息し、病院に搬送されたものの13日後に死亡した。	221	7	30 ～ 49
2011	12	11 ～	荷降ろし先でトラックに積まれた荷を下ろす作業中、トラック上荷台の荷物上（高さ2.6m）に乗り移動していたところ、足を踏み外しそのまま	221	1	30 ～

		12	地上へ墜落したもの。なお、被災者はヘルメットを着用していなかった。			49
2011	7	22 ～ 23	高速道路下線を大型トラック（10 t）で走行中、渋滞の最後尾に停車中の大型トラックに追突した。（大型トラック3台と乗用車1台が絡む事故が発生）（搬送先の病院で、翌日1：10出血多量によりショック死した。平成23年8月18日災害調査実施、確定）	221	17	30 ～ 49
2011	11	12 ～ 13	トラックの荷台から冷凍コンテナ（漬物運搬用：縦、横各110 cm、高さ200 cm、重さ約480 Kg）をパワーゲートで降ろそうとしたところ、パワーゲートのキャストロッパーにコンテナの車輪が引っかかり、コンテナを動かそうとしたところ、倒れそうになったため、支えようとしたが、倒れてきて、地面との間に頭を挟まれたもの。	611	5	30 ～ 49
2011	1	10 ～ 11	平成23年1月27日（木）午前10時45分ごろ、市内の工場で製造された船外機を港から輸出するため、トレーラーで国道を運送していたところ、片側1車線の右カーブでスリップし、対向車線を超えて河川敷に転落したもの（単独事故）。	221	17	100 ～ 299
2011	3	12 ～ 13	A県内の荷先から次の集荷先である町へ向かうためトラック（7 t）を運転中、B県C市で道路に進入したところ、3台の車とガードレールに衝突後、緩い下り坂を60 m程度走行し、ガードレールを突き破り、約4 m下を併走する町道に落下し頭部外傷により同日15時50分に死亡したもの。	221	17	10 ～ 29
2011	4	8 ～ 9	被災者運転の保冷車が、前方で信号待ちをしていたタンクローリーに衝突後、道路左側の道路標識に激突し死亡した。	221	17	30 ～ 49
2011	6	8 ～ 9	6月1日19時頃、トレーラーに鋼材21 tを積み込みA市に向けてB市を出発。6月2日8時50分頃、高速道路・インターチェンジ上り料金所手前の左カーブを曲がり切れずガードレールに接触し横転した。	221	17	100 ～ 299
2011	6	17 ～	被災者は10 tトラックにA県で荷を積みB県に戻るため、国道下り線を走行していた。一方、事故の相手方は車両積載型トラッククレーンにC県で荷を積み、D県へ戻るため上り線を走行していた。同国道下り線側で2台が	221	17	10 ～

		18	正面衝突するように衝突した。衝突後、相手方は車外に逃れたが、被災者は足がはさまれて車外に出られずにいたところ、出火し、運転席が延焼して焼死したものの。			29
2011	6	1 ～ 2	平成23年6月20日午前1時40分頃、被災者が積み荷を搬送中、高速道路上り線（112.9ポスト）で、前方の工事による車線規制で速度を落とした前車に後方から追突した。（現場は直線道路で、霧雨）	221	17	30 ～ 49
2011	8	14 ～ 15	道路（15.7キロポスト）下り線の右側車線を走行していた。後方から走行してきた2トン車が追突し、衝撃のはずみで左側車線方向に押し出されて縁石に乗り上げ横転した。車両は大破し、当社のドライバーは胸部に強い圧迫を受け死亡した。	221	17	10 ～ 29
2011	9	9 ～ 10	被災者は4tトラックを運転し引越荷物を運搬中に、町内の交差点で、左側ガードレールに接触後、その前方に停車中の10tトラックに追突し全身打撲により死亡。	221	17	10 ～ 29
2011	10	1 ～ 2	A市内の配達先より戻る途中、高速道路上りB市内で、前方を走行中の大型トラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2011	10	3 ～ 4	空車台車を回送し、配車センターにてトレーラーヘッドを切り離し中、トレーラーヘッドが前方に動き出した。それを止めようと運転席に乗り込もうとするも、隣の台車との間隔が狭く、ドアが隣の台車に押され、体がドアに挟まれた。その後、午前4時40分頃救急通報、病院に搬送されるも、同日午前5時40分外傷性心挫傷により、死亡したものの。	221	7	10 ～ 29
2011	12	15 ～ 16	運送業トラック運転手である被災者が、配送先事業場内で配送先事業場のフォークリフトと運搬台車の中で牽引アタッチメント取り付け作業を行っていたところ、フォークリフト運転手（配送先事業場構内下請所属）がフォークリフト操作を誤り、アクセルを踏んだため、被災者の頭部がフォークリフトと運搬台車に挟まれたものの。	222	7	30 ～ 49
		14	埠頭のスクラップ積込場所において大型トレーラー荷台の鉄くずを荷降ろし中、被災者が荷台の中に入り込んで鉄くずを集めているのに気付かず			10

2011	1	15	に、埠頭のクレーンオペレーターがクレーンのアームを荷台の中に入れてしまったため、アームと荷台の床との間で押し潰された。	212	7	29
2011	12	0 1	国道下り片側2車線の信号機のある交差点で、被災者の運転する中型トラックが赤信号で停車していた前方の大型トラックに追突した。これにより被災者は胸腹部内臓損傷による出血により、同日午前2時5分に死亡した。	221	17	30 49
2011	12	2 3	高速自動車道出口の料金所手前で、運転していた大型トレーラーを降り、道路上にいたところ、トレーラーが動き出し避けきれずに壁とトレーラーに挟まれ死亡した。	221	6	1 9
2011	3	10 11	被災者が、工事現場から別の工事現場へ土砂を運搬するために、10tダンプトラックを運転し走行していたところ、対向車線を走行中の4tトラックがセンターラインを越えてきたため、避けようとしたがガードレールがあったため避けきれず衝突をしたもの。現場は見通しの良い、片側1車線の道路である。	221	17	10 29
2011	7	2 3	事故当事者である宮下が運転する大型トラックが、高速自動車道下り線走行車線を進行中、同車線の前方を走行していた大型トラックに衝突。事故当事者の宮下が頸椎骨折により死亡、第二当事者（追突された側）のトラック運転手が頭頸部外傷性症候群（ムチ打ち）を負ったもの。	221	17	10 29
2011	12	13 14	自動車道において、引越しの荷物を4tトラックを使用して運送中、本線を降りてパーキングエリアへ向かう進入路を走行していたところ、本線から約100m先の右カーブ付近で、道路脇のガードレールに運転していたトラックが乗り上げ、本線の下を通るカルバートボックスと呼ばれるコンクリートの壁に激突し、車両と壁との間に挟まれた。なお、この事故により同乗の関連会社の労働者も負傷した。	221	17	1 9
2011	1	22 23	市内の国道において、被災者の運転するトラック（最大積載量4トン）がセンターラインを越え、対向車線走行中の大型貨物自動車に衝突したものの。被災者は荷物を積み込み、配送先に向かう途中であった。	221	17	10 29

2011	2	22 ～ 23	市内の県道交差点において、被災者の運転する中型貨物トラック（最大積載量2.6t）が、対向車線を走行していた大型貨物トラックに衝突したもの。なお、被災者の運転するトラックが対向車線にはみ出し衝突しているが、被災者が右折しようとしていたか、何らかの理由で単に対向車線にはみ出したのかは不明である。	221	17	1～ 9
2011	4	2 ～ 3	40tトレーラの運転手である被災者はトレーラ荷台からフォークリフト（最大荷重2.8t）を使用し荷物（原木約70本を束ねたもの）を降ろす作業を行っていたところ、突然トレーラが前方に動き出したため荷台の支柱にフォークリフトの爪が接触、横転した。フォークリフトを運転していた被災者が運転席から地面に投げ出され、地面と横転したフォークリフトのヘッドガードとの間に挟まれ受傷し、その後死亡した。（出張作業）	222	2	1～ 9
2011	6	1 ～ 2	市内の2つの県道が交差する交差点において、片方の県道を北向きに走行していた被災者が運転する4tトラックと、もう一方の県道を西向きに走行していた10tトラックが衝突したもの。衝撃で被災者が運転していたトラックは横転し、その遠心力で被災者が車外に放り出された。なお、被災者は、南砺市の事業場でカット野菜を卸し、金沢市の自社に戻る途中であった。	221	17	1～ 9
2011	7	6 ～ 7	町内の高速自動車道下り線において、荷物を搬送していた被災者の運転する4tトラックが、追い越し車線で作業中の平ボディ4tユニック車に追突した。現場は、追い越し車線の舗装工事のため、約2キロにわたり、走行車線のみ片側通行規制が敷かれていた。ユニック車には、車線規制のためのカラーコーンの設置確認をしていた警備員4名が乗車し、規制区間をゆっくりバックしていたもの。	221	17	50 ～ 99
2011	9	2 ～ 3	市内の国道上において、被災者が運転するトラックが、信号待ちで前方に停車していたトレーラーに追突した。	221	17	1～ 9
2011	10	0	大型トラックで荷の輸送中、中央分離帯の防護柵を越えて対向車線にはみ出し、対向してきた大型トラックと衝突し死亡したもの。対向車の運転手	221	17	50 ～

		1	も足の骨を折る重傷を負った。			99
2011	2	9 ～ 10	構内にいた別会社の労働者がタンクローリーに上がっていた被災者の姿が見えなくなったため、同タンクローリーのタンク（直径2.4m長さ6m）内を覗いたところ、仰向けで倒れている2人を発見した。タンクローリーは積み荷の「アセトン」を降ろした後、窒素ガスを充填しており、タンク中は低酸素状態になっていた。タンク内に落とされた異物を取りに入った運転手が重体、救出に入った被災者が死亡したものである。	714	12	1～ 9
2011	6	15 ～ 16	配送先構内において、13トントラックの運転席で積荷の待機中、過重労働による急性心不全を発症して死亡したもの（平成24年2月9日労災保険支給決定）。	921	90	100 ～ 299
2011	9	6 ～ 7	保冷車庫内において、被災者が一人で荷を積み込む作業を行っていたところ、次に積み込みを行う作業者が、作業が止まっているのを不審に思い、保冷車を見に行ったところ、心肺停止状態で倒れている被災者が発見された。病院に搬送されたが、同日死亡が確認されたもの。目立った外傷はなし。	921	90	
2011	9	0 ～ 1	被災者が運転していた15トントラックが高速道路のトンネル内中央車線で炎上し、被災者が焼死したもの。なお、参考事項として本件発生前に災害発生場所付近で、2件の接触事故が発生している。（詳細は現在調査中）	221	17	100 ～ 299
2011	10	11 ～ 12	配送作業を終え、トラックの荷台で配送先の荷の準備を行い、荷台から降りようとした際、バランスを崩し墜落したもの。6日後の10月23日に死亡した。	221	1	50 ～ 99
2011	5	13 ～ 14	大学キャンパスでパーティション用パネル（高さ1m×幅1m厚さ4m）を4tトラックボックス構造の荷台後方から建屋内へ搬入作業中、トラック内部からパネルをトラックパワーゲート上に搬出した際、風に煽られ、パワーゲートから高さ約1.2m下の地面に背面から墜落し平成23年5月7日に死亡したもの。（目撃者はいない）	221	1	30 ～ 49
			高速自動車道を4トントラックで走行中、数分前に前方を走行していた大			

2011	9	0 ～ 1	型トラック2台が事故を起こし、1台が二車線を塞いで停車しており、被災者は、停車していた大型トラックに追突し死亡したもの。事故発生場所は、節電の影響で道路灯が消灯され、事故のため停車していた大型トラックもランプ類は消えていたため、付近一帯は暗闇となっていた。	221	17	～ 49	30
2011	10	4 ～ 5	被災者は、タンクローリー車で国道を片側2車線の右側を走行中、中央分離帯の縁石に続いて設置されたガードレールを突き破り、反対車線を横断して、さらに、崖下への転落防止用のガードレールも突き破り、約50メートルの崖下に転落し死亡した。	221	17	～ 29	10
2011	3	2 ～ 3	市内の国道において、車両4台が関係する交通事故が発生し、このうち大型貨物自動車を運転した運転手が搬送先の病院で死亡が確認された。	221	17	1～ 9	
2011	10	0 ～ 1	平成23年10月4日午前0時40分ごろ、地方卸売市場南部市場内において、大型トラック（ウイング車、11トン）の荷の積卸作業を行っていたトラックの運転手が、トラック荷台の下で、意識不明の状態で見つめられるところを発見された。その後、病院に搬送された被災者は処置を受けるも、平成23年10月15日午前10時27分に脳挫傷により死亡した。 なお、災害発生時の現認者はいない。	221	1	～ 29	10
2011	4	5 ～ 6	東日本大震災に伴う配置転換で比較的不慣れな地域、業務を命ぜられ、心理的負荷が増していたところに、過重労働基準を超える長時間労働が相次ぎ、自殺に至ったもの。（自動車内での一酸化炭素中毒事故（推定））	921	90	～ 99	50
2011	3	8 ～ 7	配送センターにて積載荷重3.3トンの箱型トラック（ウイング車）に荷を積み終わったのでフォークリフトの運転者が地上からあおりが閉まるか確認後、あおりを下ろしたとき、荷台上で荷崩れ防止のためベニヤ板で固定をしていた運転手があおりにもたれかかるようにして前向きに地上から高さ1メートルの荷台からアスファルト舗装上に墜落し頭部を打撲した。	221	1	1～ 9	
2011	4	9 ～	資材置場のテント製倉庫の屋根に穴があいていたため、被災者が単独で修理を行おうとテント製の屋根（高さ3.66メートル）の上に上がったところ、屋根を破って床（コンクリート製）に落ち、災害発生日の翌日に死	415	1	～	10

		10	亡したものの。			29
2011	5	3 ～ 4	3 t 積トラックに荷を積んで、自社へ向けて高速自動車道上り線を走行中、P Aの進入路に入ったところ、進入路の右路肩に駐車中の大型トラックに追突したものの。（追突された側の大型トラックは、当時、混雑のためP A内に入れず進入路の右路側帯に駐車中であった。）	221	17	～ 49
2011	7	6 ～ 7	配送先に向かう途中、片側2車線の国道上で被災者の運転するトラック（4トン車）がエンストしたため、レッカー車の到着を待っていたところ、大型トラックに追突され、頸部等を負傷し、同日死亡した。	221	17	～ 29
2011	7	23 ～ 0	国道をトラックで走行中、車両故障のために停車していた大型トレーラーに追突し、外傷性ショックで死亡したものの。	221	17	～ 99
2011	9	6 ～ 7	トラックで市内に在する建設現場へ建設資材を配送に行き、当該建設現場付近の市道上で待機中、車外にて他社運転手と会話していたところ、通り掛かった軽自動車にはねられたものの。	231	17	～ 49
2011	10	2 ～ 3	片側2車線の国道の走行車線において、事業場に戻る途中の被災者が運転する2トントラックが信号待ちをしていた15トントラックに追突し、胸部を打った被災者が同日死亡した。	221	17	～ 49
2011	10	5 ～ 6	3 t トラックに住宅用壁面パネルを積み、午前5時15分頃に営業所を出発し走行中、積み荷が崩れそうになったため、路肩に停車させ、積み直しを行おうとしたところ、積んであった積荷（400Kg）が被災者の頭部に落下し、負傷した。直ちに病院に搬送したが、午前8時15分に脳挫傷で死亡した。	611	4	～ 29
2011	2	4 ～ 5	被災者は4 t トラック（保冷車）で生洋菓子を愛知県内の物流センターに配送する業務に従事していた。中央自動車道下り線を走行中、「くも膜下出血」を発症し、同道路を走行する車両と接触した。病院に搬送されたものの平成23年3月14日16時38分に死亡したものの。	999	90	～ 29
			午前11時頃から食品工業内でフォークリフトを使用しトラックにフレコ			

2011	7	13 ～ 14	ンバックの荷積み作業を行っていたが、午後1時半頃トラック運転席で具合の悪そうにしている被災者がいた。この時「頭が痛く、真っ白になった」と話しており、その後同僚が迎えにきて会社に戻って自宅に送り届けた。しかし翌朝、家族が口周辺に血が広がって意識のない被災者を発見したものの。その後病院へ搬送されるも様態が悪化し、8月25日死亡した。	999	99	10 ～ 29
2011	1	12 ～ 13	客先でトラック荷台内の卵が入ったラック（約370kg）をトラック後部に設置されたパワーゲートに乗せて降ろす際、何らかの原因によりラックが倒れ、下敷きとなった。	611	5	30 ～ 49
2011	2	0 ～ 1	路肩に車両運搬車を停めて中古車両の荷下ろし作業を単独でしていたところ、走ってきたトラックが当該車両運搬車に追突し、付近にいた被災者が巻き込まれて死亡したものの。	221	17	1～ 9
2011	11	4 ～ 5	路側帯から本線に進入してきたトラックと衝突し、助手席に乗車していた労働者が外に投げ出されて死亡したものの。	221	17	1～ 9
2011	11	0 ～ 1	物流センターから市内の事業場へ戻る途中、高速自動車道でガス欠になり、ロードサービスを呼び給油を依頼。運転していた4tトラックを路肩に止めてトラックの助手席脇で給油作業を見ていたところ、走行してきた大型トラックに追突され、4tトラックとガードレールの間にはさまれ死亡した。	221	17	30 ～ 49
2011	4	1 ～ 2	道路上で、登坂車線にエンジントラブルでハザードランプをつけ、三角板を設置して駐車していたトレーラーに被災労働者が運転していたトラックが追突し、全身を強く打ち死亡したものの。	221	17	10 ～ 29
2011	11	13 ～ 14	被災者は、工事現場で発生した廃材をダンプトラックで中間処理業者まで運搬し、同処理業者の廃材置き場で廃材を降ろす作業に従事していた。午後1時30分頃、被災者と同じ業務に従事していた労働者Aが、同処理業者の廃材仮置き場付近で、被災者が被災者の運転していたダンプトラックの運転席側前輪タイヤの後方の地面に倒れているのを発見した。	221	7	1～ 9
		2	市内で中型トラックへの荷積み後、出発した（6日1:00）。その途			30

2011	12	3	中、交差点で前から6番目に停車していた大型トラックに追突したものの、追突された大型トラックを運転していた労働者に怪我はなかった。	221	17	49
2011	3	15 16	被災者の運転する4tトラックが、トンネル内にて軽トラックに追突し、事故処理の為、軽トラックの後方で軽トラック運転者と話をしていたところ、当該事故現場で横手市方向から走行してきた2.5tトラックと、北上方向から走行してきたワゴン車が正面衝突し、その反動で、ワゴン車が軽トラックの後方にいた被災者らに激突した。	231	17	29
2011	12	10 11	倉庫内において高さ5m(3段積み)に積んでいた米のはい崩し作業を作業員3名により行っていた。はいを3段のひな段状に組んだあと、高さ3mの位置(上段)に1人、高さ1.68m~2.05mの位置(中段)に1人及び床に1人配置(下段)して出荷していたところ、中段で作業していた作業員がはいの上でバランスを崩しコンクリート床に墜落し頭部を強打、脳挫傷により死亡した。なお、被災者は保護帽が未着用であった。	611	1	29
2011	8	11 12	ジェットコンクリート車(コンクリート打設機械)の混合機部分の清掃作業において、エアレススプレーを用いてコンクリート型枠剥離剤を塗布していたところ、混合機内に転落した。	221	7	99
2011	10	12 13	高速自動車道をトラックで走行中、高速道路工事のために停車していた大型トラックに追突し、運転席が大破してはさまれ死亡したものの。	221	17	99
2011	2	11 12	建築現場に床材を搬送するために入場し、荷降ろし作業は終了していたが車載型トラッククレーンのエンジンからクレーン部に動力を伝えるシャフトに右手を巻き込まれ、顔、腹部を挟まれた状態で死亡していた。	212	7	49
2011	12	12 13	木材チップ工場において、のこ屑をサイロからトラックに積み込む作業中、のこ屑の出が悪くなり、被災者はサイロ内壁に堆積しているのこ屑をフォークで掻き落とすためサイロ上部に上った。被災者が戻ってこないのと同僚が見に行ったところサイロ内にはおらず、13時過ぎにトラック荷台ののこ屑の中に埋もれているところを発見された。	418	1	29

2011	10	17 ～ 18	車両運搬車（カーキャリア）から車両を降ろしている作業中、車両運搬車（カーキャリア）下段の床上で倒れているのを発見された。	221	1	10 ～ 29
2011	1	6 ～ 7	被災者は、営業所から米を運搬するため、5トントラックを運転し、配送センターに向かって国道を走行中、交差点において信号待ちのトラックの後部に追突被災したもの。被災者はシートベルトを着用していた。なお、追突された側のトラックの運転手に怪我はなかった。現場は片側2車線、見通しのよい直線道路、路面は一部が凍結していた。	221	17	10 ～ 29
2011	1	8 ～ 9	被災者は、14トントラックを運転して石膏ボードを建材業者へ運搬し、運搬先事業場の労働者による荷卸し作業が終わるのを待っていたところ、同労働者がフォークリフトにてトラック荷台上の石膏ボードを持ち上げて後退したが、同ボードを荷台からずれた不安定な状態で荷台上に戻し、そのまま後退したことから、同ボードのバランスが崩れ倒壊し、トラックの横にいた被災者が下敷きとなったもの。	611	5	10 ～ 29
2011	2	13 ～ 14	被災者は、ダンプトラック（最大積載量10トン）で砂利運搬作業に従事していた。午前11時半頃4回目の運搬のための積込み後に、プラント敷地内において昼休憩を取った。午後12時過ぎに他の運転手が被災者のダンプの荷台が中途半端に上昇した状態になっているのを目撃している。午後1時になっても出発していないのを不審に思った同僚がダンプを見たところ荷台と車体に頭部を挟まれて被災しているのを発見したもの。	221	7	1～ 9
2011	3	4 ～ 5	被災者は採石を積んだダンプトラック（積載重量9トン）で走行していたところ、左カーブにおいて対向してきたトレーラーが凍結路面でスリップしてガードレールに激突し、ジャックナイフ現象を起こして走行車線を塞いだため、ダンプトラックがトレーラーの左側面に激突して死亡したもの。トレーラーの運転手は負傷により入院。	221	17	1～ 9
2011	3	12 ～ 13	平成23年3月28日12時15分頃、配送センター倉庫内で、労働者がピッキングフォークリフトを使用し、荷役作業に従事していたところ、高さ3メートルから4メートルにあった運転台から墜落し死亡したもの。	222	1	1～ 9

2011	4	8 ～ 7	大型トラック運転者である被災者は、一般住宅のユニット（鉄骨を箱形に溶接したもので、これを組み合わせて住宅の構造とする）2個を工場で積み込み、輸送。荷下ろしするに当たり、防水シートを取り外すために荷の上にながったところ、約3.9メートル墜落し、出血性ショックで死亡したもの。保護帽着用。なお被災者は登録簿上の取締役で、労災請求を契機とする調査で労働者性有と判断されたものである。	221	1	10 ～ 29
2011	5	16 ～ 17	港に停泊中の貨物船からのフレコンバック（内容物石灰、重量約1t）の荷降ろし作業（トラッククレーンで船から港に降ろし、トラクター・ショベル（アタッチメントはフォークに交換）で保管場所に運搬する）において、同僚と2人でハッカーからフレコンバックを外し、トラクター・ショベルに取り付けたフックにフレコンバック2つを取り付けていた被災者が、トラクター・ショベルにひかれて倒れているところを発見されたもの。	141	7	10 ～ 29
2011	6	6 ～ 7	被災者は10トンダンプの右側前輪後方にあるマフラーの取付け金具の交換作業を行なうために事業場に隣接した車庫内に当該ダンプを入れ停止、作業空間確保のため、前輪を右に切ろうと、車外からエンジンを掛けたところ、ダンプが右側に約2.3メートル逸走し、被災者は、ダンプと車庫の間に胸部を挟まれ、死亡した。なお、現場の斜度は0度（水平）であった。	221	7	1～ 9
2011	9	9 ～ 10	被災者は午前4時頃、港の事業場に出勤し、トラクターヘッド（牽引車のみ）を運転して、前の乗用車を追い越すため、右に車線変更したところ、中央分離帯に接触し、反動で道路左脇の沢地に転落した。（事故時は未牽引）被災者は3日後の9月18日に死亡。現場は直線で、路面は乾いていた。天候は晴れ。	221	17	30 ～ 49
2011	10	23 ～ 0	被災者は物流センターに所在する営業所から食品会社に向かうためトラックを運転していたが、その途中の経路上で停車したトラックの助手席側歩道付近でうつ伏せで倒れていた被災者を通りかかった近所の者が発見し、救急車で病院に搬送されたが死亡したもの。被災者の死因は急性心筋梗塞	921	90	100 ～ 299

			だった。			
2011	10	3 ～ 4	被災者は、4トントラックで市内の荷主先に向けて走行しており、交差点で信号待ちのために停車していた時、後続車の10トントラックに追突された。被災者の運転する4トントラックは、交差点を越えて押し出され、フェンスに激突した。意識不明の重体となっていたが、平成23年10月26日、午後5時42分死亡。追突したトラックの運転手も軽傷を負った。	221	17	1～ 9
2011	11	10 ～ 11	被災者は、荷主先工場のバラ出荷第2ゲートでバルク車（飼料運搬用タンクローリー）の荷台上に設置されている作業床（高さ3.28m、幅0.36m）に上がり、トウモロコシの飼料をバルク車に積み込んでいたところ墜落し、病院に救急車で搬送されたが25日に死亡したもの。ヘルメットは着用していたが、発見時は脱げていた。また、安全帯は装着していなかった。	221	1	30 ～ 49
2011	11	11 ～ 12	被災者はトレーラーを運転して会社を出発し、県内でみかんを積み込んで（24t積載牽引）、市場へ荷下ろすため、高速道路を走行していたところ、ジャンクションの左カーブの右側ガードレールに衝突して横転し死亡したもの。	221	17	30 ～ 49
2011	11	20 ～ 21	被災者はタンクローリーを運転していたが、雪道でスリップし、いわゆるジャックナイフ型に道を塞いで停車したため、トラクタヘッドの後輪のタイヤにチェーンを装着しようとしていたところ、名寄から留萌方向に走行してきたタンクローリー車が追突し、死亡した。現場は長い直線の下り坂が左にカーブしたカーブの出口付近で、事故時はアイスバーンに粉雪が薄く積もっていた。なお、両車のタンクは空だった。	221	17	30 ～ 49
2010	12	15 ～ 16	寿司海苔の入った段ボール箱を海苔検査場からコンベアで10tトラックへ搬入する作業中、搬入作業補助をしていた被災者は、携帯電話で社長の指示を受けて、伝票を確認するため当該トラックの運転席に向かった。数分後、海苔検査場で勤務するパート労働者が、トラック運転席付近で倒れている被災者を発見した。すぐ病院に搬送され一時意識は回復したものの	221	6	10 ～ 29

			4日後に死亡した。トラックの運転席に乗り込もうとした際に、突風で煽られたドアに激突されて転倒し、頭部を強打したとみられる。			
2010	12	5 ～ 6	国道において、被災者が運転するトラックが走行していたところ、ガソリンスタンドから前方をよく見ずに出てきたラフタークレーンのアーム部がトラックのコンテナ左上部に衝突し、そのはずみで道路標識の鉄柱にトラックが激突した。被災者は病院に搬送されたが、死亡が確認された。	212	17	100 ～ 299
2010	12	10 ～ 11	トラックで製材5 tを運送するために国道を走行中、ハンドル操作を誤り横転し、ガードレールや電信柱に激突した。	221	17	10 ～ 29
2010	12	21 ～ 22	トラックでコイル材(約13 t)を運搬中、左カーブを曲がり切れずにガードレールを突き破り、道路わきへトラックとともに転落した。	221	17	1～ 9
2010	12	4 ～ 5	資材の運搬のため4 tトラックで走行中、対向してきた14 tトラックがスリップしてセンターラインをはみ出したため、4 tトラックの前部と14 tトラックの右後部が衝突し、4 tトラックの運転手が全身打撲で死亡した。災害発生場所は片側1車線、4 tトラックから見て右カーブで、当時は雪が降っており、路面はシャーベット状であった。14 tトラックの運転手は軽傷であった。	221	17	30 ～ 49
2010	12	15 ～ 16	被災者は災害発生日前日の夜、大型トラックに海産物を積み、配送先で荷下ろし後、空車で事業場に戻るため国道を走行中、災害発生地付近の左急カーブを速度超過のため曲がりきれず、対向車線にはみ出して進行方向右側の路外に逸脱し、車外に投げ出されトラックの下敷きになり被災した。天候はくもり、路面は圧雪アイスバーンだった。	221	17	1～ 9
2010	12	15 ～ 16	被災者は、大型トラックで土砂を建設現場から処分場に運搬するため走行中、道路左側の側溝に脱輪してハンドルを取られ、対向車線を横切り、道路法面を約10 m転落し、民家のブロック塀に激突した。	221	17	30 ～ 49
		23				10

2010	12	～ 24	被災者運転の13 tトラックが、高速道路で渋滞していた車列の最後尾の車両に脇見運転のため追突し、計6台の玉突き事故となり死亡した。	221	17	～ 29
2010	12	11 ～ 12	被災者は、魚市場から鮮魚を運搬するため4 tトラックを運転し国道を走行中、対向車線にはみ出して対向車の大型トレーラーと正面衝突したものの。相手方の運転手は軽傷であった。現場は見通しの良い直線道路で路面は乾燥していた。	221	17	～ 29
2010	12	3 ～ 4	交差点において、赤信号で停車していた大型トラックに被災者の運転する中型トラックが脇見または居眠り運転のため追突したものの。	221	17	～ 29
2010	11	1 ～ 2	国道をトラックで走行中、下りのゆるい右カーブで被災者の運転するトラックが速度超過により道路脇に飛び出し、歩道の柵を突き破り約13 m下の畑に転落し被災者は死亡したものの。	221	17	～ 29
2010	11	0 ～ 1	トラックで農薬（クロルピクリン）を積載して走行中、国道の右カーブで道路が雨上がりの氷点下によるブラックアイスバーンになっていたため、トラックがスリップして横滑りになり、ブレーキが効かずに軌道修正ができず、対向車に接触した後、左側の崖下へ約20 m転落した。この際、積載していた農薬の入っていた缶が破裂して急性薬物中毒を引き起こし死亡したものの。	221	12	～ 30 49
2010	11	19 ～ 20	工場長が帰宅の際、敷地内にエンジンがかかったままの委託会社の生コン車を発見し、運転手を探したところ、ボイラー室地下の受水槽に墜落している被災者を発見したものの。	418	1	1～ 9
2010	11	3 ～ 4	被災者は最大積載量2.8 tの貨物自動車で、国道を時速およそ70 Kmで走行中、前方を走行していた4 tパワーゲート付き貨物自動車に追突した。被災者がブレーキを踏んでいないことから、追突した被災者の脇見運転又は居眠り運転と思われる。	221	17	～ 29
2010	11	～ 14	配送業務を終えて構内駐車場に停車してあった貨物自動車の運転席側のドアが開いており、その下で倒れている被災者が発見された。運転席に乗り	221	1	～ 50

		15	降りる際に足を滑らせ、転落したとみられる。			99
2010	11	13 ～ 14	被災者は長さ2.5～4mの単管約60本の束を2.93t吊り積載型移動式クレーンの荷台に積み込むため、無線操作し地上よりつり上げて旋回したところ、荷が傾き落下し、移動式クレーンにもたれかかる状態となった。被災者はもたれかかった荷を地面に下ろすため玉掛け用ワイヤーロープを外し、再度玉掛けを行っていたところ荷が倒れ、荷と共に荷台より墜落し、荷と地面に頭を挟まれた状態となり死亡した。	521	5	30 ～ 49
2010	11	6 ～ 7	事業場からダンプトラックにて自社の残土置場に向かう途中、走行車線左側のガソリンスタンドから飛び出してきた小型貨物自動車をよけようとして反対車線側の民家の車庫に激突したものの。	221	3	10 ～ 29
2010	11	13 ～ 14	被災者は、トレーラー（最大積載量46.50t）で重機を荷先に運搬した際、トレーラー車輪（16本装着）の内、後列左側タイヤ（直径90cm、チューブレス）の1本の空気が抜けている状況を認めたため、自社整備工場に戻りタイヤの空気充てん作業を行っていたところ、タイヤに損傷があったため破裂し、風圧を受け、病院に搬送されたが死亡した。なお、空気の充てん作業は、タイヤを車両に装着された状態で行っていたもの。	221	15	30 ～ 49
2010	11	10 ～ 11	製材所の敷地内においてグラップル付きトラック（最大積載量8900kg）に積んでいた丸太を降ろそうと固定していたワイヤーを緩めた際、荷台上部に積載されていた丸太1本（長さ4.1m、直径40cm、重さ280kg）が落下して被災者に当たり即死したものの。トラックのステッキ（トラックの荷台に取り付けられた丸太転落防止用の鉄柱）の高さを超えて丸太を積んでいた。積載量は14850kg、66%超であった。	522	4	10 ～ 29
2010	11	21 ～ 22	荷物の配達のため、ワゴン車で片側1車線の国道を走行中、対向車線からセンターラインをはみ出してきたトラックと正面衝突した。	231	17	1～ 9
2010	10	7	被災者（保護帽の着用なし）は、荷の搬送先において、商品搬入口で2tトラックの荷台からテールゲートへカーゴを移動して降ろす作業をしていたところ、カーゴと共に落ち搬入口付近でカーゴ（荷と合わせ重量約30	221	1	100 ～

		8	0 k g) の下敷きとなっているところを発見された。被災者は、頭部骨折により死亡したものの。			299
2010	10	4 ～ 5	テーブルリフターを利用して、空のプラスチックケースを地上からトラックのプラットホームに上げる作業中に、テーブルリフターとプラットホームの間に首を挟まれ死亡したものの。	214	7	50 ～ 99
2010	10	17 ～ 18	被災者は車両（ダブルピック）に乗り、モータープールから集金のため顧客先に向かう途中、国道を右折しようとしていたところ、後方から乗用車に追突され、対向車線を走行していた2台を含む計4台が絡む多重衝突事故が発生し、被災者が死亡した。ほか2名が通勤災害で、1名に怪我はなかった。	221	17	10 ～ 29
2010	10	8 ～ 9	配送先敷地内において、荷降ろし作業後、スクラップ材（発泡スチロール）を積み込み、シート掛けをしている時、トラックのあおり部分（地上175 cm）から転落し、左頭部（ヘルメットなし）を打ち死亡した。	221	1	50 ～ 99
2010	10	3 ～ 4	被災者は、20 tトレーラーを運転して、木材工場に原木（杉）を搬入し、受付までの待機中に原木を結束していたワイヤーロープを外していたところ、原木の1本（直径25 cm、長さ3.1 m）が不安定な状態であったため、トレーラーの荷台から落下し、被災者に激突した。	221	4	1～ 9
2010	10	10 ～ 11	被災者は、4 tトラックに乗り、荷の積み込み先に向けて走行中、国道の交差点にて信号待ちのために停車していた車列に前方不注意により追突し、4台が関係する玉突き衝突となった。4 tトラックの運転席がダンプトラックの荷台部に押しつぶされ、被災者は死亡し、ダンプトラックの運転手が軽傷を負い休業した。なお、他の2車両（タクシー、トラック）の労働者にけがはなかった。	221	17	1～ 9
2010	10	19 ～ 20	自分の車に配達する商品を載せて走行中、左カーブでセンターラインを超え対向車線にはみ出し、対向車線を走行してきた乗用車と正面衝突したものの。	231	17	100 ～ 299
2010	10	9 ～	車庫内から電動シャッター（高さ4 m、幅8 m）をくぐり出ようとしたところ、同シャッターとコンクリートの地面に胸部を挟まれたもの。同僚が	418	7	30 ～

		10	発見し救急搬送したが、死亡が確認された。			49
2010	10	3 ～ 4	13 tトラックで高速道路の登坂車線を走行中、本線路肩に違法駐車していたトレーラーに追突し、運転していたトラックのキャビンが潰れて車内に閉じこめられたもの。レスキュー隊により救出されて救急搬送されたが、搬送先の病院にて死亡が確認された。	221	17	50 ～ 99
2010	10	4 ～ 5	3 tトラックを運転し、荷（日用品）の運送中、国道を走行していたところ、対向車線を走行してきた13 t 飼料運搬トラックと正面衝突した。また、対向してきた13 t 飼料運搬トラックの運転手も死亡した。いずれかの車両が前方不注意等によりセンターラインを超えたもの。	221	17	10 ～ 29
2010	10	4 ～ 5	被災者は、資料運搬用13 tトラックを運転し、荷の運送中、国道を走行していたところ、対向車線を走行してきた3 tトラックと正面衝突し、死亡した。また、対向してきた3 tトラックの運転手も死亡した。いずれかの運転手の前方不注意等により、センターラインを越えたもの。	221	17	50 ～ 99
2010	10	5 ～ 6	会社車庫にあるトラックをバイクに乗車して取りに行く途中、駐車中のダンプカーに前方不注意により激突して、死亡した。	231	17	10 ～ 29
2010	9	13 ～ 14	被災者の運転するトラックが信号待ちをしていた3台のトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2010	9	17 ～ 18	対向車線の大型トレーラーのけん引車が道路脇のフェンスに激突後、中央線を越えて被災者の車線に進入してきたため運転席に激突し、全身を強打した。病院に搬送されたが翌日死亡。	221	17	1 ～ 9
2010	9	17 ～ 18	被災者は、フォークリフト（最大荷重1.5 t）を用いて、事業場営業所の屋根（高さ2.71 m）の雨漏りを止めるため、ビニルシートを敷設する作業をしていた。フォークリフトの運転席からフォークのパレット上に乗り移ろうとした際、誤って足を踏み外し、ティルトレバーを足で踏んでしまい、原動機を停止させていなかったためにマストが後斜し、ヘッド	222	7	1 ～ 9

			ガードとマストの間に挟まれた。1人作業のため目撃者はいない。			
2010	9	13 ～ 14	粉砕機（ジョークラッシャー機）約1 tを設置するため、片側の脚部を天井クレーンを使用して床面に降ろした後、もう片側の脚部を床面に設置させるため、脚部に敷いた建材の取り除くにあたりジャッキを使用して脚部を持ち上げ建材を取り除いたとき、ジョークラッシャー機が傾きはじめ、ジョークラッシャー機の下でジャッキアップしていた被災者が退避しようとしたところ、被災者の上に倒れ胸部付近を圧迫し死亡したもの。ジョークラッシャー機の重心が片側に集中していて、集中していない側をジャッキアップしたとみられる。	612	5	50 ～ 99
2010	9	0 ～ 1	高速道路の直線道路において、被災者の運転するトラックのエンジンが故障し、幅約2.5 mの路肩に停車し、三角表示板を設置していた。加害車両のトラックが前方不注意のために被災者のトラックに追突し、被災者のトラックは横転し、被災者は死亡した。	221	17	10 ～ 29
2010	9	6 ～ 7	1人でトラックへ台車を積み込む作業中、トラック内にパレットが放置されていたため予定の数量の台車を積み込むことができず、トラック片側の扉を上げ、フォークリフトを用いて当該パレットを抜き取っていたところ、トラックへ既に積み込んでいた台車（約300 kg）が動き出したため、フォークリフト運転席から慌てて降りて台車を押さえようとしたが、押え切れず、荷台から台車が落ち、下敷きとなり死亡したもの。	362	4	10 ～ 29
2010	9	3 ～ 4	2 tトラックを運転して印刷物を配送していた。途中の国道にて、赤信号で停車中の10 tトラックの後部に追突し、全身打撲により死亡したものの。	221	17	50 ～ 99
2010	8	7 ～ 8	支店構内の燃料スタンド近くで仰向けで倒れていた被災者が発見され、病院まで救急車により搬送されたが、2日後に死亡したもの。目撃者がおらず詳細は不明。	999	2	100 ～ 299
2010	8	3 ～ 4	断熱材を輸送するため、深夜に点呼を受けて本社を出発し、国道を走行中、センターラインをオーバーしてきた対向車と正面衝突したものの。	221	17	10 ～ 29

2010	8	22 ～ 23	被災者は4 tトラックに家具類を積載し、高速自動車道の左車線を走行していたところ、左側の縁石に乗り上げ横転し、反対側の中央分離帯に激突して胸などを強く打ち、胸部を打ち死亡した。	221	17	～ 29	10
2010	8	4 ～ 5	被災者がトラック（13 t冷蔵車）を運転して高速道路を走行中、インターチェンジ出口の分離帯ガードレールに衝突し、そのまま土手から約1 m下へ転落・横転したものの。	221	17	～ 29	10
2010	8	23 ～ 24	4 t貨物自動車で長距離の運送作業中、左カーブで対向車線にはみ出し、対向してきた大型貨物自動車と正面衝突したものの。運転労働者は、病院に救急搬送されたが死亡が確認された。なお、対向車の大型貨物自動車の運転者も骨盤骨折等の重傷を負ったもの。	221	17	～ 99	50
2010	8	12 ～ 13	被災者は、荷の積み込みのため、空荷の10 tトラックを運転し、会社に向かう途中、片側1車線の国道を走行していたところ、信号待ちしていた2 tトラックに後方から追突し、胸部を強打して死亡した。	221	17	～ 29	10
2010	8	1 ～ 2	被災者の運転する大型トレーラーが県道を走行中、縁石に乗り上げ民家のブロック塀に衝突して横転しコンテナ部分が炎上した。被災者は運転席から投げ出された状態で発見された。	221	17	～ 29	10
2010	8	13 ～ 14	被災者は、フォークリフトを使用してコンテナ車から荷降ろし作業中にドックレベラー（プラットホームからコンテナ車への渡り板）上で幅寄せ（バックしながら右側に寄せていた）を行っていた時、右後輪がドックレベラーから脱輪したため、フォークリフトの体勢を立て直す操作を行っていたところ、プラットホーム端部から90 cm下のアスファルト路面上へフォークリフトとともに転落し、フォークリフトの下敷きになった。	222	1	～ 99	50
2010	8	9 ～ 10	軽トラックで、当日の朝に出発して事業場へ荷物を届けて帰社する途中、国道の直線部分の終わる付近で運転操作を誤って、道路左側の歩道にある水銀灯の支柱に衝突した。病院に搬送されたが2日後に死亡した。	221	17	～ 9	1
		16	土木工事現場から地盤改良の機械（17 t）を大型トレーラーに積み帰社途中、長い下り坂でブレーキがベーパーロック現象を起こしてブレーキが				50

2010	8	～ 17	効かなくなり、道路左側のコンクリート製防護壁に衝突した。その弾みで道路脇に駐車していた軽トラックに衝突し、被災者は車外に投げ出されて頭を強く打ち死亡したものの。	221	17	～ 99
2010	8	12 ～ 13	昼食を終えて、飲食店の駐車場に停めていたトラックに乗り込む際に、ドライバーが運転席に座らずギアを確認せずにエンジンを始動したところ、ギヤが入っていたため前進し、前方にいた被災者に激突し、被災者はトラックとフェンスに胸部を挟まれ圧死したものの。	221	6	30 ～ 49
2010	8	2 ～ 3	4 t トラックを運転中していた被災者が、片側 3 車線道路の左側車線上で信号待ちのため停車していた 10 t トラックに追突、死亡したものの。	221	17	10 ～ 29
2010	8	7 ～ 8	事業場で冷凍食材を 4 t トラックに積み込み、配送先に向かう途中に交差点に差しかけたところ、信号待ちで停止していたダンプトラックの後部に追突した。	221	17	50 ～ 99
2010	8	11 ～ 12	国道のバイパス（片側 1 車線）で、走行中の普通トラックがセンターラインをオーバーし、対向車線を走行していた小型乗用車の側面に接触した後、小型乗用車の後続の大型トラックと正面衝突をした。普通トラックを運転していた運転手が重傷（その後病院で死亡）、小型乗用車に乗っていた家族連れ 3 名が軽傷、大型トラックを運転していた運転手が軽傷を負った。普通トラック運転手のわき見運転とみられている。	221	17	30 ～ 49
2010	8	12 ～ 13	被災者は 1 人でセルフスタンドの敷地内の屋外で、朝からミキサー車のホッパー部をアーク溶接により補修作業を行っていた。昼休み後、当該敷地に隣接する会社の従業員がミキサー車のホッパー部で上半身を伏せている被災者を発見した。救急車を呼び病院に搬送したが熱中症により死亡した。	715	11	10 ～ 29
2010	7	5 ～ 6	工場の労働者が朝、出勤したところ、運送会社所属の被災者が、フォークリフトの前面パネルに立ち上がり、マストと運転席の屋根の間に胸部を挟まれて死亡しているのを発見したものの。荷（グラスファイバー、1 袋 15 kg）の位置を調整しようとして前面パネルに立ち上がった際、足がチル	222	7	50 ～ 99

			トレバーに触れて挟まれたものとみられる。			
2010	7	5 ～ 6	被災者の運転する冷蔵冷凍車（最大積載量2100kg）が、パーキングエリアに進入しようとして減速した大型トラックに追突したものの。	221	17	10 ～ 29
2010	7	15 ～ 16	被災者はパンクしたダンプトラック（10t）のフロントタイヤ（外径1010mm、幅255mm）の修理のため、車庫内で人力でタイヤレバーにより鋼製のホイールにタイヤを組み込み、コンプレッサーにより空気を充填していたところ、ドーンという音とともに空気がタイヤとホイールの隙間から漏れて、タイヤとホイールが真上に飛び上がり、被災者の顔面と頭部を直撃し、6.9m上の天井に当たり落下したものの。なお、タイヤは破裂していなかった。	529	4	10 ～ 29
2010	7	0 ～ 1	積荷を積載し事業場へ運ぶため、高速自動車道を走行中、居眠り又はわき見運転のため、前方を走行していたトラック（10t）に追突し、被災者は追突した衝撃で車外へ投げ出され死亡した。	221	17	1～ 9
2010	7	9 ～ 10	2tトラックに積んであった検査機器を、当該機器を設置する工場付近に降ろす作業を行うため、工場敷地内の道路上にトラックを停車させ、3人の作業者がそれぞれの作業を行っていたところ、トラックの後部あおりを地上で外していた被災者に、トラック荷台に積んであった検査機器（縦53cm、横74cm、高さ173cm、重量約120kg、キャスター付き）が落下し、下敷きとなり死亡した。	612	4	10 ～ 29
2010	7	2 ～ 3	被災者は、トレーラーで国道を走行中、パーキングで休憩しようとしていた際、幅員減少を示す工事用ガードレールが設置されていることに気づかず直進したため、工事用ガードレールに激突した。その衝撃により、シートベルトを着用していなかったため運転席から車外に体を投げ出され、死亡したものの。事故当時は1時間に5.5mmの雨が降っていた。	221	17	10 ～ 29
2010	7	22 ～	ホテルで開催された2泊3日の会社主催の研修会に出席していた被災者が、2日目の研修終了後、宿泊ホテルの自室で坐って休んでいたところ、休みはじめて10分程経ったところで急に左後方に倒れ意識不明となっ	999	90	30 ～

		23	た。その後医療機関に搬送され、2週間後に脳内疾病により死亡した。過重労働とみられる。			49
2010	7	22 ～ 23	被災者は九州から首都圏へ雑貨を搬送中、高速道路の路肩に停車中に、後続して来たトラックに追突され、全身を強く打ち死亡した。被災者は事故当時、車外にいたとみられている。	221	17	10 ～ 29
2010	7	10 ～ 11	被災者は、配送先事業場のトラックヤードにおいて手降ろしで荷降ろし作業を行っていたが、荷降ろし作業終了後、被災者が他社の車両に乗り込んだ。その車両の運転手が被災者を確認したところ意識がない状態であったため、配送先事業場従業員を通じて救急通報を行った。被災者は病院に救急搬送されるも、熱中症により死亡が確認された。	715	11	10 ～ 29
2010	7	17 ～ 18	被災者は被災当日、雑貨・郵便物等をトラックに積載し、運行事務所を出発した。配送後、次の目的地に向かっていたところ、国道のトンネル内で対向車線にはみ出し、対向してきたマイクロバスと正面衝突し、このマイクロバスに後続のRV車が追突したものの。この事故により被災者とマイクロバスの運転手（自営業）が死亡。マイクロバスの乗客37名およびRV車（家族連れ）2名が負傷したものの。	221	17	300 ～ 499
2010	7	17 ～ 18	被災者は、2tのトラッククレーンのオイル交換を1人で行っていた。荷台には配送用の鉄筋の束が積んであり、被災者が何らかの理由で荷の止めベルトを外したところ、鉄筋の束（重量約700kg）が崩れて下敷きになったものの。	521	4	50 ～ 99
2010	7	3 ～ 4	被災者は積荷を積んだ4tトラックで国道を走行していた。その際、前日の大雨で発生した土砂崩れのため片側交互通行が行われていた。この交通規制で停車していた10tトラックに、4tトラックを運転していた被災者が追突し死亡したものの。	221	17	10 ～ 29
2010	7	15 ～ 16	国道（片側1車線の直線道路）で4tトラックを運転していたが、対向してきた10tダンプと正面衝突し、トラック運転手が搬送先の病院で死亡した。	221	17	10 ～ 29

2010	7	1 ～ 2	被災者が事業場所有のトラックを運転し、事業場から配送先に向かう途中、過重労働によって意識不明となり搬送先の病院にて死亡したもの。	921	90	30 ～ 49
2010	7	23 ～ 24	国道バイパス（片側1車線、追越禁止区間）を走行していた大型トラックが先行する軽乗用車を対向車線へ出て追い越し、走行車線へ戻ろうとしたが、対向してきた大型トレーラーと衝突した。大型トレーラーの連結部分から出火し、大型トレーラーの運転手が焼死した。大型トラックは追い越した軽乗用車とも接触しており、大型トラック運転手が重傷、軽乗用車運転手が軽傷を負った。	221	17	300 ～ 499
2010	7	17 ～ 18	家電量販店から2tトラックに2人が乗り、配達作業を行っていた。夕方、国道を走行中、助手席の労働者が眠っており、運転者も眠気を覚えたため、休憩できる場所を探しながら運転していたところ、道路左脇の交通標識に衝突し、助手席の労働者が死亡したもの。運転者は手を打撲する軽傷であった。現場は直線道路で、天候は晴れであった。	221	17	10 ～ 29
2010	7	0 ～ 1	被災者は、当該事業場所有の大型トラック（最大積載量12.3t）を運転し、配送先の事業場へ向い高速自動車道を走行中、バス停付近に停車中の大型トラックに、被災者が運転していた大型トラックが追突し、胸部打撲により死亡した。	221	17	1～ 9
2010	7	4 ～ 5	大型トレーラーに木のチップを満載し走行中、国道の緩やかなカーブで大型トレーラーが横転し、運転していた被災者が外に投げ出され、全身を強く打ったもの。	221	17	10 ～ 29
2010	7	17 ～ 18	被災者は会社からスクラップを積んだトレーラーを運転し、会社内のスクラップヤードまで運搬した。別の会社の社員がドラグ・ショベルのバケットに替えてリフティングマグネットを装着した移動式クレーンでトレーラーの荷台のスクラップの荷卸し作業中、被災者がいないことに気づき、同僚と探したところ、荷台の中で外傷を負って倒れている被災者を発見したもの。荷卸し作業中の荷台の中に入ったことにより、荷台とリフマグに挟まれたとみられる。	212	7	1～ 9

2010	7	12 ～ 13	重機を積んだトレーラーが事業場の敷地から道路へ出る際、被災者は路上で誘導した。道路上に出たトレーラーが前進した際に荷台に飛び乗ったところ、過って荷台と後輪の隙間に巻き込まれ死亡したもの。	221	7	1～ 9
2010	7	0 ～ 1	国道のバイパスを走行中、対向車両（トラック）がセンターラインを越えて来たため、正面衝突したもの。	221	17	30 ～ 49
2010	7	11 ～ 12	被災者は、鋼管柱8本を8 tトラック（2.9 t積載型移動式クレーン付）に2人で積み込み、移動式クレーンのアウトリガに上がり積み込み状況等を確認していたところ、積んでいた鋼管柱が崩れて落下した。アウトリガに上がっていた被災者も転落し、頭部に落下した鋼管柱が激突し死亡した。	521	4	50 ～ 99
2010	6	15 ～ 16	国道を走行中、片側2車線の道路の前方で反対車線工事規制のため、車線を1車線にして追い越し車線を対向車線としていたが、被災者は車線規制に気づかず（前方不注視とみられる）、車線縮小部に設置されたパイロンと土嚢に激突し、反対車線に飛び出して対向車両と正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2010	6	12 ～ 13	工場において、港より搬入した木材（厚さ28 mm、幅128 mm、長さ6 mの板を縦1.01 m、横1.08 m、長さ6 mにまとめ緊結し、2段に重ねたもの）をフォークリフトにて降ろしていた最中に、下の荷の緊結が全て切れて崩れたため、上の荷が被災者の上に落ち、左胸部を強打し、病院に搬送されたが死亡したもの。	611	5	10 ～ 29
2010	6	8 ～ 9	建設工事現場において、敷鉄板20枚を敷設予定地に運搬するため20 tトレーラーを運転して到着した。立ち入りを規制するために張られたトラロープを外すため、下り傾斜の工事用道路に停車して下車したところ、駐車ブレーキが甘くトレーラーが動き出した。被災者は車を止めようとして運転席ドア付近にしがみついたが振り落とされ、そこにトレーラーに積んであった敷鉄板が落下して下敷きとなった。車止めなどの逸走防止をしていなかった。	221	4	10 ～ 29
			被災者はトラックを運転して事業場を出発した。荷下ろし先である物流セ			

2010	6	7 ～ 8	ンター近くの道路上で停車していたトラックの車内において、意識を失っている被災者が発見され、病院へ救急搬送されたが、過重労働による心臓疾患によって死亡した。発症前1か月間の時間外労働時間数は約158時間。	921	90	30 ～ 49
2010	6	9 ～ 10	ガソリンスタンドでタンクローリーに積載の油を荷卸しするため、タンクローリー上の底弁をあけ、後方のローリーはしごから降りていたところ、足を滑らせ地面に落ち、頭を強打して死亡した。	221	1	30 ～ 49
2010	6	15 ～ 16	セメント会社において、積み込んだ石灰石を計量後、再度積み込み場に戻ってきた被災者は、トラック（最大積載量9.1t）から降車し、トラクター・ショベルの方に向かって歩き始めたとき、停止場所が緩やかな下り勾配となっていたためトラックが動き始め、止めようとして前面を押したが止まらず、約5m逸走し、トラクター・ショベルのタイヤ（直径1.7m）との間に挟まれた。トラックのエンジンは停止、サイドブレーキは掛けられてなく、車輪止めを使用する等の逸走防止もされていなかった。	221	6	100 ～ 299
2010	6	10 ～ 11	被災者は、12tトラックの荷台に台付けワイヤーロープで固定され、運搬されてきた重さ2tのコンクリート製のプレハブ建築資材の架台4基のうち2基のロープ外しの作業に従事していた。その際、架台の1基の支脚の接地部の一部が欠損しており、安定性が低下していたため、架台が被災者の方に倒れてきた。被災者は、荷台から地面に飛び降りたが、架台も荷台から地面まで倒れ、下敷きとなったもの。	611	5	30 ～ 49
2010	5	14 ～ 15	被災者は、4t冷蔵車からボトルコーヒー等の商品が入ったカゴ車（重量約330kg）2台をパワーゲートに載せて、パワーゲートの先端をホームに降ろし、ホーム上に被災者がカゴ車の前方で荷を引っ張って移動中、カゴ車が前方に倒れ、ホームとカゴ車に挟まれ死亡したもの。	611	6	30 ～ 49
2010	5	2 ～ 3	被災者の運転する大型トラックが、国道の交差点で信号待ちをしていた運転手Aのダンプトラックに追突し、被災者は腹部からの出血多量で死亡した。さらに、押し出されたダンプトラックが運転手Bの大型トラックに衝突し、運転手AとBは足に打撲を負った。	221	17	10 ～ 29

2010	5	2 ～ 3	新聞販売店前の道路で2 tトラックから新聞を下ろして運転席に戻る際、道路を直進してきた前方不注意のバイクにはねられた。	231	17	10 ～ 29
2010	5	2 ～ 3	被災者は、中型トラックで自動車専用道路を運行していた。災害発生時、前方で走行していた大型トラックが渋滞のため減速したところへ、被災者の中型トラックが追突し死亡したものの。	221	17	10 ～ 29
2010	5	11 ～ 12	被災者は、4 tトラックにて積荷（キャベツ）を受取り、市場に当該積荷を運送するため国道を走行中、有料道路に入って200mほど反対車線を逆走していたところ、前方から大型トレーラー（33 t）が走行して来たため、左車線にハンドルを切ったが、大型トレーラーも衝突を避けようと被災者側車線にハンドルを切ったため正面衝突したものの。	221	17	1～ 9
2010	5	22 ～ 23	被災者は、高速自動車道を大型トラックに乗り走行中、ジャンクション付近での渋滞の最後尾に追突し、トラック5台及び乗用車2台の計7台がからむ多重衝突事故が発生した。一時自車に閉じこめられた被災者は、医療機関へ搬送されたが死亡した。	221	17	50 ～ 99
2010	5	16 ～ 17	被災者は、荷受先の木材加工工場において、チップサイロからトラックへ木材チップを積み込む作業中、サイロ下部に開口部を設けるため、チップの山を掘り進んでいたところ、チップサイロ内で木材チップに生き埋めになり、窒息死したものの。	522	5	10 ～ 29
2010	5	10 ～ 11	被災者は、トラックで国道を進行していた。緩やかな下り坂の右カーブ手前において、何かを避けるようなタイヤ痕が残っていることから、動物か何か左側から飛び出して来た可能性があり、それを避けるため急ハンドルを切ったとみられ、トラックが横転しカーブ手前のガードレールを押し倒し、旧道へ転落した。	221	17	10 ～ 29
2010	5	13 ～ 14	被災者は、食料品を輸送するため高速道路を走行中、トンネルの入口付近で3 tトラックと乗用車など計8台が絡む追突事故が発生し死亡したものの。	221	17	10 ～ 29

2010	4	4	5	信号交差点が赤になったため、大型タンクローリー車が停車し、その後ろに被災者が運転する2 tトラックが停車したところ、後続の14 tトラックの前方不注視により追突され、衝撃により2 t車が前に押され、前方で停車していた大型タンクローリー車の下にもぐり込むように挟まれ、大量出血などにより搬送先の病院で死亡が確認されたもの。	221	17	30 ～ 49
2010	4	3	4	トラクター（牽引車）をトレーラー（被牽引車）に連結した後、トラクターからトレーラーにエアブレーキ用ホースを接続したところ、同車両が前方に逸走したもの。発見時、同車両は前方の別のトレーラーの側面に斜めに接触した形で停車しており、被災者は同車両の運転席側ステップに足を掛け、開いた同側ドアに挟まれた状態であったことから、被災者は逸走した同車両を止めようとその運転席に乗り込もうとして被災したと推測される。トラクターのサイドブレーキは掛けられておらず、エアホースの接続により圧縮空気が送気されたため、ブレーキが解放されたとみられる。	221	7	10 ～ 29
2010	4	7	8	2 tトラックで新聞販売店へ折り込みチラシの配達を終え、会社へ戻る途中に片側1車線の道路の右カーブにおいて、運転操作を誤り、センターラインを越えて対向車線の大型トラックと正面衝突し、全身を強打して即死したもの。	221	17	30 ～ 49
2010	4	3	4	被災者は、トレーラーにコイル（約16 t）を積載して国道を走行中、交差点付近で中央分離帯に乗り上げて対向車線に入り、道路脇の電柱に激突した。道路構造等、天候、時間帯、運転操作ミスによるとみられる。	221	17	50 ～ 99
2010	4	8	9	タンクローリーで軽油の運搬を終え、帰社するため国道を走行中、ガードレールを突き破り約20 m下の川に転落したもの。	221	17	1～ 9
2010	4	5	6	飼料15 tを積んだトラックで走行していた。緩い左カーブにおいて前車の乗用車が左カーブを曲がり切れず（推定）右側路外の電柱に衝突し電柱が折れた。電柱が倒れたため道路を横断していたワイヤーロープが垂れ下り、後続を走行してきた被災者のトラックの運転席部が衝突し（推定）、対向車線を越えて右側路外に運転席部から転落したもの。乗用車を運転し	221	17	1～ 9

			ていた女性は軽傷。			
2010	4	23 ～ 24	大型トラックが国道を走行中、道路工事のため停車していたトラックの後部に追突し、キャビンがつぶれ圧迫死したものの。脇見運転とみられる。	221	17	10 ～ 29
2010	4	14 ～ 15	被災労働者が運転していた大型トラック（11t）が道路脇の理容店に突っ込んだもの。現場付近は山間部で、下り坂と急カーブが断続的に続いている。スピードの出しすぎによりカーブを曲がり切れなかったとみられる。	221	17	1～ 9
2010	4	18 ～ 19	国道を走行していた大型トラックが対向車線にはみ出し、対向してきた大型トラックと正面衝突したものである。衝突した2台の大型トラックの両運転手がともに死亡した。他に2台の車がはみ出した大型トラックに接触しているが、これら車の運転手等にけが人は無かった。	221	17	10 ～ 29
2010	4	18 ～ 19	被災者は、大型トラックを運転して、長距離輸送のため国道を走行中、対向車（大型トラック）がセンターラインをはみ出し、別の大型トラック及び乗用車と接触した後、被災者が運転する大型トラックと正面衝突したものの。対向車の大型トラック運転者も死亡した。接触した別の大型トラック及び乗用車の運転者にケガはなかった。	221	17	10 ～ 29
2010	3	22 ～ 23	タンクローリーを運転中、高速道路において工事渋滞していた車列の最後尾の大型トラックに追突し、大型トラックの後部とタンクローリーのタンクの間で運転席内で挟まれ、胸を強く打って死亡した。	221	17	50 ～ 99
2010	3	4 ～ 5	トレーラーダンプにて石炭を運ぶため国道を走行中、緩やかな下り坂にて路面凍結によりスリップしたためトレーラーが横転した。その際、運転者が路上に投げ出され、病院へ搬送されたが死亡した。	221	17	100 ～ 299
2010	3	0 ～ 1	事故前日の夜に物流センターを出発し、高速道路を4t冷蔵車で走行していたところ、前方のトンネル内で発生した軽自動車による横転事故のため、停車・渋滞状態となっていたことに気付くのが遅れ、最後尾の10tトラックに追突した。救出後病院に搬送されたが死亡した。	221	17	100 ～ 299

2010	3	12 ～ 13	トレーラーのトラクター（牽引車）とシャーシ（被牽引車）の接続作業のために、トラクターの上に乗る作業を行っていた。接続作業を行うため駐車していた駐車場がゆるやかな下り勾配であったため、トラクターが動きはじめた。被災者は慌ててトラクター部分から飛び降り、運転席に乗り込もうとしたところ、隣に駐車していたトレーラーと接続作業を行っていたトラクターに体を挟まれ死亡した。トラクターのサイドブレーキが引かれていなく、シャーシのブレーキは接続作業を行うために解除された状態だった。	221	7	10 ～ 29
2010	3	17 ～ 18	運送会社の支店内において、被災者は人力によりトラックへの荷の積み込み作業を行っていたところ突然倒れ、救急車で病院に搬送されたものの、約1時間半後に心臓の疾病により死亡が確認された。なお、被災者の発症前1ヶ月間の時間外労働時間は100時間超であり、業務による過重負荷が認められた。	921	90	10 ～ 29
2010	3	13 ～ 14	国道を10tトラックで走行中、交差点において信号待ちの為に停車していた大型ダンプトラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2010	3	12 ～ 13	積載型移動式クレーンに鉄筋材料を積み込む作業で、材料を積み込むために使用する橋形クレーンの走行上に当該移動式クレーンのジブが掛かるためジブを旋回させたところ、ジブがすでに積み込み固定する前の長さ9.9mの鉄筋の束接触し、鉄筋が被災者の上に落下したもの。	212	4	10 ～ 29
2010	3	2 ～ 3	荷積み後、配送のため高速道路を走行中、サービスエリアから合流部付近の緩やかな左カーブで後方から大型トラックに追突され、追突のはずみで、路肩に止まっていた大型トラックに衝突した。	221	17	100 ～ 299
2010	3	9 ～ 10	11tタンクローリーでコンクリート原料を輸送中、運転操作を誤り、道路左側の電柱に激突し、全身を強く打ち間もなく死亡した。	221	17	100 ～ 299
2010	3	6 ～	3tトラックで国道を走行中、反対車線から10tトラックが車線をはみ	221	17	100 ～

		7	出して進入してきたため正面衝突したものの。双方の運転手が死亡した。			299
2010	3	6 ～ 7	大型トラックを運転して、会社のある愛知県に帰る途中、センターラインをはみ出し、対向してきた3 tトラックと正面衝突し、2名とも死亡した。	221	17	1～ 9
2010	3	19 ～ 20	同僚が会社の寮において、意識がなく仰向けで倒れている被災者を発見した。過重労働により脳内疾病を発症し死亡したものの。	921	90	300 ～ 499
2010	2	11 ～ 12	1年半前営業所長として、乗務員の運行管理業務等を行っていたが、出張中に心臓疾患を発症し2日後に死亡したものの。	921	90	10 ～ 29
2010	2	17 ～ 18	構内において、トラックの荷台からケーブルドラム2個（1個当たり；重さ約840kg、直径1.1m）を同時に荷降ろしする際、運転者がフォークリフトを用いて荷を揚げたところ、フォークの爪に載り切れなかった奥側のケーブルドラムが落下しそうになったため、荷台の反対側でラッシングベルトを外していた被災者（トラック運転手）が、咄嗟に手で支えようとしたが、支えきれずケーブルドラムの下敷きとなり即死したものの。	611	4	30 ～ 49
2010	2	5 ～ 6	国道にて、被災者は15 t車を運転し緩やかな左カーブに差し掛かった際、運転を誤ってセンターラインをはみ出した。その時、ブレーキをかけたが間に合わず、対向車の大型トラックと正面衝突した。搬送先の病院で死亡した。	221	17	10 ～ 29
2010	2	5 ～ 6	被災者が、郵便物の長距離輸送のため4 tトラックで高速道路を走行中、接触事故で停車していた大型車に追突し即死した。同乗者はいなかった。	221	17	100 ～ 299
2010	2	12 ～	配送先の牧場敷地内において、トレーラー上のコンテナから梱包された干し草を降ろすため、コンテナの前に金属製の作業台を設置し、そこに金属製の道板（約5m）を2本取り付けて、フォークリフトを運転して、当該	222	1	30 ～

		13	道板を登っていたところ、道板が外れてフォークリフトが転落し、被災者がその下敷きとなった。			49
2010	2	9 ～ 10	4 tトラックの運転手が配送の途中で傾斜のある道路路側帯にトラックを停車し、荷台の後部扉を開けて積荷の確認をしていたところ、駐車ブレーキの引き方が緩く、トラックが後退したので荷台から飛び降り、トラックの下敷きとなった。	221	7	50 ～ 99
2010	2	19 ～ 20	道路に被災者が仰向けの状態で倒れているところを、近隣住民により発見されたもの。被災者はトラック（12 t箱型）を運転し、事業場の敷地から道路に出たところ、タイヤがスリップしたため、タイヤチェーンを置き運転席に戻る途中、足を滑らせて転倒した際に、頭部を強打したとみられる。	719	2	1～ 9
2010	2	5 ～ 6	中型貨物自動車が路面の凍結により中央分離帯を乗り越え、対向車線の電柱に衝突した。	221	17	50 ～ 99
2010	2	2 ～ 3	2 t車を運転して荷卸先に向かう途中の市道上で、過重労働による心臓疾患を発症し死亡したものの。	921	90	100 ～ 299
2010	2	16 ～ 17	被災者の運転するトラック（15 t）が降雪のため滑り、被災者は避難のため運転席から飛び降りたが、自車は対向車線からセンターラインをはみ出してきたトラック（15 t）に激突した。その衝撃で、付近でタイヤチェーンを装着するために停車していたトラックと自車との間に挟まれたもの。	221	17	10 ～ 29
2010	2	2 ～ 3	被災者は、3 tトラック（冷蔵冷凍車）にて、配送先に荷物を届けた後に、事務所兼車庫に空車で戻る途中に、国道立体交差点の橋を下ったところで、雪等で凍結していたことからスリップして、中央分離帯を越えて対向車線に進入し、対向してきた大型10 tトラックの側面に衝突したものの。	221	17	30 ～ 49
			朝の清掃を玄関外の階段上（高さ70 cm）に脚立を設置し、玄関上部の			

2010	1	8 ～ 9	小窓を脚立の下から2段目に乗り実施していたところ、脚立とともに階段より地面に墜落して頭部を強打したものと推定される。搬送先の病院で2日後に死亡した。	371	1	50 ～ 99
2010	1	5 ～ 6	事業場から納品先へ輸送の途中、片側2車線の道路の左車線に大型トラックを止めてコンビニに立寄ったのち、運転席に上がるためのはしごを昇降中、横を通過した車両にはねられ、頭部骨折により死亡した。	231	17	10 ～ 29
2010	1	4 ～ 5	荷の運送のため高速自動車道を走行していた4tトラックが、前方不注意により渋滞の最後尾の大型トラックに追突し、4tトラックを運転していた労働者が内蔵圧迫により死亡したものの、4tトラックに追突された大型トラックの運転手は、首に軽傷。	221	17	50 ～ 99
2010	1	6 ～ 7	被災者はフォークリフトによりトラックシャーシから荷卸し中、他の労働者がトラックシャーシを別の場所に移動すべくトラクタヘッドにより牽引して前進させた為、プラットホームとトラックシャーシの間の敷鉄板ごと130cm下の地面に落下し、フォークリフトの下敷きとなり胸部圧迫により死亡したものの。	221	1	10 ～ 29
2010	1	21 ～ 22	被災者が4tトラックを運転し、高速道路を走行中、前方不注意により路肩と第1車線にまたがって停車中していた10tダンプトラックに追突したものの。被害者は病院に搬送されたものの死亡した。	221	17	10 ～ 29
2010	1	20 ～ 21	大型トラックを運転し、青森県から東京都内へ荷の運送を行った後、帰りの便として東京都内で荷を積み込んで戻る際、高速道路において、前方不注意により前を走行していた大型トラックに追突し、死亡した。	221	17	50 ～ 99
2010	1	12 ～ 13	配送先の敷地内で4tトラックの後部扉を開けて1人で荷下ろしの準備を行っていたところ、トラックの荷台から墜落し後頭部を強打した。病院に運ばれ治療中であつたが、約1週間後に死亡したものの。災害発生時ヘルメットは着用していなかった。	221	1	1～ 9
		6	被災者は工場へ荷を取りに行くため、国道を2tトラックで走行中、中央分離帯の段差を乗り越え、対向車線を走っていた大型トラックと正面衝突			10

2010	1	7	し、頭などを強く打ち死亡した。警察によれば、現場は緩やかなカーブであり、被災者が運転を誤ったと推測される。なお、相手方の大型トラック運転手も足に軽傷を負った。	221	17	7	29
2010	1	7 8	被災者はトレーラーで配送先に到着し、バックで敷地に入ろうとしたところ、入口の門柱に接触してしまった。そのため、トレーラーの向きを変えて2度目のバック進入をしていたところ、急性疾患を発症して車内で意識を失い、死亡した。	921	90	1	9
2010	1	6 7	長距離ドライバーとして事業場に勤務していた被災者はトレーラーを運転し、荷届けを終えて同社の営業所にトレーラーを置き、同営業所近くの自宅で仮眠をとるため深夜に帰宅した。帰宅後の食事中、過重労働による心疾患によって体調不良を訴えたため、病院に搬送したが、搬送先の病院で死亡したものの。	921	90	100	299
2010	1	12 13	最大積載量3500kgのトラック荷台に建築資材を積み終え出発のための準備作業をしていた労働者が、トラック荷台（地面からあおり上部までの高さ約1.5m）から転落した。頭部を強く打ち、搬送先の病院で死亡した。	221	1	1	9
2010	1	4 5	大型トラックで左カーブを走行中、中央分離帯を乗越え対向車線に進入したため、対向車線を走行してきた大型ダンプと乗用車に接触後、衝撃で車外に転落し全身を強く打ち死亡したものの。	221	17	10	29
2010	1	9 10	トレーラーの荷台に鉄骨加工品（ビルの柱、1本500kg）を19本載せ、内5本を被災者を含む2名でワイヤーロープにて束ねていたところ崩壊し、荷台から5本とも落下した。被災者は鉄骨加工品が落下する前に自ら飛び降りたが逃げ切れず、トレーラー横に仮置きされた鉄骨加工品と落下した鉄骨加工品の間で頭部を挟まれ死亡した。	521	5	10	29
2009	6	14 15	20tフルトレーラー（前方と後方にトレーラーが付いているタイプ）に飼料を積む作業中、被災者が後方のトレーラーにシートをかける際、約3.1mの高さから地面に墜落した。	221	1	100	299
			製材所にて、被災者は木材チップをトラックの荷台に積み込むためサイロ				

2009	2	8 ～ 9	内で作業を行っていたが、同製材所の作業者が作業時間の長さを不審に思い状況を見に行ったところ、サイロ内で木材チップの上につ伏せの状態 で倒れていた被災者を発見し、搬送先の病院で死亡した。	529	90	10 ～ 29
2009	4	2 ～ 3	事業所路上にて停車中の業務用大型貨物自動車内で死亡しているのが発見 された。前日の午前2時30分頃に市場での荷下ろしを終了し休憩中であっ た。	921	90	50 ～ 99
2009	8	3 ～ 4	ペットボトル容器を運搬するため、被災者が大型トラックを運転して高速 道路を走行していたところ、追い越し車線でパンクのため緊急停車してい た4tトラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2009	7	4 ～ 5	被災者が国道を走行中、対向車線にはみ出し、対向車線を走行してきた大 型トラックと正面衝突した。	221	17	100 ～ 299
2009	6	16 ～ 17	トラック（4t積）を運転して高速道路を走行中、登り勾配のトンネル内に おいて、オーバーヒートのため本線上に停車していたトラックに追突し た。	221	17	100 ～ 299
2009	6	23 ～ 24	建材を搬送するため、被災者は大型トラック（積載荷重：13t）を運転し、 高速道路を走行中に前方の大型トラックに追突し、はずみで右車線の乗用 車に接触した。被災者は全身を強く打って死亡、他の運転手は軽傷を負っ た。	221	17	10 ～ 29
2009	4	6 ～ 7	被災者運転の10tトラックが、国道において、前を走行していた4tトラック を追い越そうと反対車線にはみ出しところ、対向してきた10tトラックと正 面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2009	9	20 ～ 21	トラックで片側一車線の国道を走行中、緩やかな左カーブの下り坂でカー ブを曲がりきれず右側のコンクリート壁に衝突し、トラックが横転した。	221	17	1～ 9
2009	3	13 ～	出先の工場内において、被災者が飼料積込用トラックのデッキ上部（地上 高さ3.1m）で飼料の積込み作業中、トラックのデッキ上部から墜落した。	221	1	10 ～

		14	なお、被災者は作業時、ヘルメット（飛来防止用）を着用していた。			29
2009	1	6 7	災害当日、被災者が20tトラックで荷物を運送途中、被災者から会社へ道路（幅約2.5m）上でトラックの後輪が脱輪した旨の電話連絡があった。2時間20分後、トラックが脱輪した道路上を散歩していた者が脱輪箇所から約600m上流の道路の下方約6mにある川に転落していた被災者を発見した。その後、被災者は医療センターへ搬送されたが、被災当日死亡した。	711	1	30 ~ 49
2009	10	8 9	トラックで、φ700mm、重さ約1.2tの鋼管9本を3本ずつ3段で固定して荷受先に搬送後、荷受先の用意した移動式クレーンを使用し、同僚と2人で荷降ろし中、3段目の3本の内2本まで降ろした時に残り1本が転がり落ち、下で作業していた被災者に落下した。	521	4	30 ~ 49
2009	6	16 17	被災者は、顧客から連絡を受けて営業所から客先へ荷を受け取りに行く途中、国道を走行していたところ、センターラインをオーバーしたため、対向してきたトラックと正面衝突した。	221	17	1~ 9
2009	6	16 17	事業場内車両整備場で点検作業中に倒れていたのを発見された。その後、死亡した。	911	90	10 ~ 29
2009	1	5 6	工場側道で構内にいた他の作業者が運転席後部路上に倒れている被災者を発見し病院に搬送したが、翌日死亡した。	221	1	30 ~ 49
2009	12	22 23	高速道路を4tトラックで走行中、ガードレールに接触し、その後、トンネル入口のコンクリート壁に衝突して死亡した。	221	17	1~ 9
2009	10	10 11	スクラップを溶かした後の鉄にならない鋼滓（ノロ）17.8tを入れた鍋を処理場に運搬するため、ノロ台車からノロダンプに載せかえ、運搬しようとして約20m移動させたところで、ノロが爆発し、飛び散ったノロが敷地内で待機していたタンクローリー等に飛散し、タンクローリーの運転席が炎上し、タンクローリーに乗っていた被災者が死亡した。	521	14	30 ~ 49

2009	8	13 ~ 14	最大荷重3.5tのフォークリフトを運転し、フレコンバッグに入れたゴミを搬送した被災者が、構内の道路上（道幅約6m、傾斜約6度）で方向転換のためにバックしたところ、フォークリフトの右側後輪が路肩に乗り上げるとともに、カウンターウエイトが路肩にぶつかってフォークリフトが転倒し、運転席から放り出された被災者はヘッドガード部分の下敷きとなった。	222	2	1~ 9
2009	11	13 ~ 14	被災者と事業主の2人でトラックにチップ材を積み込む作業を行っていたところ、被災者がトラックの荷台上（地上からの高さ357cm）で積み込んだチップ材の上にネットをかける作業中、荷台上から地上に墜落した。ヘルメットを着用しており、ヘルメットに墜落の際に付いたと思われる跡がある。	221	1	1~ 9
2009	6	7 ~ 8	被災者は事業場所有の普通トラックを一人で運転し、国道を走行していたところ、被災者運転の普通トラックがセンターラインを越え、対向車線を走行していた乗用車に接触、続いて乗用車の後ろを走行していた大型トラックと衝突した。	221	17	50 ~ 99
2009	2	8 ~ 9	岸壁に設置した360t移動式クレーンを用いて、船倉内から変圧器一式のうち、下部タンクを荷揚げしたところ、荷ずれ防止用角材2本が一緒につり上がった。その内、1本が外れたところで下部タンクが反時計に回転し、介錯ロープを持っていた被災者が回転した下部タンクと船倉内の他の荷との間にはさまれた。	612	6	100 ~ 299
2009	12	0 ~ 1	高速道路で3車線を1車線に規制して夜間工事を行っている場所で、被災者の運転する4tトラックが前を走行中の10tトラックに追突した。追突されたトラック運転手は10日間の休業見込み。	221	17	10 ~ 29
2009	1	11 ~ 12	被災者はトラックの荷台に積まれた木材がくずれないように、木材の上に乗りラッシングベルトを締める作業を行っていた。その際に、木材の上から墜落した。災害発生時、被災者はヘルメットを着用しておらず、木材の上に乗るために靴を脱いでいた。トラックは最大積載荷重12400kgで地面から積荷の上までの高さは3.095mであった。	611	1	10 ~ 29

2009	12	21 ～ 22	被災者は、荷物の配送途中、二車線のうち工事規制により、右側一車線通行となり、渋滞となっていた同社のトラックに追突し被災した。	221	17	30 ～ 49
2009	12	5 ～ 6	被災者は、荷物の配送途中、国道上でトンネル工事（片側一車線交互通行規制）により通行待ちのために停車していたトラックに追突し被災した。	221	17	30 ～ 49
2009	11	23 ～ 24	トラックにて高速道路を走行中、工事のため渋滞していた最後尾の車両に追突し、病院に搬送されたが死亡した。	221	17	30 ～ 49
2009	8	22 ～ 23	被災者は、国道の上り車線をトレーラーにて走行中、交差点で前方から走行してきた右折しようとした軽自動車の前部に接触し、横転して同国道に近接していた倉庫に突っ込み炎上して被災した。なお、当該トレーラーが交差点に進入した時、信号は赤で右折の矢印信号が出ていた。	221	17	10 ～ 29
2009	7	20 ～ 21	道路上にて被災者が運転していた中型貨物自動車は停車中の他の中型貨物自動車に追突した。	221	17	50 ～ 99
2009	7	8 ～ 9	被災者が当該事業場に配送されたトラックの荷台の留め具を外したところ、あおりにもたれかかっていた荷物（紙ロール270kg）が落下した。この荷物が被災者の身体に当たり、被災者はそのまま仰向けに倒れこみ被災した。	611	4	10 ～ 29
2009	5	2 ～ 3	被災者が取引先へ行くために国道をトラックで走行していたところ、前方を走る大型トラックに追突して死亡した。	221	17	10 ～ 29
2009	4	9 ～ 10	被災者は、ボディー工場構内を歩行中、構内で空のパレットを搬送していたフォークリフトに激突された。	222	6	300 ～ 499
		5	被災者Aの運転するトラックが国道上り線を走行中、中央分離帯を乗り越			10

2009	3	6	え、下り線を走行していた被災者Bの運転するトラック（11t）と正面衝突し、両人とも死亡した。	221	17	～ 29
2009	1	11 ～ 12	高速道にてトラックを運転中、ジャンクション手前で渋滞している車群に追突した。	221	17	～ 100 ～ 299
2009	3	4 ～ 5	高速道において、荷物を運搬するため高速道路を走行中、前方を走行する乗用車がガードレールに激突して本線に停止したため、後方を走行していたトラックがそれを避けるために停止したところへ被災者の運転していたトラックが追突した。被災者は、病院へ搬送中死亡した。	221	17	～ 50 ～ 99
2009	12	6 ～ 7	ドラッグストアにテールゲートリフター付き3tトラックにて配送のため向かっていたところ、バイパス下り線にてテールゲートリフターが格納されていないことに気付き、車両を路肩に停車させ、テールゲートリフターを格納して高速道に降りたところ、後続の10tトラックに追突され、車両ともどもはね飛ばされ被災した。	221	17	～ 10 ～ 29
2009	5	2 ～ 3	依頼を受けた建築部材を建設現場に会社トラック（4t）で運送中、右前輪がパンクしたため路肩に停車した。被災者は、タイヤ修理のため三角表示板を車後方に設置の上、車体右側の工具箱を開けて作業を始めたところ、大型トラックが三角表示板をはね飛ばした上、被災者のトラック後方右側に接触し、被災者を左後輪に巻き込んだ。	221	17	～ 10 ～ 29
2009	1	18 ～ 19	被災者は、他の作業員2人と客先での運送品納入場所等確認作業を終え、乗用車に他の2人を乗せて事業場に向け運転していた。途中で交通渋滞に巻き込まれていたため、用を足そうと、同乗者と運転を代わり、車から降りて車道欄干を越え歩道側に飛び移ろうとしたところ約11m下の川に墜落した。	418	10	～ 100 ～ 299
2009	12	13 ～ 14	生コンプラント内に設置された貯水タンク（高さ12m強、直径3m弱、下部がホッパー状）内にたまった生コンのノロを除去しようと、貯水タンク内に作業員2人が入ったところ、内1人がノロ上で硬化していない部分に足を取られ、転倒、そのままノロの中に沈んだ。約3時間後に救出されたが、死	529	1	～ 10 ～ 29

			亡が確認された。			
2009	12	22 ～ 23	大型トレーラーに大型保冷車が衝突、車両を停車させて道路上で両運転手が話をしていたところ、停車していた大型保冷車に中型トラック（3.5t）が衝突し、中型トラックの運転手が死亡した。	221	17	50 ～ 99
2009	12	10 ～ 11	被災者は、車を積んだキャリアカーを運転して片側一車線道路を走行中、対向車線を走行していた軽自動車（非作業員・死亡）がセンターラインをはみ出してきたため、これと衝突した。衝突後、キャリアカーは路肩の傾斜地を約55m走行し、横転し停止した。	231	17	1～ 9
2009	11	10 ～ 11	新築工事の建築材料の運搬の委託を受け、被災者がトラッククレーンにて運搬して来た。他の移動式クレーンにて積み荷を下ろす作業に取りかかろうとした時、トラッククレーンが動き出し、止めようとした被災者がトラッククレーンと壁にはさまれた。	212	7	1～ 9
2009	11	10 ～ 11	被災者は、一般木材住宅建築工事現場にトラックで石膏ボード約60枚を搬送した。現場では移動式クレーンの運転士が石膏ボードを公道上に仮置きされていた木材の上に荷下ろし仮置きした。その後、被災者が当該石膏ボードを上から1枚ずつ手で下ろして移動させていたところ、3枚目で石膏ボードが崩れて下敷きとなった。	529	5	30 ～ 49
2009	9	2 ～ 3	鉄筋輸送中、国道にて乗用車がコンビニ駐車場内へゆっくり左折をしていたので、トラックが減速し、徐行をしているところへ被災者の運転するトレーラーが前方のトラックにノーブレーキにて追突した。追突した衝撃で、トレーラーの積み荷（鋼材）が前に飛び出し、この積み荷にはさまれた。	221	17	10 ～ 29
2009	8	8 ～ 9	新築家屋の建築材料の石膏ボード（約900×1800×10、1枚約10kg）をトラックの荷台から手作業で荷下ろし中、荷台から滑り落ちたボードが被災者に当たって後方へ転倒した。	529	4	10 ～ 29
2009	6	13 ～ 14	午前中の配送業務を終え、午後の配達物を受け取るため取引先へ立ち寄った際、同事務所の階段で転落した。	413	1	1～ 9

2009	5	5 ～ 6	納品先で気分が悪くなり座って休んでいたが、自社の乗務員が救急車を呼び、病院に搬送された。翌日死亡した。	921	90	100 ～ 299
2009	4	4 ～ 5	国道の交差点において、被災者の運転するトラックが信号待ちをしていたトラックに追突し死亡した。	221	17	10 ～ 29
2009	3	15 ～ 16	電柱運搬車に6本のコンクリート製の電柱を被災場所に運搬し、荷台から順次電柱を降ろす作業を行っていたが、3本目の電柱（長さ8.35m、直径18～30cm）の荷降ろし作業中、電柱の北側が荷台の端から飛来し、既に荷降ろしてあった電柱をバールで動かす作業をしていた被災者に当たり被災した。	229	4	10 ～ 29
2009	3	10 ～ 11	倉庫において、タイヤの原料となる粉状のカーボンブラックの入ったフレコンバック（高さ1.5m、直径1m、重さ600kg）の搬入作業中、2段積みしたフレコンバックの上段が崩れ落ち、同フレコンバックの下敷きになった。	611	4	50 ～ 99
2009	1	12 ～ 13	被災者の運転する大型貨物自動車片側二車線道路の第2車線を走行中、第1車線を走行していた貨物自動車が左方向から被災者車両側へ幅寄せしてきたため、接触を避けようと中央分離帯をまたいだ状態で停車し、その後被災者がドアを開けて車外に出ようとしたところ、反対車線を走行してきた乗用車がドアに接触し、ドアと大型貨物自動車ボディとの間にはさまれた。	231	17	100 ～ 299
2009	10	1 ～ 2	被災者は荷を運搬するため、4t車に乗務し国道バイパス上り線を走行していたところ、赤信号で減速した前方の大型トラックに追突し、死亡した。	221	17	10 ～ 29
2009	9	3 ～ 4	4tトラックにて国道バイパス上り線を走行中、相手方対向車（3tトラック）がセンターラインをはみ出して走行してきたため正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
			コンビニ店配送センターから8コンビニ店への配送業務を終了し、同配送セ			

2009	9	3 ～ 4	センターに帰路途中、国道バイパス下り線を走行中、3tトラックを運転していた被災者がセンターラインをはみ出し、上り線を約280m程逆走し、その時上り線を走行してきた対向車の4tトラックと正面衝突した。	221	17	50 ～ 99
2009	7	3 ～ 4	被災者はパン配送のため3tトラックを運転中、後続車の12tトラックに追突された弾みで、前方の信号待ちで停車していた12tトラックに衝突し、搬送先の病院で同日死亡した。	221	17	100 ～ 299
2009	3	5 ～ 6	国道の上り車線を走行していた4tトラックが、中央分離帯を乗り越え、下り車線を走行中の11tタンクローリーと正面衝突し、トラックとタンクローリーのいずれも前部が大破し、運転席にはさまれた両運転手は、搬送先の病院にて死亡が確認された。	221	17	50 ～ 99
2009	12	8 ～ 9	被災者は、トラックを運転して自動車部品を輸送し、台車（自動車部品を積んだ車輪付き台車、約390kg）を降ろそうとウイング貨物トラックの荷台からフォークリフトを使用して一人で作業をしているときに、降ろそうとしていた台車の隣の台車が何らかの原因で地上に落ち、被災者がその台車の下敷きになった。	362	5	10 ～ 29
2009	10	21 ～ 22	営業終了後のホームセンター内にトラック運転者がひとりで、商品（合板25kg×16束、計400kg）を載せた「かご台車」をトラックのリフター（勾配7度）に積み込む作業中に、かご台車がトラック運転者の上に倒れて下敷きになった。	362	5	1～ 9
2009	8	4 ～ 5	会社所有の4tトラックにひよこ16,000羽を積み、2人で出発した。翌早朝に高速道下り線において前を走る大型トラックを追い越そうと追越車線に車線変更したときに、被災者が乗るトラックの助手席側が大型トラックの右後部に激突した。助手席の被災者が死亡した。	221	17	30 ～ 49
2009	2	11 ～ 12	大型トラック（最大積載量14.8t、5tコンテナ2個積、実積載量14.4t）でタマネギを運搬中、片側二車線の左カーブ（制限速度50km/h）において、前方の車両を追い越そうとハンドルを右に切ったところ、車体が右に傾き、運転席側に横転した。被災者はレスキュー隊により救出され、病院に搬送	221	17	100 ～ 299

			されたが死亡、同乗者に怪我はなかった。			
2009	10	9 ～ 10	飼料運搬車のタンクに飼料を投入する作業中、運転していたフォークリフトが横転し、運転席から投げ出され、フォークリフトの下敷きとなった。	222	2	30 ～ 49
2009	9	11 ～ 12	大型タンクローリーが国道交差点に差し掛かった際、信号が赤に変わり、停車しようとした前方の車に気付くのが遅れ、追突を避けようと対向車線にはみ出たところ、対向車線を走行してきた被災者が運転する普通トラックと正面衝突した。被災者は病院に運ばれたが死亡した。	221	17	30 ～ 49
2009	8	10 ～ 11	被災者は、災害発生地まで食品運搬用タンクローリー車を1人で運転し、運送先で食品を下し、午前10時40分頃からタンクローリー容器内の清掃作業を行っていたが、容器内で倒れているのが発見され、死亡が確認された。	999	99	10 ～ 29
2009	1	11 ～ 12	河川敷にある工場敷地内で被災者がフォークリフトを運転して製品をトラック荷台に積み込みし、フォークリフトを工場建屋に収納する際に、フォークリフトに乗車したまま誤って工場敷地から河川敷の公道を横断して路肩から川に転落し、おぼれた。	222	17	10 ～ 29
2009	10	14 ～ 15	砂防堰堤建設工事現場において使用されていた敷鉄板を回収し、リース会社まで運搬するため、現場の作業者がドラグ・ショベルを用いてトラックに積み込む作業を行っていた。敷鉄板を積み重ねるような状態でトラック荷台に載せようとした時、つり上げていた敷鉄板がずれたため、慌ててドラグ・ショベルを操作してつり上げようとしたところ、荷台上で荷外しなどの補助を行っていた被災者に激突した。	142	6	30 ～ 49
2009	2	11 ～ 12	事業場敷地内にある整備工場において、資材置き場として使用している3段積みラックの3段目に整備作業に使用する不凍液などを片付ける作業を行っていた。3段目床の位置までフォークリフトを使用して荷を持ち上げ、移動はしごで3段目の作業床もしくはパレット位置（高さ3.5m）まで登って作業を行っていたところ、地上コンクリート床に墜落した。	391	1	50 ～ 99
		5	国道（片側一車線）で鋼材を運搬中に、対向車線で4t車2台が接触事故を起こしていたため通過困難と判断して停車していたところ、対向車線で停車			50

2009	1	～ 6	していたトラックに後ろから来たトレーラーがスリップして衝突し、その弾みで自車に衝突した。	221	17	～ 99
2009	3	21 ～ 22	鋼材を運送していた大型トラック（13t）が、片側二車線の国道の路上に駐車されていたキャリアカー（ハザードランプ点灯）に追突し、大型トラックの運転手が死亡した。	221	17	～ 49
2009	5	5 ～ 6	長期間にわたる過重な長時間労働による強い心理的負荷により、飛び降り自殺した。	921	90	～ 299
2009	8	1 ～ 2	国道で被災者が運転する8tトラックが、信号待ちで停車していた大型トラックに追突して死亡した。被災者が追突時ブレーキを踏んだ痕跡はなかった。	221	17	～ 29
2009	5	11 ～ 12	トレーラーにコーヒー豆を積んだコンテナを運ぶ途中、国道片側一車線の右カーブを走行中、トレーラーは左側の側壁に衝突し横転。運転士は約10m下の高架下に転落し死亡した。	221	17	1～ 9
2009	5	22 ～ 23	取引先工場へ向かう途中、高速道ジャンクション左カーブで単独自損事故を起こし、身体を強打した。	221	17	～ 49
2009	2	10 ～ 11	被災者は営業所から2tトラックで出発し、配達先で荷降ろしを行った。帰社のため現地を出発し、国道を走行していたところ反対車線にはみ出し、反対車線走行中の軽自動車側面にあたりその後方大型貨物車と正面衝突した。発生時は晴れ（くもり）で路面はドライ。事故現場は緩やかな右カーブ後の直線で緩やかな上り坂。車両は空荷。	221	17	～ 29
2009	1	9 ～ 10	被災者は単独で、貨物自動車荷台上の重さ1.0126tのロール紙を、納入のために転がす等の作業を荷台上で行っていた。被災者は体勢を崩したか、あるいは想定外の外力を受けて荷台から墜落し、墜落した被災者の上に、ロール紙が落下してきて被災した。	611	4	～ 29
			食品加工・販売会社の営業所に荷の受取りに来ていた運転手がトラックの			

2009	9	4 ～ 5	車外にいたところ、納品のために後進で入場して来た別会社のトラックの左側の後輪、続いて前輪にひかれ死亡した。トラックにひかれる際に被災者は通路に横たわった状態であった。	221	18	1～ 9
2009	8	6 ～ 7	路上にて、被災者が運転する4tトラックとタンクローリー車が正面衝突した。	221	17	1～ 9
2009	12	11 ～ 12	被災者はトラックで20時頃所属事業場を出発、22時頃東京・翌日2時頃神奈川に立ち寄り、22時頃熊本を經由して24時頃に鹿児島取引先到着、約30分で荷降ろし・荷積みを終了した。翌翌日帰社のため、8時ごろまでアイドリング可能場所にて仮眠停車後、事業場指定のガソリンスタンドにて給油し、高速道路インターチェンジ入口から上り本線に合流する急カーブでガードレールと接触し横転した。	221	17	50 ～ 99
2009	12	14 ～ 15	片側二車線道路の右車線を配送のため4tトラックで走行中、被災者の運転するトラックが前方のトラックに追突した。その拍子に左側のガードレールに衝突、その後、現場はゆるやかな上り坂であったため、被災者のトラックが後進して事故を知って停車していた車両に衝突した。	221	17	100 ～ 299
2009	10	8 ～ 9	トラックの運転手が荷降ろし先の事業場付近でトラックのウインググループと荷台のアオリとの間に身体をはさまれていた。ウインググループの開閉ボタンは、トラックの車体最後尾にあり、被災者がはさまれていた位置からは操作できず、開閉ボタンを押している間のみウインググループが開閉するものであった。	221	7	1～ 9
2009	9	12 ～ 13	営業所に荷物を配送するために4tトラックを運転していたところ、国道の交差点において、信号待ちをしていたトラックに後ろから追突した。	221	17	10 ～ 29
2009	8	4 ～ 5	配送センターへ荷物を取りに行くために3t車を運転中、片側一車線の道路においてセンターラインをはみ出してしまい、対向車線を走ってきたトラックと正面衝突した。相手は軽傷であった。	221	17	10 ～ 29

2009	6	16 ～ 17	トラックで荷を配達に来た被災者が、荷をトラックから降ろす作業を行っていたところ、トラック荷台の先端部に設けられた荷降ろし用の昇降機から、荷とともに地面に転落し、荷を入れたカゴの下敷きとなった。なお、トラックは最大積載荷重2.4t、荷は瓶入り飲料27箱（1箱50本入り）総重量約400kg、荷を入れたカゴは高さ1.7m、幅84cm、奥行き64cmであった。	221	1	～ 29	10
2009	4	15 ～ 16	引っ越し業務を終え、引っ越し用トラックで高速道路を利用しての帰社途中、前方を走行していた道路公団の作業用トラックに激突した。	221	17	～ 49	30
2009	4	15 ～ 16	引っ越し業務を終え、引っ越し用トラックで高速道路を利用しての帰社途中、前方を走行していた道路公団の作業用トラックに激突した。	221	17	～ 49	30
2009	10	23 ～ 24	国道において大型トラック同士が正面衝突し、双方の運転手が死亡した。現場は片側一車線でJR線等をまたぐ跨線橋上で緩い坂で若干の左カーブとなっているが見通しは良い場所である。下り車線を走行していた運送会社所属のトラックが対向車線にはみだして衝突した。	221	17	～ 29	10
2009	10	5 ～ 6	市内へ中型（4t）トラックで納品に行き、高速道を走行中、前方を走行していた大型トラックの右後部へ追突した。大型トラックを運転していた運転手は軽傷を負った。	221	17	～ 29	10
2009	1	8 ～ 9	被災者は深夜に大型トラック（15t）を運転して出発し、夜明け前に目的地のふ頭に到着した。運転席で意識を失っている被災者を近くにいた他の作業者が朝発見し、救急車で搬送したものの同日死亡が確認された。	921	90	～ 49	30
2009	2	11 ～ 12	被災者は、車庫（トラクターターミナル内）からトラクターだけで出発し、途中、別の車庫でコンテナトレーラー（最大積載荷重24t）を接続し、客先において荷の積込みを行った。車庫に戻るため、首都高速を走行中、JCTの二車線の左カーブにおいて、曲がりきれずに横転して、右側壁に衝突した。	221	17	～ 29	10
2009	4	5 ～	荷物を配送するため4tトラックを運転していた被災者が、前方で信号待ち	221	17	～	100

		6	していた大型ダンプに追突した。			299
2009	2	15 ～ 16	車両運搬用のキャリアカーのエンジンルームタンク内のオイル交換作業をしていた被災者が、何らかの理由で荷台に上がったところ、シリンダーで上下に駆動するデッキが不意に作動し、デッキの間にはさまれた。	221	7	10 ～ 29
2009	1	7 ～ 8	トラックにて荷下し現場に向かう途中、高速道路ICから出たところ、渋滞のため止まっていた前方車に気付かずトラックに追突した。（計4台、7名が絡む玉突き事故）	221	17	10 ～ 29
2009	10	4 ～ 5	交差点で信号待ちのために停止していた10tトラックに、被災者が運転する4tトラックが60km/時の速度で追突した。	221	17	50 ～ 99
2009	9	22 ～ 23	積載量1.34tの大型トラックで荷物を運搬していた際、赤信号で停車していた大型トラックに気付き、ブレーキを掛けたが、間に合わず追突した。その反動で、追突された大型トラックが押し出され、前に停車していた一般乗用車へ追突した。	221	17	10 ～ 29
2009	8	0 ～ 1	13tウイング車に自動車部品を積み、国道（片側二車線）を走行中、左側車線に駐車していた重トレーラーの右側後部に追突、横転し車両が炎上した。現場は、見通しの良い直線道路で駐停車禁止の区域である。	221	17	10 ～ 29
2009	5	13 ～ 14	製材工場で木端の積み込み作業中、荷台上の木端を均すために、トラックに備え付けられたタラップを昇っていたところ、何らかの原因でタラップから墜落した。	221	1	10 ～ 29
2009	11	4 ～ 5	被災者運転の大型トラックが、支店から支店へ戻る途中、前を走行していた大型トラック1台に追突し、前部が大破した。被災者は約2時間後に搬送先で死亡した。発生場所は高速道下り線である。当時は雨が降っており、ブレーキ痕はなかった。被災者の4月の健診に所見なし。	221	17	50 ～ 99
2009	8	2 ～ 3	運送会社の保冷車（3.05t積）が国道を走行中に、対向してきた接客娯楽業所属の作業員（業務中）の運転するワゴン車がセンターラインをはみ出し正面衝突、双方の運転者2人が死亡した。	231	17	10 ～ 29

2009	7	4 ～ 5	石灰23tを積んだトレーラー（最大積載量26t）が、国道を走行中、対向車線を越えて路肩に突っ込み、道路橋脚に激突した。	221	17	10 ～ 29
2009	5	4 ～ 5	運転業務中に心停止となり、交通事故を起こした。	911	90	1～ 9
2009	4	12 ～ 13	客先に荷物を届け、帰社の途中で電柱に激突した。	221	17	10 ～ 29
2009	11	7 ～ 8	事業場敷地内において、被災者は事業場を出発する前に貨物自動車（2tトラック）を事務所の前に止め、運転席から降りて、事務所脇にある自動販売機で缶コーヒーを購入していたところ、傾斜により貨物自動車が動き出したので、貨物自動車の前方に出て止めようとしたが止められず、倒れて地面と車体との間にはさまれた。	221	7	10 ～ 29
2009	11	2 ～ 3	高速道を7tトラックで走行中、右斜め前方の追越車線を走行していた4tトラックが前方の10tトラックに追突し、走行車線を走行していた被災者の7tトラックの直前に横向きで飛び出し激突した。	221	17	10 ～ 29
2009	9	16 ～ 17	建設工事で使用した敷鉄板（1.5m×6.0m×厚さ2cm、重量約1.7t）を積載形トラッククレーン（つり上げ荷重2.93t）で運搬するため、作業者が敷鉄板に玉掛けし、当該クレーンでつり上げ、荷台に載せる作業を行っていた。その補助作業を行っていた被災者が、荷台後部付近の地面に立って敷鉄板を押さえていたところ、敷鉄板の穴から玉掛用具（フック付きワイヤロープ）のフックが外れ、敷鉄板が倒れて下敷きとなった。	372	4	10 ～ 29
2009	12	14 ～ 15	20tトレーラーの荷台に油圧プレス（重量約4.7t、高さ2.3m、長さ2.5m、奥行き1.1m）をホイールクレーンで積み込み、荷台に固定するため、被災者は当該プレスの上端2箇所にワイヤロープを掛けてレバブロックで締め付けていたところ、当該プレスが被災者側に転倒し下敷きとなった。	612	4	30 ～ 49
			当日の午前3時頃、峠下の中継所において、被災者は運ばれてきた各社の新			

2009	11	4 ～ 5	間を2tトラックに積み、3時過ぎに中継所を出発した。事故までに途中4箇所の新聞販売店に新聞を降ろし次の販売店に向かって走行していたところ、事故現場の緩い左カーブで道路脇の約5m下の側溝に転落した。	221	17	50 ～ 99
2009	11	9 ～ 10	被災者は、市内の電柱移設工事現場において、積載形トラッククレーン（つり上げ荷重2.83t）を用い、運搬してきた電柱（長さ15m、重量1.18t、数量5本）の荷降ろし作業中に、同トラックの荷台上において電柱1本を玉掛けしつり上げたところ、クレーンのワイヤーが破断し落下した荷が被災者に激突した。	212	4	10 ～ 29
2009	7	3 ～ 4	被災者は牧場から競馬会関係施設まで競走馬を輸送中に、高速道路下り線で、被災者ら2人が運転する馬運車（大型トラック）が故障したため、路肩に停車し、被災者が車両の前で点検していたところ、大型トラックに追突された。被災者は追突の衝撃で動いた馬運車の下敷きとなった。馬運車に乗車していた同僚1人も負傷した。	221	17	30 ～ 49
2009	4	14 ～ 15	自社車庫の組立て作業において、代表取締役がトラクター・ショベルを運転してバケットを地上から約4.2mの高さにセットした。これに被災者が梁を伝って乗り移り、屋根部材の垂木設置作業を行っていたところ、地上に墜落した。作業にあたり作業床の設置、安全帯の使用等の墜落防止措置は講じられていなかった。	141	1	1～ 9
2009	3	18 ～ 19	被災者は、トラックヤードにおいて、トラックへの壁紙ロール（直径25cm、長さ80cm、重量10kg）の積み込み作業中、トラックの荷台上に積み上げられた荷（地上からの高さ2.2m）の上に乗し、荷受け作業を行っていたところ、直前に被災者後方に積み上げられていた荷が崩れ、この勢いで2.2m下のコンクリート床面上に墜落した。	221	1	30 ～ 49
2008	12	9 ～ 10	荷卸し先で積荷のシート外しを終えた後、荷卸し先の作業者が運転するフォークリフトで荷台前方の積荷（幅66cm、奥行き1m、高さ1.2m、重さ800kg）を降ろしていた。その際、フォークに載せた荷物がバランスを崩して落下して、そばにいた被災者に当たり、被災者はその反動で飛ばされて	222	4	10 ～ 29

			地面（コンクリート上）に激突した。			
2008	12	6 ～ 7	2tトラックで段ボールを運搬するため国道を走行中、交差点で市道からきた軽乗用車と接触し、そのはずみで住宅の塀に激突して死亡した。	221	17	1～ 9
2008	11	3 ～ 4	被災者は、10tトラックを運転して国道を走行中、上下計三車線の見通し良い直線道路で対向車線にはみ出したため、対向車線を走行していた13tトラックに衝突して死亡した。	221	17	～ 49
2008	8	1 ～ 2	13tの大型トラックに取引先からジュース入りペットボトル12tを積み込み、荷卸し地へ向かっている途中、国道の峠で道路左脇の松並木に衝突した。	221	17	1～ 9
2008	5	14 ～ 15	森林組合土場において、トラックに積んできた原木を下ろすために運転手がトラックから降りてロープを外した。その際、1本の丸太が近くに集積してあった原木の上に落下し、はね返って運転手に激突して死亡した。	522	4	1～ 9
2008	2	11 ～ 12	コンビニの駐車場で駐車中の無人トラック（15t）が、後ろ向きに動き始めてコンビニ店舗前にいた被災者をひいた。	221	7	50 ～ 99
2008	7	3 ～ 4	国道でトレーラーが中央線を越えて前方から来たトラックと正面衝突した。更に後ろから被災者が運転するトラックが追突した。衝突されたトラック運転手と追突したトラック運転手（被災者）が身体を強く打ち死亡した。	221	17	30 ～ 49
2008	6	3 ～ 4	自動車道サービスエリアへの進入路において、被災者が運転する大型保冷車（10t）が同進入路右脇に駐車していた大型車3台に相次いで衝突した。被災者は、衝撃で開いた運転席側のドアから車外に投げ出されて身体を打って死亡した。	221	17	30 ～ 49
2008	6	20 ～ 21	軽自動車の後部座席に入れた練炭火鉢により死亡した。	921	90	50 ～ 99

2008	6	21 ～ 22	自動車事故により渋滞中の車両に被災者が運転する大型トラックが追突して死亡した。	221	17	100 ～ 299
2008	6	16 ～ 17	1名がフォークリフトのフォーク部分に乗り、高さ3.6mの位置にある大型冷蔵庫のモーター部分の修理をする作業を3名で行っていた。その際、フォークリフトの右前方に立っていた被災者が運転者の操作ミスにより前進したフォークリフトと大型冷蔵庫の壁との間にはさまり死亡した。	222	7	10 ～ 29
2008	4	12 ～ 13	事業場駐車場において、トラック（最大積載量13.2t）からトラック（最大積載量3.3t）へ、荷の積載されたカーゴ台車（重量約300kg）をトラックのパワーゲートを利用し積み替え作業をしていた。その際カーゴ台車が転倒して台車の積み替え作業を行っていたトラック運転手が下敷きとなった。	611	6	100 ～ 299
2008	10	4 ～ 5	高速道路の片側三車線上で、被災者が12tトラックを運転して左車線を走行中、左車線に車線変更してきたトレーラーに追突して死亡した。	221	17	10 ～ 29
2008	12	4 ～ 5	貨物自動車（4t積）を運転してセメントの配送を行っていた途中、国道上で前方に信号停車していたトレーラートラック（24t積）にブレーキ操作することなく追突した。	221	17	10 ～ 29
2008	6	15 ～ 16	駐車場に仮置きしたタンク（円筒形、直径3.25m、長さ4.7m）の雨養生のため、同僚作業員1名とタンク周囲に設置した足場にブルーシートを掛け渡す作業中に足場から墜落した。足場は鋼製枠を2層に組み立てたもので、1層目の作業床は地上高さ1.84m、2層目の作業床は地上高さ3.53mであり、1層目の妻側及び2層目の全周に手すりの設置はなかった。	411	1	30 ～ 49
2008	5	1 ～ 2	国道走行中の4tトラックが、片側一車線の緩やかなカーブで歩道の縁石に乗り上げて標識板の支柱に激突して運転手が死亡した。	221	17	1～ 9
2008	5	6 ～	荷の配送先倉庫の納品口において、配送先の関係者が始業のために機械警備の解除操作をした。後方で、荷の配送をしてきたトラック運転者の「あっ」という声を聞き、振り返ると、被災者が倉庫のプラットホーム下	999	99	30 ～

		7	で仰向けの状態で倒れていた。病院に搬送した後、死亡した。			49
2008	2	23 ～ 24	被災者は、4tトラックにて荷受けをして所属事業場に向け出発した。緩やかなカーブを過ぎ、国道交差点付近に差し掛かったとき、センターラインを90cm程越えたため、反対車線から走行してきた10tトラックと衝突した。（なお、被災場所は片道一車線の直線道路であった。）	221	17	30 ～ 49
2008	6	17 ～ 18	事業場内の金型置場において、被災者はダブルレール式橋型クレーン（定格荷重15t）を運転して金型運搬作業を行った。作業終了後、元の位置へクレーンを移動させていたところ、被災者がストッパーとクレーンのバッファとの間にはさまれ死亡した。	211	7	50 ～ 99
2008	5	3 ～ 4	大型トラックが交差点を左折して国道に入ってきた際、対向車線にはみ出したため被災者のトラックと衝突して死亡した。	221	17	1～ 9
2008	8	4 ～ 5	自動車道で路肩に停車していたトラックにトラックが追突した。さらに、後続のトラックが追突して追越車線内に停車したところに被災者が運転するトラックが追突して死亡した。	221	17	50 ～ 99
2008	6	12 ～ 13	被災者は、トラックで国道を走行中、交差点付近で信号で停車中の13tトラックに追突して死亡した。	221	17	1～ 9
2008	5	11 ～ 12	被災者は、トラックで自動車道の走行車線を走行中、インターチェンジの加速車線から走行車線へ進入してきた乗用車と衝突し、その反動で中央分離帯と路側帯の防護壁に激突した後、横転した。	221	17	10 ～ 29
2008	12	23 ～ 24	被災者は、当該事業場所有の大型トラック（15t）を運転して荷を配達した後、国道を走行中に対向してきた大型トラックと正面衝突し、それぞれの運転手が死亡した。	221	17	10 ～ 29
2008	3	4 ～ 5	トレーラーで鉄板の移送作業を行うためにトレーラーヘッド（牽引する車両部分）を時速15km/hで運転してセミトレーラーの置場へ向かっていた。その際、構内道路上に置いていたブロック架台に激突して死亡した。	221	3	1～ 9

2008	3	21 ～ 22	被災者は、大型トレーラーを運転して高速道路の上り線ランプウェイの左カーブを走行中、右側ガードレールに激突、横転して死亡した。	221	17	50 ～ 99
2008	2	12 ～ 13	高速道路上り線をトラックで走行中、前方を走行していた鋼材を積んだ大型トレーラーに追突して車体にはさまれ死亡した。	221	17	100 ～ 299
2008	12	14 ～ 15	被災者は、スーパーマーケットへ商品を配送するためにトラックを運転して国道を走行中、中央分離帯に乗り上げて自動車道の橋脚に激突した。	221	17	50 ～ 99
2008	5	12 ～ 13	自社倉庫内において、4tトラックの荷台から8台のキャスター付きコンテナ（1台約400kg）を降ろす作業中、荷台左側の3台のコンテナを降ろした後、被災者が右側の荷台のあおりを下ろした際、コンテナの重みで荷台が右側に傾いていたためにコンテナが荷台から落下して被災者に当たった。	611	4	30 ～ 49
2008	1	12 ～ 13	トラック（最大積載量36t）に荷（建築用部材）を積み、シートをかぶせるため、トラックの荷台（あおり部、高さ1.65m）に上がり作業を行っていたところ、アスファルトの路面に墜落して死亡した。なお、被災場所には被災者から4m離れた場所にヘルメットが転がっていた。	221	1	30 ～ 49
2008	1	16 ～ 17	被災者が荷を運送中、国道上で対向車線からはみ出してきたトラックと正面衝突して全身を強く打ち死亡した。	221	17	10 ～ 29
2008	5	12 ～ 13	被災者は4tトラックで荷物を客先まで運び、その後、頭痛のため薬を飲み、次客先で帰りの荷物を積み込み帰途についた。その後、国道沿いの道のステーション駐車場に駐車していたトラックの運転席で死亡しているところを発見された。	921	90	1～ 9
2008	12	23 ～ 24	被災者が運転の大型トラック（13.5t）と対向車の大型トラックが正面衝突して死亡した。現場は、片側一車線の見通しのよい直線道路である。	221	17	1～ 9

2008	7	9 ～ 10	被災者は大型トレーラーを運転して走行中、信号待ちで停車中の大型ダン プカーに追突して死亡した。	221	17	30 ～ 49
2008	2	10 ～ 11	被災者は荷降ろしのために傾斜地にトラックを停めてトラックの外へ出た ところトラックが動き出した。それを止めようとしてトラックと共に10m の斜面を滑り落ちてトラックの下敷きとなって死亡した。	221	7	10 ～ 29
2008	10	5 ～ 6	被災者が運転していたトラックに、対向車線の大型トラックが中央線を越 えて正面から激突した。	221	17	10 ～ 29
2008	6	7 ～ 8	15tトラックで建築用木材を運搬した運転手が、納入先の事業場の敷地内に おいて、トラックの右横の地面に倒れているのが発見された。保護帽は着 用しておらず、その他、荷台からの墜落を防止する措置も講じられていな かった。	221	1	10 ～ 29
2008	7	13 ～ 14	被災者は、資材置場の敷地外にトラッククレーンを停車させて車外で作業 を行っていたところ、無人の当該トラッククレーンが動き出した。停止さ せるためにトラッククレーンに乗り込もうとした時、車のドアが門柱など に接触して身体がはさまれて死亡した。	212	7	30 ～ 49
2008	3	21 ～ 22	大型トレーラーが工場内に左折するのを誘導するため、棒を振って対向車 の前へ出たところ、それに気付かなかった対向車にはねられた。	231	17	100 ～ 299
2008	9	7 ～ 8	事業場の作業者が天井クレーン（定格荷重25t）を操作して鋼板ロール(約 11t)を専用つり具（トング）でつり上げて荷卸していたところ、荷台上で 次に荷卸しする鋼板ロールのシート外し作業を行っていた被災者が、つり 荷と当該鋼製ロールとの間にはさまれた。	211	7	30 ～ 49
2008	8	2 ～ 3	被災者は、トラックでバイパス(公道)の左カーブの追い越し車線でを歩行 中に中央分離帯に接触して案内標識の支柱と衝突し、車体の左側面を下に 横転した。	221	17	50 ～ 99

2008	11	16 ～ 17	被災者はフォークリフトに乗り、倉庫内の2段目の棚の商品の出し入れを手作業で行おうとした際、フォークリフト上から墜落し死亡した。フォークリフトは最大積載荷重が800kgで、フォークと一緒に運転席も上昇する型であった。	222	1	～ 99	50
2008	8	22 ～ 23	被災者は事業場に戻ってくる途中、国道上で被災者が運転した大型トラックが前の大型トラックに追突して4台が絡む玉突き事故になり死亡した。	221	17	～ 29	10
2008	12	13 ～ 14	コンテナトレーラーに乗務後の被災者らは、事業場内で前輪を架台（高さ約20cm）に乗せた状態のトレーラー牽引車両の下に潜り、エンジンオイルの交換作業を行っていた。このとき、別の作業者が当該車両のエンジンをかけたところ、突然、車両が前進して約11m先に移動した。このため、車両の下で作業していた作業員2名がひかれて1名が死亡した。	221	7	～ 29	10
2008	7	6 ～ 7	納品のために最大積載量2.3tの冷蔵冷凍車（以下、車両という）で水産物及びその加工品を運送中、国道から自動車道に合流する接続道路で右カーブを曲がりきれずにガードレール及び側道の木に激突した。被災者は、車外に投げ出された直後に惰性で走行した車両に激突されて死亡した。	221	17	～ 29	10
2008	4	10 ～ 11	屋根の修理を行うために屋根に登っていた。作業終了後にスレート屋根を踏み抜いて墜落した。	415	1	～ 99	50
2008	11	13 ～ 14	貨物自動車（ダンプトラック）で土砂を工事現場から処理場に運搬する途中、前方に停車していたコンテナトレーラーに追突した。	221	17	～ 29	10
2008	8	2 ～ 3	高速道路サービスエリア入口で仮眠のために停車していた貨物自動車に、被災者が乗務していた貨物自動車を追突した。	221	17	～ 99	50
2008	4	6 ～ 7	高速道路を4tトラックで走行中、後続車両（4t保冷車）が乗用車に追突した後、被災者が運転するトラックの右後部に追突した。トラックは追突された衝撃で横転して被災者が死亡した。	221	17	～ 99	50

2008	4	21 ～ 22	トラックを運転して事業場を出発した後、約10分程の距離にある幹線道路の路肩にトラックを駐車して車内で意識不明となっていたところを通行人に発見されて病院に搬送されたが、死亡した。	921	90	50 ～ 99
2008	3	18 ～ 19	硝子の加工場で天井クレーンを使用して積み込みの作業をした際、積荷を固縛した後、クレーンのワイヤーを外した。天井クレーンが離れた後に固縛の位置変更を行ったが、荷の固定が不十分であったため、積荷が倒れて被災者が下敷きになり死亡した。	611	5	30 ～ 49
2008	2	5 ～ 6	4tの冷凍車を運転し高速道路を走行していたところ、運転席から出火したため車両を路側帯に停車したが、車外に避難できず、シートベルトをしたままの状態に焼死した。	221	16	10 ～ 29
2008	1	16 ～ 17	国道上において、被災者が運転していたトラックと、反対車線から走行してきたトラックが正面衝突して被災者が死亡した。現場は峠の頂上付近で見通しが悪い場所であった。	221	17	1～ 9
2008	10	5 ～ 6	被災者は、4tトラックを運転し自動車道を走行中、道路上で先に発生した車両火災により渋滞していた車列の最後尾の大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9
2008	1	8 ～ 9	建築工事現場において、移動式クレーンの運転者（運送会社の作業員）が、荷台のあおり上に立って玉掛け作業をしていた。現場の二次下請の作業員が、同じ荷台で別の荷を玉掛けしてタワークレーンでつり上げ、地切り作業を行っていたとき、積荷の一部が崩れたので、その荷を避けようとした移動式クレーンの運転者があおりから地面に転落した。さらに、崩れた荷が転落した当該運転者に激突した。	212	1	1～ 9
2008	12	12 ～ 13	自動車道パーキングエリア流入路で車内で休憩していた14tトラックに被災者が運転する10tトラックが衝突し、身体を強く打ち死亡した。	221	17	300 ～ 499
2008	7	12 ～	高速道路で大型トラックを運転中に、登坂車線を走行していた前方の大型トラックに追突し死亡した。	221	17	100 ～

		13				299
2008	11	18 ～ 19	被災者は配送後、荷台の梱包材を廃材置場に下ろし、翌日配達分を積み込んだ後、所定の場所にトラックを停車させた。運転室内のあった梱包材を降ろすため、助手席側から乗車したところ、突然トラックが動き始めた。被災者は降車してトラック右前部を押して止めようとした。この様子を見た同僚も加わり2人で押したが停車せず、トラックに押されまま周辺に駐車中の別のトラック右前部との間にはさまれた。	221	7	10 ～ 29
2008	6	18 ～ 19	トラックへの積荷仕分作業中、突然気分が悪くなりトラックの運転席で横になり休んでいた。1時間程経過しても起きてこないため、工場の作業者が様子を見に行ったところ、呼びかけにも反応がないため、救急車で病院に搬送したが死亡した。	921	90	10 ～ 29
2008	5	16 ～ 17	被災者は、運搬先事業場まで4tトラックにて荷を運送中、カーブを曲がりきれずに中央分離帯に衝突、横転して死亡した。	221	17	10 ～ 29
2008	10	10 ～ 11	被災者は荷（丸棒）を運び帰社するため国道を走行中、追い越しをしたときにスリップしてガードレールにぶつかり運転席から投げ出されて死亡した。	221	17	30 ～ 49
2008	10	6 ～ 7	雨が激しく降っている中、片側二車線の道路でトレーラーを運転走行中、道路にできていた轍にハンドルを取られて反対車線に飛び出したため、対向車線のトラックと接触して運転していた被災者が死亡した。	221	17	50 ～ 99
2008	5	14 ～ 15	被災者が鋼材を積んだ大型トラックを運転して国道を走行中、交差点で信号待ちしていた大型トレーラーに追突した。	221	17	10 ～ 29
2008	1	8 ～ 9	トラックの荷台で荷に掛かっているユニット用シートを取り外そうとしたところ、足を踏み外して転落した。	221	1	30 ～ 49
			出発準備をしていた被災者は、駐車場脇に設置された自動販売機で飲料を			

2008	7	21 ～ 22	購入した。その際、10tトラックのサイドブレーキをかけていなかったため、同トラックが動き出し、それを止めようと同トラックの運転席に乗り込もうとした被災者が、同トラックのドアが電信柱と接触したことにより、同トラックのキャビンとドアの間にはさまれ死亡した。	418	7	～ 29	10
2008	6	9 ～ 10	足場材をトラックに積載して建設現場に到着した被災者は、トラックの足場材を現場の移動式クレーン（70tクローラクレーン）を使用して現場の作業者ととともに荷降ろしする作業に取りかかった。被災者と作業者は、足場板50枚を玉掛して足場板をクレーンで高さ約15mの位置までつり上げたところ、つり上げた足場板が落下し、下にいた被災者と作業者に激突して被災者が死亡した。	372	4	～ 49	30
2008	7	9 ～ 10	高速道路追越車線をトラックで走行中、路肩車線に急に入り200mほど走行したのち、路肩の側壁に車両左前が激突した。	221	17	～ 99	50
2008	5	5 ～ 6	中型トラックにてプラスチック箱を積んで国道を走行中、センターラインをはみ出して反対車線の道路沿いの空き地に駐車していた大型トラックに正面衝突した。	221	17	～ 49	30
2008	6	10 ～ 11	自動車道でトラック4台が絡む玉突き事故で4台のうち最後尾から追突した大型保冷車の運転手が死亡し、3台の運転手3名が休業災害となった。	221	17	～ 49	30
2008	11	11 ～ 12	被災者は一人でトレーラーからドラグ・ショベルを地上に降ろす作業を行っていた。しばらくして、大きな音がしたため土地の所有者らが駆けつけたところ、ドラグ・ショベルが荷台後方の地上で横転しており、被災者がドラグ・ショベルのマストの下敷きになった状態で発見された。	142	1	～ 9	1
2008	5	8 ～ 9	トラックのタイヤの交換を行うため、車庫兼倉庫の2階に上がりタイヤを探していたところ、厚さ9mmのコンパネ4枚で覆われた長さ3m幅1.6mの荷卸口から合板2枚とともに1階に墜落した。高さは5.7mであり車庫に止めてあったトラックに墜落し、その後地面に墜落した。	414	1	～ 49	30
		17					100

2008	8	～ 18	出張先から事業場へ帰るために被災者が運転していた乗用車が、側道との分離帯の縁石に衝突して死亡した。	231	17	～ 299
2008	7	16 ～ 17	訪問先の事業場において、被災者が乗ってきたトラックの荷下ろしを行った後、当該事業場前の駐車場で待機していた同社社員が運転する車両総重量8tの中型トラックを事業場内に入れるため、幅5mの道路上で中型トラックの後方誘導を行った。誘導後、中型トラックがハンドルを左に切りながら前進したところ、車両後方が右側に振れたため車両右後方にいた被災者がトラックと民家のブロック塀の間にはさまれた。	221	17	～ 99
2008	10	22 ～ 23	被災者は、トラックに積んであった木製パレットをフォークリフトで荷台から降ろすため、トラックの左側後方荷台あたりの高さまでフォークを上げた状態でフォークリフトを止めてウイングを開いた。更にバッテリーを下方へ開くため、バッテリーレバーを外したところ、積んであった木製パレットがバッテリーに寄り掛かり、その重みでバッテリーが勢いよく倒れて被災者を強打してバッテリーとフォークの間にはさまれた。	221	6	～ 99
2008	10	23 ～ 24	タンクローリーに重油を積むために国道を走行中、トンネル出口付近の左カーブで対向してきた10tトラックと衝突した。その反動で車外に放り出されて後輪にひかれた。	221	17	～ 29
2008	4	～ 17	16 事業場に戻るために同僚3人とワンボックスカーで国道を走行していた。走行中、運転操作を誤りセンターラインを越えて柱に激突した。運転していた被災者は死亡した。	231	17	～ 29
2008	6	12 ～ 13	被災者は、出荷作業のために無人の荷主倉庫に1人で出張していた。荷主担当者が出荷作業を見るために当該倉庫に赴いたところ、被災者が、倉庫2階の休憩室に通じるエレベータ型昇降設備の搬器と2階通路にはさまれて死亡しているのが発見された。	214	7	～ 99
2008	12	12 ～ 13	被災者は、木材を運送するため25t積トラックを運転して会社構内から出発したが、すぐに会社前の路上に停止して運転席から降りて車両後部へ移動した。その時、後方から走行してきた乗用車がトラックに追突してトラッ	231	17	～ 29

			クの荷台と乗用車の間にはさまれて死亡した。			
2008	3	12 ～ 13	国道を走行中の2人乗務のトラック（積載荷重15t）が誤って側溝に脱輪した。その衝撃で運転席後部ベッドで仮眠していた交替運転手が側壁から突き出たコンクリートブロックに激突した。	221	17	10 ～ 29
2008	2	14 ～ 15	被災者は、タイヤチェーンを装着するため路肩に停車して車体後部の方へ移動していた。被災者のトラック（積載荷重11.9t）を避けようとした後続のトラックが雪でスリップして両方のトラックの間にはさまれて死亡した。	221	17	100 ～ 299
2008	9	14 ～ 15	倉庫内の天井クレーン（定格荷重2t）を使用して家畜用飼料が入っているフレコン（袋状の包材）を粉粒体運搬貨物自動車（バルク車）に積み込む作業中、指定されたフレコン（0.5t）を探すために2段積みフレコンと3段積みフレコンの間のスペースに入って品名を確認していたところ、3段積みフレコンの2段目と3段目が崩れてきたため、これに圧迫されて死亡した。	611	5	50 ～ 99
2008	8	7 ～ 8	帰社するため自動車道をトラック（13t）で走行中に車体が道路左側面のワイヤ及び防音壁に接触し、横転、炎上した。	221	17	10 ～ 29
2008	4	2 ～ 3	国道をトレーラーで走行中、スピードの出し過ぎからカーブを曲がりきれずにガードレールを突き破り30m下の湖に転落して死亡した。	221	17	30 ～ 49
2008	7	15 ～ 16	訪問先の資材・機材置場において、仮設ハウス据付等に使用する敷板を製作するため、携帯式丸のこ盤を用いてコンパネを切断中に身体が接触して死亡した。	131	8	1～ 9
2008	4	6 ～ 7	被災者は、集配センター内において荷の積み込み作業を行っていたところ、突然倒れたため病院へ搬送したが死亡した。	921	90	1～ 9
2008	5	6 ～	40フィートコンテナとトレーラーヘッドの連結作業を一人で行っていた。連結作業が終了し、シャーシの足の収納後、トレーラーが動き出してト	221	6	50 ～

		7	レーラーヘッドとトレーラーの横に置いてあったコンテナシャーシ（40フィートコンテナが積んであるもの）との間にはさまれ死亡した。			99
2008	4	20 ～ 21	得意先から出庫される荷を積むために、14tトラックで入場して予め積んであった緩衝材をいったん降ろす作業を行っていたところ、出庫業務を請け負っている荷物取扱い業者の作業者が運転するフォークリフトに接触、転倒して死亡した。	222	6	10 ～ 29
2008	5	4 ～ 5	20tトレーラーに荷（コピー用紙）を積載して事業場から訪問先へ向かって走行していたところ、車体が側壁に衝突した。被災者は車外に投げ出されて高架道路より約10m下の河川敷まで墜落して死亡した。	221	17	10 ～ 29
2008	4	6 ～ 7	商品納品のため国道をトラックで走行中に交差点を通過しようとした際、左側から自転車が進入してきたため、それを避けようとしてハンドルを切ったところ、中央分離帯、対向車線（2車線）及び対向車線側の歩道を乗り越えて歩道脇の建造物に激突して死亡した。事故当時の車道側の信号は青であった。	221	17	10 ～ 29
2008	4	12 ～ 13	訪問先から帰社するために高速道を走行中、渋滞のため前車が減速したところへ追突した。	221	17	30 ～ 49
2008	10	23 ～ 24	工場に荷物運搬のため国道のトンネルを出たところを4tトラックで走行中、反対車線を走行していたトレーラーが車線をはみ出して、被災者が運転していた4tトラックに正面衝突して死亡した。	221	17	10 ～ 29
2008	2	5 ～ 6	配送センターへ向かう途中の橋を走行中、橋桁を突き破り、橋下の海へ車両ごと落下した。	231	17	10 ～ 29
2008	6	22 ～ 23	被災者は、最大積載量2950kgのトラックで、食料品2.3tを運搬中に道路上で減速中の前方大型車両に追突した。前方車両運転手も軽症を負った。	221	17	50 ～ 99
			工場内でトレーラーへ覆工板を積み込む作業において、被災者がナイロン			

2008	7	14 ～ 15	スリングの荷はずし作業を覆工板上に上って行っていた際、クレーンのオペレーターが被災者の荷はずしを行った手の動きを巻き上げの合図と誤認し、ナイロンスリングが覆工板に引っかかったままの状態でもクレーンを走行させたため、覆工板と共に被災者が落下して覆工板の下敷きとなり死亡した。	211	5	100 ～ 299
2008	6	3 ～ 4	国道上の交差点の信号が赤になったので、前方に停まっていたトラックの後に停めたところ、後ろから来たトラックに追突されて被災者の乗っていたトラックが前方のトラックに追突してはさまれて死亡した。	221	17	100 ～ 299
2008	5	11 ～ 12	被災者は、最大積載荷重が12.9tのウイング付き貨物自動車のウイング左前方のシリンダー付近からの油漏れの点検中にウイングにはさまれて死亡した。	221	7	100 ～ 299
2008	12	10 ～ 11	被災者はフォークリフトを無資格にて運転して冷蔵トラックから空箱を降ろす作業を行っていたところ、フォークリフトとトラックの間にはさまれて死亡した。	222	7	10 ～ 29
2008	10	7 ～ 8	被災者は郵便物をトラックで運送中、運転していたトラックの荷台の荷を確認していたとき、トラックが後退して被災者が当該トラックに巻き込まれて死亡した。	221	7	30 ～ 49
2008	5	12 ～ 13	トレーラーで港内岸壁を走行中に構築物に接触してトレーラーヘッドが自走できない状態になった。このためトレーラーヘッドをレッカーで移動するため被災者は、運転席を整理して降りる際、海に転落して死亡した。	221	1	10 ～ 29
2008	1	5 ～ 6	トラックでの配送業務を終えて自家用車に乗り換えて帰宅途中、被災者がセンターラインオーバーにより対向の普通乗用車と正面衝突して死亡した。なお、対向車の運転手も死亡した。	231	17	1～ 9
2008	11	17 ～ 18	飲料水をトラックに積み自動車道を走行していた。2台前を走行していた乗用車が猪をはねて停止したため、前方を走行していた高速バスが乗用車を避けながら減速して車線変更したところ、後方を走行していた被災者の車両が減速しきれずに高速バスに追突して死亡した。	221	17	10 ～ 29

2008	7	3 ～ 4	<p>国道上で、走行していたトレーラーが対向車線にはみ出して対向車線を走行していた大型トラックと衝突した。更に後続トラックが追突した。本件災害により、2名（トレーラー運転者及び大型トラック運転者）が死亡し、1名（後続トラック運転者）が重傷を負った。</p>	221	17	～ 49	30
2008	3	3 ～ 4	<p>高速道路上でトラックを運転していた際、後方から来た大型トラックに追突されて、その勢いでガードレールを突き破り、トラックごと法面をすべり約6.6m下の側道に転落して死亡した。</p>	221	17	～ 49	30
2008	2	4 ～ 5	<p>駐車中の4tトラックの運転席から被災者が出てこないのと同僚がドアを開けて確認したところ、座席に座ってぐったりしている被災者を発見した。病院へ搬送したが死亡した。</p>	921	90	～ 99	50
2008	4	16 ～ 17	<p>血液センターから献血ルームへ血液の回収に向かうために自動車道を走行中、前方に停車していた大型トレーラーに追突した。</p>	231	17	～ 29	10
2008	10	5 ～ 6	<p>被災者は定期便の2.8tトラックを運転中、国道の赤信号で停車中の20tトレーラーに追突した。</p>	221	17	～ 29	10
2008	1	20 ～ 21	<p>トラックで荷物を運送中、県道の登坂車線にトラックを停車させてタイヤにチェーンを取り付ける作業を行っていたところ、対向車線を走行中のバスがスリップしてトラックとバス間にはさまれた。</p>	231	17	～ 29	10
2008	12	1 ～ 2	<p>被災者は4tトラックで、国道を走行中に、赤信号で停車中のトレーラーの後部に追突した。現場は、直線で平坦な道路である。</p>	221	17	～ 29	10
2008	7	2 ～ 3	<p>空車の大型トレーラーで荷積地へ向かうために事業場を出発した後、休憩をとるために国道上り車線にあるバス専用の停車場所に停車してトレーラーの後方にいたところ、大型トラックが追突した。被災者は大型トラックと大型トレーラーの間にはさまれた。</p>	221	17	～ 299	100
		2	<p>10t大型トラックで雑貨品を輸送中に前方を走行するトラックに追突して運</p>				30

2008	3	3	～	転手が死亡した。なお、追突されたトラックの運転手に怪我はなかった。	221	17	～	49	
2008	2	5	～	被災者の運転する大型トレーラーと中型トラックが交差点内で衝突して、交差点そばのコンビニエンスストア駐車場に双方の車両が進入して大型トレーラーが横転した。横転後、被災者は運転席から救出され、病院へ搬送されたが死亡した。なお、中型トラックの運転者も運転席から投げ出されて負傷した。	221	17	～	29	
2008	1	10	～	11	トラックの荷台からロールボックスをフォークリフトで下ろす作業中に、ロールボックスをフォークリフトでつり上げたまま被災者がフォークリフトから降りた後、ロールボックスの横に置かれたクールボックスがトラックの荷台から落ちて、被災者がその下敷きとなり死亡した。クールボックスは重さ336kgでキャスター4輪がついていた。また、荷台後部の荷物落下防止用ストッパーが荷台上にはあったが使用されていなかった。	611	4	～	99
2008	9	1	～	2	被災者は大型貨物自動車を運転中に前方を走行していた乗用車と物損事故を起こした。大型貨物自動車の運転席から降車して現場を確認しようと歩行していたところ、後方から走行してきた他社の大型貨物自動車にはね飛ばされて死亡した。また、大型貨物自動車は乗用車にも衝突して助手席に乗車していた者も死亡した。	221	17	～	29
2008	8	14	～	15	国道トンネル内（片側一車線）において、被災者の運転する大型トラック（10t積）が走行中、トンネル内でセンターラインをはみ出して対向してきた保冷車と正面衝突して双方の運転手2名が死亡した。	221	17	～	29
2008	12	5	～	6	高速道を4tトラックで走行中に前を走っていた10tトラックに追突した。追突後、車体が2m程度10tトラックにめり込んだ状態で約20km引きずられた後に10tトラックが停車した。その時には、4tトラックは全焼しており、その運転席から遺体が発見された。	221	17	～	29
2008	12	20	～	21	一般道をトラックで走行中、軽自動車に追突されたため、運転席から降りて歩いていたところ、走行してきたトラックにひかれた。	221	17	～	49

2008	4	12 ～ 13	<p>出社後、運行準備作業中に同僚作業者と話をしているときに、突然「手がしびれる」と話した後に倒れた。</p>	921	90	～ 29
2008	5	1 ～ 2	<p>自動車道の下り線で、被災作業者が運転する大型トレーラーが中央分離帯を突き破り、上り線側路肩に停車した。その際、被災作業者は車外に投げ出され死亡した。シートベルトは着用していなかった。</p>	221	17	～ 49
2008	12	19 ～ 20	<p>海産物を輸送するため、被災者が大型トラックを運転して国道を走行中に走行車線の欄干を突き破り、約10m下の河川敷に転落した。</p>	231	17	～ 29
2008	11	15 ～ 16	<p>資材置場において、被災者がフォークリフトを使ってトラックの荷台に荷振れ防止用の発泡スチロールを積み込む作業を行っていたところ、フォークリフトのマストとヘッドガード前部のフレームとの間にはさまれて負傷し、死亡した。</p>	222	7	～ 29
2008	10	18 ～ 19	<p>被災者は荷積み箇所では荷積み後、次の荷積み場所に向かって4tトラックを運転走行していたところ、前方赤信号で停車していた大型トラック（13t）の後部に追突して死亡（即死）した。</p>	221	17	～ 99
2008	3	7 ～ 8	<p>被災者は、午前5時頃、荷を積んだ20tトレーラーを運転して納品先へ向け事業場を出た。走行中、緩い下り右カーブにさしかかったところ、トレーラーがカーブを曲がり切れずに道路脇の法面に激突、横転し死亡した。</p>	221	17	1～ 9
2008	2	10 ～ 11	<p>多量の降雪が続き駐車場に停めてあった貨物自動車（トレーラー）が雪に埋もれ自走できなくなったため、被災者はドラグ・ショベルのバケットのフックと貨物自動車の牽引用フックにワイヤロープを掛けて牽引した。牽引後、被災者が貨物自動車のワイヤロープを取り外そうとしたところ、貨物自動車が約6度の傾斜を逸走し、貨物自動車前面とバケットの間にはさまれて死亡した。</p>	221	7	1～ 9
		10	<p>被災者は、単独で積載形トラッククレーンを用い、コンクリート製電柱（970kg）を建柱作業現場に運搬し、数10mおきに一本ずつ荷卸ししてい</p>			10

2008	11	～ 11	たが、6本目の電柱を作業現場の道路の路肩に荷卸しし、玉掛していたワイヤロープの目止めを解き、ラジコン操作によってフックを巻き上げて、ワイヤロープを電柱の下から引き抜いた際に、電柱が道路脇の用水路に向かって転がり出して、被災者に激突した。	212	6	～ 29
2008	5	～ 12	被災者は同僚が操作する積載形トラッククレーン（つり上げ荷重2.93t）から遊漁船（約3.4t）を荷卸し作業中、つり上げ中の遊漁船の船首側の下方に入り台座を動かしていたところ、玉掛用繊維ベルトがずれないように緊結していたナイロンロープ等が切れて繊維ベルトが船尾側に滑り、船首側が落下したことから、被災者が船底と台座にはさまれた。	372	6	10 ～ 29
2008	9	～ 15	被災者は単独でコンクリートミキサー車のドラム内に付着したコンクリート片の除去作業を行っていた。作業開始約1時間後ミキサー車横でうずくまっている被災者が発見された。除去状況を確認していたところ、手元の操作レバーでドラムを回転させ、ドラム内の羽と内壁にはさまれ被災した。	221	7	50 ～ 99
2008	12	12 ～ 13	被災者を含む3名は午前中の作業を終え、次の現場に移動するため、路上に駐車していたトラックの輪止めを被災者が外したところ、トラックが前方へ逸走を始めた。被災者と同僚1名はトラック前方に回り込み、逸走を止めようと抵抗したが、トラックと屋根付駐車場の鉄柱の間にはさまれ死亡した。なお、災害発生時、トラックのギヤはニュートラルになっており、サイドブレーキは未使用であった。	221	17	50 ～ 99
2008	6	3 ～ 4	被災者はフルーツを積み込んだトレーラーを運転して国道上を走行中、赤信号で停車中のトレーラーに追突し死亡した。	221	17	10 ～ 29
2008	9	～ 9	被災者は、ミルクローリー（牛乳集荷用タンク車）を運転して各酪農家で牛乳を集め終えて乳製品工場へ向けて町道を走行中、1灯式信号機のある交差点に差し掛かったところ、左から来た乗用車と出会い頭に衝突した。その衝撃で右路肩より路外へ逸脱し、ミルクローリーが1回転して運転席が大破し死亡した。なお、被災者側の信号機は黄色の点滅であった。	221	17	10 ～ 29

2008	7	12 ～ 13	被災者は、トレーラー（積載重量19.3t）を運転し、片側一車線の国道上を走行中、左カーブに差し掛かったところ、カーブを曲がりきれずに路外に逸脱し、横転した。なお、トレーラーは、時速40km制限の当該カーブへ時速60km程度で進入した。	221	17	1～ 9
2008	10	19 ～ 20	13t箱形冷凍車を搬入口前にバックで駐車し、エンジンをかけたままで翌日朝の搬入に備えてパレット移動に用いるジョルダーというレール状の人力運搬機2本を冷凍車内から下ろし冷凍車の扉を閉めた。直後に冷凍車が搬入口の方に動き出したため車を止めようとしたが止めきれず、保冷車の後部扉部分と搬入口のエプロン（床面高さ105cm、厚さ35cm）に保冷車の方を向いた状態で身体をはさまれ死亡した。	221	6	10 ～ 29
2008	10	12 ～ 13	自社所有の冷凍冷蔵庫敷地内において、被災者は、大型トラック（ウイング車）の荷台上にのぼり、積載された荷（657箱・1箱約10kg）の確認を行っていたところ、仰向けの状態のまま1.2m下の地面に墜落した。なお、被災者は保護帽を着用していなかった。	221	1	30 ～ 49
2007	1	19 ～ 20	被災者が運転する48tトレーラー（積荷鉄屑30t）が、下りの左カーブで横転し電柱に衝突した。	221	17	1～ 9
2007	9	23 ～ 24	国道で、7tトラックに荷を積んで国道を走行中、工事のため渋滞中の車列に追突し運転席が大破し、死亡した。	221	17	50 ～ 99
2007	7	3 ～ 4	7tトラックで国道を走行中、道路左側の歩道に設置された案内標識柱に衝突し、助手席の作業者が死亡した。	221	17	30 ～ 49
2007	4	6 ～ 7	被災者が運転していた2tトラックが、片側一車線の国道を走行中、対向車線にはみ出して15tトラックと正面衝突した。	221	17	100 ～ 299
		7	自動車道のトンネル入口で軽自動車が生車線内でスリップ横転したところに別のトラックが追突、トンネル内で停車していた。後方から被災者の運転			30

2007	1	8	～	するトラックがトンネル入口に近づき、停車していたトラックに気付いたが、追突を避けようとしてトンネル入口の壁に激突した。	221	17	～	49
2007	7	10	～	11	被災者は一人で飼料運搬車の専用のアームを使用し、飼料サイロ（最大容量3 t、高さ4.9 m、直径2.3 m）の中に鶏のえさを入れる作業を行っていた。農場長が当該サイロの下敷きになっている被災者を発見し、病院に搬送したが、死亡した。	418	5	10 ～ 29
2007	8	9	～	10	被災者は荷主の先導で現場へ行き、10 tトラックに材木を積み込んだ。その後、帰りも広い道まで出るのに荷主の先導を受けていたが、途中から被災者がついてこなくなったため、荷主が来た道を引き返したところ、被災者が川の近くに車を止めて、川の水で濡らしたタオルを首に当てて休んでいた。そこで荷主が近くに行って被災者に声を掛けたが返事がなかったため肩に手を掛けたところ死亡していた。	921	90	10 ～ 29
2007	9	10	～	11	トレーラー荷台部分の屋根（ウイング）を開閉させる油圧シリンダーが油漏れするため修理していたところ、ウイング部分が下がり、荷台との間にはさまれた。	221	7	10 ～ 29
2007	8	20	～	21	事業場の敷地内において、携帯電話の操作を行いながら、駐車場に向かっていた被災者が整備士の運転する10 tトラックにはねられた。	221	7	50 ～ 99
2007	6	21	～	22	高速道の追越車線にて、右前輪タイヤがパンクしたため追越車線の路肩に寄せて停車していた車両積載形トラッククレーン車に、被災者が運転する大型トラック（最大積載重量13.6 t）が追突し、死亡した。	221	17	30 ～ 49
2007	12	11	～	12	被災者は、住宅用外壁材を積んだ4 tトラックで国道上を走行していたところ、緩やかな左カーブをそのまま直進する形でセンターラインを超え、反対車線の擁壁に激突した。	221	17	1 ～ 9
2007	8	5	～	6	魚市場で4 t保冷トラックに鮮魚を積み、国道上を走行中、左カーブで対向車線と歩道を越えて道路から約3.7 m下のコンクリート工場敷地に転落した。	221	17	1 ～ 9

2007	5	1 ～ 2	国道を10t積大型トラックで走行中、道路の中央線を超えて、対向車線を走行していた大型トラックと衝突した。	221	17	30 ～ 49
2007	9	7 ～ 8	被災者がトラックを運転中、国道交差点において、信号待ちしていたトラックに後方から追突した。	221	17	1～ 9
2007	4	15 ～ 16	被災者が大型トラックを運転中、国道交差点において、信号待ちをしていた大型トラックに後方から追突した。	221	17	30 ～ 49
2007	5	10 ～ 11	被災者は、停車中の10t積ダンプトラック上（高さ約3m）において、積み荷のコークスのサンプルを取ろうとしていたところ、同ダンプがゆっくり後退し始め、同ダンプと共に停止場所後方の斜面に転落した。被災者は同ダンプ荷台から飛降りた後、同ダンプにひかれた。	221	6	1～ 9
2007	4	10 ～ 11	被災者が、トラックへの荷（フレコンバッグ重量1020kg）の積み込み作業を手伝っていた際、倉庫に積み上げられていたフレコンバッグが崩壊し、当該フレコンバッグと出庫作業に使用していたフォークリフト（最大荷重3t）のフォーク部にはさまれ死亡した。	611	5	30 ～ 49
2007	1	6 ～ 7	同僚が運転する4tトラックで片側二車線の道路を走行中、反対車線からの自転車の飛び出しと対向車のハイビームのライトが目に入ったため、車線変更しようとしたところ、道路左端に無灯火で停車中の大型トラックに衝突した。4tトラックの助手席に乗車していた被災者が死亡した。	221	17	1～ 9
2007	4	5 ～ 6	車庫の横に駐車していた4tトラックにエンジンを掛けたところ、突然、車体が後退し、車体の右前方が車庫の壁に激突し、停車した。被災者は、激突した際、ドアと車体の間にはさまれた。	221	7	10 ～ 29
2007	9	12 ～ 13	被災者運転の4tトラックが高速自動車道を走行中、6tトラックに追突されたため、被災者が対向車線上に退避したところ、別のトラックに衝突された。	221	17	10 ～ 29

2007	11	8 ～ 9	鋼矢板75本を輸送していたトレーラーが国道上で転覆した。	221	17	～ 29	10
2007	6	12 ～ 13	新聞販売店まで普通トラックで新聞の折込チラシを配達に行き、チラシ(約10kg)を販売店の作業台に置き、振り向く時に転倒した。	416	2	～ 29	10
2007	5	6 ～ 7	4t積貨物自動車に食品を積載し、配送先に向かう途中、国道下り線において、右折のため道路中央側車線に停止していた10t積大型貨物自動車に追突した。	221	17	～ 29	10
2007	4	10 ～ 11	雑貨配送後、荷台の整理を行っていたところ、立てかけてあったベニヤ板15枚が被災者の方へ倒れかかり、反動で被災者が車外に投げ出され、約1.2m下の地面に落下した。	522	5	～ 29	10
2007	7	15 ～ 16	被災者は工場1階にトラックを止め、荷台の上から1階天井のホッパーを開けて2階に集積された木材チップを荷台へ落とす作業を行っていた。次にホッパー周辺以外のチップも落とすために2階集積所に上がり、棒を用いてチップの山を崩していたところ、チップの山が崩壊して被災者が埋まった。	522	5	～ 29	10
2007	2	7 ～ 8	被災者は、配送先の倉庫内で積荷を卸し終え、トラック荷台のウイング部分を降ろすため、荷台横の開閉ボタンを操作していたところ、被災者の後方に荷卸されていたロール紙(高さ88cm、直径94cm、7段積)が被災者方向に崩れ、ロール紙とトラックの間にはさまれた。	611	5	～ 99	50
2007	3	4 ～ 5	タンク台車を牽引し国道を走行中、前方から大型トラックがセンターラインをはみ出してきたため、ハンドルを左に切りブレーキを踏んだが避けきれず正面衝突した。	221	17	～ 299	100
2007	3	4 ～ 5	魚市場で鮮魚を降ろして帰る途中、対向車線にはみ出し、対向車と正面衝突した。	221	17	～ 29	10

2007	6	2 ～ 3	高速道路を走行していた大型トレーラーがセンターラインを越えて反対車線を走行し、反対車線を走行していた2台の車両に次々と衝突した。衝突された2台のうち、2台目の2 tトラックを運転していた被災者が死亡した。	221	17	10 ～ 29
2007	11	2 ～ 3	自動車道を走行中、対向車線にはみ出し、対向車線を走行していた4 tトラックと正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2007	1	8 ～ 9	建設用鋼材（長さ0. 2 m～9. 1 6 5 m総重量20. 1 5 7 t）を23 tトレーラーから降ろすためのロープ解き作業中、突然、建設用鋼材が崩れ、その下敷きとなった。	611	5	10 ～ 29
2007	11	13 ～ 14	ダンボールの回収作業のため、パッカー車にダンボールを入れていて、テールゲートにはさまれた。	221	7	50 ～ 99
2007	6	11 ～ 12	20 tトレーラーに荷（古紙）を積み込んだ後、荷締め作業を開始した。荷の最後部の位置に荷締めベルトを掛けていたところ、荷台の煽りから足を踏み外して3. 2 m下の地上に墜落した。	221	1	50 ～ 99
2007	8	2 ～ 3	被災者は、10 tトラックを運転し、高速道路を走行中に、事故で停車していた乗用車に接触したため、トラックを道路脇に停めて、接触相手の乗用車脇に立って運転手と話をしていた際、別の後続車両（10 tトラック）が停車中の乗用車に追突し、その反動で回転した乗用車に巻き込まれた。	221	17	50 ～ 99
2007	11	1 ～ 2	自動車道料金所手前のカーブで、運転していたトラックが横転した。	221	17	10 ～ 29
2007	5	21 ～ 22	会社の構内にトラックを止め、積み込み時間までトラックの中で待機中、具合が悪くなり病院に搬送されたが死亡した。	921	90	50 ～ 99

2007	7	3 ～ 4	国道を走行していたトラックが左カーブを曲がりきれず、右側に横転し、ガードレールに衝突した後、路外逸脱し、更に転覆した。	221	17	10 ～ 29
2007	10	10 ～ 11	1. 5 t 積み箱型保冷車で牛乳を小学校へ配達するため、校内の荷物置場前に保冷車を駐車して運転席から降りたところ、保冷車が無人で逸走し、保冷車の前に回り止めようとした被災者が引きずられ死亡した。	221	7	10 ～ 29
2007	7	1 ～ 2	大型トラックにて鉄粉10 tを運搬する途中、国道交差点で信号待ちをしていた乗用車とトラックに次々と追突した。	221	17	30 ～ 49
2007	7	3 ～ 4	運送業務に従事する被災者は荷を2 tトラックに積み込むに当たり、荷を積載したかご台車（総重量約530 kg、高さ1.65 m、幅1 m、奥行72 cm）を手で引いて、冷蔵倉庫のプラットホームから同所に直付けしたトラック荷台に移動させていたところ、かご台車が転倒し、下敷きとなった。	611	6	50 ～ 99
2007	2	5 ～ 6	自動車道において、大型トラック同士の追突事故で追い越し車線上に停車していた車両に、被災者が運転する4 tトラックが追突した。さらにその直後、被災者の車両は後続のトラックに追突され、被災者は運転席から投げ出された。	221	17	1～ 9
2007	10	2 ～ 3	県道を走行中、道を間違えたため、Uターンをした際、看板ポールに激突した。	221	17	10 ～ 29
2007	2	6 ～ 7	4 tトラックにより事業場へ荷物を配送するため、自動車道を走行中、インターチェンジ出口手前の自然渋滞が発生している所で、大型ダンプカーに追突した。	221	17	10 ～ 29
2007	1	4 ～ 5	被災者は、積荷を運送するため大型トラックを運転し、国道を東行きに走行していたところ、運転中に意識を失い、片側2車線の緩い左カーブで、ガードレールに接触後、約100 mほど走行して停車した。被災者は発見時に意識がなく、病院で死亡した。	911	90	10 ～ 29

2007	12	6 ～ 7	被災者は、国道西行2車線道路で、4 tトラックを運転していたところ、右折しようとして停車していた10 tダンプカーの後部に追突した。	221	17	～ 29	10
2007	6	12 ～ 13	トレーラーで河川堤防上の道路を走行中、急なカーブにさしかかったところで運転を誤り、横転し、土手を転落した。	221	17	～ 29	10
2007	2	13 ～ 14	シャーシ置き場にて、運転手がトラックから降車して、トラックヘッドとコンテナを搭載するシャーシ部分の分離作業をしていた際に、トラックヘッドが動き出した。これを止めようと、運転手が運転席に乗ろうとしたが、動き出したトラックヘッドとトラックヘッド右前方に置かれていた別のコンテナ側部との間にはさまれた。	221	7	～ 29	10
2007	5	15 ～ 16	被災者と他社の作業者の2名でトレーラーの荷台上でクレーンを使用してH型鋼材の積み込み作業を行っていた。他社の作業者がクレーンで鋼材を荷台に積み込んでいた際に、荷台上で鋼材の受け入れを行っていた被災者が鋼材と鋼材を支える板との間にはさまれた。	211	7	1～ 9	
2007	9	8 ～ 9	被災者は14 tトラックの荷台に乗り、シートを外し、荷台の前方へかたづけしていた。荷台のあおりは左右にそれぞれ前後2枚あり、右側の運転席側のみ倒している状況であった。被災者が荷台の右側を運転席側に歩いている際に、荷台より地面へ転落した。	221	1	1～ 9	
2007	6	4 ～ 5	4 tトラックを運転し、事業場から貨物輸送を行っていた被災者が、国道上で前を走行中のトラックに追突した。	221	17	～ 49	30
2007	5	4 ～ 5	被災者が配送業務のために軽トラックを運転し、交差点にさしかかったところ、交差点の右方向より走行してきた普通乗用車と衝突し、被災者が運転する車両は衝突の衝撃で横転し、被災者が死亡した。	231	17	～ 29	10
2007	6	2 ～	高速自動車道を走行中の被災者が運転する中型トラックが後続の大型トラックに追突され、中型トラックが横転した。	221	17	1～ 9	

		3				
2007	3	3 ～ 4	国道をトラックにより走行中、前方を走行していたトラックの後部に追突した。	221	17	10 ～ 29
2007	3	17 ～ 18	トレーラーに製材（10 t）を積載し走行中、下り坂の左カーブにおいて曲がりきれずに横転し、対向車線を走行してきたトラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2007	8	15 ～ 16	15 t 車で飲料水を配送途中、自動車道サービスエリアで、ウイングの扉を開け荷崩れの確認をしていたところ、スイッチに触れ、ウイングが閉まりはさまれた。	221	7	30 ～ 49
2007	5	22 ～ 23	配達先のスーパー前の道路で商品を搬入完了後、前日納入分の空台車を積み込もうとした時、後方より軽自動車を追突した。	231	17	50 ～ 99
2007	12	4 ～ 5	片道1車線の一般道路でトラックを運転中、側道に無灯火で停車していた大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2007	9	5 ～ 6	自社トラックで自動車道を時速約60 kmで走行中、交差点で信号待ちしていた車に衝突した。	221	17	30 ～ 49
2007	10	6 ～ 7	コンテナに立て掛けたはしご（全長約2.8 m）を昇っていた被災者が途中で転落した。	371	1	100 ～ 299
2007	11	3 ～ 4	国道（片側1車線）上で、被災者が5 t 車両積載形トラッククレーン車を走行中、対向車の大型トレーラーと正面衝突した。	221	17	1 ～ 9
2007	3	14 ～	配達先事業場の路上にトラックを停車し、フォークリフトを使用して荷卸しするため、トラックの荷台からパレット（フォークリフトにより高さ9	379	1	10 ～

		15	5 c mの高さに設置) に荷を移動していたところ、路上に転落し、道路を走行中のトラックにはねられた。			29
2007	12	16 ~ 17	被災者は、ターミナル敷地内にある積み込みラックにおいて、高さ約3 mのトラックのタンクローリー上で灯油18 k lの積み込み作業中に、タンクローリーから後ろ向きで1回転するように地面に墜落した。	221	1	1~ 9
2007	7	12 ~ 13	国道バイパスで、渋滞で停止していたキャリアカーに追突し、キャリアカーの後部の栈橋が運転席前面ガラスを突き破り、被災者に激突した。	221	17	30 ~ 49
2007	12	22 ~ 23	被災者が運転する大型トラック(最大積載量12.8 t)が、高速道路を夜間走行中、インターチェンジの本線と出口の分岐に衝突した。	221	17	10 ~ 29
2007	4	4 ~ 5	トラックに積んでいるかご台車を簡易リフター(手押し式)に乗せる作業中に、リフターの安全柵の開閉式ストッパーがロックされていなかったため、かご台車ごと墜落し、かご台車の下敷きになった。	214	1	10 ~ 29
2007	8	7 ~ 8	高速道路下り線において、渋滞のため停車中の車列最後尾の2 tトラックに被災者が運転する大型トラック(10 t)が追突し、大型トラックの運転席が炎上した。	221	17	10 ~ 29
2007	6	1 ~ 2	被災者は、事業場所有のトラックを運転し、客先に向けて国道を走行中、前方のトレーラーに追突した。	221	17	10 ~ 29
2007	8	5 ~ 6	ダンプトラックにて貨物運搬中にセンターラインオーバーで対向車に衝突した。	221	17	1~ 9
2007	4	13 ~ 14	倉庫敷地内において、作業員2名が(丸太の積み込み、運搬等を行う)専用の荷役機械を用いて、20 tトレーラーに、約4 mの丸太を縦三列に積み込む作業中、荷台近くにいたトレーラーの運転手が、落ちてきた1本の丸太に激突された。	522	4	1~ 9

2007	2	5 ～ 6	トラックを運転し、自動車道インターチェンジに向かうランプウェイ（左カーブ）を走行中、右側ガードレールを突き破って横転した。	221	17	30 ～ 49
2007	2	2 ～ 3	国道を13tトラックで走行中、鉄道線の屋根付き停留所に衝突し、その際に停留所構造物の鉄骨が突き刺さり、死亡した。トラックはそのまま約50m進み、市内線の電灯のポールに衝突して停止した。	221	17	100 ～ 299
2007	8	12 ～ 13	被災者が大型タンクローリーを運転して、高速道路を走行中、前方の大型貨物自動車に追突した。タンクローリーから出火した。	221	17	10 ～ 29
2007	8	5 ～ 6	敷地内に仮置きしてあるH鋼材の一部を出荷するため、事業主と被災者でフォークリフトを使用し、移動及び積み込みをすることになった。フォークの運転を事業主が行い、荷の誘導を被災者が担当し作業を開始した。3本のH鋼材を横に重ねて運搬し、被災者の誘導で荷卸位置で微調整をしていたところ、突然フォーク先端側のH鋼材1本が落下し、被災者を直撃した。	222	4	10 ～ 29
2007	10	4 ～ 5	国道を大型トラックで走行中、赤信号で停車中の大型ダンプに追突した。	221	17	10 ～ 29
2007	10	10 ～ 11	自動車部品を運搬するため、4tトラックで高速道路を走行中、集中工事に伴う渋滞のため停車していた大型トラックに追突した。	221	17	100 ～ 299
2007	9	17 ～ 18	被災者は、駐車場でトレーラーのトラクターヘッドとシャーシの切り離し作業を行っていた。その際、トラクターヘッドが動き出したため、被災者はこれを止めようとドアを開け身体を乗り入れようとしたが、ドアが右隣に止めてあったコンテナに接触し、ドアにはさまれた。	221	7	30 ～ 49
2007	10	23 ～ 24	高速道上で、貨物の運送中、被災者が運転していた車が、渋滞で止まっていたところ、後方から10t車が追突してきた。	221	17	1～ 9

2007	8	4 ～ 5	店舗への配送終了後、国道を走行中、S字カーブの場所にて、被災者が運転していたトラックがセンターラインを超えて、大型ダンプカーに正面衝突した。	221	17	～ 49	30
2007	2	13 ～ 14	国道を東進していた被災者運転の2 tトラックがセンターラインをはみ出し、対向車線を西進していた14 tトラックと正面衝突した。	221	17	～ 49	30
2007	3	3 ～ 4	工業団地内にて車内で仮眠を取り、翌日トラックを発進させ約480 m直進走行したところで、路上駐車中の無人トラックに衝突した。	221	17	～ 29	10
2007	11	2 ～ 3	大型トレーラー（29.3 t積み）に大型角パイプ3本（合計27.6 t）を積んで国道を走行中、対向車線を越え、ガードレールを突き破り、道路と平行している水路（石積み、幅2 m強、深さ1.5 m程度）に転落、横転した。	221	17	1～ 9	
2007	10	6 ～ 7	被災者が運転するトラックが交差点を黄色点滅側から直進したところ、右側から赤色点滅信号の一時停止を怠った乗用車が進入し、被災者トラックの側面部に衝突し、その反動で被災者は助手席側の窓から投げ出され反転したトラックの下敷きとなった。	221	17	～ 299	100
2007	7	5 ～ 6	配送が終了したので、会社へ帰社する途中、直進道路をライトバンで走行中にセンターラインをオーバーしたため、対向車と衝突した。	221	17	～ 99	50
2007	7	2 ～ 3	自動車道を走行中、バス停に駐車していた大型トラックに後方から追突した。	221	17	～ 29	10
2007	4	16 ～ 17	荷を4 tトラックに積み、会社へ戻る途中、国道上やや登り勾配となった左カーブ地点にて、トラックを運転中の被災者が運転操作を誤り、センターラインをオーバーし、反対車線を走行していた4 tトラックと正面衝突した。	221	17	～ 29	10

2007	12	23 ～ 24	被災者は、荷物を運ぶため高速道路を走行していたところ、被災者の運転するトラックと別のトラック、乗用車の計3台が絡む事故が発生した。	221	17	10 ～ 29
2007	11	3 ～ 4	片側1車線の国道のカーブ付近で、南方向に運転していた被災者のトレーラーと、北方向に運転中の対向車トラックが正面衝突して、車両が炎上した。	221	17	1～ 9
2007	4	9 ～ 10	車両積載形トラッククレーン（4.9t積、2.93tつり）で木造住宅建築工事現場へ材木を運び、同クレーンで荷台の中ほどに積んできた約2mの材木の束をつり上げたところ、馬かけ状態（荷を運転席後部の枠にかけて積んだ状態）の木材（長さ7.9m、重量約0.2t）に当たりその木材がアウトリガー（高さ1.1m）上でクレーンを操作中の被災者側へ落下した。被災者はそれを避けようとしてアウトリガー上から墜落した。	212	1	30 ～ 49
2007	11	14 ～ 15	得意先倉庫において、冷蔵冷凍車（最大積載量6.1t）に荷（原卵5,400個）を積み込む作業をしていた被災者が、キャスター付き卵ラック（大きさ91×65×189cm、約480kg（荷を含む））の下敷きになっているところを発見された。	362	5	10 ～ 29
2007	3	14 ～ 15	得意先である森林組合構内で、トラックの荷台に丸太を積み込んだ後、ワイヤー締めを行い、その点検中に荷の上から地面に落下した。	221	1	30 ～ 49
2007	3	13 ～ 14	国道上の路肩に停車していたトラックの中で、昏睡状態にあった被災者を警察官が発見し、病院へ搬送されたが、死亡した。なお発症前は長時間の時間外労働があった。	921	90	50 ～ 99
2007	6	14 ～ 15	国道上において、被災者の乗った大型トレーラーに軽トラックが衝突し、はずみで大型トレーラーが反対車線側の酒店倉庫に突っ込み押し潰された。	221	17	30 ～ 49
2007	12	17 ～ 18	ダンプトラック（最大積載量11900kg）の荷台を上げ点検作業中、荷台が降下して車体との間にはさまれた。	221	7	100 ～ 299

2007	10	11 ～ 12	事故のトラブル処理に向かうため、元請会社の作業者が運転する乗用車に同乗し、自動車道を走行中、パーキングエリアで休憩をとろうと側道へ進入したところ、運転者が運転を誤り標識の支柱に激突し、助手席に乗りしていた被災者が死亡した。なお、運転者も受傷をした。	231	17	30 ～ 49
2007	3	5 ～ 6	貨物自動車（19 tトレーラー）に積み込んだ荷物（飼料）を運送するため国道を走行中、被災場所（緩やかな左カーブで上り勾配）の路肩に設置してあったガードロープを乗り越え、崖下の河川に転落した。	221	17	50 ～ 99
2007	12	14 ～ 15	被災者はトラックでプロパンガスのボンベを個人宅に配達中に、信号機のある十字路の交差点において、直進していたトラックの前部と、右側から直進してきた乗用車の助手席部分が激突し、被災者のトラックが横転した。	221	17	1～ 9
2007	12	12 ～ 13	荷（ケース物の塩ビ管2 t程度）の運送中、国道バイパスを4 tトラックで走行していたところ、前方にいた大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2007	12	23 ～ 24	被災者は4 tトラックに荷物を積み込み高速道路を走行中に、被災者運転のトラックと乗用車、4 tトラックの計3台がからむ追突事故となった。病院へ搬送されたが死亡した。	221	17	30 ～ 49
2007	2	2 ～ 3	4 tトラックを運転し、首都高速線上りの左カーブを曲がったところ、ブレーキをかけたが間に合わず、渋滞で停止中のトラック2台に追突した。	221	17	1～ 9
2007	6	15 ～ 16	荷物をおろし、帰路の途中、国道上で、左側壁に当車両が接触し、左側のガードレールに衝突した。	221	17	30 ～ 49
2007	9	3 ～ 4	被災者が、9.5 tトラックを運転し下り線を走行中、逆送してきたワゴン車と正面衝突し、その反動で右側側壁に衝突した。	231	17	30 ～ 49
			倉庫内で出荷作業に従事していた作業者が、倉庫内に設置されている貨物			

2007	3	16 ～ 17	用エレベーター（搬器の大きさ間口170cm、奥行き155cm、天井高さ200cm、積載荷重240kg）にハンドリフトと共に乗り込んだところ、上昇途中で転倒した。搬器側の扉が開放されていたため、搬器と昇降路内の梁との間にはさまれた。	214	7	～ 49	30
2007	5	14 ～ 15	トラックを止め荷卸の作業を行っていたところ、後方より走ってきたワンボックスカーに追突され、トラックとの間にはさまれた。	221	17	～ 299	100
2007	7	2 ～ 3	出張先の工場内で乗ってきた自社トラックに新聞を積み込むため、荷台後部の幌を上げようと、高さ1mのプラットフォーム上にて作業を行っていたところ、当該箇所から地面まで墜落した。	416	1	～ 49	30
2007	9	17 ～ 18	被災者は、運行管理者一般講習会受講後、営業所に向かうため、港湾道路を原動機付自転車で走行していた。交差点において、港湾道路第1通行帯に荷待のために停止していた大貨トラックが、左折しようとして発進したところ、前方安全確認を怠ったため、トラックの直前に停止していた被災者に衝突した。	221	17	～ 29	10
2007	5	22 ～ 23	トラック（冷蔵冷凍車）で青果を運搬中、赤信号で停止していたトレーラーに追突し、衝撃でトラック（冷蔵冷凍車）が炎上し、トラック（冷蔵冷凍車）を運転していた被災者が死亡した。	221	17	～ 29	10
2007	2	5 ～ 6	配送先へ荷を運搬するため、高速道をトラックで走行中、半径75mのカーブに差し掛かったとき、同カーブを曲がりきれず、側壁に衝突、高速道の橋脚に引っかかり車体が宙づりになった。被災者はトラックから投げ出されて高架下に転落した。	221	17	～ 49	30
2007	1	19 ～ 20	被災者が運転するトラックがセンターラインを越えて、反対車線を走ってきた乗用車と正面衝突した。	221	17	～ 29	10
2007	7	11 ～ 12	国道を2tトラックで走行中、緩やかな左カーブでセンターラインを越え、反対車線を走行してきた10tトラックと衝突した。	221	17	～ 29	10

2007	4	8 ～ 9	同一事業場内で作業する他社の所属作業員から一方的に暴力を受け死亡した。	999	99	10 ～ 29
2007	6	16 ～ 17	被災者は、業務終了後トイレに行き、戻ってきたとたん気分が悪くなり救急車で病院に運ばれたが、死亡した。	911	90	1～ 9
2007	7	6 ～ 7	被災者は当該事業場のトラックを運転し、工業用ゴム製品を運送中、3車線高速道路最右車線を走行していたが、同車線に停止していたトラックをよけようとして、左車線に車線変更しようとしたが、よけきれずにトラックと接触し、左車線に飛び出し、後方からきたミキサー車に追突された。	221	17	1～ 9
2007	12	23 ～ 24	食肉の入った段ボール箱10数箱（総重量100kg）を積んだコンビ台車を4tトラックからトラックに備え付けられたパワーゲートを経てプラットホームへ移動させようとしたところ、コンビ台車が倒れ、被災者に激突した。	362	5	50 ～ 99
2007	8	5 ～ 6	屋根の防水材を2tトラックで配送先に運搬中、停車中の故障車に追突した。	221	17	1～ 9
2007	12	8 ～ 9	建売住宅建築現場において運送会社の運転手がプレカット材の束（重量約1.2t）を車両積載形トラッククレーン（つり上げ荷重2.93t）でつり上げ、荷降ろし場所に旋回しジブを伸ばしたところ移動式クレーンが傾き荷台の別のプレカット材の束など（重量約1.3t）が落下し、つり荷の触れを抑えていた被災者を直撃した。	212	4	30 ～ 49
2007	6	20 ～ 21	高速道に入る連絡道路で4t車を運転中、道路右側のゼブラゾーンに停車中の大型トレーラーに追突した。	221	17	30 ～ 49
2007	2	5 ～	納品先から次の納品先へ向かうため国道上り車線を走行中、運転を誤り中央分離帯に設置してあるコンクリート製の橋桁に激突した。	221	17	10 ～

		6				29
2007	7	5 ~ 6	8. 8 tトラックで自動車部品を運搬していた被災者が、荷卸先において自動車部品を積んだ車輪付のかご台車（総重量約270kg）を同トラックの荷台から荷卸し作業中、地面から13cm上で停止させたテールゲートリフター上のかご台車を手前に引いたところ、かご台車が倒れ、被災者は、かご台車と地面の間に前屈姿勢ではさまれた。	611	6	10 ~ 29
2007	6	13 ~ 14	トラックによるコークスの運搬からコンベヤーを使用してホッパーに入れる作業を被災者の一人作業で、行っていた。被災者は、スキップホイストのバケットの収まるピットの中で、コークスが満載されたバケットの下敷きになっていたところを発見された。	224	6	1~ 9
2007	4	10 ~ 11	モルタルダスト製品の運送を請負い、被災者ら3名が、フォークリフトを使用してトラックに当該製品を積み込む作業中、当該製品が入ったフレコンバッグ（重さ約1t）を一方のフォークのみでマスト上限までつり上げ、走行していた。当該フォークリフト（最大荷重1.2t）が横転したため、フォークリフトを運転していた被災者がその下敷きとなった。	222	2	10 ~ 29
2007	3	14 ~ 15	運送先工場内のプラットホームにおいて、印刷物をフォークリフトを使用し、トラックに積み込む作業を終えたところ、フォークリフトのハンドル操作を誤り、プラットホームからフォークリフトと共に転落した。	222	1	50 ~ 99
2007	8	6 ~ 7	積載荷重13tのトラックで荷を運搬中、道の駅の駐車場において、積荷の確認のためウイングをあおりより約1m上げ、積荷を確認し積荷から降りようとしたところ、足を滑らせウイングのスイッチに足が接触し、ウイングが不意に閉じたため、ウイングとあおりにはさまれた。	221	7	30 ~ 49
2007	9	15 ~ 16	被災者は自社の敷地内において、フォークリフトを使ってトラック上部のランプ交換を行っていた。ランプ交換を終了した後、フォークリフトのヘッドガードを経由して降りようとした際、フォークリフトのヘッドガードフレームとマストの間にはさまれた。	222	7	10 ~ 29
2007	7	2 ~	国道交差点において、信号待ちをしていたトレーラーに被災者のトラック	221	17	1~

		3	が追突した。			9
2007	3	1 ～ 2	大型トラック（積載過重約10t）で国道上り車線を走行していた被災者が、道路工事渋滞で停車していた車両の列に突っ込み被災した。	221	17	50 ～ 99
2007	8	5 ～ 6	自動車道において、故障で路肩に停車していたトラックに、被災者が運転するトラックが追突した。	221	17	100 ～ 299
2007	2	22 ～ 23	高速道を走行中、前輪がパンクしたため、走行車線上左側に停車しタイヤ交換を行った。作業終了後、ジャッキ等を片付けている際、後方から走行してきた車両に追突され、自車両と側壁にはさまれた。	221	17	50 ～ 99
2007	4	12 ～ 13	被災者は、会社を10tトラックで出発した。国道上において道路工事中により片側通行になっていたため、前方で停車中だったトラックに気付くのが遅れ後方から追突した。	221	17	10 ～ 29
2007	1	13 ～ 14	被災者は2tトラックを運転し配達先から帰社途中、国道において、2台前を走行していた大型トラックとその後続車である4tトラックが減速したが、被災者の2tトラックは減速することなく4tトラックに追突し被災した。	221	17	10 ～ 29
2007	1	1 ～ 2	被災者は、24tトレーラー（実重量約17t）を運転し、国道を走行中、ゆるい右カーブ（下り勾配）において道路左側約2m下の水田に転落、車体が逆転し下敷きとなった。	221	17	30 ～ 49
2007	4	2 ～ 3	自動車道の下り車線をトラックで走行中に、前を走っていたトラックに衝突し被災した。	221	17	10 ～ 29
2007	2	7 ～ 8	被災者がフォークリフトを使おうとしたところエンジンがかからなかったため、別のフォークリフトにより引っ張りエンジンをかけようとベルトスリングを掛けて牽引した際、ピンが外れて被災者にあたった。	222	6	1～ 9
		12	被災者は、トレーラーから梁（H型、長さ5.1m、重さ約400kg）			30

2007	1	13	9本を降ろそうとしていたところ、左側梁1本が落下しトレーラーの傍らにいた被災者がその下敷きとなった。	521	4	49	
2007	1	13	14	工事中敷鉄板19枚(1枚の重さ1.6t)を大型トレーラーを用いて運送中、急ブレーキをかけたところ、荷台の鉄板が崩壊し、運転席を押しつぶし、運転者とその同乗者が死亡した。	221	17	9
2007	1	13	14	工事中敷鉄板19枚(1枚の重さ1.6t)を大型トレーラーを用いて運送中、急ブレーキをかけたところ、荷台の鉄板が崩壊し、運転席を押しつぶし、運転者とその同乗者が死亡した。	221	17	9
2007	8	4	5	国道を4tトラックで走行中、車両が路肩に接触したため、ハンドルを逆に戻したところセンターラインをオーバーし対向車線を走行してきた大型トラックと正面衝突した。	221	17	99
2007	9	13	14	トレーラーで荷を運送する業務において、荷おろしのため、ロープを解いた後、トレーラーの荷台の横に立って、解いたロープを収納していたところ、2段に重ねて積まれて荷台に載っていた荷のうち、上の荷(重さ約550kg、大きさ約100cm×70cm×高さ100cm)が荷台から落下して、激突された。	611	6	9
2007	12	4	5	4tトラックで荷物の配送を終えて、自社へ戻るため県道を走行中、センターラインをはみ出して、対向車の11tトラックと衝突した。	221	17	99
2007	7	9	10	工場内のレイアウト変更を依頼された被災者等は、プレスブレーキを移動させるため、プレスブレーキの下に移動補助器具を取り付けて1~2m程度移動させた。その後、移動補助器具を外すためプレスブレーキの後方をジャッキで上げたところ、被災者の方に倒れ、被災者は下敷きとなった。	612	6	29
2007	3	3	4	最大積載量3.15tトラックで本社営業所から建築資材(塩ビ管)を運んでいた被災者が、国道上で、前方の信号が赤から青に変わったため減速せずに走行した際、信号で徐行していたトレーラに気付いて急ブレーキをかけたが間に合わず、そのまま追突した。	221	17	99

2007	7	3 ～ 4	事業場の自動車でトラック置き場から事業場に帰る途中に、対向車線を走行中の自動車がセンターラインをはみ出し、被災者の運転する自動車に正面衝突した。被災者の自動車は道路わきの側溝に転落した。	231	17	～ 49	30
2007	7	5 ～ 6	事業場から現場へ空のコンクリートミキサー車で向かう途中、県道の右カーブを曲がりきれず、左側のガードレールを突き破り、約10m下の畑に転落した。被災者は、転落時に車外へ放り出された。	221	17	1～ 9	
2007	10	5 ～ 6	国道上り車線を貨物自動車で行中、前方を走行していた貨物自動車に追突した。	221	17	1～ 9	
2007	7	23 ～ 24	交通事故の影響で渋滞し停車していたトラックに被災者のトラックが追突した。	221	17	～ 49	30
2007	3	12 ～ 13	下り車線を走行中の4t車がセンターライン（グリーンベルト）を越え、上り車線を走行中の被災者の運転する大型車に正面衝突した。	221	17	～ 29	10
2007	12	3 ～ 4	一般国道を南進していた被災者が、交差点で信号待ちのために停車していたトラックに追突した。	221	17	～ 29	10
2007	5	2 ～ 3	貨物自動車を運転し、食料品を運送するため、国道を走行中、赤信号で停止しようとしていた10t貨物自動車に追突し、更に前方を走行していたワンボックスカーに衝突した。	221	17	～ 99	50
2007	8	13 ～ 14	被災者は自動車道インターチェンジの料金所を出た付近に停まっていたトラックの中で死亡している状態で発見された。被災者は長時間の時間外労働及び休日労働を行っていた。	921	90	～ 29	10
2007	11	3 ～ 4	自動車道（片側1車線）をトラックにて走行中、左カーブに入ったとき、タイヤがスリップし、道路右側の中央分離帯に接触後、道路左側のガードレールに激突し、反動により対向車線に侵入し、対向車線を走行してきた	221	17	～ 99	50

			トラック2台と衝突して被災した。			
2007	6	22 ～ 23	国道を走行中、赤信号で停車していた大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9
2007	3	2 ～ 3	国道において、被災者のトラックが右折しようとして停車していたところ、後続のトラックが荷台の左側に追突、その弾みで被災者のトラックが対向車線に押し出され、対向してきた大型トラックと正面衝突した。	221	17	50 ～ 99
2007	5	15 ～ 16	10 tトラックに積んだ住宅資材の荷締め中に積荷の上(GLからの高さ3.5 m)から墜落した。	221	1	50 ～ 99
2007	4	22 ～ 23	国道上り線を4 tトラックで走行中、センターラインをオーバーし、大型トラックと正面衝突した。	221	17	50 ～ 99
2007	9	11 ～ 12	被災者は、自動車道下り線(片側1車線)において、4 tの保冷車を運転中、道路舗装工事のため片側交互通行となっていた場所で、工事係員の指示で停止していた大型トラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2007	8	6 ～ 7	4 t冷凍車で県道を走行中、信号感知器、街路樹、水銀灯に激突し信号付の交差点を通過したところで横転した。	221	17	10 ～ 29
2007	1	6 ～ 7	2 t保冷車に牛乳などの日配食品を積載し、自動車道下り線を走行中、見通しの良い片側二車線の緩い下り直線の走行車線を走行中に先行車両(25 t貨物)に追突した。	221	17	30 ～ 49
2007	3	14 ～ 15	被災者は、荷の運送先で、運送してきた豚の荷卸し作業を終えたことから、トラックのテールゲートを閉めるため、トラックの後輪の脇にある開閉スイッチを操作していたところ、被災者に気付かず前進してきた、運送先の作業者が運転する荷役運搬作業中のフォークリフトにひかれた。	222	7	10 ～ 29
		2	積載荷重6.5 tの保冷車で国道を北進中、緩やかな左カーブで対向車線			10

2007	9	～ 3	にはみ出し、道路脇の民家のブロック塀に衝突した。	221	17	～ 29
2007	4	8 ～ 9	北進中の大型トラックが対向車線にはみ出し、南進中の大型トラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2007	12	2 ～ 3	新聞配送のためライトバンで走行中、対向車線を越えて右側のガードレールの支柱に衝突し、道路脇に1 m程度転落した。	231	17	50 ～ 99
2007	2	3 ～ 4	被災者は、冷凍車を運転して自動車道を走行中、前方を走行していた大型トラックに追突した。	221	17	100 ～ 299
2007	10	3 ～ 4	国道の交差点で、被災者の運転する10 tトラックが、赤信号で停止しようとしていた別の運送会社のトラックに追突した。	221	17	1～ 9
2007	5	10 ～ 11	配達先でトラック（最大積載量3,750 kg）から積荷の鋼材の束（長さ約5.5 m、重さ約300 kg）を降ろす作業中、他の作業者があおりを降ろそうとしたところ、あおりの降下とともに荷台から鋼材の束が落下し、あおりに手をかけていた被災者が鋼材の束の下敷きとなった。	611	4	1～ 9
2007	9	19 ～ 20	トレーラーのヘッドのみで県道を走行していたところ、片側2車線の上り坂で、左側路肩から約1 m下の空地に転落横転した。	221	17	10 ～ 29
2007	12	13 ～ 14	被災者は、製材品を積み込んだ後に会社へ戻るため国道を走行していた。走行方面前方で片側交通規制のため停車している小型トラックに追突し、その反動で対向車線にはみ出して対向のトレーラーと正面衝突し、その衝撃で車外へ放り出され自車の左前輪にひかれた。	221	17	30 ～ 49
		5	信号機の設置された片側2車線の国道交差点において、信号機が赤になったため、センターライン寄りを走行していた乗用車3台、トレーラー（被			100

2007	2	6	害車両)が順次、減速した。被害車両後方を走行していたトレーラー(加害車両同)が停車しきれず、被害車両の後部に追突し左手車線にはみ出した。加害車両運転手が死亡し被害車両運転手が軽傷を負った。路面は濡れていたが、凍結はしていなかった。	221	17	17 ~ 299
2007	10	13 ~ 14	被災者は、木造2階建ての解体現場において、重機の作業半径内にあった冷蔵庫を移動しようとしたところ、旋回した重機の後部と冷蔵庫にはさまれ被災した。	149	7	1 ~ 9
2007	11	16 ~ 17	被災者はリース会社の敷地内で、建設現場から引き取ったリース品である仮設ハウスの荷下ろし作業を行うため、積載形トラッククレーン(つり上げ荷重2.9t)の荷台上にある仮設ハウスの屋根に上り、玉掛け作業を行っていたところ、約4m下の地面に墜落した。	611	1	10 ~ 29
2007	8	4 ~ 5	大型トレーラーを運転していた被災者は、国道直線地点で対向車線にはみだし、対向車の大型トレーラーと正面衝突した。	221	17	10 ~ 29
2007	7	17 ~ 18	被災者はフェリー乗船港へ向かって自動車道を走行中、中央分離帯のボックスレールに衝突した。	221	17	10 ~ 29
2007	6	12 ~ 13	民有林の造材現場で原木(長さ3.2m、直径10~20cm)をローダーでトレーラー(10t)に積み込む作業を行っていた。被災者は、トレーラーに積まれた原木をトビにより、荷台上(高さ1.37m)でならしていた際、誤って荷台の原木の上から道路上に墜落した。なお、被災者はヘルメットを被っていなかった。	221	1	1 ~ 9
2007	12	13 ~ 14	被災者は、荷台スライド式車両運搬車(2tトラック)にトラクター・ショベル(機体総重量約3t)を積み込み、定位置に荷台をスライドさせようと油圧レバーを操作したが油圧ではスライドできなかったため、荷台に装着されているウインチをトラクター・ショベル運転席側の車体にフックを掛け、荷台をスライドさせていたところ、荷台と運転席キャビンの間にはさまれた。	221	7	1 ~ 9

2007	10	22 ～ 23	被災者は国道を走行中、センターラインをはみ出し、対向車のトレーラーと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2007	8	21 ～ 22	国道上において、反対方向から走ってきたトラックが対向車線をはみ出したため、作業者が運転するトラックと正面衝突した。	221	17	1～ 9
2007	10	21 ～ 22	構内にあったコンテナをトレーラーに積み込むため、構内貨物取扱業者の作業者がフォークリフトを運転し同コンテナを持ち上げたところ、隣に置いてあった2段積みコンテナの上部の空のコンテナが落下し、積み込み予定の同コンテナに封印環を取り付けようとしていた被災者に激突した。	611	4	100 ～ 299
2007	7	10 ～ 11	被災者はトラックの後部上方についているスモールランプを交換しようとして高さ2.3mのうまに乗り作業していたところ、トラックが急に前進したためバランスを崩し墜落した。	371	1	50 ～ 99
2007	3	10 ～ 11	被災者は引越し荷物を積んだ4tウィング車で本社を出発し、交差点を右折したところ、対向してきた4tトラックと衝突し、車外に放り出され自車とガードレールの間にはさまれた。	221	17	10 ～ 29
2006	11	14 ～ 15	バンタイプの貨物自動車を運行中、センターラインを超えて反対車線に進入し、大型車と正面衝突した。	231	17	1～ 9
2006	8	15 ～ 16	被災者は、飲料工場で大型トラックに荷を積み込み、作業終了後、片側2車線の道路を直進中、同工場付近の右カーブをブレーキ制動しないまま直進し、隣接の工場のフェンスを破り突入し、作業車に当たり停止した。	921	90	50 ～ 99
2006	1	11 ～ 12	出勤途中の電車内で苦しくなり、出勤後、会社でしばらく休んでいたが回復せず病院へ行くため早退した。帰途に最寄の駅近くで倒れ、救急車にて病院へ搬送されたが同日死亡した。	921	90	1～ 9
2006	12	10 ～	大型トラックが高速道路の下り線のほぼ直線の道路を走行中に、路肩に停止していた被災者のトラックの後ろに衝突した。	221	17	1～ 9

		11				
2006	4	22 ～ 23	貨物自動車でコンビニエンスストア配送センターを出発し、順にコンビニ店舗へ荷を降ろした後の帰路途中、路上において、相手方貨物自動車と正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2006	12	10 ～ 11	被災者は高速道路（片側2車線道路）を走行中、下り勾配左カーブを曲がり直線に入ったところで、追越し車線が規制され走行車線が渋滞しているのに気づき、急ブレーキをかけたが間に合わず、渋滞最後尾の大型トラックの左後ろをかすめて左側に回避した後、左側路肩の法面に左タイヤを乗り上げ走行し大型トラックとその前2台の車を避けたところで横転し、その前に停車していたライトバンに衝突した。	221	17	30 ～ 49
2006	5	9 ～ 10	貨物自動車が高速道路の路肩に停車しているのを交通機動隊に発見され、意識不明となっていた運転手は救急車にて病院へ搬送されたが死亡した。	921	90	50 ～ 99
2006	12	0 ～ 1	被災者は、被災当日朝に車庫を出発し、客先に荷物を運搬した。昼頃納品が終了したため会社に帰社する旨の電話を掛けた後、国道を空荷で走行中、信号待ちで停車していたトラックに後方から追突した。	221	17	1～ 9
2006	12	23 ～ 24	カゴ型台車（1.1×1.1m、重量約500kg）を一人でトラックに積み込もうとしていたところ、トラックの荷台の隙間にカゴ型台車が引っ掛かり、台車が転倒しその下敷きになった。	362	6	100 ～ 299
2006	12	11 ～ 12	被災者は一人で、2.9トン車両積載形トラッククレーンを用いて、無線操作によりテトラポット製造用型枠（幅2.16メートル、高さ2.08メートル、重量0.6トン）を荷台に積み込む作業中、荷台から降りようとしたところ、型枠が倒れ、あおり受けの中柱と型枠との間にはさまれた。	212	7	10 ～ 29
2006	12	5 ～ 6	被災者は配送のため自社4トン冷凍車を運転して事業所を出発し配送先に向かっていたが、交差点で信号待ちで停車していた大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9

2006	4	20 ～ 21	A支店所属の被災者は、A支店からバキュームカーを運転して客先に出張し、本社所属の作業員らと作業を行い、同社のB事業所に行って機材を降ろした後、午後6時頃、解散した。翌日、B事業所に隣接した川に当該バキュームカーが転落しており被災者が遺体で発見された。	221	10	～ 49	30
2006	12	8 ～ 9	高速道路の走行車線を大型貨物自動車が、前方を走行していた普通貨物自動車に追突した。	221	17	～ 29	10
2006	7	3 ～ 4	国道を4トントラックで走行中に、道路標識に正面衝突した。	221	17	～ 29	10
2006	12	14 ～ 15	被災者はダンボール製箱を納入するため、納品先へ4トントラックを運転し現地へ向かった。納品先へ到着し入場門守衛所前にトラックを止めて入門手続していたところ、止めた場所が下り坂であったためトラックが動き出し、被災者がトラックの後ろに回って止めようとしたが間に合わず、トラックのバンパーと納入先の公道を挟んだ向かい側にあるブロック塀との間に挟まれた。	221	17	～ 49	30
2006	12	3 ～ 4	国道の交差点上で、被災者運転のトラックが信号待ちをしていたトラック（13トン）に追突した。	221	17	～ 99	50
2006	11	20 ～ 21	被災者は工場敷地内土手上で転倒し、約2m下のコンクリートに滑落した。	417	1	～ 29	10
2006	12	3 ～ 4	荷受先に向かうため国道を4トントラックで運送中、交差点で信号待ちをしていた大型トレーラーに追突した。	221	17	～ 49	30
2006	12	5 ～ 6	大型トレーラーで道路を走行中、縁石に乗り上げ道路標識2本をなぎ倒して旅館に突っ込んだ。被災者（運転者）は車外に投げ出された。	221	17	～ 29	10

2006	11	19 ～ 20	1 tトラックの荷台から荷を降ろし配送用の荷物の仕分け作業を行っていたところ、ホームから地面に墜落（1 m強）した。	418	1	10 ～ 29
2006	12	5 ～ 6	被災者は2 tトラックを運転し、納入先に荷物を配送するため、事業場を出発し、三車線の高速道路の中央車線を走行していたところ、急に後部車輪がロックし、左側にハンドルを取られてガードロープに接触し、その反動で横転したところへ後方から走行してきた大型トラック（13 t）が避けきれずにキャビン部へ追突した。	221	17	30 ～ 49
2006	12	4 ～ 5	国道を運行中、交差点で信号待ちをしていたところ後続のトラックに追突され、前方に大型の先行車両が信号待ちで停車中であつたところに後続車両の追突により運転席側が先行車両に激突した。	221	17	100 ～ 299
2006	12	4 ～ 5	被災者は、木材を積み込んだ大型トレーラー（全長約16 m、最大積載量25 t）を運転し、目的地へ向かう途中、国道（片側1車線）の左カーブ（なだらかな下り坂）を曲がりきれず、反対車線を横切り、反対車線側の山の斜面に乗り上げた後、反対車線側の防護柵を突き破り、道路から約4 m下の空き地に転落した。	221	17	1～ 9
2006	12	12 ～ 13	被災者が運転するトラックが高速道路を走行していたところ、渋滞の最後尾のトラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2006	12	14 ～ 15	被災者ら2名が、上段2つ、下段2つ、計4つを1セットとして製品置場に仮置きしているコンクリート製の土留用U字溝（1つあたり2000×1280×1045 mm、1.23トン）を、つり上げ荷重2.8トンのトラッククレーンを用いて、同クレーンの荷台に積み込んでいた。被災者（オペレーター）が、上段のU字溝1つをつり上げ旋回したところ、上段のもう1つのU字溝が崩れ落ち、被災者を直撃した。	529	4	1～ 9
2006	12	9 ～	取引先事業場の駐車場に貨物自動車（最大積載量3.35トン）を停車させ、荷台に積載したオートバイのホイールを入れた可動式移動台車（約5	362	4	10 ～

		10	00kg) 6台をフォークリフトを使用して搬入作業中に、荷台から落下した台車の下敷きになった。			29
2006	12	6 ～ 7	インターチェンジ付近で本線への進入路を走行中、カーブを曲がりきれず、ガードレールに衝突した。	221	17	50 ～ 99
2006	12	5 ～ 6	被災者が3tトラックで国道を西に走行中、高速道路高架下で仮眠のため停車していた10tトラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2006	9	5 ～ 6	4トントラックにて、荷物を運搬する途中、高速道路パーキングエリア出口付近で、事故で渋滞していたトラックAに追突した後、当該パーキングエリアより出てきたトラックBに接触し、中央分離帯に衝突した。	221	17	30 ～ 49
2006	11	0 ～ 1	トレーラーの荷台で型枠用鉄板の積み込み作業中に荷崩れし地面に墜落し、鉄板の下敷きとなった。	521	5	10 ～ 29
2006	10	4 ～ 5	荷物を運ぶため国道を走行中、信号待ちをしていたトレーラーに後方から追突した。	221	17	1～ 9
2006	12	4 ～ 5	事業場へ熱延コイル(3コイル、25.5トン)を大型トレーラーで輸送中、国道の左カーブを曲がりきれず、対向車線にはみ出し、ガードレールを突き破って横転した。	221	17	300 ～
2006	4	10 ～ 11	被災者は、港で生石灰を積込みトレーラーを運転して目的地へ輸送中、降雪のため荷台のシート掛けを行っている最中に具合が悪くなり、運転席外のドアに寄りかかっているところを後続の同僚に発見され、救急車で搬送されたが死亡した。	921	90	10 ～ 29
2006	11	18 ～ 19	冷凍冷蔵品宅配センターの建屋内の構内において、ステンレス製箱(縦1.1m×横1.1m×高さ1.8m)の荷を積載して前進運転で走行していたフォークリフトにはねられた。	222	6	1～ 9

2006	11	15 ～ 16	高速道路において被災者の4 tトラックが追い越し車線走行中、同車線でライン引き工事を行っていた大型トラックに追突した。	221	17	100 ～ 299
2006	11	7 ～ 8	倉庫内にて、被災者は遠隔操作で荷出し作業中、フォークで右棚すくい中に荷姿異常が発生したため、確認しに吊り上げ荷重2.4トンスタッカークレーンの点検台に乗り、高さ約18mまで上昇し点検台から外に出て荷姿の確認を行っていたところ、コンクリート床に転落した。	211	1	100 ～ 299
2006	11	5 ～ 6	国道にて渋滞により停車中、後方より大型トラックに追突され、弾みで前方のトレーラーに衝突した。	221	17	1～ 9
2006	11	3 ～ 4	被災者はサッシガラスを運搬するために3 t車両積載形トラッククレーンで県道を西進中、市道を南進していた大型トラックが点滅中の赤信号を一時停止せず交差点へ進入したため、被災者の運転する車が大型トラックの側面へ衝突した。	221	17	1～ 9
2006	11	15 ～ 16	廃棄物（薄い木くずの束、1束約1 t）をトラック（最大積載量13.9 t）で運搬してきた労働者が、荷台の上で作業していたところ2段に積み上げられた木くずの1束が荷崩れした。被災者は荷崩れした荷に激突され、トラックの荷台から荷と一緒に墜落し、そのまま荷の下敷きとなった。	611	5	50 ～ 99
2006	11	4 ～ 5	前日の夕方に10トントラックに電化製品を積み込み、被災当日の午前1時すぎに自宅を出てトラック置き場へ行き、同トラックを運転して国道を走行中に、下り左カーブにおいて対向して来た砂糖運搬のトレーラーと衝突した。	221	17	10 ～ 29
2006	10	8 ～ 9	建設工事現場において、吊り上げ荷重2.93 tの車両積載形トラッククレーンで材料（合板49枚、約600キロ）を荷下ろし作業中に、吊っていた荷が足場の建地上部（約7 m）に触れたので回避しようと操作したところ、玉掛けしていた荷が崩れ落下し、荷台上にいた被災者に落下した。	212	4	10 ～ 29
			高速道路で10トントラックが乗用車に追突し、乗用車は大破し走行車線			

2006	11	2 ～ 3	上に斜めに停車した。その後、乗用車の前方にトラックを停車させ、トラックから降りて乗用車の後方に立っていたところ、走行車線を走行してきた後続の10トントラックに追突され、停車していた10tトラックと乗用車の運転手が死亡した。	221	17	～ 49	30
2006	11	23 ～ 24	4 tトラックを運転し、国道を目的地に向け走行中、反対車線を走行してきた3 t 保冷車がセンターラインを越えて正面衝突した。	221	17	～ 29	10
2006	11	5 ～ 6	国道の走行車線で、被災者の運転する大型トラック（14.5トン）が渋滞中の車列に衝突し、計3台が絡む交通事故となり、被災者と衝突されたトラックの運転手の2名が死亡した。	221	17	～ 49	30
2006	11	0 ～ 1	被災者はトラックで高速道路の追越車線を走行中、走行車線側に車線変更しようとした際に、走行車線を走行していた軽自動車と接触し、さらに道路の側壁（防音壁）に正面から衝突した。	221	17	～ 99	50
2006	10	22 ～ 23	被災者は、中型トラックで客先に電機関係部品を運搬中、国道の交差点において、赤信号で停止していた大型トラックに追突した。	221	17	～ 49	30
2006	11	13 ～ 14	クレーンアーム付きフォークリフトにて、重さ約200kgの油圧ポンプを吊りながら搬送中、被災者は荷が揺れないよう歩いて支えていたが、途中で転倒し、フォークリフトに激突された。	222	6	～ 49	30
2006	10	15 ～ 16	被災者が台車からトラックに貨物を積み替え中、貨物1個が川に落下したため、被災者が回収しようと、川に入り貨物に向かい泳いで行ったが、川の中央付近で溺れた。	713	10	～ 299	100
2006	10	3 ～ 4	被災者は目的地へ向けてトレーラーを運行中、国道で左カーブを曲がりきれず、右側に横転し、被災した。	221	17	～ 49	30
2006	10	7 ～	スーパーへ卵を輸送するため4 tの保冷車を運転し、高速道路の追い越し車線を走行していたが、走行車線へ車線変更したところスリップし、左側	221	17	～	10

		8	のガードロープに接触し転倒した。			29
2006	1	11 ～ 12	車検を実施した自動車を客先に届けるため高速道路を走行中、センターラインをオーバーして対向車と正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
2006	10	11 ～ 12	国道上で渋滞のため停止していた被災者を含む3台の後方から停止のため減速していたトラックにさらに後方から来たトラックが追突し、5台の多重追突事故が発生した。被災者は2 tトラックを運転しており、救急車で搬送する途中、死亡した。	221	17	1～ 9
2006	10	21 ～ 22	勤務先から目的地へ14トントラックにて荷を取りに行く途中、左カーブで反対車線のガードレールを突き破り、約6mのがけ下へ転落した。現場は蛇行が続く山道であった。	221	17	1～ 9
2006	10	11 ～ 12	高速道路の出口で、信号待ちで停車していたトラック（13トン）に、被災者の運転するトラック（3.3トン）が追突した。	221	17	30 ～ 49
2006	10	23 ～ 24	目的地まで荷物を搬送するため、国道を走行中、交差点で信号待機中の2台のトラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2006	10	18 ～ 19	被災者は物流センターのプラットホームに4トントラックを着ける前に、プラットホームの前でバックしていたトラック荷台後部の観音開き扉を開けていたところ、駐車レーン横の柱と開けた扉の内側の間に挟まれた。	221	6	10 ～ 29
2006	10	11 ～ 12	配送の準備のため、トレーラー（空コンテナ2台連結）を目的地まで運搬し、同僚が前部トレーラーの補助脚を立てた後、被災者が運転席を降り、カプラー（トレーラーとの連結）を外した所、僅かの傾斜でトラクター（運転台）が前に動き出したため、止めようと運転席のドアを開け乗り込もうとしたとき、ドアが建物の壁に当たり、ドアにはさまれた。	221	7	10 ～ 29
2006	7	18	倉庫内にて大型トラック（10 t）の半分くらい荷積みした頃、荷台の右側に立てかけてあった当て用のベニヤ約10枚が倒れ掛かり、ベニヤに押	522	5	1～ 9

		19	されるように荷台から路面に落ちた。			
2006	8	8 ～ 9	配達中の運転者が体調不良で店社に応援を求めた。応援に駆けつけた同僚が意識のない被災労働者を発見した。	921	90	30 ～ 49
2006	10	9 ～ 10	被災者は4トントラックに空パレット（金属製：85キロ）を26個積み、午前9時すぎ、目的地に到着した。既に別のトラックが規定の場所で荷卸作業をしていたため、直前の通路にトラックを駐車し、ここで荷卸作業を開始した。フォークリフトは同僚が運転し、被災者は荷卸している荷台の反対側にいたところ、フォークリフト作業の影響で被災者側の一列（10個）が落下し、被災者を直撃した。	611	4	50 ～ 99
2006	9	17 ～ 18	商品を引き取りに行き、県道を2トントラックを運転して事業場へ戻る途中、下りの左カーブを廻りきれずに横転し、反対車線の電柱に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2006	9	8 ～ 9	出張先構内において、荷物（家畜用飼料、一袋約40kgの布製）をトラックに積み込む作業を終え、荷台上で荷物を治具（手鉤）にて整えていたところ、治具が荷物に完全に引っかかっていない状態のまま整えようとしたため、その反動でトラック後部から地面に約2m転落した。	221	1	10 ～ 29
2006	9	15 ～ 16	被災者は倉庫内において、荷の積み込みのため、バッテリー式のフォークリフトを運転してバックしたところ倉庫の柱に激突した。	222	3	50 ～ 99
2006	9	4 ～ 5	国道をトラックにて走行中、交差点で信号待ちをしていたトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2006	9	6 ～ 7	10tダンプで建設現場に砂を運搬するため、国道を走行中、トンネル出口付近において、センターラインを越えて対向してきた4tトラックと正面衝突し、双方の運転手が死亡した。相手方運転手は冷凍食品を運搬中であつた。	221	17	30 ～ 49

2006	9	20 ～ 21	8. 7トントラックで荷を運搬中、国道の左カーブ下り坂にて、センターラインを超えて反対車線の道路脇コンクリート壁に激突した。	221	17	50 ～ 99
2006	9	13 ～ 14	午後12時30分頃、配送作業を終え、帰社途中に高速道路において、3車線の一番左の車線を走行中、故障のため停車していたトレーラーに追突した。	221	17	1～ 9
2006	8	1 ～ 2	4tトラックに荷（家具）を積み、会社を出発し、高速道路を走行中、前方を走行していた10tトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2006	9	13 ～ 14	被災者は配送先から会社に帰るため、国道を走行中、信号待ちで停車していたトラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2006	9	14 ～ 15	コンクリート製品製造工場の製品置場で、車両積載形トラッククレーンにより、L字型コンクリート製品（高さ1.75m、底辺2m、重さ約1.7トン）を荷台に積み込み、荷外し後、クレーンのブームを上げたところ、荷台上でクレーンをリモコン操作していた被災者に当該製品が倒れ掛かり、積載済の製品との間に挟まれた。	212	6	10 ～ 29
2006	2	15 ～ 16	構内において被災者がトラックを送り出す合図をしているときに、付近で別の作業をしていた労働者が運転するフォークリフトが後退し、被災者が轢かれた。	222	6	100 ～ 299
2006	9	4 ～ 5	高速道路を目的地へトラックにて走行中、停車中の車両に追突した。	221	17	100 ～ 299
2006	9	6 ～ 7	国道のトンネル出口付近で、被災者が運転する4トントラックと建設会社の土砂運搬用ダンプが正面衝突を起こし、双方の運転手2名が死亡した。	221	17	10 ～ 29
		5	出勤時間が1時間遅れた被災者は、4トントラックを運転して、定時に出			50

2006	7	6	～	発した先行車の手伝いに向かっていたところ、停車中のトラックに追突した。	221	17	～	99
2006	8	20	～	翌日の運行の準備のため被災者がコンテナに乗ったとき、サイドブレーキの引きが甘く、当該トラックが停車している場所に多少の傾斜があったため、トラックが後方に走り出し、被災者はコンテナから慌てて降りたが、後方に走るトラックをよけきれずに、地面とトラック下部にはさまれた。	221	7	～	99
2006	9	1	～	高速道路のカーブにおいて、被災者運転のトラックが横向きの状態で下り線2車線をふさぎ、そこに後続のトラック等が次々と衝突し、被災者が死亡した。	221	17	～	49
2006	9	1	～	先頭を走っていたと見られる大型トラックがスリップし、横転したところに、後続の車両が次々と衝突、被災者のトラックを含む計21台が絡む多重事故となり、被災者が死亡した。	221	17	～	49
2006	9	14	～	国道で、被災者がトラックを運転中、信号待ちしていたトレーラーに追突しかけたためとっさに避けようとしたが追突し、追突後もそのまま左斜め前方に前進し約30m先の縁石に衝突した。	221	17	～	29
2006	8	0	～	医薬品搬送のため、4tトラックを運転し、国道を目的地へ向かう途中、停車中の大型トラックに追突した。	221	17	～	29
2006	9	11	～	2tトラックで宅配便の集配作業中、国道から集荷取次店のガソリンスタンドに入ろうとしたところ後続の大型トラックに追突された。	221	17	～	49
2006	5	2	～	出荷の為、普通貨物自動車により港へ向かう途中、信号待ちで停車中の大型貨物自動車に追突した。	221	17	～	29
2006	8	7	～	構内の出荷場を歩いていたところ、後退してきたフォークリフトの左後輪に轢かれた。	222	7	～	10

		8				29
2006	6	22 ～ 23	国道を大型トレーラーに鋼材（型鋼）を積んで走行中、急ブレーキをかけたところ、積荷の鋼材が前方にずれ運転席を押し、運転者がハンドルとシートに挟まれた。	221	17	～ 29
2006	8	6 ～ 7	タンクローリーを運転し、事務所向かい国道を走行中、対向車線にはみ出し、トラックと正面衝突した。	221	17	～ 49
2006	8	5 ～ 6	高速道路のカーブを曲がりきれなかったトラックが、ガードレールに衝突し横転した。そのため、トラックの運転手がトラックから投げ出され、運搬していた塩化ビニール（粉末状）が運転手にかかった。	221	17	0
2006	6	6 ～ 7	国道を4トントラックで運転中、駅前の信号機に激突した。	221	17	～ 29
2006	8	3 ～ 4	被災者は新聞の折り込み広告を販売店に荷下ろし後、路上に駐車していたトラックに戻ろうとしたところ、後方から来たワンボックスカー（飲酒運転）がトラックの後部に追突し、その弾みでトラック前方を歩いていた被災者がトラックの下敷きとなった。	231	17	～ 299
2006	6	5 ～ 6	前日の20時に出社し、トラックに乗り引越し先へ向かって高速道路を走行中、インターチェンジ付近で事故で渋滞していた最後尾の車に追突した。	221	17	～ 29
2006	8	9 ～ 10	トラックから荷降ろしした際、散らかった古紙を清掃中、脇にあった古紙のはいが崩壊し、下敷きとなった。	611	5	～ 49
2006	8	8 ～ 9	1. 5トントラックを運転し、当事業場から目的地へ自動車部品の納品のため、片側三車線の高速道路を走行中、事故渋滞で中央の車線で停車していたところ、後方からきた大型トラックに追突された。この追突により渋滞で車列していた計7台の自動車が玉突き事故となった。	221	17	1～ 9

2006	7	21 ～ 22	高速道路で目的地に向かう途中、左側壁に衝突し、はねかえり中央分離帯に衝突後、また、はねかえり左側壁に衝突した。	221	17	～ 29	10
2006	7	5 ～ 6	荷物を、目的地へトラックにて輸送中、高速道路のトンネル内の右追い越し車線に故障停車していたトラック（運転手は退避）に後方から激突し、そのはずみでトンネルの左側壁に激突した。	221	17	～ 49	30
2006	8	4 ～ 5	乳製品を積んで目的地に向かっていた大型トラックと対向してきた普通乗用車が正面衝突し2台とも5～10m下の崖下に転落した。	221	17	～ 29	10
2006	7	2 ～ 3	11t冷蔵トラックを運転中、燃料切れで路側帯に3分の1程度入って停車していたトレーラーに追突した。	221	17	～ 49	30
2006	7	14 ～ 15	金属製の空ドラム（電線ケーブルを巻くためのもので、直径2.4m、重量500kg）を小型移動式クレーン（トラッククレーンで吊上荷重2.9t）で荷台に積み込み中、ドラムから玉掛け用のハッカーを外し、ジブを回転させたところ、ハッカーがドラムの一部に引っかかり被災者側に倒れ、ドラムと荷台のアオリに挟まれた。クレーン操作はリモコン式で、被災者が玉掛けを兼務していた。	372	5	～ 49	30
2006	8	14 ～ 15	国道を被災者が4tトラックで走行していたところ、赤信号のため停止していた大型トラックに追突した。	221	17	～ 49	30
2006	7	15 ～ 16	被災者とその同僚3名が、2階作業場にある旋盤を1階に降ろすため、荷物用エレベーターに旋盤を載せたところ、搬器が落下した。荷降口から搬器の外に出ようとした被災者が搬器の上部フレームと2階床との間にはさまれた。	214	7	1～ 9	
2006	7	9 ～ 10	国道のトンネル内を目的地へ配達する為に走行していたところ、トンネル出口の信号で渋滞し、停止していた車輻に追突した。	221	17	～ 29	10

2006	6	12 ～ 13	小学校の耐震工事の納品のため現場に入った納入業者の運転者が、校内に入 ってトラックを止めて門を閉めようとしたところ、無人のトラックが傾 斜地を動き出して約30メートル後退し、運転者が轢かれた。	221	6	1～ 9
2006	7	14 ～ 15	輸出用の発電所に使われる配管（直径0.6m、長さ3m、重量1395 kg）が梱包するため仮置きしてあったが、不具合を直すために製造した 工場に戻すため、梱包する会社の労働者がフォークリフトでトラックに1 本目を積み込み、車体に載せたところ爪の上を転がって車体の外に落下し た。転がった時にトラック運転手が抑えようとしたが、管が運転手の体の 上を転がる形となり死亡した。	222	4	10 ～ 29
2006	6	5 ～ 6	トラックにより目的地に向かう途中、高速道路インターチェンジ付近の料 金所のコンクリートガードに接触しながら、ETCゲートを通り過ぎ、約 70mを走行し道路わきのガードレールを突き破って、約4m下方の市道 に転落した。	221	17	1～ 9
2006	7	13 ～ 14	工場内で、12.5tトラックから大型ダンプ用タイヤ（直径1.8m、 重量370kg）をフォークリフトで積卸す作業中、付近で別作業をして いた労働者がトラックの荷台の下で横たわっている被災者（トラック運転 手）を発見した。トラック荷台には立て掛けてあったはずのタイヤが倒れ ており、その下から被災者のヘルメットが発見された。	611	5	100 ～ 299
2006	7	11 ～ 12	被災者は、積載重量7トンのトラックを運転し、片側一車線の国道上を事 業場へ戻るため走行中、左カーブに差し掛かったところ、対向車線を走行 してきた積載重量2トンのトラックが、カーブを曲がりきれずに対向車線 まではみ出して、正面衝突した。	221	17	1～ 9
2006	7	4 ～ 5	被災者は、保冷車（4t）にて目的地へ向うため県道を走行中、信号の無 い交差点を通過しようとして直進したところ、一旦停止表示のある右側の道路 から交差点に進入してきた乗用車の左前部と保冷車の右前部が衝突し、は ずみで保冷車のドアが開き、被災者はシートベルトを着けたまま座席を外 れてドアに挟まれた状態となった。	231	17	30 ～ 49

2006	7	17 ～ 18	牛の飼料を酪農家へ運搬した後、目的地から会社に戻るため国道を走行中、右カーブにおいて対向車線を走行してきた4 t ダンプがセンターラインをはみ出し正面衝突した。	221	17	～ 29	10
2006	7	6 ～ 7	大型トラックを運転し、高速道路を走行中、事故渋滞で徐行していた前方のトラックに衝突した。	221	17	～ 299	100
2006	5	11 ～ 12	取引先で、20トン平ボディトラックに古紙の積み込み作業中、荷台の古紙にシートを掛けていたところ荷台から足を滑らせ高さ約3メートルのところから落下した。	221	1	～ 299	100
2006	7	2 ～ 3	大型トレーラーにより目的地まで集成材を運搬中、通常の経路が土砂崩れで通行止めとなったため、う回して、国道を走行中、左カーブを曲がりきれず対向車線のガードレールに衝突して横転、運転者と同乗の助手が車外に投げ出された。	221	17	9	1～
2006	6	20 ～ 21	トレーラーにて目的地へ向かうため、高速道路のトンネル内の走行車線を走行中、右前輪がバーストし、右側にハンドルを取られトンネル内の右壁に激突、その状態でトンネルを通過し上り車線と下り車線の間にあるコンクリート壁に激突した。	221	17	29	10 ～
2006	6	11 ～ 12	被災者は、目的地へ産業廃棄物12トンを積んだ20トントレーラーを運転して県道を走行中、カーブを曲がりきれずに約3メートル下の田に転落した。	221	17	29	10 ～
2006	7	19 ～ 20	県道を南進中、左キャビンが側壁に衝突し、左前輪が側溝に落ちたまま走行を続けていたが、左カーブを曲がりきれず直進し農機具庫に衝突後、休耕田に転落した。	221	17	49	30 ～
2006	6	8 ～ 9	牛の飼料である牧草を大型トレーラーにより運搬してきた被災者が、トレーラー後部扉付近で血を流して座り込んでいるのを、出勤してきた職員が発見した。被災者発見時、トレーラー後部扉は開いており、飼料（牧草1塊約400キロ）の一部が被災者横に崩れ落ちていた。	221	6	9	1～

2006	7	9 ～ 10	被災者は建設現場に仮設通路用の鉄板をポールトレーラーを使用して運送していたが、傾斜角5度の通路上でポールトレーラーのドロバーの短縮作業を行っていた際にトレーラー部が下方に滑ったため、トレーラー後部とドロバーとの間に挟まれた。	221	7	～ 29	10
2006	6	14 ～ 15	宅配便のトラック運転手である被災者が、トラックを道路脇に止め、荷台の後部にまわって荷物を積み込んでいたところ、他者の運転する乗用車が追突し、トラックと乗用車にはさまれた。	221	17	～ 29	10
2006	5	7 ～ 8	高速道路を走行中、大型車3台による交通事故が発生した。被災者のトラックは、前から2台目を走行していた。	221	17	～ 299	100
2006	5	17 ～ 18	被災者は国道を走行中、長い下り坂でカーブを曲がりきれずに、横転・転覆しガードレールを突き破り、がけ下まで転落し炎上した。	221	17	～ 99	50
2006	6	13 ～ 14	被災者は、トラック（11t）の荷台に乗せた馬を降ろす際、馬を繋いでいた紐を解くため、トラック側面のパイプに足をかけ、横張りのワイヤに掴まり解いていた時、掴まっていたワイヤが切れてコンクリート床面に転落した。	221	1	～ 49	30
2006	6	1 ～ 2	被災者が運転していた大型トレーラー（海上コンテナ用）が、国道の右カーブを走行中、左に外れ、民家に激突した。	221	17	～ 299	100
2006	6	13 ～ 14	被災者はトラックへ引越しのための積み込み作業が完了し、当該トラックが方向転換するので、安全確認のために当該トラックの後方へ移動し、誘導している際に、後進中の当該トラックと電柱に挟まれた。	221	17	～ 29	10
2006	5	17 ～ 18	目的地へ購入した普通貨物車を運転して運搬中、交差点において大型トラックに追突した。	221	17	9	1～
		4	被災者の自宅から2tトラックを運転して配送先へ向かう途中の国道の交				1～

2006	6	5	～	5	差点において、赤信号で停止していた10 tトラックに追突した。	221	17	9
2006	5	4	～	4	被災者が運転するトラックが、片側一車線の道路を走行していたところ、対向車線を走っていたトラックが反対車線にはみ出し、被災者のトラックと衝突した。	221	17	50 ～ 99
2006	3	22	～	21	翌日午前4時までには目的地へ採石を運ぶため、被災者は採石を積んだダンプトラックを運転し自宅を出発し走行途中、ダンプトラックが横転した。	221	17	1～ 9
2006	5	16	～	15	被災者が天井クレーン（床上操作式、定格荷重2.8 t）を用いて重量1 tの鉄板1枚を10 tトラックに積み込む作業中、鉄板に開けられたねじ穴4箇所のうち対角線上の2箇所にM16のアイボルト2個をねじ込み、2本つり用のフック付きチェーンスリングのフックを掛けて、高さ約2 mまで吊り上げたところ、手製のアイボルトが鉄板から抜け、バランスを崩したつり荷が被災者に激突した。	372	4	10 ～ 29
2006	5	3	～	2	納品先へ4トントラックにて道路上を走行中、渋滞があり停車していたところ、後続車の大型冷凍車が被災者車両に追突し、前方に停車中の大型車との間にはさまれた。	221	17	1～ 9
2006	5	18	～	17	工場で缶飲料を積み込み、別工場へ向かう途中、大型トラックに掛けたシートのゴムが一箇所外れていたため、県道の路側帯（幅の広い路側帯でトラックのボディははみ出していなかった）にトラックを止め、車体右側のゴムを掛け直していたとき、後方から来た軽乗用車にはねられた。	231	17	10 ～ 29
2006	5	11	～	10	納入先の工場において7トントラックから納入品のドラム缶を降ろす作業にあたり、荷台からドラム缶を降ろす前に納入先の荷卸ろし作業者が入荷指示リストと納入品を照合するため、ドラム缶の側面に張られているラベルを確認しようとしたところ、ラベルが荷卸ろし作業者の位置から確認できなかったため、被災者がドラム缶を回転させようとしたところ、バランスを崩し、ドラム缶と共に墜落した。	221	1	1～ 9
		19						10

2006	5	～ 20	商品配送後、帰社するために国道を4トントラックで走行中、対向車線からワゴン車が中央分離帯を乗り越え、正面衝突した。	231	17	～ 29
2006	5	～ 2	前方を走行していた大型トレーラーがスリップして側壁に衝突し、走行車線をふさぐ形で停車したところへ後続のトラック等9台が次々に追突し、	221	17	～ 49
		3	最後尾で衝突した大型トラックを運転していた被災者が死亡した。			
2006	4	～ 3	2 高速道路を運行中、休息を取ろうとパーキングエリアに進入したところ、同パーキングに停止中の車両に追突した。	221	17	～ 49
2006	3	～ 15 16	青果を積んだ大型トラックを運転して、目的地に向かっていた。高速道路上で行われていた道路工事で車線が制限されて狭隘になっていたところを走行中、右側の工事用防護柵の柱に運転台右前角が激突し、運転台が破損して被災した。	221	17	～ 49
2006	3	～ 3 4	被災者の運転する普通貨物自動車が、交差点手前で信号待ちのため停車していた大型トレーラーの後部に追突した。	221	17	～ 49
2006	4	～ 3 4	荷物を取りに目的地へ向かうためトレーラーで国道を走行中、前方を走行していたトレーラーが喫茶店に入るため左折しようとした際、被災者の運転するトレーラーが追突した。	221	17	1～ 9
2006	5	～ 15 16	被災者は一人で事業場の車庫内において、自分が使っているセミトレーラーの工具箱をのせる台を改良するため、溝型鋼をガス溶断し、着火したままの吹管を床に置いていた。この後、荷台に置いていた塗料を入れたポリ容器と16Lのシンナー缶を倒し、シンナーを体に浴びた被災者の体にガス溶接装置の火が引火した。	512	16	～ 29
2006	5	～ 13 14	被災者は搬送先において単独で荷下ろし作業を行っていたが、倒れた荷の下敷きとなっているところを発見された。荷は、コンプレッサーの防音材を入れた箱が10個載った台車（台車を含む総重量311kg）で、当日この台車を10台下ろす予定であったが、9台目の台車を下ろす際に被災	611	6	～ 29

			した。			
2006	4	4 ～ 5	4トントラックに荷物を積んで次の目的地に帰るため、国道を運転中、反対車線の大型トラックがセンターラインを越えて来て正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2006	5	10 ～ 11	被災者は、家畜飼料（1袋：500kg）の出荷のため、フォークリフトでトレーラーへの積み込み作業を行っていた（2本のツメに1袋ずつ、計2袋・1トン）。その際、荷を吊った状態でツメを高さ約4mまで上げ、その状態でハンドルを左に切りながらバックしたところ、バランスを崩し転倒、地面とフォークリフトの間に挟まれた。	222	2	300 ～ 499
2006	4	10 ～ 11	集配業務に従事していた被災者が、荷降ろしする前にトラック後方の扉（観音開き2枚連結扉）を開こうとした際、強風によって押し戻された扉に激突され、その衝撃でアスファルト地面に打ちつけられた。	719	6	100 ～ 299
2006	2	23 ～ 24	被災者は15tトラックに乗り、午後5時頃出発し、午後11時10分頃、高速道路のサービスエリア入口にて、被災者の乗るトラックが柱に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2006	4	5 ～ 6	被災者は、最大積載量約13トンの飼料運搬車にて、鶏の飼料を高さ約8mのサイロに投入する業務に携わっていた。同僚が、別の飼料運搬車で運搬に訪れたとき、被災者が、サイロと運搬車の間で、死亡しているのを発見した。	418	1	10 ～ 29
2006	4	11 ～ 12	被災者は、荷受け先所属労働者にトラック左後方で血を流し倒れているところを発見された。倒れていた周辺には、荷の間仕切り用のベニヤ板等（1m×2m×厚さ1cm）が散らばっていた。	719	2	10 ～ 29
2006	4	4 ～ 5	被災者は、事業場を出発し、荷積みを行なった後、各地で荷降しを行い、国道を走行中、対向してきたトラックと正面衝突した。	221	17	1～ 9
		12	高速道路において、被災者は運転するトラックがパンクしたので、路側帯にトラックを止め、ハザードを点灯させた後、レッカー車の到着を待った			100

2006	4	13	め、トラックの前方約26mで待機していたところ、後方より別のトラックが、被災者が運転していた停車中のトラックに追突し、その勢いで追突されたトラックが前に飛び出し、被災者が側壁と追突されたトラックの間に挟まれた。	221	17	299
2006	4	13	10トントラックで野菜・果物を市場などへ運送中、高速道路上のトンネル内で逆走してきた乗用車と正面衝突した。	221	17	1~9
2006	4	4	被災者は1人で水洗金具等の製品を積んだ4tトラックにて所属事業場を出た、翌日、客先の事業場へ搬送後、ダンボールの空箱を積み込み、帰路についた。国道を走行中、前方の4tトラックが右折のために停車したところに後方から追突し、死亡した。	221	17	10~29
2006	3	11	移動式クレーン（つり上げ荷重16トン）を使用して、番線で結束した単管（直径48ミリメートル、長さ4.5メートル）100本（約1.2トン）を、つり上げ所定の位置に降ろそうとしていたところ、地上から約7	212	4	30~49
2006	4	19	メートルの高さにあったつり荷が突然落下し、ちょうどつり荷の下をくぐるろうとした被災者がつり荷の下敷きとなった。			
2006	4	20	トラクターショベルを移送するために、荷台傾斜式貨物自動車（セルフローダー）の荷台を傾斜させて積載後、被災者が荷台後部で道板の収納作業をしていたところ、荷台に積載したトラクターショベルが動き出し、被災者がひかれた。	141	7	10~29
2006	4	16	被災者は、倉庫内にて、パレットラックの2段目（高さ約2.8m）に保管していたプラスチックコンテナ（重量約15kg、パン原材料）を降ろすため、フォークリフト（1.5t）の爪に差込んだパレットを作業床として作業を行っていたところ1.3mの高さから転落した。	222	1	30~49
2006	3	16	引越しの荷を積んで被災者と助手の2名で高速道路を走行中、渋滞で停車中のトラックに追突し、運転していた被災者が死亡した。	221	17	50~99
		5				30

2006	4	～ 6	12トントラックで高速道路を走行中、前方を走行していた10トントラックが道路左側のガードレールに激突して横転し、これに追突した。	221	17	～ 49
2006	3	8 ～ 9	被災者は、配達先で、コンクリート二次製品の荷卸しのため、トラックを路肩に駐車し、荷台後方に回ったところ、トラックが後退を始め、逸走したトラックとともに2.5m下の草地に転落した。	221	1	～ 49
2006	3	23 ～ 24	国道をトラックにて走行中、交差点にて対面走行してきたトラックに正面衝突した。	221	17	～ 29
2006	4	21 ～ 22	積荷（鮮魚）を客先へ配送する途中、被災者が運転する20トントラックが、前方を走行していた大型トレーラーに追突した。	221	17	1～ 9
2006	3	11 ～ 12	被災者は、4tトラックにて客先に積荷を配達した後、会社に帰ろうと国道を走行中、センターラインをオーバーした対向車（普通乗用車）と接触し、更に50m程走行した後に道路脇の法面からトラックごと転落し電柱に激突した。	231	17	～ 29
2006	3	13 ～ 14	工場敷地内のコンテナスロープ前に停車した積載荷重20tのトレーラーのコンテナ内において、カウンターウエイト（重量1435kg×3台）を荷卸し中、別会社所属の労働者が運転するフォークリフトが後進し、フォークリフトと内壁の間にはさまれた。	222	7	1～ 9
2006	2	9 ～ 10	道路上を走行していた被災者は、トンネル内で対向車（軽四貨物車）がセンターラインを越えて来たことに気づきブレーキをかけ、左側の歩車道境界ブロックをこすりながら避けようとしたが、正面衝突し被災した。	231	17	～ 29
2006	3	5 ～ 6	被災者はトラックを運転して一般道を走行中、緩い右カーブにて左側のブロック塀に激突し、そのはずみで反対車線に飛び出し、歩道との間のガードレールに激突した。その際に被災者は運転席から外に投げ出され、自分が運転していたトラックに轢かれた。	221	17	～ 99
		12				50

2006	3	～ 13	4トンウイング車両にて走行中、カーブでハンドルをとられスリップし、運転席側を下に横転、そのまま路外に逸脱して電柱に激突した。	221	17	～ 99
2006	3	～ 4	3 国道の交差点で、信号待ちをしていた停車中のトレーラーに新聞を配送していた3トントラックが追突し、3トントラックを運転していた被災者が死亡した。	221	17	～ 29
2006	3	～ 11	最大積載量4トンのトラックを倉庫のヤードに駐車して、荷の積み下し作業を行っていたところ、同トラックがヤードから道路側に前進しはじめた。それに気づいた運転手がトラックを止めようとトラック前面にまわりトラックを押したが、トラックを止められず道路向い側に駐車していたトラックの荷台に激突し、運転手が間に挟まれた。	231	6	～ 99
2006	2	～ 5	被災者は納品先よりトラックで帰路中、高速道路上で前走のトラック2台が接触転倒したところに追突した。また後続のトラック1台も追突し、トラック4台の多重追突交通事故が発生した。被災者が乗車していたトラックと他1台より出火炎上し、被災者は車両に取り残されていたため死亡した。	221	17	～ 99
2006	3	～ 19	18 トレーラーの荷台に鋼材（1本あたり長さ6m、重さ2t）を5本乗せ、うち鋼材2本についてロープ掛けを行っていたところ鋼材のバランスが崩れ鋼材の下敷きになった。	363	4	～ 29
2006	2	～ 19	18 フォークリフト（リーチ形・最大荷重1.5t・立位運転）を使用し、トラックに積まれた荷（広告紙）を下ろし、倉庫に運搬する作業中、被災者が同フォークリフトを後進させたところ、同トラックの後部端に激突した。	222	3	～ 49
2006	2	～ 5	4 4tトラックを運転して電線を運搬する途中、国道を走行中に反対車線にはみ出し、対向して来た大型トラックの側面に衝突した。	221	17	～ 9
2006	2	～	19 構内において、トラックの荷台に配電盤を積み込み、あおりを下げた状態で荷台に上がり荷締めを行っていたところ、約1メートルの高さから墜落	221	1	～

		20	した。			49
2006	2	18 ～ 19	トレーラーに荷積みを終え、荷と荷の間に挟んでいたりん木に足を乗せ荷締め作業を行っていたところ、りん木から足を踏み外し、地面に墜落し被災した。	221	1	30 ～ 49
2006	2	10 ～ 11	ワンボックスカー（最大積載量1000kg）で宅配便の荷物を配達中、配達先の事務所の前のスペースに当該車両を止め、荷を卸すため荷台に入ったところ、車両が動き出したため荷台から飛び降り車両を支えようとした。しかし、車両を支えきれず車両に押されて、事務所前の斜面を降り、道路を横断し、工事現場のバリケードを突破し、現場にあった25tラフテレーンクレーンのアウトリガーと当該車両との間に挟まれた。	221	7	1～ 9
2006	2	9 ～ 10	倉庫からパレットに載せてあるオイルの入ったドラム缶（1本が約200kg）をコンテナに積み込むため、被災者はフォークリフトを使用して倉庫からコンテナ付近まで運搬、同僚はそれをコンテナに積み込んでいたが、被災者がドラム缶を運搬してこなくなったため、同僚が倉庫に確認しに行ったところ2段目のパレットでドラム缶に挟まれている被災者を発見した。	611	5	10 ～ 29
2006	2	6 ～ 7	大型トラックを運転して港へ飲料水を運ぶ途中、国道において左カーブを曲がりきれず、右側へ横転し、そのまま対向車線のガードレールに衝突した。	221	17	1～ 9
2006	2	7 ～ 8	4tトラックに積荷（電子部品約300kg）を積んで高速道路を走行中、トンネル手前の緩い左カーブで、中央分離帯のガードレールに激突する単独事故を起こし、はずみで運転席から車外に転落した。	221	17	10 ～ 29
2006	1	10 ～ 11	短辺1m長辺2m高さ2.7mの15段重ねにした金属製パレットをフォークリフトのフォークに載せ作業床とし、当該作業床に被災者を乗せ高さ約3mまで上げた状態で、長さ4.4mの木製棒を用いて高さ7.1mの倉庫の屋根の軒先の雪落とし作業を行っていたところ、落下した雪が被災者に当たり当該作業床から墜落した。	222	1	30 ～ 49
			被災者は、国道に10トントラックを止め停車し、所用をすませ、運転席			

2006	1	4 ～ 5	に帰ろうと自分のトラックの右前方で横を通過する車を待っていたところ、大型トラックが被災者のトラックの後部に追突。被災者は、自分のトラックの前輪に轢かれた。	221	17	10 ～ 29
2006	1	8 ～ 9	県道を直進していた被災者の乗用車と反対車線で右折しようとした乗用車が衝突した。	231	17	50 ～ 99
2006	1	20 ～ 21	配送を終え、最大荷重1.5tのフォークリフトを運転し、トラック荷台のパレットを倉庫(32m×41.5m)内に降ろし、倉庫内の所定駐車位置に前進で移動中、マスト部が建物柱に激突した。その弾みで、フォークリフトが横転し、ヘッドガードの下敷きとなった。	222	3	10 ～ 29
2006	1	13 ～ 14	国道で、被災者が運転する4トントラックが、道路左側のコンクリート壁に衝突したはずみで対向車線側のガードレールに衝突した。	221	17	10 ～ 29
2006	1	5 ～ 6	化学薬品を積載した貨物自動車(最大積載量7.1トン)を運転し、国道の緩やかな右カーブの下り坂を走行中、道路左側の橋の欄干を突き破り、がけ下に約8メートル転落した。運転者は車外に投げ出された。災害時は気温-5度であり、橋の上の路面は凍結していた。	221	17	50 ～ 99
2005	8	23 ～ 24	国道を大型トラックで走行中、赤信号で停車中の他の大型トラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2005	8	5 ～ 6	トラックを運転して国道を走行中、対向してきたトレーラートラックに積んであったアース・ドリルの折りたたみ式ブームが被災者が運転するトラックの前方にはみ出したため、これに激突した。	221	17	10 ～ 29
2005	11	5 ～ 6	冷凍トラックで国道を走行中、センターラインをはみ出して、対向して来た他のトラックと衝突した。	221	17	50 ～ 99
		11				

2005	10	～ 12	トラックに空ビンの荷積み作業中、荷台から地面に転落した。	221	1	1～ 9
2005	4	13 ～ 14	大型トラックで国道を走行中、交差点で信号停車中の大型トラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2005	6	2 ～ 3	トラックで高速自動車道を走行中、追突事故のため走行車線に停車していたトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2005	6	23 ～ 24	大型貨物自動車を運転中、道路工事に伴う片側交互通行のため停車していた別の大型貨物自動車に後方より追突した。	221	17	1～ 9
2005	6	5 ～ 6	トラックを運転中、信号のある交差点において、赤信号にて停車中のタンクローリーに追突した。	221	17	10 ～ 29
2005	3	8 ～ 9	工場内でトラックに飼料を積み込むため、飼料を積み込む荷台のタンクの蓋を開けようと運転席横のはしごを昇っていたところ、建屋の鉄骨部に当たり、その反動で3m下の地面に転落した。	418	3	10 ～ 29
2005	5	21 ～ 22	トラックを運転中、右カーブから直線へ変わるところで、ブロック塀に衝突した。	221	17	1～ 9
2005	9	18 ～ 19	トラックで国道を走行中、対向車線の大型トラックがコンビニエンスストアに入ろうと左折し、その大型トラックに積載されていた鉄骨が車体より後方に5mはみだしていたため、左折により大きく被災者が運転するトラックの前方にはみ出し、当該鉄骨に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2005	10	9 ～ 10	トラックで高速自動車道を走行中、中央分離帯のガードレールを突き破り、対向車線に飛び出し横転した。	221	17	10 ～ 29

2005	6	4 ～ 5	トラックで高速自動車道を走行中、トンネル内で壁に衝突する自損事故を起こして追い越し車線に停車し、車外に出て立っていたところ、走行してきた他のトラックにはねられた。	221	17	～ 29	10
2005	6	13 ～ 14	大型トラックを運転中、片側1車線のトンネル内で対向車のダンプトラックと正面衝突した。	221	17	～ 29	10
2005	2	1 ～ 2	トラックで高速自動車道を走行中、追越車線から走行車線へ車線変更していた前方走行中の他のトラックに後方より衝突した。	221	17	～ 99	50
2005	3	1 ～ 2	トレーラートラックで走行中、左カーブの道路を曲がりきれず、対向車線にはみ出し、道路右側のガードレールに接触した後、元の車線を越えて道路左脇の雑木林及び法面で停車した。	221	17	～ 29	10
2005	7	15 ～ 16	解体した型枠材（1本8kg）100本を車両積載形トラッククレーン（つり上げ荷重2.9トン）で荷台に積み込み中、荷崩れを起こし、型枠材とともに地上に墜落した。	212	5	1～ 9	
2005	8	5 ～ 6	トラックで片側2車線の道路の追い越し車線を走行中、中央分離帯を乗り越え、対向車線を突っ切って道路脇の電柱に激突した。	221	17	～ 29	10
2005	4	14 ～ 15	整備工場で、大型トラックの後部の水切板を修理するために、フォークリフトに木製のパレットを装着して2.5mの高さまで上げ、その上に乗って作業を行っていたところ、フォークリフトが急に前進し、バランスを崩し墜落した。	222	3	～ 299	100
2005	3	7 ～ 8	フェリーの車両甲板において、被災者が牽引車（トラクター）で荷を積載した荷台（セミトレーラー）を牽引して船外に出るため、牽引車を荷台に連結した後、運転席から降りて牽引車と荷台をケーブルで繋ぐ作業を行っていた時、船員が荷台前方のアウトリガーを上げたところ当該車両が動き出しスロープ部分を暴走、被災者が止めようとして運転席に飛び乗ろうとしたが、スロープの手すりとは牽引車との間に挟まれた。	221	7	～ 29	10

2005	10	12 ～ 13	トラックで片側1車線の国道を走行中、信号待ちのため停止しようとしていた他のトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2005	8	6 ～ 7	木材チップの排出、運送業務において、サイロ内のチップの掻き落とす作業をしている際に足元のチップが崩れて、生き埋めとなった。	418	1	1～ 9
2005	3	21 ～ 22	トラックで県道を走行中、交差点において右折のために停車していた軽自動車に追突した。	221	17	30 ～ 49
2005	11	3 ～ 4	トラックに積み込んだ建築用資材をラッシングベルトで荷台に締付け作業中、使用していた荷締め機の持ち手の金具が外れ、その反動で3m下の歩道上に墜落した。	221	1	1～ 9
2005	11	7 ～ 8	自社からトラックで運搬して来た荷を降ろす作業中、荷台内に立て掛けてあった梱包ガラス（重さ170kg）を固定していたラッシングベルトを外したところ、梱包ガラスが倒れ、被災者が下敷きとなった。	611	5	50 ～ 99
2005	6	13 ～ 14	ダンプトラックで片側1車線のトンネル内を走行中、対向して来た大型トラックがセンターラインをはみ出し、衝突した。	221	17	100 ～ 299
2005	12	6 ～ 7	トラックで国道を走行中、道沿いの駐車場脇の水路に転落した。	221	17	10 ～ 29
2005	8	7 ～ 8	トラックで高速自動車道を走行中、トンネル内で故障により左車線に停車していた大型トレーラートラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2005	7	1 ～ 2	トラックで国道を走行中、センターラインをはみ出してきた対向車と正面衝突した。	221	17	100 ～ 299

2005	2	1 ～ 2	大型トラックに荷を積込み、帰社する途中、国道上に停車していた大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2005	12	11 ～ 12	移動式クレーンで分電盤（重さ250kg）の荷揚げ作業を行っていたところ、2点つりしていたアイ付きベルトスリングよりバランスを崩して分電盤が落下し、分電盤をトラックで輸送してきた被災者に激突した。	372	4	10 ～ 29
2005	11	11 ～ 12	ほ場整備に用いられた他社使用のドラグ・ショベルを運搬するため、キャリアトラックの荷台に積載し緊結作業を実施後、下り坂のため無人で動き始めたキャリアトラックを止めようとして被災した。	221	17	10 ～ 29
2005	12	6 ～ 7	国道のバスレーンにおいて、積雪のためタイヤチェーン装着の準備中、後方より大型車が突っ込んできて、被災者に激突した。	221	17	300 ～ 499
2005	12	3 ～ 4	トラックで走行中、センターラインをはみ出してきた対向の貨物自動車と衝突した。	221	17	10 ～ 29
2005	11	10 ～ 11	貨物自動車で行中、前方の信号待ちで停車していた貨物自動車に追突した。	221	17	50 ～ 99
2005	11	0 ～ 1	貨物自動車で行中、前方の信号待ちで停車していた貨物自動車に追突した。	221	17	10 ～ 29
2005	8	21 ～ 22	大型トレーラートラックで国道を走行中、左急カーブを曲がり切れずに対向車線にはみ出し、対向の乗用車及びタクシーに接触し横転した。	221	17	10 ～ 29
2005	7	11 ～ 12	トラックを運転中、追い越し禁止区間の左のゆるいカーブで、先行車を追い越そうと対向車線へはみ出したところ、対向してきた大型トラックに衝突した。	221	17	1 ～ 9

2005	4	3 ～ 4	トラックで高速自動車道を走行中、前方不注意によりハンドル操作を誤り、道路左側に設けられたガードレール及び水銀灯に激突して、運転席より車外に投げ出され自車にひかれた。	221	17	～ 99
2005	9	3 ～ 4	トレーラートラックで国道を走行中、道路を外れて川に転落した。	221	17	～ 49
2005	8	15 ～ 16	トラックの荷物を降ろすため運転席から降りて荷台の扉を開けていた時、トラックが前進したためトラックの前で停止させようとしたが、敷地のフェンスとトラックとの間に挟まれ、転倒した。	221	6	～ 29
2005	10	1 ～ 2	国道を走行中、対向するトレーラートラックの積荷の材木が荷崩れを起こし、運転席を直撃した。	221	17	～ 99
2005	12	23 ～ 24	国道を走行中、S字カーブでトラックがバランスを失い、ガードレールにのしかかるように横転し、前方の鉄道高架橋の橋桁に激突した。	221	17	～ 49
2005	2	5 ～ 6	トラックで国道を走行中、交差点付近において車両同士の事故により停止していた他のトラックの後部に追突し、その後、交差点左前方にある家屋へ衝突した。	221	17	～ 99
2005	1	17 ～ 18	製品を自社トラックに積み込み作業中、パレットをフォークリフトで3mの高さに持ち上げ、その上で作業を行っていたが、バランスを崩し地上に墜落した。	222	1	～ 29
2005	7	13 ～ 14	国道で大型貨物車を運転中、停車中の大型貨物車に追突した。	221	17	～ 29
2005	5	14 ～ 15	梱包部材を納品中、隣のエリアのコンベヤー上に荷崩れしてコンベヤーが停止したため、これを復旧させようと吹き抜け部分の柵を乗り越えた際に、4m下に墜落した。	921	1	1～ 9

2005	1	22 ～ 23	トラックで国道を走行中、停車中のトラックに追突した。	221	17	1～ 9
2005	12	17 ～ 18	搬入先の事業場構内において、運んできた積荷がフォークリフトで荷降ろしされている様子をトラックの傍に立って見ていたところ、荷が動き出したため、近寄って支えようとしたが支えきれず、そのまま荷台から落ちてきた荷の下敷きとなった。	611	4	30 ～ 49
2005	4	1 ～ 2	トラックに荷の瓦を積み込む作業中、トラックの荷の上から地面へ墜落した。	221	1	10 ～ 29
2005	9	11 ～ 12	軽貨物自動車の助手席に乗り移動中、見通しの悪いカーブで、対向車線からセンターラインをはみ出してきた貨物自動車と正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2005	9	22 ～ 23	トラックで高速自動車道を走行していたところ、車両同士の事故で停車していた大型車両に追突した。	221	17	100 ～ 299
2005	6	6 ～ 7	トラックで高速自動車道上り線の追い越し車線を走行中、トンネル内で走行車線を走行していた乗用車と接触し、そのはずみでトラックはトンネルの右側壁に衝突しトラックのドアが外れたため被災者は車外へ投げ出された。	221	17	10 ～ 29
2005	1	13 ～ 14	活性炭の実験装置（重さ1.6トン）を車両積載形トラッククレーン（つり上げ荷重2.9トン）により運搬するため、活性炭の実験装置をつり上げ、当該クレーン車両の荷台に積み込むために右旋回させたところ、当該クレーン車両が右側に横転し、その下敷きとなった。	212	6	100 ～ 299
2005	9	10 ～ 11	高速自動車道で運転していたトラックが故障したため、路側帯に停車させ、車の点検を行っているとき、後方から大型トラックが追突し、トラックと道路側壁との間に挟まれた。	221	17	30 ～ 49

2005	1	5 ～ 6	高速自動車道を走行中、前方で追突事故を起こして2車線を塞いでいた大型トラックに追突した。	221	17	100 ～ 299
2005	12	20 ～ 21	国道を走行中、路面が凍結していたためにジャックナイフ現象を起こし、トレーラートラックが横滑りのうえ転覆した。	221	17	50 ～ 99
2005	8	3 ～ 4	トラックで走行中、バイパスの車線左側のコンクリート壁に衝突した。	221	17	30 ～ 49
2005	3	22 ～ 23	トラックで直線道路を走行中、前方の渋滞の最後尾の乗用車を積載したキャリアカートレーラーに追突した。	221	17	10 ～ 29
2005	9	3 ～ 4	ダンプトラックで県道を通行中、乗用車が赤信号を無視して猛スピードで交差点に進出し衝突、ダンプトラックはサスペンションを損傷し、ハンドルを右に取られた状態で鉄柱に接触、民家の塀に当たり、被災者は路上に投げ出された。	231	17	1～ 9
2005	10	5 ～ 6	冷凍コンテナを運び出す作業中、コンテナと配電盤を接続していたケーブルを配電盤から離す際に、コンテナを積んだトラックが後進し、コンテナと配電盤との間に挟まれた。	221	7	30 ～ 49
2005	7	0 ～ 1	トラックで高速自動車道を走行中、工事のため、左側を車線規制しており、前方を走行していた他のトラックが減速し、右側へ車線変更しているところへ追突した。	221	17	30 ～ 49
2005	8	14 ～ 15	トラックで高速自動車道を走行中、前方走行中のダンプトラックに追突し、挟まれた。	221	17	1～ 9
2005	9	6 ～	国道の急な左カーブで曲がりきれずに横転し、ガードレールの支柱に激突し挟まれた。	221	17	1～ 9

		7				
2005	12	5 ～ 6	トラックで高速自動車道を走行中、インターチェンジ付近において渋滞のため停車していた大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2005	9	17 ～ 18	駐車したトラックの脇から崖側に車止めの上に立っていたところ、20m下の池に転落した。	999	1	30 ～ 49
2005	8	4 ～ 5	トラックで走行していたところ、信号待ちの大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9
2005	5	13 ～ 14	トラックで、右折して駐車場に入る際に停車していたトラック荷台に激突した。	221	17	10 ～ 29
2005	1	2 ～ 3	交差点で信号待ちのためトラックを停車中、後方から来た他のトラックに追突され、さらに前方に停車中のトレーラートラックの荷台が被災者を直撃した。	221	17	10 ～ 29
2005	10	9 ～ 10	移動式クレーンでコンベヤーのベルトをつり上げ、コンベヤーシャフトから引き出す作業中、つり上げたコンベヤーのベルトが切れ、被災者が落下するベルトに巻き込まれながら17mの高さにある点検用ステージから、シャフト内に墜落した。	612	4	10 ～ 29
2005	9	12 ～ 13	普通トラックで国道を走行中、交差点で信号待ちをしていた大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2005	7	11 ～ 12	国道上で、大型トラックが、大型トレーラートラックと正面衝突した。	221	17	1～ 9
		2	トラックで追越車線へ進路変更をしたところ、追越車線を走行していた乗			10

2005	6	～	用車が後方から接触し、はずみで中央分離帯のガードフェンスを突き破り、対向車線を走行していた移動式クレーンと衝突した。	221	17	～	29
2005	8	～	トラックからショーウィンドー用のガラスを取り出し、現場の作業者が台車に載せて運んでいたところ、トラック荷台の梱包された荷が倒れ、被災者が下敷きとなった。	611	4	～	49
2005	12	～	5 6 高速自動車道が雪のため通行止めとなり、渋滞で停まっていた貨物自動車に被災者が運転していた貨物自動車が追突した。	221	17	～	29
2005	10	～	7 8 荷降ろし準備のため、トラック荷台のあおりを倒した後、地上で、2分割のあおりを固定するための支柱を荷台より抜き取った際に、支柱にもたれていたスチール機の天板（230×140cm、重さ40kg）が被災者の方に倒れ、下敷きとなった。	611	5	～	99
2005	2	～	7 8 運転席に乗り込まない状態で、暖機運転を行うためにトラックのエンジンを掛けようとした際に、ギアがリバースに入っていたままエンジンを掛けたためトラックが急発進し、隣に停車していたトラックとの間に挟まれた。	221	7	～	29
2005	9	～	22 23 大型トラックで高速自動車道を走行中、トンネル内で前方を走行していた大型トレーラートラックに追突した。	221	17	～	29
2005	7	～	11 12 トラックで高速自動車道を走行中、前方を走行中のトラックと接触し、その後中央分離帯に衝突した。	221	17	～	99
2005	3	～	5 6 トラックで荷の輸送中、積載していた荷物が崩れて道路上に落下したため、トラックを停車し、落下した荷物を回収中に後続の乗用車にはねられた。	231	17	～	29
2005	4	～	9 トラックを運転して事業場の駐車場へ向う途中、交通事故を起こした。	921	90	～	30

		10						49
2005	7	4 ～ 5	トラックで高速自動車道を走行中、サービスエリアに入ったところ、駐車していたトレーラートラックに衝突した。	221	17			1～ 9
2005	3	5 ～ 6	大型トレーラーにて国道を走行中、急な左カーブの下り坂で曲がり切れず横転し、山斜面に衝突した。	221	17			30 ～ 49
2005	10	1 ～ 2	大型トラックを運転中、道路左側のコンクリート製擁壁に衝突した。	221	17			30 ～ 49
2005	3	8 ～ 9	道路の路肩にトラックを停車させて、荷物の積込み準備をしていたところに、後方から大型バスが追突した。	231	17			10 ～ 29
2005	12	18 ～ 19	トラック荷台にH鋼を2段積みにし、さらに3段目にH鋼を積もうとし、天井クレーンで持ち上げ荷台上に仮置きし、改めて平積みに変えようとしたところ、H鋼が崩れて被災者とともに荷台下に落下した。	221	1			1～ 9
2005	4	2 ～ 3	国道バイパスのインターの導入路付近トラックで走行中、対向車線にはみ出し、他のトラックと正面衝突した。	221	17			50 ～ 99
2005	12	3 ～ 4	トラックで走行中、他のトラックに追突した後に、中央分離帯のガードレールに衝突した。	221	17			10 ～ 29
2005	12	4 ～ 5	トラックで走行中、渋滞最後尾の大型トラックに追突した。	221	17			100 ～ 299
2005	12	4 ～	トラックで追越車線を走行中、渋滞中の車列の最後尾に停車していた保冷車に追突した。	221	17			100 ～

		5				299
2005	8	16 ～ 17	工場建屋内において、油圧昇降リフターを使用して自動車シート運搬用のパレットを運ぶ作業中、被災者が熱中症になり、パレットにもたれかかるように倒れた。	715	11	10 ～ 29
2005	7	4 ～ 5	県道交差点で、大型トラックが発進した直後に、後続の被災者の運転するトラックが追突した。	221	17	10 ～ 29
2005	9	20 ～ 21	タンクローリーで国道を走行中、右カーブで曲がりきれずガードレールを越え、10m下の川に転落した。	221	17	1～ 9
2005	5	8 ～ 9	配達のため正面西側のオートロック扉から建物内に入り、配達後退出する際に、正面扉横のガラス壁に激突したため、割れたガラスで被災した。	418	3	10 ～ 29
2005	2	1 ～ 2	バイパスを走行中に、前を走行中のトラックが停車中の大型車に気がつかず追突し、被災者はブレーキを踏んだものの間に合わず当該トラックに追突した。	221	17	1～ 9
2005	8	9 ～ 10	大型ボートを輸送するためボートの高さを計測していたところ、誤ってボートの縁より足を踏み外して地面に墜落した。	239	1	50 ～ 99
2005	2	1 ～ 2	高速自動車道を走行中、登坂車線に停車中のトレーラートラックに追突し、運転席に挟まれ脱出不能となってから火災が発生し焼死した。	221	17	100 ～ 299
2005	3	14 ～ 15	交差点で信号待ちの車列の最後尾で停車直前であった被災者の運転するトラックに他のトラックが追突した。	221	17	1～ 9
2005	12	14 ～	フォークリフトをセルフローダーに積み込む作業中、道板からタイヤがずれてフォークリフトが転落し、被災者がフォークリフトの下敷きとなっ	222	1	50 ～

		15	た。			99
2005	12	2 ～ 3	自動車運搬用トレーラートラックで高速自動車道を走行中、渋滞により徐行していた前方車両に追突した。	221	17	30 ～ 49
2005	9	9 ～ 10	コンクリートの配送業務中、後輪に取り付けたウインチを使い、電柱数本を降ろしていたところ、降ろす予定のない別の電柱が突然転がり落ちてきて、運搬車後方で電柱を支えていた被災者に激突した。	219	4	50 ～ 99
2005	6	21 ～ 22	トラックで走行中、国道の交差点で、信号待ちの別の大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2005	4	2 ～ 3	トラックで国道バイパスを走行中、センターラインをはみ出し、対向車線を走行中の被災者の運転するトラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2005	12	16 ～ 17	トラックで高速自動車道を走行中、インターチェンジで下りようとしたところ出口案内板の支柱へ激突した。	221	17	10 ～ 29
2005	6	12 ～ 13	片側2車線道路の左車線に停車中のトラックへ戻るため、当該道路を横断していたところ、走行してきた乗用車に激突された。	231	17	10 ～ 29
2005	11	10 ～ 11	トラックで運搬した建築資材を現場に降ろす作業を行っていた被災者が、下り坂で動きはじめたトラックのドアと車体との間に挟まれた。	221	17	30 ～ 49
2005	9	5 ～ 6	トラックで走行中、赤信号で停車中のトレーラートラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2005	3	5 ～	赤信号で停車中のトレーラートラックに、被災者が運転するトラックが追突した。	221	17	10 ～

		6				29
2005	6	11 ～ 12	トラックの荷台からカゴ車に載せた荷物をフォークリフトで降ろす作業中、荷台から降りてカゴ車の位置を修正するため、引っ張ったところ、カゴ車が荷台から落下して下敷きとなった。	362	4	10 ～ 29
2005	8	22 ～ 23	フォークリフトにより後進中、フォークリフトごとプラットフォーム端から地上へ転落し、座席から投げ出され、直後に横転したフォークリフトの下敷きとなった。	222	1	100 ～ 299
2005	3	3 ～ 4	トラックで走行中、前方の大型トレーラートラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2005	9	0 ～ 1	トラックで国道を走行中、トンネル内において、対向車線を走行していたトレーラートラックと正面から衝突した。	231	17	10 ～ 29
2005	9	17 ～ 18	トラックで走行中、前方を走っていた乗用車がセンターラインをはみ出して、対向してきたダンプトラックの側面に衝突した。そのはずみで、同ダンプトラックが、被災者のトラックに衝突した。	221	17	10 ～ 29
2005	7	11 ～ 12	トラックで国道を走行中、信号待ちで停車していた他のトラックの後部に追突した。	221	17	50 ～ 99
2005	7	10 ～ 11	トラックの荷台の上で玉掛けしようとしていた木材（重さ400kg）が荷台から転げ落ち、下方で待機していた被災者を直撃した。	522	5	10 ～ 29
2005	3	9 ～ 10	トラックで国道を走行中、右折車線を走行していた他の乗用車の左後部に追突し、さらに右折車線で停車していた他のトラックに追突、はずみで追突されたトラックが前に押し出され、前方に停車していたトラック等に追突した。	221	17	10 ～ 29
		7	トラックを運転し、走行していたところ、農道との交差点で農道から出て			

2005	9	8	きた軽トラックが被災者のトラックの右側に衝突し、そのはずみで被災者のトラックは道路左側歩道の縁石に乗り上げ、さらに40m先の道路右側の水田に転落し、水田の擁壁に激突した。	221	17	1～9
2005	12	6	トラックで国道を走行中、交差点で前方を走行していた大型トラックが赤信号で減速したため、ブレーキをかけたところ、道路が積雪でシャーベット状になっていたため、滑って追突した。	221	17	100～299
2005	10	24	トラックで走行中、交差点付近において、信号待ちで停車中の他のトラックに追突した。	221	17	10～29
2005	2	16	トラックで国道を走行中、信号待ちで停止していたトラックに追突した。	221	17	10～29
2005	12	12	トラックの荷台に風呂桶を3段に積み、製品梱包ビニール上部に溜まった水抜き作業を荷の最後部に上がって行っていたところ、3.9m下の地面に転落した。	611	1	100～299
2005	3	13	洗車場において洗車作業を行っていたところ、サイドブレーキの効きが悪く、洗車中のトラックが後方に下がってきて、後ろにいた被災者がコンクリート壁との間に挟まれた。	221	7	10～29
2005	3	22	大型トラックで国道を走行中、なんらかの原因で対向車線にはみ出し、対向してきた大型トラックに正面衝突した。	221	17	10～29
2005	2	12	国道の待避所で停車していた車の運転席に戻ろうとした際、他の車が車後部に追突した。そのはずみで被災者は転倒し、さらに他の車にひかれた。	221	17	30～49
2005	3	22	トラックで国道を走行していたところ、対向車線の大型トラックがセンターラインをはみ出して正面衝突した。	221	17	1～9

2005	7	5 ～ 6	信号のある見通しのよい交差点をトラックで走行中、他のトラックと出会い頭に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2005	6	15 ～ 16	車両積載形トラッククレーンに鋼管2本を積みワイヤロープで緊結した後、荷台を歩いて運転席に向かう途中、体のバランスを崩して1m下のコンクリート床に墜落した。	212	1	50 ～ 99
2005	2	10 ～ 11	事業場構内において、トレーラートラックの荷台に、荷物積載用の架台を取り付ける作業中、フォークリフトに掛けていた架台が外れて倒れ、近くで作業を行っていた被災者がトレーラートラックの荷台と架台との間に挟まれた。	222	4	100 ～ 299
2005	5	1 ～ 2	大型トラックで高速自動車道を走行中、緩やかな左カーブのトンネル内に軽貨物自動車が燃料切れで停車しており、これを避けきれず接触した。このため、降車し、軽貨物自動車の状況を確認していたところ、後続の大型トラックに追突されて前進した軽貨物自動車に弾き飛ばされ、さらに大型トラックにひかれた。	221	17	50 ～ 99
2005	11	2 ～ 3	配送センター内において荷下ろし作業中、被災者がトラック荷台のウイングを開け、アオリを下ろしたところ、積載していた貨物が落下し、下敷きとなった。	611	5	30 ～ 49
2005	10	8 ～ 9	駐車場でトラックを清掃中、荷台を後方にスライドさせ運転席との間に隙間を設け、そこに立ってホースで水洗していたところ、前進してきた荷台と運転席との間に挟まれた。	221	7	1～ 9
2005	2	5 ～ 6	納品のため道路左側に停車し、降車中に後方より追突された。	221	17	50 ～ 99
2005	6	4 ～ 5	トラックで走行中、交差点を横断しているところへ、他のトラックが右側から信号無視して進入し、衝突した。	221	17	1～ 9

2005	6	5 ～ 6	トラックで県道を走行中、対向車のダンプトラックと正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2005	11	17 ～ 18	トラック内に車のキーを閉じ込めてしまったため、車の窓のガラスコーナーのゴムに指を引っ掛けて、力を入れて引っ張っていたところ、指が外れた勢いで仰向けに転倒し、隣から発進した大型トラックの後輪でひかれた。	221	7	10 ～ 29
2005	9	4 ～ 5	トラックで走行中、高速自動車道のインターチェンジ付近にて、事故で渋滞している最後尾の乗用車に追突した。	221	17	30 ～ 49
2005	6	12 ～ 13	国道を走行中、信号待ちをしていたトラックに衝突した。	221	17	30 ～ 49
2005	10	2 ～ 3	道路上の散乱物を片付けていたところ、停止していた車に後続車が追突し、衝撃で動いた車にひかれた。	221	17	10 ～ 29
2005	6	9 ～ 10	軽貨物自動車にて荷物を運搬中、国道の交差点付近において、右折してきた対向車両を避けた際、対向車線にはみ出し、直進してきたトラックと正面衝突した。	221	17	1 ～ 9
2005	4	4 ～ 5	トラックを運転中、意識を失い、蛇行運転を始め、対向車線のガードレールの切れ目に衝突した。	921	90	100 ～ 299
2005	9	18 ～ 19	トラックで高速自動車道を走行中、インターチェンジで右カーブを通過しようとした時にガードレールに接触し、その反動で車が横転した。	221	17	10 ～ 29
2005	2	11 ～	トレーラートラックに積載した木材を車両積載形トラッククレーンを用いて、地上に下ろす作業を行っていたところ、当該トラッククレーンが操作	611	5	10 ～

		12	を行っていた被災者側に傾き、当該トラッククレーンの荷台に積載していた木材が滑り落ちて、着地したつり荷との間に挟まれた。			29
2005	12	12 ～ 13	トラックにて荷物の搬送中、国道の交差点において、ダンプトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2005	6	5 ～ 6	トレーラートラックで県道を走行中、停止中の大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9
2005	1	4 ～ 5	自動車で行中、道路合流地点で、信号待ちをしていたトラックに追突した。	221	17	1～ 9
2005	12	0 ～ 1	トラックで行中、渋滞のため停車していた別の大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9
2005	5	11 ～ 12	トラックで高速自動車道を走行中、低速で行中の工事作業標識車に追突してトラックが横転し、車から投げ出された。	221	17	30 ～ 49
2005	5	23 ～ 24	トラックで高速自動車道を走行中、土手に乗り上げて横転し、車外に投げ出された。	221	17	30 ～ 49
2005	7	5 ～ 6	トラックを運転中、渋滞で停車していた前方トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2005	8	19 ～ 20	木材をトラックに積み終え、シート掛け中に、荷台から降りようとしたところ、足がシートに絡まり転落した。	221	1	10 ～ 29
		1	大型トラックで高速自動車道を運転中、インターチェンジの出口で仮眠の			30

2005	7	2	ため駐車中の大型トラックに衝突した。	221	17	49
2005	7	10 ～ 11	車両積載形トラッククレーン（つり上げ過重2.9トン）で建設資材（重さ1.8トン）の荷降ろし中、当該クレーンがバランスを崩し左側に横転し、当該クレーンを操作していた被災者が当該クレーンのタイヤと路面との間に挟まれた。	212	7	1～ 9
2005	7	9 ～ 10	トラックで国道を走行中に、対向車と正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2005	12	5 ～ 6	大型トレーラートラックで高速自動車道を走行中、走行車線上で前を走っていた大型トラックの後部に衝突、そのはずみで牽引車が被牽引車に押し出されて追越車線に膨らんだところ、後続の大型トラックに衝突された。	221	17	50 ～ 99
2005	12	3 ～ 4	トラックにて走行中、国道の交差点において、赤信号で停車中のトラックの後方に追突した。	221	17	50 ～ 99
2005	9	6 ～ 7	トラックを運転中、国道交差点において赤信号で停車中のトラックの後方に追突した。	221	17	100 ～ 299
2005	8	0 ～ 1	高速自動車道において、渋滞のため停車中の車両に被災者の運転する大型トラックが追突、炎上した。	221	17	10 ～ 29
2005	7	1 ～ 2	自車（トラック）の前を走行していた乗用車が、居眠り運転のために対向車線にはみ出し、それを避けようとした対向車と衝突した。	221	17	30 ～ 49
2005	9	11 ～ 12	トラックに荷物を積み込む際、トラックのステップに足をかけ、荷台にあった空のパレットの一番上に手をかけて昇ろうとしたところ、手にかけたパレットがずれ、後方に転落した。	221	1	1～ 9

2005	7	4 ～ 5	普通貨物自動車を運転中、渋滞のため停止していた大型貨物自動車に追突した。	221	17	30 ～ 49
2005	1	23 ～ 24	大型トラックで高速自動車道を走行中、左カーブに差し掛かったところ、曲がりきれず車両が横転した。	221	17	50 ～ 99
2005	3	1 ～ 2	トラックで国道を走行中、停車していたトレーラートラックの後部に追突した。	221	17	10 ～ 29
2005	2	9 ～ 10	ダンプトラックで国道の交差点を走行中、交差点を右折していた対向の乗用車に衝突した。	221	17	1～ 9
2005	3	5 ～ 6	トラックで国道を走行中、前方で減速していたトラックへ追突した。	221	17	10 ～ 29
2005	7	20 ～ 21	製造装置（重さ1.2トン）をトラックに積み込むため、フォークリフトで移動中、フォークに載せていた装置が傾き、それを直そうとした被災者が、落下してきた装置の下敷きとなった。	222	4	30 ～ 49
2005	5	11 ～ 12	大型トラックで県道を走行中、信号待ちで停車中の大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2005	2	16 ～ 17	フォークリフトを使用し、倉庫内の荷の整理を行っていたところ、運搬していた荷が荷崩れをしたため、運転台に上りマストの上部から荷崩れを直そうとしたところ、マストが起伏し、マストのリブとヘッドガードとの間に挟まれた。	222	7	30 ～ 49
2005	9	5 ～	トラックで国道を走行中、赤信号で停止していた大型トラックに追突した。	221	17	30 ～

		6						49
2005	5	9 ～ 10	スレート屋根の雨どいにたまった枯葉を取り除く作業中、スレート屋根を踏み抜き、8m下のコンクリート床に墜落した。	415	1			10 ～ 29
2005	3	4 ～ 5	トラックで国道を走行中、駐車中のトレーラートラックに追突した。	221	17			10 ～ 29
2005	12	4 ～ 5	高速自動車道のインターチェンジ合流付近において、大型トラック同士の追突事故によりトラックが停止していたところに、後方から走行してきた被災者の運転する大型トラックが追突し、炎上した。	221	17			50 ～ 99
2005	4	4 ～ 5	交差点において、被災者の運転していたタンクローリーと交差点右側から来た普通トラックが衝突し、両車とも炎上した。	221	17			1～ 9
2005	7	6 ～ 7	国道を走行中に、右カーブにさしかかる直前に、前方から対向車がセンターラインをはみ出してきて正面衝突した。	221	17			30 ～ 49
2005	12	3 ～ 4	トラックを運転し国道交差点で信号待ちをしていたところ、後ろから大型トラックに追突されたはずみで、前に止まっていたトラックに玉突き衝突した。	221	17			50 ～ 99
2005	2	1 ～ 2	国道をトラックで走行中、対向車線を走行してきた大型トラックが、カーブのところで前方車両を追い越すため、センターラインをはみ出してきて正面衝突した。	221	17			10 ～ 29
2005	8	19 ～ 20	国道をトラックで走行中、中央分離帯を乗り越えてきた対向車に正面衝突した。	221	17			30 ～ 49
2005	3	23 ～	トレーラートラックで国道を走行中、道路上に落ちていた落下物（アスファルト塊）に乗り上げ、ハンドル操作が利かなくなり、道路に隣接した	221	17			10 ～

		24	石垣に激突し、トレーラートラックが炎上した。			29
2005	4	18 ～ 19	駐車場の清掃をし、道路を挟んで向かい側に一輪車でゴミを捨てに行こうと道路を横断していたところ、渡りきる寸前に、道路を走行してきた車にはねられた。	231	17	30 ～ 49
2005	9	15 ～ 16	工場内にトラックを停車した後、熱中症で倒れた。	715	11	1～ 9
2005	7	6 ～ 7	国道を走行中、左カーブを曲がりきれずにセンターラインをはみ出して対向車のトラックと正面衝突した。	221	17	0
2005	6	11 ～ 12	フォークリフトのタイヤがパンクし、交換作業のためホイールのボルトを外していたところ、チューブが破裂し、ホイールが飛散した。	611	15	50 ～ 99
2005	8	21 ～ 22	通行止となっていた県道の冠水箇所に突っ込み、トラックが動けなくなり立ち往生した。	713	10	30 ～ 49
2005	4	17 ～ 18	飼料運搬用バルク車の上で、フォークリフト積込みのためフレコンパックの位置調整をしていたところ、高さ2.7mのバルク車の上から転落した。	221	1	10 ～ 29
2005	3	21 ～ 22	芝をトラックに積み込み、国道を走行中に横転、道路脇の擁壁に激突、道路に投げ出された。	221	17	1～ 9
2005	1	1 ～ 2	国道を走行中、信号待ちをしていた大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2005	3	21 ～	トラックで走行中、橋からトラックごと運河に落下した。	221	17	10 ～

		22				29
2005	7	14 ～ 15	倉庫内でフォークリフトによる商品の棚換え作業中、フォークリフトの操作を誤りフォークリフトと棚の支柱との間に挟まれた。	222	7	10 ～ 29
2005	6	2 ～ 3	自動車を運転中、縁石に左後輪が接触し、右ハンドル切ったが、左カーブの箇所であり、進行方向右側に設置してあるガードレールに衝突、運転席側を下に横転した。	221	17	100 ～ 299
2005	10	17 ～ 18	トラックの荷台上でコンクリート製ブロックをフォークリフトで荷積み作業中、1段目の荷と2段目の荷の間に設置してあった枕木を調整していたときに荷台から転落した。その際、2段目に積んであった荷が被災者の上に落下した。	221	1	30 ～ 49
2005	8	15 ～ 16	ドラグ・ショベルにより、砂をダンプトラックに積み込む作業中、ドラグ・ショベルを左旋回させた時に、被災者がダンプトラック後部とドラグ・ショベル後部との間に挟まれた。	142	7	1～ 9
2005	8	14 ～ 15	伐倒した木材の仮置き場において、グラップル付きトラックにより積込み作業を行っていたところ、グラップルの運転席で作業を行っていた被災者に落雷した。	719	13	10 ～ 29
2005	12	2 ～ 3	トラックで国道を走行中、交差点で青信号に変わって発車直後の前車に追突した。その際に追突した前車の積荷（単管パイプ）が被災者のトラックのフロントガラスを突き抜けて被災者に激突した。	221	17	1～ 9
2005	10	4 ～ 5	トラックで国道を走行中、信号機柱2本に衝突し、さらに民家のブロック塀に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2005	10	9 ～ 10	トラックで国道を走行中、対向車線を走行していた別のトラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
		4				10

2005	8	～ 5	国道を走行中、交差点で信号待ちのトレーラートラックに追突した。	221	17	～ 29
2005	7	3 ～ 4	ベニヤ板の運搬中、道路左側のガードレールに接触後、100m先の道路案内板の支柱に衝突し、横転した。	221	17	50 ～ 99
2005	12	12 ～ 13	国道を走行中、信号待ちで停車していた大型トレーラートラックに追突した。	221	17	1～ 9
2005	12	12 ～ 13	国道を走行中、信号待ちで停車していた大型トレーラートラックに追突した。	221	17	1～ 9
2005	7	20 ～ 21	前方の交差点の信号待ちで大型トラック、乗用車及び大型トレーラートラックが停止しているところに、被災者が運転する大型トラックが追突した。	221	17	50 ～ 99
2005	6	12 ～ 13	大型トラックで高速自動車道を走行中、先行するトラックに追突し、そのはずみで大型トラックの後部バンパーがガードレールに接触して対向車線にはみ出し、そのまま右側に横転した。	221	17	10 ～ 29
2005	4	3 ～ 4	貨物自動車で高速自動車道を走行中、パーキングエリアへの入路の三角地帯のガードレールに激突し、さらにその先にある点滅灯に激突した。	221	17	1～ 9
2005	4	4 ～ 5	国道を走行中、緩い左カーブのセンターライン上で、被災者が運転するトラックの運転席右側と対向車のトラックの運転席右側が接触した。	221	17	10 ～ 29
2005	11	14 ～ 15	大型タンクローリーで牛乳を輸送中、県道の下り坂で、右カーブを曲がりきれず大型タンクローリーが横転した。	221	17	50 ～ 99
		4	大型トラックで走行中、国道の交差点において、信号待ちで停車していた			30

2005	6	5	大型トレーラトラックに追突した。	221	17	49
2005	11	11	国道において、工事現場の手前で前の車両に続いて停止しようとして減速したところ、後続のトラックが追突してきたため、そのはずみで対向車線	221	17	10
		12	に押し出され、対向車線を走行してきた大型観光バスと正面衝突した。			29
2005	7	2	国道上で新聞の配送作業中、後方から進行してきた軽乗用車にひかれた。	231	17	1
		3				9
2005	3	15	倉庫内に積み重ねられていた家畜飼料入りのフレキシブルコンテナ（重さ	611	5	100
		16	400kg）のうち、上から3段目までが崩れ落ち、落下した最上段のフレキシブルコンテナと床に置かれていた別のフレキシブルコンテナとの間に挟まれた。			299
2005	3	13	トラック荷台上でL型水路を車両積載形トラッククレーンで積み込む作業を	212	5	10
		14	行っていた被災者が、トラック後部のアオリと倒れたL型水路との間に挟まれた。			29
2005	8	18	国道を大型トラックで走行中、対向車線にはみ出し、対向してきた大型バ	221	17	30
		19	スと正面衝突した。			49
2005	3	10	事業場内において、倉庫に保管している米を確認するため、倉庫の脇を歩	418	5	50
		11	いていたところ、倉庫の下屋が倒壊して激突し、その際、下屋に積もって			99
2005	11	14	保管庫新築工事において、地山（斜度17度）に沿って斜面に打設したコン	418	5	10
		15	クリート壁（長さ30m）の内側で残材の片づけをしていたところ、当該壁			29
			が内側に倒壊し、被災者が下敷きとなった。			
2005	8	7	トラックで走行中、右折のため停車していた車両積載形トラッククレーン	221	17	1
		8	に追突した。			9

2005	6	23 ～ 24	トラックで国道を走行中、信号のあるT字路の交差点を青信号で直進していたところ、トレーラートラックが右折してきたため、衝突した。	221	17	50 ～ 99
2005	6	11 ～ 12	小型移動式クレーンを使用して型枠（重さ2.3トン）をつり上げ、トラック荷台に載せる直前に型枠が重みで外れ、荷台横にいた被災者が下敷きとなった。	372	4	10 ～ 29
2005	6	9 ～ 10	トレーラートラックを移動し、後退させたところ、トレーラートラックの誘導作業に従事していた被災者がひかれた。	221	7	50 ～ 99
2005	1	0 ～ 1	事務所内において勤務中、同僚の作業者に包丁で刺された。	911	90	30 ～ 49
2005	10	16 ～ 17	ダンプトラックにて砂を堆積場（砂山）に下ろすために、堆積場のスロープ（勾配10度）を後進で登っている途中、路肩が崩れ、車体前方が左側に傾いて5m下に落下した。このとき、被災者が運転席から投げ出され、横転したダンプトラックの下敷きとなった。	221	1	30 ～ 49
2005	7	18 ～ 19	車庫内でダンプトラックのパンク修理を行っていたところ、突然タイヤが破裂した。	529	15	10 ～ 29
2005	4	5 ～ 6	トレーラートラック（空車）で国道を走行中、対向車両と正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2005	4	5 ～ 6	トレーラートラックを運転中、対向してきた他のトレーラートラックと正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2005	8	2 ～	大型トラックで高速自動車道を走行中、渋滞停車中の最後尾の別の大型トラックに追突し、運転席に挟まれた。	221	17	30 ～

		3				49
2005	1	9 ～ 10	冷凍車で国道を走行中、対向車線にはみ出し、対向車の大型トレーラートラックと接触し、さらに後続の乗用車に衝突した。	221	17	30 ～ 49
2005	9	12 ～ 13	トラックで国道を走行中に、赤信号で停車していた前方のトラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2004	7	3 ～ 4	高速自動車道を大型トラック（25t車）で走行中、故障のため登坂車線で停車していた大型トラックに追突し、その衝撃で2台の大型トラックが中央分離帯に衝突した。	221	17	100 ～ 299
2004	6	9 ～ 10	木材をトラッククレーンの荷台から降ろすため、荷の最上部に昇り、荷の落下防止の鎖を外した後、荷からトラックの荷台後部に設置されている操作台へ乗り移ろうとしたとき、足を踏み外し約3m下へ墜落した。	212	1	1～ 9
2004	12	17 ～ 18	栈橋に停泊中のフェリーにトレーラーを積み込む作業中、トレーラーを切り離しトラクターのみで下船しようとしたが、ピンが外れておらず、トラクターを降りピンを外す操作をしたところトラクターが動き出した。急いで運転席に乗り込もうとしたところ、トラクターの運転席側が別のトレーラーに接触し、しまりかけたトラクターの扉に挟まれた。	221	7	10 ～ 29
2004	6	5 ～ 6	ダンボール用ロール紙をトラックにて搬送し、荷降ろしのためトラックの荷台上にて荷にかけていたシートをはがしていたところ、高さ2.6mの荷台の上より墜落した。	221	1	50 ～ 99
2004	11	6 ～ 7	トラック（最大積載荷重7t）後部に積載されているグラップルローダを用いて、丸太（長さ4m、径30cm）を搬入していたとき、トラックが横転したため、被災者が運転席から投げ出され死亡した。	212	2	10 ～ 29
2004	9	7 ～ 8	高さ5mの木材チップタンクの底面を開放し、チップタンク下のトラックに、木材チップを積み込む作業を行っていたところ、5m下の地面に墜落した。	418	1	10 ～ 29

2004	6	13 ～ 14	最大積載量3 t の貨物自動車の荷台においてジュースの箱を積む作業を行っていた被災者が、あおりに寄り掛かったところ、あおりの留め金が外れていたことからあおりが倒れ、荷台の上から墜落した。	221	1	～ 29	10
2004	4	12 ～ 13	ピアノ4台（荷の重量量500kg）を、2 t 車を使用し、運送する途中、高速自動車道で、前を走行していた保冷車に追突し、車両が炎上した。	221	17	～ 29	10
2004	7	3 ～ 4	県道を4 t トラックにて走行中、前方を走行していた10 t トラックに追突した。	221	17	～ 299	100
2004	6	2 ～ 3	トラックで、高速道路を時速90kmで走行していたところ、前を走っていた大型トラックに追突し、前方に投げ出され、自車にひかれた。	221	17	～ 29	10
2004	12	19 ～ 20	フォークリフトを使用した荷下ろし作業終了後、伝票を渡そうとフォークリフトの運転席を離れたところ、フォークリフトが逸走し、トラック後部とフォークリフトに挟まれた。	222	7	～ 29	10
2004	10	6 ～ 7	大型トラックを運転中、他の大型トラックと正面衝突した。	231	17	～ 29	10
2004	7	1 ～ 2	被災者の運転する4 t トラックが、信号で停車していた4 t トラックおよび10 t トラックの後部から追突した。	221	17	～ 49	30
2004	3	5 ～ 6	4 t トラックで国道を走行中、下り車線で追突事故を起こしたトラックの積み荷である塗料入りのドラム缶が飛び出してきた。被災者はそれに乗り上げ、中央分離帯を越えたところで下り車線を走ってきた大型トラックと衝突した。その際、ドラム缶に引火し爆発した。	221	17	～ 29	10
2004	1	14 ～	高速道路を4tトラックで走行中、重機を積載し走行していたトレーラーに追突した。その際、前車の積載していた重機のバケットが自車トラックに	221	17		1～

		15	刺さり、その状態で前車に約500m引きずられ路肩に停止したところへ、後方から来た大型トラックに追突された。			9
2004	4	12 ～ 13	高速自動車道インター近くで、大型トラックが被災者運転の4tトラックに追突したため、トラックは弾みでガードロープに衝突、横転し、被災した。	221	17	100 ～ 299
2004	12	20 ～ 21	タンクローリーを運転して国道を走行中、対向車線を越え道路右側の電柱に激突した。	221	17	30 ～ 49
2004	10	6 ～ 7	乗用車（ライトバン）で走行中、緩やかな右カーブで道路脇の信号柱に激突した。	231	17	10 ～ 29
2004	3	5 ～ 6	国道でトラック同士の追突事故が発生し、積荷のドラム缶の一部が中央分離帯を飛び越えて上り線を走行していたトラックに激突した。ドラム缶に激突されたトラックは、その弾みで中央分離帯を乗り越えて下り線に飛び出し、下り線を走行していたトラックに正面衝突した。衝突した2台のトラックは炎上し、このトラックの運転手2名が死亡した。	221	17	10 ～ 29
2004	12	6 ～ 7	国道において、ゆるい右カーブの上り坂を走行中に対向車と正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2004	9	8 ～ 9	トラックの荷台から荷（ドラグ・ショベルのベース部分（重量約2.6t））を荷降ししていたところ、高さ1.34mの荷台から荷とともに墜落し、荷の下敷きになった。	221	1	10 ～ 29
2004	8	18 ～ 19	集荷先民家そば路上に停車させていた集荷用トラックが後進し、当該トラック後方にいた被災者が、トラック後部とコンクリート擁壁（民家塀）に挟まれた。	221	17	30 ～ 49
2004	1	21	高速自動車道を走行中、前を走っていた大型トラックに追突した。	221	17	30 ～

		22						49
2004	9	15 ～ 16	引越作業において、移動式クレーンで搬送作業専用つり具に荷物のソファァーを積み、被災者が一緒に搭乗し、ソファァーが倒れ落下しないように手で押さえた状態で2階ベランダから引越先で隣接するマンションの3階ベランダへつり上げ運ぼうと移動させたとき、バランスを崩してソファァーとともに約7mの高さから地面に墜落した。	372	1	～	49	30
2004	12	12 ～ 13	自社車庫を出発して、配送作業のため高速道路を走行途中、車両点検のため路側帯に停車し、トラックから降りて車両前方を点検していたところ、停車中のトラックに後方からトラックが追突してきたため、反動で停車中のトラックに激突された。	221	17	～	29	10
2004	11	2 ～ 3	大型貨物自動車を運転し高速道路を走行中、路肩に停車したトレーラ右車体部分と接触した後、さらに渋滞で停車中の大型貨物自動車後部に追突した。	221	17	～	49	30
2004	6	4 ～ 5	直前を走行していたトラックが中央車線をはみ出し、対向車線を走行していたトラックに接触し、その反動で接触した直前を走行中のトラックが被災者のトラックと正面衝突した。	221	17	～	299	100
2004	9	3 ～ 4	4 tトラックで国道を走行中、前方に停車していた14 tトラックに追突した。	221	17	～	29	10
2004	11	8 ～ 9	10tトラックに積み込まれた機械装置の荷張り作業を行っていたところ、バランスを崩し約4m下のコンクリート地面に墜落した。	221	1	～	49	30
2004	9	3 ～ 4	空のドラム缶およそ20本を積んだ14tトラックを運転中、ガードレールを破り5～6m下に転落した。	221	17	～	299	100
2004	8	13 ～	4tトラックで国道を走行していたところ、対向車線にはみ出し、対向してきたトラックの側面に衝突した後、ガードレールに衝突、さらに対向して	221	17	～		10

		14	きた軽自動車と正面衝突した。			29
2004	7	5 ～ 6	高速自動車道を走行中、わき見運転のため追越車線から走行車線に入ってきたトラック（3.1t）に追突されたはずみで、道路左側のコンクリート壁に激突した。	221	17	1～ 9
2004	4	2 ～ 3	大型トレーラーを運転中、道路と並走する線路上にトレーラーが横転した。	221	17	30 ～ 49
2004	12	5 ～ 6	車を運転して三差路を右折したところへ、対向からきた車が中央線を越えて衝突した。	231	17	50 ～ 99
2004	9	4 ～ 5	2tトラックで配送する途中に、渋滞で停車していたトラックに追突した。	221	17	1～ 9
2004	8	16 ～ 17	空倉庫の重量約1.4tの天井走行式ホイストクレーン（つり上げ荷重2.8t）のガーダをホイールクレーンの吊上げ荷重1.4t補巻フックで吊上げ、撤去する作業中、ガーダが約3.5mの高さから地上に落下し、地上にいた被災者に当たった。	212	4	30 ～ 49
2004	8	2 ～ 3	被災者運転の大型トラックが道路左側の防護壁に接触、その後道路反対側の中央分離帯の金網フェンスに衝突した。	221	17	10 ～ 29
2004	6	4 ～ 5	国道を大型トラックで走行中、中央線を越えた対向車と衝突した後、対向車線にはみ出しさらに、走行してきた大型トラックと衝突した。	221	17	30 ～ 49
2004	6	4 ～ 5	被災者運転の普通トラックが中央線を越え、対向車線の大型トラックと正面衝突した。	221	17	50 ～ 99
		0				50

2004	3	1	信号待ちのトラックに、被災者の運転するトラックが追突した。	221	17	99
2004	1	7	トラックに荷物を積み込み、目的地まで運送する途中、雪のため、県道の路	221	17	30
		8	肩にトラックを止めてチェーンを取り付けていたところ、後方から4 t ト			
			トラックが衝突し、自車と相手車との間に挟まれた。			49
2004	12	19	片側1車線の緩やかなカーブをトラック（最大積載量3.2 t）で走行中、中	221	17	30
		20				
						49
2004	7	15	ダンプトラックに鉄製水槽（縦3.2m×横1.9m×1.6m、重さ約2t）を載せ	221	7	10
		16				
			ク荷台後部に乗った被災者がダンプアップしながら移動する作業中に、ず			29
			り落ちてきた水槽とダンプトラックの後部扉板との間に挟まれた。			
2004	3	22	国道を走行中、前方を走行していた乗用車がUターンの為、走行車線にて	221	17	50
		23				
			が、被災者の運転するトラックは停止しきれず、前方のトラックに追突し			99
			た。			
2004	3	21	国道において、給油所に入るため停車していたトレーラーに被災者が運転	221	17	30
		22				
						49
2004	3	11	4tトラックで帰社途中、道路交差点にて信号待ちで停車していた大型ト	221	17	10
		12				
						29
2004	5	6	高速自動車道トンネル内をトラックで走行中、トンネル内の道路左側の車	221	17	50
		7				
						99
2004	6	1	高速自動車道を2 t トラックにて走行中、前方を走っていた大型トレーラー	221	17	50
			の後部に追突した。			
						99

		2				99
2004	3	11 ～ 12	大型トラックを県道の道路脇に止めて、歩いて交差点を渡っている時、乗 用車にはねられた。	231	17	50 ～ 99
2004	6	11 ～ 12	トラックで高速自動車道を走行中、自動車道の側壁に激突し、運転者は シートベルトを着用していなかったので車外に投げ出された。	221	17	1～ 9
2004	4	4 ～ 5	4 t トラックで走行中、道路脇の建物に激突した。	221	17	10 ～ 29
2004	4	3 ～ 4	4 t トラックでバイパスの加速車線から本線に入ろうとしている時、加速車 線のゼブラゾーンに停車していた10 t トラックに衝突した。	221	17	10 ～ 29
2004	4	4 ～ 5	国道を4トントラックで走行中、センターラインを越え、対向車線を走行し ていた大型トラックと衝突、また、その後続を走行していたトラックにも 衝突した。	221	17	10 ～ 29
2004	11	3 ～ 4	国道を4 t トラックにて芝を運送中、交差点に赤信号で停車していたトラッ クに追突した。	221	17	1～ 9
2004	7	16 ～ 17	自動車販売店に自動車を降ろす作業中、キャリアカー後方において後片付 けを行っていたところ、走行してきたトラックがキャリアカー後方に追突 し、被災者がトラックとキャリアカーとの間に挟まれた。	221	17	1～ 9
2004	10	2 ～ 3	県道を2 t トラックで走行中、他の2 t トラックと正面衝突し、さらにその 直後、被災者のトラックに軽自動車が衝突した。	221	17	30 ～ 49
2004	2	3 ～	大型トレーラー（25 t）で国道を走行中、路肩に止まっていたトラックに 気づくのが遅れ追突し、そのはずみでハンドルを取られ左ガードレールに	221	17	10 ～

		4	接触、ガードレールを突き破ってトラックもろとも約10m下に墜落した。			29
2004	1	14 ～ 15	トラックを運転して走行中、県道交差点で軽乗用車と出会い頭に衝突し、弾みで道路脇の電柱に衝突、トラックが横転した。	231	17	10 ～ 29
2004	4	4 ～ 5	4 tトラックを運転走行中、前方の赤信号で停止しようとした10 tトラックに追突した。	221	17	1～ 9
2004	4	10 ～ 11	トラックに荷物を積み込み、国道を走行中、左カーブで対向車線にはみ出し、対向のトラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2004	10	14 ～ 15	工事現場で使用していたタイヤローラーを、運転して大型トラックの荷台に後進で積み込んでいたところ、トラック荷台前方のフレームと後進したタイヤローラーの間に挟まれた。	144	7	10 ～ 29
2004	10	3 ～ 4	国道を自社所有のトレーラーで走行中、交差点で信号待ちをしていたトレーラーに後方から衝突した。	221	17	10 ～ 29
2004	10	0 ～ 1	木造建築現場において、荷物を、受け渡す要領で荷卸し作業を行っていたところ、荷の受け手であった被災者がバランスを崩し、2m下のアスファルト道路に墜落した。	418	1	50 ～ 99
2004	9	3 ～ 4	荷物を運送するため、高速道路を10 tトラックで走行中、前方を走行中のトラックが事故を起こして横転しているところへ追突し、自身のトラックも横転、大破炎上した。	221	17	10 ～ 29
2004	4	15 ～ 16	トラックで荷物の運送中、インター付近で大雨のためスリップし、道路側壁に車体が激突し、その衝撃により車外に放り出された。	221	17	10 ～ 29
2004	7	10 ～	マンションの4階から引越の荷物を搬出するため、荷の上げ下ろしに使用する引越リフト車の搬器を、あおりを倒した状態で4階通路外側まで上昇さ	229	1	10 ～

		11	せ、荷を搬器に積み込む作業を行っていた際に、同搬器のあおりに乗って作業をしていた被災者が、搬器のあおりから墜落した。			29
2004	1	16 ～ 17	15 tトラックに積んだアルミスクラップを荷卸しする作業中、左側アオリを開けて準備していたところ、荷が崩壊し、最上部に積んでいたアルミスクラップ3束が崩れ落ち、そのうち1束（約600kg）が被災者を直撃した。	611	5	10 ～ 29
2004	12	7 ～ 8	守衛業務中、事務所の鍵を開けて守衛室に戻る途中で、夜勤作業を終えて帰宅しようとしていた別の労働者の運転する自家用車にはねられた。	231	17	30 ～ 49
2004	9	3 ～ 4	高速道を走行していたトラックに被災者が運転していたトラックが追突し、被災者は運転席に挟まれ脱出できなくなった。このため追突されたトラックの運転手が発炎筒をたいて待機していたところ、その後、後方から走ってきた別のトラックが、被災者が閉じこめられたトラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2004	7	12 ～ 13	自動車販売会社の建屋改修工事において、足場組立業者の手元作業をしていたところ、バランスを崩して2階屋根から約8m墜落した。	221	17	10 ～ 29
2004	7	15 ～ 16	トレーラーにビールの空容器の積込作業を行っていたところ、フォークリフトにひかれた。	222	7	10 ～ 29
2004	8	15 ～ 16	トラックに段ボールを積み込む作業において、作業場を移動中、別のトラックに使用する作業用の台を運んでいたフォークリフト（バックで移動中）後部と激突した。	222	6	10 ～ 29
2004	6	6 ～ 7	4 tトラックを運転中、対向車線を走っていたトラックがセンターラインをオーバーして正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2004	4	6 ～	コピー用紙を積んだパレットをフォークリフトをバックで旋回移動中、上部の荷が崩れそうになったため、荷を地上に降ろし荷を押して修正しよう	611	5	30 ～

		7	としたが支えきれず、荷が当たった。			49
2004	12	5 ～ 6	トラックで高速道路を走行中、カーブを直進し道路左側側壁に衝突、車外に投げ出された。	221	17	10 ～ 29
2004	7	15 ～ 16	倉庫内に積まれた、ラック（自転車をのせるもの）の山を上る最中に墜落した。	379	1	30 ～ 49
2004	12	12 ～ 13	国道を走行していた大型トラックが、対向車線にはみ出し、走行中の被災者が運転する大型トラックと正面衝突した。	221	17	1～ 9
2004	6	1 ～ 2	高速自動車道を大型トラックで運行中、料金所手前1kmの地点で前方の4 tトラックが減速したことに気付かず追突し、さらに道路側壁に激突した。	221	17	30 ～ 49
2004	11	14 ～ 15	仮置きした荷を所定の場所に保管するため、フォークリフトを後進させていた時、走行中のフォークリフトの運転位置から離れようとした被災者が、フォークリフトの後部と倉庫の柱との間に挟まれた。	222	7	10 ～ 29
2004	10	7 ～ 8	倉庫内のホイスト式天井クレーンを使用して作業を行っていたところ、つり上げていた鋼板が荷崩れをおこし、当該鋼板が被災者を強打した。	211	4	1～ 9
2004	3	8 ～ 9	構内において荷物配達先までの道順を同僚の運転手に教示してもらうため、前後約2mの車間を空けて停めた2台のトラックの間に地図を広げて、後車の運転手に道順を聞いた。話を終えて車に戻った後車の運転手が、別れた後も同じ場所にしゃがんで地図を広げていた被災者に気づかず、右にハンドルを切ってトラックを発進させたところ、前車の運転手である被災者はトラックに巻き込まれてひかれた。	221	7	100 ～ 299
2004	4	6	コピー用紙を積んだパレットをフォークリフトをバックで旋回移動中、上部の荷が崩れそうになった。そのため、荷を地上に下ろし荷を押して修正	611	5	30 ～

		7	しようとしたが支えきれず、荷が倒れて被災者に当たった。			49
2004	5	3 ～ 4	集配業務に使用するプラットフォームから下に転落した。	419	1	30 ～ 49
2004	9	14 ～ 15	タンクローリーから酢酸廃液を注入する作業が終了し、後片付け中に、同タンクが爆発し、火災が発生した。	519	14	10 ～ 29
2004	2	8 ～ 9	高速道路のトンネル内で、前方の事故で停車していた車列最後尾の大型貨物自動車（10 tトラック）に、被災者の運転する普通貨物自動車（4 tトラック）が追突した。	221	17	10 ～ 29
2004	4	3 ～ 4	国道を普通トラックにて走行中、前方の信号待ちで停止中の大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2004	11	2 ～ 3	国道を走行中、交差点で信号待ちをしていた大型トレーラー後部に、追突した。	221	17	10 ～ 29
2004	11	18 ～ 19	国道バイパスで10t大型トラックで走行、15t大型トラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2004	5	9 ～ 10	4トントラックで国道を走行中、左カーブを曲がりきれず右側の約4m下の山林に転落した。	221	17	30 ～ 49
2004	11	8 ～ 9	スクリー車（10tトラック）の荷台の上で、建屋に固定されたサイロからパーライト（粉状の鉱物）をスクリー車の荷台へ移送するため、シュート（サイロ下部と荷台上の投入口を連結する袋状のもの）を取り付ける作業を行っていたところ、墜落した。	221	1	1～ 9
		3	4tトラックに荷物を積んで、国道を走行中、信号待ちで停車中の大型ダン			1～

2004	6	～ 4	プ（10t）に被災者の運転する4tトラックが追突した。	221	17	9
2004	2	5 ～ 6	荷を積込んだ10 tトラックを運転中、橋の手前から左へ車道を外れ、ガードレールを倒し、そのまま直進し、約5m下の川へ墜落した。	221	17	100 ～ 299
2004	6	5 ～ 6	国道を運転中、左カーブを曲がりきれず、センターラインをオーバーして反対車線に出てしまい、対向車と衝突した。	221	17	1～ 9
2004	6	13 ～ 14	トラックで国道を走行中、反対車線を走行していたダンプ車がスリップし、センターラインを越えて飛び込んできたため、よけきれず、当該ダンプ車に激突した。	221	17	10 ～ 29
2004	5	2 ～ 3	国道を走行中、信号待ちで停車中の車両に追突した。	221	17	1～ 9
2004	12	5 ～ 6	2tトラックで交差点に進入したところ、右側交差路から進入してきたライトバンに衝突され左側交差路のガードレールにトラックが激突し、その衝撃で被災者が車外に投げ出された。	221	17	50 ～ 99
2004	4	10 ～ 11	ビニールハウスの材料を荷下ろしするため、トラックの荷台上で玉掛け作業中、荷崩れを起こした材料とともに転落した。	521	5	10 ～ 29
2004	2	2 ～ 3	トラックで高速道を走行中、前方を走行中の大型トレーラーの後部に追突した。	221	17	10 ～ 29
2004	8	4 ～ 5	トラックで国道を走行中、前方を走行していたトレーラーに追突、積荷のコイルが運転席後部まで荷ずれを起こし、運転席にいた被災者が挟まれた。	221	17	50 ～ 99
		11	トラックで走行中、国道の分離帯が途切れているところで右折のため停車			10

2004	8	～ 12	していた他のトラックに追突した。	221	17	～ 29
2004	6	15 ～ 16	共同車庫（トレーラ置場）敷地内で、トラクタとトレーラを連結する作業をしていた被災者が、連結した際にランディングギアを巻き上げていたところ、当該車両（トラクタ、トレーラとも）のブレーキがしっかり掛かっておらず、また敷地が若干傾斜していたため、車両が動き出し、あわててその車両を止めようとしたときに、トラクタの左側タイヤに巻き込まれひかれた。	221	7	30 ～ 49
2004	5	4 ～ 5	国道の交差点で、信号待ちのトラック2台の後方から被災者が乗った別のトラック1台が追突し、計3台の玉突き衝突となったもの。	221	17	1～ 9
2004	8	11 ～ 12	トラックを運転して搬入した荷台上のパルプ54個（1個約200kg）を、別事業場の労働者1名がクランプ式フォークリフトで荷下ろし作業中、トラック車体を挟んで荷下ろし側と反対側に、トラックを運転して来た被災者が倒れているのが発見された。	611	4	10 ～ 29
2004	1	10 ～ 11	トラックの荷台のシートをはずしている際、足を引っ掛けて転落した。	221	1	1～ 9
2004	4	23 ～ 24	トラックを運転し、高速道路を走行中、トンネル入口のトンネル側面に衝突した。	221	17	50 ～ 99
2004	5	6 ～ 7	大麦を積載した大型トレーラー（30 t）を運転し、国道を走行中、下りのカーブで横転した。	221	17	30 ～ 49
2004	2	11 ～ 12	片側2車線で上り線が緩い下り坂の右カーブのにおいて、被災者がトラックを運転していたところ、対向車線を走行していたトレーラーが中央分離帯を乗り越え被災者のトラックに正面衝突した。	221	17	30 ～ 49

2004	1	9 ~ 10	引越作業で大型冷蔵庫を搬出するため、2階の窓からスカイポーターのキャリア（あおりを倒し、フラットにした状態）に乗せようと、大型冷蔵庫を4人の作業者が2階から押し、被災者ともう1人の作業者がキャリアの上で引っぱり、大型冷蔵庫をキャリアに乗せる作業をしていたとき、被災者がキャリアから墜落した。	229	1	30 ~ 49
2004	10	13 ~ 14	トラックを運転中、渋滞で停止していた前のトラックに追突した。	221	17	1~ 9
2004	8	4 ~ 5	トラックで国道を走行中、前に止まっていたトラックに追突した。	221	17	10 ~ 29
2004	1	3 ~ 4	トラックを運転し国道を走行中、前方を走っていたトラックが急停車したため後続の車が次々に巻き込まれ衝突し、そのうちの1台に追突した。	221	17	100 ~ 299
2004	3	3 ~ 4	トラックで国道を走行中に、チェーン装着のために国道上に停車していた別のトラック後部に追突した。	221	17	1~ 9
2004	1	16 ~ 17	配達のためトラックで県道を走行中、被災者の運転する車がセンターラインを越えて反対車線側に進入し対向車線を走行中の大型ダンプ車に正面衝突した。	221	17	10 ~ 29
2004	9	14 ~ 15	3 t 冷凍冷蔵車を運転中、下り坂左カーブで、横転、右ガードレールに激突した。	221	17	50 ~ 99
2004	8	5 ~ 6	トラックで高速自動車道のトンネル内の走行車線を走行中、前方を走っていた大型トラックに追突しそうになったため、追突を避けるため、右にハンドルを切ったが避け切れず、大型トラックの右後方に追突し、さらに右側壁に衝突し、はずみでトラックが横転した。	221	17	1~ 9

2004	11	23 ～ 24	トラックを運転し国道を走行していたところ、対向車がセンターラインを越え激突した。	221	17	30 ～ 49
2004	10	20 ～ 21	トラックで走行中、国道沿いで渋滞に巻き込まれたときに、台風の影響で近くの川が増水してトラックが冠水し、運転していた被災者がおぼれた。	713	10	10 ～ 29
2004	9	9 ～ 10	町道において、対向車線のトラックが雨のためスリップし、センターラインをはみ出して来て、被災者の運転するトラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2004	3	22 ～ 23	10tトラックで国道を走行していた際、道路工事による片側交互通行のため停止中の乗用車に追突した。	221	17	50 ～ 99
2004	8	13 ～ 14	トラックに積まれたドラム缶（重量約200kg）を、荷台からトラック横に付けたフォークリフトのパレットに載せて降ろす作業を行っていた際に、いったんパレットに載せたドラム缶の位置を被災者がずらそうとした時に、そのドラム缶とともに地面に墜落し、ドラム缶の下敷きになった。	611	4	50 ～ 99
2004	4	1 ～ 2	ワゴン車で新聞朝刊を新聞販売店に配送するため、国道を走行中、交差点にて、側方より走行して来た乗用車と出会い頭に衝突した。	231	17	30 ～ 49
2004	6	4 ～ 5	4tトラックに乗り荷物の運搬作業中、交差点で、赤信号で停車していた8tトラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2004	12	22 ～ 23	10 t 積大型トラックを運転し、高速自動車道を走行していたところ、同じ走行車線の前方を走行していた大型トレーラーに気付いたが発見が遅れ、追い越し車線に車線変更をしたが避けきれず追突し、反動により中央分離帯のガードレールに衝突横転した。	221	17	100 ～ 299
			米菓の入った1個重さ約590kgの製品充填タンク（鉄製タンク）8個を1 t			

2004	8	10 ～ 11	フォークリフトを使って、10 t 大型トラックに積み込んでいたが、7番目の製品充填タンクの位置が悪かったため、フォークリフトを降り、直そうと近づいた際、高さ1.2mの荷台から製品充填タンクが落下し、被災者が下敷きになった。	611	4	～ 299	100
2004	2	4 ～ 5	積載量約14 t の貨物自動車に紙製品を積み、国道を走行中、対向車線のタンクローリー車がセンターラインを超え、被災者の運転する貨物自動車に正面衝突した。	221	17	～ 49	30
2004	10	5 ～ 6	対向の上り線で15tトラックが落下タイヤに乗り上げ中央分離帯に衝突する事故が起こり、積荷固定ワイヤロープが切れ、積荷である石油タンク外壁鉄材（長さ6m幅3m重さ6.5t）が下り線へ落下した。直後に下り線を走ってきた被災者の4tトラックはこれに衝突し、全焼した。	221	17	～ 29	10
2004	5	18 ～ 19	4 t トラックで国道を走行中、緩い左カーブのセンターラインをはみ出したため、対向する10 t トラックに衝突した。	221	17	～ 99	50
2004	3	13 ～ 14	工事現場に7t車で鉄板型枠を搬送してきた被災者が、荷降場所近くの下り勾配の路上に停車し、運転席から降りたところ車が動き始めたため、車前で押しとめようとしたが、そのまま下敷きとなった。	221	7	～ 29	10
2004	10	11 ～ 12	トラックにプラントの機械部品をホイールクレーンで積込む作業において、トラック荷台上で次の部品を積むため、既に積み終わった部品（幅約60cmの金属製の板）の上を歩行中、体のバランスを崩し約2.5m下のアスファルト路面上に墜落した。	612	1	～ 29	10
2004	6	1 ～ 2	トラックで国道を走行中、信号停車中の25 t 大型保冷車の後部に追突した。	221	17	1～ 9	
2004	12	13 ～ 14	リサイクルセンターにおいて、ダンプカーの荷台に積まれたアスファルト合材をおろす作業をダンプカーの荷台の後方で行っていたところ、廃材運搬のために同リサイクルセンター内を走行していたトラクター・ショベルに激突された。	141	6	～ 29	10

2004	11	12 ～ 13	自動車道の本線への進入のループにおいて、減速不十分のため運転中のコンテナ車が横転し、ガードレールのポールに激突した。	221	17	～ 49	30
2004	11	18 ～ 19	国道を走行中、反対車線を走行してきたトラックが追越のため車線をはみ出してきたため正面衝突した。	221	17	～ 29	10
2004	9	18 ～ 19	シャーシ置き場においてシャーシを縦に並べて駐車させる作業中、他の労働者が、トレーラーを後退させたところ、地上にいた被災者が、トレーラー後部とシャーシの間に挟まれた。	221	7	～ 49	30
2004	12	7 ～ 8	荷捌場内で、荷の建築部材（長さ約3m×20本、総重量350kg）を立てて積んであるキャスター付きの鋼製カゴ（幅108cm×奥行110cm×高さ180cm）をトラックに積み込むため移動させようと手前に引いたところ、荷および鋼製カゴが被災者側に倒れ、下敷きとなった。	611	5	～ 49	30
2004	2	3 ～ 4	2tトラックで走行中、自動車道入口付近にて走行車線前方が工事のため通行止めになっていたため右側の車線に変更しようとしたところ、右側車線後方より走行してきた4tトラックに追突され、停車していた工事用トラックに激突した。	221	17	～ 99	50
2004	8	9 ～ 10	共同住宅3階の部屋の引越作業において、作業員2名が窓からセパレート式箆笥の上段（重量40kg）をつりロープを用いてつり下ろしていたところ、窓の外側に設置されていたアルミ製の手すりが外れ、7m下の地上に墜落した。	414	1	～ 49	30
2004	12	14 ～ 15	倉庫から搬出されたコーヒー豆の袋（重さ60kg）合計267袋を、20tシャーシの荷台へ順次積み込む作業をしていたときに、シャーシ荷台のあたりを乗り越えて、約2m下の地上へ墜落した。	221	1	～ 49	30
2004	9	9 ～ 10	社宅において、会社の部下に殺害された。	521	90	9	1～

2004	7	4 ～ 5	トラックの運転業務中、交差点で相手方の信号無視により、出会い頭に衝突した。	231	17	10 ～ 29
2004	12	7 ～ 8	荷物をトラックの荷台に積み込む作業中、被災者がトラック後部荷台の扉を開け立っていたところ、同僚の運転手が被災者の位置を確認することなくトラックを後退させたためトラック後部と建物（ドッグシェルター）との間に挟まれた。	221	7	50 ～ 99
2004	10	15 ～ 16	トレーラーを運転中、トレーラーの左横を走行していた2tトラックと接触し、そのはずみでガードレールに衝突した際、運転席から投げ出された。	221	17	30 ～ 49
2004	2	7 ～ 8	トラックへの荷積み作業中に、後退してきた車両とプラットフォームに挟まれた。	221	7	50 ～ 99
2004	8	10 ～ 11	輸入原木（約36t）をトレーラーに積み国道を走行中、緩やかな下りカーブを曲がり切れずにガードレールや建物に衝突しながら数m蛇行し横転、被災者が車外に投げ出されところに積荷の原木が落下した。	221	17	1 ～ 9
2004	4	9 ～ 10	引越積み先のマンションで荷物の運び出しの準備中、階段で転落した。	413	1	10 ～ 29
2004	12	6 ～ 7	大型トラック（積載荷重10t）で高速道路を走行中、走行車線に停車した別のトラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2004	2	9 ～ 10	事業場構内にあるテント倉庫のシャッターが、前夜からの強風により壊れたのを修理するため、同僚の運転手1名とともにフォークリフトのヘッドガードを足場代わりにして作業を行っていたところチルトレバーを踏んでしまい、フォークリフトのヘッドガードとマストとの間に挟まれた。	222	7	30 ～ 49
		9	事業場構内天井部の蛍光灯を交換する作業のため、フォークリフトに積載			10

2004	10	～	された18段のパレット上で作業していたところ、パレットの上でバランス	222	1	～
	10		を崩し、約5m下の地上に墜落した。			29
2004	6	～	大型トラックで高速自動車道の本線から料金所へ向かう途中のスロープに	221	17	10
	6		において、スピードを超過していたためカーブを曲がり切れず防音壁に衝突			～
	7		した。			29
2004	5	～	トラックで高速道路を走行中、工事渋滞による車列の最後尾の大型トラッ	221	17	30
	5		クに追突した。			～
						49
2004	2	～	トラックで国道を走行中、凍結した車道に停車中のトラックに追突した。	221	17	10
	2					～
						29
2004	8	～	引越し作業において、家財搬入作業中、熱中症となり倒れた。	921	90	30
	1					～
						49
2004	12	～	国道をトラックで走行中、路肩にトラックを停車し、車外に出ていたとこ	221	17	100
	12		ろ、後方より走行してきたトレーラーに追突された。			～
	5					299
2004	8	～	飼料保管倉庫内において、はい付け、はいくずし作業中、倉庫中央部にで	611	5	30
	17		きた空間で袋詰め飼料（フレコンバック：500～1000Kg）をクレーンで下			～
	18		ろす作業を行っていたところ、はいの一部が崩れ、袋詰め飼料の下敷きに			49
			なった。			
2004	6	～	トラックで国道を走行中、赤信号のため停車中の大型貨物自動車に追突し	221	17	50
	6		た。			～
	4					99
2004	8	～	4 t トラックで国道を走行中、バイクを追い越し走行車線に戻ったところ、	221	17	30
	8		ガソリンスタンドへ入るために停車していたトラックの後部に追突した。			～
	13					49

2004	4	5 ～ 6	大型トレーラーにて高速自動車道を走行中、燃料切れおよびエンジントラブルのため、路肩に停車し三角表示板を立てて車両左前部分で修理していたところ、後ろから走ってきた大型トラックがトレーラに衝突し被災した。	221	6	30 ～ 49
2004	1	9 ～ 10	交差点において、赤信号で停止中の大型トラックに、被災者の運転するトラックが後ろから追突し、衝撃により運転席がつぶれた。	221	17	10 ～ 29
2004	9	5 ～ 6	大型車で国道を走行中、交差点にて、赤信号で停止中の別の大型車に追突した。	221	17	10 ～ 29
2004	11	3 ～ 4	13 t トラックを運転中、時速35kmで前方を走行していた大型トレーラーに激突した。	221	17	50 ～ 99
2004	5	10 ～ 11	トラックで県道を走行中、道路左側の歩道縁石に乗り上げ、田んぼに横転し電柱に激突した。	221	17	30 ～ 49
2004	10	0 ～ 1	3tトラックで片側一車線の道路を走行中、センターラインを越え対向車のトラックと衝突した。	221	17	1～ 9
2004	6	8 ～ 9	PC杭をトレーラーから荷卸するため玉掛を行い、また移動式クレーンオペレータが巻き上げを開始した。しかし、玉掛したものは別のPC杭が荷台から転げ落ちそうになったため、被災者は危険を感じ荷台から飛び降りたが、当該PC杭は荷台から落下、被災者を直撃した。	372	4	100 ～ 299
2004	9	14 ～ 15	倉庫の清掃中に落下してきた麻袋（米が入っており、約60kg）の下敷きとなった。	611	5	10 ～ 29
		5	4 t トラックを運転中、燃料切れにより交差点の手前で停車したため、ト			

2004	1	6	トラックから降りてキャビンを上げて助手席側でエア抜き作業を行っていたところ、後方から走行してきたバスがトラックの後部に追突したため被災した。	221	17	1～9
2004	9	10～11	建築材料（重量600kg）を移動式クレーンでつり上げ移動中、つり荷が足場に接触、落下し、つり荷の下で準備作業を行っていた被災者に激突した。	212	4	10～29
2004	9	12～13	仕事から帰宅し食事をしていた時、突然嘔吐しながら倒れこんだ後、意識を失った。	911	90	1～9
2004	11	1～2	国道を走行中、前方の交差点に停車していた大型トレーラーに追突した。	221	17	10～29
2004	10	2～3	店舗前の道路上に止めた車両運搬車の荷台部分で積み込み準備の作業を始めたところ、車両運搬車後方から走行して来た粉体運搬車に追突された。	221	17	50～99
2004	2	15～16	大型トレーラーに鉄骨材を積載して走行中、右折のため停車していた乗用車に気づきブレーキをかけたところ、荷台に積んでいた鉄骨材4本（長さ10m、幅90cm、高さ30cm、重量21 t）が前に滑り運転席を直撃した。	221	17	1～9
2004	6	22～23	高速自動車道を走行中、車線中央に停車中の大型ダンプに追突した。	221	17	10～29
2004	7	2～3	4 t 保冷車が走行中、中央分離帯に乗り上げた後、ガードフェンスの支柱に衝突した。このため、運転席後部の寝台で仮眠していた被災者が車外へ投げ出された。	221	17	1～9
2004	3	3～4	トラックで走行中、対向車線にはみ出し対向車の右側面に衝突した。	221	17	30～49

2004	2	1 ～ 2	高速道を大型トラックで走行中、本線車線とインターチェンジに向かう減速車線との分岐点で両道路を分けるガードレールに衝突した。	221	17	30 ～ 49
2004	10	8 ～ 9	大型トレーラーから荷降ろしするため荷台に上り、シートを外す作業中、バランスを崩し墜落した。	221	1	10 ～ 29
2004	10	3 ～ 4	普通貨物自動車で国道上を走行中、信号待ちしていた大型貨物自動車に追突した。	221	17	10 ～ 29
2004	5	10 ～ 11	20tトレーラを運転中、スピードの出し過ぎの為、カーブを曲がりきれずトレーラーが横転し、運転していた被災者が下敷きになった。	221	17	10 ～ 29
2004	6	2 ～ 3	高速自動車道を走行中、別のトラックとタクシーが接触事故を起こして、停車しているところに、追突した。	221	17	10 ～ 29
2004	7	3 ～ 4	トラッククレーンで国道を走行中、意識不明となった。	911	90	10 ～ 29
2004	8	4 ～ 5	町道を大型トラックで走行中、センターラインを越えて対向車線側の電柱に衝突した。	221	17	30 ～ 49
2004	6	7 ～ 8	バイクの積み込み作業中、トラックのパワーゲートの調子が悪いため、最上部で動かなくなったゲートにぶらさがったところ、突然ゲートが落下し、落下したゲートとトラック荷台の縁に挟まれた。	221	7	50 ～ 99
2004	5	12 ～ 13	トラックで高速自動車道を走行していたところ、道路左側のガードレールとフェンスを突き破って約10m下の町道に転落した。	221	17	1～ 9

2004	4	2 ～ 3	高速自動車道をトレーラーで走行中、前方で多重衝突事故があり、これらの車両との衝突を避けようと、左ハンドルを切ったところ、ガイドロープを突き破り、約4m下の雑木林に転落した。	221	17	300 ～ 499
2004	2	3 ～ 4	高速自動車道において、大型トラックを運転中、前を走っていた大型トレーラーに追突した。	221	17	30 ～ 49
2004	7	12 ～ 13	高速自動車道でサービスエリアに入ろうとして減速した車両積載形トラッククレーンに追突した。	221	17	10 ～ 29
2004	10	8 ～ 9	車両点検を行うため、15t大型トレーラーのトレーラーをトラクタから切り離す作業を行っていた際、トレーラー部分を支えるジャッキを動力により昇降させるための準備作業を鉄製のクランク型ハンドル（縦40cm×横50cm×太さ3cm重さ約5kg）を使用して手動で行った後、ハンドルを抜かずに動力稼動スイッチを入れたところ、ハンドルが動力により回転し被災者に当たった。	221	6	50 ～ 99
2004	4	2 ～ 3	4 tトラックで国道を走行中、左カーブで対向車線にはみ出したため、対向してきた大型トレーラーと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2004	5	12 ～ 13	トラックで高速道を走行していたところ、道路左側のガードレールとフェンスを突き破って約10m下の町道に転落した。	221	17	10 ～ 29
2004	6	3 ～ 4	トラックで走行中、道路の中央分離帯に設置された標識に激突横転し、さらに、距離をおいて後ろから来たトラックに衝突された。	221	17	50 ～ 99
2004	4	0 ～ 1	敷鉄板（縦170cm×横302cm×厚さ2cm、重量750kg）を5 tトラックの荷台に、小型移動式クレーン（つり上げ荷重2.93 t）で、つり上げようと、つりクランプ1個を敷板に掛けたところ、敷鉄板が倒れ、同敷鉄板とトラックの車体に挟まれた。	372	5	1～ 9

2004	1	4 ～ 5	トラックで走行中、対向の大型トレーラーが緩い左カーブでセンターラインを越えて飛び出し衝突した。	221	17	～ 99	50
2004	9	11 ～ 12	フォークリフトを用いて、トラックに積載していた牧草ロールを倉庫に運搬する作業を行っていたところ、3段積み（高さ3.5m）の最上段の牧草ロールが落下し、落下地点付近で掃除をしていた被災者を直撃した。	611	5	～ 99	50
2004	2	7 ～ 8	トラックを運転し、トンネルを走行中、トンネル出口付近でブラックアイスバーンによりスリップして、トンネル側壁に衝突し、更にトンネルを抜けたところにある中央分離帯に激突、横転した。	221	17	～ 49	30
2004	6	20 ～ 21	車で走行中、ハンドル操作を誤り、路外へ転落した。	231	17	～ 99	50
2004	11	23 ～ 24	トラックで国道を走行中、上記災害発生場所で対向車線にはみ出して対向車のトラックと正面衝突した。	221	17	～ 49	30
2004	8	7 ～ 8	舗装用材料を積載した大型ダンプトラックを運転中、進行方向左側から交差点に進入してきた積載形トラッククレーン右側面のアウトリガー部に衝突した。	221	17	～ 299	100
2004	1	23 ～ 24	フェリーに乗船するため国道を走行中、対向車線を走行してきた大型トラックと正面衝突した。	221	17	～ 49	30
2004	9	8 ～ 9	コンクリートミキサー車を運転中、対向車線をダンプカーが走行してきたため、いったん停止し窓から身を乗り出した状態でバックしたところ、道路幅が3mほど狭くなっている地点にさしかかったときに助手席側の後輪が脱輪し、路肩から転落横転し立木とミキサー車の間に挟まれた。	221	17	～ 29	10
2004	7	14 ～	コンパネ材をトレーラーに積み直す作業で、繊維ロープをほどいていたところ、荷が落下して下敷きになった。	611	4	～	10

		15				29
2004	12	20 ～ 21	フォークローダーを使用してトラック上の丸太を荷降ろしし、ローダーを所定の場所に置いたあと、トラックの向きを変えたとき、近くで作業をしていた同僚にトラックがぶつかった。	221	7	10 ～ 29
2004	10	17 ～ 18	7人で肥料の入ったフレコンバック（重量500kg）のはい（4列×3～4列で4～5段積み）の上部にブルーシートを掛ける作業中、隣接するフレコンバックのはい（2列×4列、4段積み）の一部が崩壊し、地上で作業していた被災者が、その下敷きになった。	611	5	10 ～ 29
2004	7	1 ～ 2	牛乳の運搬を終えて会社に帰る途中の休憩において、国道沿いのドライブインの駐車場にトラックを停車させて下車したところ、トラックが突然自走した。このためトラックを止めるためにトラックの前方に入ったが、そのままトラックの下敷きとなった。	221	17	50 ～ 99
2004	5	7 ～ 8	国道でセミトレーラーを運転中、運転を誤り道路の下に転落した。	221	17	10 ～ 29
2004	10	13 ～ 14	集荷作業のため土産物店横の歩道にトラックを駐車し、荷台に積み込み作業中、車両が動き出したため、慌てて運転席に乗り込もうとしたが、間に合わず店舗のコンクリート壁とトラックの荷台との間に挟まれた。	221	17	1～ 9
2004	8	1 ～ 2	25tトラック（冷凍車）を運転し、国道を走行中、突然、対向車線にはみ出し、中央分離帯を越えて道路右側のガードレールを突破、側道に飛び出し、車外に放り出されトラックの下敷きとなった。	221	17	100 ～ 299
2004	3	11 ～ 12	国道を大型トラックで走行中、カーブした登り坂に差し掛かったところ、対向してきた大型トレーラーが道路中央線をオーバーし、これと衝突した。	221	17	10 ～ 29
2004	11	23 ～ 24	トラック（4t）に家具を積載し緩やかな右カーブを走行中、反対車線のトラックがセンターラインを超えて来て衝突し、さらに後続のトラックに追突され、車体が炎上した。	221	17	30 ～ 49

2004	10	18 ～ 19	トレーラーを運転中、国道の左カーブを曲がりきれずに道路右側へ逸脱横転し、その反動で車外へ放り出され車の下敷きになった。	221	17	1～ 9
2004	9	0 ～ 1	単独で野菜を運搬するため、緩い右カーブの道路を大型トレーラーで走行中、道路わきのガードレールに接触後、車両感知器の支柱に衝突し炎上した。現場は緩い右カーブであった。	221	17	1～ 9
2004	9	19 ～ 20	トレーラーで農産物を運搬中、カーブを曲がりきれず、5m下の畑に転落して死亡した。	221	17	10 ～ 29
2004	1	23 ～ 24	冷凍車で国道を走行中、他の大型トラックと正面衝突し、双方の車両の運転者が死亡した。	221	17	10 ～ 29
2003	12	9 ～ 10	パワーゲート付き4tトラックで荷物を搬入し、パワーゲート上（高さ地上より約106cm）にパレットを置いて荷物を積んでいたときに、脚を踏み外して仰向けに転落した。	221	1	10 ～ 29
2003	12	4 ～ 5	10tトラックで国道を走行中、信号待ちで停車しようとしていた前方の大型トレーラーの後部に気付くのが遅れて追突した。	221	17	10 ～ 29
2003	12	2 ～ 3	大型トレーラーで国道を走行中、積荷の鉄製ドラム（直径約1.2m、幅約1.6m）1個が路上に落ちたため、通行中の2名に手伝ってもらって排除作業をしていたときに、後続車のトラックが突っ込んできて手伝者1名を含む2名をはねた。	221	17	10 ～ 29
2003	12	6 ～ 7	トレーラーで木材を運送し木材店の敷地にトレーラーをバックで入れようとしたところ、トレーラーの左後部車輪が道路脇の路肩からはみ出して脱輪したため、木材を運送してきた荷主がグラップルを操作してトレーラーの荷台から木材を降ろし始めたときに、トレーラーが左に横転し運転手がトレーラーの荷台の下敷きになった。	221	7	10 ～ 29

2003	12	5 ～ 6	10tトラックに雑貨を積んで自動車道を走行中、路面がぬれて一部凍結した下り車線で発生した玉突き事故に巻き込まれた。	221	17	～ 29	10
2003	12	～ 17	フォークリフトのパレット上の積荷（PP紐、一束の質量20kg、パレット上の個数30束）を13tトラックの荷台に積み込んでいるときに、荷台より地上（1.42m）に転落した。	221	1	～ 29	10
2003	12	19 ～ 20	海上コンテナをトレーラーで運ぶ作業で、敷地内の空いてる場所へコンテナを置くためトレーラーと台車を連結するピンを外したときに、トレーラーが動き出したのであわてて運転席に乗り込もうとして運転席ドアと隣にあったコンテナとの間にはさまれた。	221	7	～ 29	10
2003	12	10 ～ 11	ダンプ・トラックで国道を走行中、信号で停止していたダンプ・トラックに追突した。	221	17	1～ 9	
2003	12	～ 15	マンション5階の住民の引越し作業で、引越リフト車を使用して5階外部廊下から引越し荷物の電子レンジを搬器の上で両手で受け取ったときに、バランスを崩して搬器から約12m下の地面に墜落した。	229	1	1～ 9	
2003	12	13 ～ 14	トラックで国道を走行中、交差点で赤信号のため停車していたダンプ・トラックに気づくのが遅れて追突した。	221	17	～ 49	30
2003	12	1 ～ 2	時速100kmの大型トラックで高速自動車道を走行中、前方を時速60kmで走行していたトレーラーに追突した。	221	17	～ 29	10
2003	12	～ 6	トラックで原木を輸送して目的地でトラックを歩道に駐車し、フォークリフトに乗り換えて路上で原木の荷降ろしてフォークリフトを降りたときに、通りかかった酒気帯び運転の軽自動車にひかれた。	231	17	1～ 9	
2003	12	～ 20	トラックに荷を積んで国道を走行中、道路わきの駐車禁止区域に駐車していた2台のトラックに追突しトラックの助手席に乗車していた者が死亡し	221	17	～	100

		21	た。			299
2003	12	16 ～ 17	工場構内のチップ置き場で、ダンプカーの荷台から転落したダンプ運転手が頭部から血を流して倒れていた。	221	1	30 ～ 49
2003	12	15 ～ 16	鋼製のついたて（幅4m、高さ2m、底板1m）など9個をクレーンで積み込んで、ついたての重なっているところで荷締め作業をしていたときに、衝立が崩れ落ちてはさまれた。	612	7	1～ 9
2003	12	10 ～ 11	大型建設機械を低床トレーラー（最大積載量30t）に積んで国道を走行中、トンネル天井にクラッシャー上部を擦ったため、道路脇の車両待避所にトレーラーを止めてクラッシャー上部へ上がって点検していたときに、地面へ墜落し頭部を激突した。	221	1	1～ 9
2003	12	2 ～ 3	大型トラックで国道を走行中、路肩にはみ出して停車中の大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2003	12	2 ～ 3	トラックをパーキングエリア内の駐車場に停めるためエリア内の減速車線を走行中、減速車線に駐車していた大型トレーラーに追突した。	221	17	10 ～ 29
2003	12	4 ～ 5	4tトラックで国道を走行中、前方不注意により交差点で赤信号のため停止していた大型トレーラーに追突した。	221	17	1～ 9
2003	12	1 ～ 2	荷物を空港まで運ぶため大型トラック（13t）で国道を走行中、インターの道路左端に駐車していた大型トラック（ハザードランプ点滅中）の後部に追突した。	221	17	1～ 9
2003	11	11 ～ 12	4tトラックにスチール製ドア等を積んでマンション新築工事現場まで運び、荷台（地上約1m）上から地上の現場作業員に荷を1個ずつ手渡す作業をしていたときに、スチール枠が倒れたため荷台から地面に仰向けに転落した。	611	5	50 ～ 99

2003	11	1 ～ 2	6tトラックに配合飼料6tを積んで国道を走行中、左側の縁石に乗り上げて横転した。	221	17	30 ～ 49
2003	11	3 ～ 4	路肩で生コン車を洗っていたときに、乗用車が突っ込んできてはねられた。	231	17	10 ～ 29
2003	11	18 ～ 19	国道の路側帯に停車中のトラックの運転席に座ったまま、意識を失っているところを発見された。車両乗降時に足を滑らせ頭をうった痕跡があった。	221	1	100 ～ 299
2003	11	4 ～ 5	OA機器を運搬するため大型トラックで自動車道を走行中、ゆるやかな右カーブの下り坂で道路左側のガードロープ（4本）を突き破って5m下の一般道に転落した。	221	17	1～ 9
2003	11	9 ～ 10	アパート建設工事現場で、車載型クレーンで石膏ボードの荷卸作業中に、トラックの荷台から石膏ボードが崩れ落ち下敷きになった。	611	5	10 ～ 29
2003	11	6 ～ 7	原綿を10tトラックに積んで走行中、途中の駐車帯で同僚の運転していた15tトラックの後方に自分の運転していた10tトラックを駐車しトラックの前でタバコを吸っていたところ、トラックが動き出して同僚のトラックとの間にはさまれた。	221	17	10 ～ 29
2003	11	17 ～ 18	配送作業のためトラックで自動車道を走行中、前方の軽自動車と接触したので中央車線（片側3車線）に停車してトラックを降りて後続車両に合図をしようとしたときに、後続車両にはねられた。	231	17	50 ～ 99
2003	11	3 ～ 4	製材品を運んで10tトラックで走行中、国道のトンネル出口付近で4tトラッククレーン車が車線をはみ出してきて正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2003	11	3 ～	トラックで国道を走行中、トンネルの出口付近の緩いカーブで対向車線を越えて相手のトラックに激突した。（双方の運転手が死亡）	221	17	100 ～

		4				299
2003	11	12 ～ 13	普通貨物自動車で国道を走行中、側壁に接触して横転したところへ後続の普通貨物自動車に追突された。	231	17	10 ～ 29
2003	11	13 ～ 14	倉庫前に積まれていたパレット（一山約30枚）をフォークリフトで運び出そうとしたときに、右横のパレットに引っ掛けたため30枚の山からパレット7、8枚が落下し、1枚が顔面に当たった反動で後方に転倒し後頭部を地面に強打した。	222	2	10 ～ 29
2003	11	3 ～ 4	トラックで高速道路を走行中、運転手が前方不注意で前走の大型トラックに追突したため、後部座席で仮眠をしていた者が車外に投げ出された。	221	17	50 ～ 99
2003	11	6 ～ 7	14tトラックで自動車道を走行中、片側1車線の緩やかなカーブで左側路側帯にはみ出して壁に接触したため、ハンドルを右側に切ったところ対向車線を越えて道路脇にある陸橋の橋脚に衝突した。	221	17	100 ～ 299
2003	11	1 ～ 2	トラックで首都高速道路の工事現場脇を走行中、工事車両専用出口以外の部分から車線に進入してきたダンプカーの側面に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2003	11	16 ～ 17	引越作業が終了しバイク（50cc）で4tトラックの後方を走行中、前方のトラックがバス停のバスを避けるため中央車線に車線変更したときに、停車中のバスに気付くのが遅れたためバス右後方に追突して転倒し、中央車線側へ投げ出されたところへ中央車線を走行してきた大型ダンプにひかれた。	221	17	50 ～ 99
2003	11	2 ～ 3	スーパーマーケットに配送品を納入するため、シャッター（質量800kg）を上昇させて体を店内に入れたときに、シャッターが何らかの原因で落下し、頸部をシャッターと床との間にはさまれた。	391	4	50 ～ 99
2003	11	14 ～	トラックで国道を走行中、センターラインをはみだして対向車と正面衝突した。	221	17	10 ～

		15				29
2003	11	5 ～ 6	トラックで高速道路を走行中に接触事故を起こしたため、相互の車両を路肩に駐車して路上で話し合いしているときに、別のトラックが後方へ追突してきてトラック3台が玉突き状態となり、トラック間にいた者が相方の車両との間にはさまれた。	221	17	50 ～ 99
2003	11	3 ～ 4	4tトラックで国道を走行中、対向車線の大型トレーラーがガソリンスタンドへ入ろうと急に右折したため、避けようとして右にハンドルを切ったが避けきれず、トレーラー後部にキャビン左部が衝突し、反動で反対車線へ突き飛ばされて対向車線を走行してきたトラックと衝突した。	221	17	30 ～ 49
2003	11	12 ～ 13	トラックで走行中、センターラインを越えて対向車線を走行する乗用車と衝突し、道路脇の民家に突っ込み民家とともに炎上した。（トラックの運転手と乗用車の運転手が死亡）	221	17	30 ～ 49
2003	11	6 ～ 7	トラックで自動車道を走行中、ジャンクションの下りカーブでスピードが出すぎていたため、右側ガードレールに接触し横転した。	221	17	30 ～ 49
2003	11	5 ～ 6	4tトラックに引越し荷物を積載して国道を走行中、赤信号で停車していたトラックの後部へ追突した。	221	17	10 ～ 29
2003	11	20 ～ 21	フォークリフトでトラックに青果物を積む作業で、リフトの外側からレバーを操作しようとして誤ってチルトレバーに触れたため、マストが手前に倒れてきてヘッドガードとマストの突起部分との間に頭部をはさまれた。	222	7	30 ～ 49
2003	11	10 ～ 11	カゴ車（パチンコ台枠22個を運搬するもの）を4tトラックから降ろすため、フォークリフトの爪を差込んで上昇させ後進したときに、落下しそうになったカゴ車を押さえようとして運転席から転落し、後進するフォークリフトの後輪に巻き込まれて引きずられた。	222	7	1～ 9
		4				50

2003	11	5	トラックに空コンテナを積んで高速道路を走行中、側壁に激突した。	221	17	99
2003	11	9 10	トレーラー（47t積み）でL型アングル（鋼材）を運搬して倉庫前の公道上で他社の労働者がフォークリフト（11t）で荷降し作業中に、高さ約1.6mのトレーラーの荷台から結束した鋼材（重さ：1t、長さ：約2m、幅40cm、高さ約30cm）が転がって落下し、トレーラーとフォークの間でいたトレーラーの運転手の頭部を直撃した。	221	4	50 99
2003	11	23 24	トラックで2車線の高速道路を走行中、外側のガードレールに激突した反動で中央分離帯のガードレールに激突し、再び反動で外側のガードレールに激突し、さらに前方を走行中の10tトラックの後部に接触横転し、そのまま中央分離帯のガードレールに激突した。	221	17	30 49
2003	11	1 2	大型トレーラ（20t）で国道を走行中、急な左カーブを曲がりきれずに横転しガードレールや水銀灯に激突した。	221	17	30 49
2003	10	3 4	トラックで自動車道を走行中、インターチェンジで自動車道から出るため減速したところに後続車両に追突され、防音壁に激突して車両が横転し運転席で下半身をはさまれた。	221	17	30 49
2003	10	0 1	納品のため4tトラックで高速道路を走行中、左側車線から大型トラックが急に割り込んできたので衝突を避けようとして右に急ハンドルを切ったときに、センターライン沿いのガードフェンスに衝突し、その反動で路肩側のフェンスにはね返ったときに車外に放り出され自分のトラックの下敷きになった。	221	17	10 29
2003	10	23 24	雑荷を積んでトラックで走行中、交差点を赤信号で停車中の2台の車を追い越して交差点に進入してきた乗用車に衝突され、水路に転落して溺死した。	221	17	50 99
2003	10	4 5	トラックで国道を走行中、対向のトラックに衝突された。	221	17	10 29

2003	10	18 ～ 19	作業機材を引き取るため6tトラックで工事現場に着き、エンジンをかけたままトラックを下車して車両後部へ回って小型移動式クレーンを操作したときに、トラックが後方へ動き出したので止めようとしてトラックと停車していた50tクレーン車との間にはさまれた。	221	6	～ 29	10
2003	10	10 ～ 11	取引先で荷を積んで10tトラックで高速道路を走行中、国道との合流地点の手前の左カーブを曲がりきれずに右側のガードレールを乗り越えて横転した。	221	17	～ 29	10
2003	10	7 ～ 8	トラックで国道を走行中、緩やかな左カーブにおいて対向車線にはみ出し10tトラックと正面衝突した。	221	17	～ 299	100
2003	10	23 ～ 24	大型トラックに荷を積んで走行中、道路左側の商店に入ろうとして減速した大型トレーラーに追突した。	221	17	～ 29	10
2003	10	21 ～ 22	12t保冷車で県道を走行中、製紙工場のコンクリート製の門に突っ込み、そのまま敷地内に停車していたトレーラーに激突した。	221	17	～ 29	10
2003	10	4 ～ 5	荷の運搬のためトラックで高速道路を走行中、インター手前で渋滞のため停車していた大型トラックに追突した。	221	17	～ 49	30
2003	10	11 ～ 12	橋形クレーン（つり上げ荷重4.8t）でH型鋼（長さ10m、幅0.9m、質量2t）をトレーラーへ積み込む作業中に、トレーラー上に積んだH型鋼に橋形クレーンの脚部が当たってH型鋼が落下しかかったので、荷台上の誘導者が荷台から飛び降りたときにH型鋼が落下してきた。	211	4	～ 29	10
2003	10	1 ～ 2	トラックで配送中、交差点で乗用車と出会い頭に衝突し、そのはずみで交差点脇の電柱に激突した。	221	17	～ 49	30
		20	印刷物を4tトラックに積んで国道を走行中、ガードレールがない片側一車				10

2003	10	～ 21	線の左カーブの山道で運転を誤り道路から約50m下にトラックとともに転落した。	221	17	～ 29
2003	10	～ 1	0 原石の採取場で、採取した原石をダンプに積み込む作業の前にタイヤショベルを最初に停めてあった場所まで戻そうと後進で移動させていたときに、道路端から川へ車両ごと転落し溺死した。	141	1	1～ 9
2003	10	～ 3	2 4tトラックで国道を走行中、対向車線を走行中の10tトラックと正面衝突し、双方の運転手が死亡した。	221	17	～ 49
2003	10	～ 3	2 10tトラックで走行中、反対車線を走行していた4tトラックがはみ出してきて正面衝突し双方が死亡した。	221	17	～ 29
2003	10	～ 1	0 大型保冷車（車長12m、積載10t）に冷凍魚介類を積んで高速道路を走行中、右前輪が破裂して中央分離帯に乗り上げて横転し、車外に放り出されて自車の下敷きになった。	221	17	～ 29
2003	10	～ 2	1 トレーラーで国道を走行中、前方を走行していたダンプカーが鹿を避けようとして中央線を越えて対向車線のトラックに接触し、急停車したところへ追突した。	221	17	～ 29
2003	10	～ 8	7 碎石プラントにおいて、トラクター・ショベルで10tダンプに砂利を積込み移動しようとしていたところに、トラクター・ショベルがバケットを地上から2mほど上げた状態のままダンプに向かって前進してきて激突された。	141	6	～ 29
2003	10	～ 5	4 9tトラックで自動車道を走行中、片側3車線の左側車線を走行していた大型トラックのタイヤが脱輪して中央車線に転がり、前方を走っていた大型トラックに接触したので、追い越し車線に車線変更したところ、再び転がってきたタイヤに乗り上げてハンドルを取られ左側側壁に衝突した。	221	17	～ 29
2003	10	～ 4	3 冷蔵冷凍車（大型トラック25t）で物流センターへ荷卸してホームから約5mほど前進させ停車し、冷凍車後部右側に立って開いている扉を閉めようとしていたところへ、トラック（2t）が冷凍食品を積もうとバックしてき	221	7	～ 100 299

			たため、冷蔵冷凍車とトラックとの間に頭部をはさまれた。			
2003	9	5 ～ 6	トラックに荷物を搬入するため、搬入口に着けるため指定の搬入口前方でトラックから降りてトラック後方のパワーゲートを開いていたところ、トラックが前方に動き出したので前に回って押さえようとしたが止められず、後方にあった看板のポールとトラックとの間にはさまれた。	221	7	100 ～ 299
2003	9	3 ～ 4	8.6tの貨物自動車に約5tの金属製棚を積載して国道を走行中、前方のトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2003	9	13 ～ 14	酒造会社の敷地内で、荷待ち中のトラック運転手が酒（2.7リットル×6本×54箱）を運搬中のフォークリフトに衝突され、フォークと地面（約25cm）との間に挟まれた。	222	6	10 ～ 29
2003	9	12 ～ 13	大型トレーラーで国道を走行中、交差点で信号待ちをしていた大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9
2003	9	11 ～ 12	貸倉庫にコンテナで運ばれてきた板ガラス(高さ198cm、幅246cm、厚さ31cm)を束ねた荷（一束の荷の重さ約2t）をフォークリフトで移動しようとしているときに、荷のすぐ横で清掃作業をしていた者に荷が倒れ荷とコンテナの内壁との間にはさまれた。	222	6	1～ 9
2003	9	14 ～ 15	大型トラックで高速道路を走行中、渋滞で徐行していた最後尾の大型トラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2003	9	14 ～ 15	片側2車線の道路の右車線を2tトラックで走行中、同じ車線を時速10kmで走行していた道路清掃車に追突した。	221	17	100 ～ 299
2003	9	15 ～ 16	15tトラックに故紙を積み込み国道を走行中、交差点において右折レーンで右折信号待ちをしていたダンプ・トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29

2003	9	3 ～ 4	大型トラック（13t）で国道を走行中、片側交互通行のため停車していた大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2003	9	2 ～ 3	6tトラックに野菜を積んで国道を走行中、赤信号のため停車していたトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2003	9	11 ～ 12	大型トラック（最大積載量13.7t）にタイヤ7tを積載して自動車道を走行中、大型トラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2003	9	9 ～ 10	取引先でフォークリフトを運転して後進中に、事業場内にある約3m下の河川にフォークリフトとともに転落した。	222	1	30 ～ 49
2003	9	4 ～ 5	15t積み冷凍車で自動車道を走行中、S字カーブを曲がりきれずに運転席側がスノーシェッド側壁に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2003	9	17 ～ 18	トラック2台に大根を積込んで市場へ向けて走行中、県道上で1台のトラックの左後輪がパンクしたため退避所で交換するためタイヤのナットを緩めていたときに、バランスを崩して約50m下の岩場に転落した。（なお、同行運転者からの連絡で駆けつけた社長も救助のため崖を降りようとして転落し死亡）	711	1	10 ～ 29
2003	9	11 ～ 12	敷地内において、翌日配送する荷の積み込み作業の段取りのため、2tクレーン車の荷台上で土台として使用していた角材を整理していて荷台から転落した。	221	1	10 ～ 29
2003	9	4 ～ 5	2tトラックで国道を走行中、タイヤパンクの修理のため前方に駐車していた10tトラック（乗車者なし）の後部に追突し、ハンドルと座席シートの間にはさまれた。	221	17	30 ～ 49
		20	19.25tトレーラにベニヤ板（18.9t）を積載し国道を走行中、峠を通過し市			10

2003	9	～ 21	街地に入る手前からブレーキが効かなくなり、前方を走る大型トラックと接触したのち運転席から路上に飛び降りたが頭蓋骨を骨折した。	221	17	～ 29
2003	9	5 ～ 6	20tの大型トレーラーで自動車道を走行中、左カーブを曲がり切れずに右側のガードレールに衝突し、ガードレールを突き破って斜面を滑り横転し、約5m下の自動車道に落ちトラックと激突した。	221	17	～ 29
2003	9	5 ～ 6	14tトラックで走行中、国道の交差点で信号待ちで停まっていた大型トラックに追突した。	221	17	～ 49
2003	8	3 ～ 4	4tトラックに荷物を積込み高速道路を走行中、事故で停車していたトレーラーに追突した。	221	17	～ 99
2003	8	5 ～ 6	13tトラックで高速道路を走行中、前方の10tトラックが突然車線に割り込んできたため追突し、2台とも道路脇のガードロープを突き破って約5m下の農道に転落した。	221	17	～ 299
2003	8	15 ～ 16	トラックで配達先へ向かう途中、交差点で左から来たトラックと衝突した。	221	17	～ 29
2003	8	15 ～ 16	バスで荷揚げした銅の原料を貯鉱庫へ運搬するため、貯鉱庫内で10tダンプの誘導していたときに、トラクター・ショベル(体質量13t)が後退してきて右前輪でひかれた。	141	7	～ 99
2003	8	21 ～ 22	トレーラーで約22tの鶏ふんを積んで国道を走行中、センターラインを越えてガードレールを突き破り約5m下の川に転落した。	221	17	～ 99
2003	8	15 ～ 16	大型トレーラー（最大積載量20t）にフォークリフトで木材を積み込む作業で、トレーラ荷台に乗って専用の手工具で重なっている木材を並べ直すため手前に引っ張ろうとしたときに、手工具が握っていた手から外れ、その反動でバランスを崩してトレーラー荷台の木材上（高さ約2m）からアス	221	1	1～ 9

			ファルト床に転落した。			
2003	8	4 ～ 5	トラックで国道を走行中、追越車線で右折待ちの大型トレーラーの後部に追突した。	221	17	10 ～ 29
2003	8	0 ～ 1	高速道路料金所のところの路肩に車両積載型移動式クレーン（最大積載荷重4t）を停車させ、その荷台上でシート等の整理作業を行っていたときに、台風過後の突風に煽られて荷台上から約25m下の湾に墜落し溺死した。	719	10	10 ～ 29
2003	8	1 ～ 2	県道をトラックで走行中、道路上に駐車していた大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2003	8	21 ～ 22	4tトラックで国道を走行中、中央分離帯を乗り越えて対向車線を直進し、緩い左カーブのところから道路を外れて沿道の民家の乗用車、住宅一階の一部を壊して停止した。	221	17	1～ 9
2003	8	23 ～ 24	普通貨物自動車を運転して自動車道を走行中、雨で濡れた左カーブで普通乗用車がスリップして停車したため、後続のトラック14台と乗用車4台が絡む衝突事故が発生し死亡した。	221	17	1～ 9
2003	8	23 ～ 24	11tトラックで国道を時速120kmで走行中、前走の乗用車に追突してさらにその前を走行していた4tトラックに追突し、11tトラックの運転手および乗用車の2名の計3名が死亡した。	221	17	1～ 9
2003	8	3 ～ 4	中央市場より鮮魚・貝類を積んで走行中、居眠り運転により道路への出口分岐点に設置されているクッションドラムに衝突した。	221	17	30 ～ 49
2003	8	3 ～ 4	4tトラックで国道を走行中、路肩に停車中の10tトラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
		5	トラックを運転して国道を走行中、前方を走行中の4tトラックに追突し、			10

2003	7	6	～	そのはずみで縁石にぶつかって対向車線に出て大型トレーラーと衝突した。	221	17	～	29
2003	7	6	5	トラックで配達先へ向かう途中、交差点で右折待ちのため停車していたトラックに追突した。	221	17	～	50 99
2003	7	4	3	ワンマンの10tトラックで高速道路を走行中、路面が降雨で濡れていたためスリップし、中央分離帯に激突・横転し車外に投げ出された。	221	17	～	10 29
2003	7	16	15	集荷に向かう途中で追突事故を起こし現場で検分中、トイレに行きたくなり近くの役場のトイレを借りて事故現場にもどる途中で転倒し、役場のガラス壁を割って首を切った。	418	2	1	～ 9
2003	7	4	3	軽トラック（保冷車）に荷を積込んで走行中、流通センター内の市道交差点（信号機なし）を一時停止をせずに進入したため、右側から直進してきた10t大型トラックと衝突した。	221	17	1	～ 9
2003	7	23	22	トラックで走行中、峠の崖からトラックごと転落した。	221	17	～	30 49
2003	7	24	23	フェリーで港に運搬されてきたトレーラーを客先へ届けるため、トラックターヘッドを運転して走行中、自動車道のS字の右カーブで曲がりきれず中央ガードレールに接触し、左カーブになったときに車両が右側に傾いて、そのままの状態約40m走行したのち横転し、運転席部分を路面に打ちつけた。	221	17	～	30 49
2003	7	14	13	材木を積んだトラックで国道を走行中、緩やかな右カーブで電柱に衝突し頭を強打した。	221	17	～	10 29
2003	7	～	20	普通貨物自動車（4t車）で国道を走行中、信号待ちのため停車していた普通貨物自動車（4t車）に追突した。	221	17	～	10

		21				29
2003	7	0 ～ 1	2tトラックで食料品の配送中、交差点から右折しようとしたときに左方向から走行してきた大型ダンプ・トラックと衝突し、衝撃で車外に投げ出された。	221	17	30 ～ 49
2003	7	6 ～ 7	保冷車で国道を走行中、直線からカーブに差し掛かったところで対向車両と正面衝突した。	221	17	1～ 9
2003	7	4 ～ 5	一般道をトラックで走行していた途中で休憩時間を多く取り過ぎ、遅れそうになったため急いでいた。高速自動車道のインターに入って左ループを走行中、ループを曲がりきれず運転席を下にして横転し、そのままカードレールと運転席との間にはさまれた。	221	17	10 ～ 29
2003	7	12 ～ 13	2t保冷トラックで国道を走行中、豪雨のため車がスリップして追い越し車線にはみ出して車が横向きになったときに、後方から来たトラックに追突された。	221	17	50 ～ 99
2003	7	20 ～ 21	大型トラックで走行中、国道のトンネル内で運転操作を誤り反対車線に飛び出し、対向の大型貨物自動車と正面衝突し、相手方も即死した。	221	17	10 ～ 29
2003	7	7 ～ 8	自動車道を2tトラックで走行中、中央線を越えて反対車線を走っていた9tトラックと正面衝突し、助手席の者が死亡した。	221	17	10 ～ 29
2003	6	3 ～ 4	2t保冷車に製品を積み込んで走行中、国道の片側2車線の左側に休憩のため駐車していた大型トレーラーに追突し、車外に放り出された。	221	17	30 ～ 49
2003	6	5 ～ 6	ガソリンを積んでガソリンスタンドへ配送途中、対向車が中央分離帯をなぎ倒しながら飛び込んできて衝突された。	221	17	100 ～ 299
		2	大型トラックで国道を走行中、トンネルを出たところで片側一車線のセン			10

2003	6	3	ターラインをオーバーし対向の4tトラックと正面衝突した。	221	17	29
2003	6	22	大型トレーラーで走行中、対向車線からガソリンスタンドに入るため右折しようとした乗用車と衝突し、そのはずみでトレーラーが横転して道路沿	231	17	29
		23	いの店舗に飛び込んだ。			
2003	6	17	道路改良工事において、二人が向かい合わせの体勢で法面（のりめん）養	142	7	1
		18	生に使用するシートの両端を持って広げる作業で、一人がシートを広げながら後進していたところへ、付近で砂利の整地作業を行っていたドラグ・ショベル（機体質量24.4t）が後退してきてクローラ部に巻き込まれた。			9
2003	6	7	大型トラックに荷を積み高速道路を走行中、別の事故で止まっていた車に	221	17	10
		8	追突した。			29
2003	6	23	工場で荷物の積み下ろし作業を行っている途中で、工場から徒歩で国道を	221	17	10
		24	横断して向かい側にあるガソリンスタンドに行き、その帰りに大型トラックにひかれた。			29
2003	6	15	2tトラックで走行中、渋滞のためゆっくり走っていたところへ4tトラック	221	17	10
		16	に追突され、そのはずみで前を走行していた10tトラックに追突した。			29
2003	6	9	4tトラックで国道を走行中、通常は黄色の点滅信号であるため前のトラック（10t）が徐行運転しているものと予想して通常通りのスピードで走行していたところ、10tトラックが実際には停車していたため右前方から10tトラックに衝突した。	221	17	30
		10				49
2003	6	3	15tトラックで国道を走行中、交差点で信号待ちをしていた大型トレーラー	221	17	10
		4	に追突し、そのとき大型トレーラーにはみだして積載されていた鋼材に衝突した。			29
2003	6	0	倉庫に保管していた配合飼料（牛の餌、500kgフレコンバック10袋分）を	221	7	50
			バルク車で牧場に到着し、サイロに入れるためバックで車を着けて車の後			

		1	部に回りレバー操作を行っていたところ、傾斜地のため車がバックしてきて車のフレームとサイロのステーとの間に腹部をはさまれた。			99
2003	6	5 ～ 6	冷凍車（最大積載量12.9t）でエンジン約9tを搬送し、仮眠して高速道路を走行中、反対車線からはみ出してきた普通トラックと正面衝突した。	221	17	50 ～ 99
2003	6	5 ～ 6	4t保冷車で走行中、中央分離帯に接触した後にハンドル操作が不能となって対向車線に飛び出し、10t保冷車と正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2003	6	5 ～ 6	4tトラックで国道を走行中、交差点付近で故障のためハザードを点滅させ左車線に停車していたトラック（積荷は木材）に追突し、キャビンが押し潰された。	221	17	100 ～ 299
2003	6	4 ～ 5	トラック（最大積載量14.5t）に積荷（コイル状の鋼板11.85t）を積んで国道を走行中、緩やかな左カーブを直進したため道路外の空地を通り抜け民家に突っ込んだ。	221	17	30 ～ 49
2003	5	12 ～ 13	25tトラックで高速道路を走行中、前方を走行中の最低速度違反の30tトレーラーに前方不注意により追突した。	221	17	10 ～ 29
2003	5	16 ～ 17	橋梁工事で使用した敷き鉄板18枚を積んだトレーラーで走行中、県道から国道に出る丁字路で曲りきれずに谷に転落した。	221	17	10 ～ 29
2003	5	3 ～ 4	石灰工場で、サイロからタンク車への石灰粉の積込み作業を終了し、タンク車上部から昇降用はしごで地上に降りようとしたときに、はしごから地上に墜落した。	221	1	50 ～ 99
2003	5	13 ～ 14	トレーラーでドラグ・ショベルを搬送し帰社のためトレーラーで走行中、左カーブで右側に転落して電柱に激突した。	221	17	10 ～ 29
		12	大型トラックで国道を通行中、対向のトレーラーと衝突して、双方の運転			10

2003	5	～ 13	者が死亡した。	221	17	～ 29
2003	5	～ 13	トレーラーで国道を走行中、緩やかなカーブで対向車線から大型トラックがセンターラインを越えてきて正面衝突し双方運転者が死亡した。	221	17	～ 29
2003	5	～ 3	10tトラックで高速道路を走行中、夜間無料開放の料金所を減速せずに通過した対向車がハンドル操作を誤って道路左側の縁石に乗り上げ、バランスを崩して対向車線にはみ出してきて正面衝突した。	221	17	～ 49
2003	5	～ 22	10tトラックで荷物を積んで国道を走行中、カーブを曲がり切れずに国道から外れ、川のコンクリートの護岸に激突し、トラックに押し潰された。	221	17	～ 29
2003	5	～ 1	化学製品をタンクトレーラー（23t）に積んで自動車道を走行中、左カーブを曲がりきれずに車両が横転（時速50キロメートルで走行、制限速度は40キロメートル）した。	221	17	～ 49
2003	4	～ 7	高速道路をトラックで走行中、追越車線を走っていたトラックが走行姿勢を乱して走行車線に停車したため、それを避けようとしたトラックに後続のトラック等7台が次々と玉突き衝突した。	221	17	～ 29
2003	4	～ 7	高速道路をトラックで走行中、追越車線を走っていたトラックが走行姿勢を乱して走行車線に停車したため、それを避けようとしたトラックに後続のトラック等7台が次々と玉突き衝突した。	221	17	～ 29
2003	4	～ 2	4tトラックで国道の緩い左カーブの走行車線を走行中、対向のトレーラーが右カーブで中央線を越えてきたために避けきれず衝突した。	221	17	～ 9
2003	4	～ 12	運搬トラックからフィルム版の入ったキャスター付商品ラックの荷降ろし作業中に、滑り出した商品ラックを地面から支えようとしたが支えきれず、荷台から落下した商品ラックの下敷きになった。	611	7	～ 29
		15	ベントナイト粉を10tダンプ・トラックに積んで国道を走行中、ガードレ			50

2003	4	～ 16	ルを突き破って高さ15mの崖下に転落した。	221	17	～ 99
2003	4	5 ～ 6	配送のため保冷車を運転して国道を走行中、信号機のある交差点で前方の大型トレーラー後部に追突し、運転席が押しつぶされた。	221	17	10 ～ 29
2003	4	5 ～ 6	4tトラックで自動車道を走行中、中央分離帯に接触して反動でトラックが横転し、車外へ投げ出されてトラックの下敷きになった。	221	17	10 ～ 29
2003	4	14 ～ 15	上昇中のエレベーターの搬器内部から操作盤のボタンを操作しようとして身体の一部を乗り出したとき、エレベーターの扉（全面を覆うものでなく、上下にスライドする柵状のもの）と搬入口上枠との間にはさまれた。	214	7	10 ～ 29
2003	4	13 ～ 14	取り引き先に請求書を持って行くため乗用車で走行中、路上に駐車中のトレーラーの後部に追突した。	231	17	10 ～ 29
2003	4	16 ～ 17	4tトラックによる荷物の集荷業務を終了したので駐車場にトラックを駐車し下車したところ、トラックが右後方に動き出したため、隣に駐車してあったトラックとトラック運転席の側面との間にはさまれた。	221	7	10 ～ 29
2003	4	19 ～ 20	構内にトラックを入れるため、一たん県道をはさんだ空地にトラックを止めて県道を渡っていたときに、県道を直進してきた乗用車にひかれた。	231	17	30 ～ 49
2003	4	3 ～ 4	大型トラックで国道を走行中、信号のない交差点内で脇道から進入してきた大型トラックの後部に追突した。	221	17	10 ～ 29
2003	3	19 ～ 20	荷物の積み込みに行った先の駐車場入口で、運転するトラックの左サイドバンパーをぶつけて歪んだ。客先のフォークリフトで引っ張って矯正するために、フォークリフト運転手がトラック側面の手前でフォークリフトを止め運転席から離れたときに、フォークリフトが前進したためサイドバン	222	7	100 ～ 299

			パーにチェーンを巻き付ける位置決めをしていた者がトラックとフォークリフトとの間に胸部をはさまれた。			
2003	3	5 ～ 6	大型貨物自動車（10t）で堤防道路（幅員6m、中央線有り）を走行中、反対車線の普通貨物自動車（4t）と中央線付近で衝突し、大型貨物自動車が反対車線を越えて路肩から堤防下に転落した。	221	17	10 ～ 29
2003	3	1 ～ 2	木材を積んだ20tトレーラで国道を走行中、右カーブで道路脇の田に転落した。	221	17	30 ～ 49
2003	3	23 ～ 24	大型トラックで高速道路を走行中、ジャンクション付近で3台が絡む多重事故が発生したため追越車線上に停車していた大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2003	3	0 ～ 1	トラックのオイルを交換し、ギアをバックに入れたままハンドブレーキを引かない状況でトラックのステップに乗り、ドアを開けた状態でエンジンをかけたところトラックが後進し、コンクリート壁にトラックが接触したときにトラックの扉にはさまれた。	221	3	1～ 9
2003	3	5 ～ 6	客先の工場で商品を積んで片側2車線の国道を走行中、トンネル入口で擁（よう）壁に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2003	3	4 ～ 5	トラックで鋼材を運搬中、緩やかな左カーブで反対車線にはみ出して電柱に衝突し、横転・炎上した。	221	17	10 ～ 29
2003	3	3 ～ 4	4tトラックで走行中、大型トラックに追突されて橋の欄干に激突した。	221	17	1～ 9
2003	3	21 ～ 22	10tトラックに競走馬を積んで高速道路を走行中、追い越し車線を走行してきたトラックに追突されて横転大破し、運転手と運転席後ろの寝台で休憩していた者が車外に投げ出され、休憩していた者が死亡した。	221	17	50 ～ 99

2003	3	23 ～ 24	4tトラックを運転して走行中、対向のトラックが追い越しのために走行車線に出たときに正面衝突された。	221	17	50 ～ 99
2003	3	6 ～ 7	荷物を運ぶ途中のトラックの中で意識を失って対向車と接触して停車し、対向車の運転手が意識を失っているのを発見して消防署に連絡した。	911	90	10 ～ 29
2003	3	9 ～ 10	4tトラックから質量1.2tの大型コンピューターを降ろす作業で、コンピューターをトラックの荷台から移動してテールゲートに載せたときに、大型コンピューターがトラック後方に転倒落下したため、トラック後方で大型コンピューターを支えていた者が下敷きになった。	612	4	10 ～ 29
2003	3	3 ～ 4	トラックで国道を走行中、信号待ちをしていた4tトラックにノーブレーキで追突した。	221	17	10 ～ 29
2003	3	18 ～ 19	荷物引き取りのため、プラットフォームにトラックを止めて荷台へ積み込み作業を行っていたときに、ホームに設置されているリフト（昇降機・揚程1m）の下に荷物が落下したので拾うためリフトの下に入ったときに、下降してきた搬器に頭部をはさまれた。	229	7	30 ～ 49
2003	3	22 ～ 23	トラックで高速道路を走行中、登板車線で前方を走行していた大型車に追突した。	221	17	30 ～ 49
2003	3	7 ～ 8	コンクリート製造会社に砂を運ぶため国道を走行中、地吹雪による視界不良のため先頭の乗用車が徐行したところに後続の大型トラック、ダンプ等が追突する事故にまきこまれた。	221	17	10 ～ 29
2003	3	10 ～ 11	空調機の室外機を建物屋上に搬入する作業で、ラフタークレーン（つり上げ荷重25t）でつり上げようとしたが、ブームでつり上げると建屋外壁に接触するおそれがあったので、継ぎジブの取付け準備中に突然ジブを固定しているジブフットピンが外れてジブが脱落し、車体とジブとの間に胸部および腹部をはさまれた。	212	7	50 ～ 99

2003	3	5 ～ 6	トラックで国道を走行中、交差点で信号待ちしていたトラックに追突した。	221	17	1～ 9
2003	3	10 ～ 11	自動車道を走行中、乗用車・トラックを含む3台が関連する交通事故が発生し、4tトラックを運転していた者が死亡した。	221	17	1～ 9
2003	2	11 ～ 12	納品後トラックで走行中、対向の大型タンクローリー車がセンターラインを越えてきて正面衝突された。	221	17	10 ～ 29
2003	2	6 ～ 7	4tトラックに工事部品を積んで国道の追越し車線を走行中、走行車線を走行していた10tトラックが右寄せをしてきて接触し、トラックはそのまま高速道路の橋脚に激突した。	221	17	1～ 9
2003	2	5 ～ 6	コンクリートボックスを建設現場へ運搬途中、国道の信号のある交差点で大型トレーラーを赤信号で進入させたところ、青で進入した普通トラックと出会い頭に衝突、はずみで国道脇のコンビニエンスストア駐車場に駐車中の別の小型トラックに衝突して炎上した。	221	17	30 ～ 49
2003	2	5 ～ 6	重機運送用の荷台傾斜式ローダー（トラック）に車両質量3880kgのフォークリフトを積込む作業中、一たん後向きに積み込んだのち、積直しのためにフォークリフトのハンドルを切り返したところ、機体が荷台を横滑りしながら転倒して運転席から投げ出され、ヘッドガードと地面との間に胸をはさまれた。	222	2	10 ～ 29
2003	2	3 ～ 4	4t平積みトラックで国道を走行中、片側車線が工事のため前方に停車していた鋼材積載トレーラーに追突し、トレーラー荷台から後方に突き出していた鋼材が運転者を直撃した。	221	17	30 ～ 49
2003	2	5 ～ 6	碎石場から回送する30tトレーラーを先導するため、乗用車を運転して採石場に向けて走行中、国道でスリップして右側の標識に激突し、はずみで左側ガードレールを乗り越え約18mの崖下に転落した。	231	17	1～ 9

2003	2	18 ～ 19	7階建ビルの屋上に設置されていた空調室外機のメンテナンスで、屋上フェンスと室外機の間（70cm）に入り作業をしていてフェンスによりかかったときに、フェンスに張ってあった網（パンチングメタル）のビスがはずれたため開口部となり、そこから地上に墜落した。	418	1	100 ～ 299
2003	2	5 ～ 6	雑貨の入った荷をトラックに積み込み高速道路を走行中、前方の車に追突した。	221	17	50 ～ 99
2003	2	5 ～ 6	自動車道で、故障で路肩に停車中の大型トラックに後続車が追突するなど4台が絡む衝突事故が発生し、追突した車両を運転していた者が死亡した。	221	17	10 ～ 29
2003	2	5 ～ 6	自動車道で、故障で路肩に停車中の大型トラックに大型トラックが追突し、はずみで追い越し車線に飛び出し、大型トラックと運転していたトラックが次々に追突した。	221	17	1～ 9
2003	2	5 ～ 6	青果物運送のため大型トラック（13t）で走行中、工事により片側交互通行で停車していた大型トラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2003	2	21 ～ 22	米（12t）を目的地の倉庫まで運送し、入口フェンスを開けて構内に入ったのち、トラックを停車して開けた入口フェンスを閉めようとしていたときに、トラックが動き出してひかれた。	221	7	10 ～ 29
2003	2	10 ～ 11	トラック（4t車）で営業所にもどる途中、右折のため停車していた大型トラックの左後方に追突し、路上に放り出され頭部を強打した。	221	17	10 ～ 29
2003	2	8 ～ 9	飼料タンクにバルク車から飼料を入れる作業を行うため、タンク建屋のはしごを上っている途中に足を踏み外して墜落した。	413	1	10 ～ 29
2003	2	10 ～	岸壁に陸揚げされた消波ブロック製作用型枠を、車両積載型クレーンに積み込む作業中に海中に転落し、作業現場から約50m東の岸壁近くの海底で	419	10	10 ～

		11	遺体となって発見された。			29
2003	2	22 ～ 23	4tトラックで荷を配送した帰路、国道を走行していたときに対向車（大型トラック）がセンターラインを超えてきて衝突された。	221	17	50 ～ 99
2003	2	14 ～ 15	2tトラックで配達を終えて会社にもどる途中、国道バイパスの交差点で信号待ちをしていたトラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2003	1	20 ～ 21	鋼材34tを載せた36tの大型トレーラーで国道を走行中、コンクリート製中央分離帯に乗り上げて横転した。	221	17	10 ～ 29
2003	1	15 ～ 16	保冷車（2t車）の曲がった右サイドバンパーを修理するため、修理箇所とトラクター・ショベルの後部牽引箇所をワイヤロープで繋いでショベルで引っ張る作業を行い、修理箇所が元にもどったのでワイヤを緩めようとショベルが後進しているときに、ショベル側のワイヤを外そうとしてショベルと保冷車との間に立入り胸部をはさまれた。	141	7	100 ～ 299
2003	1	23 ～ 24	高速隊隊員が追越車線に停車しているトラックの中で意識不明になっている者を発見したが、瞳孔が拡大し心肺停止状態であった。	911	90	100 ～ 299
2003	1	8 ～ 9	配送先の労働者がフォークリフトで石膏ボードの荷降し作業中に、一旦停止するためブレーキを踏んだところ、フォークリフトに積載していた石膏ボードが前方に崩れ、横にいたトラック運転者が下敷きとなった。	222	5	50 ～ 99
2003	1	5 ～ 6	トラックで事業場を出発して国道を走行中、交差点で停車中のトラックに後部から追突した。	221	17	10 ～ 29
2003	1	23 ～ 24	自動車道をトラックで走行中、1.5km先で発生した事故に伴う交通規制により渋滞していた最後尾の車両に追突した。	221	17	50 ～ 99

2003	1	14 ～ 15	フォークリフト（最大荷重1.5t）のフォークにパレットを付けて敷地内の除雪作業を行っていたところ、コンクリートの路面の凹凸にフォーク又はパレットが激突してフォークリフトが前のめりに傾き停車し、その衝撃でフォークリフトのハンドルに運転者の頭が激突し、さらに運転席からコンクリート地面に転落した。	222	3	10 ～ 29
2003	1	10 ～ 11	工場内において、トラックの荷台から不織布をロール状にしたものを卸す作業中に、高さ1.3mの荷台から転落し、そこへ荷台に積んであったロール（378kg及び221kg）が落下してきた。	221	4	30 ～ 49
2003	1	4 ～ 5	トラックで自動車道を走行中、片側2車線の緩やかなカーブを曲がりきれずに路肩から外れて法面（のりめん）に乗り上げて横転し、炎上・焼死した。	221	17	50 ～ 99
2003	1	10 ～ 11	造船工場において、15tトラックの荷台上で荷を固定していたレバーブロック（7つ）の取外し作業中、最後のレバーブロックが手で動かなかったために、単管パイプ（長さ0.7m）をレバーに差し込んでレバーブロックを緩めようと操作したときに、荷（1.6t）がバランスを崩したため、高さ0.4mのあおりを乗り越え荷とともに1.4m下のコンクリート道路に墜落した。	221	1	30 ～ 49
2003	1	13 ～ 14	大型トラックで砕石プラントからコンクリートへ砂利を運搬中、国道の出口から約20m手前で大型タンクローリーと正面衝突したため、ガソリン約10キロリットルを積んだタンクローリーが爆発し2台とも炎上した。	221	17	10 ～ 29
2003	1	13 ～ 14	大型トラックで砕石プラントからコンクリート工場へ砂利を運搬中、国道の出口から約20m手前で大型タンクローリーと正面衝突したため、ガソリン約10キロリットルを積んだタンクローリーが爆発し2台とも炎上した。	221	17	30 ～ 49
2003	1	14 ～ 15	同僚と2台の40tトレーラーで建設工事現場から建設資材の鉄板を会社まで運搬中、交差点で前方赤信号で停車していた同僚のトレーラー後部に追突し、衝撃で積載していたそれぞれの車両の鉄板が運転席を突き破り、追突したトレーラー運転手が全身打撲で死亡した。	221	17	30 ～ 49
2003	1	18 ～	木材チップ工場のチップストックヤード（2階建の倉庫）の2階から1階に停車したトラックの荷台にチップを落とし込んだ後に、ストックヤードに	522	5	1～

		19	残ったチップが崩れてきて生き埋めになった。			9
2003	1	13 ～ 14	空車の2t普通トラックで会社に帰るため国道を走行中、渋滞で停車中の大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9
2003	1	14 ～ 15	クレーンでフレコンバックから飼料を投入中に、トラックの荷台（高さ2.6m）から転落した。	221	1	30 ～ 49
2003	1	11 ～ 12	冷凍車（最大積載量12.9t）で野菜約10tを配送して国道を走行中、事故で破損した中央分離帯の緊急補修工事のために渋滞中の車の列に追突した。	221	17	1～ 9
2003	1	3 ～ 4	配送先へ向かうためトラックで走行中、交通上のトラブルがあって2人組の乗用車に追跡され、国道の橋上で停車させられ、その後、トラックから降りて逃げる際に橋から約11m下に墜落した。	418	1	10 ～ 29
2002	1	3 ～ 4	工場からチップが積載されているトレーラーを牽引して走行中、右カーブを曲がりきれずに道路左側のガードレールを突破して約4.5m下の河川敷に転落した。	221	17	10 ～ 29
2002	4	8 ～ 9	トラックによる運送業務を行っていて、客先に午前4時10分に到着し午前8時半頃より荷卸作業を開始したが、午前10時頃に意識不明となった。（くも膜下出血）	921	90	30 ～ 49
2002	3	1 ～ 2	トレーラーに石材を積んで国道を走行中、カーブを曲がりきれずにガードレールを突き破り2m下の休耕田に転落した。	221	17	1～ 9
2002	2	5 ～ 6	自宅の寝室において倒れているのを発見し病院に移送したが、くも膜下出血のため死亡した。	999	99	10 ～ 29
2002	6	4 ～	大型長距離トラックの運転手として貨物運送業務に従事し製紙原料を積み込んでフェリーに乗船したが、下船しないためフェリー船員が確認に行っ	921	90	10 ～

		5	たところ、運転席で急性心不全で死亡していた。			29
2002	3	5 ～ 6	冷凍車（4 t）で配達のため走行中、信号で停止中の大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2002	11	10 ～ 11	積荷の枕木を降ろす準備のため、トレーラー荷台上の枕木の荷締め具を取外したのち地上に降りてアオリを開けようとしたときに、積載枕木の端部にあった2本（1本当たり質量60kg）がアオリの内側に落下し、その衝撃でアオリが開いて頭に激突した。	611	4	10 ～ 29
2002	12	13 ～ 14	ゲームセンターの2階からゲーム機を搬出しているときに、雨が降っていたため足を滑らせて転落した。	391	1	10 ～ 29
2002	12	1 ～ 2	大型トラックAで自動車道を走行中、前方を走行していた大型トラックBに追突し、弾みで中央車線に飛び出した大型トラックAに後続の大型トラックC及び乗用車2台が次々に衝突し、トラックCの運転手が死亡した。	221	17	30 ～ 49
2002	3	22 ～ 23	荷物の配送のためトラックで国道を走行中、交通規制（工事中の片側通行）のため停車していた大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2002	11	2 ～ 3	トラックで首都高速道を走行中、分岐付近で他のトラックと衝突して横転し車体の下敷きになった。	221	17	30 ～ 49
2002	8	21 ～ 22	トラックで国道を走行中、前方で信号待ちしていた大型トラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2002	9	6 ～ 7	トラックで走行中、交差点で信号待ちをしている10 tトラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
		23	トラックで自動車道を走行中、スリップして逆向きに停車していた乗用車			50

2002	9	～	とその車を避けるために止まった乗用車の2台に追突し、はずみで道路左側	221	17	～
		24	壁を破って停止したが、ハンドルと運転席との間に挟まれた。			99
2002	1	4	トラックで国道を走行中、対向車が中央線を越えてきたので回避したとき	221	17	30
		～	に左側ガードレールに接触して横転した。			～
		5				49
2002	12	12	大型貨物自動車で自動車道を走行中、前走の大型貨物自動車に追突しキャ	221	17	10
		～	ビンを大破した。			～
		13				29
2002	11	6	4 t トラック（積載型移動式クレーン）に運送会社から依頼された荷物を積	212	17	10
		～	んで走行中、交差点を右折しようとして前から来た大型トラックと衝突し			～
		7	た。			29
2002	12	6	4 t トラックで椅子を納品して国道を走行中、反対車線で発生した追突事故	221	17	10
		～	の弾みで中央分離帯を乗り越えてきたタンクローリーに衝突され、トラッ			～
		7	クごと約5m下の法面に転落した。			29
2002	10	13	4 t トラックで高速道を走行中、単独事故を起こした普通車に後方から走行	221	17	100
		～	してきた大型トレーラーが追突し、そのトレーラーに追突した。			～
		14				299
2002	1	9	荷卸したトラックで走行中、交差点で右折のため止まっていた車4台の最後	221	17	10
		～	尾に追突し運転台に挟まれた。			～
		10				29
2002	5	5	トラックに荷物を積んで国道を走行中、片側2車線の左側に停車していたコ	221	17	10
		～	ンテナ車に追突した。			～
		6				29
2002	9	12	トラックで高速道路を走行中、中央分離帯に衝突した。	221	17	10
		～				～
		13				29
		12	トラックに荷を積んで走行中、道路の中央分離帯に衝突し40m先で横転し			30

2002	10	～ 13	た。	221	17	～ 49
2002	12	4 ～ 5	大型トラックで高速道路を走行中、トンネル入口付近で外側のガードレー ルに衝突して道路中央付近に停止していた乗用車に追突し、さらに約200m 先のトンネル入口のコンクリート壁に激突した。	221	17	10 ～ 29
2002	12	8 ～ 9	木造住宅の建築工事において、運搬した荷（建築用木材を金属製ラックに 入れたもの）をトラッククレーンで降ろしていたときに、荷が傾いたため 荷とトラックの荷台との間に胸部を挟まれた。	372	4	1～ 9
2002	7	13 ～ 14	県道を大型トレーラーで走行中、下り坂の右カーブを曲がろうとして横転 し、左側のガードレールを突き破って10m下に転落した。	221	17	30 ～ 49
2002	10	23 ～ 24	8 tトラックに荷を積んで自動車道を走行中、インターチェンジの料金所を 突破して県道沿いの地下道入口の擁壁に衝突した。	221	17	1～ 9
2002	12	11 ～ 12	15 tトラックに鉄筋13 tを積んでマンション新築工事現場に到着し、移動 式クレーンで鉄筋を降ろしているときに、トラックが前方に動き出したの で荷台上で玉掛け作業をしていた者が荷台から飛び降りてトラックを止め ようとして、トラックと土手との間に挟まれた。	221	7	50 ～ 99
2002	6	4 ～ 5	ダンプカーで残土を捨場まで運搬中に荷崩れして残土が国道に散乱したた め、一旦残土を捨場まで運んだのちに散乱した場所まで戻ってダンプカー を反対車線に駐車し、スコップで片付けていたときに走行中の乗用車に轢 かれた。	231	17	50 ～ 99
2002	5	5 ～ 6	冷凍冷蔵車（積載荷重3 t）に青果物を積み県道を走行中、対向のトラック （積載荷重6 t）と衝突し反対側の堤防下に転落した。	221	17	50 ～ 99
2002	6	11 ～	3 tトラックに醤油及びみりんを約2.4 t 積んで国道を走行中、左カーブの 登り坂で欄干に接触して横転しながら反対側の欄干及びガードレールに衝	221	17	10 ～

		12	突した。			29
2002	11	8 ～ 9	砕石工場の井戸に設置している水中ポンプを交換するため、ポンプに接続された鉄管（直径15.5 c m、長さ7m）にワイヤーロープを掛けドラグ・ショベルで引き上げ地面に着地させたときに、バケットの吊りフックからワイヤーロープが外れたため鉄管が落下し激突された。	142	4	10 ～ 29
2002	5	7 ～ 8	配送先で荷卸を終え、トラック荷台に防水シートを掛けているときに転倒して頭を打った。	416	2	30 ～ 49
2002	1	21 ～ 22	食品を輸送するため大型トレーラーで走行中、橋のところで道路左側の防護柵を突き破って約11m下の河川敷に転落した。	221	17	1～ 9
2002	12	8 ～ 9	住宅新築工事において、トラックで運んだ床パネルを移動式クレーンで吊り上げたときに、床パネルが落下して付近にいた者を直撃した。	372	4	10 ～ 29
2002	2	8 ～ 9	4 t トラックで走行中、信号待ちで並んでいる車の列に追突した。	221	17	10 ～ 29
2002	6	6 ～ 7	トラックで国道を走行中、信号機付交差点を右折してきたトレーラーと衝突した。	221	17	30 ～ 49
2002	11	4 ～ 5	コンテナヤードでトラクターをコンテナに連結して発車しようとしたが、コンテナのエア抜きバルブを開け忘れたため動かなかったため降車してバルブを開けたところ、トラクターのサイドブレーキをかけていなかったためトラクターが動き出し、止めようとして運転席に飛び乗ったときに、車体が右に寄って運転席の扉と隣に止めてあったコンテナとの間に挟まれた。	221	7	10 ～ 29
		4	トラックで国道を走行中、交差点でハンドル操作を誤って中央分離帯に			10

2002	11	5	あつた信号柱に激突した。	221	17	29
2002	11	5	4 トラックで高速道を走行中、渋滞のため本線上に約50mに亘って停滞中の車群の最後尾の大型トラック（15 t ウイング）に追突した。	221	17	50 99
2002	12	13	12 大型トレーラー（20 t）で輸入したカニ籠を運搬するため走行中、対向してきたトラックとすれ違い時に後部が接触し、対向車線側の路外に逸脱横転した。	221	17	30 49
2002	12	11	10 現場近くの市道上（勾配6度）で、工事で使用された重機をトラックに積込んでいるときに、トラックが後方に自走したので止めようとしてトラック 11 運転席ドアと道路沿いのブロック塀との間に挟まれた。	221	7	1 9
2002	5	5	4 得意先へ荷物を運送するため4 t トラックで国道を走行中、交差点で大型トラックに追突した。	221	17	10 29
2002	12	5	4 自動車部品を積んだトラックで高速道を走行中、前方で発生した追突事故のため中央分離帯付近に停止していたトラックに追突した。	221	17	100 299
2002	8	1	0 タンクローリー車（積載荷重20 t）で国道を走行中、車が横転してセンターラインを越えて対向車線側のガードレールに激突した。	221	17	100 299
2002	7	8	7 塩化ビニールパイプの荷を積んだトラック2台で県道を走行中、交差点で後方を走行していたトラックが信号待ちしていた同僚の運転するトラックに 8 追突し、同僚は全身打撲で死亡した。	221	17	50 99
2002	12	5	4 ダム工事現場に資材を運搬するトラック（4 t 車）がダム近くで脱輪したと会社に電話があり、会社からトラック2台が出て救出し3台で帰社する途中、1台のトラックが反対車線にはみ出して対向の10 t ダンプと正面衝突した。	221	17	10 29

2002	10	18 ～ 19	24 t トレーラーに玉ねぎ（20 t）を積んで自動車道を走行中、左カーブで道路右側のガードレールに衝突して横転した。	221	17	～ 29	10
2002	11	18 ～ 19	トラックに荷物を積んで走行中、赤信号のため停車していた大型10 t トラックに追突した。	221	17	～ 29	10
2002	6	2 ～ 3	2.7 t 普通貨物自動車で高速道路を走行中、前方で発生した事故渋滞のため停止していた大型貨物自動車に追突し、さらに走行車線に停止中の2台の大型貨物自動車に衝突した。	221	17	～ 99	50
2002	7	3 ～ 4	トレーラーで高速道を走行中、後方から来た大型トラックに追突され弾みでトレーラーが道路左側の壁に衝突して横転した。	221	17	～ 29	10
2002	12	21 ～ 22	トラックで運転計画にそって配送業務中、交差点で信号待ちしていた大型ダンプカーに追突した。	221	17	～ 99	50
2002	2	15 ～ 16	2 t トラックで国道を走行中、対向車線を走行してきたバンと衝突した。	221	17	～ 29	10
2002	10	2 ～ 3	トラックで国道を走行中、前方の4 t トラックが左車線に大型車が駐車していたため右車線に車線変更したため追突した。	221	17	～ 29	10
2002	10	16 ～ 17	トレーラーから牧草ロール（約400 k g）を専用アタッチメント装着のトラックターで降ろしていたときに、運転手が姿が見えなくなった作業者に気づき荷台の反対側に回ったところ、荷台から落下したロールと荷台の間に倒れていた。	169	4	～ 29	10
2002	7	1 ～	同僚のトレーラーが故障により走行不能となったため、整備管理者が修理及びレッカー車による移動のため現場側道で作業を行っていたときに、車	221	17	～	30

		2	線変更しようとした4 tトラックがスリップして停車中のトレーラーに激突したのち管理者を跳ねた。			49
2002	10	8 ～ 9	保冷車による冷凍マグロの運送業務終了後のトラック清掃等で、窒素ガスによる保冷装置の温度センサーの補修中に酸欠により死亡した。	714	12	50 ～ 99
2002	7	1 ～ 2	セメントを積んで途中で仮眠を取ったのち牽引パラセメント車で走行中、右カーブで道路左側の橋の欄干に衝突し約10m下の川岸に転落した。	221	17	10 ～ 29
2002	10	8 ～ 9	トラック（最大積載荷重15 t）に古紙18個（1個の重さ700～800 k g）を積込む作業で、クランプフォークリフトでトラック荷台に8列まで積み、残りの1列を荷台最後部に積込んでいたときに、荷台後方に立っていた者の頭部が古紙と支柱に挟まれた。	222	7	10 ～ 29
2002	10	3 ～ 4	大型トラックで高速道を走行中、前を走っていた大型トレーラーに追突したのち中央分離帯のガードレールを突き破って反対車線に飛び出し、荷物を輸送中であったトラックに衝突して運転手を死亡させた。	221	17	30 ～ 49
2002	5	12 ～ 13	鋼材を積載した10 tトラックを運転して走行中、国道の交差点で停車していた10 tトラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2002	10	19 ～ 20	4 tトラックでコーンスターチ（袋物）の受け取りに来て積み込みが終了したが、その後も同じ場所に停まっていた夜になってトラックのドアと倉庫前の柱との間に挟まれているのが発見された。	221	7	1 ～ 9
2002	10	0 ～ 1	トラックにより電線（510 k g）を配送先へ運び、フォークリフトで後進により地上高55 c mの工場床面から鋼板製のスロープ（勾配8.5度）を通過して地上へ下りるときに、スロープ上でフォークリフトが転倒しヘッドガードとアスファルト地面との間に挟まれた。	222	7	10 ～ 29
2002	11	4 ～	トラックで取引先に向けて走行中、自動車道で路側の防音壁に接触し200m先で車体が横転して車外に投げ出された。	221	17	1 ～ 9

		5				
2002	10	8 ～ 9	台車2台に載せた菓子入りのダンボール箱を0.95 tのエレベータを使用して搬送中に、挟まれて圧死した。	214	7	10 ～ 29
2002	8	11 ～ 12	荷物積み込みのためトラックで取引先へ向かう途中、対向の車が車線変更時に急ブレーキをかけて停車中の乗用車に接触し、ハンドルを右に切った反動で中央分離帯を乗り越えてきて正面衝突された。	221	17	50 ～ 99
2002	7	16 ～ 17	トラックに荷物を積み国道を走行中、右カーブでハンドル操作を誤って左側に横転しながら路肩の石垣に激突した。	221	17	1～ 9
2002	11	7 ～ 8	トラックで高速道路を走行中、片側3車線の中央の道路から左車線に車線変更していたときに前方のトレーラーに追突した。	221	17	30 ～ 49
2002	1	0 ～ 1	2 tトラックで国道を走行中、ガードレールにぶつかったのち中央分離帯に衝突した。	221	17	1～ 9
2002	6	3 ～ 4	道路上でカーキャリアーに車を積込む作業で、カーキャリアーの上段に車3台積み込んだのち下段に積み込むため、上段床の昇降装置のボタンを押した状態で物を差込んで固定し、自動的に床部を上昇させながらカーキャリアーの左後部横から手を入れて上段部に積込んだ車の下側をフックで固定していたときに、上段の床の端部と車体の梁部との間に挟まれた。	221	7	30 ～ 49
2002	10	10 ～ 11	15 tトラックで走行中、トンネル内で観光バスが故障して白煙を上げていたため後続車が徐行運転をしていたところへ追突（大型トラックに）した。	221	17	1～ 9
2002	5	3 ～ 4	トラックで高速道路を走行中、前方で別のトラックによる追突事故があったため積荷の鋼材が本線上に散乱したため、後続の車両はこの鋼材を避けるために次々に停止していたところに追突した。	221	17	30 ～ 49

2002	10	0 1	木材チップをサイロの真下に停めたトラックで木材チップを積み込む作業で、サイロの床材を1枚ずつ外し鍬のようなもので床の空いた隙間からトラックの荷台に落下させ、最後の床材1枚を外して木材チップを落下させて床材を元に戻しているときに、サイロ内の木材チップに埋もれて窒息した。	522	5	10 ~ 29
2002	2	23 ~ 24	10 t トラックを運送先の工場前の国道に停車し、守衛事務所に行って連絡したのち停車中のトラックに戻ろうとしたときに、後ろから走行していたキャリアカーにはねられた。	221	17	50 ~ 99
2002	5	2 ~ 3	トラックに秋刀魚を積んで国道を走行中、センターラインを越えて対向車線に入り走行してきた対向のトレーラーと衝突した。	221	17	10 ~ 29
2002	6	13 ~ 14	トラックで荷物を納品して高速道路を走行中、防音壁にぶつかり車外に投げ出された。	221	17	30 ~ 49
2002	9	8 ~ 9	タンクローリーで県道を走行中、十字路で右側から一時停止を無視して進んできた普通乗用車を避けるため左側に急ハンドルを切ったところ、横転して道路脇の土手に激突した。	221	17	30 ~ 49
2002	9	20 ~ 21	移動式クレーン（つり上げ荷重2.9 t）でガラスの梱包木枠（長さ2.9m、幅1.8m、厚さ12mm、質量380kg）をトラックから荷卸しする作業で、梱包木枠に玉掛けすべきところを専用スタンド台に玉掛けして吊り上げたところ、梱包木枠が倒れて荷台で作業中の者が梱包木枠とアオリとの間に挟まれた。	212	7	1~ 9
2002	8	4 ~ 5	15 t トラックで国道を走行中、トンネルを出たところの対向車線が登坂車線を含む2車線となっていたためセンターラインを超え大型トラックに正面衝突した。	221	17	10 ~ 29
2002	4	2 ~	2 t トラックを回送するため自動車道を走行中、後続の大型トラックに追突され中央分離帯に衝突して横転した。なお、大型トラックの運転手が降車して追突した車に近寄っていたときに後続の大型トレーラー、大型トラッ	221	17	10 ~

		3	クに衝突された。			29
2002	9	9 ～ 10	4 tトラックで貨物配送のため高速道を走行中、中央分離帯のロープに接触してバランスを崩したところに後続車が衝突した。	221	17	50 ～ 99
2002	3	3 ～ 4	トラックで国道を走行中、対向車線を走行中のトラックが正面衝突し2名が死亡した。	221	17	50 ～ 99
2002	6	6 ～ 7	10tダンプトラックに生コン用の砂を積んで走行中、対向車を避けようとして土手下に転落した。	221	17	30 ～ 49
2002	2	3 ～ 4	2 tトラックで高速道路の左側車線を走行中、後方より中央車線を走行してきた大型トラックが左側車線に進入してきて追突され、はずみで路肩壁、中央分離帯に衝突して横転した。	221	17	10 ～ 29
2002	2	5 ～ 6	大型トレーラーで荷物を運び、宿舎で休憩をとって再び遠距離にある下の場所に向けて走行中、前方のトラックに接触して横転した。	221	17	30 ～ 49
2002	8	16 ～ 17	生コン車で生コンクリートを積み国道を走行中、路肩に生コン車を停車して運転席から下車して道路を横断しようとしたときに走行中の乗用車にはねられた。	231	17	10 ～ 29
2002	4	6 ～ 7	幌付4 tトラックにロールペーパー及び雑貨を積んで国道を走行中、荷崩れがあったと思いエンジンを切らずにサイドブレーキだけをかけて路肩に停車し、トラックの後部に回りシートをめくって点検しようとしたときに、急にトラックが後進して大腿部をトラックのシャフトに巻き込まれた。	221	17	10 ～ 29
2002	4	2 ～ 3	大型トラックで走行中、トラックに追突しそのトラックが横転したので、車から降りて横転したトラックに駆け寄ろうとしたときに、後続の車が突っ込んできて2名の運転手が死亡した。	221	17	30 ～ 49
		5				

2002	2	6	トラックで国道を走行中、赤信号のため停車中の大型トラックに追突した。	221	17	1～9
2002	11	4	トラックで国道を走行中、センターラインをはみ出して対向車と正面衝突した。	221	17	1～9
2002	8	13	トラックに鉄骨を積み雨が降る国道を走行中、停車中のトラックに追突した。	221	17	50～99
2002	1	5	10tトラックに鋼材を積み走行中、下りの左カーブを曲がりきれずに5m下の崖に転落した。	221	17	10～29
2002	2	6	4t保冷車でコンビニの配送センターへ向けて国道を走行中、緩い左カーブで対向車線にはみ出し10tダンプと正面衝突した。	221	17	10～29
2002	9	6	発泡酒（5.7 t）を積んだ13 tトラックで国道を走行中、この道路と平行して建設された高速道路の中央分離帯にある橋脚に激突した。	221	17	1～9
2002	12	12	会社所有のトラック（5.5 t）でコンクリート製品の荷積みのため国道を走行中、信号待ちをしていた大型トラックに追突した。	221	17	1～9
2002	3	22	貨物運送のため大型トラックで自動車道を走行中、対向の乗用車が中央線を越えてトラックの右前面に衝突し、その反動でトラックはスリップして走行車線側のガードロープに接触して跳ね返され、対向車線側のガードロープを破って路外に転落した。	221	17	100～299
2002	4	16	首都高速道をトレーラーで走行中、4台前方を走行中の乗用車が急停車したため玉突き衝突した。	221	17	10～29

2002	8	14 ～ 15	12tセルフローダーに載せられていたコンバインドローラーを事業所の敷地に駐車させるため運転して移動していたところ、敷地に隣接する水路に約2.5mの高さからローラーとともに転落し下敷きになった。	144	1	～ 29	10
2002	10	4 ～ 5	大型トラックで走行中、3車線の中央車線前方を走行していたトラックに追突し、その弾みで左側壁に激突して横転した。	221	17	～ 299	100
2002	7	0 ～ 1	建築部材積込みのため4tトラックで国道を走行中、前方を走っていたトレーラに追突した。	221	17	～ 29	10
2002	10	12 ～ 13	4 t トラックで食肉を搬送中、対向車線にはみ出して大型トラックと正面衝突した。	221	17	～ 29	10
2002	10	22 ～ 23	6tトラックで国道を走行中、インター付近で登坂車線に故障で駐車していた10tトラックに追突した。	221	17	～ 99	50
2002	6	15 ～ 16	国道のゆるやかな右カーブの地点を10t保冷車で走行中、反対車線を走行中の10tダンプがはみ出してきて保冷車の正面とダンプの右後方が激突した。	221	17	～ 49	30
2002	3	5 ～ 6	魚介類を運ぶためトラックで高速道路を走行中、急に左側に寄って路肩を逸脱し工事現場の足場及び橋脚に接触して横転した。（居眠り運転）	221	17	～ 99	50
2002	7	22 ～ 23	建設用資材配送のため4tトラックで国道を走行中、交通渋滞により停止していた25 t トラックにブレーキをかけないまま追突した。	221	17	9	1～
2002	9	3 ～ 4	大型トラック（10t）で国道を走行中、赤信号で停止中の大型トレーラーとトラック（4t車）に追突した。	221	17	～ 299	100

2002	12	23 ～ 24	トラックで国道を走行中、前を走っていた大型トラックが赤信号で停車しようとしたところに追突した。	221	17	10 ～ 29
2002	7	14 ～ 15	チップ貯蔵庫（地上より高さ4.93m）のチップを貯蔵庫下に停車した18tト レーラーに積込むため、フォークを使用して作業を行っていたときにチッ プが崩れ落ちてチップの中に埋まった。	522	5	10 ～ 29
2002	6	1 ～ 2	大型トラックで国道を走行中、赤信号で停車中の大型トラックに追突し た。	221	17	30 ～ 49
2002	6	9 ～ 10	停車させた4tトラックのパワーゲート上でコンテナ（約600kg）を降ろす 作業中、地上約40cmまで降下させた時点でストッパーを外したところ動き 始めたので、とっさに飛び降りて支えようとして下敷きになった。	611	6	30 ～ 49
2002	3	5 ～ 6	配送センターで荷物を載せトラックで走行中、信号待ちをしていた大型ト ラックに追突した。	221	17	1～ 9
2002	11	4 ～ 5	トラックで走行中、交差点で信号待ちしていたトラックに後方から追突し た。	231	17	1～ 9
2002	6	4 ～ 5	トラックで国道を走行中、対向車線の脇からバックで出てきたトラックと 衝突した。	221	17	10 ～ 29
2002	11	13 ～ 14	2 tトラックで国道を走行中、対向車線にはみ出して4 tトラックと正面衝 突した。	221	17	1～ 9
2002	12	8 ～ 9	ダンボールケースを3tトラックに積み国道を走行中、対向の10tダンプカー と衝突した。	221	17	10 ～ 29

2002	9	3 ～ 4	トラックで国道を走行中、対向車線にはみだし対向の大型トレーラーと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2002	6	11 ～ 12	ホットプレス機のラム（油圧シリンダー）のパッキンを交換するためフランジを外しパッキンを抜き取ろうとしたところ、パッキンとともに作動油が飛び出し、ラムで押し上げていた可動板(質量約600kg)とホットプレスの扉フレームとの間に頭部を挟まれた。	169	7	10 ～ 29
2002	10	1 ～ 2	金属製パイプを運搬するため国道を4tトラックで走行中、前方で約200mにわたり渋滞が発生していて、最後尾の大型トレーラーに追突した。	221	17	10 ～ 29
2002	7	20 ～ 21	大型冷凍車（11t）で高速道路を走行中、トラック、路線バス、乗用車など9台の玉突き衝突事故に巻き込まれた。（合計：3人死亡、45人が重軽傷）	221	17	100 ～ 299
2002	6	8 ～ 9	納品先の倉庫において、10tトラックで運搬してきた木枠に梱包した重さ約1.3tのガラスの荷、合計6個を同倉庫の作業員が運転する天井クレーン（2.8t）で荷下しする作業中、荷台上でラッシングベルトで固定されていた荷を外そうとしてベルトを緩めたときに荷が倒れ、荷台とあおりとの間に挟まれた。	611	5	1 ～ 9
2002	6	8 ～ 9	木造家屋新築工事の現場に床合板（910×1820×25、数量18枚、質量約600kg）を小型移動式クレーン（つり上げ荷重2.93 t）で搬入し、足場上に仮置きしたのち建屋側に搬入するため再度クレーンで巻上げたところ、クレーンのワイヤーロープが切断して材料と小型移動式クレーンとの間に挟まれた。	212	4	1 ～ 9
2002	4	7 ～ 8	トレーラーで荷を卸し数時間の仮眠ののち自動車道を走行中、道路分岐点の緩やかなカーブで道路側面に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2002	5	4 ～	トラックで国道を走行中、前の大型トラックに追突した。	221	17	30 ～

		5				49
2002	6	5 ～ 6	10t自動車で行中、前の車を追い越すため追い越し車線に出たときに、中央分離帯に接触しその弾みで走行車線を走行中のトラックに接触して運転手が車外に投げ出された。	221	17	30 ～ 49
2002	6	17 ～ 18	オーダーピッキングトラック（運転席と荷役装置が一緒に上下動するフォークリフト）を使用して、約4mの高さの位置で隣接する商品棚にあった商品を取ろうとしていたときに、運転席から墜落して床面に頭部を激しく打ちつけた。	222	1	10 ～ 29
2002	9	6 ～ 7	クレーン付トラック（8t）に約4tのワイヤーメッシュを積んで国道を走行中、対向車線に入って路肩（高さ約1.5m）から転落して電話線の電柱に激突した。	221	17	10 ～ 29
2002	6	1 ～ 2	国道を走行していた21tトレーラーが、工事のため片側通行規制で停車していたトラックに接触して対向車線にはみ出し、走行してきた4tトラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2002	12	4 ～ 5	3tトラックで国道を走行中、はみ出し禁止区間で対向車線にはみ出し走行中の14tトラックと正面衝突した。	221	17	100 ～ 299
2002	3	15 ～ 16	天井クレーン（20/10t吊り）でH鋼（質量約1.1t）をトラック（15t高床平ボデー）に吊り上げ、荷台上で玉掛けに使用したクランプを外してフックを巻き上げたときに、クランプがH鋼に引っ掛かったためH鋼とともに落下しH鋼の下敷きになった。	211	4	1～ 9
2002	9	11 ～ 12	大型タンクローリーで温泉のホテルへA重油14klを配達するため走行中、急勾配の下り坂右カーブで道路左側の山肌に激突し、その後転覆した。	221	17	50 ～ 99
2002	5	14 ～ 15	キャスター付きコンテナ（給食用食器等が入ったもので空の状態の質量は140kg）を小学校の敷地内にある調理場に運搬する作業を1人で行っていて、2tトラック（冷蔵冷凍車）後部にある昇降リフター上でコンテナの下	221	1	10 ～ 29

			敷きとなり仰向けで倒れているところを発見された。			
2002	4	14 ～ 15	国道をトレーラーで走行中、急ブレーキをかけたときに荷台に積んであった鋼材（L字鋼長さ約6m）が反動で前に飛び出して運転席後部を直撃した。	611	6	10 ～ 29
2002	4	7 ～ 8	商品の搬入先に到着し先着していた他車の商品の降ろし作業を手伝うため、車の荷台に乗ろうとして足を踏み外し転落した。	231	1	10 ～ 29
2002	9	4 ～ 5	大型トラックで国道を走行中、大型トラックに追突し、さらに中央分離帯にある水銀灯に激突した。	221	17	10 ～ 29
2002	5	5 ～ 6	トラックで国道を走行中、対向車線へはみ出してトラックと正面衝突した。	221	17	1～ 9
2002	12	6 ～ 7	大型トラックで自動車道を走行中、前を走行していた大型トレーラーに追突した。	221	17	10 ～ 29
2002	1	7 ～ 8	大型トレーラーで国道を走行中、右カーブを曲がりきれずに左側の法面に激突し、さらに、運転席側が電柱に激突した。	221	17	1～ 9
2002	6	15 ～ 16	タンクローリーに積載したセメントをサイロに降ろすためハッチへ上ったときタンク内部圧力が抜けてハッチが跳ね上がり、その影響で地面に転落した。	221	1	30 ～ 49
2002	11	13 ～ 14	4tトラックで県道を走行中、対向の大型ダンプ（9.7t）と正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2002	10	1 ～	積み荷を配送するため8 tトラックで国道を走行中、対向のトレーラーが中央線をはみ出してきて正面衝突した。	221	17	10 ～

		2						29
2002	9	2 ～ 3	保冷トラック（4t車）で高速道路を走行中、前を走行していたタンクローリー車に追突した。	221	17			30 ～ 49
2002	11	6 ～ 7	大型トラックで自動車道を走行中、左のフロントタイヤがパンクして路肩に停車していた大型トラックに時速約80km/hで追突した。	221	17			50 ～ 99
2002	6	15 ～ 16	県道をトマトを積んだトラックで走行中、対向のトラックが中央線をはみ出してきて正面衝突した。	221	17			10 ～ 29
2002	1	3 ～ 4	国道をトラックで走行中、信号停止していたトラックに追突した。	221	17			10 ～ 29
2002	6	2 ～ 3	10tトラックを運転して国道を走行中、道路脇に停車して自動販売機を利用するためにトラックから降りたときに、サイドブレーキを確実に引いていなかったためトラックがバックしたので、トラックの後部に回って止めようとしたときトラックが路肩から脱輪しその下敷きになった。	221	7			30 ～ 49
2002	2	1 ～ 2	鋼管を積載したトレーラーで国道を走行中、緩やかな下り坂から左カーブの上り坂に差し掛かったところで横転し対向車線側のガードレールに激突した。	221	17			10 ～ 29
2002	6	14 ～ 15	オイルターミナルにおいて、タンクローリーにガソリン等の積み込み作業を行っていて転落し頸椎を損傷した。	221	1			100 ～ 299
2002	5	15 ～ 16	配達先から支店へ戻るため社長が運転する1.5 t トラックの助手席に乗って走行中、国道の下り車線で道路脇のコンクリート柱に衝突し頭などを強打した。	221	17			1 ～ 9
		5	バルク車（飼料運搬車・積載4 t）で農家へ飼料を配達後、会社へ戻るため					10

2002	12	6	～	県道を走行中、運転を誤って道路右側にある喫茶店の駐車場へ突入したのち駐車場の崖下（高さ約2m）の畑に転落した。	221	17	～	29
2002	4	2	～	20 t トレーラーに石膏ボードを積んで首都高速を走行中、中央分離帯に接触し衝撃で反対車線に投げ出された。	221	17	～	10 29
2002	2	21	～	トラックで国道を走行中、赤信号で停車中の大型トラックに追突した。	221	17	～	100 299
2002	5	0	～	最大積載量12.5tのバルク車で牛用飼料を農家に運び、牛舎に設置されている高さ約6.5m、容積9.7?のタンクに上部より飼料を投入していたところ、タンクが倒壊して下半身がタンクの下敷きとなり上半身が牛用飼料に埋もれた。	418	5	～	30 49
2002	9	2	～	4t車で走行中、右側面中央部の排気マフラー付近から出火していたため先路上にトラックを停止させて、運転席から降り消火活動をしていたところ、後方から来たトラックに跳ねられた。	221	17	～	30 49
2002	4	12	～	10 t トラックで荷物を積んで国道を走行中、トンネル出口すぐの右カーブで谷に転落した。	221	17	～	1 9
2002	5	23	～	自動車道をトラックで走行中、事故により停車していた車に衝突したので相手の様子を見に行こうと路肩に出たときに、後続の乗用車が停車していた相手車両を避け損なって中央分離帯に激突し、その反動で跳ね返ってきて激突された。	231	17	～	10 29
2002	4	5	～	建築資材を積んだ4 t トラックで国道を走行中、対向車線の4 t トラックがセンターラインをはみ出して来て正面衝突した。	221	17	～	1 9
2002	5	13	～	4tトラックで搬送した空ペットボトルを配送先側がフォークリフトにより荷降ろし作業を行うのをトラック荷台の上に昇って手伝っていて、 balan	221	1	～	30

		14	スを崩して荷台から転落した。			49
2002	5	21 ～ 22	トラック荷台上で移動式クレーンを無線で操作しながらU字溝をつり上げていたところ、玉かけ用ワイヤロープがフックから外れU字溝が落ちてきて下敷きになった。	372	4	10 ～ 29
2002	5	13 ～ 14	工場牛乳17tをタンクローリーに積み他の工場に向かうためカーブを時速約60kmで走行していたときに、曲がりきれず横転し電柱に衝突した。	221	17	100 ～ 299
2002	6	6 ～ 7	車両で走行中、赤信号で停車中であつた車両に追突しかけたため右ハンドルを切り回避しようとしたが間に合わず追突した。	221	17	100 ～ 299
2002	9	5 ～ 6	荷降しを終えて会社へ戻るため県道をトラックで走行中、反対車線にはみ出して対向のトラックと正面衝突した。	221	17	1～ 9
2002	4	8 ～ 9	工場新設工事現場に4 tトラックで鉄骨材3本（1本約1 t）を運搬し、荷台上で台付けワイヤロープを解いた状態で待機していたときに、鉄骨2本が崩れたため荷とともに地上に落下し下敷きになった。	521	5	10 ～ 29
2002	2	5 ～ 6	11tトラックで国道を走行中、センターラインを越え反対車線にはみ出して前方から来た3tトラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2002	4	16 ～ 17	整備工場2t車の排気ガス漏れ修理のため、同僚が油圧ジャッキを持ち上げているときにジャッキが外れたため、車体の下で点検中の者が車とコンクリート床との間に挟まれた。	361	7	50 ～ 99
2002	12	12 ～ 13	出張作業を終え会社に戻るため乗用車で走行中、駐車していた車両に衝突した。	221	17	30 ～ 49
2002	4	3	新聞販売店前の国道にトラック（2.0 t）を停車し、その後部で新聞の荷降ろし作業を行っていたところ、後方から来た乗用車に追突され乗用車とト	231	17	10 ～

		4	ラックとの間に挟まれた。			29
2002	5	7 ～ 8	自動車道インター付近を走行中、事故で渋滞していた前方の車に追突したのち、中央分離帯に再度激突し運転席が押しつぶされた。	221	17	1～ 9
2002	4	13 ～ 14	整備工場において大型トラックのタイヤ交換のためエアコンプレッサーで空気充填を行っていたときに、鉄製リム（環状の部品）が吹き飛んで顔面に当たった。	221	4	10 ～ 29
2002	10	2 ～ 3	冷凍車で高速道を走行中、三重衝突となり最後尾で車線をふさぐように止まった大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2002	9	3 ～ 4	10 t トラックに荷を積み自動車道を走行中、トンネル内で前方を走行していた大型トレーラーに追突した。	221	17	50 ～ 99
2002	4	2 ～ 3	トレーラーで県道を走行中、交差点で左側より信号無視で通過した乗用車の側面に衝突し、その弾みで交差点左側信号機に衝突した。	231	17	30 ～ 49
2002	6	1 ～ 2	トラックに荷物を積んで走行中、ハンドルの操作を誤って中央分離帯を越えて反対車線のトラックに衝突した。	221	17	1～ 9
2002	3	1 ～ 2	トラックで走行中、バイパス付近の左側側壁に衝突した反動で対向車線に飛び出し、対向車（10 t トラック）と正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
2002	7	5 ～ 6	食品団地の配送センターからスーパーへ食品を配送するため保冷車（4t）で県道を走行中、反対車線を走行していたトラックがはみ出してきて正面衝突した。	221	17	50 ～ 99
2002	1	15 ～	書類受け渡しのため自動車で行く途中、前方を走行中のトレーラーの運転席側に接触し、その弾みでもう1台前方の車輻に接触したのち、対向車線に	221	17	30 ～

		16	はみ出し対向車線を走行中のトレーラと正面衝突した。			49
2002	4	5 ～ 6	ダイカスト部品（約3 t）を積んだ10 tトラックで国道を走行中、右カーブの場所で道路左側に飛び出して高さ約7m下の川に転落した。	221	17	10 ～ 29
2002	3	7 ～ 8	駐車場から店にパンを搬入し、空台車を押して車に戻る途中、店員が運転していたバイクに激突して転倒し頭部を強打した。	231	6	100 ～ 299
2002	3	17 ～ 18	海産物を積んだトラック（最大積載荷重10 t）で走行中、アクアライン入口の右カーブで後輪がスリップして車体が振れ、右側の道路壁に車体が衝突した。	221	17	30 ～ 49
2002	10	3 ～ 4	トラックで高速道の片側2車線の右側を走行中、前方を走っていたトラックが左へ車線変更して前方を走行していたトラックの後部に追突したため、追突されたトラックが左側の路肩に激突して右車線まで横転したところへ衝突した。	221	17	10 ～ 29
2002	3	2 ～ 3	10 tトラックで営業所から本社に向かって走行中、道路を逸脱してトラックごと川に転落し、運転手は全身打撲で死亡、助手が軽傷を負った。	221	17	10 ～ 29
2002	9	5 ～ 6	コンクリート柱7本を積んで14tトラックで国道を走行中、交差点の赤信号で停車していた大型トラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2002	4	3 ～ 4	荷卸し作業が終了したので後部ドアを閉めようとトラックの後部にまわりこんだときに、サイドブレーキが完全に引かれていなかったため、トラックが後退しトラックとホームとの間に挟まれた。	221	7	100 ～ 299
2002	1	14 ～ 15	2 tトラックの助手席に乗って配達先から会社へ戻る途中、国道上で運転者がジュースを取ろうと脇見をしてハンドル操作を誤り、トラックの片輪が歩道に乗り上げて約10m走行した後、歩道上の電柱に激突したため胸などを強打した。	221	17	30 ～ 49

2002	5	15 ～ 16	クレーン（最大吊り上げ能力55 t）で10 tトラックからケーシングチューブ（長さ1.9m、径1.7m、重さ2.5 t）の積み下ろし作業中、ワイヤーロープの片方のフックがはずれたため、チューブが立ち上がり腹部を直撃れた。	211	4	10 ～ 29
2002	3	0 ～ 1	10 tトラックへフォークリフトを用いて杉丸太の積み込作業中、トラックが後方へ動き出したのでフォークリフトを飛び降り後進を止めようとしてトラックの荷台と他のトラックの前部との間に挟まれた。	221	7	1～ 9
2002	3	5 ～ 6	トラックで配送先へ向かう途中、用を足したくなり車から出てしばらくしても戻って来ないので同乗の妻が付近を探したところ、ガードレール下4.5m下の用水路に転落していた。	911	1	1～ 9
2002	7	21 ～ 22	空荷の13 tトラックで国道を走行中、トラックが前走の車に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2002	11	5 ～ 6	トラックで走行中、車両火災のため停車していたトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2002	10	2 ～ 3	主要地方道の下り坂のカーブで、道路が凍結していたため乗っていたトラックがスリップしてガードレールに接触し、電柱に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2002	8	22 ～ 23	10 tトラックに荷を積み国道を走行中、大型トレーラーに追突し、さらに別の10 tトラックに追突された。	221	17	10 ～ 29
2002	5	4 ～ 5	自動車道を大型トラックで走行中、他の大型トラックと衝突した。	221	17	50 ～ 99
2002	9	4 ～	トラックにドラム缶を積んで自動車道を走行中、後方より走行してきた10 tトラックに追突されて路肩の土手に乗り上げ横転した。	221	17	30 ～

		5				49
2002	3	14 ～ 15	会社構内でフォークリフトを使用して4 tトラックに荷を積んでいたときに、フォークリフトのマストと運転席のガードとの間に挟まれた。	222	7	50 ～ 99
2002	6	1 ～ 2	10tトラックを運転して国道を走行中、トンネル内で信号停止していた10t冷凍車に追突した。	221	17	10 ～ 29
2002	12	21 ～ 22	4 tトラックを運転して走行中、大型トラックがセンターラインを超えて来たため正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2002	8	5 ～ 6	油圧重機部品をトラックに積み国道を走行中、赤信号で止まっていたトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2002	2	8 ～ 9	大型トラックを運転して製品等を運送途中、上り勾配の道路路側帯に駐車して車外に出ていたところ、トラックが後進を始めたのでトラックを追いかけ止めようとして運転席側のドアと近くにあった立木の間で挟まれた。	221	7	10 ～ 29
2002	7	3 ～ 4	二人で集荷センターでそれぞれのトラックに荷物を積み込み、配達先であるスーパーへ向かう途中、信号待ちで停車していた同僚の車両へ追突した。	221	17	50 ～ 99
2002	5	5 ～ 6	10tトラックでアスファルト鋼材を廃材置き場に降ろした後に国道を走行中、上がったままの荷台が道路標識に衝突し、トラックが横転した。	221	17	10 ～ 29
2002	7	23 ～ 24	6 tトラックに市場から青果物を積んで自動車道を走行中、追い越し車線を走行してきた10 tトラックが車体右後部に接触し、はずみで6tトラックが横転した。	221	17	10 ～ 29
2002	1	11 ～	4 tトラックにはほ場整備工事用の塩ビ管（直径50cm、長さ430cm、質量150kg）12本を積んで現場に到着後、塩ビ管6本をワイロープで玉掛けし	372	4	30 ～

		12	て移動式クレーンで吊り上げたところ、塩ビ管3本が滑り落ち、その内の1本がトラックのボディで跳ね返って胸に激突した。			49
2002	1	9 ～ 10	10tの貨物自動車にプラスチック容器を積み込んで搬送し、容器を降ろし公道に車を移動したときに、公道ガードレールと同車左側あおりとの間に首を挟まれた。	221	7	10 ～ 29
2002	2	22 ～ 23	貨物トラックで走行中、前方で乗用車、10tトラック、ライトバンの3台の玉突き事故があり、ブレーキをかけたが間に合わず停止中の10tトラック後部に追突した。・（停車中の3台の車両の乗員は車両から離れて避難していたため負傷しなかった）	221	17	30 ～ 49
2002	1	15 ～ 16	倉庫から鋼材（コイル）をトラック荷台に積み込み、倉庫を出て荷物にシートを掛ける作業をしていたときに荷台から足を踏み外し、約1m下に背面から転落し後頭部を強打した。	221	1	10 ～ 29
2002	1	0 ～ 1	国道の路肩にトラックを停車させて積み荷の点検作業を行っていたところ、後方より来た乗用車がトラックに追突し、乗用車とトラックとの間に挟まれた。	231	17	10 ～ 29
2002	10	3 ～ 4	鉄骨を積んだ大型トラックで走行中、対向車線に入ったのちガードレールを突き破って3m下の道路に転落した。	221	17	50 ～ 99
2002	11	0 ～ 1	トラック（7tの冷蔵冷凍車）に食肉を積み込んで片側1車線の道道を走行中、対向の農家のトラックと正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2002	1	11 ～ 12	鉄板（長さ6m、巾1.5m、厚さ2cm、重量1.6t）を車両積載型トラッククレーン（2.9t吊、リモコン操作）の荷台に載せるときに鉄板を斜めに吊ったため、鉄板が滑りトラックの荷台と鉄板との間に挟まれた。	212	6	1～ 9
2002	12	9 ～ 10	22t大型トレーラーで砂糖を積んで走行中、降雪のため右カーブを曲がりきれずに路外に転落した。	221	17	1～ 9

2002	3	14 ～ 15	国道を走行中、道路左側の縁石に乗り上げてセンターラインを超え、さら に対向車線の縁石も乗り越えて電柱に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2002	1	4 ～ 5	3tトラックで高速道路を走行中、ガードレールに衝突して走行車線に止 まっていた乗用車に接触したので、トラックを降りて乗用車の方へ歩いて いたとき後続車にはねられた。	231	17	10 ～ 29
2002	6	7 ～ 8	タンクローリー（牛乳16,800?積載）を運転して高速道路の下り線を走行 中、料金所手前の急な左カーブを曲がりきれずに道路右のガードレールに 衝突して首などを強打した。	221	17	10 ～ 29
2002	1	6 ～ 7	トラック運転手として、材木（輸入材の束、1束、長さ3.68mの板を96 本、約1.1t）をトラックで運送し、搬入先の従業員が3段積みの荷を フォークリフトで持ち上げその下に台木を入れていたときに、3段のうち最 上段のものが落下し下敷きになった。	222	4	10 ～ 29
2001	9	4 ～ 5	自動車部品を納品するため普通貨物自動車で国道を走行中、交差点におい て赤信号で停止していた大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2001	9	6 ～ 7	トラックで県道を走行中、下りの右カーブを曲がりきれずに、道路左側の ガードレールを乗り越え約20m下に転落した。	221	17	30 ～ 49
2001	12	12 ～ 13	自動車道を走行中、前の車に追突し、その弾みでガードレールに接触した のち約100mほど走行してトラックで炎上した。	221	17	10 ～ 29
2001	12	3 ～ 4	10tトラックに荷物を積み国道を走行中、交差点手前で信号待ちをしていた トラック、乗用車が青信号に変わったので発進しかけたところに追突した。	221	17	10 ～ 29
2001	12	17 ～	荷物配送のため3tトラックで国道を走行中、対向のワゴン車が中央車線を 越えてきて正面衝突した。	231	17	50 ～

		18				99
2001	12	13 ～ 14	トラックで走行中、大型散水車で自動車道の追い越し車線を低速走行で作業中に追突した。	221	17	1～ 9
2001	10	15 ～ 16	トラックで走行中、居眠り運転をして、駐車中の車輻に追突した。	221	17	1～ 9
2001	12	12 ～ 13	14. 5tトラックで国道を走行中、追越車線側で赤信号のため低速度で走行していた最後尾の10tトラックに追突し、その弾みで赤信号のため停止していた他のトラック3台に玉突き衝突した。	221	17	10 ～ 29
2001	12	5 ～ 6	配送のため国道をトラックで走行中、交差点付近で対向の大型トレーラーが中央分離帯を越えてきて正面衝突した。	221	17	1～ 9
2001	10	14 ～ 15	トラックの点検整備で後輪(2車軸の前の車軸)をジャッキアップして車輻の下に潜り込み点検していたときに、ジャッキが転倒して車輻が後方に走行したため車輻に引きずられ下敷きになった。	221	7	1～ 9
2001	12	11 ～ 12	6tトラックに食料品を積んで走行中、対向のトラックと正面衝突して道路左側の約5m下の川へ転落した。	221	17	50 ～ 99
2001	12	5 ～ 6	トラックで高速道路を走行中、車線を変更して先を走っていた大型ダンパーの後部に衝突した。	221	17	1～ 9
2001	6	11 ～ 12	産業廃棄物を運搬した帰りに大型トラックで首都高速を走行中、前方の大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9
2001	9	1 ～	貨物自動車で走行中、信号交差点で赤信号により停車していた貨物自動車に追突した。	221	17	30 ～

		2				49
2001	8	10 ～ 11	貨物自動車で県道を走行中、信号交差点で赤信号により停車中の乗用車に追突した。	221	17	30 ～ 49
2001	8	2 ～ 3	トラックで国道を走行中、トンネル手前の上右カーブが終わる付近で故障のため停車中の大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2001	12	10 ～ 11	工場へ納品に行き数あるバス(荷の搬入口)の一つに接車したが納品先の構内員に別のバスに接車の変更を指示されたので正規の出入口を使用せずバスを抜けてトラックへ向かおうとしたときにバス先端のゴム部を踏み込んだため体勢が不安定となって転落した。	414	1	50 ～ 99
2001	12	13 ～ 14	運送作業を終えワゴン車で国道を走行中、対向車線にはみ出し道路わきに駐車していた4tトラック(空車)に衝突した。	231	17	10 ～ 29
2001	12	3 ～ 4	新聞印刷工場で印刷した新聞をトラックに積込みトラック(2t)で国道を走行中、交差点で右折しようとして直進してきたトラックと出会い頭に衝突した。	221	17	30 ～ 49
2001	12	0 ～ 1	建築現場への資材搬入を終え4tトラックで国道を走行中、追い越し禁止区域で大型トラックを追い越そうとしたときに対向のダンプトラックと衝突した。	221	17	10 ～ 29
2001	11	5 ～ 6	客先より荷物を受け取り大型(5t)トラックで国道を走行中、カーブでセンターラインをオーバーし、対向の大型トラックと衝突した。	221	17	10 ～ 29
2001	12	14 ～ 15	乳業工場から農家の肥料堆積場へ通じる農道の除雪作業に使用するトラクターショベルをトレーラーから降して約300m先の肥料堆積場に向かって走行中、幅約4mの緩やかな右カーブで農道から逸脱して高さ1.7m下の畑(雪原)に転落して逆さまとなり、運転席のキャビンが押しつぶされた。	141	1	10 ～ 29

2001	12	10 ～ 11	配送業務のため営業車(2t)で国道を走行中、交差点付近で片側2車線の追い越し車線の流れにのって低速で進行していたときに後方から2t保冷車に追突され、はずみで前方の8. 5t大型トラックに玉突き衝突した。(営業車と2t保冷車の運転者が死亡)	221	17	～ 29	10
2001	12	13 ～ 14	トラックに2人乗車し国道を走行中、Uターンしようとしたときに後続のトレーラーが追突し、その弾みでトラックが対向車線に押し出され、走行してきた10tクレーン車と衝突した。(トラックの2名とトレーラーの1名死亡)	221	17	～ 99	50
2001	9	5 ～ 6	2tトラックで配送先に向うため国道を走行中、交差点で右方向から進入してきたトラックと衝突して車外へ投げ出され、舗道の段差ブロックと相手車との間に挟まれた。	221	17	～ 49	30
2001	12	5 ～ 6	荷を積載してトラックで走行中、追越禁止車線で乗用車2台を追越し自車線に戻ろうとしてスリップしてきた対向車と正面衝突した。	221	17	～ 49	30
2001	12	11 ～ 12	移動式クレーンで交差点を左折していたときに、アーム部分が前方から直進してきたトラックにぶつかり、トラックの運転手が死亡した。	212	17	～ 29	10
2001	10	4 ～ 5	トラックで走行中、国道出口の片側4車線に差し掛かったとき前方の信号が赤になって前の車両が減速したのに気づくのが遅れ減速中の前方車両に追突した。	221	17	～ 29	10
2001	11	16 ～ 17	4t車に発砲スチロール製品(質量約1. 5t)を積んで走行中、道路工事のため停車していた前方の車両(10t車)に気付くのが遅れ追突した。	221	17	～ 29	10
2001	7	12 ～ 13	トラックで国道を走行中、信号待ちをしていた4t車に追突した。	221	17	～ 29	10
2001	11	2	大型トラックで高速道路を走行中、当逃げをされたため後方の運転手に携帯電話を借りようとしたときに2台目の後続車に追突され、そのはずみで高	231	17	～	50

		3	架から約11m下の県道に墜落した。			99
2001	11	6 ～ 7	工事現場に向かうため車で国道を走行中、対向車線にはみ出し石油ローリーと正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
2001	11	11 ～ 12	トレーラー(18.5t)で走行中、道路脇に停車してタイヤにチェーンを装着させていたところ、センターラインを超えて走行してきた対向の7tトラック・クレーンに激突された。	221	17	50 ～ 99
2001	11	3 ～ 4	荷の運送のためトラックで国道を走行中、道路工事で片側交互通行となっていたために停車していたところへ大型トラックに追突され、その弾みで前に停車中のダンプカーに衝突した。	221	17	50 ～ 99
2001	11	6 ～ 7	トラックに食品(パン類)を積んで国道を走行中、前のトラックが左折しようとして減速したところへ追突した。	221	17	10 ～ 29
2001	11	1 ～ 2	菓子原料(重量約2t)を積載して4tトラックで国道を走行中、工事渋滞の最後部に停車していた10t大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2001	4	3 ～ 4	積荷を配送するため自動車道を走行中、料金所で料金支払のために停車していたトレーラーに追突した。	221	17	50 ～ 99
2001	11	21 ～ 22	10tトラックで走行中、対向の4tトラックが中央線をはみ出してきて衝突した。	221	17	50 ～ 99
2001	11	1 ～ 2	最大積載量13tの大型トラック(冷蔵冷凍車)に約6.6tの冷凍肉を積載して国道を走行中、S字カーブの中央付近で反対方向から走行してきた大型トラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2001	11	8 ～	大型トラック(10t)で走行中、ハンドル操作を誤って道路左側の縁石に乗り上げたので車道に戻そうとしたとき、センターラインを越えたため対向の	221	17	1～ 9

		9	乗用車と衝突した。			
2001	10	14 ～ 15	ビル新築工事において、単管ハンガーを用いて鋼管50本(重さ546kg)を束ねたものを移動式クレーン(4.9t)で6階から吊り上げて外部足場(地上高さ19.28m)をかわして降ろそうとしたとき、途中で荷が傾いてハンガーから鋼管50本が抜けて落下し激突した。	379	4	30 ～ 49
2001	8	2 ～ 3	トレーラーで走行中、黄色点滅で交差点に進入したところ赤点滅側から進入してきた4tトラックの側面に衝突した。	221	17	1～ 9
2001	11	6 ～ 7	飼料を積んだ大型トレーラー車で走行中、左カーブを曲がりきれずに道路右側の土手に衝突、その後に横転し、運転席で挟まれた。	221	17	10 ～ 29
2001	11	9 ～ 10	大型トラックで自動車道を走行中、トンネル内の走行車線が工事規制を受けていたため追い車線を走行していたときに走行車線内で作業をしていた作業車2台に次々に接触し、更に先頭の作業車に追突した後、トンネル壁面に衝突して炎上し、トラック運転手及び同乗者1名が死亡した。	221	17	10 ～ 29
2001	11	9 ～ 10	大型トラックで自動車道を走行中、トンネル内の走行車線が工事規制を受けていたため追い車線を走行していたときに走行車線内で作業をしていた作業車2台に次々に接触し、更に先頭の作業車に追突した後、トンネル壁面に衝突して炎上し、トラック運転手及び同乗者1名が死亡した。	221	17	10 ～ 29
2001	10	1 ～ 2	水産加工品等を積み込んだ大型トラック(11t)で走行中、緩やかな左カーブでハンドル操作を誤って対向車線を超えて路外に逸脱し、車外に放り出された。	221	17	10 ～ 29
2001	10	5 ～ 6	トレーラーに荷を積み走行中、対向のダンプトラックが交差点手前で渋滞に気づき急ブレーキをかけたが雨天で路面が濡れていたため反対車線に飛び出してきてトレーラーの前方とダンプの右側面が衝突した。	221	17	10 ～ 29
2001	9	7	資材置場へ材料を運ぶためトラックで国道を走行中、センターラインをオーバーして対向のトレーラーと正面衝突した。	221	17	10 ～

		8						29
2001	9	5 ～ 6	荷を運ぶためトレーラーで自動車道を走行中、前のトレーラーに追突したため運転していたトレーラーから燃料の軽油が飛散し、双方トレーラーに火災が発生し、追突した運転手が焼死した。	221	17			10 ～ 29
2001	10	6 ～ 7	積載型トラッククレーンに鉄製品を積み納品先の近くで待機中に地盤がめかるんでいたため身動きが取れなくなったので、国道のガードレールにトラッククレーンのブームを伸ばしてフックをかけ、巻き上げることによって脱出したが、脱出した道路が左下がり勾配になっていたため惰性で動き出したので慌ててトラックに乗ろうとしてトラックにひかれた。	221	7			30 ～ 49
2001	4	4 ～ 5	荷の配達を終え約2時間の仮眠を取り、トラックで国道を走行中、交差点で赤信号のため停車していたトラックに追突した。	221	17			1～ 9
2001	10	4 ～ 5	トラックで自動車道を走行中、左側の壁部分に衝突した反動により中央分離帯を乗り越え、約26m下の市道に墜落した。	221	17			50 ～ 99
2001	9	4 ～ 5	トラックで毛布を配送するため高速道路を走行中、前方を時速約40kmで走行していたトレーラーに追突した。	221	17			10 ～ 29
2001	8	4 ～ 5	普通貨物車で走行中、上り坂を低速で走行していた大型トレーラー右後部に追突した。	221	17			10 ～ 29
2001	10	3 ～ 4	荷の積み下ろしを終え貨物自動車で行中、自損事故で道路をふさぐように横向きになっていたトラックを避けきれずに衝突した。	221	17			10 ～ 29
2001	10	21 ～	前日の夜フェリーターミナル到着のフェリーに積まれていた大型トラックのトレーラー部分(箱型荷台)を搬出するため、トラクターヘッド(運転席)とトレーラー部分とを連結しエアブレーキホースを接続したときに、船内	221	7			10 ～

		22	が傾斜していたため大型トラックが逸走し、隣に停車中の大型トラックとの間に挟まれた。			29
2001	9	1 ～ 2	荷卸しを終えて国道を走行中、路上に駐車していた大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2001	9	20 ～ 21	4tトラックで走行中、前方で発生していた事故で停車中の車輛(6台)の列に前方を走行していた車輛が追突し、この車輛に避けきれずに追突した。	221	17	30 ～ 49
2001	10	0 ～ 1	11t大型トラック(保冷車)に同乗して魚箱20tを積み国道を走行中、速度超過(65～70km/h)のため右カーブを曲がりきれずにガードレールに衝突した。	221	17	10 ～ 29
2001	10	2 ～ 3	10tトラックで走行中、対向車のバスがセンターラインをオーバーしてきて正面衝突した。	231	17	30 ～ 49
2001	7	18 ～ 19	トラックで宅配業務を終え県道を走行中、直線道路でセンターラインをオーバーしてきた対向車と正面衝突した。	231	17	30 ～ 49
2001	9	13 ～ 14	貨物自動車(3.2t)で走行中、緩やかな右カーブを曲れずにそのまま直進し民家に突っ込み頭と胸を強打した。	221	17	50 ～ 99
2001	8	15 ～ 16	オートバイで高速道路を走行中、出口付近の信号機のある交差点で右折中の大型トレーラー側面部に衝突した。	231	17	30 ～ 49
2001	8	12 ～ 13	冷蔵食品の配送のため4tトラック冷蔵車で国道を走行中、対向の4tトラック平ボテ車と正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
			カプセル充填機(約800kg)とハンドリフトを吊架台(2. 1×4. 05×1. 28m)			

2001	9	8	に積み、移動式クレーン(吊り上げ荷重25t)で吊り上げて工場2階搬入口(高さ5.31m)に横付けし、渡し板を架けてハンドリフトでカプセル充填機を移動中に、吊架台が傾いてカプセル充填機とともに墜落し、下敷きになった。	612	1	30 ～ 49
2001	8	4 ～ 5	トラックを運転し客先から会社車庫に帰るため国道を走行中、信号待ちの車の列に追突した。	221	17	10 ～ 29
2001	9	3 ～ 4	荷を降ろしたトレーラーで走行中、対向車線にはみ出して対向の大型トラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2001	8	22 ～ 23	トラックで高速道路を走行中、対向の追越車線を走行中の車が前の車と接触して中央分離帯を乗り越えてきたため正面衝突し、さらに後続車にも追突された。	221	17	10 ～ 29
2001	8	22 ～ 23	建材を積んだ4t車で追越車線を走行中、左車線から乗用車が急に割り込んできて4t車に接触した。はずみで、4t車が対向車線に飛び出し、対向の25t車と正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2001	9	0 ～ 1	4t貨物自動車で荷物を運び国道を走行中、対向の大型トレーラーが、走行車線をはみ出したため対向車の荷台車両後部に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2001	9	5 ～ 6	大型トラック(最大積載量13,600kg)で自動車道を走行中、走行車線にはみ出て停車中の大型トレーラーに追突した。	221	17	10 ～ 29
2001	9	3 ～ 4	トラックで国道を走行中、緩やかな右カーブで対向車線に進入し、道路脇の自動販売機と建築物に接触したのち走行車線に戻り左側の建築物に激突した。	221	17	10 ～ 29
2001	9	22	食品トレーを輸送するため普通トラック(4t車)で国道を走行中、渋滞車輛に接近したので追突を避けるため対向車線にはみ出したときに対向の大型ト	221	17	100 ～

		23	トラック(10t)と正面衝突した。			299
2001	9	2 ～ 3	荷物を配送するため4tトラックで国道を走行中、対向の10tトラックが突然センターラインを越えて侵入してきて正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2001	9	2 ～ 3	国道をトラック(最大積載量10t)で走行中、センターラインを超えたため対向のトラック(最大積載量4t)と正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2001	9	16 ～ 17	構内の荷捌場において、ロールボックスに荷(質量約350kg)を積み込み引いて別の場所へ移動させていたときに、ロールボックスが倒れその下敷きになった。	362	6	30 ～ 49
2001	8	11 ～ 12	大型トレーラーで豚の飼料を積み国道を走行中、下り勾配の急な左カーブを曲がりきれず約1.2m下の休耕田に転落し、さらに国道から農地に降りるコンクリート道路に激突した。	221	17	10 ～ 29
2001	8	18 ～ 19	自動車道のパーキングエリアにおいて、トラックボディの前側のリベットが取れて走行中に音がするので状況を確認するため、運転席側の梯子から屋根上に上がったところにバランスを崩し約2.6m転落した。	221	1	1～ 9
2001	8	12 ～ 13	トラックで国道を走行中、赤信号で停車中の大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9
2001	8	13 ～ 14	青果市場よりスーパーへ野菜を配送し終え4tトラックで国道を走行中、信号待ちで停車中の10tトラックの後部へ追突した。	221	17	10 ～ 29
2001	7	12 ～ 13	トラックで高速道路を走行中、走行車線が他の事故により停滞していたので前方の大型トラックが追い越し車線に変更しようとしたところに追突した。	221	17	1～ 9
2001	7	22 ～	2t車に荷の積み込みが終了したのでいったん前進して停車し後部扉を閉めていたところ、車が前に動き出したため車前部に回り車を押し止めようと	221	7	10 ～

		23	したがそのまま押されて前方に停車していた4t車との間に挟まれた。			29
2001	8	0 ～ 1	大型トラックで国道を走行中、停車中の大型トレーラーに追突し、さらにその前に停車中の大型トラックに玉突き追突した。	221	17	1～ 9
2001	8	13 ～ 14	ブルドーザーをセルフローダー(荷台傾斜式貨物自動車)から降ろす作業中、セルフローダーの運転席から降りていてブルドーザーに巻き込まれ キャタピラー右前部と排土板との間に挟まれた。	141	7	1～ 9
2001	8	23 ～ 24	国道をトラックで走行中、対向車線から雨でスリップしたトレーラーが進んできたためトレーラーの左側後部に衝突した。	221	17	30 ～ 49
2001	8	12 ～ 13	トラックで国道を走行中、対向のトラックがスピンして中央線をはみ出してきて正面衝突した。	221	17	1～ 9
2001	8	22 ～ 23	車両メーカーに車両の購入代金を納入しトレーラーヘッドで高速道路を走行中、台風の強い横風を受けてトレーラーヘッドが中央分離帯に激突しその反動で反対側の側壁に激突した。	221	17	1～ 9
2001	8	21 ～ 22	4tトラックで国道を走行中、赤信号で待機中のトレーラーに追突した。	221	17	30 ～ 49
2001	8	6 ～ 7	配達先へ向け2tトラックで国道を走行中、緩やかな左カーブでセンターラインをはみ出し対向の大型トラックと正面衝突した。	221	17	50 ～ 99
2001	7	10 ～ 11	軽のワゴン車で新聞折り込みチラシを新聞販売店へ届ける途中、誤ってセンターラインをオーバーし対向の普通貨物自動車と正面衝突した。	231	17	30 ～ 49
2001	8	2 ～	10tトラックで支店に向かうため高速道路を走行中、前走の9tトラックに追突した。	221	17	10 ～

		3						29
2001	7	4 ～ 5	取引先の荷物を運搬し終えトラックで国道を走行中、道路工事で渋滞していたトラック等の列に追突した	221	17			50 ～ 99
2001	7	12 ～ 13	空荷のトラックで走行中、前方の4tトラック後部に追突し、さらに中央分離帯ガードレールに衝突した。	221	17			50 ～ 99
2001	8	3 ～ 4	4tトラックでサッシを積載し走行中、インター付近で本線と都市高速道の分岐点のガードレールに衝突し、横転炎上した。	221	17			30 ～ 49
2001	7	10 ～ 11	トラック(10tのウィング車)で荷を積んで国道を走行中、信号待ちで停車していたところへ後続のトラックに追突された。	221	17			10 ～ 29
2001	7	15 ～ 16	3tトラックにコイル状の鋼材(質量1362kg)をクレーンで積み込み、荷台上で固定の作業をしていたときに鋼材が倒壊してその下敷きになった。	611	5			10 ～ 29
2001	3	2 ～ 3	大型貨物自動車で高速道路を走行中、先行車両同士で衝突していたところに衝突し、その衝撃で天井が崩れ、運転席と天井との間に挟まれた。	221	17			30 ～ 49
2001	7	23 ～ 24	大型トラックで野菜を運び終え国道を走行中、工事で渋滞中の最後尾のトラックに激突した。	221	17			30 ～ 49
2001	6	9 ～ 10	トラックから精密機械(質量約400kg)を降ろすため、荷台の奥から「手動式リフト」で「テールゲートリフター」の搬器の上まで引き出したときに荷とともにコンクリートの地面に墜落し下敷きになった。	221	1			30 ～ 49
2001	3	11 ～	歩道の舗装工事現場でアスファルト骨材を積んで待機していた10tダンプから4tダンプに積み込むため、4tダンプのあおり上で10tダンプの運転者に合	221	1			1～ 9

		12	図を送っていて高さ146cmの位置から転落し、頭部を強打した。			
2001	7	4 ～ 5	トラックで国道を走行中、前方のトラックに追突した。	221	17	1～ 9
2001	7	14 ～ 15	荷の輸送を終え4tトラックで走行中、緩い右カーブで対向車線にはみ出したため、対向の実車の大型トラック(11.7t)と正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2001	7	5 ～ 6	大型トラックで国道を走行中、道路工事のため停車中の車両の列の最後尾のトラックに、追突し、6台の玉突き事故になった。	221	17	1～ 9
2001	7	4 ～ 5	エアコンを配送するため2t車で走行中、国道舗装工事のため片側交互通行になっていたので停車していたところ、最後部に10tトラックが追突しセミトレーラー、10tトラックなど4台が玉突き事故となった。	221	17	30 ～ 49
2001	7	12 ～ 13	大型トラックで高速道路を走行中、中央分離帯付近に両前輪をバーストさせた大型トラックが停車していたのに気づくのが遅れ追突した。	221	17	50 ～ 99
2001	7	23 ～ 24	トラックで高速道路を走行中、前方で発生した追突事故を避けようとした前方の車が中央分離帯に乗り上げて停止したので後続の大型車がこれを見て急停止し、この車に追突した。	221	17	10 ～ 29
2001	6	6 ～ 7	石油製品20?を積み大型タンクローリーで高速道路を走行中、左カーブを曲がりきれずに右ガードレールを突き破って法面を転落し、その後、料金所へ入る道路上に横転した。	221	17	10 ～ 29
2001	6	12 ～ 13	4tトラックにガードレール部材を積んで走行中、10tトラックを追い越して走行車線に戻ろうとしたときに前方を走行していた普通乗用車に接触したのでハンドルを右に切ったところ、中央分離帯に激突した。	221	17	10 ～ 29
2001	7	2 ～	荷を取りに10tトラックで国道を走行中、中央分離帯を乗り越えて道路案内標識柱に激突したあと会社事務所に衝突した。	221	17	10 ～

		3				29
2001	6	4 ～ 5	引越し荷物を積んで4tトラックで国道を走行中、出口付近において信号で停車中の車両(10tトラック)に追突した。	221	17	50 ～ 99
2001	7	5 ～ 6	2. 5tトラックに建設資材を積み国道を走行中、道路工事の交通規制で停車していたところへ後続のトラックに追突された。	221	17	1～ 9
2001	7	7 ～ 8	運搬する殺菌乳をタンクローリーに積み込む準備のためタンク(高さ3. 1 m)上からタンク前部に入り、フィルター部からマンホールに戻るときに墜落した。	221	1	50 ～ 99
2001	7	0 ～ 1	12tトレーラーにビル建設用鉄骨(質量1. 8t)を荷台にのせ鉄骨をレバーブロックで固定作業で、固定する4ヶ所のうち1ヶ所のレバーブロックを引いたところ、積まれた鉄骨2本のうち上の1本が落下し、トレーラー横の鉄製の階段との間に挟まれた。	521	4	10 ～ 29
2001	6	8 ～ 9	4tトラックで高速道路を走行中、渋滞で低速走行中の2tトラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2001	6	17 ～ 18	資材置場において、11tトラックの荷台から4tトラックの荷台に長さ2mの単管パイプの3束を移動させるため、玉掛け用ワイヤーロープ2本で玉掛けしトラックの吊り上荷重2. 93tのクレーンで吊り上げたところ、単管パイプが玉掛けワイヤーから滑り落ち荷台上でリモコンの操作をしていた者の上に落下しした。	372	4	30 ～ 49
2001	5	2 ～ 3	4tトラックに水道管用の塩ビ管を約1t積んで国道を走行中、緩い右カーブで、前方の車を追い越そうとして対向車線にはみ出して対向の大型トラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2001	5	10 ～	4t車で同僚の車(10t車)と国道を走行中、信号のない交差点手前で、道路工事作業中のため停止の合図があったので同僚の車が減速をしたところに追	221	17	1～ 9

		11	突した。			
2001	6	6 ～ 7	生鮮品を運搬するため国道を4tトラックで走行中、走行車線で信号待ちをしていた10tトラックの後部に追突した。	221	17	30 ～ 49
2001	6	9 ～ 10	タンクローリーの上で、タンク上部にあるハッチに小麦粉を吸入するホースを取り付ける作業をしていて地上に転落した。	221	1	100 ～ 299
2001	2	4 ～ 5	普通貨物自動車で市場に向って走行中、交差点で信号待ちのために止まろうとしていた大型貨物自動車に追突した。	221	17	10 ～ 29
2001	6	4 ～ 5	大型トラックで高速道路を走行中、約5 km先の工事の影響で渋滞していた列の最後尾の大型トレーラーに追突し、さらに前にいた大型トラックやJRの定期バスに次々と追突して計5台の玉突き事故となった。	221	17	1～ 9
2001	5	17 ～ 18	ダンプトラックの運転台をジャッキアップする油圧シリンダーのベアリングを修理するため、運転台をジャッキアップし、油圧シリンダーの取り付け部分を外して作業を行っていたときにジャッキアップした運転台が降下して挟まれた。	221	7	1～ 9
2001	6	10 ～ 11	荷降ろしを済ませ大型トラックで国道を走行中、左カーブの下り坂を曲がりきれずに竹山に激突した。	221	17	100 ～ 299
2001	6	15 ～ 16	セミトレーナーに原木(質量200kg/1本)約120本(トレーラーの前方に60本、後方に60本)をフォークローダーで積み込んでいるときに、他のトレーラーの運転手がフォークローダーの運転手に連絡をしないまま原木の荷締め作業を行ったところ、積み込んだ原木が高さ約3.7mの位置から落下しその下敷になった。	522	4	10 ～ 29
2001	6	5 ～	4tトラックに建設資材を積み、国道を走行中、センターラインをはみ出してきた乗用車と衝突し、横転して道路わきの電柱に衝突した。	231	17	100 ～

		6				299
2001	4	1 ～ 2	大型トラックで県道を走行中、信号待ちで停車していた大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2001	6	14 ～ 15	最大積載荷重3tのフォークリフトで鉄骨(長さ7.9m、重さ約1.2t)をトレーラーに積み込み作業中、トレーラーの荷台上で積み込み作業の補助をしていた者がフォークから落下した鉄骨の下敷きになった。	222	4	1～ 9
2001	6	16 ～ 17	トラックで自動車道を走行中、前方の乗用車に追突し、さらにその前方の観光バスに追突し、炎上した。(トラックの運転手及び乗用車の助手席と後部座席に乗車していた者が死亡、乗用車の運転手が重傷、バスの乗客18人が軽傷)	221	17	30 ～ 49
2001	5	7 ～ 8	早朝から荷物を届けるため前日に4tトラックに荷を積み自宅に乗り帰っていて、朝になってトラックのシートカバーに溜まった雨水を取り除くため荷台に乗りシートを引っ張ったところ、勢いあまって荷台から転落した。	221	1	10 ～ 29
2001	6	4 ～ 5	活魚運送の帰路トラックで走行中、前方の大型トラックが料金所手前のため減速しハザードを点灯したが気づかずに追突した。即死状態であった。トラックは空荷であった。	221	17	30 ～ 49
2001	5	7 ～ 8	4t貨物トラックで走行中、前方の大型トレーラーに追突した。	221	17	50 ～ 99
2001	5	12 ～ 13	ユニットバス部材を輸送するためトラックで国道を走行中、反対車線の乗用車が前の車に追突して分離帯を乗り越えてきたため衝突した。トラックは道路わきのガソリンスタンドに突っ込んだ。	231	17	10 ～ 29
2001	5	10 ～ 11	客先に荷物を届けるため4tトラックで走行中、左方向より直進してきた大型コンクリートミキサー車に衝突された。	221	17	10 ～ 29
		5	重機を積載したトレーラーで走行中、緩やかな下り坂でバイパスの建設現			10

2001	5	5 6	場に突っ込み、さらに50m先の田んぼに転落した。	221	17	17 29
2001	5	16 17	大型トレーラーで高速道路を走行中、右カーブを曲りきれずに左側の壁面(連絡道路の壁)を突き破り、左下の道路に転落した。	221	17	10 29
2001	2	7 8	引越し作業現場へ向うためトラックで走行中、太陽の光に視界が遮られて前方に停車中のダンプに衝突した。	221	17	1 9
2001	5	2 3	急斜面のところで積載荷重2tのダンプトラックを後退させていたときに、トラックの左後輪が作業通路脇の路盤材(廃コンクリートを粉砕したもの)の山に乗り上げ、バランスを失って運転席側が下になって横転し、トラックと路面との間にはさまれた。	221	2	50 99
2001	5	8 9	2t保冷車に冷凍食品を積んで走行中、追突事故のため対向車線に飛び出してきた車輻と衝突しさらに後続車にも追突された。	221	17	10 29
2001	5	5 6	10tトラックでドラム品を積み国道を走行中、先行する4~5台の車両を追い越そうとセンターラインを越えて対向車線を走行しているtpおも2tトラックと正面衝突し、更に後続車に接触した。	221	17	10 29
2001	5	6 7	エンジン故障修理のため搬送してきた自動車をキャリヤカーから降ろす作業で、自動車のエンジンがかからないためキャリヤカーに積んでいた他の自動車で牽引していて、2台の車の間に挟まった。	231	7	10 29
2001	4	10 11	大型トレーラーの荷台上で積み荷(配電盤用鉄板)の荷降ろし作業中、荷台から足を滑らして高さ1.6m下の床面に梱包箱(250kg入り鉄板)とともに落下した。	221	1	10 29
2001	5	9	始業時の車両の洗車・整備でダンプカーの荷台アームのグリスアップを終えた同僚がアームの安全ブロックを外すためにエンジンを始動させた際にギヤがローに入ったままでサイドブレーキをかけていなかったため車両が	221	7	10

		10	前進し、前方でサイドバンパーの修理をしていた者が車両と自車との間に挟まれた。			29
2001	5	5 ～ 6	電気部品を積んだ4tトラックで国道を走行中、対向の10tトラックがセンターラインを越えてきて正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2001	3	10 ～ 11	引越し作業において、タンスの2個所にロープを掛け2人作業で2階窓から吊り降ろす作業を行っていたところ、2階の窓枠が外れたため、バランスを崩してタンスとともに約2.5m下の地上に墜落した。	418	1	10 ～ 29
2001	5	5 ～ 6	トレーラーに鋼材を積み走行中、カーブで車両が横転しガードレールと積み荷との間に挟まれた。	221	17	10 ～ 29
2001	5	19 ～ 20	4tトラックで工事用フェンスを集荷して走行中、道路左側の縁石に接触したのち右側の標識柱に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2001	4	5 ～ 6	10tトラックのグリスアップのため荷台をあげて作業をしていたところ、安全ブロックなどを使用していなかったため、荷台が降下し荷台と車体との間に首を挟まれた。	221	7	1～ 9
2001	4	4 ～ 5	引越し荷物を積んだ同僚が運転する4tトラックの助手席に同乗し走行中、脇見運転で前方の大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2001	4	2 ～ 3	冷凍食品を4tトラックに積んで走行中、中央分離帯に衝突し、運転手が死亡した。	221	17	50 ～ 99
2001	5	21 ～ 22	鉄骨をトレーラーに積んで国道を走行中、ゆるい左カーブを曲がりきれず右側のガードレールに接触し電柱に激突した。	221	17	30 ～ 49
		8	雑貨品を運ぶためトラックで走行中、道路工事を知らせる大型標識車に衝			10

2001	4	9	突した。	221	17	29
2001	5	22 ～ 23	10tトラックにフォークリフト(質量8.9t)を積載し国道を走行中、交差点で赤信号のため停止していた大型車輻に追突した。	221	17	50 ～ 99
2001	4	1 ～ 2	10tトラックに荷(砂糖10t)を積み国道を走行中、対向車線にはみ出し、走行してきた大型トラックと衝突した。	221	17	30 ～ 49
2001	2	13 ～ 14	コンクリートミキサー車(10t)に生コン約5m ³ を積載し林道工事現場内を後進運転していたところ、左後輪が路肩から脱輪し約4m下に車ごと転落した。	711	1	10 ～ 29
2001	4	12 ～ 13	園芸用植物を大型トラックで運送してきて荷を降ろそうとしたとき、荷卸口に他社の4tトラックが駐車していたので移動させ次に荷卸口に自車を移動させて運転席から降りたところ4tトラックが下がってきて自車との間に挟まれた。	221	7	1 ～ 9
2001	3	4 ～ 5	路上に停車していた自らが運転していたトラック後部のパワーゲートと荷台との間に頭部をはさまれた。	221	7	0
2001	4	13 ～ 14	貨物(重量300kgと10.4t)を貨物トラック(最大積載量13.2t)に積載し高速道路を走行中、渋滞で停車していた大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2001	3	5 ～ 6	引越荷物を積んだ普通トラックを同僚と2人で交替運転しながら自動車道を走行中、右前輪がパンクしたため追越車線にトラックを停めて2人で修理していたところ、走行してきた大型トラック(11t)に追突され、普通トラックとガードレールとの間に挟まれて死亡、同僚も重傷を負った。	221	17	10 ～ 29
2001	4	8	10tトラック(ウイングボディー)に積んだ空パレットの荷卸のため、荷台に積み重ねた発泡スチロール板の上に乗り荷崩れを直していたときに、バラ	221	1	10 ～

		9	ンスを崩し2. 52m下のアスファルト地面に墜落した。			29
2001	4	4 ～ 5	雑貨(衣料品等)を積載した10tトラックで高速道路を走行中、前方を走っていたトレーラー(鋼材積載)に気付くのが遅れ追突した。	221	17	10 ～ 29
2001	4	7 ～ 8	納品のため2tトラックで来て駐車場の奥にトラックを止め、事務所で納品場所の確認して駐車場内を徒歩でトラックまで戻ろうとしていたところ、バックで駐車場に入ってきた別の納品業者の、4tトラックにひかれた。	221	7	10 ～ 29
2001	1	7 ～ 8	タンクローリー車で走行中、下り坂でスリップを始め約50mスリップしたのち橋の欄干に衝突、約20m下の川に転落した。	221	17	100 ～ 299
2001	4	13 ～ 14	駐車中の重機運搬用23tトレーラーの側面で打合せを行っていたときに、走りしてきた重機運搬用8. 5tトラックの荷台とトレーラーの荷台との間に腹部をはさまれた。	221	7	30 ～ 49
2001	4	12 ～ 13	大型トラックで国道を走行中、交差点で信号待ちのため停車中の大型トラック後部に追突した。	221	17	100 ～ 299
2001	4	22 ～ 23	トラックで国道を走行中、交差点で、道路左側の縁石に前輪を乗り上げて横転して、トラック前部が大破し道路に投げ出されて全身を強打した。	221	17	10 ～ 29
2001	3	10 ～ 11	トラックの3ヶ月点検のため整備工場において後輪の車軸をジャッキアップし右後輪のブレーキの調整をしていたところ、ジャッキと車軸の接触面がズレて車体が落下しジャッキと車体の間に挟まれた。	361	7	100 ～ 299
2001	3	23 ～ 24	トラックで国道を走行中、道路工事用信号で停車していた大型車に追突した。	221	17	50 ～ 99
2001	4	20 ～	トラックに荷物を積み国道を走行中、トラックから荷が落下したため路肩に停車して落下した荷物を拾いに行ったときに、後方からきた乗用車にひ	231	17	1～ 9

		21	かれた。			
2001	4	5 ～ 6	4tトラックで国道を走行中、緩い左カーブを曲がりきれずに対向車線にはみ出し、電柱に衝突した。	221	17	50 ～ 99
2001	3	13 ～ 14	2tトラックで荷物の配送を終えて国道を走行中、右折のため方向指示器を出し止まっていた10tダンプカーに後ろからノーブレーキで(時速50k g位)追突した。	221	17	1～ 9
2001	2	2 ～ 3	トレーラーで国道を走行中、前方より車がセンターラインを超えてきて衝突し、道路から約8m下に転落した。	221	17	1～ 9
2001	4	8 ～ 9	現場の資材をトラック(最大積載荷重9.9t)で資材センターに運び荷を下ろそうと荷台のあおりを開けたところ、積んであったレール(長さ約10m、重さ370Kg)が落下し、腹部に当たった。	521	4	30 ～ 49
2001	3	18 ～ 19	2tトラックで走行中、交通渋滞により停止していた4tトラックに追突し、その衝撃で次々と玉突き状態となった。	221	17	30 ～ 49
2001	4	18 ～ 19	積みつけ確認係として駅構内でコンテナと列車の確認作業を行っていたときに、走行してきた貨物列車にひかれた。	232	18	100 ～ 299
2001	2	2 ～ 3	15tトラックに荷を積み込んで走行中、交差点の手前で乗用車が出てきたため避けようとして急ハンドルを切ったところ、横転して対向車線に飛び出し、対向のトラックに衝突した。	231	17	10 ～ 29
2001	3	11 ～ 12	荷受けのためトラックで国道を走行中、緩い左カーブで対向の4tトラックと正面衝突した。	221	17	100 ～ 299
		15	クレーン船に積まれていた鉄棒3本(重さ合計8t)を船のクレーンでトラックに荷上げ作業中、トラックの荷台上で玉外し作業を終了しクレーンの運転			30

2001	3	16	手に巻上げの合図をして巻き上げていたところ、玉掛け用ワイヤーロープが鉄枠(3段目のうち2段目)の爪にかかったため最上段の鉄枠(2t)が滑り落ちたので荷台上から飛びおりたが下敷になった。	372	6	～ 49
2001	2	12 ～ 13	トラックで納品のため国道を走行中、積雪のためタイヤチェーンを取付けているときに後方から走行してきたトラックが凍結路面でスリップし激突した。	221	17	10 ～ 29
2001	3	6 ～ 7	箱物等の雑貨を積んで国道を走行中、交差点で信号待ちのトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2001	3	13 ～ 14	2t保冷車で国道を走行中、交差点で赤信号のため停車中のトラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2001	3	15 ～ 16	移動式クレーン(吊上荷重12t)で村道(コンクリート舗装・道幅約3m)を走行中、山肌からはみ出している樹木を避けようとして路肩を走行していたところ、路肩が崩壊し約3m下の谷に転落、横転した。	212	17	10 ～ 29
2001	3	10 ～ 11	4tトラックで国道を走行中、信号交差点において赤信号で停車していたトラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2001	2	4 ～ 5	納品のため普通トラックで高速道路を走行中、前方を走行中の大型トレーラーに追突した。	221	17	10 ～ 29
2001	3	13 ～ 14	家屋解体工事現場で、ドラグショベルを運搬するためトレーラーに積載したのち、上部旋回体を旋回させたときにドラグショベルが路上に転落し、ドラグショベルの下敷きになった。	142	1	1～ 9
2001	2	20 ～ 21	トラックで走行中、トンネル出口付近で道路左側の法面に乗り上げ、横転した。	221	17	10 ～ 29

2001	3	5 ～ 6	トラックから荷を卸すため後部の扉を開けようとしたときにトラックが動き出したので、運転席のサイドブレーキを引きに戻ろうとして、脇に駐車中の車とトラックとの間に挟まれた。	221	7	1～ 9
2001	3	5 ～ 6	10tトラックで自動車道を走行中、追い越し車線において普通トラックが右前輪のパンク修理をしていたので走行車線側にハンドルを切ったところ、普通トラックの左側後部に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2001	3	21 ～ 22	大型トラックで走行中、前方でワンボックス車の単独横転事故があって渋滞中の最後尾に停車していたセミトレーラーに追突した。	221	17	30 ～ 49
2001	2	12 ～ 13	製缶用原料を積みトラックで走行中、道路がアイスバンのためタイヤチェーンを装着していたところ、後方から走行してきたトラックにはねられた。	221	17	50 ～ 99
2001	3	2 ～ 3	吊り上げ過重2. 8tの移動式クレーンを洗車場横の傾斜地(傾斜角度5度)に停車させ降りたところ、クレーンが動き出したので停車させるため運転席に戻ろうとしたときに、車両と門柱の間に挟まれた。	212	7	30 ～ 49
2001	2	5 ～ 6	国道を走行中、事故のため停車していたトラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2001	2	1 ～ 2	トラックで県道を走行中、駐車場から出てきたトラックと衝突し、そのはずみで対向の軽自動車と衝突して横転のまま滑走して約10m先の電柱に衝突した。	221	17	1～ 9
2001	2	8 ～ 9	トラックで国道を走行中、交叉点で信号待ちしていたトラックに追突した。	221	17	100 ～ 299
2001	2	3 ～ 4	住宅用アルミサッシを運搬するため大型トラック(10t)で国道を走行中、スリップしてセンターラインを越えてきた対向車と衝突した。	221	17	1～ 9

2001	1	22 ～ 23	大型トラックで高速道路を走行中、スリップしたワゴン車が進行方向と逆向きに停車したので、その車の運転手の様子を見るため車外に出て追い越し車線上のワゴン車の運転席ドア付近にいたところ、本線上を走行中の大型トラックに跳ねられた。	221	17	30 ～ 49
2001	2	19 ～ 20	2. 75tのトラック荷台において、積んだ荷をロープで固定する作業を行っていて高さ1. 73mのあおり上から地面に墜落した。	221	1	1～ 9
2001	1	0 ～ 1	納品のためトラックで走行中、対向の2tトラックが中央線を超えてきて前方を走行していた乗用車と接触したのちトラックと正面衝突した。	221	17	100 ～ 299
2001	1	11 ～ 12	建設部材のH型鋼(質量960～970kg)12本を10t積貨物自動車に積込む作業で、最大荷重3. 5tのフォークリフトに2本重ねた状態で積込むのを貨物自動車の荷台の上で誘導していたところ、4回目に積込んだ荷が崩れてH型鋼1本が落下し頭部に激突した。	521	6	10 ～ 29
2001	2	22 ～ 23	トラックに雑貨を積んで走行中、赤信号で停車中の鋼材を積んだトレーラーに追突した。	221	17	30 ～ 49
2001	2	2 ～ 3	鉄骨を積んで自動車道を走行中、路側帯に故障のため停車中のトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2001	2	1 ～ 2	大型トラックに荷物を積んで走行中、車の電気系統に故障が発生したため路肩と走行車線の間で停車させて、道路脇の非常電話を使用していたところ、後続のトラックが追突してその衝撃で運転手が死亡し、さらに大型トラックの運転手にトラックが激突した。	221	17	30 ～ 49
2001	1	15 ～ 16	国道の中央分離帯の切れ目に4t車を止め、横断歩道のない道路を渡っていたときに女性の運転する軽乗用車にはねられた。	231	17	30 ～ 49

2001	2	14 ～ 15	倉庫内商品の棚卸しを終え、棚(高さ：1.4m、幅：1.1m)の上で粘着紙ラベルロール(質量：65kg)を整理するため、ロールを転がして棚からフォークリフトのパレット上に積み込もうとしたときに棚から墜落した。	391	1	～ 29
2001	2	6 ～ 7	大型トラックで自動車道を走行中、前方のクレーン車に追突したのでトラックを追い越し車線上に止めたまま車外に出ていたときに、後続の4tトラックにはねられた。	221	17	～ 29
2001	2	19 ～ 20	船から荷揚げした鋼管を倉庫にトラックで運搬して、荷卸しのためトラック荷台のあおりのキャッチを取り外したところ、荷台上の3本結束した鋼管パイプ(重量213kg/1本)とともにあおりが倒れ、付近にいた玉掛け補助者の頭部に当たった。	221	4	50 ～ 99
2001	1	12 ～ 13	18tトレーラーで自動車道を走行中、前を走行していた10tトラックに追突した。	221	17	100 ～ 299
2001	1	3 ～ 4	作業車(4tトラック)が低速走行で凍結防止剤を散布していて、大型貨物自動車を追突し、そこに後を走行中の貨物自動車2台が追突したところに追突した。(運転手が死亡、他の車輛の運転手1名も死亡)	221	17	100 ～ 299
2001	1	15 ～ 16	造成工事現場において、工事に使用したパワーショベルを別の現場に搬送するためトラック荷台に積載中に、パワーショベルの下敷きになった。	142	7	1～ 9
2001	1	23 ～ 24	鋼材を積んで大型トレーラーで、国道を走行中、緩い左カーブを直進する形でガードパイプ2か所を突き破り、トレーラーごと約25m下の河原に転落した。	221	17	30 ～ 49
2001	1	2 ～ 3	荷物を積み、大型トラック(10t)で自動車道を走行中、運転を誤ってガードレールを破り約10m下の川に転落した。	221	17	50 ～ 99
2001	1	6 ～	荷を積んだ4tトラックで国道を走行中、道路左側の空地から右折するために国道に出て道路をふさいでいたトレーラーに衝突した。	221	17	30 ～

		7				49
2001	1	11 ～ 12	倉庫出入口のオーバースライダー(高さ4.7m、横5.1m)が上がらなくなったので、壁を昇って不具合を直して降りるためスライダーの上部を移動しているときにコンクリートの床面に墜落した。	418	1	30 ～ 49
2001	1	16 ～ 17	配達先のサイロに飼料を投入する作業を行っているときに、サイロの設置面より1.2m下の道路に墜落した。	416	1	10 ～ 29
2001	1	2 ～ 3	4tトラックで荷物を積み走行中、右側より直進してきた乗用車と衝突して、左前方中央分離帯コンクリートに激突してその反動で右退出路を乗り越えて約10m下の地下道に落下した。	231	17	10 ～ 29
2000	5	2 ～ 3	冷凍バナナの集荷のためトラックで走行中、高速出口付近の左カーブで側壁に衝突し、ドアが開いたため約23m下の高架下へ転落した。	221	17	10 ～ 29
2000	11	4 ～ 5	大型トラックで走行中、パーキングエリアから本線に合流してきた大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2000	6	12 ～ 13	4tトラックで国道を走行中、信号待ちで止まっていた大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2000	3	8 ～ 9	トラックで走行中、トンネルで乗用車、トラック等25台が絡む事故に巻き込まれて炎上し、焼死した。	221	17	50 ～ 99
2000	2	17 ～ 18	刈り取ったさとうきびを敷地内のヤードまで搬送し、トラッククレーンでモッコ(さとうきびを袋詰めにしたもの)を降ろすためトラック荷台に乗ったときに、約2.3m下の地面へ墜落した。	221	1	10 ～ 29
2000	2	8 ～	鶏舎横の広場において高さ3cmのトラックの荷台からラックラクター(鶏籠を積む機械)を降ろす作業中に、ラックラクターのキャタピラの駆動回転部	229	7	50 ～

		9	分に頭部を巻き込まれた。			99
2000	9	20 ～ 21	荷物の積んだフルトレーラー(前8.5t、後7.75t)で国道を走行中、赤信号のため停止していた前方の大型トラックに追突した。	221	17	100 ～ 299
2000	6	8 ～ 9	自ら搬送してきた鋼製の擁壁資材を15tトラックからフォークリフトで荷降ろしするため、後進しながら方向転換をしていたときに、ダンプ等の洗車時に出る泥をためる穴(長さ3.4m、幅2.5m、深さ0.7m)にフォークリフトが転落し、その下敷きになった。	222	2	50 ～ 99
2000	5	1 ～ 2	10tトラックに青果物を積んで、自動車道を走行中、前方で2台のトラックが横転して後続のトラック7台が追突する事故が発生し、その最後尾の車に追突し死亡した。	221	17	10 ～ 29
2000	12	12 ～ 13	キャリアトラックで走行中、左カーブを曲がりきれずに道路右側にはみ出して対向車線を越え民家に突っ込んだ。	221	17	1～ 9
2000	9	1 ～ 2	4tトラックに引越荷を積み走行中、前方に停車していた10tトラックに追突した。	221	17	100 ～ 299
2000	3	19 ～ 20	A、Bの両名が各々10tトラックを運転して走行中、交差点で信号停車していた他社の10tトラックに気付いてAは停止したが、後方から走行していたBは気付くのが遅れAの車に追突した。	221	17	30 ～ 49
2000	4	23 ～ 24	大型トラック(7.5t)に帰り荷を積載してトンネル内を走行中、前方の大型トラック(10t)に追突した。	221	17	50 ～ 99
2000	12	10 ～ 11	10tトラックで自動車道を走行中、工事のため停止していた車両7台の最後尾のタンクローリーに追突した。	221	17	50 ～ 99
		4	貨物自動車(10t)で高速道路を走行中、登坂車線において前方を走行してい			10

2000	11	5	たトレーラーに追突した。	221	17	29
2000	9	3	トラックで自動車道を走行中、左カーブで道路右側のガードレールに接触、横転した。	221	17	49
2000	9	3	トラックで自動車道を走行中、前方の大型トレーラーに追突した。	221	17	99
2000	9	10	トラックターミナルの高さ83cmのプラットホーム上でバッテリー式フォークリフト(積載荷重1t)をバックで走行していたときに、フォークリフトとともに転落した。	222	1	299
2000	8	7	コイルを積載したトレーラーで国道を走行中、前方の4tトラックに追突し、4tトラックに積んであった12m鋼材が荷台から飛び出していたためトレーラーの運転席を直撃した。	221	17	99
2000	7	12	片側2車線の高架道路をタンクローリーで走行中、追越車線から走行車線に車線変更したときに直進していた乗用車と接触、はずみでコンクリート製の橋の欄干に衝突し、車外に投げ出されて約7m下の道路に転落した。	221	17	29
2000	7	17	倉庫内において、積み重ねられたフレコンバックを同じ倉庫内の他の場所に移動する作業でフォークリフトで4段1列のはい付けが終わり、2段目の1個を置くためにフレコンバックを移動していたときに、1列目の3段目と4段目のフレコンバックが倒壊し下敷きになった。	611	5	49
2000	7	19	朝8:00より4名で引越し作業を行っていて18:00頃に、ほろ付トラックの荷台でガタッと音がして倒れていたのを、救急車で病院へ移送したが、熱中症のため死亡した。	719	90	29
2000	4	8	4tトラックで荷(67枚のガラス、重量1t)を運搬中に、荷崩れを起こしたため、途中の駐車場で荷にロープを掛けて、倒れた荷を立てようと10tトラックで引張ったときに、荷台上で荷の転倒を防ぐため作業していた者が荷の	611	7	29

			下敷きになった。			
2000	9	11 ～ 12	林道開設工事現場に生コンを配送するためミキサー車で道幅3.5mの林道を走行中、現場まで350mの地点で路肩に寄りすぎ路肩が崩れて約22m(勾配45度)下の谷底へ車もろとも転落した。	221	1	10 ～ 29
2000	1	14 ～ 15	ダンプに土砂を積み、市道を走行中、約5.3m下の谷に転落した。	221	17	30 ～ 49
2000	12	5 ～ 6	トラックにみかんを積んで走行中、ジャンクション付近で右側の壁に衝突して横転した。	221	17	1～ 9
2000	11	18 ～ 19	大型トラックで自動車道を走行中、下り道で中央分離帯に衝突した。	221	17	50 ～ 99
2000	9	14 ～ 15	9.9tトラックで自動車道を走行中、本線に合流する手前の道路で道路右ガードレールにぶつかり横転した。	221	17	10 ～ 29
2000	5	20 ～ 21	4tトラックで冷蔵食品を輸送するためトラックの運転者席側のドアを開け地上に立った状態でエンジンを始動させていたところ、トラックが前進してドアが鉄柱に激突して閉まったためドアと運転者室との間に挟まれた。	221	7	100 ～ 299
2000	2	10 ～ 11	花崗土採取現場において、ドラグショベルで花崗土を自分のトラックに積み込んでいたときにトラックが傾斜下方に動きだしたため、ドラグショベルを降りて、トラックを停止させようとトラックに駆け寄りトラックにひかれた。	221	7	10 ～ 29
2000	12	6 ～ 7	大型トラック(11t車)で自動車道を走行中、軽トラックに追突して軽トラックが横転したのでトラックから降りて軽トラックの運転手を救助しようとしていたところ、後続の大型トラックにはねられた。	221	17	30 ～ 49
		1	大型トラックで高速道路を走行中、渋滞で止まっていた軽トラックに追突			10

2000	6	～ 2	し、さらにその反動で前のトラックに次々に追突して5台の玉突き事故となり、追突した大型トラックと軽トラックは炎上した。	221	17	～ 29
2000	12	3 ～ 4	タンクローリーに液体クロムを積んで国道を走行中、センターラインを越えて突っ込んできた大型トラックと正面衝突した。	221	17	～ 299
2000	10	1 ～ 2	トラックで国道を走行中、赤信号で停車していた6台のトラックの最後尾のトラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2000	3	14 ～ 15	建築用ボード材原料の運搬作業をフォークリフトで行っていたときにフォークに乗せたファイバーが約2mの高さから落下し、既に積み上げられた荷の下に「りん木」を置く補助作業を行っていた者の頭部がはさまれた。	222	4	30 ～ 49
2000	1	21 ～ 22	トラックで国道を走行中、右にカーブした上り坂で、対向の大型トラックが中央線を越えてきたため正面から衝突した。	221	17	100 ～ 299
2000	12	5 ～ 6	荷を届けるため、4tトラックで国道を走行中、交差点で赤信号のため停車中の35tトレーラーに追突した。	221	17	10 ～ 29
2000	8	10 ～ 11	移動式クレーンで塩化ビニール管(長さ5.5m、重さ15kgのものを約130本)をトラックの荷台から降ろしていたところ、吊り上げていた荷とともに移動式クレーンが倒れ、降ろし終わっていた荷と移動式クレーンとの間にはさまれた。	212	6	10 ～ 29
2000	7	9 ～ 10	産業廃棄物を10tトラックに積載して国道を走行中、急な左カーブのところで道路から約15m下の崖に転落し、木に引っかかって横転したトラックの運転席で頭などを強打した。	221	17	10 ～ 29
2000	4	4 ～	友人にトラックを運転させて走行中、スリップしてトラックが横転したため後ろのベットで休んでいた者が死亡した。	221	17	10 ～

		5				29
2000	1	23 ～ 24	10tトラック(保冷車)に牛乳を積載し国道を走行中、上り車線に入るためガソリンスタンドから出て道路を塞いでいた10tタンクローリーの側面に衝突した。	221	17	30 ～ 49
2000	1	10 ～ 11	タンクローリー車が道路左のガードレールに接触し、その反動で右のガードレールを突き破り約5、5m下の用水路に転落した。	221	17	1～ 9
2000	11	16 ～ 17	宅地造成工事に使用した機体質量5.1tのドラグショベルを8tトラックに積載中、トラック荷台からドラグショベルが転落し、運転席から投げ出されて地面とドラグショベルとの間に胸部をはさまれた。	142	1	10 ～ 29
2000	8	5 ～ 6	トラックに荷を積んで走行中、対向車線に入ったため大型貨物車と正面衝突した。	221	17	100 ～ 299
2000	3	6 ～ 7	10t貨物自動車で国道を走行中、センターラインをはみ出して対向の2t貨物自動車と正面衝突した。	221	17	1～ 9
2000	2	16 ～ 17	ドラグショベル(機体質量15.3t)を移送するためトレーラーの荷台に積載し、据付け位置の微調整のため機体を前・後進(各2回)したときに、気付かぬうちに荷台にあがっていた者がショベル後部と荷台のフレームとの間に挟まれた。	142	7	10 ～ 29
2000	9	16 ～ 17	冷凍魚類をトラックで運送中にハンドル操作を誤って横転し、左側のガードレールに衝突しトラックの下敷きになった。	221	17	10 ～ 29
2000	5	9 ～ 10	トラクター・ショベルで砂を「とおし」と呼ばれる鉄製のふるいにかけて、石や草などのゴミ等を取り除いたのち混合し新幹線の枕木を製造するための生コンクリート用砂を作る作業中に「とおし」につまった草等を取り除くためトラクター・ショベルのバケットで「とおし」を持ち上げその	419	1	10 ～ 29

			上で草等を取り除いていたときに「とおし」が外れて下敷きになった。			
2000	9	21 ～ 22	荷の搬送のため4tトラックで国道を運行中、ガソリンスタンドから出る車を待って停車していた大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2000	9	3 ～ 4	8.5tのトラックで自動車道を走行中、IC入口の合流箇所急ブレーキをかけたところ、雨が降っていたため車両がスリップしトンネル入口に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2000	9	4 ～ 5	11tトラックを走行中、料金所で停車している他の車輛に追突した。	221	17	1 ～ 9
2000	8	2 ～ 3	長距離トラックでバイパスを走行中、渋滞で停止していた大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2000	2	23 ～ 24	登坂車線上においてタイヤチェーンの装着作業中に、車輛が降雪のため後方に滑り出したためりん木で歯止めをしようとしたときに足から腹部にかけてタイヤにひかれ、その状態で20～30メートル後方に滑って橋の欄干との間に挟まれた。	221	7	10 ～ 29
2000	8	21 ～ 22	荷物を配送して帰る途中、国道のトイレに行くため車を路肩に停車させ、反対車線側のコンビニで用を済ませて車に戻る途中、中央分離帯付近でバイクに跳ねられた。	231	17	50 ～ 99
2000	5	3 ～ 4	住宅ユニットをトラックに積んで高速道路を走行中、後続の大型トラックに追突され、その衝撃で道路左脇の橋脚に激突した。	221	17	100 ～ 299
2000	4	2 ～ 3	トラックに電気製品を積んで国道を走行中、緩やかな左カーブでセンターラインをオーバーしてきた対向の大型トレーラーと正面衝突した。	221	17	50 ～ 99
		12	荷の配送のため国道を4t車で走行中、交差点で赤信号のため停車していた			10

2000	3	～ 13	大型トラックに追突した。	221	17	～ 29
2000	12	～ 1	トラックで走行中、追越車線に車線変更したときに道路公団の清掃車に追突し、その反動で走行車線の側壁に当たり、150メートルほど側壁を擦りながら停止した。	221	17	～ 29
2000	11	～ 12 13	10tトラックで高速道路を走行中、中央車線(三車線中央)を走行していた4tトラックの右前タイヤがバーストして追い越し車線(三車線右側)に入り停止したので追い越し車線を走行していた10tトラックが急停車したところに、追突し、その後続3台のトラックも玉突きで追突した。	221	17	～ 100 299
2000	8	～ 15 16	高さ1.23mのプラットホーム上で、フォークリフト(最大荷重2t)を運転してタイヤ10数本を運搬していて当該プラットホームからフォークリフトとともに転落してフォークリフトの下敷きになった。	222	1	1～ 9
2000	7	～ 3 4	4tトラックで国道沿いの食料品工場にパンを受け取るために走行中、見通しの良い直線道路を右折して工場に入ろうとしたときに対向の乗用車と衝突した。	231	17	～ 50 99
2000	7	～ 5 6	トラックで国道を走行中、スリップして横向きになったトラックに追突した。	221	17	～ 10 29
2000	7	～ 3 4	トラックで高速道路を走行中、追い越し車線から走行車線に車線変更しようとしたときに前方の大型トレーラーに追突した。	221	17	～ 10 29
2000	6	～ 5 6	大型トレーラーで高速道路を走行中、側壁に接触し、そのはずみで中央分離帯に衝突したのち横転した。	221	17	～ 10 29
2000	6	～ 11 12	タンクローリー(9t)で走行中、横転して路外に飛び出し行き先を示す標識に車体が引っ掛かる形で止まったが頭を強打した。	221	17	～ 50 99

2000	4	4 ～ 5	帰路のためトラックで高速道路を走行中、道路工事で渋滞していた大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2000	3	16 ～ 17	配送業務が終了し、軽トラックで走行中、トンネル内の天井補修工事のためカラーコーンで車線規制して、「作業中」と電光表示し左車線に停車していた無人の標識車へカラーコーンをなぎ倒す状態で追突した。	221	17	1～ 9
2000	3	2 ～ 3	大型貨物自動車で高速道路走行中、対向の大型貨物自動車が中央分離帯を乗り越えてきて衝突した。	221	17	30 ～ 49
2000	3	2 ～ 3	雑貨を10tトラックで運送して高速道路を走行中、追い越し車線を走行中の10tトラックに追突し、その反動で中央分離帯を越え、対向のトラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2000	3	12 ～ 13	自動車電装部品の運送のため4tトラックで高速道路を走行中、工事で渋滞していた車の列に突っ込み、10t大型トラックと衝突した。	221	17	1～ 9
2000	2	2 ～ 3	トラックで国道を走行中、前方赤信号で停車した大型トラックに追突した。	221	17	100 ～ 299
2000	1	2 ～ 3	トラックで倉庫に紅茶を運ぶため国道を走行中、交差点で信号で停車中の大型トレーラー車に追突し、大型トレーラーの積荷の後部から突出していた直径40cmの鋼鉄製の水道管が顔面、頭部を直撃した。	221	17	10 ～ 29
2000	1	12 ～ 13	国道を大型トレーラーで走行中、ガードレールに接触し、その後ブロック塀に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2000	12	2 ～ 3	大型トラックで走行中、前方を走行していた車がコンビニに入ったが駐車場が混んでいたため道路上に後部を突き出した状態で停車していたところに、慌ててブレーキをかけたが間に合わず激突した。	221	17	30 ～ 49

2000	11	12 ～ 13	トラックで高速道路を走行中、多重衝突にまき込まれ前方の車両と後続の車両との間に挟まれた。	221	17	10 ～ 29
2000	10	10 ～ 11	工務店の資材置場において、フォークリフトを用いて移動式トラッククレーン(3t)に型枠用の板材17枚3列分を積込んでいたときに、板材がトラック後部方向に崩れたため荷とともに地面に落下し、下敷きとなった。	222	5	1～ 9
2000	10	13 ～ 14	材料試験機械(質量約560kg)を搬出するため、作業場内の天井クレーン(定格荷重2.8t)で荷を吊り、横向きにして台車に乗せるために合図者が荷の下に入ったときに、上側のナイロンスリングがフックより外れて荷が落下し、下敷きになった。	372	4	30 ～ 49
2000	9	3 ～ 4	2tトラックで走行中、国道において赤信号のため減速中の大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2000	9	6 ～ 7	15tトラックで荷受け先倉庫に入庫後、積荷の荷降ろし作業のため荷台上のパレットに乗り作業をしているときに、バランスをくずし2m下の地面へ転落した。	221	1	10 ～ 29
2000	9	2 ～ 3	大型トラックで走行中、渋滞で停止していた大型トレーラーにノーブレーキで追突した。	221	17	50 ～ 99
2000	8	21 ～ 22	自社の車がガス欠となったので救援に行き、ガス欠車の後方に車を停車させ、「停止表示板」を設置してその後方で手によって合図をしていたところ、ゼブラゾーンを走行してきた車輻に跳ね飛ばされた。	231	17	300 ～
2000	8	16 ～ 17	4tトラックに積み込んだベニヤ廃材の束2つを固定するためベニヤ廃材の上に乗るワイヤーを巻き取り工具で締め付けていたときに、高さ約2.4mの荷の上から転落した。	611	1	10 ～ 29
2000	8	2 ～	荷物配送のためトラックで走行中、交差点で信号待ちをしていたトレーラーに追突した。	221	17	10 ～

		3				29
2000	7	3 ～ 4	15tトラックで自動車道を走行中、前方の車両に追突した。	221	17	～ 49
2000	7	13 ～ 14	工場新築工事において、2名でトレーラーに積まれた鉄骨梁10本(H型鋼2段積み)をホイールクレーン(35t)を用いて荷卸しするため、クランプで玉掛けしようとしたH鋼の隣接の1本が荷台から落下し、傍に居たトレーラーの運転手に激突した。	212	4	10 ～ 29
2000	7	16 ～ 17	8tトラックで高速道路を走行中、渋滞のためハザードランプを点けて停車していたところへ後続の13tトラックに追突され、前に停車中の13tトラックに衝突した。	221	17	～ 29
2000	6	18 ～ 19	荷さばき場の貨物搬送用ベルトコンベアを操作していて、3.6m下のコンベア付属の1番シューターと3番シューターの間のコンクリート床上に墜落した。	224	1	300 ～ 499
2000	5	20 ～ 21	4tのほろ付トラックに菓子入りダンボール箱を積込む作業を行っていたときに、トラックの運転手が6m40cm発進させてブレーキをかけたため、その勢いで仰向け状態でトラック荷台上から1m下の地上に墜落した。	221	1	10 ～ 29
2000	5	16 ～ 17	25tトラックで倉庫に冷蔵庫を搬送するため自動車道を走行中、トンネル手前の上り坂で登坂車線を走行していた別の25tトラックが車線変更して走行車線に入ったため追突した。なおトラックが低床車だったため前のトラックの下に入り込みキャビンが潰れた。	221	17	1～ 9
2000	3	4 ～ 5	3. 5tの保冷車でコンビニ店への配送が終了し高速道路を走行中、出口手前のゼブラゾーンに停車中の4t車両に追突した。	221	17	～ 299
2000	1	12 ～ 13	4tトラックで走行中、赤信号で停車していたところに、後方の10tトラックに追突された。	221	17	50 ～ 99

2000	11	6 ～ 7	2tトラック(保冷車)に冷凍食品を積み自動車道を走行中、側壁に衝突した。	221	17	～ 49
2000	10	12 ～ 13	大型トラック(25t・ウイング車)に飲料水を搬入するため営業所に到着、門扉を開け構内にトラックを乗り入れ、運転席から降りて門扉を閉めようとしているときにトラックが後進してきて巻き込まれた。	221	7	～ 29
2000	10	3 ～ 4	荷を積み込み4tトラックで国道を走行中、道路工事のため渋滞で停車していた10tトラックに追突した。	221	17	～ 29
2000	3	22 ～ 23	トラックで国道を走行中、道路左側ガードレールに衝突して横転し、ガードレールと運転席との間に挟まった。	221	17	1～ 9
2000	1	4 ～ 5	4t貨物自動車で国道を走行中、対向車が猛スピードで車線を越えてきて正面衝突した。	221	17	～ 29
2000	1	3 ～ 4	警備員室で警備中に、会社の社員に包丁で刺殺された。	364	90	～ 99
2000	8	3 ～ 4	工場で荷卸作業が終了しトラックで高速道路を走行中、渋滞で停車している大型トラックに追突した。	221	17	～ 29
2000	8	11 ～ 12	圧縮梱包機により断熱材を圧縮して梱包用の袋に入れる作業中、中央部分の断熱材が浮き上がってくるのを手で押さえていたときに機械の圧縮ローラーと機械の支柱の部分にはさまれた。	169	7	～ 29
2000	5	4 ～ 5	4t貨物トラックで走行中、赤信号のため停車していた10tトラックに衝突した。	221	17	～ 49

2000	12	11 ～ 12	タンクローリーで自動車道を走行中、車体が左側に寄り過ぎたので大きく右ハンドルを切ったところ横転し、車外に投げ出された。	221	17	10 ～ 29
2000	11	23 ～ 24	トレーラーで県道を走行中、路上に停車していた大型トレーラーに気付くのが遅れ追突した。	221	17	10 ～ 29
2000	10	6 ～ 7	大型トラックで走行中、自然渋滞で停止しようとしていた最後尾のトラックに追突し車3台が絡む玉突き事故となった。	221	17	30 ～ 49
2000	9	4 ～ 5	21tトレーラーで国道を走行中、センターラインを超えて道路右側の歩行者用転落防止フェンスを突き破って6m下の町道に転落した。	221	17	1～ 9
2000	8	0 ～ 1	トラックに冷凍魚を積み込むためフォークリフトに乗り市道を走行中、交差点で右折したときにフォークリフトが左側に横転し、その下敷きとなった。	222	2	30 ～ 49
2000	7	15 ～ 16	3t積載トラックが高速道路の走行車線から追い越し車線に進路変更をしたときに、追い越し車線を走行していた車に接触して100m程走行し、その後、走行車線をふさぐ形で横向きになったところに、走行車線を走行していた車に横から追突され、そのままの状態、路肩の石垣に乗り上げる形で停車した。	221	17	10 ～ 29
2000	7	4 ～ 5	工場に向かってトラックで走行中、路肩工事用鉄製骨材に接触して横転し運転台が大破した。	221	17	100 ～ 299
2000	7	23 ～ 24	積載荷重35tのトレーラーに鋼材31tを積んで国道を走行中、緩い左カーブで曲がりきれずに道路から飛び出し、約10m下方の河川敷に転落した。	221	17	100 ～ 299
			3. 5tトラックで取引先会社に到着し、トラック荷台にフォークリフトで運			

2000	6	15 ～ 16	搬してきた合板450枚を荷台にのせる作業の準備として合板の下に盤木3本を敷く作業を行っていたときに、合板450枚がフォークリフトにより荷台の盤木上に置かれた直後に合板が崩れ、荷台上から道路上に転落して落ちてきた合板の下敷きとなった。	611	5	30 ～ 49
2000	6	6 ～ 7	国道を大型トレーラー(最大積載荷重23t)に原木丸太を積載して走行中、約5キロの下り坂を平時速60キロで走行していて途中のブレーキ多用が原因でディスクが焼けてブレーキが利かなくなったので、車両を左側ガードレールに接触させて停止させる試みをしたが操作を誤って横転し右側ガードレールにキャビンが激突した。	221	17	1～ 9
2000	5	12 ～ 13	トラックで国道の追い越し車線を走行中、中央分離帯を越えてきた大型トラックと正面衝突した。	221	17	1～ 9
2000	4	1 ～ 2	飼料用トウモロコシを積んだ20tトレーラーで走行中、陸橋上の右カーブを曲り切れずにトレーラー、トラクターとともに左に横転し、キャビンで破壊されて路上に投げ出された。	221	17	100 ～ 299
2000	4	12 ～ 13	国道を走行中、非常停車帯に停車中の4t車に追突した。	221	17	50 ～ 99
2000	4	4 ～ 5	ガラスの原料をダンプトラックで運搬したのち県道を走行中、赤信号で停車中の車両を発見しブレーキをかけたが間に合わず追突した。	221	17	1～ 9
2000	4	15 ～ 16	大型貨物自動車で行中、信号のある交差点で普通乗用車と衝突し、その反動で歩道橋に衝突した。	221	17	1～ 9
2000	3	7 ～ 8	トラクター(けん引車)とトレーラーを接続して出車する作業中に、トラクターが下がり出したため慌ててトラクターの運転席に飛び乗ろうとして右隣に停車していたトレーラーとトラクターとの間に挟まれた。	221	7	30 ～ 49

2000	3	4 ～ 5	トラックで走行中、乗用車が出会い頭に衝突し、車外に放り出されて頭部を強く打った。	221	17	30 ～ 49
2000	2	5 ～ 6	油を積込むためタンクローリーで国道を走行中、対向の乗用車が中央分離帯に乗り上げて来たのでハンドルを左にきったが路面が滑りやすい状態であったため、車両がスピンして道路左側のガードレールに激突し道路中央で停止したところに、後方から来た車両が激突し、車両の外に放り出された。	221	17	50 ～ 99
2000	1	6 ～ 7	2台のトレーラーに積まれたコンテナとコンテナの間で点検をしていたところ、一方のコンテナがヘッドとの接続時の反動で動いたためコンテナの間に挟まれた。	221	7	10 ～ 29
2000	12	1 ～ 2	4tトラックで国道を走行中、既に追突事故により停車していた4tトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
2000	11	2 ～ 3	6tトラックに純水製造機械を積み国道を走行中、路肩に駐車していた10tトラックに衝突した。	221	17	1～ 9
2000	11	12 ～ 13	普通トラック(10t)で走行中、大型トラックが追突し、次々と8台の玉突き衝突となった。	221	17	10 ～ 29
2000	8	11 ～ 12	トラックで国道を走行中、渋滞で停車中の大型観光バスに追突した。	221	17	10 ～ 29
2000	7	2 ～ 3	国道を10tトラックで走行中、信号待ちで停車していた大型トレーラーに追突した。	221	17	100 ～ 299
		5	3. 5tトラックに荷を積込み国道を走行中、携帯電話の着信音に気を取られ			50

2000	4	6	～	て脇見運転となり、道路左側のビニールハウス(約20m)に接触しながら電柱に激突した。	221	17	～	99
2000	4	2	1	プラスチック製のパレット(1枚20kg)200枚を10tトラックに積み込み国道を走行中、前方を低速で走行していた大型トレーラに追突した。	221	17	～	10 29
2000	3	4	3	市場へ荷を下ろしたのち県道を走行中、交差点で右側から進行してきた大型トラックと出会い頭に衝突した。	221	17	1	～ 9
2000	3	7	6	大型トラックで自動車道を走行中、パーキングエリア入口に停車していた大型トラックに追突した。	221	17	～	30 49
2000	2	19	18	丸太数100本を25トントレーラに積み県道を走行中、道路左側のガードレールを突き破り3m下の杉林に転落し、運転者が放り出されて積荷の丸太の下敷きになった。	221	17	～	10 29
2000	2	2	1	10. 6tトラックにアルミインゴット、9. 8tを積んで走行中、信号待ちをしていた10tトラックに追突し、その前で2台にも次々と追突した。	221	17	～	10 29
2000	1	17	16	9. 75tのトラックに組立家具を分割した箱14個を2tのフォークリフトで降ろそうとしたときに、荷崩れを起こしたので直すためフォークリフトの運転席からトラックに移ろうとして滑って仰向けに倒れ、尻部でチルトレバーを押したのでマストが運転席側に傾斜し、運転席の支柱とマストとの間に挟まれた。	222	7	～	10 29
2000	11	5	4	5トントラックへ荷を積み国道を走行中、先行車両を追い越すため対向車線に出たときに対向車(25トン)と正面衝突した。	221	17	～	10 29
2000	10	～	6	トラックで倉庫を出発して国道を走行中、右カーブをそのまま直進して欄干を突き破り約50m下の谷に転落した。	221	17	～	10

		7				29
2000	6	4 ～ 5	トラックに野菜を積んで市場に運び会社に帰る途中、片側二車線道路の緩いカーブの左側車線に故障で駐車していたトレーラーに追突した。	221	17	10 ～ 29
2000	5	5 ～ 6	荷物を積んだ4tトラックで片側一車線のところを走行中、緩やかなカーブのところでは対向の乗用車が中央線を越えてきて正面衝突したところに後方からきた軽乗用車がトラックに追突した。	231	17	100 ～ 299
2000	10	23 ～ 24	荷積みの終了した大型車両(10t)をホームから離して構内の広い場所で、後部扉を閉めようとしたときに、積み込んだ荷物が落ちそうになっていたのでステップ(高さ67cm)または荷台(高さ131cm)に乗り荷物を中に押し込んでいたところ、バランスを崩して地面に落下し頭部を打ちつけた。	221	1	50 ～ 99
2000	12	2 ～ 3	食品パックを10tトラックに積載して走行中、自然渋滞で停車していた10tトラックを25m手前で発見しブレーキを踏んだときに、対向車両が来たので、左側に逃げたが間に合わず対向車に追突した。	221	17	1～ 9
2000	3	3 ～ 4	大型トラック(10t)で高速道路を走行中、交通渋滞のためを走行車線に停車していたときに後方より大型トラックに追突されて前方に押し出され、前方に停車中の大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2000	12	9 ～ 10	倉庫に積まれた樹脂ペレット1t入りのフレコンバックの運搬で、フォークリフトのフォークを木製パレットの半分まで差し込んで荷を持ち上げたためパレットが破損して前方に倒れそうになったので、運転席を降りて支えようとしたが支えきれず下敷になった。	222	5	30 ～ 49
2000	8	4 ～ 5	トラックに荷を積み高速道路を走行中、渋滞で停止していた前車の発見が遅れて急ブレーキが間に合わず、トラック2台を含む多重追突事故になった。	221	17	50 ～ 99
2000	2	16 ～ 17	大型トラックで国道を走行中、反対車線のガードレールを突き破って約8m下の谷川に転落し、車外に投げ出された。	221	17	10 ～ 29

2000	10	23 ～ 24	10t平ボデイ車に荷を積み県道を走行中、橋の手前で運転を誤ってガードレールを破り10メートル下の河川敷に転落した。	221	17	～ 29	10
2000	9	16 ～ 17	大型トラックで国道を走行中、交差点を過ぎたところでセンターラインを越えたため、対向車線で右折しようとしていた車と衝突し、さらに後続車と衝突したのち橋の欄干を越えて川に転落した。	221	17	～ 49	30
2000	7	7 ～ 8	大型トラック(15t)の荷台から鉄製の電線ドラムを降ろすためトラックの荷台に上り電線ドラムを固定していたレバブロックを外していたところ、突然、電線ドラムが動き出しともにトラック荷台から転落した。	611	1	～ 49	30
2000	1	2 ～ 3	鋼材を大型トレーラーに積んで国道を走行中、下り坂カーブでシャーベツト状の雪でスリップして縁石にはじかれ、対向の4tトラックに接触後、ガードレールを突き破り、1.5～2.5m斜面を転落・横転した。	719	17	～ 99	50
2000	8	17 ～ 18	トレーラーに積んでいた木材(角材を10本結束したものの330組)が崩れかかっていたため、トラクターショベルのバケット先端部で木材を押して荷崩れを直そうとして運転者がアクセルを強く踏み込んだため急激に前進し、当て木を持っていた者がトレーラーの荷台とバケットの間に胸部を挟まれた。	141	7	～ 29	10
2000	7	15 ～ 16	トラックで国道を走行中、カーブにさしかかったときに荷台を車体シャーシに固定しているボルトが遠心力により折損したため対向車線に荷台が飛び出し、対向のキャリアカーの運転席を直撃した。	221	17	～ 49	30
2000	6	22 ～ 23	トラックに荷を積み国道を走行中、信号待ちで停車中のトラックに追突した。	221	17	～ 29	10
2000	6	6 ～ 7	トラックを運転して国道を走行中、信号待ちで停車していたダンプトラックに追突した。	221	17	～ 29	10
2000	4	6 ～	4t冷凍車で走行中、国道の交差点において信号待ちで停止していた4t冷凍車の後部に追突した。	221	17	～	10

		7				29
2000	10	8 ～ 9	4 t 幌トラックで料金所に通行券を配送中、料金所で同僚が納品をしている間に荷崩れがないかを見ようと荷台後部にあるパワーゲートの操作スイッチを操作してパワーゲートを倒し、荷台の状況確認を行っているときにパワーゲートとトラック荷台のあいだの間に首を挟まれた。	221	7	10 ～ 29
2000	10	4 ～ 5	高速道路をトラックで走行中、居眠り運転のため大型トラック右後部に激突し、運転室後部ベッドで仮眠していた者が頭蓋骨骨折した。	221	17	1～ 9
2000	10	2 ～ 3	配送先からの帰社のためトラックで国道を走行中、五叉路において中央分離帯に接触後、直進する側道と右にカーブしている本線との分岐点にある三角の分離帯に設置されている標識のコンクリート柱に激突した。	221	17	1～ 9
2000	10	3 ～ 4	片側三車線の真中の車線を4t冷凍車で走行中、前方の走行車線上で接触事故によりトラックが2台停止していたため左車線に変更をしたときに後方からきたトレーラーに追突され、その反動で前方に停止していたトラック2台に激突した。	221	17	1～ 9
2000	9	20 ～ 21	11 t トラックに自動車部品を積んで高速道路を走行中、乗用車が原因となる玉突き事故が発生し、これに巻き込まれた。	231	17	10 ～ 29
2000	7	2 ～ 3	大型貨物自動車で走行中、信号無視で交差点内に入ってきた普通貨物自動車と衝突し、その衝撃で車外に放り出された。	221	17	10 ～ 29
2000	7	2 ～ 3	トラックで走行中、インター近くのジャンクションで前方の大型トラックに衝突した。	221	17	100 ～ 299
2000	2	1 ～ 2	トラックで顧客先への配送が終了して国道を走行中、上り坂にさしかかったところで路面凍結のため前進できなくなってしまったので、後続の車にそのことを伝えようと道路上に降りたときに対向のトラックが凍結により	221	17	1～ 9

			スリップしてセンターラインを越えてきてはねられた。			
2000	1	16 ～ 17	資材置場でダンプトラックの洗車が終了運転席に乗り込もうとしたときに、突然ダンプトラックが前進し、半開きになっていた運転席側ドアが近くの門柱に押されるような形となったため、運転席側ドアと車体との間にはさまれた。	221	7	10 ～ 29
2000	12	22 ～ 23	4 t トラックで自社に戻るため高速道路を走行中、渋滞中の車の最後尾に付いたところ、後続の10 t トラックに追突され前方の乗用車に追突し、さらに中央分離帯を越えて側壁に激突した。	221	17	10 ～ 29
2000	9	3 ～ 4	トラックで高速道路を走行中、前方のトレーラーに追突した。	221	17	30 ～ 49
2000	7	10 ～ 11	取引先から事業場に戻るため徒歩で信号機の無い交差点の横断歩道を通行中に、右折してきたトラックにはねられた。	221	17	100 ～ 299
2000	12	2 ～ 3	トラックでコンビニエンスストアに商品を配達中、信号の無い国道交差点を右折進入したときに、右からきたトラックと出会い頭に衝突した。	221	17	30 ～ 49
2000	12	6 ～ 7	同僚と夫々がトレーラーで客先に向かって国道を走行中、先行のトレーラーがブレーキをかけて停止したところへ、追突し、運転席と荷台との間にはさまれた。	221	17	30 ～ 49
2000	8	15 ～ 16	トラックで荷物を運搬してきて荷降ろしを行うため、電源コネクタを持って電源ボックスに向う途中に高さ97cmのプラットホームより転落した。	418	1	50 ～ 99
2000	4	2 ～ 3	鋼材を運ぶため大型トレーラーで国道を走行中、対向の大型トラックがセンターラインを越えてきたため正面衝突した。	221	17	1 ～ 9
		1	深夜にトレーラーで材木を運ぶ途中に、コンビニエンスストアで朝食を買			30

2000	3	～ 2	うため道路上に駐車して道路を横断中、14tトラックにはねられた。	221	17	～ 49
2000	2	0 ～ 1	10tトラックで圧延ロール(2.794t)4本を運搬中、1本のロールのすわりが悪くなったためトラックの左前後輪を縁石に乗り上げた状態で停車し、ロールを固定するためレバブロックのレバーを締め直していたときにロールが落下して下敷きになった。	611	4	10 ～ 29
2000	1	3 ～ 4	トラックで高速道を走行中、中央分離帯に乗り上げ、さらに道路左側の防音壁に激突した。	221	17	30 ～ 49
2000	11	～ 18 ～ 19	運送ターミナルのプラットホームの下で携帯電話をかけていたところ、プラットホームにバックで進入してきた10t車の荷台後部とプラットホームとの間に胸をはさまれた。	221	7	30 ～ 49
2000	10	9 ～ 10	70tプレスを他工場から工場に運搬てきて設置する作業で、床の上に敷いた木材の上にプレスを置き、ジャッキで徐々に下ろしていたところ、突然プレスが倒れてきて下敷きになった。	612	5	1～ 9
2000	10	2 ～ 3	自動車道を走行中、前方に事故車両が停止しているのに気づくのが遅れ急ハンドルを切ったところ横転し、そのとき運転室とローリーが分離して運転室がガイドロープに激突して道路外に投げ出された。	221	17	10 ～ 29
2000	9	4 ～ 5	7. 2tトラックで国道を走行中、対向の乗用車が中央分離帯を乗り越えてきたため正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
2000	9	3 ～ 4	トラックで搬送してきた木材チップを深さ約6mのホッパに投入し、ベルトコンベア上のチップの流れをよくするため竹竿で底をつついていたときに、ホッパ内へ転落してベルトコンベアに巻込まれた。	224	7	1～ 9
2000	8	12 ～ 13	4tトラックに食材を積み込み走行中、大型トラックに追突した。	221	17	50 ～ 99

2000	7	1 ～ 2	荷降ろしを終え高速道路を走行中、約40度の斜度がついた側壁を斜めに駆け上がる形で走行したのち転倒し炎上した。	221	17	30 ～ 49
2000	7	15 ～ 16	配送業務を終え4t保冷車で県道を走行中、対向の4tトラックがセンターラインを超え、保冷車の前を走行していたトラックに接触したのち保冷車と正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2000	7	19 ～ 20	2トントラックを止めて運転席から降り、トラックの前方で同僚に声をかけたときに無人になったトラックが動き出し、トラックと搬入口との間にはさまれた。	221	7	10 ～ 29
2000	6	13 ～ 14	トレーラーで国道を走行中、荷(護岸工事中用コンクリートブロック)が荷崩れを起こしたためカーブを曲がりきれずに横転し、車外に投出されてトレーラーの下敷きとなった。	221	17	30 ～ 49
2000	5	6 ～ 7	トラックで自動車道を走行中、前方の大型ダンプに追突した。	221	17	50 ～ 99
2000	5	2 ～ 3	2. 5tトラックで走行中、赤信号で停車中の3トントラックに追突し、この衝撃で2台のタクシーに追突し、このタクシーを含む3重の玉突き交通災害となった。	221	17	30 ～ 49
2000	3	16 ～ 17	引越し作業において、階段が狭いので冷蔵庫をロープで3階から2人で下ろしていたところ、1人が冷蔵庫とともに高さ7.05mの窓から公道のアスファルト上に墜落した。	419	1	10 ～ 29
2000	3	20 ～ 21	荷物を積込んだ2tトラックで走行途中、片側3車線道路の路肩に停車して反対側のコンビニエンスストアに立寄ったのちトラックに戻るため道路を横断中に、ワンボックス車とバイクにひかれた。	231	17	50 ～ 99
2000	2	9 ～ 10	荷物を降ろしてトラックで国道を走行中、右折のため信号待ちをしていた車5台の列に追突した。	221	17	10 ～ 29

2000	11	1 ～ 2	4tトラックで荷積み地に向けて国道を走行中、高速道路の橋脚に激突した。	221	17	1～ 9
2000	11	21 ～ 22	養鶏場にニワトリを運ぶため4tトラックで国道を走行中、工事で片側交互通行となっている停車中の大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9
2000	9	20 ～ 21	荷受け先でトラックに積込みが終り荷台から2段重ねのパレットの上に飛び降りた(約1m)ときに、着地でバランスを崩して仰向けに転倒し、頭部を強く打した。	417	3	1～ 9
2000	2	20 ～ 21	11tタンクローリーに灯油約10?を積んで県道を走行中、橋の手前でセンターラインを越えてガードフェンスを突き破り土手に転落した。	221	17	10 ～ 29
2000	2	4 ～ 5	積載荷重36tのトレーラーに鋼材を積んで国道を走行中、トンネル手前のカーブでスリップして反対車線の縁石に乗り上げたため、牽引ヘッド及びトレーラーが転覆した。	221	17	50 ～ 99
2000	11	6 ～ 7	トラックで荷物運搬のため県道を走行中、カーブで道路路面が凸凹道であったためにハンドルを取られ、また、スピードを緩めずに走行したためトラックが横転した。	221	17	30 ～ 49
2000	10	3 ～ 4	荷物を運ぶためトラックで走行中、信号が黄色点滅だったのでそのまま直進したところ、大型トレーラーが赤色点滅で停止せずに直進してきたため、交差点内で出会い頭に衝突した。	221	17	10 ～ 29
2000	6	17 ～ 18	備蓄米を保管する定温倉庫でパレット5段積み(1パレット30kg米袋6段42袋)をはい積みしていたところ崩壊したため、応援を入れて3名で片付けていたときに、崩壊した荷のとなりのパレットが再度崩壊し、その下で片付けをしていた者が生埋めとなった。	611	5	50 ～ 99
2000	3	1 ～	同僚が運転するトラックの助手席に同乗し、配送先へ品物を運送中、運転手が極度の花粉症のため突然咳込み、ハンドル操作を誤って左側縁石に乗	221	17	30 ～

		2	り上げ鉄柱に衝突横転し、その反動で助手席から前面ガラスより投出された。			49
2000	11	5 ～ 6	10t保冷車で国道の追い越し車線を走行中、路面を清掃中の3. 5t清掃車に追突して100m滑走し、路肩の道路案内標識柱に激突したのち、畑に転落した。	221	17	～ 29
2000	6	7 ～ 8	運搬してきた電柱11本を移動式クレーン(20トン)で電柱置場に降ろすため、大型トレーラー荷台の架台に上り玉掛作業を行っていたときに、高さ約2. 53mの架台上から墜落した。	221	1	～ 49
2000	5	5 ～ 6	大型トレーラーで有料道路の緩い右カーブを走行中、左側のガードレールを突き破り、約5m下に転落し、車外に放り出された。	221	17	～ 49
2000	3	2 ～ 3	10tトラックで国道を走行中、左カーブを曲がった後の直線道路で対向車線にはみ出し、対向の大型観光バスと正面衝突した。(大型観光バスの運転手も死亡、運転手の代行要員1名と乗客15名も重軽傷)	221	17	～ 49
2000	1	9 ～ 10	被災者は、朝6時40分に車庫を出発し1件目の配達を終え2件目の配達先にて9時10分よりロール製品の納品のためフォークリフトをトラックに横付けし、製品をトラックからパレットへ移動させていたときに、バランスを崩して荷台より転落し、その直後落下したロールの下敷になった。	611	6	～ 49
2000	11	4 ～ 5	普通トラック(4t)で空港付近を走行中、旧滑走路下のトンネルの側壁に衝突した。	221	17	～ 29
2000	9	10 ～ 11	支線道路の進入口にあったセフティーコーンを移動して、助手席側のドアに挟まり立ちしてトラックに乗り時速約20km/hで約7m走行したところでトラックから転落し頭部を強打した。	221	17	～ 29
2000	9	22 ～ 23	台船運搬のため国道を走行中、左カーブの道路を直進してガードレールに接触し、3. 5メートル下のJR線に転落した。	221	17	～ 29

2000	9	2 ～ 3	大型トラックで卵を配送して国道を走行中、交差点において信号待ちしていたトラックなど3台に後ろから追突した。	221	17	30 ～ 49
2000	7	0 ～ 1	取引先事業場へ向かうために軽ワゴン車で走行中、緩い右カーブに差し掛かったところでセンターラインをはみ出し、対向のタンクローリーと正面衝突した。	231	17	50 ～ 99
2000	5	7 ～ 8	コンビニ店へ雑誌類を配送するため4t車で走行中、カーブミラーに接触したのち電柱に荷台左側をぶつけ、その反動でセンターラインをはみ出して対向のタンクローリーと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2000	12	11 ～ 12	10tトラック(平ボディ)へ荷の積込みを終え、荷台にシートを掛けているときにトラックの荷台(またはキャビンの屋根)から転落した。	221	1	10 ～ 29
2000	11	5 ～ 6	セメントローリー車(10t)へ粉体セメントを積込み、上部ハッチを閉めるときに手が滑ったはずみで2.9m下の地面に墜落した。	221	1	30 ～ 49
2000	3	16 ～ 17	10tトラックに自動車部品を積んで走行中、圧雪のためスリップして対向車線に入ってきた大型トラックと正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2000	1	9 ～ 10	食品工場構内において、10tトラックの荷台の高さ(1.4m)まで上げたフォークリフトの木製パレット上で積荷(200?ドラム缶25本)の荷卸し作業中、パレットの端で体勢を崩してドラム缶と共に地面に転落した。	222	1	50 ～ 99
2000	12	3 ～ 4	電子部品を運搬するため大型貨物自動車で自動車道を走行中、90.2キロメートルポイントにおいて、大型貨物自動車の右後部に追突し、中央分離帯を乗り越えて対向車線の側壁に衝突した。	221	17	30 ～ 49
2000	12	1 ～ 2	木材加工品を10tの大型トラックに積み走行中、国道の橋の上で2台前を走行していた大型トレーラーが路面凍結のためスリップして横になったところに追突し炎上した。	221	17	10 ～ 29

2000	11	6 ～ 7	4tトラックにフォークリフトで荷の積み込み作業をしていたところ、傾斜地のためトラックが前方に動き出したので、それを止めるため運転席のドアを開けて飛び乗ろうとしたが、その途中で前方に停止していた12tトラックの後部にドアが当たり、ドアと運転席との間に挟まれた。	221	3	100 ～ 299
2000	10	11 ～ 12	4tトラックに荷物を積み込み国道を走行中、道路工事のため一時停止していた8tトラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
2000	10	2 ～ 3	新聞配送のため4tトラックで道路交差点を走行中、右手から走行してきたワゴン車と衝突し、その弾みで信号柱に激突した。	221	17	50 ～ 99
2000	9	13 ～ 14	軽ワゴン車で走行中、防音壁工事のため片側交互通行となっていた区間の手前で徐行した大型トラックに、追突した。	231	17	50 ～ 99
2000	8	11 ～ 12	宅配のため2tトラックで見通しの悪い町道の交差点を通過しようとしたところ、左方より直進してきた乗用車がトラックの後部バンパー部に衝突し、その衝撃でトラックが横転した。	221	17	10 ～ 29
2000	7	23 ～ 24	店舗に商品を届け、4tトラックで国道を走行中、緩やかな左カーブのところで対向車線にはみ出し、対向の10t大型トラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
2000	7	8 ～ 9	トラックで自動車道を走行中、トンネル内で壁に衝突したはずみで車外に投げ出され、トラックの後輪に巻き込まれた。	221	17	10 ～ 29
2000	3	4 ～ 5	4tトラックで国道を走行中、スピードを出しすぎて緩やかな下り坂の左カーブでセンターラインを越え、対向車と正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2000	1	20 ～	トラックで広域農道を走行中、左カーブでスリップして対向車線にはみ出し、対向のトラックと衝突した。	221	17	30 ～

		21				49
2000	7	1 ～ 2	大型貨物自動車で国道を走行中、道路補修工事に伴う交通規制のため停車していた大型貨物自動車に追突した。	221	17	100 ～ 299
2000	2	7 ～ 8	トラックで走行中、前方に停車中のトラックへ追突し、助手席に乗っていた者が死亡した。	221	17	30 ～ 49
2000	2	11 ～ 12	石灰石を積んでダンプトラックで走行中、右カーブで対向車線にはみ出しトラックと正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2000	3	10 ～ 11	資材置場において、ドラグショベルを用いて簡易土止め支保工を積載形トラッククレーンで荷台上に積載しているときに支保工が荷台から落下、その下敷になった。	212	4	10 ～ 29
2000	1	4 ～ 5	仕事を終え、トラックで自動車道を走行中、左側に停車していたトラックに追突した。	221	17	50 ～ 99
2000	12	9 ～ 10	火山灰採取場で、ブルドーザー(機体重量5.52t)で火山灰の押出し作業中に傾斜約15°の斜面にブルドーザーを停止させ、運転席から降りてキャタピラの上を歩いていたときに、ブルドーザーが動き出したためバランスを崩してブルドーザーの排土板とキャタピラとの間に転落し、排土板で胸を強打した。	141	1	10 ～ 29
2000	11	7 ～ 8	縁石に乗り上げで走行不能となったトラックの荷を会社からかけつけたワゴン車に積み替えてワゴン車に同乗し会社に戻る途中、緩い右カーブの手前でタイヤが凍結のためスリップしてセンターラインを超え対向車と正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
2000	11	7 ～	縁石に乗り上げで走行不能となったトラックの荷を会社からかけつけたワゴン車に積み替えてワゴン車に同乗し会社に戻る途中、緩い右カーブの手	231	17	10 ～

		8	前でタイヤが凍結のためスリップしてセンターラインを超え対向車と正面衝突した。			29
2000	9	0 ～ 1	市営住宅4階の引越し作業をスカイポーター(はしご車に荷台が取り付けられているもの)を使用し行っていて荷台上から約10メートル下の地上に墜落した。	229	1	1～ 9
2000	9	7 ～ 8	大型トレーラー(18t車)を運転して走行中、自動車道料金所の手前の緩い左カーブ(制限速度40km)で路外に逸脱し横転した。	221	17	10 ～ 29
2000	8	0 ～ 1	土木工事現場から大型ダンプトラックに土砂を積込んで走行中、信号待ちをしていた同現場に入っている他業者の大型ダンプトラック2台に玉突き追突した。	221	17	10 ～ 29
2000	8	11 ～ 12	トレーラーに貨物を積み、国道を走行中、下り坂の右カーブでブレーキを掛けたが間に合わず、路外逸脱して横転して運転席から投げ出され、トレーラーヘッドの下敷きになった。	221	17	30 ～ 49
2000	8	9 ～ 10	集荷のため大型トレーラーで走行中、前の乗用車を追い越そうとして対向車線に出たが、その途中で追い越しを止めて戻ったときに橋の左側の欄干を突き破って約10m下の河川敷に墜落した。	221	17	10 ～ 29
2000	7	16 ～ 17	ワゴン車で走行中、前のトラックを追い越そうと対向車線に出たところで、対向の乗用車と正面衝突した。	231	17	50 ～ 99
2000	7	16 ～ 17	ワゴン車で走行中、前のトラックを追い越そうと対向車線に出たところで、対向の乗用車と正面衝突した。	231	17	10 ～ 29
2000	6	4 ～ 5	大型保冷車(9t車)が、道路工事のため停車していた大型トラック(12t車)に追突した。	221	17	50 ～ 99
		5	トレーラーにビール酵母を積んで国道を走行中、右カーブを曲がり切れず			30

2000	6	6	に路外に飛び出して2m下の側溝に横転しながら転落した。	221	17	～ 49
2000	5	10 ～ 11	鋼板(約1.6t)1枚を4tトラックの荷台に積み込むため、ドラグショベルで2点吊りして荷台に降ろそうとしたときに、ワイヤーロープのアイ部分が2本とも切断したため、鋼板が荷台上に倒れ、その下敷きになった。	372	4	10 ～ 29
2000	4	9 ～ 10	湖岸の土留工事現場において、土止め支保工の腹起こしとして使用する軌条レール(長さ12.365m、重さ約620Kg)をバックホーで吊上げて巡回移動中に軌条レールが上下左右に激しく振れたため、レール端部を両手で押さえていた者が胸を打たれた。	142	6	1～ 9
2000	4	20 ～ 21	トランスバッグに詰められた飼料500kgをトレーラーから10tトラックにフォークリフトで積みかえる作業で、2本のフォークにそれぞれ飼料を吊り下げて右ハンドルを切ったときに外側に横転し頭部を強打した。	222	2	10 ～ 29
2000	3	9 ～ 10	トラック(積載荷重6.2t)での荷の運搬を終えて走行中、上りの左カーブでアイスバーンのため対向車線にはみ出して対向のトラックと正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
2000	1	11 ～ 12	倉庫の屋根上の除雪作業が終わったので、他の5名は隣の屋根上に移動し、被災者は1人で、今まで使用していた親綱を撤去して小脇に抱えて屋根上を移動中に、天窓を踏み抜いて墜落した。	415	1	10 ～ 29
2000	1	0 ～ 1	作業員が死亡した災害の現場検証が終了したので、屋根に置いたままにしてあったスノーダンプを取りに屋根に上り、歩いていたときに天窓を踏み抜き7.5m下の倉庫内のコンクリ床に墜落した。	415	1	10 ～ 29
1999	12	5 ～ 6	自動車道をトラックで走行中、前方を走行していたトレーラーに気付くのが遅れ追突した。	221	17	30 ～ 49
1999	12	5 ～ 6	2台の車両が続いて走行中、交差点にさしかかったときに、信号が赤になったため前走行の車両が停止したので後続車が追突し、追突された車両が衝撃で左車線にそれたため、そのまま進行し赤信号で停車していた他の車両	221	17	10 ～ 29

			の後部に追突した。			
1999	12	12 ～ 13	トラックを運転して高速道路を走行中、前方に横転している乗用車の中に人がいるのを発見したので、その前方の路側に停車して救出活動を行っていたところに、後方から走行してきたトラックがこの乗用車に衝突した後、激突してきた。	221	17	10 ～ 29
1999	7	12 ～ 13	4tトラックでバスユニットの部品を運送する途中、国道で運送会社のトラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
1999	12	14 ～ 15	トラックで走行中、サービスエリア入口付近の駐停車禁止場所に駐車していたトラックに後方から追突した。	221	17	50 ～ 99
1999	12	16 ～ 17	玉掛作業員としてトラックの荷台上で荷下ろし作業中、トラッククレーン(つり上げ荷重4.9t)で荷物を吊上げたときに荷台上でバランスを崩した。	221	1	10 ～ 29
1999	10	3 ～ 4	高速道を走行中、トンネル入口の右側側壁に衝突した。	221	17	10 ～ 29
1999	10	5 ～ 6	4tトラックで営業所へ荷物を取りに行く途中、信号待ちのため停車していたトラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
1999	6	3 ～ 4	15tトラックに荷を積載して、国道を走行中、センターラインをはみ出して、対向のトレーラーに接触、その弾みでその後続の10tトラックと正面衝突した。	221	17	1 ～ 9
1999	3	17 ～ 18	お土産としてもらった和菓子の入ったケースを持って2階事務所への階段を昇っていたところ、階段の上から2～3段目のところから墜落した。	413	1	50 ～ 99
		2	トラックで国道を走行中、赤信号で止まっていた前方の大型トラックに追			100

1999	12	3	突した。	221	17	299
1999	8	16	トンネル工事現場から工場に生コンミニプラントを9トントラックで運送中	221	17	10
		17	に。国道の路肩から約15メートル下の川にトラックごと転落した。			29
1999	8	22	4トントラックに荷を積載して走行中、対向車のセミトレーラーがセンター	221	17	100
		23	ラインをオーバーしてきて、正面衝突した。			299
1999	3	8	配達先で納品伝票を渡し、トラック荷台に上がって荷卸の準備を始めたが	221	1	10
		9	配達先の者が伝票に受領印を押してトラックのところに来たときに運転手			29
			の姿が見えないので周囲を捜したところ、トラック横の道路に仰向けに倒			
			れていた。			
1999	8	13	4tトラックで荷物の配達を終えて走行中、交差点で信号待ちをしていた大	221	17	10
		14	型冷凍セミトレーラーに追突した。			29
1999	8	9	宅配のため軽トラックで走行中、信号機のない町道の交差点で右側から走	221	17	1
		10	行してきた乗用車(ワンボックス車)と衝突し、両車とも田畑に飛び込ん			9
			だ。			
1999	6	15	宅配便の配達業務中、豪雨による土砂崩れの土石流に直撃されて川に車ご	711	5	30
		16	と転落し、生き埋めとなった。			49
1999	12	18	生鮮魚介類を運ぶため大型保冷車で自動車道を走行中、下り急カーブのと	221	17	100
		19	ころで前を走行していた大型トラックに追突した。			299
1999	6	17	4トントラックで国道を走行中、対向の大型ダンプトラックが前方のトラッ	221	17	10
		18	クに衝突したはずみでセンターラインを越えて飛び出してきたため正面衝			29
			突した。			

1999	12	4 ～ 5	大型貨物車で走行中高速道路の事故で停車中だった4台の車に追突した。	221	17	～ 299
1999	12	8 ～ 9	市場に荷を下ろしたのち空荷の大型トレーラーで国道を走行中、信号で停止していた大型トラックに追突し、さらに軽乗用車に追突した。	221	17	1～ 9
1999	12	19 ～ 20	会社への帰路2トン車で道路を走行中、対向の大型トレーラーが左側のコンクリート側壁に衝突して反対車線にはみ出してきたため正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
1999	12	2 ～ 3	トラックで高速道路を走行中、5キロ前方で事故が発生して渋滞していたところへ被災者が運転していたトラック(11t)が前のトラック(10t)に追突した。	221	17	100 ～ 299
1999	12	16 ～ 17	建築現場から長椅子7束(1束約300kg)を4tトラックで運搬し、倉庫内にフォークリフトで運ぶため同僚運転のフォークリフトとトラックを挟んで反対側にいたところ、フォークリフトで荷を持ち上げたときに荷(1束)が倒壊してきて下敷になった。	222	5	10 ～ 29
1999	12	13 ～ 14	大型トレーラー(最大積載40t)に鉄骨約35tを積載して走行中、ジャンクションの下り左カーブを曲がりきれずに横転した。	221	17	50 ～ 99
1999	12	4 ～ 5	2tトラックに荷を積み込み国道を走行中、信号機のある交差点で右折しようとしたところ、対向車線から直進してきた9t大型トラックと衝突して車外に投げ出されたのち大型トラックにひかれた。	221	17	30 ～ 49
1999	12	3 ～ 4	トラックで得意先へ荷物を搬送中、夜間点滅信号のある交差点に黄点滅で進入したところ、赤点滅で進入してきた乗用車に側面から衝突され、はざまいで対向車線に飛び出したところへ、直進してきた大型トラックに衝突された。	221	17	1～ 9
		2	トラックで走行中、前方の2箇所事故が発生していて、ブレーキをかけた			10

1999	12	3	が間にあわずタンクローリーに追突した。	221	17	29
1999	4	7 8	トラックで駐車場へ向かう途中、路上において前方を走行中のトレーラーに追突した。	231	17	30 49
1999	12	2 3	トラックで走行中、交差点手前で信号待ちしていた車(2台)に追突した。	221	17	50 99
1999	12	4 5	国道交差点で運転する13tトラックが信号待ちの10tトラックに追突し、衝突の反動で後退したときに側道の下約4mのところに転落した。	221	17	30 49
1999	11	5 6	積荷の銑鉄を納入するため高速道路を10tダンプカーで走行中、前方を走行中のトレーラーに追突した。	221	17	10 29
1999	6	10 11	引越し作業で、3階建ビルの1階通路の天井高が低かったのでトラックの屋根上に登り誘導していたところ、トラックを前進させたときに天井の梁とトラックの屋根に頭部を挟まれた。	221	3	100 299
1999	12	22 23	3tトラックで国道を走行中、前を走行していた10トントラックが赤信号のため停車しようと減速していたところへ追突した。	221	17	100 299
1999	12	15 16	樹皮の皮(バーク)をバーク押出機に入れて粉碎する作業が終わり、押し出し機の清掃作業中にスクリーンに巻き込まれた。	169	7	10 29
1999	12	6 7	県道を10トントラックで走行中、道路脇から出てきた20トンクレーン車と衝突し、クレーン車のジブが運転席部分に突き刺った。	212	17	50 99
		5	県道を貨物自動車(最大積載量4t)で走行中、片側3車線の左端に停車中の大			1

1999	10	6	型トレーラに追突した。	221	17	9
1999	8	2 3	10tトレーラーで空のコンテナを積み込んで国道を走行中、右折しようとして徐行していた前方の普通乗用車に気付くのが遅れ、ハンドルを切ったが避けきれずに、乗用車に接触してそのまま直進し、ドライブインの駐車場に駐車していた10tトラックと正面衝突した。	221	17	50 ～ 99
1999	12	5 6	トラックで国道を走行中、センターラインを超えて、ガードレールのすき間から約1.5メートル下の斜面に墜落した。	221	17	30 ～ 49
1999	12	12 13	トラックで国道を走行中、道路工事のため片側通行で停止していた車に追突した。	221	17	50 ～ 99
1999	10	8 9	環状線において宿泊先へ乗用車で向かう途中、前方の乗用車がスピンして追い越し車線をふさいだところへ追突した。	221	17	100 ～ 299
1999	12	2 3	4tトラックで国道を走行中、2台前を走行していた車両がドライブインに入るため減速したため、次のトレーラーも減速したところに激しく追突した。	221	17	10 ～ 29
1999	11	11 12	430kgのプレス機械の据え付け作業で、ハンドリフターから板木の上にプレス機械を置いたのち、この板木をジャッキを使用してはずす作業をしていたときに、プレス機械が倒れて頭部に激突した。	612	5	10 ～ 29
1999	12	9 10	トレーラーでアミノ酸を運んでいったん牽引車を切り離して駐車場で待機していたが、取出しが終了したので牽引車とトレーラーを接続するため、接続用エアホースをつないだときに、突然車全体が動き出したので車を止めるため運転席に乗ろうとしたが、運転席のドアが工場内私道の脇にある鉄製の支柱に押され、ドアと車体の間に胸部を挟まれた。	221	7	10 ～ 29
		3	4tトラックで国道を走行中、被災者が運転するが、減速した前の大型ト			50

1999	12	4	～	レーラーに追突した。	221	17	～	99
1999	11	5	～	4tトラックに約3トンの電気機械を積み高速道路を走行中、10tトラックに追突した。	221	17	～	10 29
1999	12	13	～	9. 4トントラックで米を運ぶ途中、中央線を越えて対向車2台と衝突し、さらに道路脇の堰に転落した。	221	17	～	10 29
1999	12	5	～	コンクリートパネルを10トントラックに積載して走行中、国道の信号のある交差点で赤信号で停車していた大型トレーラーの後部に追突した。	221	17	～	30 49
1999	11	5	～	トラックで出版物の配達終了後、高速道路を走行中、カーブで中央分離帯の縁石に右側前輪が接触し、そのままこすれる形で前進して案内板門柱に正面から衝突した。	221	17	～	10 29
1999	12	5	～	10tトラックで自動車道を走行中、対向車線を走っていた10tトラックが中央分離帯を突き破って、車線をふさいだため正面衝突した。	221	17	～	10 29
1999	11	22	～	11tトラックにモーター類を積んで走行中、国道を対向の大型トラックと正面衝突した。	221	17	～	10 29
1999	12	10	～	ローラー(重量10トン)をトラックに積み込むため、トラックのセルフローダー(アウトリガーのようなもの)を伸ばし前方を持ち上げた状態で、積み込み、ローラの運転者がサイドブレーキをかけ運転席を離れたときローラーが動き出し、トラックの後方にいたトラック運転者が地面とローラーにはさまれた。	144	7	1	～ 9
1999	2	17	～	4tトラックで荷物を載せるため営業所に行き、プラットホーム上で荷の固定作業を手伝い始めて間もなく、くも膜下出血を発症し倒れた。(業務上災	911	90	～	50

		18	害として給付決定)			99
1999	11	5 ～ 6	工事現場に土木資材を運ぶ途中で、国道の交差点手前に大型トラックを駐車し車外に出ていたときに、後から保冷車に追突され、その弾みで動いた自分の大型トラックの左後輪に巻き込まれた。	221	17	10 ～ 29
1999	11	0 ～ 1	トラックを路肩に停車させて故障を調べるために車両の左側に立っていたところへ、大型トラックが追突してきてはずみではね飛ばされ、約20メートル下の林に転落した。	221	17	50 ～ 99
1999	11	20 ～ 21	トラックの幌の破れをテープで補修するため、フォークリフトのフォークにパレットを入れて、作業床として使用し、パレット上からフォークリフトの運転席側に降りるときにマストのレバーに触れたためマストが動き、フォークリフトの屋根とマストとの間に胸部を挟まれた。	222	7	10 ～ 29
1999	10	15 ～ 16	バッテリーが上り気味の保冷車(9.5t)を動かすため、少し傾斜した道路で3速にギアを入れセルを回したところ、約9メートル前方の道路上に止めてあった自社のトラック(5.5t)に追突し、同僚1名が保冷車と自社のトラックとの間に挟まれた。	221	17	30 ～ 49
1999	11	9 ～ 10	トラックの荷台から2tフォークリフトでパレットに積まれた荷を降ろす作業中、パレット横の積み荷がトラックの荷台から落ちそうになったのでフォークの下側を通過してこの荷を直そうとしたときに、フォークリフトの運転手も荷を直す作業を行うため、運転席を降りたためフォークリフトが前進し、トラックとの間に挟まれた。	222	7	10 ～ 29
1999	11	4 ～ 5	大型貨物自動車(10t)で走行中、交差点に差し掛かるときにスピードの出しすぎ及び濃霧なのに一時停止を怠って同交差点に進入したため、左側道路から進入してきたダンプトラック(11t)と側面衝突した。	221	17	30 ～ 49
1999	11	9 ～ 10	トラック(3.5t)を運転して走行中、対向の大型トラックが中央線を越えて走行してきたため正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
		8	大型トレーラーが空車で走行中、下り坂の緩いカーブで対向車線へはみ出			50

1999	5	～	し、道路右側のガードロープを越えて約10m下に転落して車外に放り出されトレーラーの下敷きになった。	221	17	～
1999	11	0 ～ 1	4tトラックに事務用品を積んで走行中、上り坂の急カーブ(曲線半径60m)を曲がりきれずに対向車線にはみ出し、対向の観光バスと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
1999	11	5 ～ 6	トラックにアルミ製品を積載して、国道を走行中、緩やかなカーブにおいて対向車線に飛び出して、対向の3台の大型トラックのうち先頭車2台にそれぞれ接触したのち、3台目の車輦と正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
1999	10	6 ～ 7	最大積載量9.5tのウイングトラックで自動車道を走行中、トンネル内でエンジントラブルを起こして停車中の大型トラックに後方から追突した。	221	17	1～ 9
1999	11	18 ～ 19	軽トラックをで国道を走行中、橋上でタイヤがスリップして中央分離帯の街路灯に衝突した。	231	17	10 ～ 29
1999	11	9 ～ 10	空車の4tトラックで走行中、高速道路の緩い左カーブでガードレールに衝突し、何度かスピンしたのち、車外に投げ飛ばされた。	221	17	10 ～ 29
1999	9	15 ～ 16	豪雨の中、トレーラーで自動車道を走行中、スリップして中央分離帯に衝突し、さらに反動で路側帯まで飛ばされた。	221	17	30 ～ 49
1999	11	18 ～ 19	前日に配送に出発し配送先を出て午後6時過ぎに帰社する予定であったが、帰社しなかったため同僚が予定の運行経路を逆走しながら探していたところ、バイパスの駐車スペースで2tトラックのキャビンとエンジンにはさまれているのを発見した。	221	7	10 ～ 29
1999	10	23 ～ 24	トラックで国道を走行中、道路脇の空地から道路に出ようとした対向の大型ダンプカーと衝突した。	221	17	1～ 9

1999	11	5 ～ 6	10tトラックをで走行中、道幅が狭くなった左カーブを曲がりきれずに、路外に飛び出し、道路脇の小屋に衝突した。	221	17	～ 29	10
1999	8	21 ～ 22	4tトラックで国道を走行中、片側一車線の下りの緩い右カーブでスリップして横転し、そのまま路外に飛び出し立ち木に衝突した。	221	17	～ 49	30
1999	11	19 ～ 20	トレーラーで県道を走行中、右カーブを曲り切れずに道路左側に転落した。	221	17	～ 49	30
1999	11	21 ～ 22	荷を積み国道バイパスを走行中、信号で停止していた大型トレーラに追突し、この車両の積み荷である長尺鋼板が胸部に当たった。	221	17	～ 29	10
1999	11	5 ～ 6	仕事を終え帰社する途中で、国道でトラックを止め降車したときに、反対車線を走行中の乗用車にひかれた。	231	17	～ 49	30
1999	11	9 ～ 10	大型トラックで走行中、前方を走行中の大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9	
1999	11	5 ～ 6	4tトラックにプラスチック波板を積み国道を走行中、信号待ちをしていた10tトラックに追突した。	221	17	～ 49	30
1999	10	23 ～ 24	4トントラックで化学品を運搬中、国道で信号待ちしていた10トントラックに追突した。	221	17	～ 99	50
1999	11	4 ～ 5	雨の中、国道を35tトレーラーで走行中、前方の車両の発見が遅れたため、左にハンドルを切ったが前方の車両に接触したのち、道路左側の土手に乗り上げ横転し、車外に投げ出された。	221	17	～ 29	10

1999	11	8 ～ 9	トラックにカニを積み、高速自動車道(片側3車線)の右側を走行していたところ、中側車線を走行していた別のトラックが乗用車と接触して右側車線にはみだしてきたためこのトラックに追突した。	221	17	～ 49	30
1999	10	12 ～ 13	3tトラックで引越し荷物を積み込み高速道を走行中、片側一車線が工事中のため渋滞している最後尾の車に気づくのが遅れ追突した。	221	17	～ 49	30
1999	10	6 ～ 7	4tトラックで走行中、国道バイパスの料金所で料金支払のため停車しているトラックに追突し、そのはずみで左前方の支柱に激突した。	221	17	～ 49	30
1999	9	2 ～ 3	トラックで国道を走行中、下り坂のカーブを曲がりきれずに道路左側の街灯に接触したのち、ガードワイヤーを突き破り約30m下の沢に転落した。	221	17	～ 29	10
1999	10	4 ～ 5	トラックで荷物の配送中、反対車線に飛び出して、右側のコンクリート壁に激突した。	221	17	～ 99	50
1999	10	7 ～ 8	自動車道を大型トラックで走行中、追い越し車線に出て再び走行車線に戻った時に、前方車との車間距離がなかったので直ぐに追い越し車線に回避したが間に合わず、前方車両と接触し、そのときの衝撃とスピードでハンドル操作を誤り中央分離帯のガードレールに激突横転した。	221	17	～ 29	10
1999	10	3 ～ 4	10t大型トラックでPAに入ろうとして減速車線に入ったときに、減速車線上の右側に駐車していた10t大型トラックに衝突した。	221	17	～ 29	10
1999	11	13 ～ 14	大型トラックに荷物を積むため空車で走行中、対向の大型トラックがセンターラインを越えてきて正面衝突した。	221	17	9	1～
1999	10	2 ～	トラックにロール紙を積んで高速道路を走行中、前方にH鋼(鉄骨：長さ4.6m、幅0.35m、重さ200kg)が一車線を塞ぐように落ちているのを発	221	17		1～

		3	見したが、既に遅く、その鉄骨に激突して、トラックが乗り上がって、横転した。			9
1999	10	2 ～ 3	荷物を工場に運ぶためトラックで、会社駐車場を出た直後に運転操作を誤り、道路横の用水路(幅＝約1m・深さ＝約80cm・水深＝約20cm)に転落し、溺死しているのを発見された。	713	10	10 ～ 29
1999	10	9 ～ 10	大型トラックで走行中、片側一車線の県道でタンクローリーと正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
1999	10	5 ～ 6	国道の交差点で、赤信号のため停車していたトラック(10t)に、4トントラックで追突した。	239	17	10 ～ 29
1999	10	19 ～ 20	ブドウを絞る搾汁機(重量1.625トン)を総重量25トンのトレーラーで運搬していたときに搾汁機が傾いていたため、途中の駐車場で、傾きを直すため固定していたベルトを緩めたところ、搾汁機が倒れてその下敷になった。	612	5	30 ～ 49
1999	10	3 ～ 4	10トントラックでパイプを運ぶ途中、高速道路のバス停に駐車中の大型トレーラーに追突した。	221	17	10 ～ 29
1999	10	6 ～ 7	国道を4トン貨物自動車で行中、センターラインをはみ出して、対向の4トン貨物自動車と正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
1999	10	9 ～ 10	トラック(最大積載荷重10)で県道を走行中、対向のトラック(最大積載荷重約3t)が中央線を越えてきて衝突した。	221	17	30 ～ 49
1999	5	23 ～ 24	トラックで国道を走行中、右折しようとした車両を先頭に4台停車しているのに気付くのが遅れ、最後尾のトラックに追突し、さらに対向車線に進入して対向のトラックに衝突した。	221	17	10 ～ 29

1999	10	7 ～ 8	油槽所でタンクローリーにガソリン(20kL)を積み込んで走行中、国道の左カーブを曲がりきれず横転し、積んでいたガソリンに引火したため焼死した。	221	17	～ 49	30
1999	7	2 ～ 3	4t保冷車に荷物(牛乳)を積んで走行中、渋滞で駐車していた前方の4tダンプに追突した。	221	17	～ 49	30
1999	9	12 ～ 13	朝に荷物の積込みを行うこととなっていたが、現れないので付近を捜したところ、国道脇に会社の10tトラックを停車させ、道路路肩から約4m下に墜落して死亡しているのを発見した。	719	1	～ 49	30
1999	9	9 ～ 10	2tトラックに配達荷物積み込み運転台より降車して、後部扉を閉めたときに、トラックが前方に動き出したので、前部に回って動きを止めようとしたが止められず、前方に駐車していた軽貨物車との間に挟まれた。	221	18	～ 29	10
1999	5	4 ～ 5	普通貨物自動車で行中、大型貨物自動車に追突されて、車外に投げ出された。	221	17	～ 29	10
1999	9	7 ～ 8	冷凍食品を配送するため、トラックで国道を走行中、交差点で赤信号のため停車していた11tトラックに気づくのが遅れ、追突した。	221	17	～ 29	10
1999	10	16 ～ 17	大型貨物車で県道を走行中、対向の貨物自動車の幌が風にあおられてはズレ、すれ違ったときに、骨格のパイプごと飛んできて幌の先にある約5メートルのパイプがフロントガラス右側を突き破ってきたため右あごからから左耳後部にかけて貫通した。	521	4	～ 29	10
1999	9	0 ～ 1	集荷のため4tトラックで国道を走行中、交差点で赤信号のため停車中の4tトラックに追突し、その反動で左側信号機のコンクリート製の支柱に衝突、追突された4tトラックは隣の車線で停車中の乗用車に接触した。	221	17	～ 29	10
1999	8	15	材料置場にショベルローダーを保管しておくため、単管で車庫を組立て波トタンを取り付けるために屋根上を移動中に端部から約4.5m下の地面に	415	1	～	10

		16	墜落した。			29
1999	7	8 ～ 9	10tトラックの荷台から約200kgのコンベアを降ろすため、荷台上で移動させようとしたときに、コンベアが倒れ荷台からともに落下し、その下敷きとなった。	612	5	50 ～ 99
1999	6	4 ～ 5	トレーラ車(14. 25t)に住宅建材等を6. 7t積み走行中、インター出口の手前で、前を走っていたトラックがインターで降りるため約80kmに減速したところ追突し、約10分後にさらに後続のトラックに追突された。	221	17	100 ～ 299
1999	9	15 ～ 16	大型トラックのタイヤ交換のため、タイヤに空気を充填しているときに、突然タイヤが破裂して当った。	911	15	50 ～ 99
1999	9	6 ～ 7	トラックで国道を走行中、緩やかな右カーブでスリップしてセンターラインを超え、対向の回送バスに衝突した。	221	17	1～ 9
1999	9	2 ～ 3	4tトラックで走行中、交差点で信号待ちしていた車両に追突した。	221	17	10 ～ 29
1999	9	5 ～ 6	トラック荷物を運送したのち国道を走行中、信号待ちで停車していた大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
1999	8	8 ～ 9	環状道路で数珠つなぎで止まっていた4tトラック3台の後の車に4tトラックで追突した。	221	17	1～ 9
1999	9	12 ～ 13	自動車道トンネル内で、前方を走行中の大型トレーラーに大型トラックが追突した。	221	17	10 ～ 29
1999	9	4 ～	高速道路を大型貨物自動車で行中、追い越し車線上に故障で停車していた大型貨物自動車に追突し、さらに後続の普通貨物自動車に追突された。	221	17	10 ～

		5				29
1999	9	4 ～ 5	車両運搬車に商品自動車6台の積んで車両の後部で右側道板を格納していたときに、後方より軽自動車が進んで来て車両運搬車と軽自動車との間に挟まれた。	231	17	～ 99
1999	9	22 ～ 23	大型タンクローリー(16トン)で走行中、国道左カーブで対向車線を横切つてガードレールを突破り、約14Mの崖下に転落した。	221	17	～ 29
1999	9	13 ～ 14	トラックで国道を走行中、追い越し車線に移ろうとした大型セミトレーラーに追突されたため、道路から飛び出して斜面を12m転落した。	221	17	～ 49
1999	8	4 ～ 5	冷凍車に冷凍食品を積んで走行中、反対車線の大型トレーラーが車線をはみ出してきて正面衝突した。	221	17	～ 49
1999	8	3 ～ 4	帰荷を積んだタンクローリーで国道を走行中、バイパス交差点で赤信号のため停車していたトラックにノーブレーキで追突した。	221	17	～ 29
1999	8	3 ～ 4	10トン貨物自動車に荷物を積んで高速道路を走行中、追越車線から走行車線に移ったときに、前方を走行していた40トントレーラーに追突した。	221	17	～ 49
1999	8	13 ～ 14	10t積トラック(ウイング車)にプラスチック製品(重量3t)を積んで走行中、信号待ちをしていたダンプカーに追突した。	221	17	～ 99
1999	7	9 ～ 10	河川敷の舗装道路上で積荷の鉄管(長さ6m、重量約300kg)のバランスが悪いため、二人で手直しをしているときに、2段目の鉄管が歯止めを乗り越えてきたので止めようとして10トントラックの荷台上から鉄管とともに転落した。	221	1	～ 99
		6	キャリアカー(普通貨物自動車)で車両3台を運搬中に赤信号で停止していた			100

1999	8	7	～	と、後続の大型貨物自動車により追突され、その衝撃で前方に停車していた大型貨物自動車に追突した。	221	17	～	299	
1999	8	4	3	～	10tトラックで配送先へ向かう途中、大型トラックに追突した。	221	17	～	29
1999	8	6	5	～	配送先に向けトラックでバイパスを走行中、センターラインをオーバーして対向の大型トラックと正面衝突をした。	221	17	1～	9
1999	8	5	4	～	4tトラックで走行中、信号で停車中の10tトラックに追突した。	221	17	1～	9
1999	8	18	17	～	トラックで工事現場へ合板を搬送するため国道を走行中、渋滞のため停車していたトラックに追突した。	221	17	～	30
1999	7	7	6	～	トラックで自動車道を走行中、乗用車等18台の玉突き事故が発生し、前車のトラックに衝突し全身を強く打った。	221	17	～	29
1999	7	6	5	～	配送荷物を積んだ6トントラックで高速道路を走行中、3車線の左側を走行中の低速車両(50トントレーラー)の速度を見誤り追突した。	221	17	～	29
1999	8	23	22	～	食品を10tトラックに積み走行中、国道の交差点で信号待ちしている大型トラックに追突した。	221	17	1～	9
1999	4	10	9	～	トレーラを運転して走行中、前方で右折のため信号待ちしていた大型トラック(10t車)に追突した。	221	17	～	30
		6			トラックで国道を走行中、前の車が急に進路変更をしたので、それを避け				50

1999	7	7	～	ようと急ブレーキをかけながら右方向にハンドルを切ったが、止まりきれず反対車線の路外に飛び出して立木に衝突した。	221	17	～	99
1999	6	5	～	家具を積んだ大型トラックで走行中、道路左側を通行中の自転車を避けるため、中央線を超えてきた対向の大型トラックと正面衝突した。	221	17	1～	9
1999	8	14	～	トラックで化学工場へ荷積みに向かう途中、国道の信号機のある交差点で右折を開始したトラックに衝突した。	221	17	10	～
1999	8	8	～	取引先に原材を降ろし、次の会社に向かうため「あおり」を確認して、トラックに乗り込むため、土間を横断しようとしたときにフォークリフトに激突された。	222	6	1～	9
1999	7	0	～	治山工事現場にコンクリートミキサー車で生コンを運搬した後、荷受け場所まで林道を下山中、道路幅3～3.5mで、ガードレールのない未舗装の道路よりコンクリートミキサー車ごと約100m下の谷に転落した。	221	17	1～	9
1999	7	23	～	11tトラックで国道を走行中、信号待ちで一時停止していた11tトラックの後部に追突した。	221	17	30	～
1999	7	7	～	4トントラックに建築資材を積んで国道を走行中、運転操作を誤って、反対車線のガードレールを突っ切り電柱に衝突し、車外に放り出された。	221	17	10	～
1999	7	15	～	自動車道のトンネルで、乗用車や大型トラックなど計3件の追・衝突事故が発生し、トラック(冷凍車4t)が事故のためトンネル入り口付近で停車していた大型トラック(15t)に追突した。	221	17	50	～
1999	7	1	～	20tトレーラーに樹脂19tを積載して走行中、峠の下り左カーブを曲がり切れず、道端の林に突入し、横転した。	221	17	10	～
		7		配送先の石材置き場において、車両積載型クレーン(13.5t)の荷台から積			10	

1999	7	7 ~ 8	載した石材10個(1個700~800kg)の荷降ろし作業中に近接する電話線にジブを接触させてしまったため、クレーンのジブ上から電話線の破損状況を確認して墜落した。	212	1	~ 29
1999	7	4 ~ 5	10トントラックで高速道路を走行中、前方の大型トレーラーを追い抜こうとしてトレーラー右後部に追突し、はずみで中央分離帯を乗り越えて反対車線に入り、対向のトラックと衝突し、2台のトラックが炎上した。	221	17	~ 29
1999	7	9 ~ 10	雨樋修理の事前確認のため、天井クレーン(つり上げ荷重36.0t)のランウェイ上で点検を行っていたところ、コイル(金属板をロール状にしたもの)を倉庫内に取り込む作業を行っていたクレーンと建屋の柱との間にはさまれた。	211	7	50 ~ 99
1999	7	23 ~ 24	大型トラックで国道を走行中、道路左側の側壁に接触し、その弾みで右側ガードレールを突き破って約2.5メートル下の畑に転落した。	221	17	10 ~ 29
1999	7	11 ~ 12	荷を積んだ冷蔵冷凍車で走行中、交差点を右折するため停止していたトレーラーの後部に衝突した。	221	17	30 ~ 49
1999	7	2 ~ 3	国道をトラック(13.7t)で走行中、右カーブ(下り約4%勾配)になっているところで、スピードの出しすぎと降雨のためハンドル操作を誤り、対向車線側のコンクリート壁に衝突し、その反動で運転手が車外へ放り出され車輪に頭部をひかれた。	221	17	10 ~ 29
1999	7	5 ~ 6	10tタンクローリーに塩酸を積んで、国道を走行中、対向の4t保冷車と衝突し、タンクローリー車は歩道に乗り上げ、街路樹をなぎ倒して停車した。	221	17	100 ~ 299
1999	7	3 ~ 4	トレーラーで、ホイールクレーンを運搬中、国道交差点で信号待ちで停車していた軽トラックに追突し、さらに前に止まっていた大型トラックに追突して炎上した。	221	17	10 ~ 29
		13	10トントラックで走行中、前方の確認が遅れて、トラックに追突し、追突			100

1999	7	～	されたトラックもさらに前方の車両に追突し、計5台の玉突き事故となっ	221	17	～
		14	た。			299
1999	6	23	金属片を積んだ大型トレーラで走行中、道路左側のガードレールを突き	221	17	10
		～	破って約5メートル下の雑草地に転落した。			～
		24				29
1999	6	18	4tトラックに建築資材を積み込んでいるときに、長尺物の材の積みかえを	221	1	30
		～	荷台上で行っていて荷台から転落した。			～
		19				49
1999	7	12	石膏を運搬するため、10tトラックで会社を出発したが、町道で橋の柱に激	221	17	1～
		～	突してトラックが横転した。			9
		13				
1999	6	18	工場内において、4トントラックに荷を積んでいるときに、トラック後部の	221	7	10
		～	パワーゲートとかご車との間に胸部をはさまれた。			～
		19				29
1999	1	11	2tトラックで走行中に渋滞のため停車していたところ、後方から来た4tト	221	17	30
		～	ラックに追突され、前にいたタンクローリー車との間に4tトラックが挟ま			～
		12	れた。			49
1999	6	2	国道を走行中、信号待ちで止まっていた車に気づくのが遅れ、前方のト	221	17	10
		～	ラックに衝突し、その際運転席とハンドルとの間に挟まれた。			～
		3				29
1999	6	3	4tトラックで国道を走行中、対向車線を走行していたトレーラーが自損事	221	17	100
		～	故の車輛に接触し、その弾みで中央分離帯のガードレールを突き破ってき			～
		4	てトラックに激突した。			299
1999	6	15	家庭用紙製品の倉庫内において、フォークリフトでダンボールを運んでい	222	7	30
		～	たところ、荷崩れをおこしそうになったのでフォークのマスト上にあがり			～
		16	これを直し、マストを利用して降りたときに左足がフォークリフトのチル			49
			トレバーに触れたためマストとヘッドガードの間に挟まれた。			

1999	6	15 ～ 16	3tトラックで配達集荷をしながら営業所へ戻る途中、対向車線にはみ出し、対向の11t大型貨物車と正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
1999	6	0 ～ 1	国道を15tトラックで走行中、センターラインを越え、対向のトラック2台と相次いで衝突した。	221	17	10 ～ 29
1999	6	22 ～ 23	プレハブ住宅の枠組みを大型トラックで運送中、道路前方をふさいで止まっていたトレーラーに衝突した。	221	17	1～ 9
1999	5	8 ～ 9	建設現場から出る廃土を運搬してきた、ワゴン車をドラグショベルの手前3mほどの下り坂になっている位置に停車させ、エンジンを止めてワゴン車を降りたが、ブレーキもかけず、ギアを「D」レンジに入れたままであったために、ワゴン車が動きだし、ドラグショベルの後方でワゴン車に激突され、ドラグショベルとの間に挟まれた。	231	7	10 ～ 29
1999	6	9 ～ 10	トラックにトイレットペーパーを積込み市道を走行中、道路右側の市営温水ポンプ小屋に衝突した。	221	17	10 ～ 29
1999	6	22 ～ 23	10トントラックで国道を走行中、交差点で赤信号のため停車していたトラックに時速約60kmで追突した。	221	17	10 ～ 29
1999	6	23 ～ 24	2トントラックで国道を走行中、センターラインをオーバーし、対向の15トン車と正面衝突した。	221	17	10 ～ 29
1999	6	2 ～ 3	重量3tの鞆を大型トラックに積み走行中、休憩予定場所の高速道路SAの出口付近で、事故渋滞の最後尾のトラック後部に接触し、弾みで路肩側のガードレール等に衝突した。	221	17	1～ 9
		3	海外旅行の手荷物の配送を終了してトラックで国道を走行中、前方を時速			30

1999	6	4	約20km/hで走行していた大型貨物自動車に追突した。	221	17	49
1999	6	10	鉄塔建設現場から工事用敷鉄板を回収してトレーラーで国道を走行中、下	221	17	50
		11	り左カーブを曲がりきれずに横転し、反対車線のガードレールに激突し			99
			た。			
1999	3	0	建設現場へクレーン検査のテストウェイトを運搬して、時間待ちのため一	221	17	10
		1	時停止をしてエンジンをかけたままサイドブレーキを引かずに降車したと			29
			ころ、道路の勾配のためにトラックが動き出し、電柱との間に頭部を挟ま			
			れた。			
1999	4	4	国道を走行中、交叉点で信号待ちのため停車していた10tトラックに追突、	221	17	10
		5	炎上した。			29
1999	1	2	荷物を普通トラックに積載して国道を走行中、気温がマイナス4℃～5℃で	221	17	30
		3	路面が凍結していたため、カーブを曲り切れずにスリップして反対車線に			49
			突っ込んで行き、前方から来た大型トラックに正面衝突した。			
1999	1	3	自動車工場から22.5tのトレーラーに自動車用エンジンを載せる金属製の	221	17	10
		4	空パレット約60個(重量3t)を積んで帰る途中、高速道路で前走の車両に追			29
			突した。			
1999	2	21	高速道路を7トン貨物自動車で行く中、前方にトレーラーがスリップ事故で	221	17	10
		22	道路をふさいでいたのに気づくのが遅れ、トレーラーの後方に追突し、さ			29
			らに、そのはずみで追越車線にはみだし、後方からのトラックに追突され			
			た。			
1999	2	9	帰りの荷物を積込むため4tトラックで走行中、自然渋滞中の前方車両に追	221	17	1
		10	突したのち左側の壁に追突し、さらにもう1台前の車両に追突した。			9
1999	3	5	車で走行中、信号無視で左側より進入してきたトラックに衝突され、その	221	17	10
			衝撃で対向車線で右折待ち停車していた大型車に追突し、車に閉じ込めら			9

		6	れた。			29
1999	5	0 ～ 1	4tトラックで走行中、信号機の設置されていない交差点内で、一時停止を怠った4トントラックが突入してきて衝突された。	221	17	10 ～ 29
1999	6	4 ～ 5	車輛運搬車から車輛を降ろすときに、車輛の固定を外していないことに気づいて降車して固定を外したところ、車輛が自重により滑り出しその下敷きとなった。	221	6	10 ～ 29
1999	5	7 ～ 8	荷を運んでいた2トンのトラックが、渋滞中の車の列に追突した。	221	17	10 ～ 29
1999	6	2 ～ 3	トラックでパーキングエリア付近を走行中、後続のトラックに追突され、暴風壁に激突し横転した。	221	17	30 ～ 49
1999	5	11 ～ 12	配送を終えて会社に戻る途中、赤信号で停車しかけた前のトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
1999	5	3 ～ 4	建材を積載したトラックで走行中、赤信号で停車していた大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9
1999	5	4 ～ 5	荷物をトラックで輸送中、赤信号で停車中のトラック3台の最後尾の大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
1999	5	14 ～ 15	配達先に荷を卸したのち、店に向かっている途中のトラックが、中央分離帯の川に架かる橋の手前の柵の無い部分から川に転落した。	221	17	1～ 9
1999	5	8 ～	種鶏場で飼料をバルク車からサイロにパイプで注入中、サイドブレーキの効きが甘く、路面の勾配のため後退したバルク車に激突され転倒したとこ	221	6	30 ～

		9	ろに、バルク車の折れたパイプから噴出している飼料に埋まり窒息死した。			49
1999	5	9 ～ 10	フォークリフトを運転しフレキシブルコンテナの積み込み作業のため5号倉庫へ向かっていたときに、倉庫前のテントハウスの支柱に激突して車外に投げ出され、倒れてきたフォークリフトに腹部を挟まれた。	222	7	1～ 9
1999	5	16 ～ 17	空車の10トントラックで国道を走行中、見通しの悪い急カーブで中央線をはみ出して対向車と正面衝突した。	221	17	50 ～ 99
1999	5	1 ～ 2	2tトラックで工場から新聞を運搬中、国道交差点で信号待ちをしていたところへ45tトレーラーが追突してきて玉突き事故となり、前にいた大型車との間に挟まれて大破した。	221	17	10 ～ 29
1999	5	1 ～ 2	大型トラックに荷物を積んで国道を走行中、前方を走っていた大型トラックがドライブインに入るため速度を落としたところへ追突した。	221	17	10 ～ 29
1999	5	18 ～ 19	15トントラックに荷物を積んで国道を走行中、運転を誤って中央分離帯のガードロープを突破し、さらに反対車線側のガードレールを越え約5メートル下の浜辺に転落した。	221	17	100 ～ 299
1999	5	4 ～ 5	ベニヤ板の運送のため10トントラックで走行中、前を走行していたトレーラーが急ブレーキで停止したため、ブレーキが間に合わず追突した。	221	17	10 ～ 29
1999	4	14 ～ 15	大型ダンプカーで砂利を運搬して戻る途中、国道の交差点で信号待ちしていたトラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
1999	4	9 ～ 10	冷凍庫内で空のパレットに20個の荷を積み込んでいるときに、四段重ねのパレットが荷崩れを起こして下敷きになった。	611	5	10 ～ 29
		4	事業用トラックで高速道路をにて走行中、前の車を追い越し車線から追い			100

1999	4	～	越して走行車線に戻ったときに、さらに前を走行していた車に時速約100キロ	221	17	～
		5	口で追突した。			299
1999	5	～	自動車修理工場の前に停車した保冷車のエンジンを車外からかけたところ、保冷車が前進して修理工場に激突した際に保冷車のドアが工場入口の	221	7	～
		8	側面に押されて閉まり、ドアと車体との間に挟まれた。			49
1999	5	～	集金のため顧客宅前の傾斜路上に0.75トンのトラックを駐車し、トラック	221	6	～
		21	の後部に回ったときに、トラックが後退してきたため、被災者が庭の石垣			29
1999	3	～	トラックで国道を走行中、対向車線にはみ出して対向の軽自動車と接触	221	17	～
		18	後、さらに後続の8tトラックと正面衝突した。			99
1999	3	～	トラックで国道と走行中、センターラインをはみ出して対向の大型トレー	221	17	～
		17	ラーと正面衝突した。			29
1999	4	～	トラックで貨物を輸送中、渋滞のため停車していた前方の車両に追突し	221	17	～
		18	た。			99
1999	3	～	配送先に指定時刻より早く到着したので時間調整のためにトラックから降	231	17	1～
		2	りて休憩後、運転台に戻ろうとしたときに、乗用車にはねられた。			9
1999	4	～	トラックで荷物の積込先に向かう途中、前方を走行していたトレーラーが	221	17	1～
		5	右折のため停止していた乗用車に続いて停止したため、避けようとしたが			9
		5	間に合わず追突した。			
1999	3	～	10tトラックで高速道路インター付近のトンネル内を時速70キロメートルで	221	17	～
		7	走行中、路線バスが車線変更をしてきたため路線バスと衝突した。			49
		15	飲料物製造工場でパレットに製品を自動的に積み込む機械装置のパレット			100

1999	4	～ 16	が載った枠が上昇しなくなったので内部に立ち入ってパレットの位置を修正していたところ、突然枠が上昇したため、装置内部の天井底部と枠部に上半身を挟まれた。	224	7	～ 299
1999	4	～ 7	6 配送先で、4トントラックの荷台から2段積みの荷をフォークリフトで降ろすために、荷を荷台の端に引き寄せていたときに、荷とともに約1メートル下の地面に落下しその下敷きになった。	611	4	～ 49
1999	3	～ 10	9 貨物の運送のために貨物自動車で倉庫に到着し、同僚運転手と作業の打合せを行った後転倒して意識不明となった。	419	2	～ 299
1999	4	～ 23	22 植物市場へ花を運搬するため4tトラックで走行中、前方のトラックを追越す時に運転を誤って中央分離帯に激突し、その反動で左側のガードレールに衝突した。	221	17	1～ 9
1999	3	～ 4	3 4トントラックで車道を走行中、トラックが横転し死亡した。夜間ので目撃者はいなかったが、走行車線から追い越し車線へブレーキを踏みながらハンドルを右に切った跡、次いで、中央分離帯に平行したブレーキ跡、ハンドルを左に切って走行車線のガードロープに衝突した跡があった。	221	17	～ 29
1999	3	～ 6	5 新聞を配送して国道を走行中、中央車線をはみ出して対向車に衝突した。	221	17	～ 99
1999	3	～ 11	10 道路改築工事に使用した吹き付けプラント設備を解体し、トラックに積んで固定するために荷の上に乗リレバーブロックを掛けているときに約3m下の地面に墜落した。	221	1	1～ 9
1999	3	～ 6	5 トラックで走行中、前方のトラックに追突した。	221	17	～ 29
1999	3	～	4 国道でガードレールに衝突して立ち往生していた大型トラックが追突し、この大型トラック等を道路脇へ移動させるために交通整理を行っていた	221	17	～

		5	ときに、後方から来た大型トラックにはねられた。			49
1999	3	8 ～ 9	配送のため4トントラック走行中、渋滞で停車中の大型車両最後尾に追突し、その衝突の反動で後部左側車線に停車していた乗用車にも衝突した。	221	17	10 ～ 29
1999	3	1 ～ 2	帰り荷のトラックが故障したため空車回送中の9トントラックと合流し、ツーマンで走行していて国道左カーブを曲がりきれず対向車線をはみ出して店舗に激突、そのまま停車出来ずに隣の店舗側壁に衝突し停車した。(1名死亡、1名重傷)	221	17	30 ～ 49
1999	3	10 ～ 11	4トントラックで資材を建設現場に運び、ホイールクレーン(吊り上げ荷重10トン)で荷を桁上へ荷卸し中に地上高さ約8.7mで荷崩れが起り、吊荷がトラックの荷台に落下し付近で待機していた者の頭部に激突した。	372	4	1～ 9
1999	3	11 ～ 12	荷物の集配に行って、運転席から降りたときに、トラックが後ろに動き出したため、トラックの後方にまわり手で止めようとしたが支えきれずに約1.9メートル下に転落し、落ちてきたトラックの下敷きになった。	221	1	50 ～ 99
1999	3	8 ～ 9	バスにおいて、空の蓄電池式フォークリフトを運転してスロープをバックで登る途中で登り切れなくなったので、サイドブレーキをかけ右足をアクセルから離れた瞬間に前に滑り、約3メートル下に停車中のトラックの左後部にいた者にトラック左後部が当たった。	222	6	1～ 9
1999	3	6 ～ 7	10トントラックに海苔を積載して国道を走行中、停車していた大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
1999	3	7 ～ 8	自動車道のインターチェンジ付近で渋滞の列の最後方にいた乗用車に乗用車が追突し、さらに後続のトラック等が追突する事故があって大型トラックの運転者が運転席に胸を挟まれた。	221	17	10 ～ 29
1999	3	3 ～ 4	市場に荷降ろしして国道を走行中、道路左側の道路標識に激突し全身を強く打った。	221	17	30 ～ 49

1999	3	9 ～ 10	大型トラックでトンネル工事に向かうために走行中、一車線規制で停車中の大型トラックに追突した。	221	17	10 ～ 29
1999	2	3 ～ 4	触媒を積んで15tトラックで、国道を走行中、中央分離帯を乗り越えて、対向車線わきの民家に衝突した。	221	17	30 ～ 49
1999	1	9 ～ 10	構内で、トラックから鋼材の荷卸作業を終えてトラックのエンジンをかけようとしたがかからなかったため通りかかったフォークリフト運転手に牽引してくれるように依頼し、トラック運転手がトラックとフォークリフトのワイヤー掛けしているときに、後進で接近してきたフォークリフト運転手がブレーキとアクセルを間違えて踏み込んでしまい急発進してきたフォークリフトとトラックとの間に挟まれた。	222	7	10 ～ 29
1999	2	9 ～ 10	4tトラックで配達のため走行中、バイパスで交通渋滞のために、停車中の最後尾の大型トラックに追突した。	221	17	30 ～ 49
1999	2	12 ～ 13	4tトラックで工場へ製品を納品して国道を帰る途中、対向車線にはみ出したため対向の10tトラックと正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
1999	2	5 ～ 6	飼料配送のために3tトラックで走行中、県道交差点において、道路右側から赤色の点滅信号で進入してきた4tトラックと出会い頭に衝突した。	221	17	10 ～ 29
1999	2	4 ～ 5	国道を10トントラックで走行中、対向の4トントラックがガードレールに激突し、そのはずみで対向車線に飛び出してきたため正面衝突した。さらに、10トントラックは左側ガードレールを突き破って約8メートル下の河川敷に転落した。4トントラックの運転手も死亡した	221	17	100 ～ 299
1999	2	2 ～ 3	4tトラックで走行中、左カーブを終えた付近でセンターラインを越えたため、対向の大型トラックと正面衝突した。	221	17	10 ～ 29

1999	2	14 ～ 15	構内でゴミを捨てるために焼却炉へ向かって歩行中、事業場から出発する ためにハンドルを切りながら微速で後退してきた大型トラックの荷台左後 部に後から激突され、転倒したところを後輪にひかれた。	221	6	50 ～ 99
1999	2	14 ～ 15	車庫の中で、トレーラーヘッドに海上コンテナを搭載したシャーシを連結 する作業を行っていたときに、車体が動き出したためトレーラーのヘッド と隣に置かれていた海上コンテナとの間に頭部を挟まれた。	221	7	30 ～ 49
1999	2	7 ～ 8	圃場整備工事現場に移動式クレーン付セルフローダーでドラグショベルを 搬送し、ドラグショベルを自走させて荷台より降す作業中にドラグショベ ルが横滑りしてバランスを崩し転落しそうになったため運転席より飛び降 りたが、転落してきたショベルの下敷きとなった。	142	1	1～ 9
1999	2	23 ～ 24	トラックで米を積んで走行中、左側のガードレールを突き破ってトラック とともに約10m転落した。	221	17	10 ～ 29
1999	2	5 ～ 6	荷受けのため、11tトラックで走行中、前方の7tトレーラーに追突したた め、トレーラーに積んでいた鋼管がフロントガラスを突き破ってきて直撃 された。	221	17	30 ～ 49
1999	1	10 ～ 11	土砂運搬のためトラックで県道を走行中、脇見運転していたためインター チェンジ高架下信号で信号待ちしていた10tダンプトラックに追突した。	221	17	1～ 9
1999	2	2 ～ 3	国道において、普通トラックと大型トラックが正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
1999	2	11 ～ 12	4台のトラックでダンボールを運搬してその帰路を走行中、先頭の車が前方 の道路工事の誘導員の指示に従い停止したところへ追従して走行していた 車が追突した。	221	17	10 ～ 29
1999	2	11 ～	土砂と鉄屑が入っている鉄箱をバックホーで吊り上げ隣のピットに移動 中、立って操作していたオペレーターが座ったときに服がレバーにひっか	141	6	10 ～

		12	かってアームが回転し、バックホールの近くに居た者を直撃した。			29
1999	2	4 ～ 5	トラックに荷物を積んで国道を走行中、センターラインをオーバーし、対向の大型トラックに衝突した。	221	17	10 ～ 29
1999	2	16 ～ 17	トラックで冷凍いわしを配送中、左カーブで反対車線にはみだして右側ガードレールを倒し、さらに水銀灯に衝突し、トラックが横転したため後頭部を強打した。	221	17	10 ～ 29
1999	2	10 ～ 11	貯木場で、フォークリフトで桧材を10トントラックに積み込む作業中、トラック荷台の木材上で「とび口」を使って木材を揃えていたときに、バランスを崩して約3m下のアスファルト路面に墜落した。	221	1	1～ 9
1999	1	13 ～ 14	国道をトレーラーで走行中、前方を走行中のポールトレーラーに追突したため、ポールトレーラーの積荷の電信柱がフロントガラスを突き抜けてきて当たった。	221	17	10 ～ 29
1999	1	10 ～ 11	配送先の事業場で運搬してきたダンボール箱1個を1階扉のないエレベーター出入口からエレベーターに載せようとしたが、搬器が1階になく上の階に上がっていたため荷とともに約3m下のピット底に墜落した。	418	1	30 ～ 49
1999	1	3 ～ 4	4tトラックで荷物を運搬中、減速した前方のトラックに追突して火災が発生し焼死した。	221	17	30 ～ 49
1999	1	5 ～ 6	車で走行中、バイパス下り車線で工事用看板を撤去する作業車の後を走行していた誘導車両に追突した。	221	17	100 ～ 299
1999	1	10 ～ 11	普通貨物自動車で行中、道路脇のガードレールを突き破り約80メートル下の河原に転落した。	999	17	10 ～ 29
1999	1	5 ～	トラックで県道の緩やかな下り左カーブで停車していた軽自動車に接触したため、軽自動車の運転手と話をするため、運転席を降りて、自分のト	221	17	50 ～

		6	トラックの前を確認中、凍結していた路面をトラックが逸走しひかれた。			99
1999	1	5 ～ 6	タイムカードを打刻しトラックの検査書とキーをロッカーから持ち出して、運転予定のトラックへ向かう途中、事務所の階段の踊り場と1階の間から1階床面まで転落した。	413	1	30 ～ 49
1999	1	14 ～ 15	電気部品を運び帰る途中、国道交差点で信号待ちしていた大型トラックに追突した。	221	17	1～ 9
1999	1	9 ～ 10	トラックの積み荷である米袋の荷卸を終えたのでトラックを50～60m移動し、運転席から降りようとしたときに、転落して、アスファルト地面に頭部を強打した。	221	1	30 ～ 49
1999	1	8 ～ 9	山で10トンダンプトラックに土砂を積載し離れた道路拡幅工事現場へ運搬中、カーブで曲がりきれずにガードレールに激突、車体が左側に横倒しとなった。	221	17	10 ～ 29
1999	1	21 ～ 22	市場の構内駐車場において、青果をトラックに積込む作業を手伝っていたときに、運転手がエンジンをかけたまま運転席を離れた際、積荷のキャベツの箱が荷崩れ仕掛けしているのに気付いたので運転席とマストの間に立入って荷崩れを手で直そうとしたところ、身体がマスト起伏レバーに触れマストが起き上がり、その間に胸部を挟まれた。	222	7	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_01.htmlに戻る。